別記様式第１号の２

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

東京医科大学大学院医学研究科医学専攻設置届出書

令和　6 年　11 月　29 日

文 部 科 学 大 臣　殿

学校法人　東京医科大学

届出者の職名及び氏名　　理事長　矢﨑　義雄



このたび，東京医科大学大学院医学研究科医学専攻を設置することについて，学校教育法第４条第２項及び学校教育法施行令第２３条の２第１項の規定により，別紙書類を添えて届け出ます。なお，届出の上は，確実に届出に係る計画を履行します。

（注）
1　「○○大学○○学部設置」及び「○○大学○○学部を設置」の部分については，届出の内容に応じ，適切に表記を変更すること。
2　「学校教育法第４条第２項」の部分については，届出の内容に応じ，「学校教育法第４条第２項及び学校教育法施行令第２３条の２第１項」とすること。

別記様式第２号（その１の２）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

基　本　計　画　書

基　本　計　画

事　項	記　入　欄	備　考
計画の区分	研究科の専攻の設置	
フリガナ 設置者	ガッコウホウジン　トウキョウイカダイガク 学校法人　東京医科大学	
フリガナ 大学の名称	トウキョウイカダイガクダイガクイン 東京医科大学大学院[Graduate school of Tokyo Medical University]	
大学本部の位置	東京都新宿区新宿６丁目１番１号	
大学の目的	教育基本法及び学校教育法に基づき、建学の精神である自主自学と校是である正義・友愛・奉仕に則り、医学及び看護学の理論と応用を教授研究することを目的とする。	
新設研究科等の目的	医学研究科（D） 学術の理論及び応用を教授し、創造性、活力、人間性豊かな総合判断力かつ国際的な視点を有し、医学の発展を通して人類に貢献・寄与しうる指導力を兼ね備えた人材を養成することを目的とする。 医学専攻は、共通科目による高い倫理観と論理的思考の涵養、基礎・社会医学系分野と臨床系分野が融合して構成されるコースワークおよび専門科目による体系的な高度な知識と能力の修得を通して、新たな学理を拓く研究を実践し、医学の発展、人類の福祉に貢献する人間性豊かな研究者ならびに研究指導者を養成する。	

新設研究科等の概要	新設研究科等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位	学位の分野	開設時期及び開設年次	所在地	備考
		年	人	年次 人	人			年　月 第　年次		
	医学研究科 [Graduate school of Medicine] 医学専攻 [Doctor's Program of Medicine]	4	68	—	272	博士 (医学)	医学関係	令和7年4月 第1学年	東京都新宿区新宿６丁目１番１号	【基礎となる学部】 医学部医学科
	計		68	—	272					

同一設置者内における変更状況（定員の移行，名称の変更等）		
医学研究科（D）		
形態系専攻	（廃止）	令和7年4月学生募集停止　（△10）
機能系専攻	（廃止）	令和7年4月学生募集停止　（△10）
社会医学系専攻	（廃止）	令和7年4月学生募集停止　（△ 4）
内科系専攻	（廃止）	令和7年4月学生募集停止　（△10）
外科系専攻	（廃止）	令和7年4月学生募集停止　（△10）
社会人大学院・臨床研究系専攻	（廃止）	令和7年4月学生募集停止　（△20）
社会人大学院・研究系専攻	（廃止）	令和7年4月学生募集停止　（△ 4）

教育課程	新設研究科等の名称	開設する授業科目の総数 講義・演習	開設する授業科目の総数 実験・実習	開設する授業科目の総数 計	修了要件単位数	
	医学研究科医学専攻	6　科目	48　科目	54　科目	30　単位	

研究科等の名称		専任教員 教授	准教授	講師	助教	計	助手	専任教員以外の教員（助手を除く）	備考
新設分	医学研究科医学専攻（博士課程）	98人 (98)	83人 (83)	110人 (110)	54人 (54)	345人 (345)	0 0	4 (4)	令和6年3月認可申請
新設分	看護学研究科看護学専攻（修士課程）	7人 (7)	3人 (3)	4人 (4)	1人 (1)	15人 (15)	0 0	59 (59)	
新設分	計	105人 (105)	86人 (86)	114人 (114)	55人 (55)	360人 (360)	0 0	4 (4)	
既設分	医学研究科医科学専攻（修士課程）	24人 (24)	17人 (17)	20人 (20)	2人 (2)	63人 (63)	0 0	1 (1)	
既設分	計	24人 (24)	17人 (17)	20人 (20)	2人 (2)	63人 (63)	0 0	1 (1)	
合計		105人 (105)	86人 (86)	114人 (114)	55人 (55)	360人 (360)	0 0	60 (60)	

職種	専属	その他	計
	人	人	人
事務職員	385 (385)	347 (347)	732 (732)
技術職員	2,854 (2,854)	178 (178)	3,032 (3,032)
図書館職員	10 (10)	3 (3)	13 (13)
その他の職員	61 (61)	102 (102)	163 (163)
指導補助者	0 (0)	0 (0)	0 (0)
計	3,310 (3,310)	630 (630)	3,940 (3,940)

校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	八王子医療センター一部借地 借地面積：12,094㎡ 借用期間：30年
	校舎敷地	47,305 ㎡	— ㎡	— ㎡	47,305 ㎡	
	その他	188,348 ㎡	— ㎡	— ㎡	188,348 ㎡	
	合計	235,653 ㎡	— ㎡	— ㎡	235,653 ㎡	

校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	
	77,922 ㎡ (77,922㎡)	— ㎡ (— ㎡)	— ㎡ (— ㎡)	77,922 ㎡ (77,922㎡)	

講義室等・新設研究科等の専任教員研究室	講義室	実験・実習室	演習室	新設研究科等の専任教員研究室	実験実習室には、シュミレーションルームを含む。
	17 室	11 室	14 室	97 室	

図書・設備	新設研究科等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	電子図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	機械・器具 点	標本 点	研究科等単位での特定不能ため、大学全体の数
	医学研究科	274,451〔97,286〕 (282,128〔98,310〕)	8,118〔 248 〕 (6,447〔 137 〕)	7,943〔2,857〕 (15,239〔8,767〕)	8,024〔6,431〕 (15,239〔8,767〕)	**22,878** **(22878)**	**45** **(45)**	
	計	274,451〔97,286〕 (282,128〔98,310〕)	8,118〔 248 〕 (6,447〔 137 〕)	7,943〔2,857〕 (15,239〔8,767〕)	8,024〔6,431〕 (15,239〔8,767〕)	**22,878** **(22878)**	**45** **(45)**	

経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設前年度	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	研究費(共同研究費等含む)については研究科単位での算出不能なため，学部との合計 図書費には電子ジャーナル・データベースの整備費を含む。
経費の見積り	教員１人当り研究費等		946千円	946千円	946千円	946千円	— 千円	
	共同研究費等		28,000千円	28,000千円	28,000千円	28,000千円	— 千円	
	図書購入費	213,741千円	213,741千円	213,741千円	213,741千円	213,741千円	— 千円	
	設備購入費	277,744千円	277,744千円	277,744千円	277,744千円	277,744千円	— 千円	
維持方法の概要	学生１人当り納付金		第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	
			500千円	400千円	400千円	400千円	— 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、雑収入　等						

既設大学等の状況	大学等の名称	東京医科大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	開設年度	所在地	
		年	人	年次 人	人		倍			令和5年度入学定員増（1人）／令和4年度入学定員増（2人）／令和2年度入学定員減（△1人）
	医学部						1.05			
	医学科	6	123	—	724	学士（医学）	1.02	昭和27年		
	看護学科	4	80	—	320	学士（看護学）	1.09	平成25年		
	大学院医学研究科						0.80			
	医科学専攻	2	10	—	20	修士（医科学）	1.15	平成25年	東京都新宿区新宿６丁目１番１号	
	形態系専攻	4	10	—	40	博士（医学）	0.03	昭和32年		
	機能系専攻	4	10	—	40	博士（医学）	0.10	昭和32年		
	社会医学系専攻	4	4	—	16	博士（医学）	0.13	昭和32年		
	内科系専攻	4	10	—	40	博士（医学）	0.20	昭和32年		
	外科系専攻	4	10	—	40	博士（医学）	0.18	昭和32年		
	社会人大学院・臨床研究系専攻	4	20	—	80	博士（医学）	1.94	平成20年		
	社会人大学院・研究系専攻	4	4	—	16	博士（医学）	2.19	平成20年		

附属施設の概要	
	名　　称　東京医科大学病院 目　　的　診療及び臨床実習 所 在 地　東京都新宿区西新宿6-7-1 設置年月　昭和6年5月 規 模 等　土地　25,316㎡ 建物 135,256㎡ 病床数　904床
	名　　称　東京医科大学八王子医療センター 目　　的　診療及び臨床実習 所 在 地　東京都八王子市館町1163 設置年月　昭和55年4月 規 模 等　土地　94,280㎡ 建物　49,315㎡ 病床数　610床
	名　　称　東京医科大学茨城医療センター 目　　的　診療及び臨床実習 所 在 地　茨城県稲敷郡阿見町中央3-20-1 設置年月　昭和24年10月 規 模 等　土地　95,579㎡ 建物　62,038㎡ 病床数　501床
	名　　称　東京医科大学医学総合研究所 目　　的　医学研究 所 在 地　東京都新宿区新宿6-1-1 設置年月　平成22年1月 規 模 等　土地　15,833㎡ 建物　 1,169㎡

学校法人東京医科大学　設置認可等に関わる組織の移行表

令和6年度	入学定員	編入学定員	収容定員	令和7年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
東京医科大学				東京医科大学				
医学部				医学部				
医学科	123	－	724	医学科	125	－	729	定員変更（2）
看護学科	80	－	320	看護学科	80	－	320	
計	203	－	1,044	計	205	－	1,049	
東京医科大学大学院				東京医科大学大学院				
医学研究科				医学研究科				
医科学専攻（M）	10	－	20	医科学専攻（M）	10	－	20	
				医学専攻（D）	68	－	272	専攻の設置（届出）
形態系専攻（D）	10	－	40		0	－	0	令和7年4月学生募集停止
機能系専攻（D）	10	－	40		0	－	0	令和7年4月学生募集停止
社会医学系専攻（D）	4	－	16		0	－	0	令和7年4月学生募集停止
内科系専攻（D）	10	－	40		0	－	0	令和7年4月学生募集停止
外科系専攻（D）	10	－	40		0	－	0	令和7年4月学生募集停止
社会人大学院・臨床研究系専攻（D）	20	－	80		0	－	0	令和7年4月学生募集停止
社会人大学院・研究系専攻（D）	4	－	16		0	－	0	令和7年4月学生募集停止
				看護学研究科				研究科の設置（設置認可）
				看護学専攻（M）	6	－	12	
計	78	－	292	計	84	－	304	
東京医科大学 霞ヶ浦看護専門学校				東京医科大学 霞ヶ浦看護専門学校				
専門課程				専門課程				
看護学科	40	－	120	看護学科	40	－	120	
計	40	－	120	計	40	－	120	

（用紙　日本産業規格A4縦型）

設置の前後における学位等及び基幹教員の所属の状況

届出時における状況						新設学部等の学年進行終了時における状況					
学部等の名称	授与する学位等		異動先	基幹教員		学部等の名称	授与する学位等		異動元	基幹教員	
	学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授		学位又は称号	学位又は学科の分野		助教以上	うち教授
医学研究科形態系専攻(D)(廃止)	博士(医学)	医学関係	医学研究科医学専攻(D)	29	10	医学研究科医学専攻(D)	博士(医学)	医学関係	医学研究科形態系専攻(D)	29	10
									医学研究科機能系専攻(D)	24	7
									医学研究科社会医学系専攻(D)	19	5
									医学研究科内科系専攻(D)	144	40
			計	29	10				医学研究科外科系専攻(D)	122	32
医学研究科機能系専攻(D)(廃止)	博士(医学)	医学関係	医学研究科医学専攻(D)	24	7				医学研究科社会人大学院・臨床研究系専攻(D)	(266)	(72)
									医学研究科社会人大学院・研究系専攻(D)	(72)	(22)
			計	24	7				計	338	94
医学研究科社会医学系専攻(D)(廃止)	博士(医学)	医学関係	医学研究科医学専攻(D)	19	5						
			計	19	5						
医学研究科内科系専攻(D)(廃止)	博士(医学)	医学関係	医学研究科医学専攻(D)	144	40						
			計	144	40						
医学研究科外科系専攻(D)(廃止)	博士(医学)	医学関係	医学研究科医学専攻(D)	122	32						
			計	122	32						
医学研究科社会人大学院・臨床研究系専攻(D)(廃止)	博士(医学)	医学関係	医学研究科医学専攻(D)	(266)	(72)						
			計	(266)	(72)						
医学研究科社会人大学院・研究系専攻(D)(廃止)	博士(医学)	医学関係	医学研究科医学専攻(D)	(72)	(22)						
			計	(72)	(22)						

別記様式第２号・別添２

（用紙　日本産業規格A4縦型）

基　礎　と　な　る　学　部　等　の　改　編　状　況

開設又は改編時期	改　編　内　容　等	学　位　又　は　学　科　の　分　野	手続きの区分
昭和32年4月	医学研究科形態系専攻、機能系専攻、社会医学系専攻、内科系専攻、外科系専攻　設置	医学	設置認可（研究科）
平成20年4月	社会人大学院・臨床研究系専攻、社会人大学院・研究系専攻　設置	医学	設置認可（専攻）
平成26年4月	医学研究科博士課程のカリキュラム変更	医学	学則変更
平成27年4月	医学研究科博士課程のカリキュラム変更・委員会権限の明記	医学	学則変更
平成27年7月	大学院設置基準第14条特例の適用の明記	医学	学則変更
平成29年4月	医学研究科博士課程のカリキュラム変更	医学	学則変更
令和5年4月	医学研究科博士課程単位取得後退学扱いの明記	医学	学則変更
令和5年4月	医学研究科博士課程のカリキュラム・休学手続の変更	医学	学則変更
令和6年3月	医学研究科博士課程教育課程表の変更	医学	学則変更
令和7年4月	医学研究科医学専攻　設置	医学	設置届出（専攻）
令和7年4月	医学研究科形態系専攻、機能系専攻、社会医学系専攻、内科系専攻、外科系専攻、社会人大学院・臨床研究系専攻、社会人大学院・研究系専攻の学生募集停止	―	学生募集停止

（用紙　日本産業規格A4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学研究科医学専攻）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験・実習	基幹教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員（助手を除く）以外の教員	備考
共通科目	ステップ１	1		1			○	○		3	1		1			オムニバス
	ステップ２															
	国際発信のための論文執筆とプレゼンテーション	１～３		0.5			○	○		1			1			オムニバス
	医学研究における法と倫理	１～３		1			○	○		2	1					オムニバス
	医療データサイエンス	１～３		2			○	○		1			2			オムニバス
	グラント申請の書き方・研究資金の確保	１～３		0.5			○	○		1						
	小計（5科目）	－	－	5			－			8	2	0	4	0	0	
コースワーク	コースワーク講義・演習	１～３		3			○	○		94	81					共同
	コースワーク実習	１～３		2					○	94	81					共同
	小計（2科目）	－	－	5			－			94	81					
	人体構造学	１～３ １～３			6 14		○		○	2	1	1	1	0	0	共同
	組織・神経解剖学	１～３ １～３			6 14		○	○		1	1	4	0	0	0	共同（一部）
	人体病理学	１～３ １～３			6 14		○	○	○	4	1	1	3	0	0	
	分子病理学	１～３ １～３			6 14		○	○	○	1	0	2	1	0	0	
	微生物学	１～３ １～３			6 14		○	○	○	2	2	0	1	0	0	共同（一部）
	細胞生理学	１～３ １～３			6 14		○	○	○	1	1	2	1	0	1	共同
	病態生理学	１～３ １～３			6 14		○	○	○	1	1	1	1	0	0	共同
	生化学	１～３ １～３			6 14		○	○	○	2	1	0	0	0	1	
	薬理学	１～３ １～３			6 14		○	○	○	1	0	4	0	0	0	共同
	免疫学	１～３ １～３			6 14		○	○	○	1	1	3	0	0	0	共同
	免疫制御学	１～３ １～３			6 14		○	○	○	1	0	1	0	0	0	
	公衆衛生学	１～３ １～３			6 14		○	○	○	1	3	2	0	0	0	
	健康増進スポーツ医学	１～３ １～３			6 14		○	○	○	1	0	2	1	0	0	
	法医学	１～３ １～３			6 14		○	○	○	1	0	0	0	0	0	
	医療の質・安全管理学	１～３ １～３			6 14		○	○	○	1	1	1	0	0	0	共同
	医療データサイエンス学	１～３ １～３			6 14		○	○	○	1	0	0	2	0	0	
	血液内科学	１～３ １～３			6 14		○	○	○	1	2	3	3	0	0	共同（一部）
	呼吸器内科学	１～３ １～３			6 14		○	○	○	1	1	1	0	0	0	
	循環器内科学	１～３ １～３			6 14		○	○	○	2	6	4	0	0	0	
	糖尿病・代謝・内分泌内科学	１～３ １～３			6 14		○	○	○	1	3	4	2	0	0	

専門科目	リウマチ・膠原病内科学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	2	1	1	0	0	0	共同
	神経学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	1	2	0	1	0	0	共同（一部）
	消化器内科学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	3	6	7	1	0	0	
	内科系	1～3 1～3			6 14		○	○	○	6	2	3	1	0	0	
	精神医学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	3	1	4	2	0	0	
	小児科・思春期科学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	1	4	4	5	0	0	
	皮膚科学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	5	1	4	0	0	1	
	放射線医学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	5	2	2	4	0	0	共同
	臨床検査医学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	3	2	2	2	0	0	共同（一部）
	高齢総合医学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	3	1	3	1	0	0	共同（一部）
	腎臓内科学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	3	1	4	0	0	0	共同（一部）
	呼吸器・甲状腺外科学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	4	2	4	5	0	0	共同（一部）
	乳腺科学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	2	0	1	2	0	0	共同（一部）
	心臓血管外科学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	3	1	4	1	0	0	共同（一部）
	消化器・小児外科学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	1	2	4	1	0	0	共同（一部）
	消化器外科学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	2	1	0	1	0	0	共同（一部）
	消化器外科・移植外科学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	2	1	1	0	0	0	共同（一部）
	整形外科学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	1	5	4	1	0	1	共同（一部）
	眼科学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	3	3	5	2	0	0	共同（一部）
	泌尿器科学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	1	1	3	1	0	0	共同（一部）
	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	3	3	5	0	0	0	共同
	産科婦人科学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	1	3	3	0	0	0	共同（一部）
	麻酔科学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	2	0	1	0	0	0	共同（一部）
	脳神経外科学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	2	3	1	2	0	0	共同（一部）
	口腔外科学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	2	1	2	1	0	0	共同
	形成外科学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	1	2	1	1	0	0	
	救急・災害医学	1～3 1～3			6 14		○	○	○	2	1	1	2	0	0	共同
	小計（47科目）	－	－		20		－			94	77	110	53	0	4	
合計（54科目）		－	－		940		－			98	83	110	54	0	4	

学位又は称号	博士（医学）	学位又は学科の分野	医学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
専門科目20単位以上、コースワーク５単位以上、共通科目５単位を修得し、計30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。なお、専門科目は1科目20単位以上を取得すること。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業の標準時間	90分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

（医学部医学科）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			授業形態			基幹教員等の配置						備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	基幹教員以外の教員（助手を除く）	
人間学系科目	医療心理学・死生学	1前	○	1			○			2	1	3	1			
	哲学	1前・後	○	1			○				1					
	社会科学	1前・後	○	1			○				1					
	生命倫理学	1前・後	○	1			○			1						
	医療プロフェッショナリズムⅠ	2後	○	1			○			3	3	1			2	
	医療プロフェッショナリズムⅡ	3前・後	○	1			○			2	2	2			2	
	医療倫理	3後	○	1			○			1	3					
	医療プロフェッショナリズムⅢ	4前	○	1			○			2	1	1			3	
	医療と保健の歴史	1前・後			1		○				1					前・後期４科目から１科目以上を選択必修
	法学	1前・後			1		○								1	
	人間理解のための文章講読	1前・後			1		○				1					
	医療人類学	1前・後			1		○			1						
	小計（12科目）									8	6	5	1		6	
自然科学系科目	人体の物理学	1後				1	○					1			1	
	先進医療のための科学	1後				1	○			3	1	2				
	数学	1前				1	○				1					
	医系の物理学	1前	○	1			○			1		2				
	医系の物理学実習	1通期	○	1					○	1		2			2	
	医系の化学	1前		1		0	○			1	1	1			1	
	医系の化学実習	1通期	○	1					○	1	1	1			2	
	生物学	1前	○	1			○				2	1				
	生物学実習	1通期	○	1							2	1				
	自然科学基礎	1前	○	1			○			2	3	4			2	オンデマンド（一部）
	生命現象の科学Ⅰ	1後	○	0.5			○			1	1	1			1	
	生命現象の科学Ⅱ	1後	○	0.5			○				2	1				
	小計（12科目）									4	4	5			5	
外国語科目	独語	1前			1		○								1	２科目中１科目を選択必修
	仏語	1前			1		○								1	
	English For Medical PurposesⅠ	1通期	○	2			○						2			
	中国語	1前				1	○								1	
	韓国語	1前				1	○								1	
	スペイン語	1前				1	○								1	
	English For Medical PurposesⅡ	2通期	○	2			○						2			
	English For Medical PurposesⅢ	3通期	○	1			○			1		1	2			
	English For Medical PurposesⅣ	4前	○	0.5			○			1			1			
	小計（10科目）									1		1	4		5	
横断的領域科目	情報科学Ⅰ	1前	－	1			○			4	6	5			2	
	課題研究	1前	○	2			○			3	7	5			2	
	データサイエンスⅠ	1前	○	1			○			1	1	2				オンデマンド（一部）
	データサイエンスⅡ	1後	○	1			○			1		1	1			オンデマンド（一部）
	行動科学・患者学Ⅰ	2前	○	0.5			○			1	1	1			2	
	３大学協働授業	2後	○	1			○	○			1	3				
	情報科学Ⅱ	3前	○	1			○			1						
	情報科学Ⅲ	4前	○	~~1~~			○			1					1	
	行動科学・患者学Ⅱ	5通期	○	0.5			○			1	1				1	
	小計（9科目）									7	9	9	1		6	
基礎医学系科目	解剖学（１）	1後	○	1			○		○	2	2	1	2			
	解剖学（２）	1後	○	3			○		○	1	1	4				
	生理学（１）	1後	○	2			○			5	2	3	2		1	
	生化学（分子生物学概論）	1後	○	1			○			1						
	基礎医学統合演習Ⅰ	1後	－	0.5		0		○		3	2	3	2			
	解剖学（１）	2前	○	6.5			○		○	3	1	1	2		2	
	解剖学（２）	2前	○	2			○		○	1	1	4				
	生理学（２）	2通期	○	3			○		○	6	3	3	3			
	生化学	2前	○	4			○		○	3	1		1		1	
	免疫学	2通期	○	2.5			○		○	2	1	3				
	薬理学	2後	○	4			○		○	2		4		3	4	
	病理学	2後	○	2			○		○	5	2	2	6		6	
	微生物学	2後	○	3			○		○	2	3		1		6	
	運動医学	2後	○	1			○			1		2			2	

	医用電子工学	2後	○	0.5			○			2	1	1				
	基礎医学統合演習Ⅱ	2後	－	0.5				○		4			1			
	病理学	3通期	○	3			○			6	2	1	6		4	
	グループ別自主研究	4前	○	4					○	16	13	22	9	6		
	小計（18科目）									34	20	24	14	9	25	
社会医学系科目	社会医学Ⅰ	2後	○	1			○			1		2				
	医学・医療と社会Ⅰ	3通期	○	1			○			2	1	1			1	
	医学・医療と社会Ⅱ	4前	－	1			○			1	3	1			2	
	法医学	4前	○	1			○			1					1	
	小計（4科目）									3	3	4			4	
臨床医学系科目	症候・病態学入門	1通期	○	2			○			2		1				
	緩和医療Ⅰ・漢方・ＣＰＣ	3後	○	1			○			3			2		2	
	臨床医学Ⅰ	3通期	○	26			○			54	53	53	43		19	
	医療安全Ⅰ	4後	－	0.5			○			1	1	1	1		1	
	臨床医学Ⅱ	4通期	○	14			○			27	20	26	19		15	
	基本的診療知識・技能	4通期	○	2			○		○	8	10	5	9		1	
	医療安全Ⅱ	5通期		0.5			○			1	1	1	1			
	緩和医療Ⅱ・診療録の記載	5通期	－	0.5			○			1			2		1	
	臨床医学Ⅴ	6後	－	0.5			○			32	27	27	7		1	
	小計（9科目）									83	71	79	68		38	
臨床実習	早期臨床体験実習Ⅰ	1通期		2					○	4	3	3	1			
	早期臨床体験実習Ⅱ	2後		2					○	8	3	2	2		1	
	地域医療実習	3前		2					○	1	2	1	1			
	臨床医学Ⅲ															
	精神・神経コース	4～5通期		4					○	4	6	6	10		1	
	代謝・免疫・内分泌コース	4～5通期		2					○	2	4	3	3		1	
	血液・凝固コース	4～5通期		2					○	4	6	4	8		2	
	感覚器コース	4～5通期		2					○	5	5	6	6		1	
	呼吸器系コース	4～5通期		3					○	2	3	4	3		1	
	循環器コース	4～5通期		3					○	2	6	4	2		2	
	消化器コース	4～5通期		4					○	2	6	6	2			
	腎・泌尿器コース	4～5通期		2					○	2	2	4	7		1	
	運動器コース	4～5通期		2					○	2	3	4	2		1	
	皮膚コース	4～5通期		2					○	3	1	5				
	女性診療コース	4～5通期		3					○	3		1	4			
	小児科コース	4～5通期		2					○	1	2		6		1	
	全身管理コース	4～5通期		2					○	5		4	7		2	
	放射線科コース	4～5通期		1					○	5	2	4	3		2	
	地域中核医療コース	4～5通期		4					○	26	14	22	30		1	
	地域診療コース	4～5通期		2					○	3	4	5	1		1	
	臨床医学Ⅳ	5～6通期		28					○	72	63	88	135		24	
	小計（20科目）									92	80	107	166		36	
自由な学び	海外臨床実習コミュニケーション	5通期				0.5		○		1						
	ＵＳＭＬＥ受験準備コース	各年通期				0.5		○		3			1			
	Road to Top Surgeon	3・4通期				0.5		○		2		1	4			
	地域医療リーダーズコース１	1通期				0.5		○		1		1				
	地域医療リーダーズコース２	2通期				0.5		○		1		1				
	地域医療リーダーズコース３	3通期				0.5		○		1		1				
	地域医療リーダーズコース４	4～5通期				0.5		○		1		1				
	地域医療リーダーズコース５	5通期				0.5		○		1		1				
	リサーチ・コース１	1・2通期				0.5		○		13						
	リサーチ・コース２	2～3通期				0.5		○		13						
	リサーチ・コース３	3～4通期				0.5		○		13						
	リサーチ・コース４	4～5通期				0.5		○		13					0	
	小計（13科目）									17		2	5			
合計（63科目）										105	98	133	189	9	109	

学位又は称号	学士（医学）	学位又は学科の分野	医学

卒業・修了要件及び履修方法	授業期間等	
第１学年においては計32.5単位以上を取得した者、第２学年においては36.5単位を取得し、第２学年総合試験に合格した者第３学年においては37単位を取得した者、第４学年においては計25単位を取得し、共用試験（ＣＢＴ・ＯＳＣＥ）に合格した者、第５学年においては計41.5単位を取得し、第５学年総合試験に合格した者に進級を認め、第６学年末までに卒業に必要な206.5単位以上を取得し、かつ、第６学年総合試験（卒業試験）に合格した者には卒業を認定する。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週
	１時限の授業の標準時間	90分

別記様式第２号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

授　業　科　目　の　概　要

（医学研究科医学専攻）

科目区分	科目の名称		講義等の内容	備考
共通科目	ステップ1		研究をスタートするにあたって必要とされる事項（サイエンスの精神、医学哲学、医学倫理、医学英語論文の執筆方法、情報科学、トランスレーショナルリサーチ、臨床研究などの概要）を学ぶ。 （オムニバス方式／全8回） （伊藤正裕／1回） 発見のよろこび　研究の醍醐味（ベルナール、レーヴェンフック、フレミング、バンティング＆ベスト） （井上弘樹／1回） 医学倫理の過去と現在　ナチス等の人体実験、ベルモント・レポート （杉本昌弘／1回） 情報科学入門　データサイエンス、人工知能 （黒田雅彦／1回） トランスレーショナルリサーチ　医薬品開発、基礎から臨床へ （伊藤良和／1回） 臨床研究　臨床研究の方法、臨床研究の倫理 （Popiel H. Akiko／2回） 医学英語 医学英語論文執筆　Preparing a manuscript 医学英語論文執筆　Structure of a manuscript （西研／1回） 科学の世界と体験の世界　現象学、体験反省的エビデンス	オムニバス方式
	ステップ2	国際発信のための論文執筆とプレゼンテーション	医学英語論文の執筆方法、出版倫理を理解する。英語でプレゼンテーションができる。 英語による医学論文の書き方を修得する、英語による口頭発表および講演の方法を修得する、出版倫理の知識を修得する。 Gain the basic knowledge necessary to begin writing a paper in the English language.Learn the fundamentals of preparing graphics.Understand the ethical responsibilities of the author.To become familiar with how to give oral and poster presentations. （オムニバス方式／全5回） （Popiel H. Akiko／3回） Writing an effective manuscript General points for writing an effective medical/research manuscript, including verb tenses and writing precisely and concisely Preparing and giving oral presentations I General points for preparing and giving an effective medical/research presentation in English, and examples of good and bad slides Preparing and giving oral presentations II Useful English phrases for oral presentations, effective presentation delivery, and responding to questions in English （小島多香子／2回） Publication Ethics: Important Issues in Medical Publication Policy I Issues in publication ethics, focusing on authorship, and conflict of interest Publication Ethics: Important Issues in Medical Publication Policy II Issues in publication ethics, focusing on duplicate publication, plagiarism, and handling of unethical publishing	オムニバス方式

共通科目	ステップ2	医学研究における法と倫理	医学研究における法と倫理について、被験者の人権尊重および動物の福祉を最優先するという基本理念のもと、上記の学習目標が達成できるよう各回講義の内容を理解する。具体的な事例等の解説を含めた講義となる。実際に研究審査等に関わっている専門家による講義となる。 （オムニバス方式／全8回） （倉田誠／3回） 研究倫理審査制度　ヘルシンキ宣言、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、コンプライアンス 利益相反と医学研究　資金源、バイアス、コンプライアンス 研究発表における法と倫理　論文投稿、不正行為、コンプライアンス （伊藤良和／1回） 治験及び臨床研究法　GCP、治験審査委員会、コンプライアンス研究 （倉田誠／1回）※外部講師による講義 被験者保護と被害救済　医薬品副作用被害救済制度、補償措置 （石橋英俊／1回） 動物実験・組換えDNA実験における法と倫理　実験審査制度、カルタヘナ法、3R （倉田誠／1回）※外部講師による講義 知的財産権と医学研究　特許、帰属先、著作権、コンプライアンス （稲垣夏子／1回） ヒトゲノム・遺伝子解析研究における法と倫理　遺伝（個人）情報の保護、遺伝カウンセリング	オムニバス方式
		医療データサイエンス	講義と演習により進める。自立した研究者に必要とされる実践的な事項を習得させることによって、新たな研究分野を開発・推進できる人材を育成する。 （オムニバス方式／全15回） （田栗正隆／11回） 臨床試験のデザイン１　医薬品の製造過程、臨床試験の相、臨床試験における研究不正の問題と倫理 臨床試験のデザイン２　評価項目、ランダム化、盲検化、層別ランダム化、最小化法、臨床試験の報告 観察研究のデザイン　断面研究、コホート研究、ケースコントロール研究、リスク差、リスク比、オッズ比等 観察研究で注意すべきバイアス　内部妥当性、外部妥当性、交絡、選択バイアス、情報バイアス等 統計学入門　統計学の体系、推定（点推定・区間推定）、検定等 連続データの解析　変数の型、データの可視化、相関係数、t検定、Wilxocon検定等 連続データの解析実習　変数の型、データの可視化、相関係数、t検定、Wilxocon検定等 2値データの解析、回帰分析　分割表、カイ二乗検定、回帰分析、ロジスティック回帰分析等 2値データの解析、回帰実習　分割表、カイ二乗検定、回帰分析、ロジスティック回帰分析等 生存時間解析　生存曲線、ログランク検定、Cox比例ハザードモデル等 生存時間解析実習　生存曲線、ログランク検定、Cox比例ハザードモデル等に関する実習 （原田和治、折原隼一郎／4回） 医療分野におけるデータサイエンスの活用1～4 医療データサイエンスの新規手法の活用と事例	オムニバス方式

共通科目	ステップ2	グラント申請の書き方・研究資金の確保	科研費、厚労科研、AMED、JSTの種々の研究費など公的資金を中心とした外部研究資金のあらましを理解する。その後、これらの資金獲得の際に必要な知的財産権、利益相反などを理解することにより、現在社会に希求されるより良い申請を行えるようにする。 大学院卒業後、自立した研究者となるためには、研究の立案、実際のスキル、論文作成などに加え、研究費を獲得することも必須のアイテムであろう。本講では我が国における公的資金を中心とした外部研究資金の概要を学ぶ。さらに、医科学研究の推進の際に必要となる利益相反、知財などのマネージメントについての知識を得ることにより、社会的規範に即した研究資金の獲得が行えるようにする。 （稲津正人／全5回）	
コースワーク	コースワーク講義・演習		大学院生はいずれかのコースワークを入学時に選択し、自らの研究内容を発表すると共に、他の学生や専門教員の発表・講義を聴講し、討論する中で、幅広い知識や考え方を身につける。また、研究テーマを遂行するための必要となる種々の実験技法が、研究室の枠を越えた全学的な指導体制のもとで効率的に習得してゆく。 〇神経系コースワーク 医学研究者として、神経関連領域における基本的な科学的知識を習得するとともに、当該分野の最先端研究の状況を理解する。 年2回の定例講義においては、当大学における神経関連領域の研究の現状を理解する。それ以外の神経関連領域専門研究者による講義では、多彩な学内外の研究者を招いて、個別の最先端の研究テーマや研究の進め方などを理解する。 〇生体防御系コースワーク 生体防御に関する基本的な知識を基に、ディスカッションを通してより幅広い知識、見識、考え方を修得することで、自ら専門科目をより深く探求できる研究者マインドを育成する。免疫関連分野（微生物学、免疫学、小児科、皮膚科学、救急・災害医学、免疫制御学、臨床感染症学）における免疫反応の原理や臨床への応用を学ぶ。 〇腫瘍系コースワーク 診断方法の進歩と高齢化社会を背景として、早期癌の増加や高齢者のがん治療は社会の要請である。同時にゲノム解析、新規治療の開発やエビデンスの構築など広い視野を前提としたがん診療が望まれる。早期癌に対する低侵襲治療は均てん化してきたが、進行癌に対しては各領域において標準治療、見なし標準治療、探索型医療が混在しており、がん医療全体を見据えた研究や診療の教育が必要である。本研究では１）細胞がん化の分子基盤とがん細胞の生物学的特性、２）がん診療・研究の現状、３）安全な適応設定と治療手技の標準化、４）技術や知識の均てん化、５）新たな医療の創出・トランスレーショナルリサーチ、など現在のがん研究と診療を理解しつつ、次世代医療の基礎となる知識を学ぶことを目的とする。 がんを専門とする人材が医療現場において効果的・効率的にがん医療に貢献するためには、標準的な技術と知識の修得とがん医療を発展させるトランスレーショナルリサーチの習慣化が必要と考えられる。このため、各種がん治療方法の修得、臨床腫瘍学的思考、がん診療の普及・推進の方法論、がん研究の推進とその成果の応用など複数項目にわたる包括的な教育が望まれる。 特に腫瘍学の基礎知識、実験に関する基本的技術、生物学的統計、倫理、臨床試験・治験の基礎知識などはすべてのがんに共通であり、関連講座が散在する教材を共有しつつ、共同して基盤部教育を行うことが質の高い講義、実習につながると判断する。 〇器官系機能解析コースワーク 循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌・代謝系、運動器系、体壁系の機能解析を通して、Organ BiologyおよびOrgan System Biologyを究める研究能力を養う。 専門の器官系および専門外の器官系分野の発表で構成される全体会議に参加して、広い視野で器官系を観る眼（構造・機能・病態・治療および臓器保存・移植・人工臓器の開発）を涵養する。	共同

コースワーク	コースワーク講義・演習	○分子・細胞機能解析コースワーク 種々な細胞の機能を研究する上で必要な基本的な知識を習得する。細胞、細胞器官、分子の挙動を形態的、機能的観点から研究する手法の原理を理解する。 ○社会・情報・教育系コースワーク 社会・情報・教育系医学の最新の研究動向を学ぶ。また、それぞれの研究進捗状況を発表して討論を行い、学位取得に向けて研究計画を検討する。 社会・情報・教育系領域の第一線で活躍する研究者の講義を行う（コース別大学院特別講義）。また、研究の中間成果を実際の学会（東京医科大学医学会総会）で発表し、プレゼンテーション能力を養うと共に、一般研究者からのフィードバックを得る。さらに、コース内で研究進捗状況の報告会を行い、お互いの研究について討論し、研究計画を再構築する。	共同
	コースワーク実習	大学院生はいずれかのコースワークを入学時に選択し、自らの研究内容を発表すると共に、他の学生や専門教員の発表・講義を聴講し、討論する中で、幅広い知識や考え方を身につける。また、研究テーマを遂行するための必要となる種々の実験技法が、研究室の枠を越えた全学的な指導体制のもとで効率的に習得してゆく。 ○神経系コースワーク ○生体防御系コースワーク ○腫瘍系コースワーク ○器官系機能解析コースワーク ○分子・細胞機能解析コースワーク ○社会・情報・教育系コースワーク	共同
専門科目	人体構造学	実験生殖医学と人体解剖学の新たな展開1 実験生殖医学と人体解剖学の新たな展開2 実験生殖医学と人体解剖学の新たな展開3 組織標本の作製・観察および分子レベルの解析1 組織標本の作製・観察および分子レベルの解析2 組織標本の作製・観察および分子レベルの解析3 組織標本の作製・観察および分子レベルの解析4	共同
	組織・神経解剖学	発生学特論 中枢神経系の発生 神経幹細胞と細胞移動 疼痛を制御する中枢神経系の解剖と生理 分子発生学的解析法・バイオインフォマティクス 免疫組織化学法 電気生理学的解析法 子宮内電気穿孔法	共同（一部）
	人体病理学	病理診断学と病態解明の融合1 病理診断学と病態解明の融合2 病理診断学と病態解明の融合3 病理組織学・臨床病態・ゲノム解析1 病理組織学・臨床病態・ゲノム解析2 病理組織学・臨床病態・ゲノム解析3	共同

専門科目	分子病理学	病理学概論 腫瘍学概論 分子腫瘍学各論 再生医療概論 英語文献講読 病理検体の取り扱い操作 病理組織標本の見方 分子生物学実習 培養細胞の取り扱い操作	
	微生物学	感染病態総論 細菌学総論 感染免疫学総論 感染症実験1 感染症実験2 感染症実験3 感染症実験4	共同（一部）
	細胞生理学	心血管生理学総論1 心血管生理学総論2 心血管生理学総論3 各種遺伝子改変による細胞外基質産生能と 細胞遊走能、血管機能の変化の測定1 各種遺伝子改変による細胞外基質産生能と 細胞遊走能、血管機能の変化の測定2	共同
	病態生理学	分子・細胞生物学の基礎と人体の機能と特徴1 分子・細胞生物学の基礎と人体の機能と特徴2 分子・細胞生物学の基礎と人体の機能と特徴3 筋収縮機構とエネルギー代謝1 筋収縮機構とエネルギー代謝2 筋収縮機構とエネルギー代謝3	共同
	生化学	基礎生化学 病態生化学 タンパク質の機能解析1 タンパク質の機能解析2 分子標的薬の作用機序 基礎生化学	
	薬理学	薬理学基本概念 臓器別薬理学 臨床薬理学 細胞培養 遺伝子操作 遺伝子改変動物実験	共同
	免疫学	腫瘍免疫の理解と治療への応用1 腫瘍免疫の理解と治療への応用2 腫瘍免疫の理解と治療への応用3 腫瘍免疫の理解と治療への応用1 腫瘍免疫の理解と治療への応用2 腫瘍免疫の理解と治療への応用3	共同

専門科目	免疫制御学	免疫制御学総論 幹細胞生物学総論 腫瘍免疫学総論 疾患モデルマウス総論 蛋白質の品質管理機構総論 抗原特異的Ｔ細胞の機能解析 抗腫瘍免疫反応の機能解析 自己免疫・炎症性疾患モデルマウスを用いた解析 腫瘍・アレルギー☒疾患モデルマウスを用いた解析 神経障害モデルマウスを用いた解析 造血幹細胞の精製と機能解析 蛋白質発現と機能の解析	
	公衆衛生学	疫学研究の計画について 疫学研究における統計学的手法について 行政における公衆衛生施策とその疫学的評価 生活習慣病と危険因子についての疫学的研究 感染症の予防と対策に関する疫学的検討	
	健康増進スポーツ医学	健康医学総論 生涯スポーツの安全対策 生活習慣病改善のための栄養療法 性差を踏まえた運動トレーニング 運動時における呼吸・循環応答 運動時の全身および筋における生体反応 生活習慣病予防のための身体活動のプログラミング 褐色脂肪組織測定実習 心肺運動負荷試験（CPX）実習 近赤外線分光法（NIRS）実習	
	法医学	研究・事例検討会 論文抄読会 法医学講義 法医学総合実習1 法医学総合実習2 法医学総合実習3	
	医療の質・安全管理学	医療安全学総論（ヒューマンファクターズ・医療安全対策の実際） 医療安全学各論1（医療事故調査） 医療安全学各論2（診療プロセスのRe-design） 事例検討1 事例検討2 事例検討3	共同
	医療データサイエンス	疫学研究のデザインについて 選択バイアスと一般化可能性について 測定と測定誤差について 連続データの解析 分割表の解析 臨床研究のデザインと解析について 一般化線形モデル 交絡と交絡因子について 生存時間解析 因果推論手法	

血液内科学	血液学総論・血液診療 白血病の診断、治療指針 悪性リンパ腫の診断、治療法（病理学的アプローチ） 顕微鏡実習 専門検査 骨髄穿刺 造血幹細胞移植の実際 病棟回診 外来陪席 血液疾患における感染症	共同（一部）
呼吸器内科学	呼吸生理学総論 呼吸器炎症疾患各論 呼吸器画像 呼吸器疾患と遺伝子 症例検討会 気管支鏡検査 呼吸器細胞生物学 病棟回診	共同（一部）
循環器内科学	睡眠呼吸障害検査と演習 心機能・弁膜症総論 不整脈・心臓電気生 内科外科合同症例検討会 循環器画像診断各論：核医学 心臓カテーテル検査の実際 MRI検査の実際 内科外科合同症例検討会	
糖尿病・代謝・内分泌内科学	持続血糖測定機器の使い方と結果の見方 最新の分子糖尿病学的知見 高齢者糖尿病管理に関わる諸問題 甲状腺疾患における診断と治療の選択 病棟回診 外来陪席 科内症例検討会 実験動物を用いた研究の基礎と技術 リサーチカンファランス 論文抄読会	
リウマチ・膠原病内科学	リウマチ性疾患の診断と治療 自己免疫性疾患の病因・病態 リウマチ専門医に求められる知識と技能 SPSS Statisiticsを用いた統計解析（I） SPSS Statisiticsを用いた統計解析（II） 臨床免疫学の基本的手技	共同
神経学	臨床神経概論 パーキンソン病の病態と最新の治療 てんかんの病態と最新の治療 筋萎縮性側索硬化症の研究と治療法の進歩 神経学的診察の実践 神経学的検査の実践 神経放射線学的検査の実践	共同（一部）

専門科目	内科系	消化器内科学	胃癌の内視鏡治療について 大腸癌の内視鏡診断と治療 ウイルス肝炎における免疫応答 肝癌局所治療における腹部画像診断の有用性 膵臓病学総論 膵・胆道癌の診断と治療 胆膵疾患の画像診断 症例検討会 胆膵内視鏡検査・治療 内視鏡検査見学 造影超音波検査見学 肝癌のラジオ波焼灼療法見学 肝癌局所治療における腹部画像診断の有用性	
		代謝内科学	糖尿病学総論 内分泌学総論 糖尿病診断 症例検討会 チャート回診 甲状腺超音波検査 病棟回診 病棟実習	共同（一部）
		消化器内科学	炎症性腸疾患について 肝疾患の診断治療 消化器画像とトランスリレーショナル・リサーチ クリニカルクエスチョンの抽出 クリニカルクエスチョン解決のための計画 クリニカルクエスチョンに対する回答	
		腎臓内科学	糸球体疾患の病態・診断・治療 腎泌尿器系の発生・構造・機能 腎不全の病態・診断・治療 研究デザイン学 外来症例検討会 入院症例検討会 臨床実習 （内シャント・経皮的シャント拡張術、等） 腎病理組織実習 （光学顕微鏡・蛍光抗体法） 免疫学的実習 （ELISA・FCM等） 生化学的実習 （LS-MS等） 分子生物学的実習 （RT-PCR、Sequence等） 論文作成法	共同（一部）
		臨床感染症学	臨床感染症学総論・各論 感染対策とアウトブレイク、症例対照研究 耐性菌の発生機序と病院としての感染対策 培養検体採取・微生物染色・培養と実験の管理 病棟回診とその応用 感染症の生体免疫反応と臨床研究に向けて 感染制御ラウンドとその応用	共同（一部）

専門科目	精神医学	ストレス・パーソナリティの評価・臨床意義、精神薬理 うつ病、ストレス関連疾患 うつ病、ストレス関連疾患 論文作成指導1 論文作成指導2 論文作成指導3	共同（一部）
	小児科・思春期科学	小児腎疾患の診断 小児消化器疾患の診断 小児免疫性疾患の診断 小児心身症の診断 小児神経疾患の診断 心身症の包括的評価 LongCOVIDと自然免疫の検討 サイトカインの測定とWesternBlottingの実践 小児アレルギー疾患の評価 免役解析の実際 小児急性肝炎の病態解明 小児けいれん性疾患における血液脳関門の機能障害の検討 小児けいれん性疾患の免疫学的研究 ウエスト症候群における病態解明 小児の循環器疾患の実際 難治性川崎病、川崎病以外の血管炎疾患の理解 小児遺伝性疾患の実際 ビデオ脳波同時記録装置を用いた発作の評価 脳組織酸素代謝を指標とした新しい早産児管理法の確立 小児頭蓋内出血における病態解明	
	皮膚科学	皮膚免疫アレルギー疾患の病態と治療 アレルギーの基礎と肥満細胞症の最新の知見 皮膚付属器学 皮膚免疫アレルギー疾患の病態と解析 遺伝子機能解析 細胞培養と応用 臨床統計 遺伝子改変マウスと疾患モデルマウスを用いた実験手技の確立	
	放射線医学	画像診断学の基礎 画像診断学の最新論文の抄読 頭頚部画像診断・放射線治療 放射線治療の基礎 CT画像診断実習 MRI画像診断実習 IVR実習 核医学実習 放射線治療実習	共同

専門科目	臨床検査医学	臨床検査医学の総論から応用まで HIV感染症の診断、治療 研究計画の作成と施行の実際 血液凝固異常症の診断、治療 抗HIV薬の種類・作用機序とその特徴 症例検討会1 症例検討会2 遺伝子技術と応用 病棟回診 外来陪席／血液凝固・輸血・感染免疫 臨床検査・輸血部門実習 病棟実習 専門検査　遺伝子検査等	共同（一部）
	高齢総合医学	認知症、フレイル/サルコペニアの診断 認知症の治療とケア 脳疾患の病理および免疫組織化学 高齢者総合的機能評価と老年症候群 認知症の実践 認知症の実践2 認知症・神経疾患・老年疾患の実践 認知症・神経疾患の実践	共同（一部）
	腎臓内科学	高血圧症の診断、治療法 腎臓病学総論 腎機能にあわせた腎置換療法 長期人工透析療法の実際 主な腎疾患の診断、治療指針 腎疾患に関する最新の知識 尿沈査実習 長期人工透析療法の実際 外来陪席 病棟回診 腎病理実習 腎生検実習 症例検討会	共同（一部）
	呼吸器・甲状腺外科学	肺癌の現状と将来 甲状腺疾患の診断と治療 肺癌のトランスレーショナルリサーチ 肺癌の薬物療法 呼吸器疾患の移植再生医療・ロボット外科 肺癌に対する集学的治療 肺癌の気道狭窄に対するインターベンション 病棟回診 手術実習 病棟実習 外来実習 気管支鏡検査実習 細胞診実習	共同（一部）

専門科目	乳腺科学	乳癌・乳腺疾患の診断 乳癌の放射線療法 乳癌の外科治療 乳癌の化学療法・分子標的療法 再発乳癌の治療 術前・術後 症例検討会 乳癌診療・研究の現状と将来 病棟回診 病棟患者カンファレンス 手術実習1 外来実習1 手術実習2 外来実習2 外来実習3	共同（一部）
	心臓血管外科学	心臓血管外領域におけるCT画像解析 心臓手術 下肢末梢血管疾患および再生医療 大動脈ステントグラフト内挿術 大動脈手術 手術Ⅰ 手術Ⅱ 手術Ⅲ モーニングカンファレンス 病棟回診 症例検討会	共同（一部）
	消化器・小児外科学	術後カンファランス 術前・手術カンファランス 肝胆膵領域における 外科的治療・低侵襲手術・個別化医療 消化器・小児外科領域における最新研究 下部消化管領域における 外科的治療・低侵襲手術・個別化医療 上部消化管領域における 外科的治療・低侵襲手術・個別化医療 ドライボックストレーニング 外来実習 病棟実習 手　術（肝胆膵） 手　術（下部消化管） 手　術（小児） 手　術（上部消化管）	共同（一部）
	消化器外科学	消化器外科学総論 鏡視下外科の診断、治療指針 食道胃外科の診断、治療指針 肝胆膵外科の診断、治療指針 大腸肛門外科の診断、治療指針 症例検討会 手術侵襲と生体反応 病棟実習 病棟回診 手術実習 手術標本整理 外来陪席 上部内視鏡検査 大腸内視鏡検査	共同（一部）

専門科目	消化器外科・移植外科学	消化器癌の外科治療 臓器移植の基礎と社会的問題、Transplant Oncology 条件の厳しいドナーからの腹部臓器移植（肝・膵）に関する研究 人工肝臓の研究 小動物の肝移植モデル 抗がん剤感受性試験 DSAの測定法	共同（一部）
	整形外科学	脊髄圧迫症の病態と治療 脊椎外科手術と合併症 人工関節のバイオメカニクス、骨切り手術の理論 骨軟部腫瘍の病態と治療・手屈筋腱のバイオメカニクス 変形性関節症の病態と治療 骨・関節軟骨の代謝、関節軟骨の再生 関節靭帯の解剖、バイオメカニクス 脊椎外科　検査・手術手技 外来陪席 超音波検査、骨密度測定検査、筋電図検査の手技 微小外科手術手技 病棟回診 手術実習 症例検討会	共同（一部）
	眼科学	眼腫瘍の疫学 眼腫瘍の新しい治療法（低侵襲手術・重粒子線治療）、人工知能の応用による画像診断 眼腫瘍の病理組織学的検討 眼腫瘍の診断（従来の診断法と問題点） 網膜硝子体疾患の病態解析 網膜硝子体疾患の疫学 眼の免疫学的特異性 自己免疫病の発症メカニズム 網膜硝子体疾患の病態解析 角膜移植と免疫	共同（一部）
	泌尿器科学	泌尿器科学総論 泌尿器感染症の診断・治療 尿路上皮癌の診断・治療 前立腺癌の診断・治療 腎細胞癌の診断・治療 症例検討会 内視鏡検査 化学療法実習 前立腺腫瘍の基礎と研究 病棟回診 手術実習① 手術実習②	共同（一部）
	耳鼻咽喉科 ・頭頸部外科学	耳鼻咽喉科・頭頸部外科（基礎と概要） 耳鼻咽喉科・頭頸部外科（各種検査と症例） 耳鼻咽喉科・頭頸部外科（診断と治療） 耳鼻咽喉科・頭頸部外科（論文作成） 耳鼻咽喉科・頭頸部外科（計画立案） 耳鼻咽喉科・頭頸部外科（検査手技の会得） 耳鼻咽喉科・頭頸部外科（データ集積と解析） 耳鼻咽喉科・頭頸部外科（論文作成）	共同

専門科目	産科婦人科学	症例検討会 不妊症・生殖補助医療 産科疾患の取り扱い 低侵襲手術 専門検査／コルポスコピー 病棟回診 病棟実習／婦人科 専門検査／子宮鏡 病棟実習／産　科 教授外来陪席 手術実習	共同（一部）
	麻酔科学	麻酔科学総論 緩和医療学総論 ペインクリニック学総論 術前診察 緩和実習 ペインクリニック実習	共同（一部）
	脳神経外科学	脳血管障害の発生因子に関する研究 脳下垂体腺腫の臨床病理学的解析 頭蓋底腫瘍に対する手術戦略 脳腫瘍の分子病理学的研究 悪性グリオーマの集学的治療 アテローム血栓性脳梗塞に対する治療戦略	共同（一部）
	口腔外科学	再生医療の基礎研究Ⅰ 石灰化進行像から見た骨の形成と破壊 全身の骨代謝と顎骨への影響 再生医療の基礎研究Ⅱ 咀嚼運動が顎関節に及ぼす影響 口腔癌の手術・放射線・化学療法 顎関節鏡の取り扱い 非脱灰研磨片の作製・顕微X線像の観察 病理切片の作製と診断 担癌動物実験法	共同
	形成外科学	形成外科学総論、各論 形成外科学各論　－創傷治癒を促進する方法等－ 形成外科学各論　－熱傷の病態生理、診断、治療法等－ 形成外科領域の研究計画 創傷、瘢痕、移植術の実際 形成外科の手術手技	
	救急・災害医学	救急医学概論 外傷診療総論 抄読会 症例検討会 Acute Care Surgeryの標準診療 心肺蘇生の理論的背景 外傷診療の実践 細胞培養法	共同

（注）
1　開設する授業科目の数に応じ，適宜枠の数を増やして記入すること。
2　専門職大学等又は専門職学科を設ける大学若しくは短期大学の授業科目であって同時に授業を行う学生数が４０人を超えることを想定するものについては，その旨及び当該想定する学生数を「備考」の欄に記入すること。
3　私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科若しくは高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合，大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合又は大学等の廃止の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合は，この書類を作成する必要はない。

都道府県内における位置関係の図面



東京医科大学（新宿御苑前から 0.5km）

■所在地



住所　〒160-0034　東京都新宿区新宿６-1- 1

TEL　03-3351-6141（代表）

■交通案内

JR、小田急線、京王線：「新宿駅」　徒歩約 20 分
西武新宿線：「西武新宿駅」　徒歩約 20 分
東京メトロ丸ノ内線：「新宿御苑前駅」　徒歩約 7 分
都営新宿線：「新宿三丁目駅」　徒歩約 10 分
東京メトロ副都心線：「新宿三丁目駅」　徒歩約 15 分
都営大江戸線：「東新宿駅」　徒歩約 10 分

東京医科大学病院　（西新宿駅から 0.1km）

■所在地



住所　〒160-0023　東京都新宿区西新宿６-７-１

TEL　03-3342-6111（代表）

■交通案内



（新病院棟 2019 年 7 月開院）

すぐ　東京メトロ丸ノ内線　西新宿駅下車（東京医大病院前）

出口 E5　エスカレーターをのぼると正面玄関前に出ます（地下道）

出口 2　改札を出て右側（エレベーターがあります）

5分　新宿駅からタクシー

7分　都営大江戸線　都庁前駅から徒歩（地下道）

10分　新宿駅　西口から徒歩

14分　西武新宿駅から徒歩

3分　新宿駅　西口からバス

都営バス「東京医大病院前」下車
⑧番のりば「王子駅行」　⑨番のりば「新代田駅行」　⑩番のりば「杉並車庫行」

西武バス「東京医大病院前」下車
⑦番のりば「西武百貨店前行」

京王バス「新宿住友ビル」下車
⑯番のりば「渋谷駅行」　⑰番のりば「永福駅行」「佼成会聖堂前行」「佼成病院行」

東京医科大学茨城医療センター　（荒川沖駅から 6.7km）

■所在地



〒300-0395　茨城県稲敷郡阿見町中央 3-20-1

TEL　029-887-1161（代）

■交通案内

土浦駅

関東鉄道バス約 15 分
阿見中央公民館行
東京医大前　下車徒歩1分

荒川沖駅

関東鉄道バス約 15 分
県立医療大学行（1 時間間隔）
東京医大前　下車徒歩 1 分

東京医科大学八王子医療センター　（高尾駅から 2km）

■所在地



住所　〒193-0998　東京都八王子市館町 1163 番地　電話　042-665-5611（代表）

■交通案内

羽田空港から約90分（JR・バス利用）

JR新宿駅／京王線新宿駅から約60分（高尾駅よりバス利用）
JR大月駅から約50分（高尾駅よりバス利用）

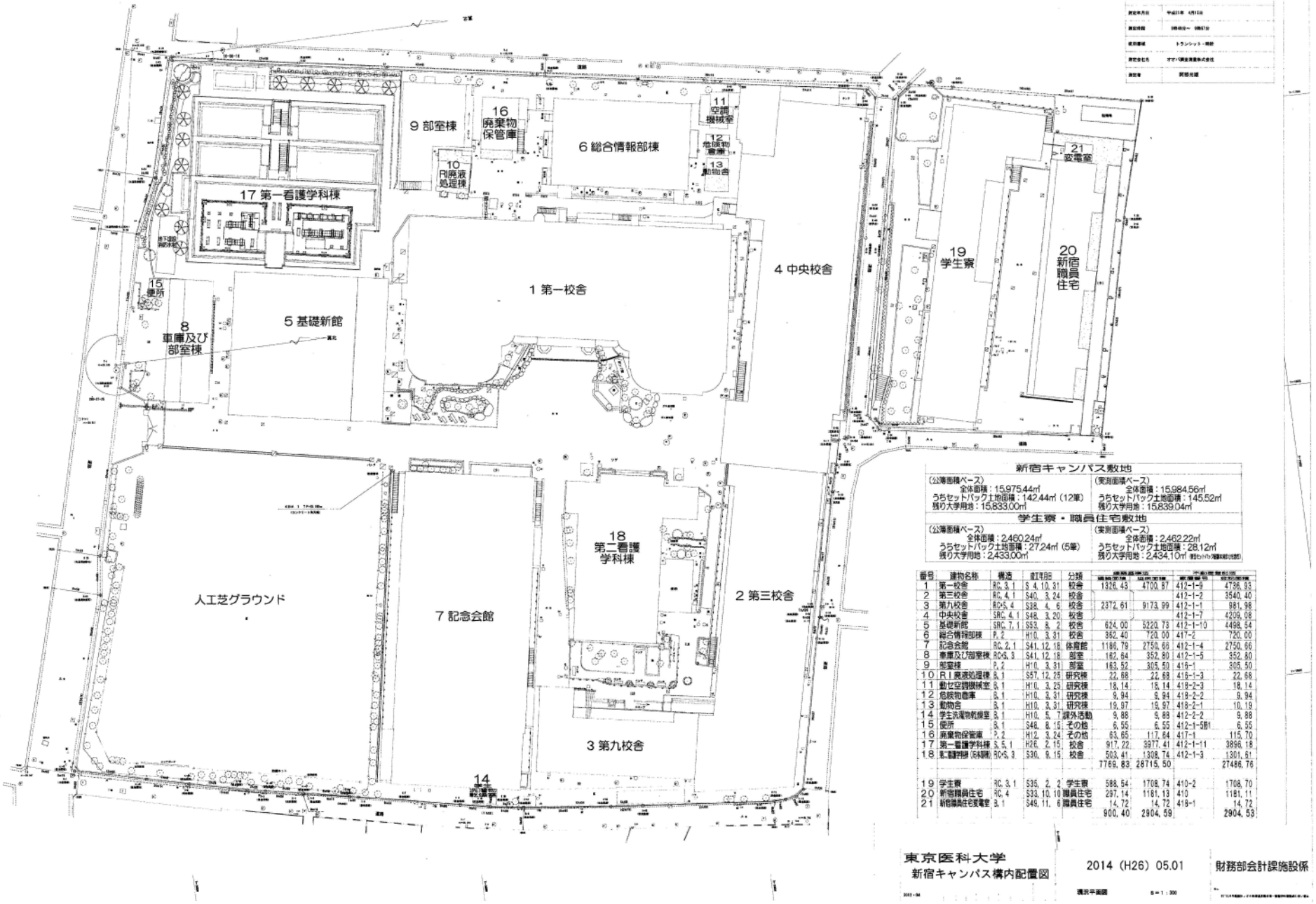
JR高尾駅／京王線高尾駅・南口3番乗り場から約7分
（医療センター経由館ヶ丘団地行き　または医療センター行き）

JR高尾駅／京王線高尾駅・南口ロータリーから約5分

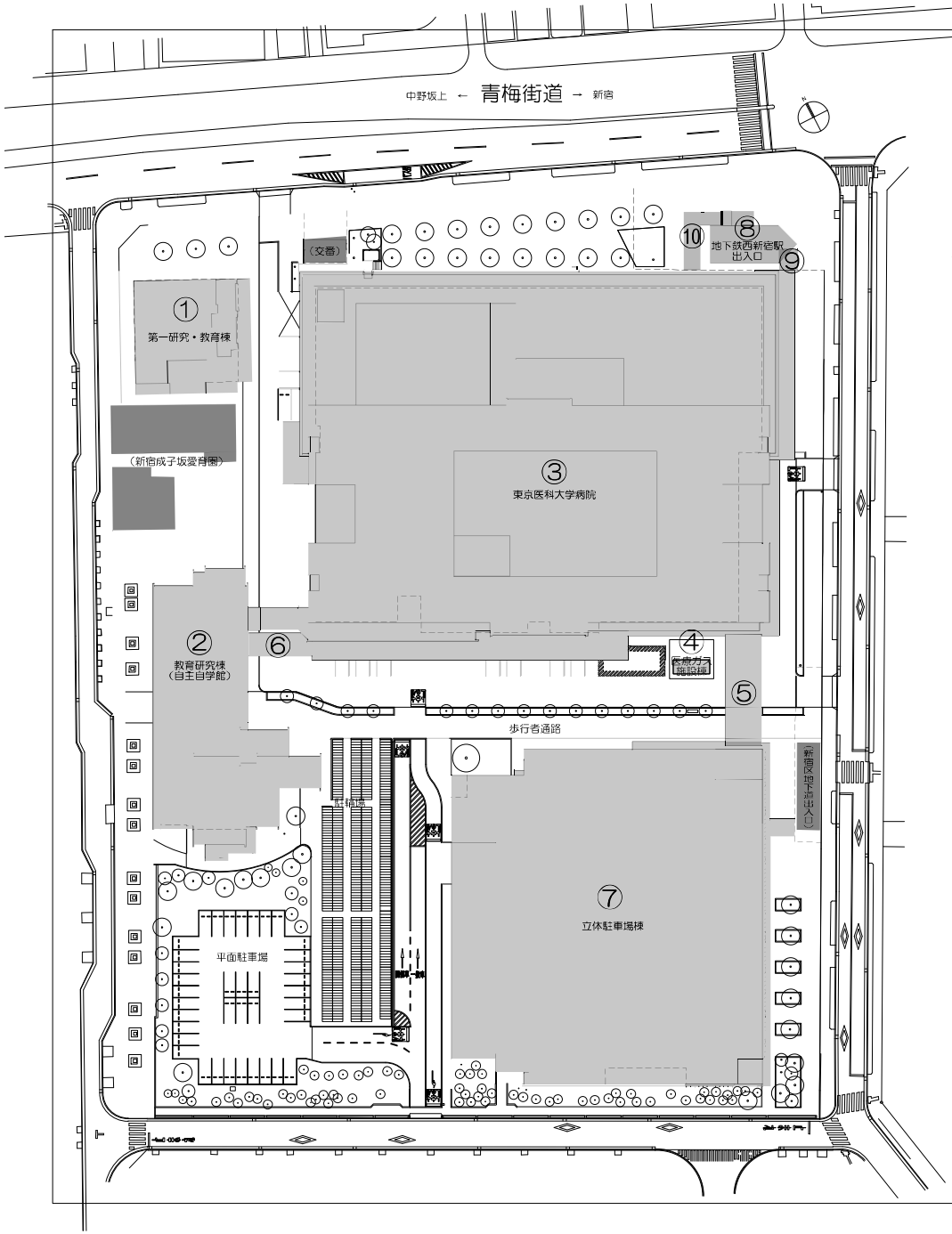
JR横浜線八王子みなみ野駅・西口ロータリーから約20分
無料シャトルバス運行中



東京医科大学
八王子医療センター



番号	建物名称	構造	竣工年月日	分類				
1	第一校舎	RC, S 1	S 4, 10, 31	校舎	1326.43	4700.87	412-1-6	4736.93
2	第三校舎	RC, 4, 1	S40, 3, 24	校舎			412-1-2	3540.40
3	第九校舎	RC+S, 4	S38, 4, 6	校舎	2372.61	9173.99	412-1-1	981.98
4	中央校舎	SRC, 4, 1	S48, 3, 20	校舎			412-1-7	4209.08
5	基礎新館	SRC, 7, 1	S53, 8, 2	校舎	624.00	5220.73	412-1-10	4498.54
6	総合情報部棟	P, 2	H10, 3, 31	校舎	362.40	720.00	417-2	720.00
7	記念会館	RC, 2, 1	S41, 12, 18	体育館	1186.79	2750.66	412-1-4	2750.66
8	車庫及び部室棟	RC+S, 3	S41, 12, 18	部室	162.64	352.80	412-1-5	352.80
9	部室棟	P, 2	H10, 3, 31	部室	163.52	305.50	416-1	305.50
10	RI廃液処理棟	S, 1	S57, 12, 25	研究棟	22.68	22.68	416-1-3	22.68
11	動化空調機械室	S, 1	H10, 3, 25	研究棟	18.14	18.14	418-2-3	18.14
12	危険物倉庫	S, 1	H10, 3, 31	研究棟	9.94	9.94	418-2-2	9.94
13	動物舎	S, 1	H10, 3, 31	研究棟	19.97	19.97	418-2-1	10.19
14	学生渡廊物乾燥室	S, 1	H10, 5, 7	課外活動	9.88	9.88	412-2-2	9.88
15	便所	S, 1	S48, 8, 15	その他	6.55	6.55	412-1-5B1	6.55
16	廃棄物保管庫	P, 2	H12, 3, 24	その他	63.65	117.84	417-1	115.70
17	第一看護学科棟	S, 5, 1	H26, 2, 15	校舎	917.22	3977.41	412-1-11	3896.18
18	第二看護学科棟（改装棟）	RC+S, 3	S30, 9, 15	校舎	503.41	1308.74	412-1-3	1301.61
					7769.83	28715.50		27486.76
19	学生寮	RC, 3, 1	S35, 2, 2	学生寮	588.54	1708.74	410-2	1708.70
20	新宿職員住宅	RC, 4	S33, 10, 10	職員住宅	297.14	1181.13	410	1181.11
21	新宿職員住宅変電室	S, 1	S49, 11, 6	職員住宅	14.72	14.72	418-1	14.72
					900.40	2904.59		2904.53



東京医科大学病院建物配置図

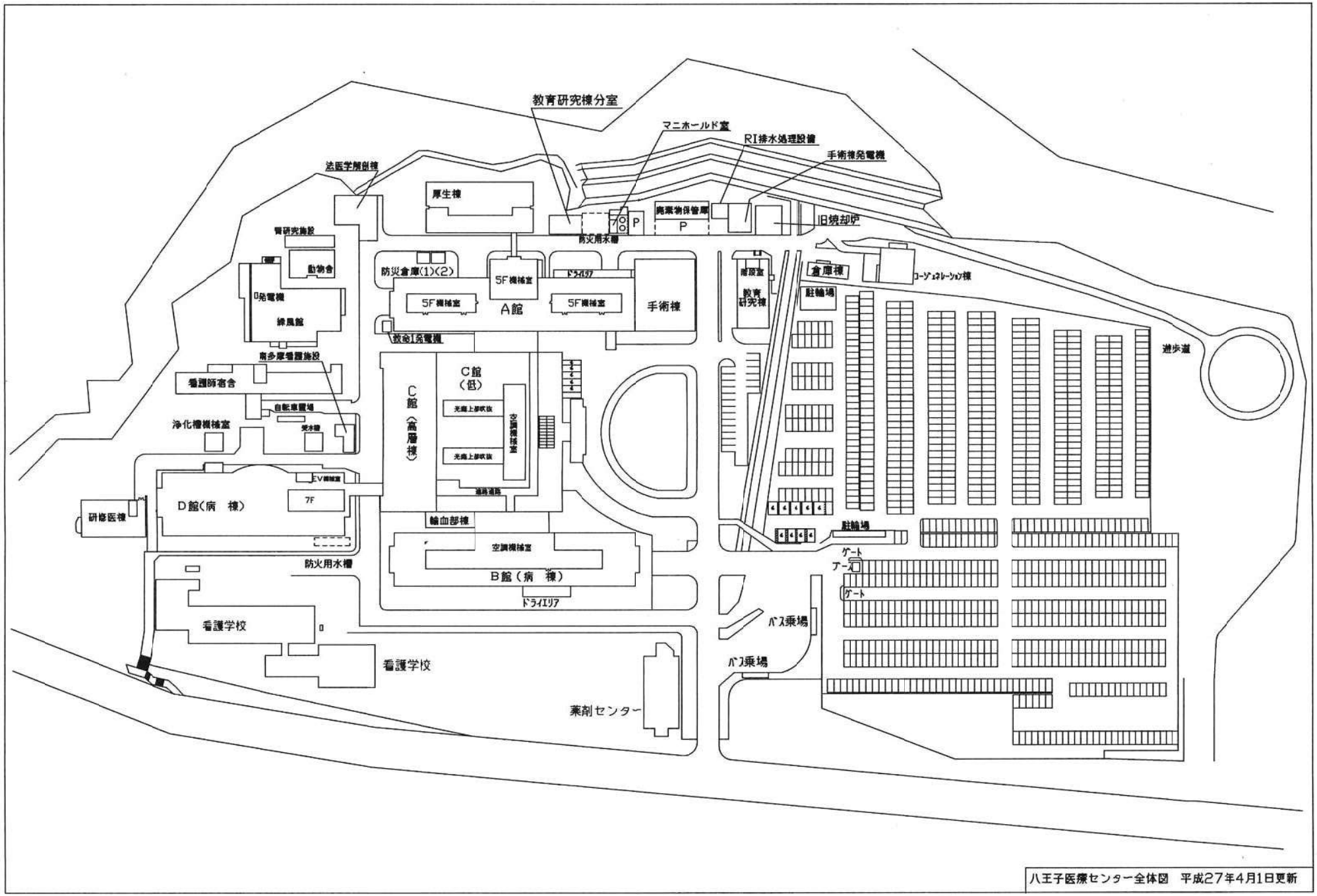
2021年4月1日現在

指定区域等：商業地域・防火地域・高度利用地区・地区計画区域

建ぺい率　70%　　容積率　950%

西新宿キャンパス内保有施設

番号	建物名称	構造	竣工年月日	分類	建築基準法		不動産登記法	
					建築面積㎡	延床面積㎡	家屋番号	登記面積㎡
①	第一研究・教育棟	SRC/地下1階/地上7階	1981.3.31	研究棟	439.46	3,375.01	63-3-1	3,296.32
②	教育研究棟(自主自学館)	S/地上16階	2013.7.31	研究棟	1,123.92	16,487.72	55-1-2	16,192.04
③	東京医科大学病院	S/地下2階/地上20階	2019.3.15	病院棟	6,733.56	98,567.11	60-4-2	98,079.81
④	医療ガス施設棟	S/地上1階	2019.3.15	付属棟	19.14	19.14	60-4-2附1	19.14
⑤	渡廊下上屋-1	S	2019.3.15	庇	129.00		－	－
⑥	渡廊下上屋-2	S	2021.3.25	庇	59.85	－	－	－
⑦	立体駐車場棟	S/地上3階	2021.3.25	駐車場	3,790.88	10,765.80	55-1-3	10,632.08
				③⑥重複	▲3.85			
				小計	12,291.96	129,214.78		128,219.39
⑧	地下鉄出入口	RC+S/地下1階/地上1階	1996.3.31	地下鉄出入口倉庫	101.37	261.43	－	－
⑨	渡廊下上屋-3	S	2019.3.15	庇	10.26	－	－	－
⑩	渡廊下上屋-4	S	2019.3.15	庇	32.32	－	－	－
				小計	143.95	261.43	－	－
				合計	12,435.91	129,476.21		128,219.39



八王子医療センター全体図　平成27年4月1日更新

東京医科大学茨城医療センター配置図

1. 管理研究棟
2. 教育研究棟
3. 外来本館
4. 第1研究棟
5. 第2研究棟
6. 東館
7. 人工透析棟
8. 中央病棟
9. 南病棟
10. 健診センター
11. 霊安解剖室
12. プレハブ研究棟
13. 特高変電所
14. 第1給水施設
15. 南病棟機械室
16. 中央病棟地下オイルタンク
17. 感染性廃棄物保管庫
18. 放射線同位元素保管庫
19. 車庫・ゴミ置場
20. 増設車庫
21. 職員宿舎E棟
22. 学生宿舎
23. 職員宿舎C棟
24. 職員宿舎新C棟
25. 職員宿舎A棟
26. 職員宿舎B棟
27. 第2給水施設
28. 高橋記念館
29. 保険薬局棟
30. 総合排水処理施設
31. 女子寮
32. 東京医科大学霞ヶ浦看護専門学校
33. 医療福祉研究センター

茨城大学農学部

国道125号バイパス

町道

民有地

民有地

民有地

民有地

町道

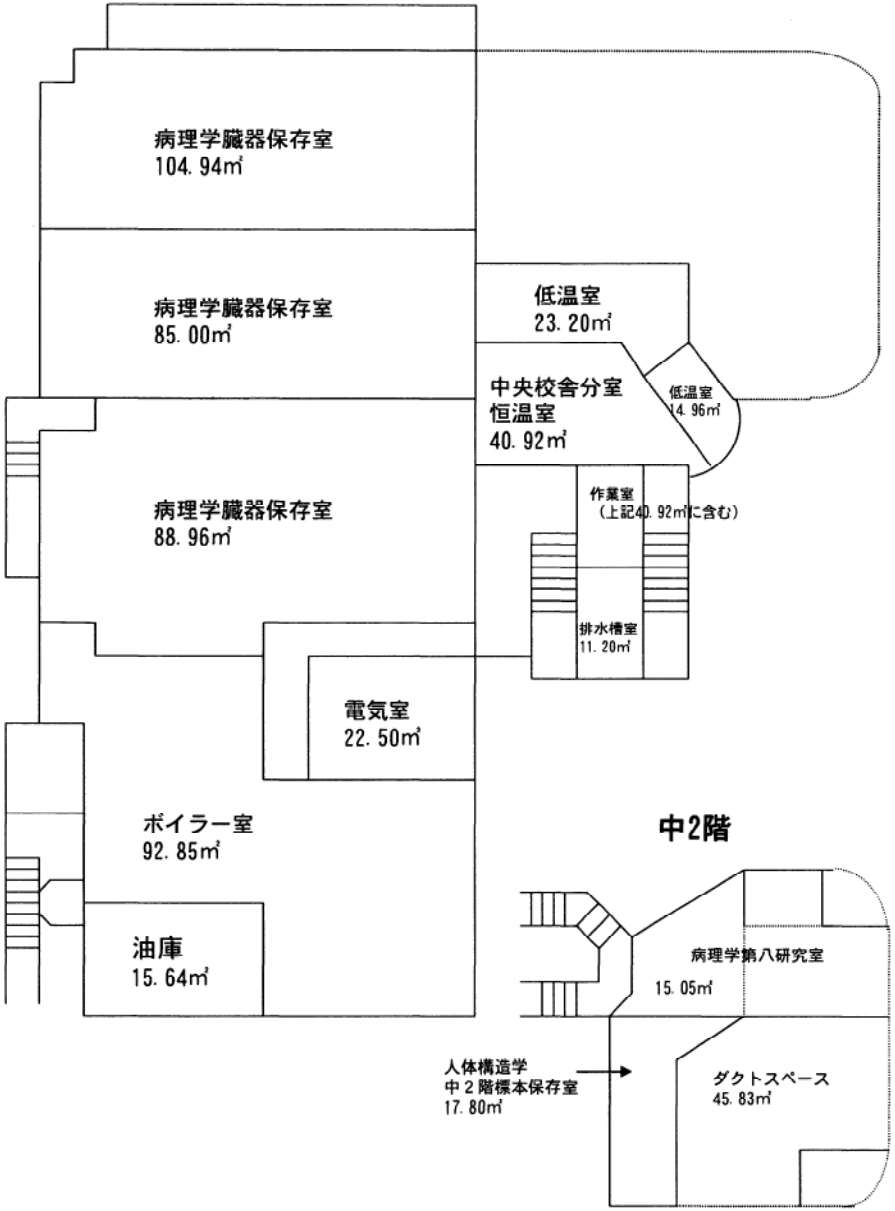
入口　　出口

第一校舎

4,736.93㎡

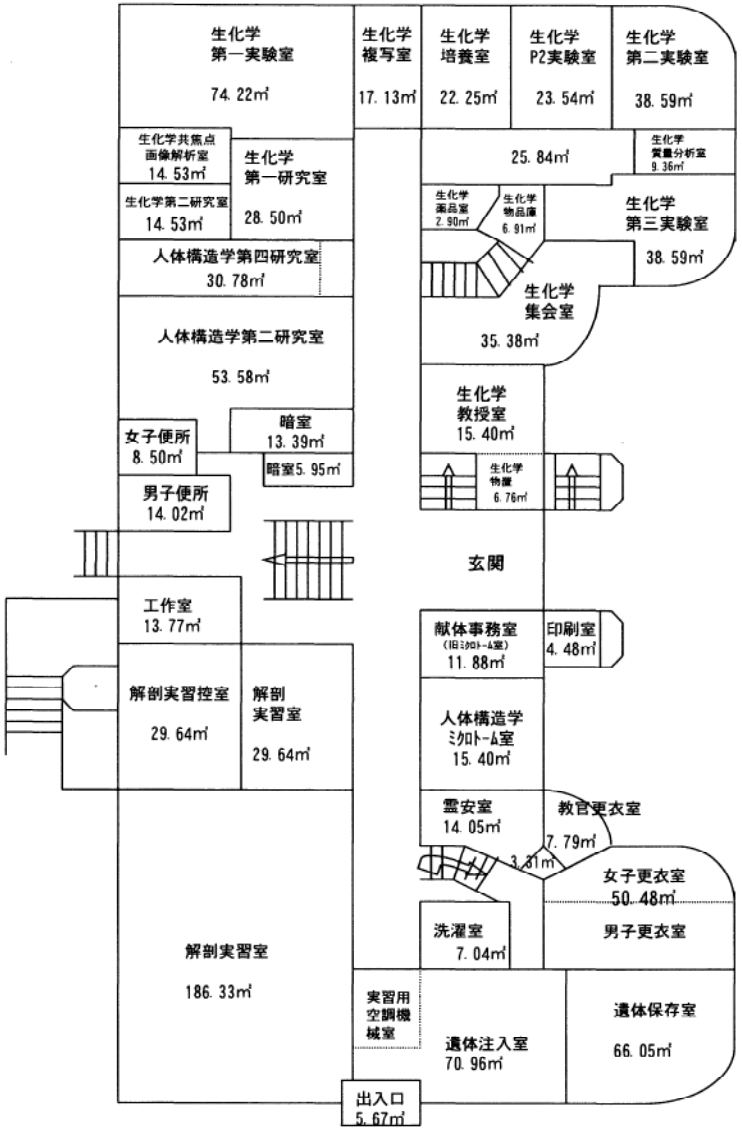
地階

584.79㎡

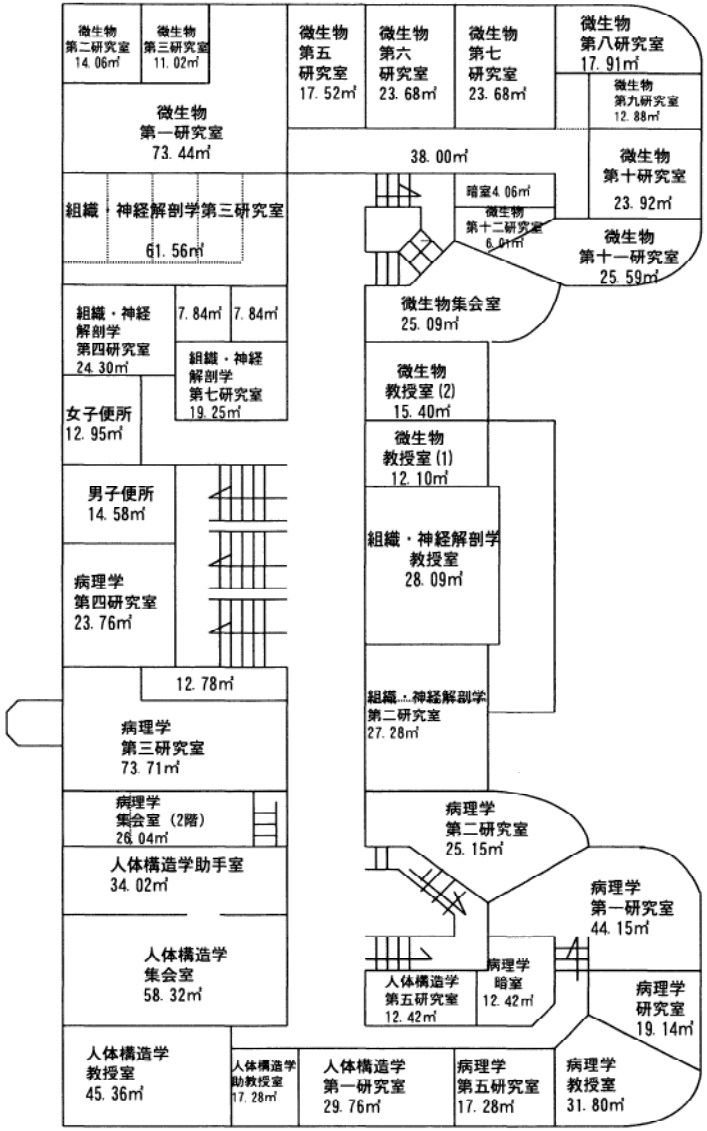


1階

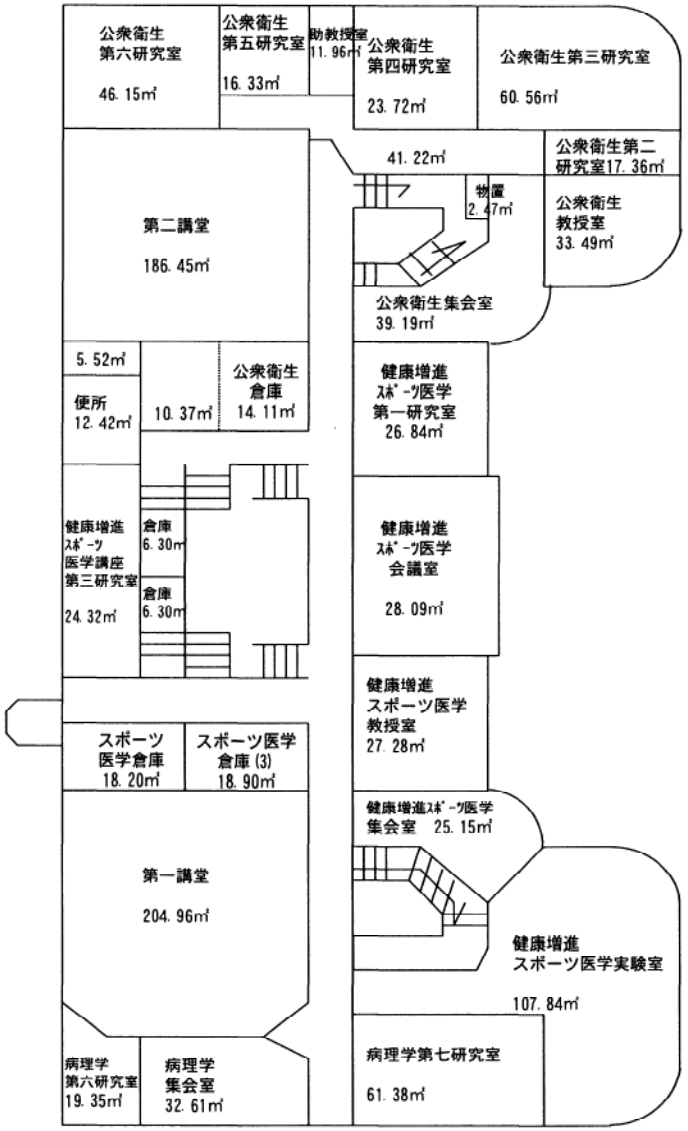
1,296.26㎡



第一校舎
2階
1,334.34㎡



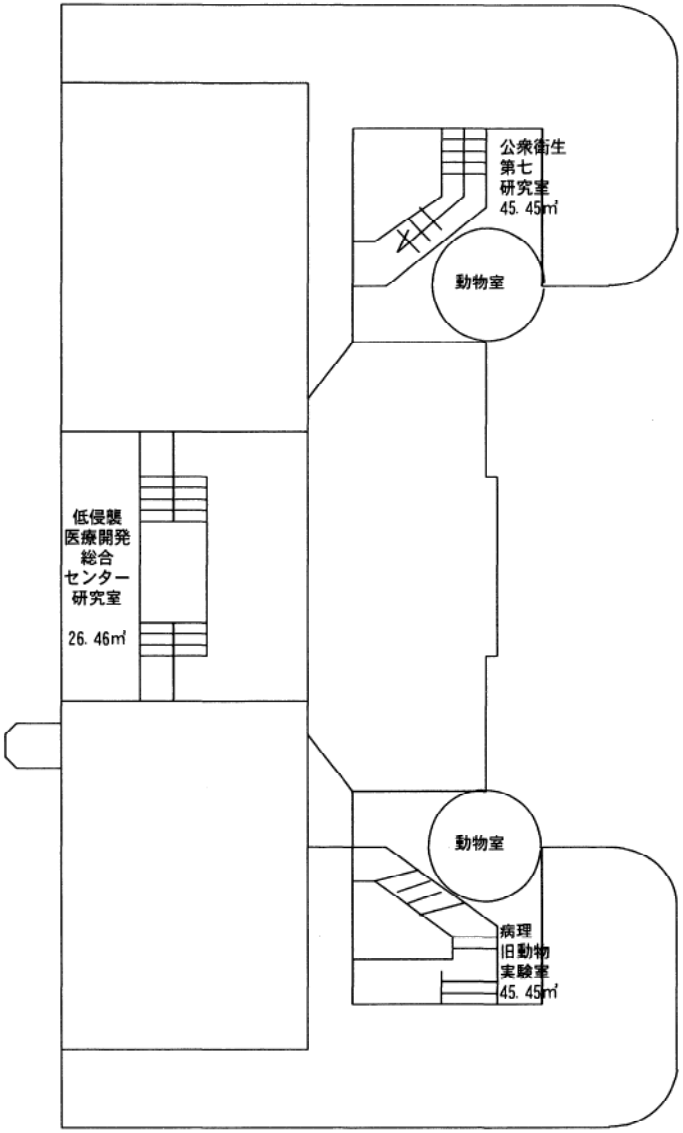
第一校舎
3階
1,375.86㎡



第一校舎

屋上

145.68㎡

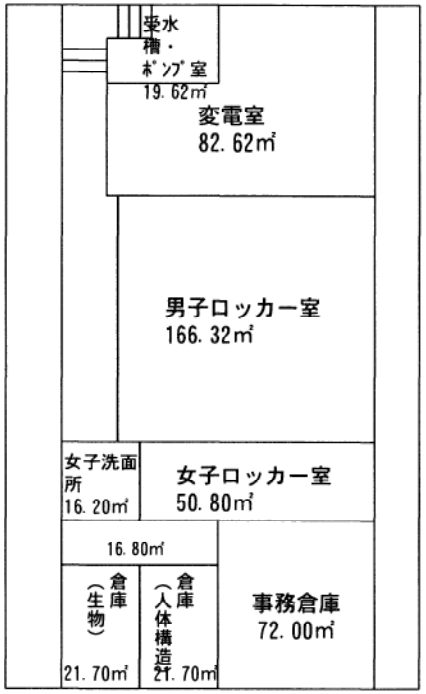


第三校舎

3,540.40㎡

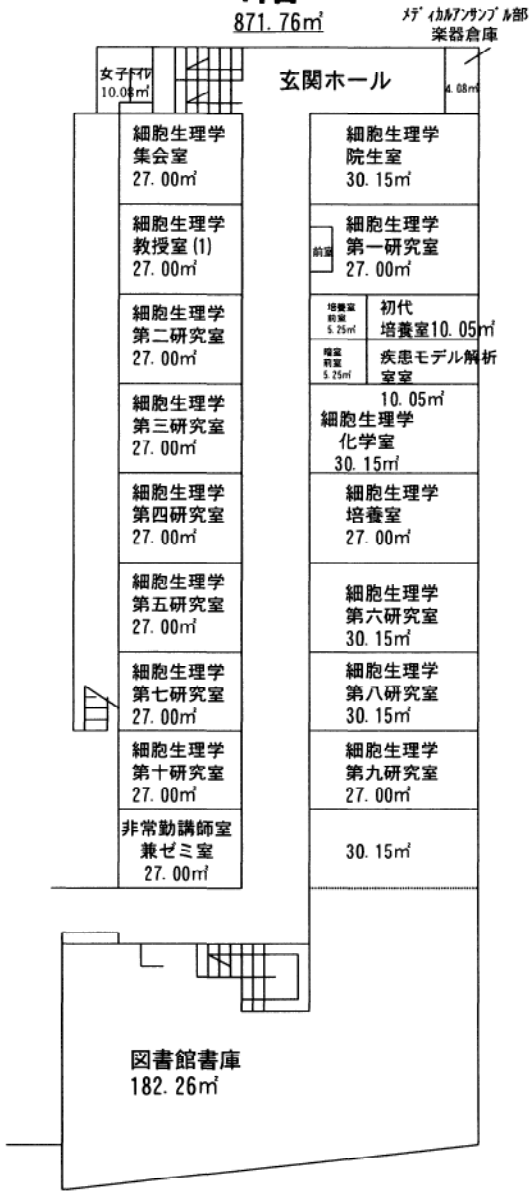
地階

522.99㎡



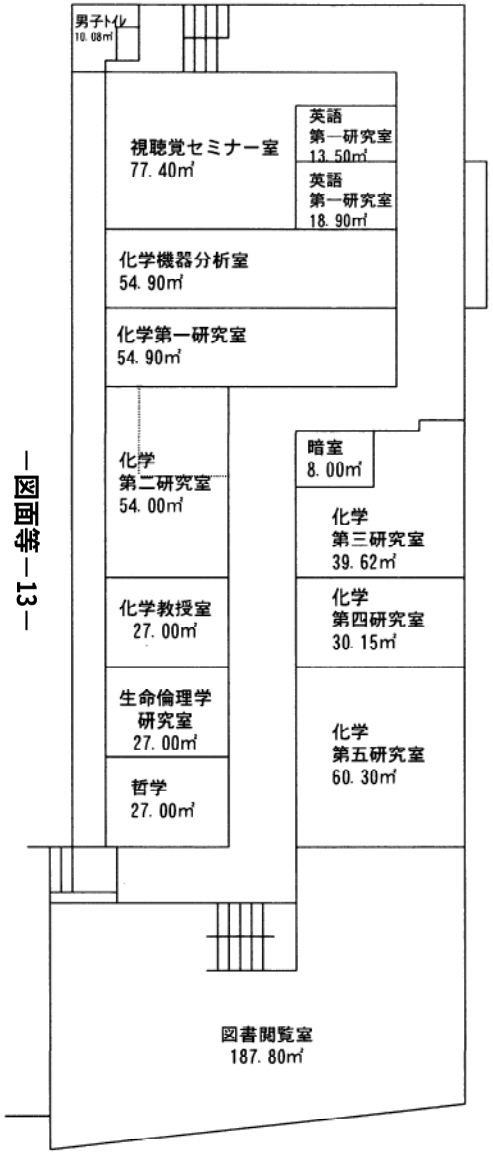
1階

871.76㎡

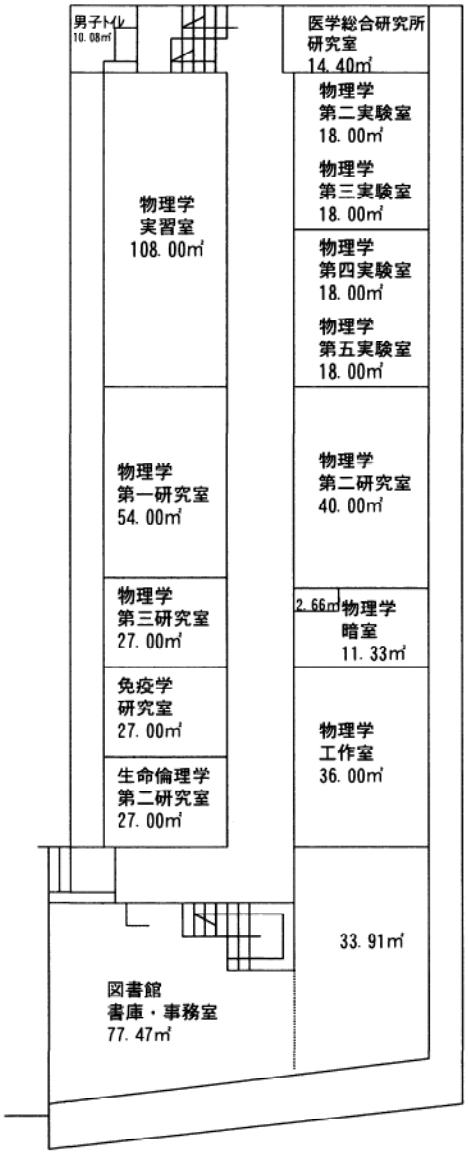


第三校舎

2階
879.41㎡

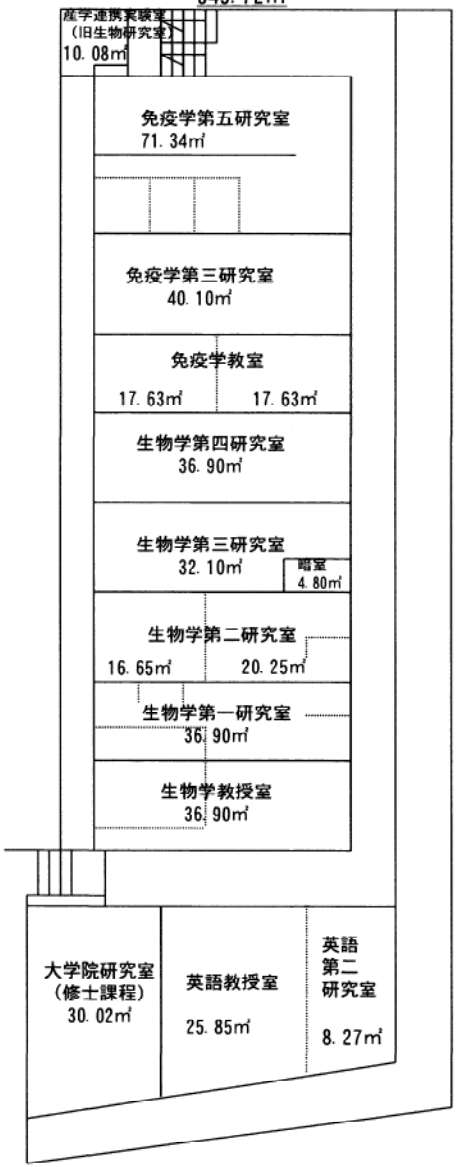


3階
682.70㎡

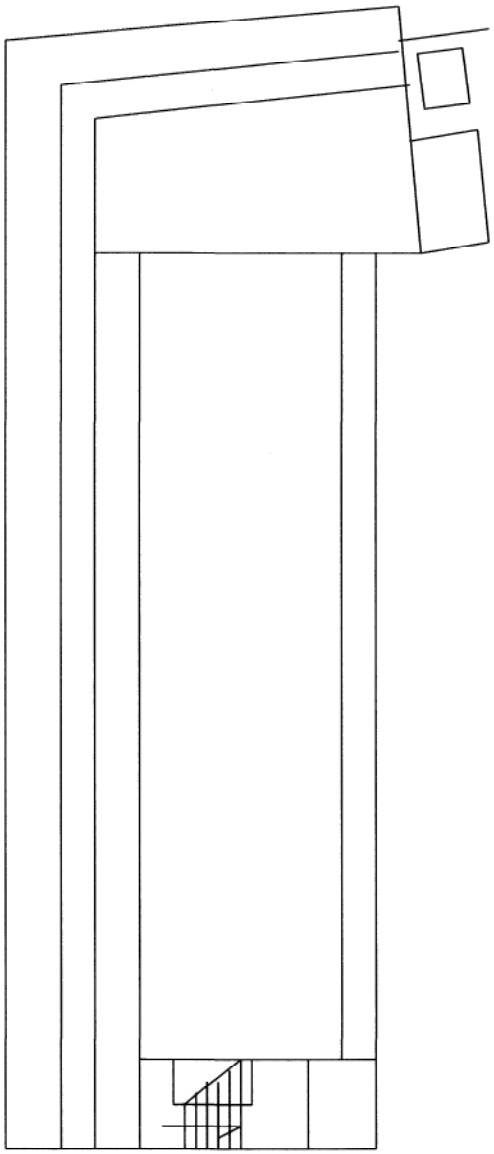


第三校舎

4階
549.72㎡



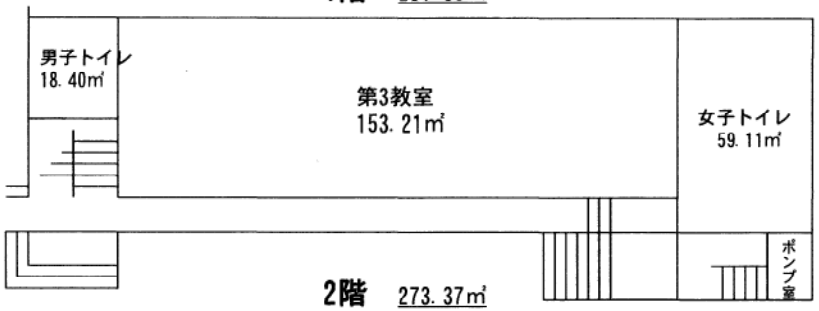
屋階
33.82㎡



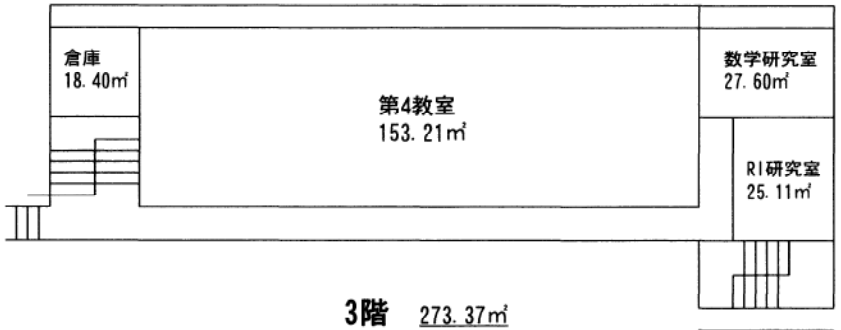
第九校舎

981.98㎡

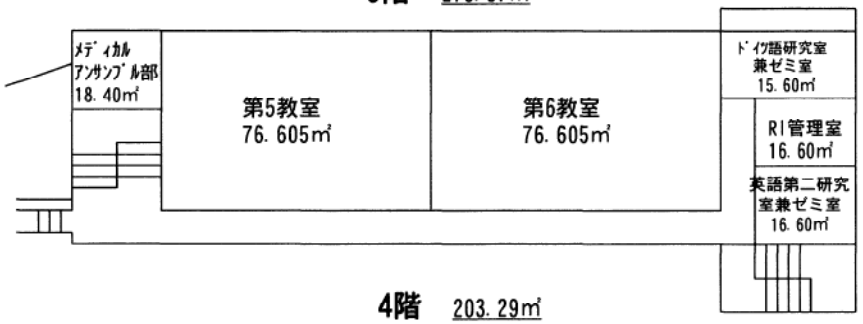
1階 231.95㎡



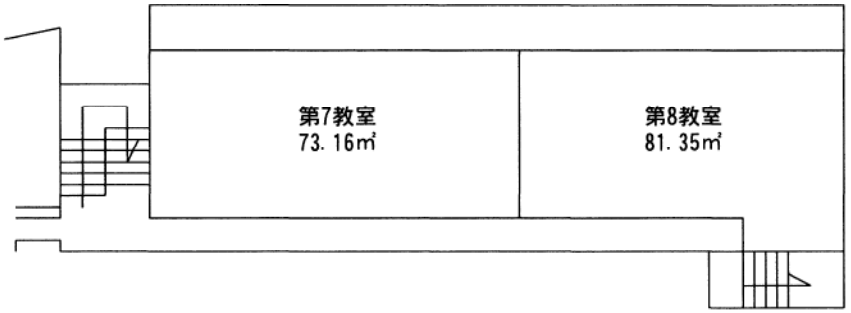
2階 273.37㎡



3階 273.37㎡



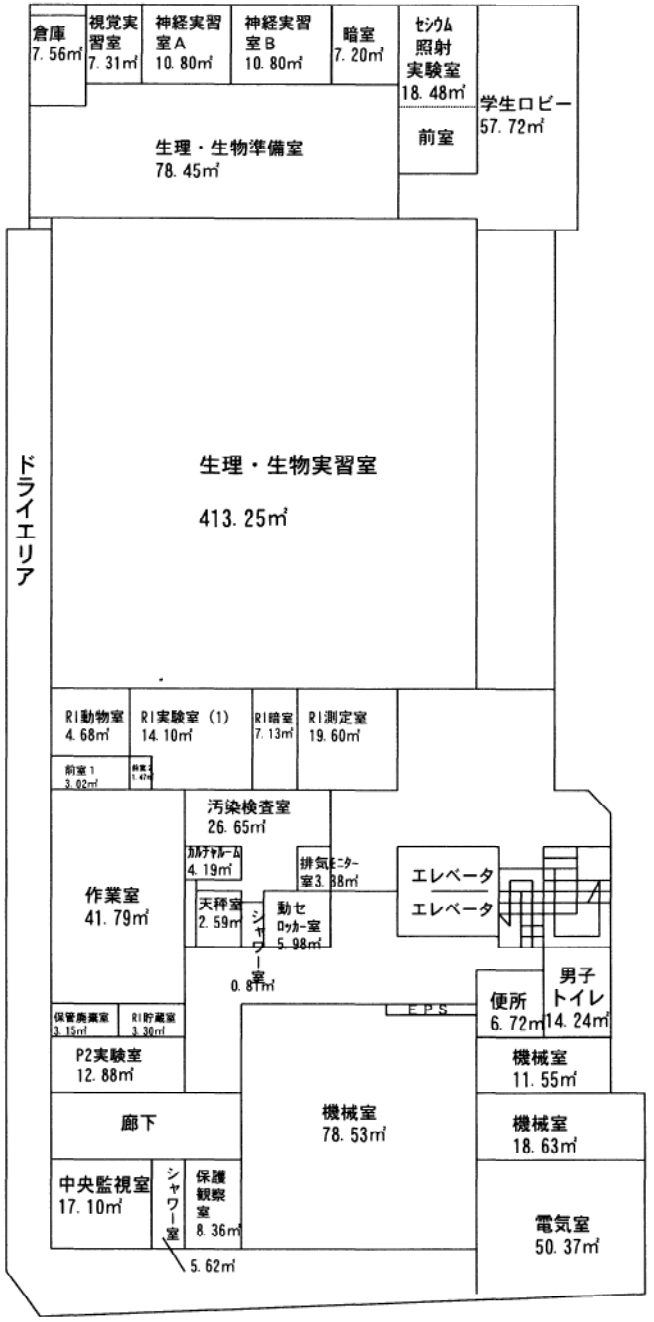
4階 203.29㎡



中央校舎地階

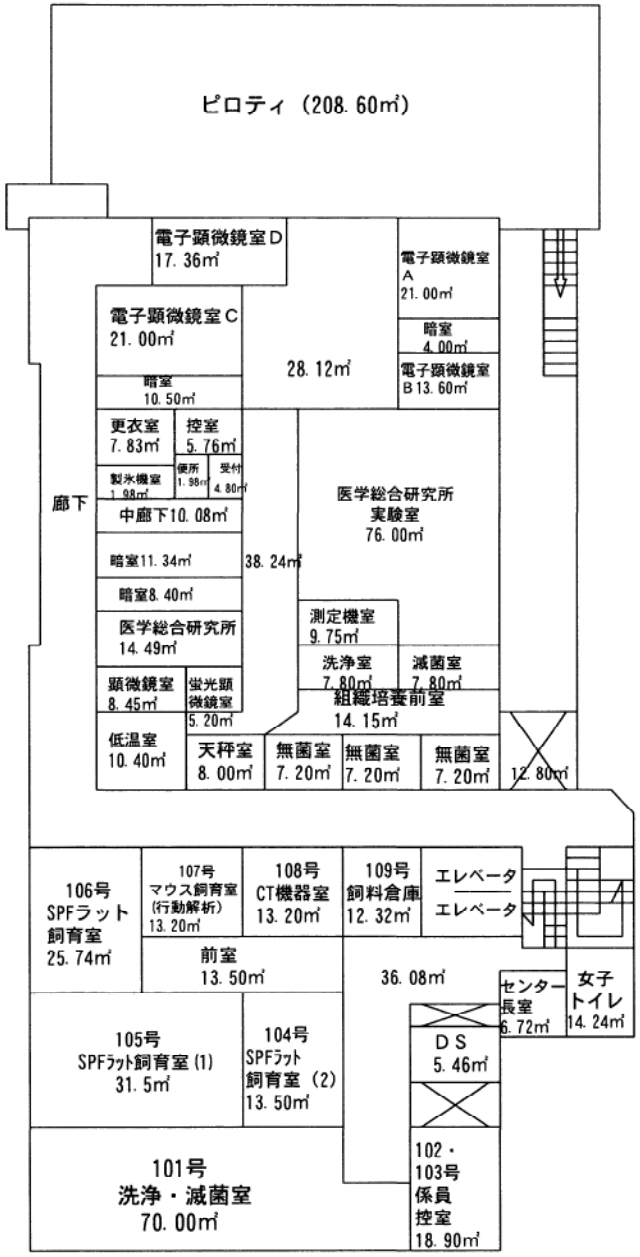
4,209.08㎡

1,097.80㎡



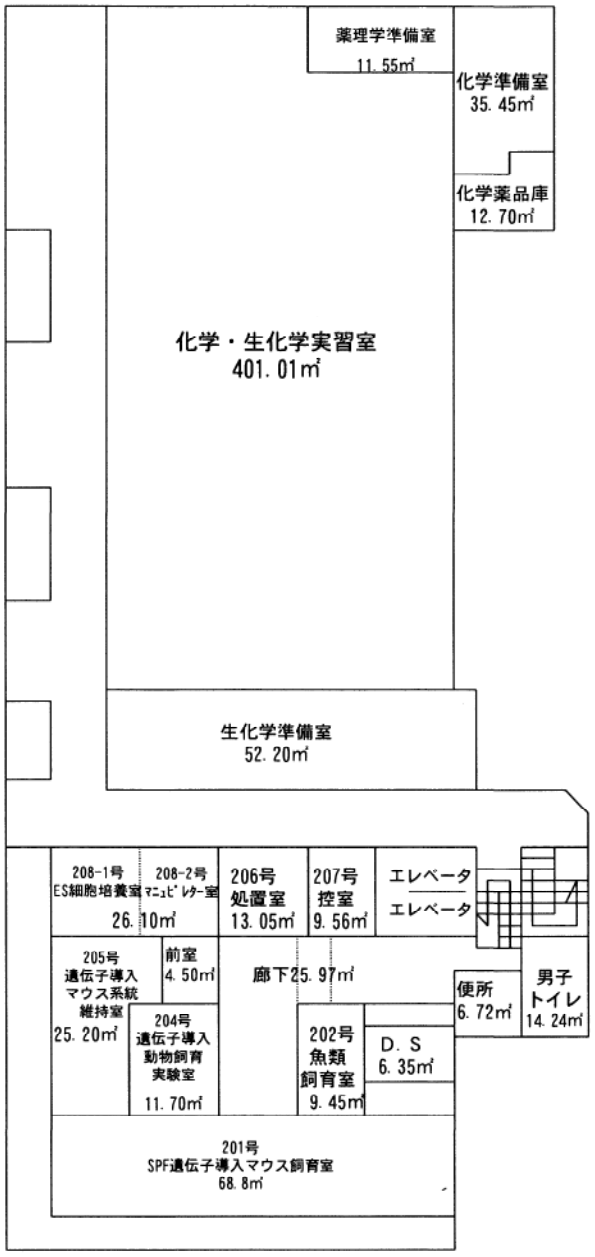
中央校舎１階

840.46㎡



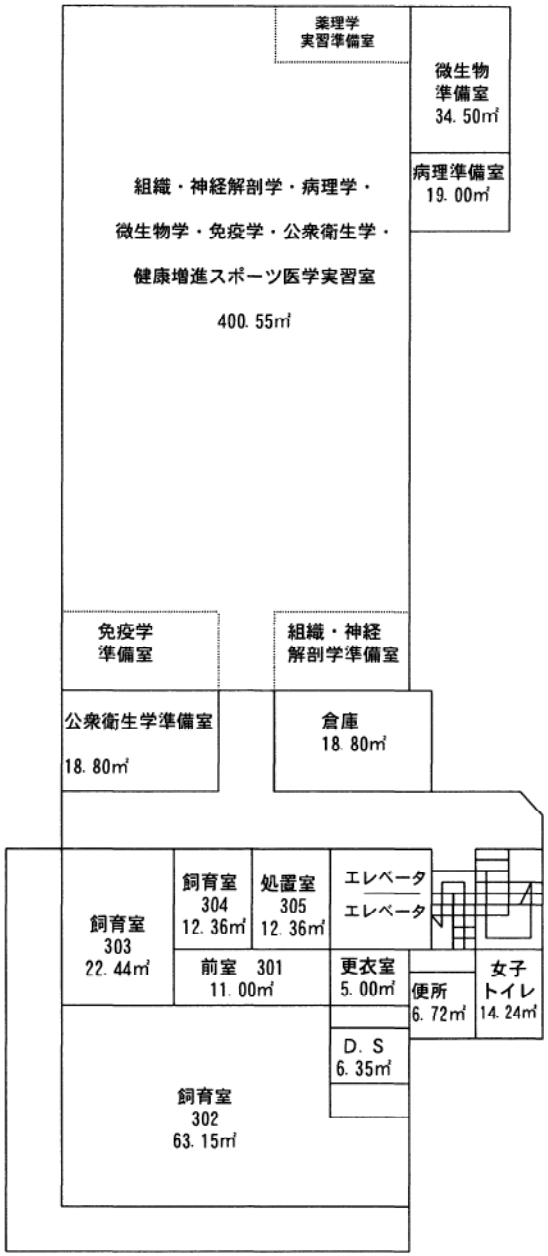
中央校舎２階

948.53㎡



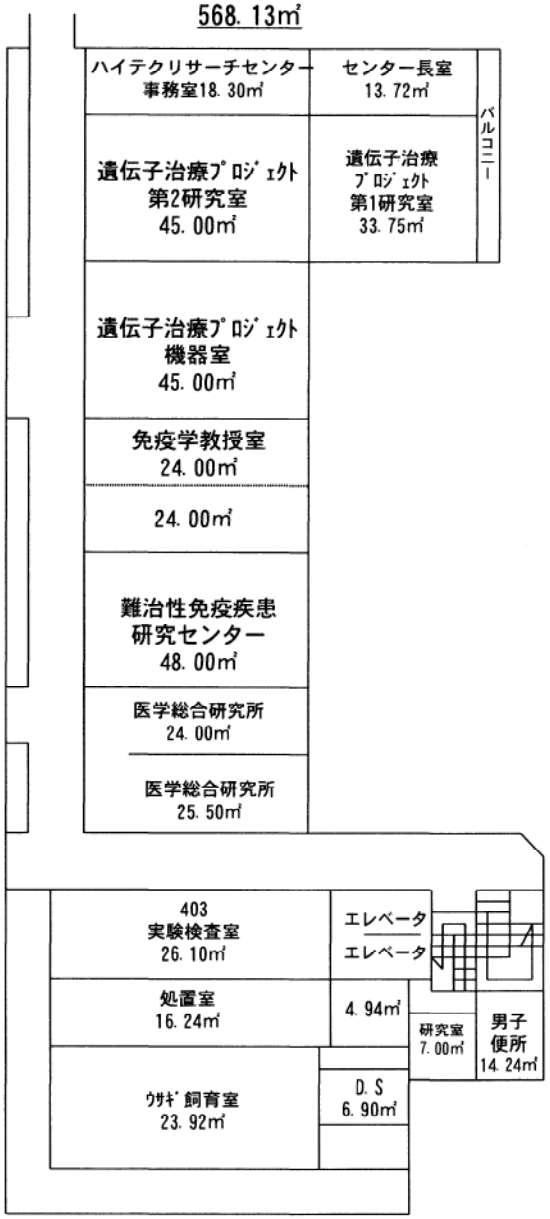
中央校舎３階

754.16㎡



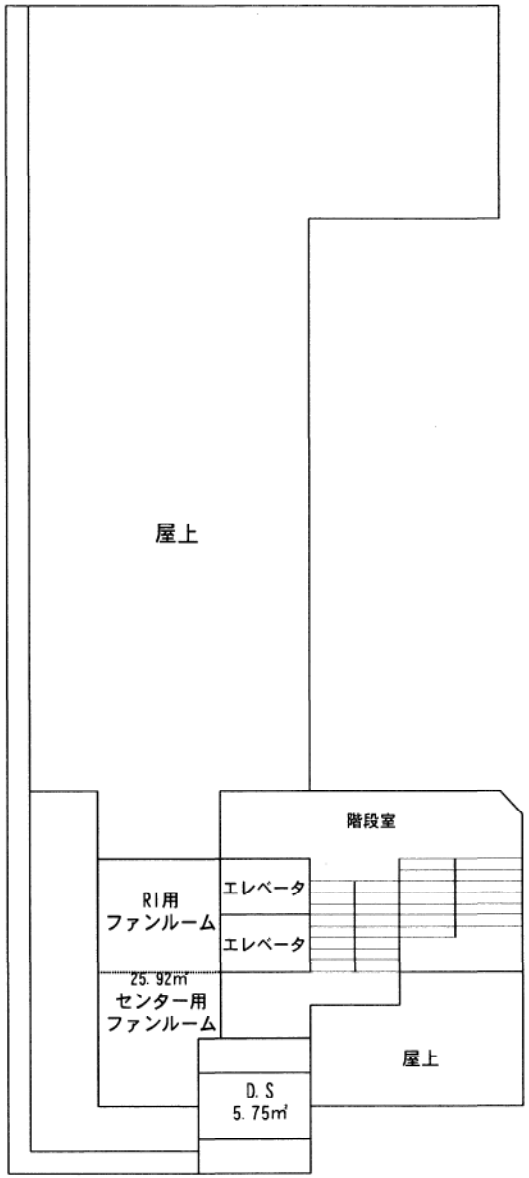
中央校舎４階

568.13㎡



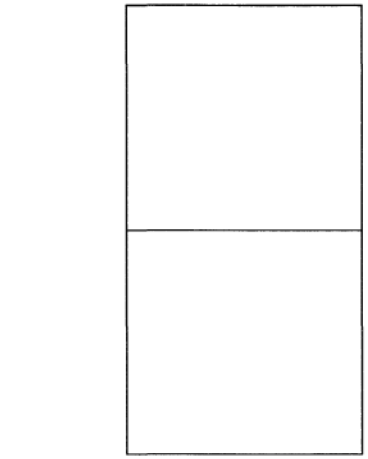
中央校舎５階

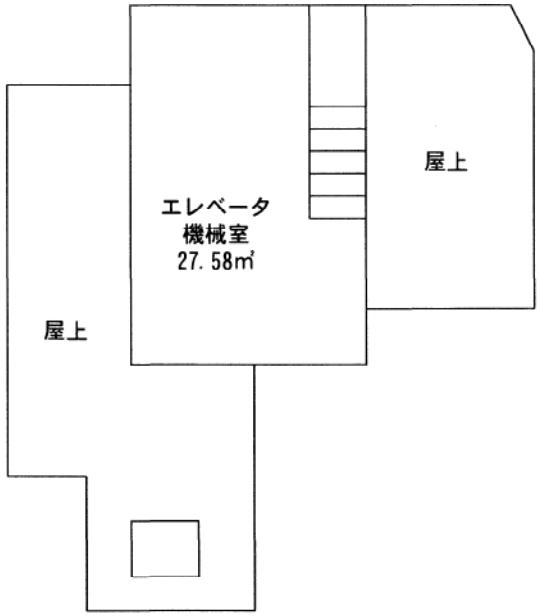
(36.31㎡)



中央校舎

屋上



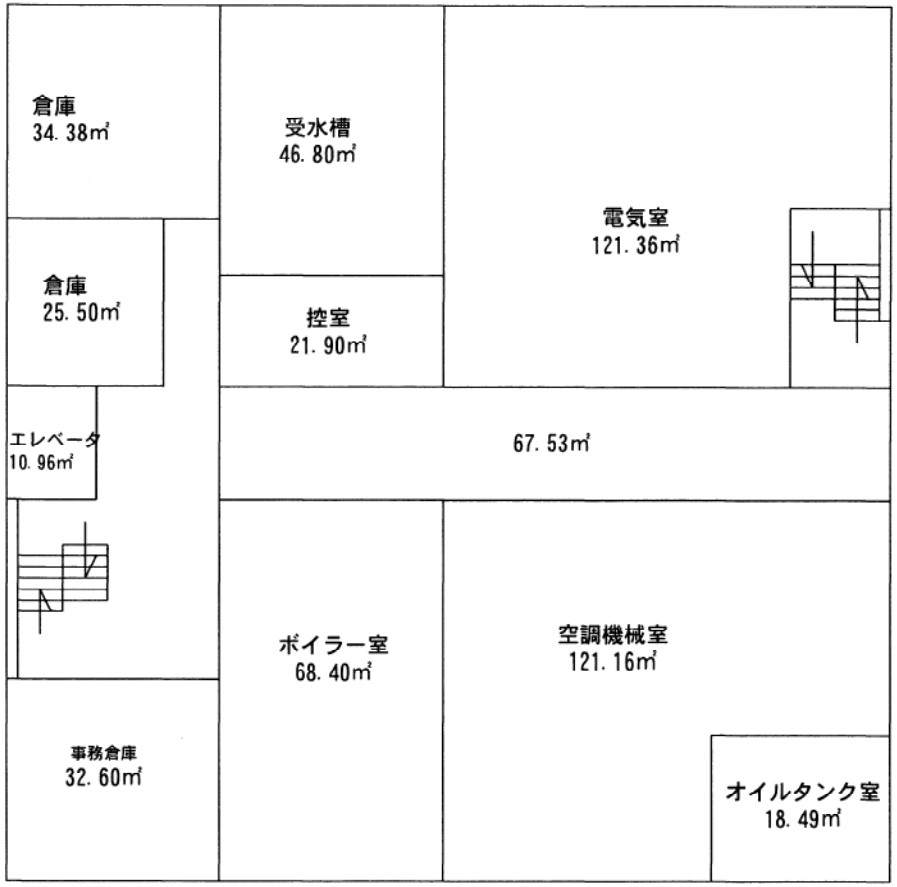


4,498.54㎡

基礎新館

（地下１階）

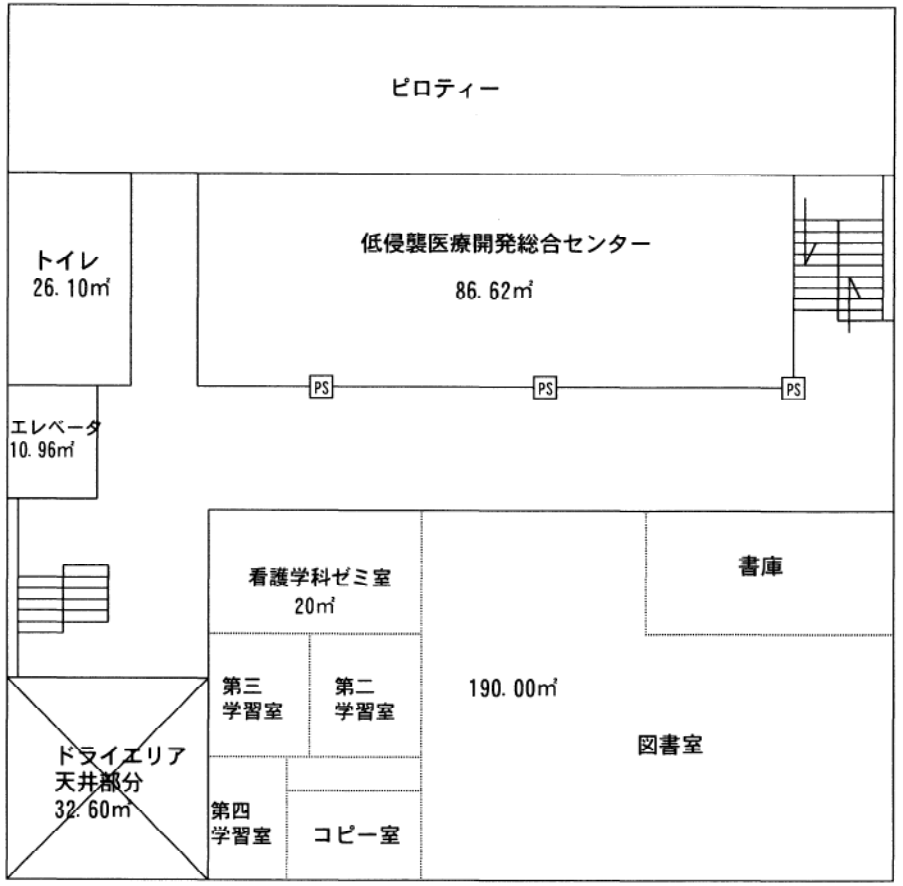
601.77㎡



基礎新館一階

460.63㎡

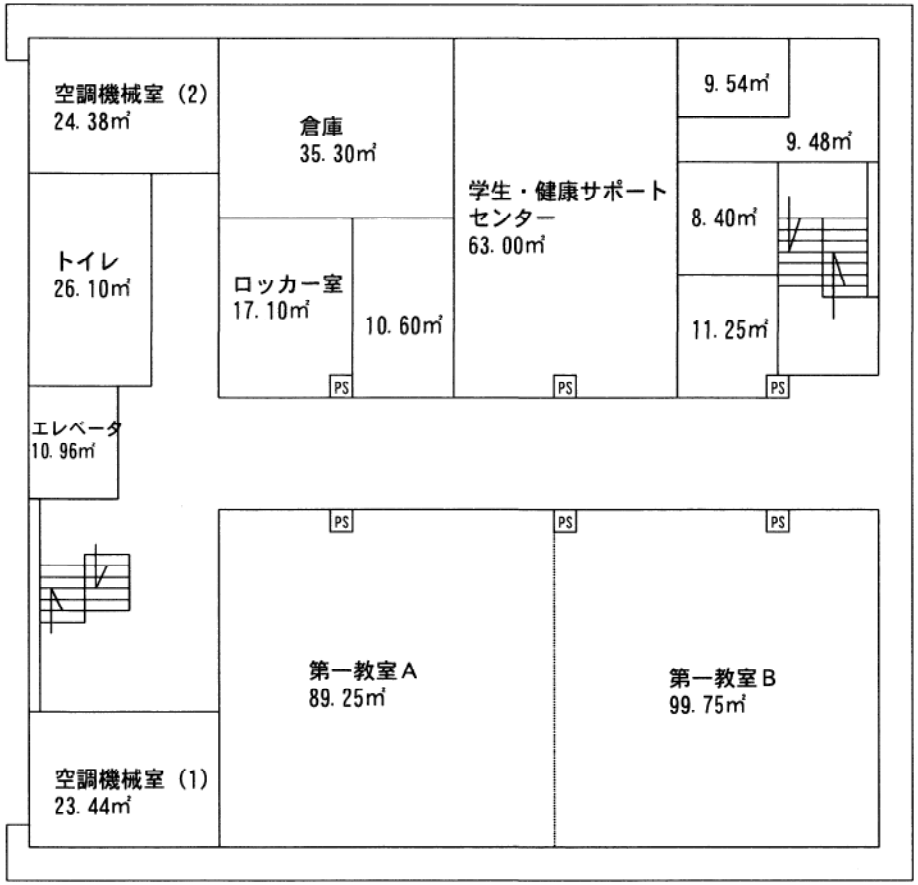
医学科・看護学科



基礎新館二階

572.69㎡

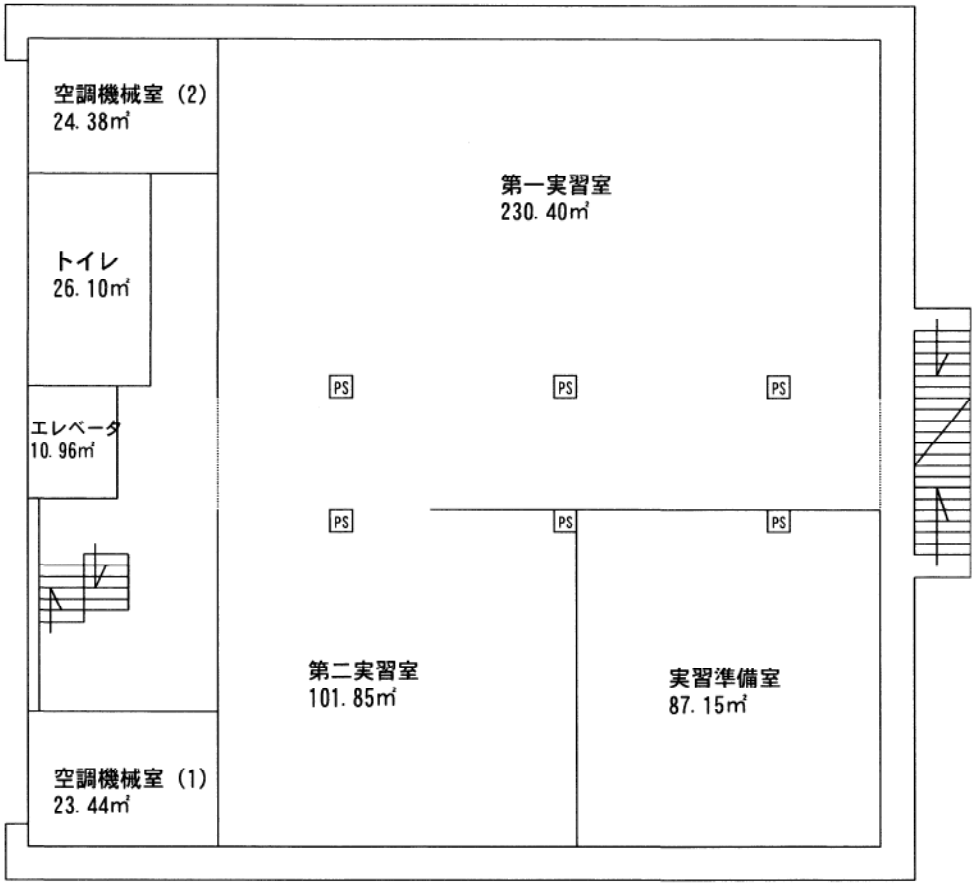
医学科・看護学科



基礎新館三階

572.69㎡

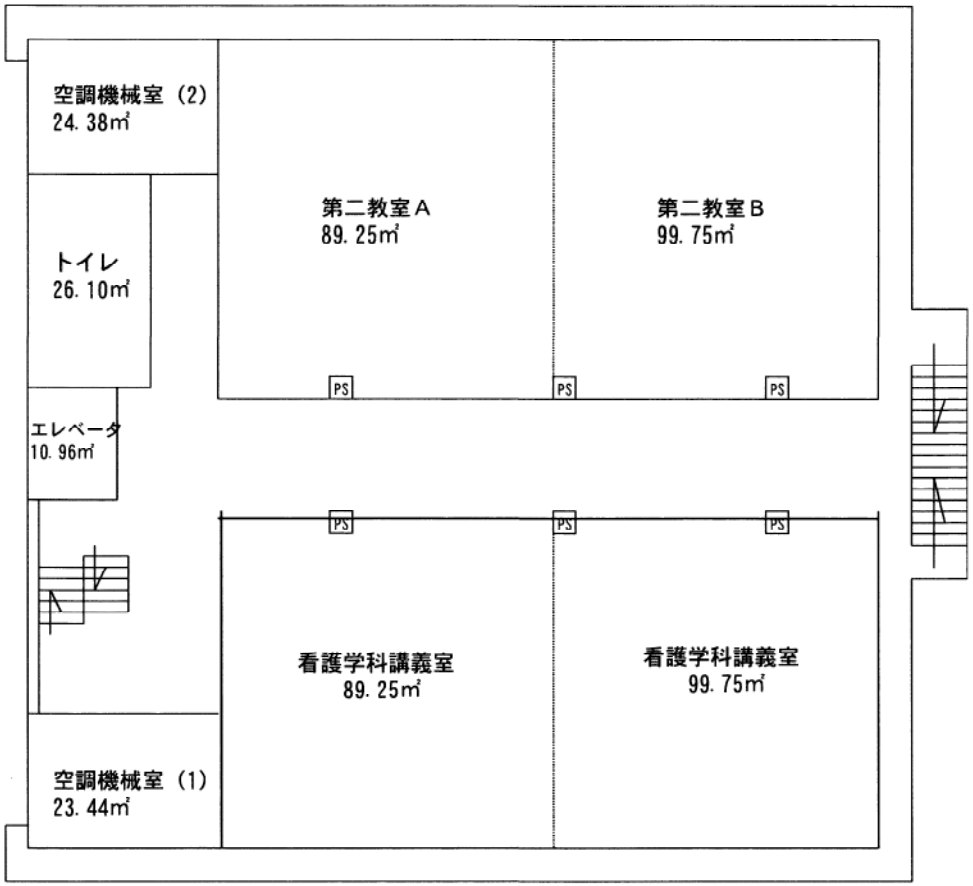
看護学科



基礎新館四階

572.69㎡

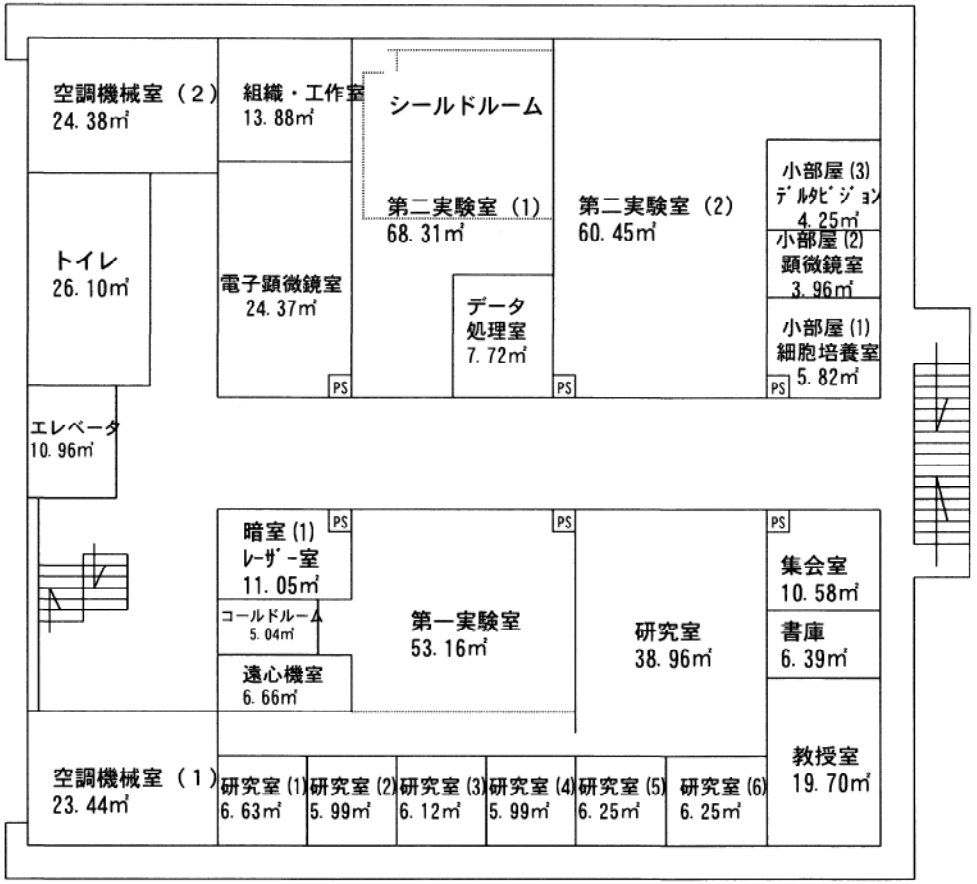
看護学科



基礎新館五階

572.69㎡

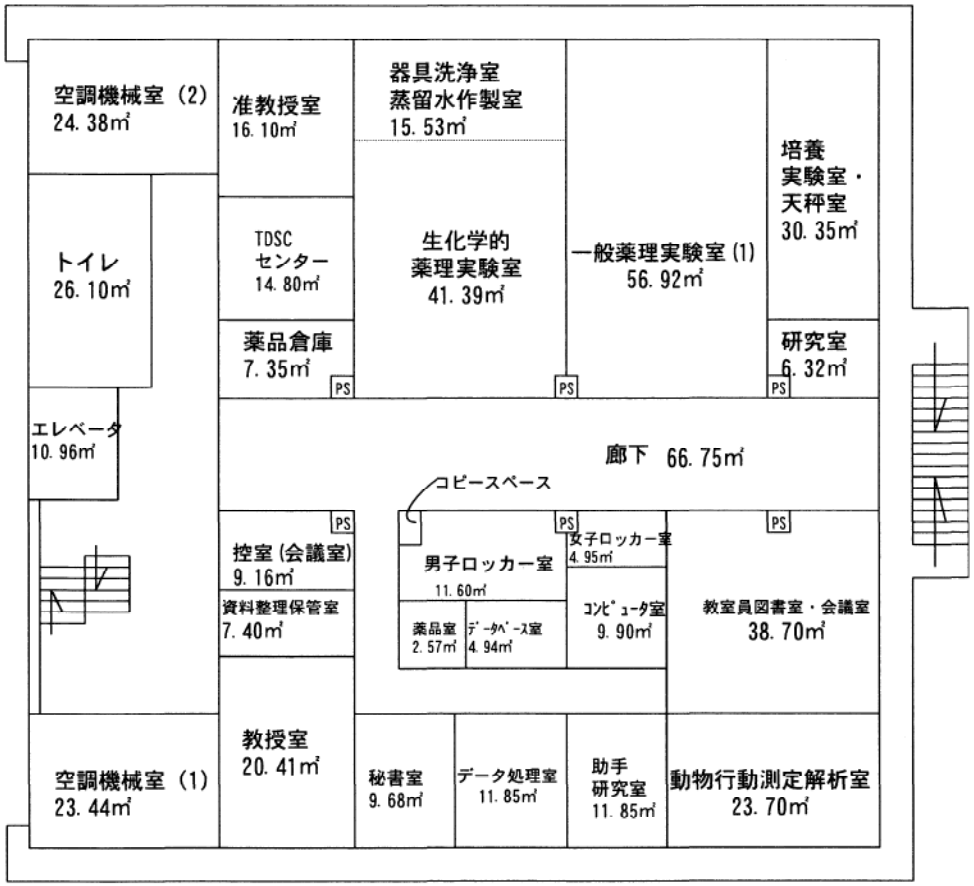
病態生理学



基礎新館六階

572.69㎡

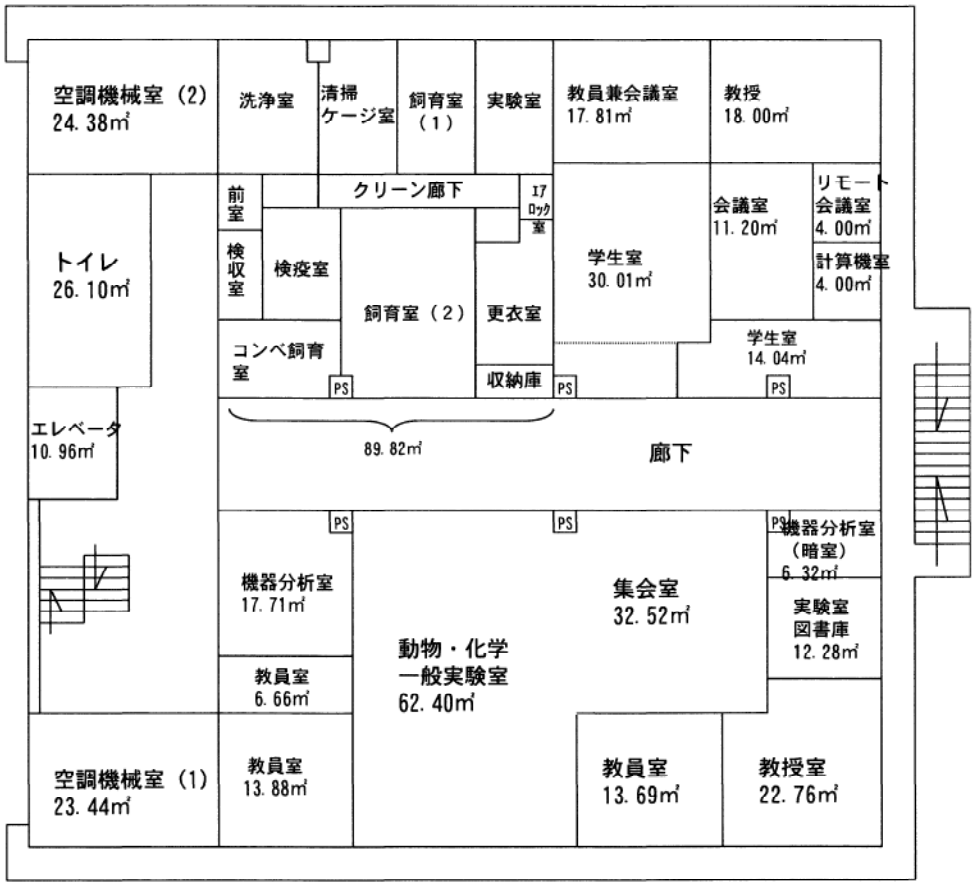
薬理学



基礎新館七階

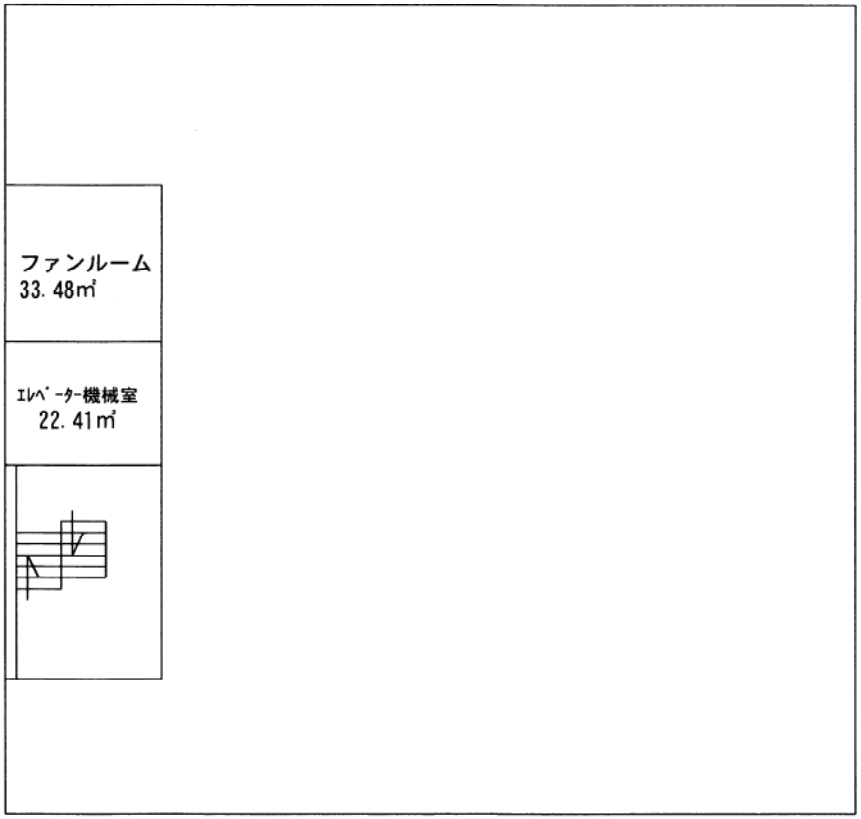
572.69㎡

医療データサイエンス



法医学

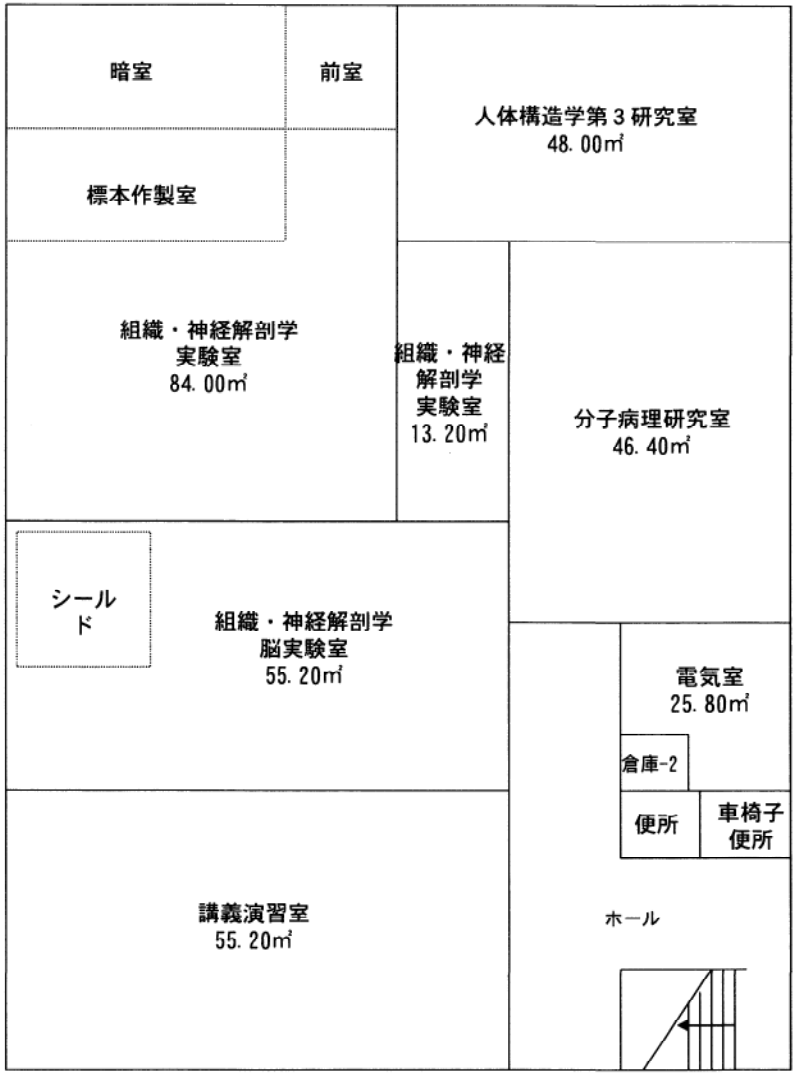
基礎新館屋上



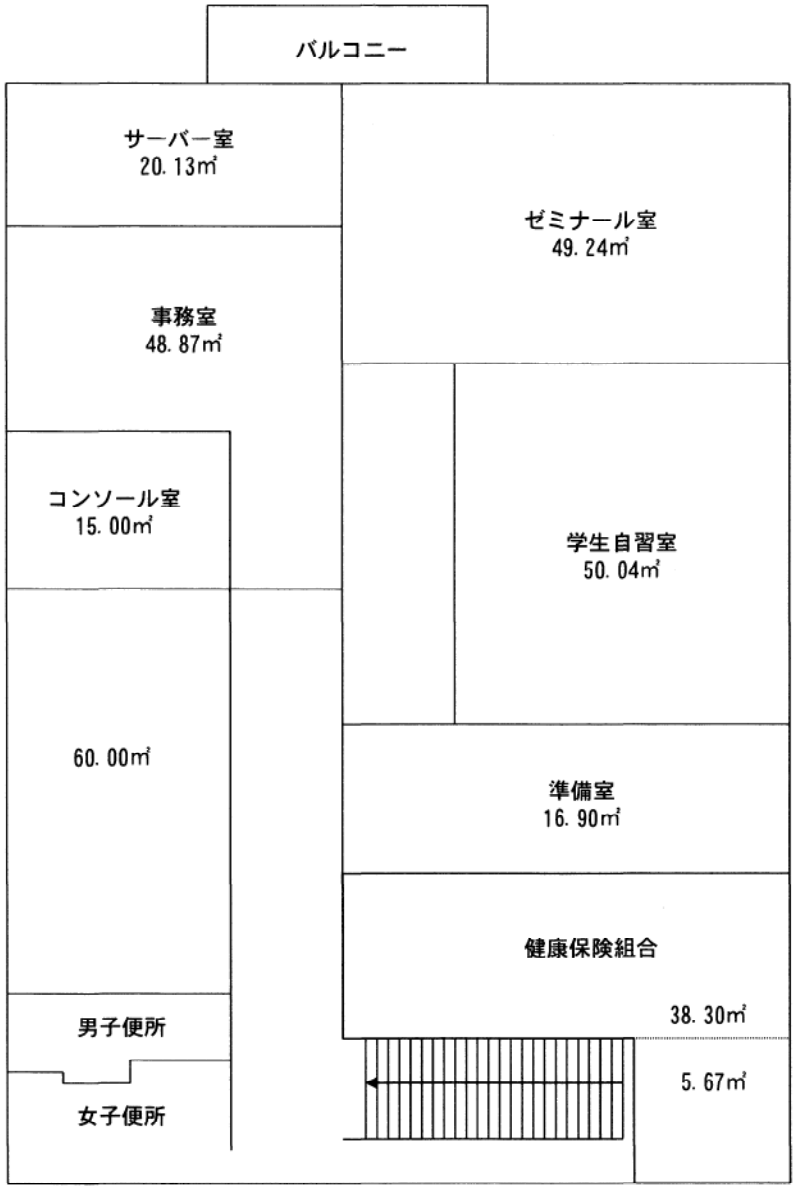
720.00㎡

総合情報部棟１階

360.00㎡

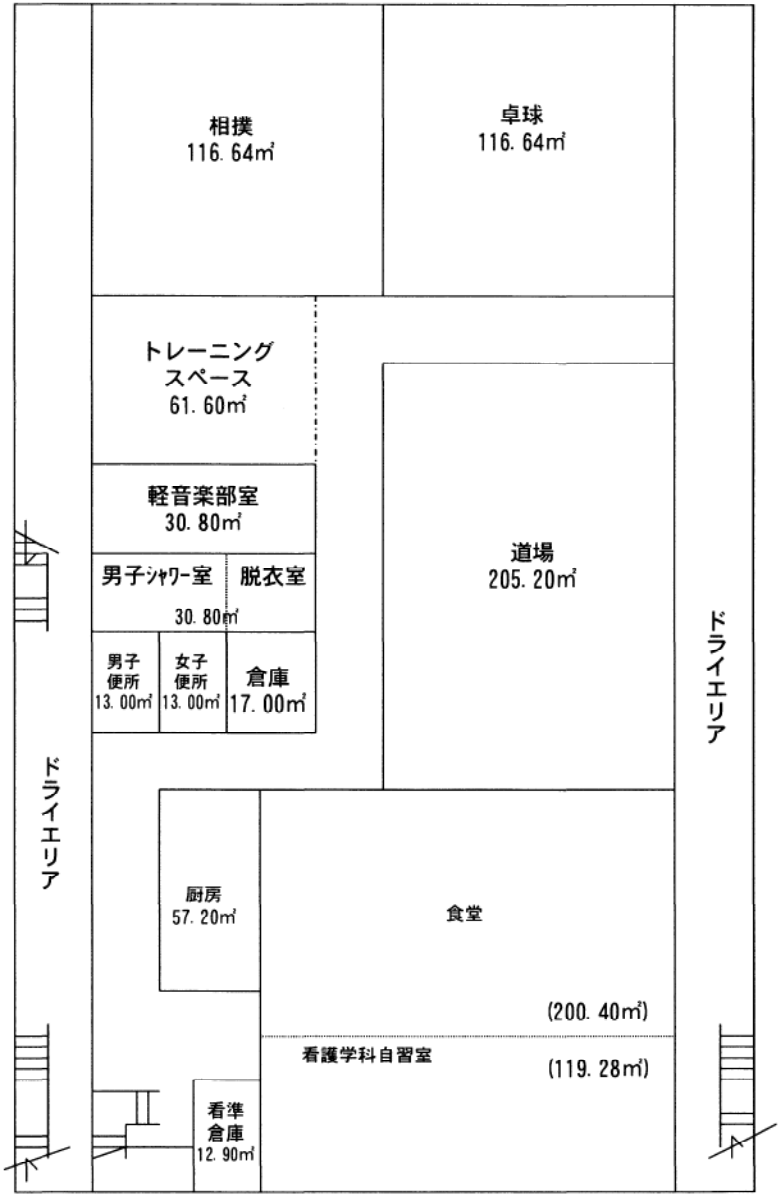


総合情報部棟2階
360.00㎡



記念会館地下
1,166.40㎡

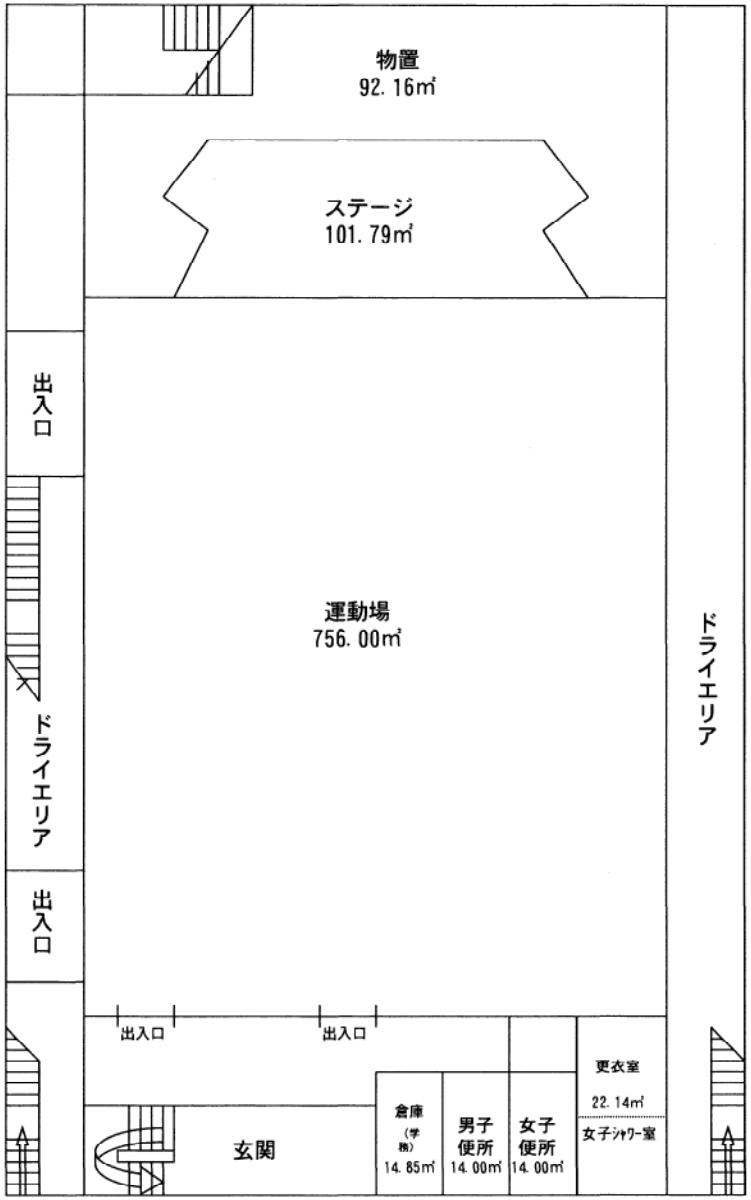
2,750.66㎡



ドライエリア
253.80㎡

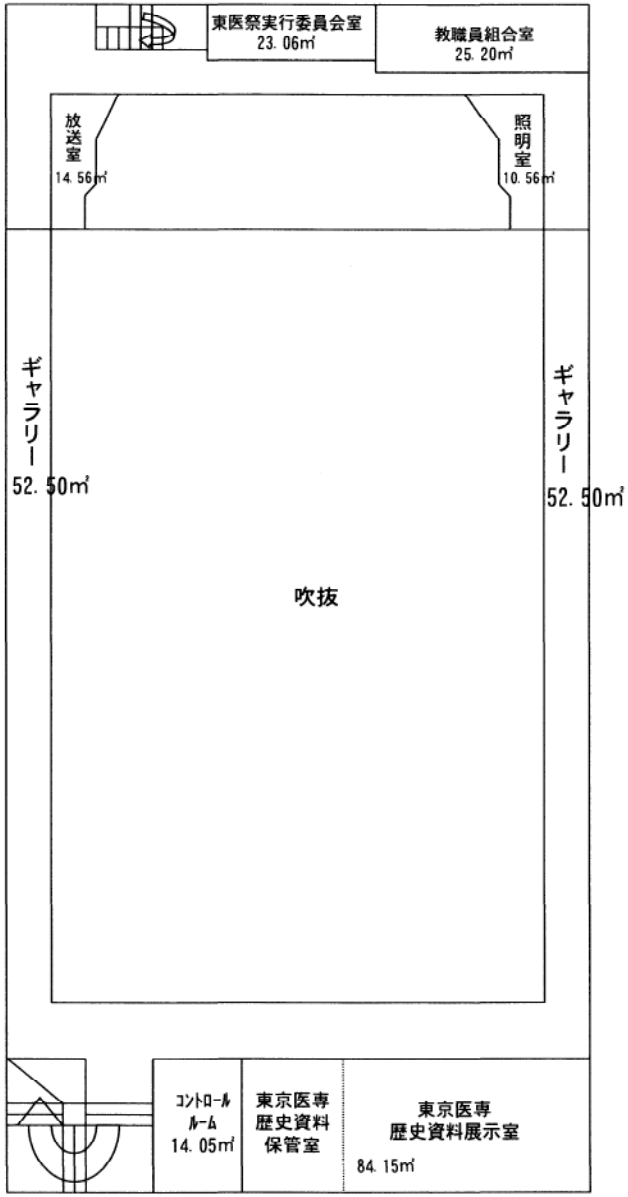
記念会館１階

1,166.40㎡



記念会館2階

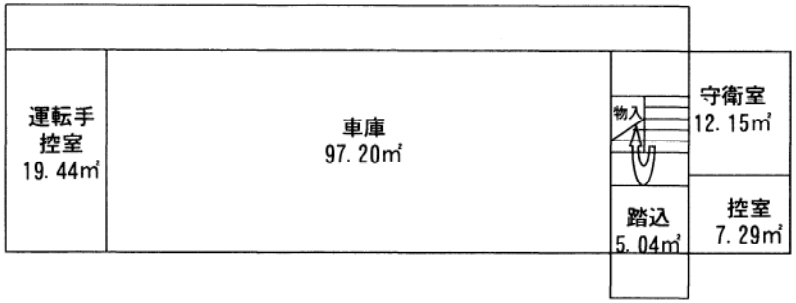
417.86㎡



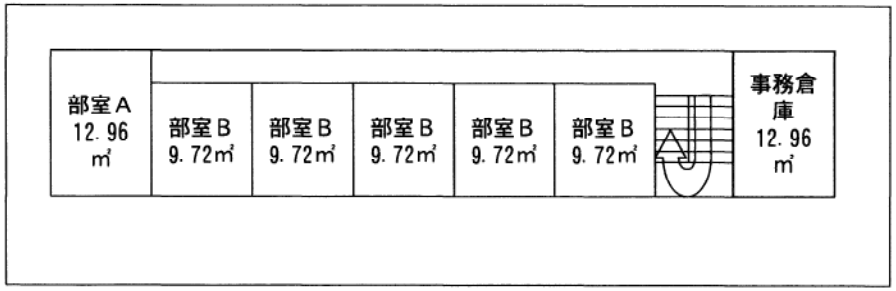
車庫及び部室棟

352.80㎡

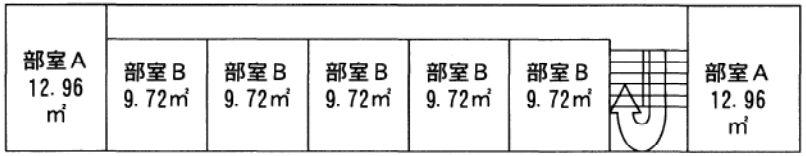
1階　151.20㎡



2階　100.80㎡



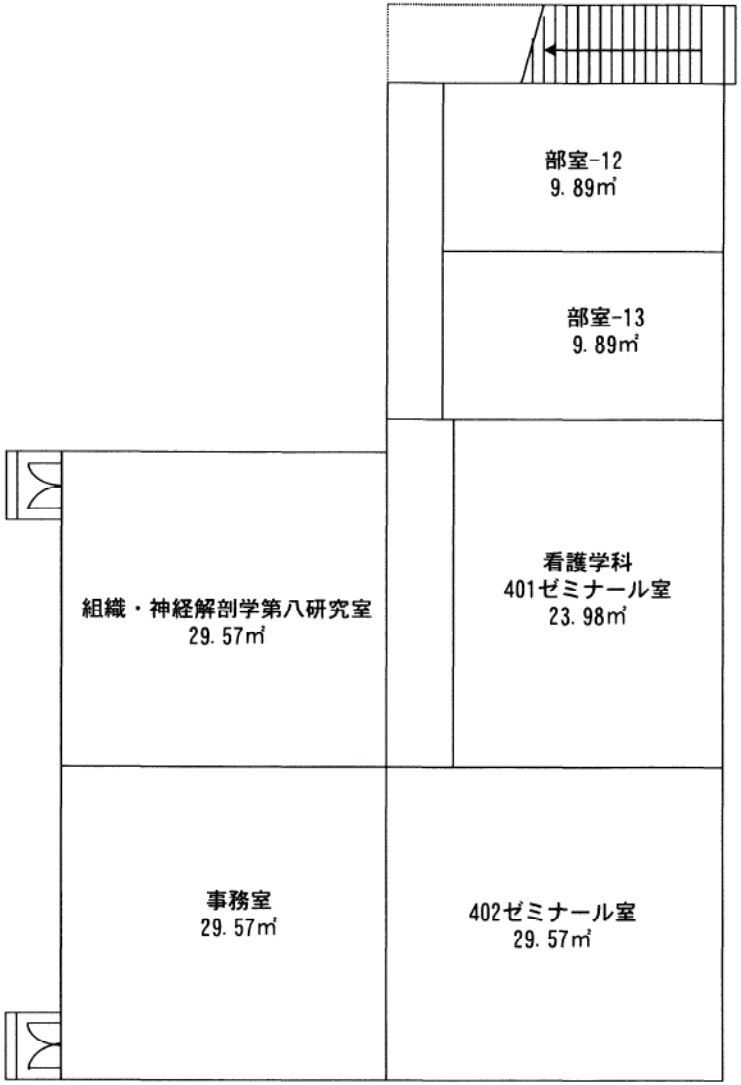
3階　100.80㎡



部室棟1階

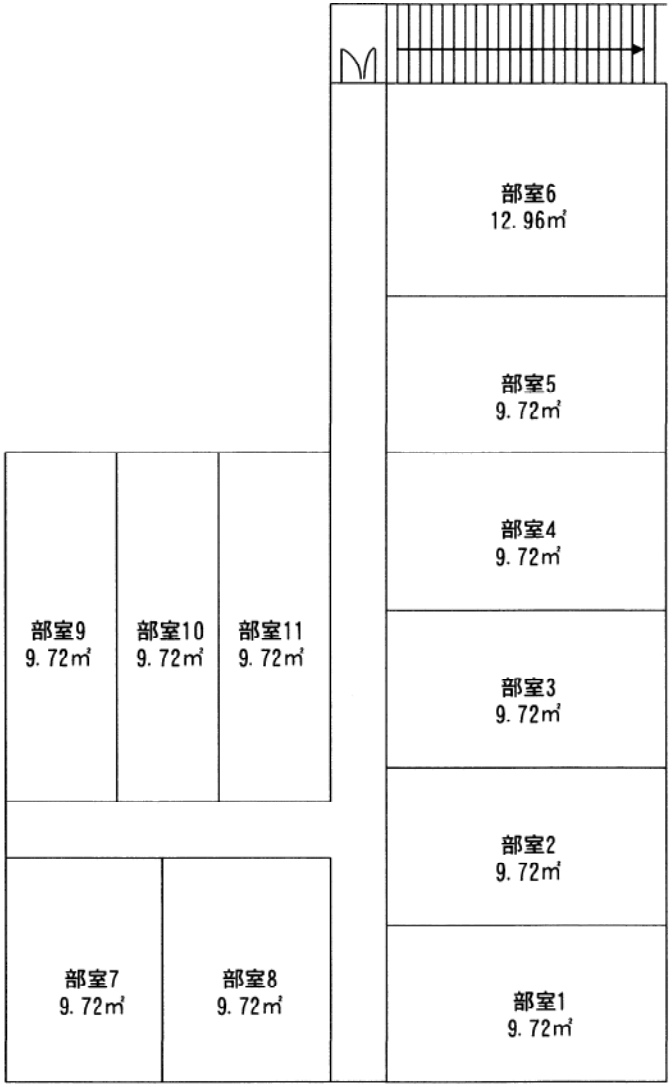
305.50㎡

152.75㎡

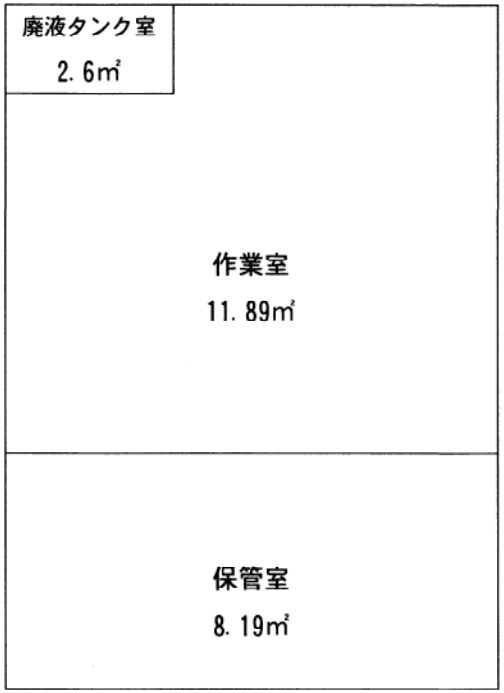


22.68㎡

部室棟2階
152.75㎡



ＲＩ廃液処理棟
22.68㎡



18.14㎡

空調機械室

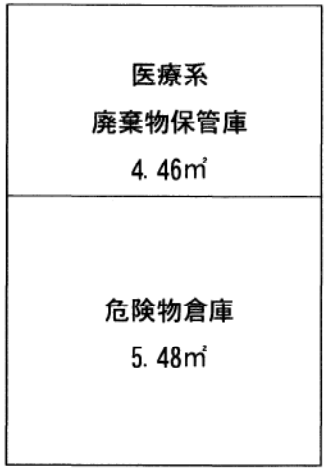
18.14㎡



9.94㎡

危険物倉庫

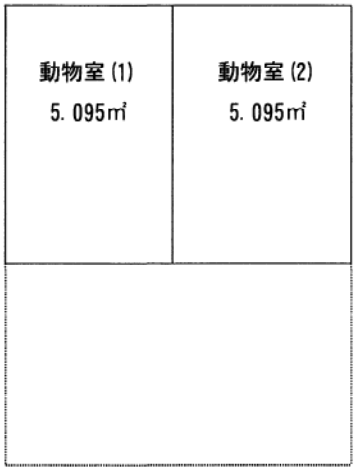
9.94㎡



10.19㎡

動物舎

10.19㎡

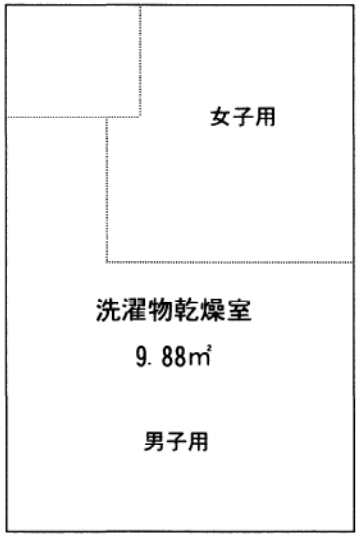


9.88㎡

洗濯物乾燥室

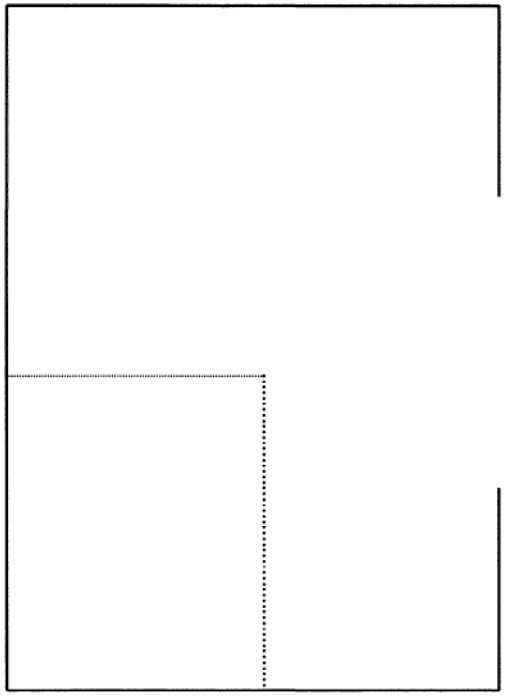
(旧記念会館ﾎﾞｲﾗｰ棟)

9.88㎡



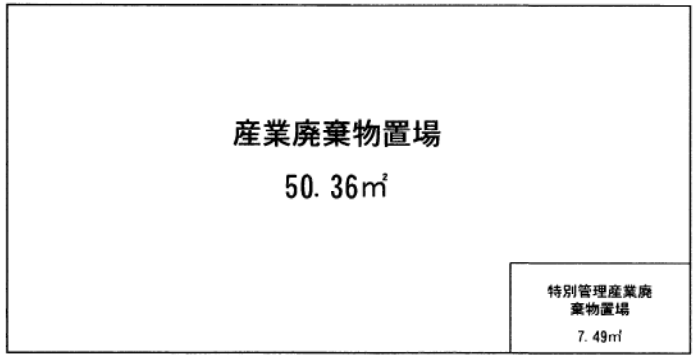
6.55㎡

便所
6.55㎡

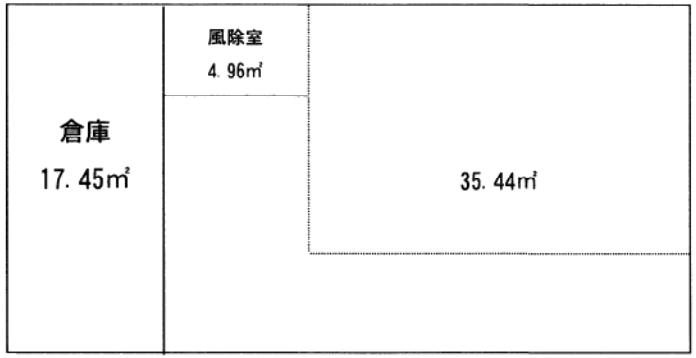


115.70㎡

廃棄物保管庫1階
57.85㎡



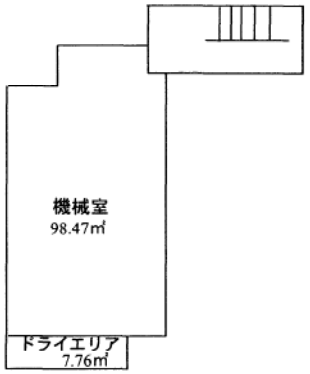
廃棄物保管庫2階
57.85㎡



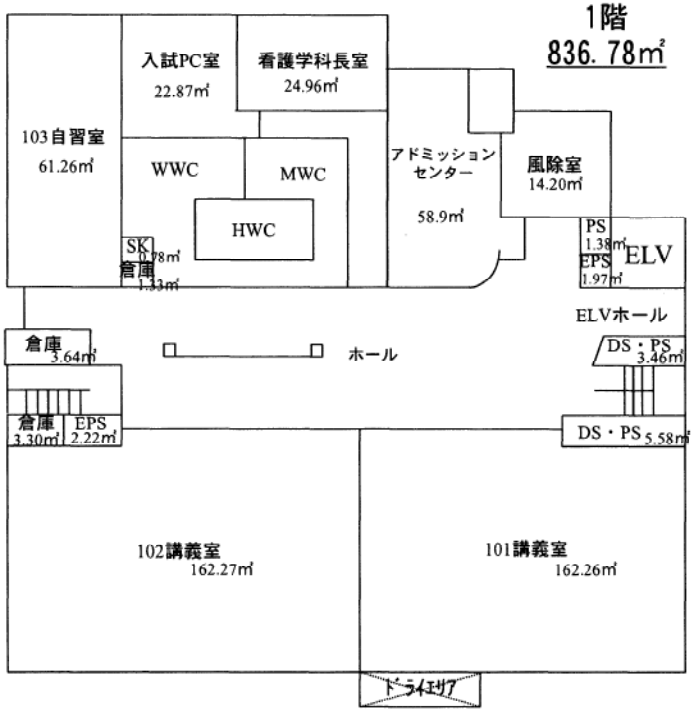
第一看護学科棟

3,896.18㎡

B1階
139.15㎡

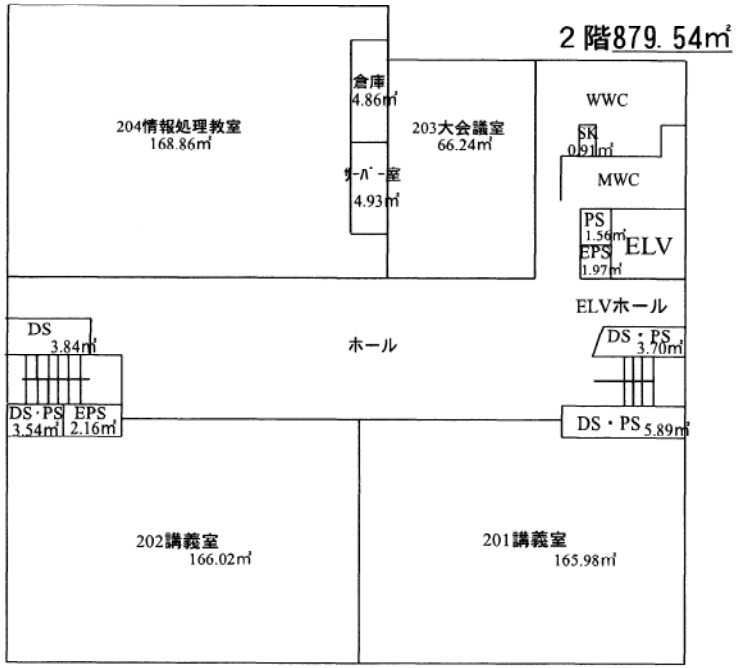


1階
836.78㎡

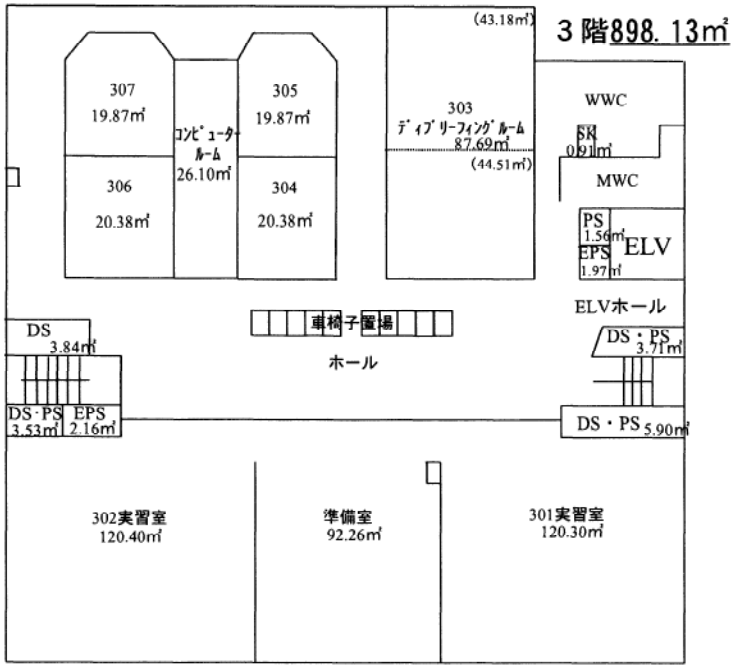


第一看護学科棟

2階879.54㎡

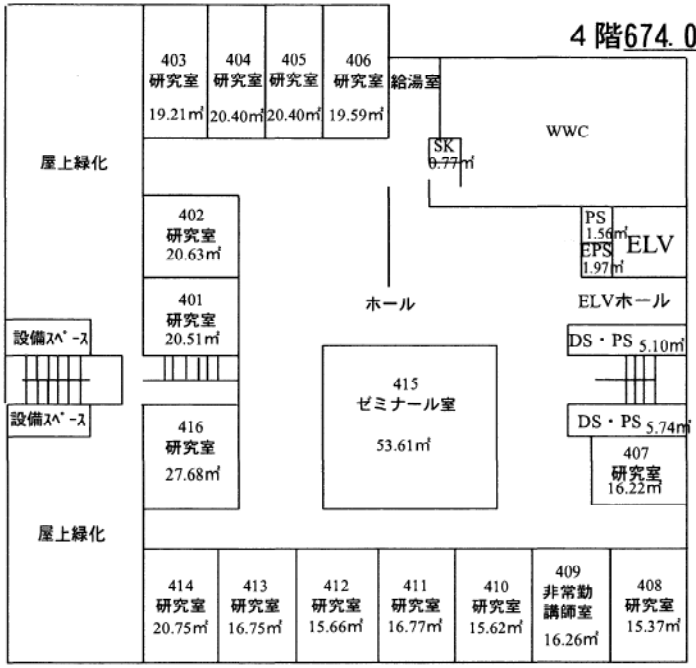


3階898.13㎡

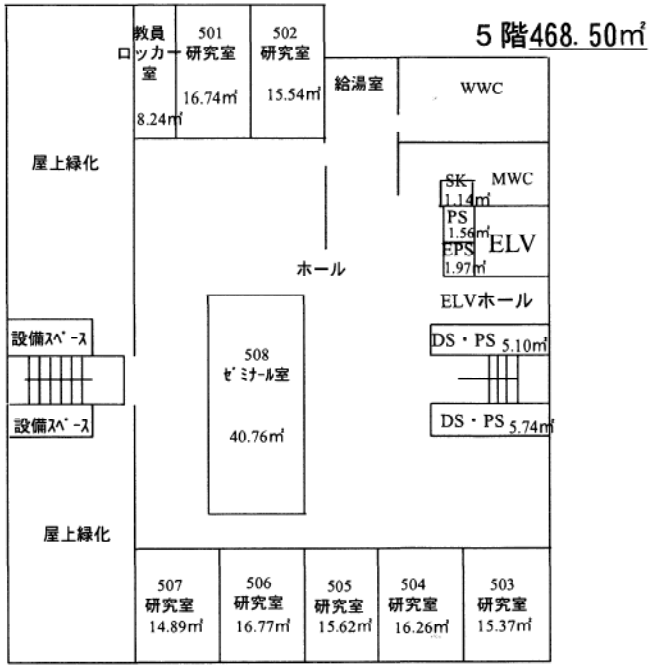


第一看護学科棟

4階674.08㎡



5階468.50㎡



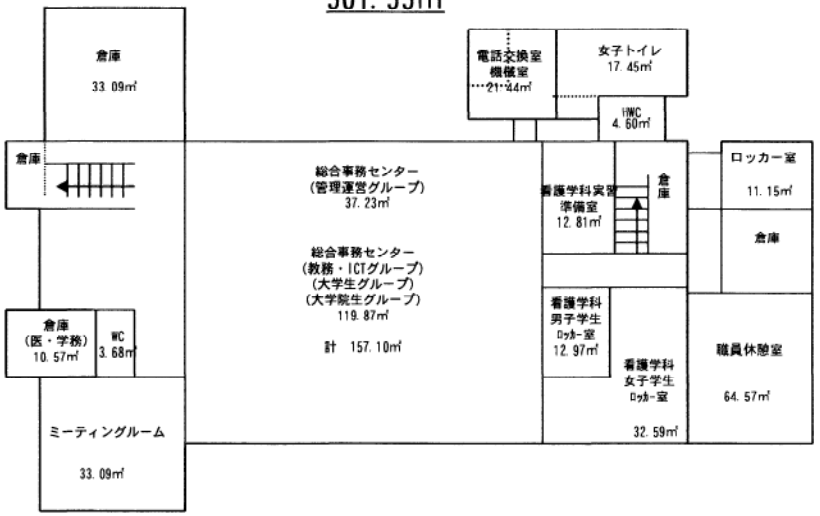
第二看護学科棟

1,301.61㎡

（旧本部棟）

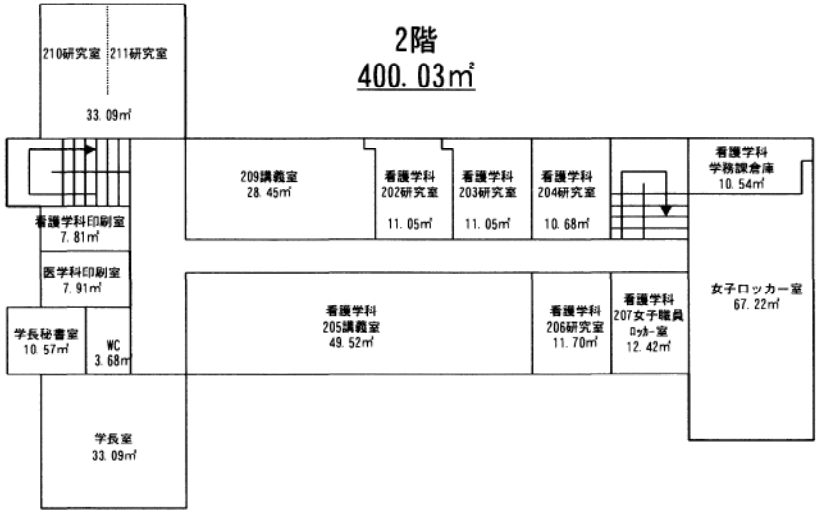
1階

501.55㎡



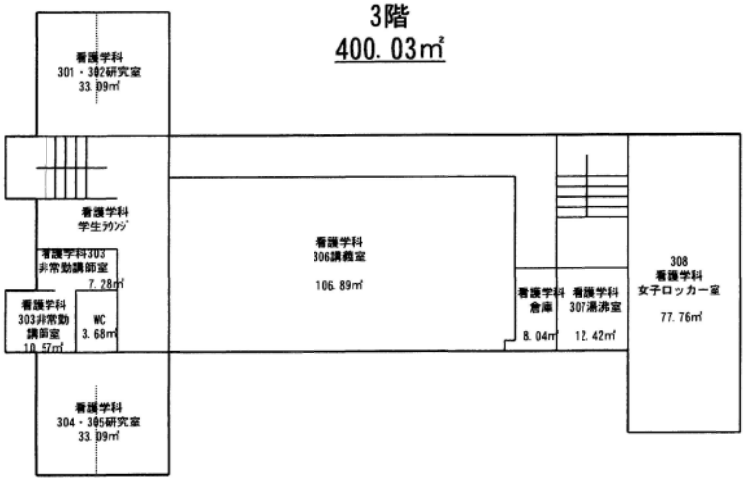
2階

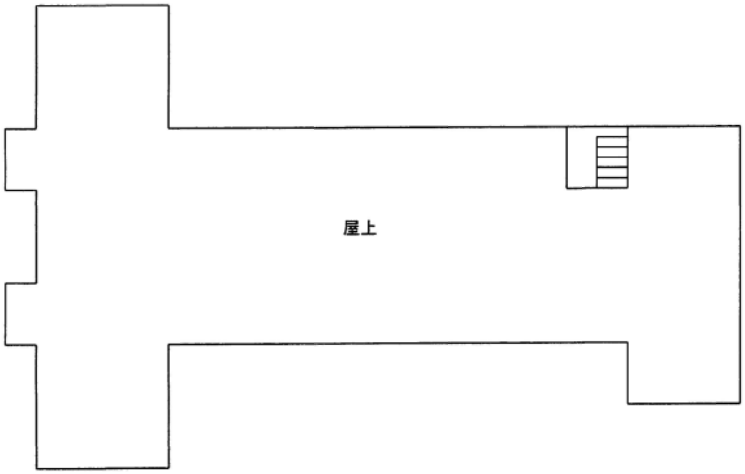
400.03㎡



第二看護学科棟
（旧本部棟）

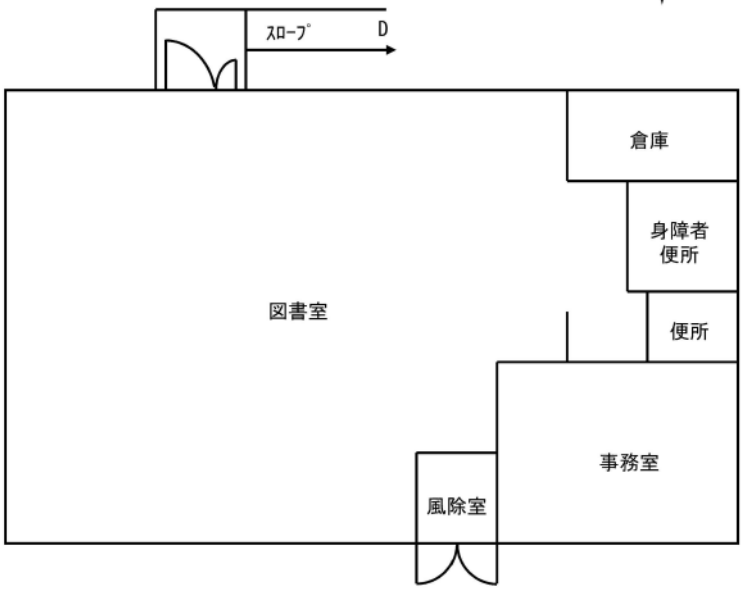
3階
400.03㎡



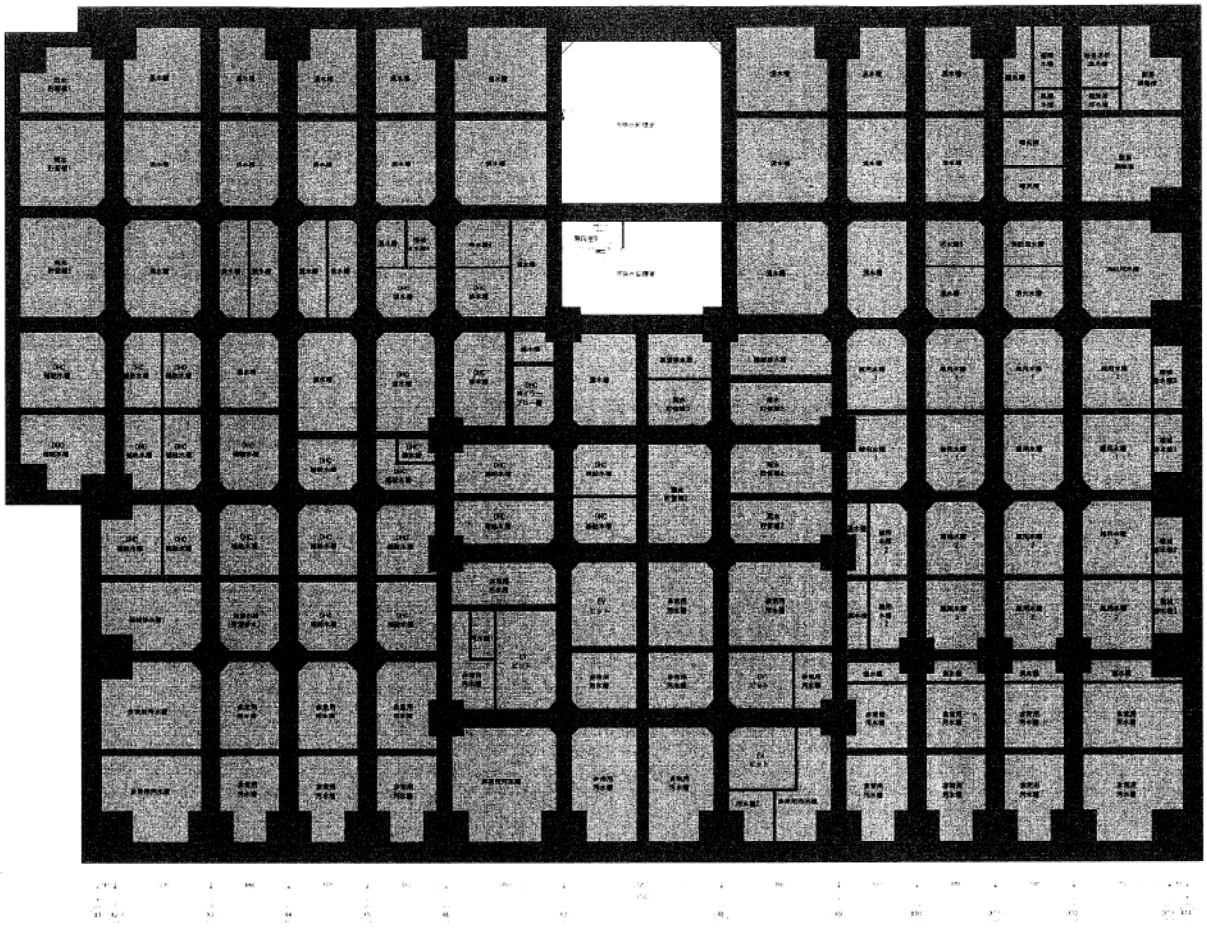


図書館　世田谷分館

131.36㎡

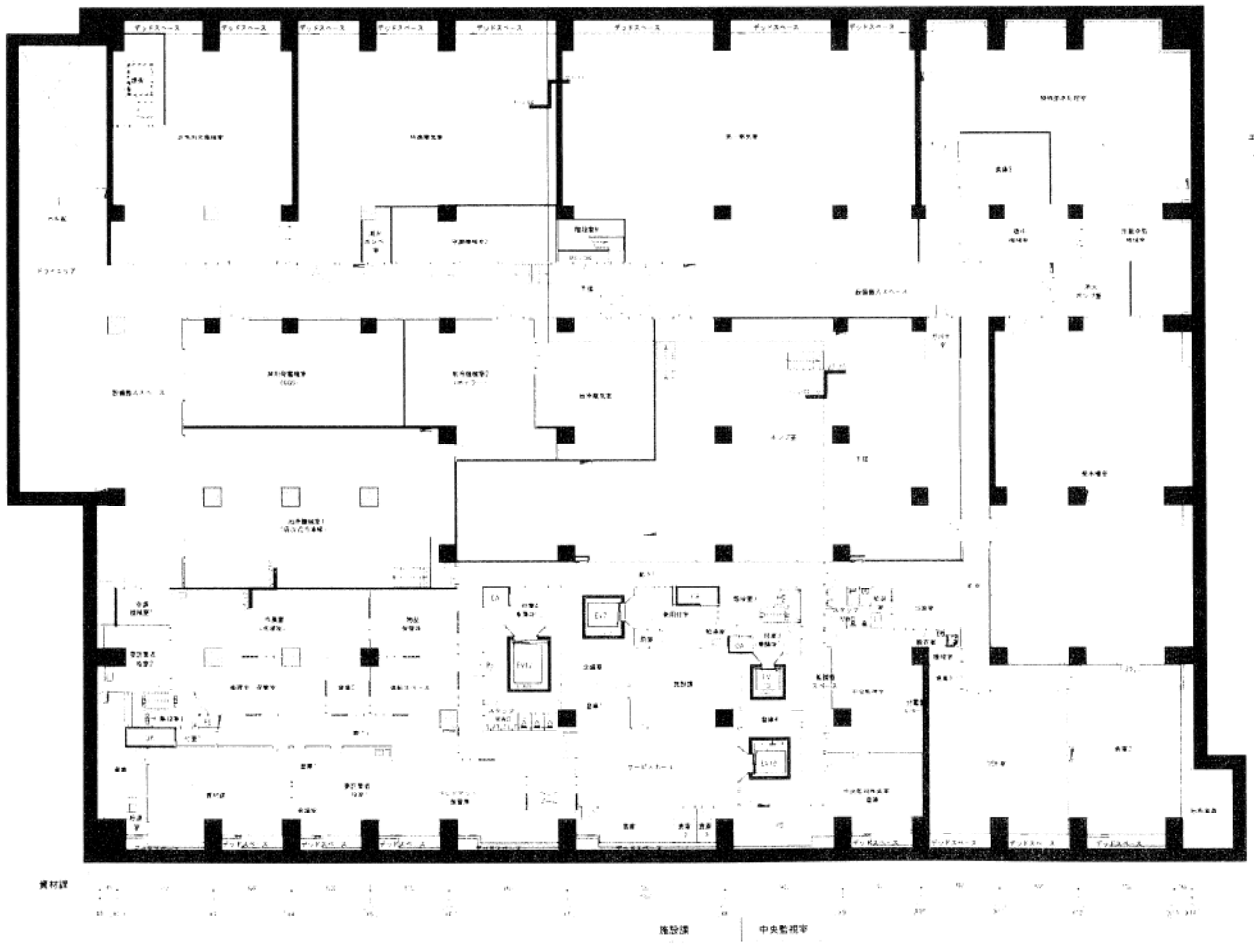


病院棟　地下3階　336.89㎡
建築基準法　336.89㎡



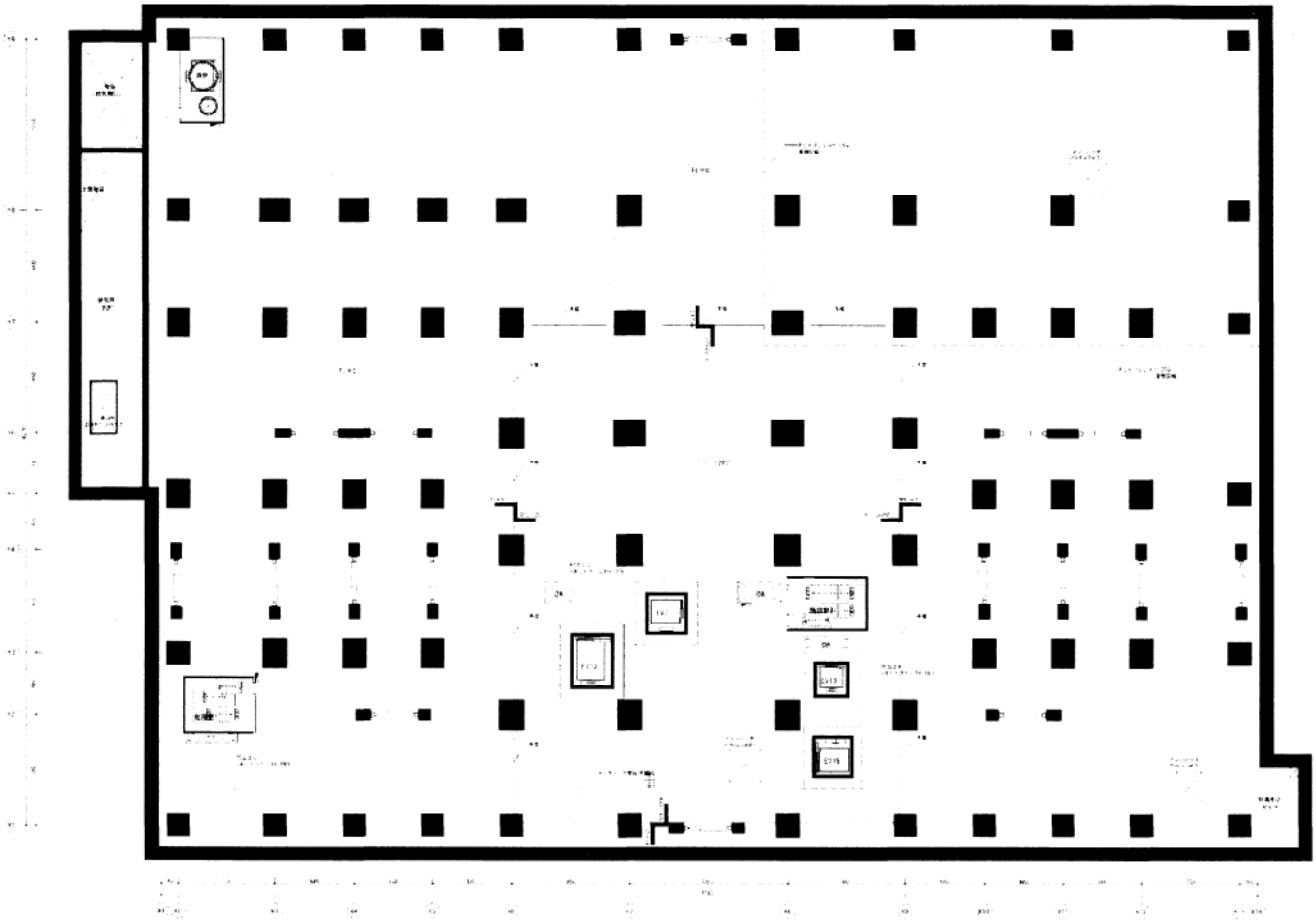
東京医科大学病院　地階　平面図　　S=1：300（A3版）　　2023.04.0*　　東京医科大学病院施設課

病院棟　地下2階　6,264.02㎡
建築基準法　6,191.45㎡



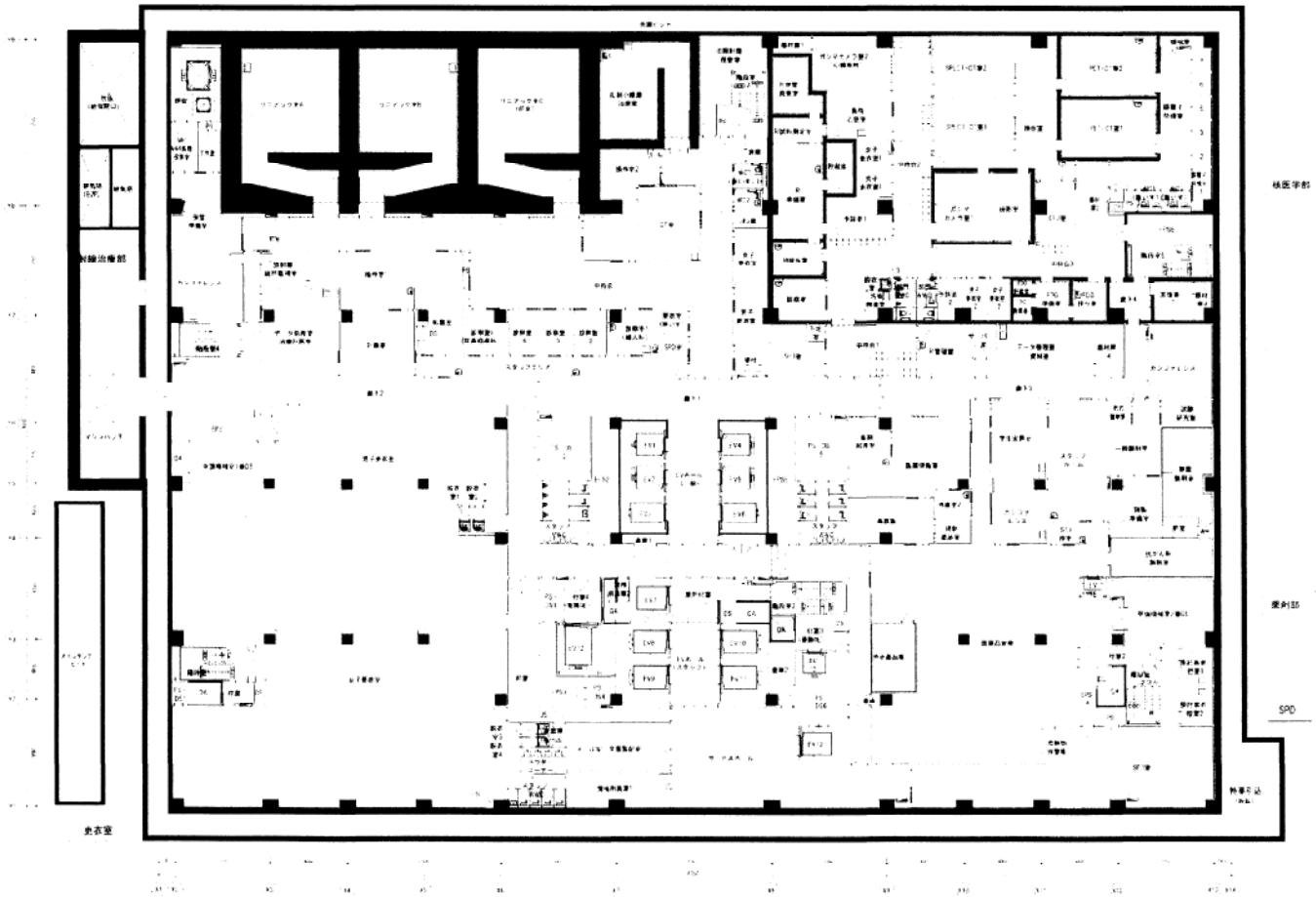
東京医科大学病院　B2階　S=1：300（A3版）　2023.04.0*　東京医科大学病院施設課

病院棟　免震階　－㎡
建築基準法　－㎡

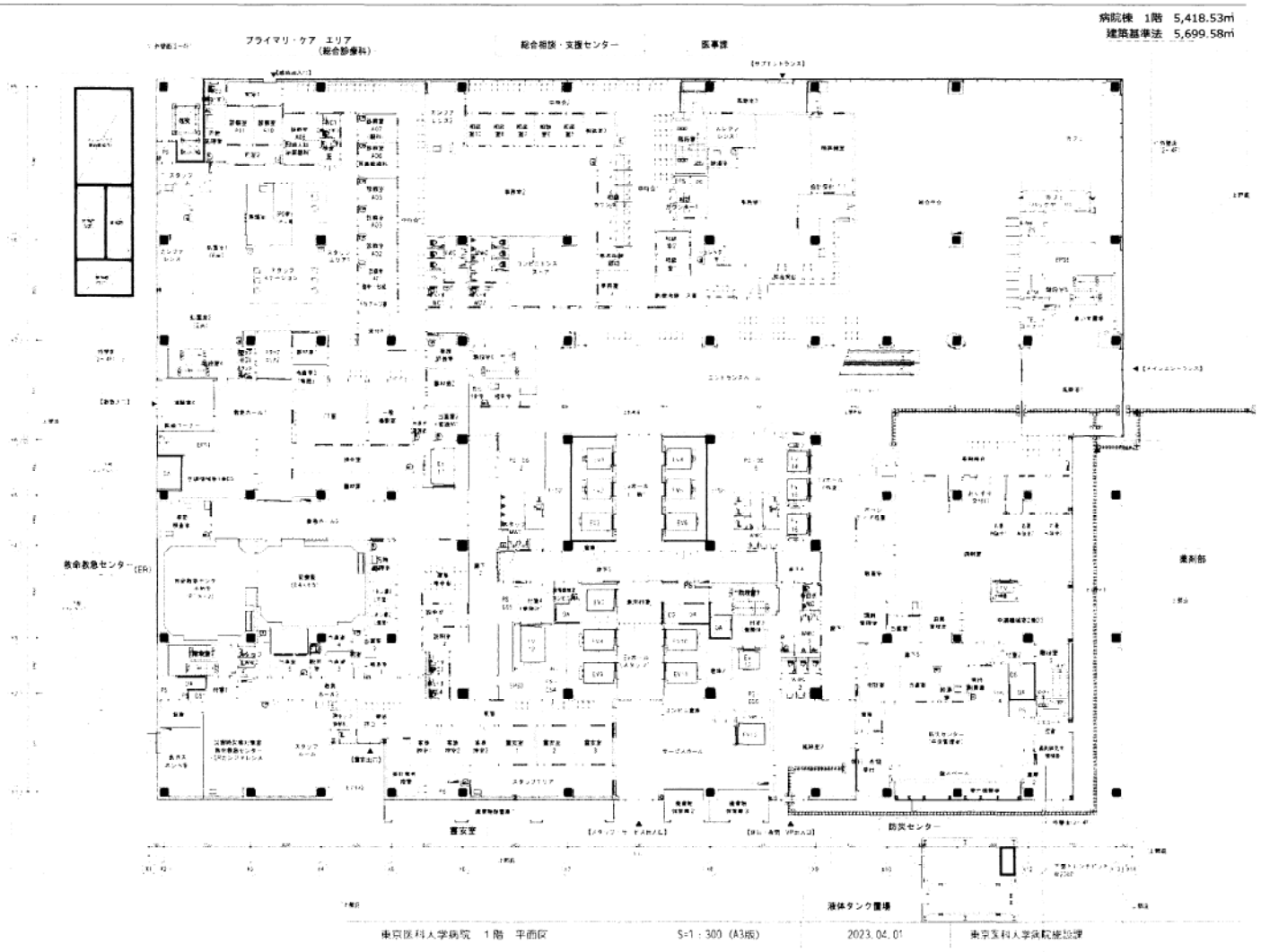


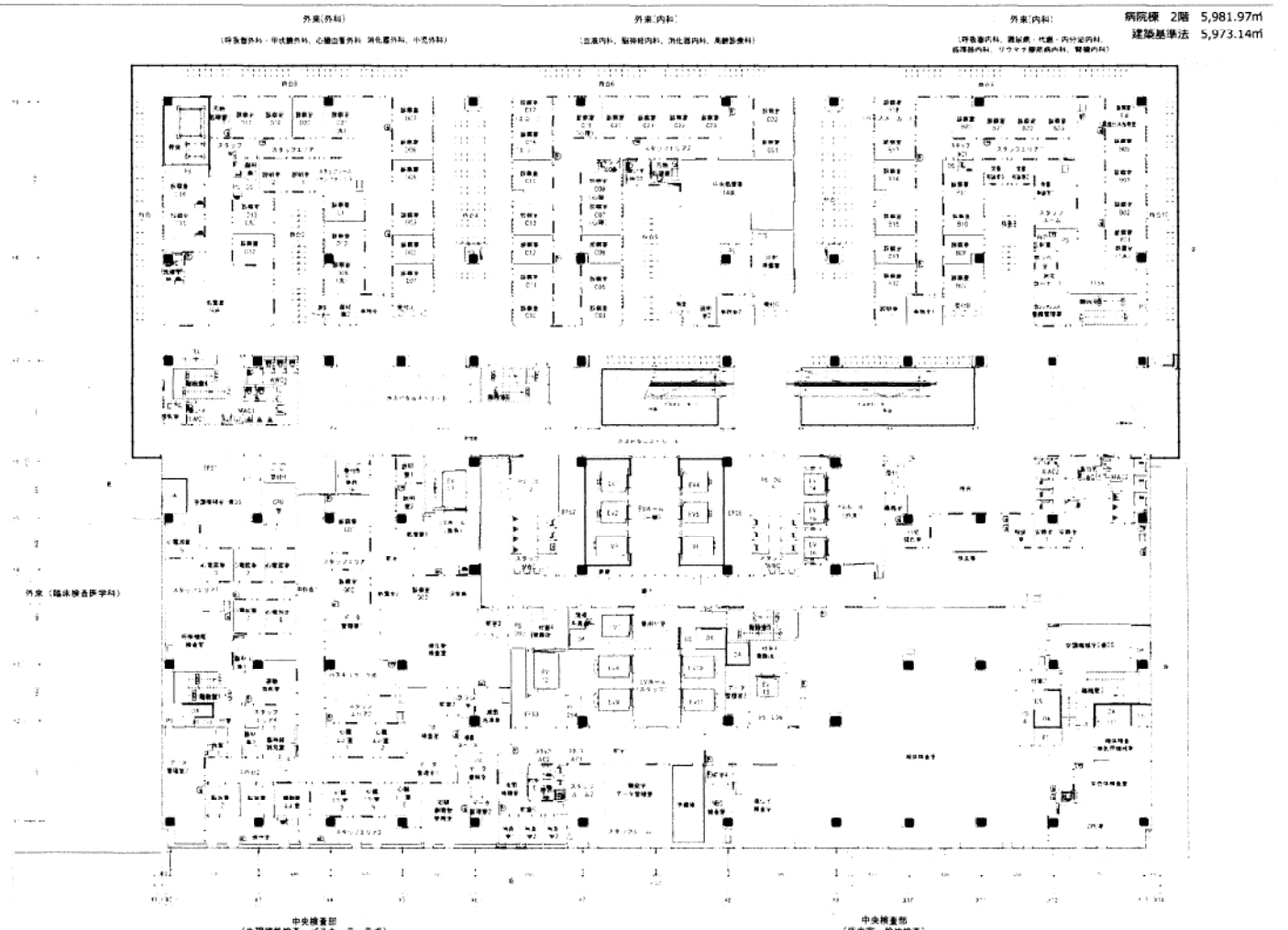
東京医科大学病院　免震層　平面図　S=1：300（A3版）　2023.04.01　東京医科大学病院建設課

病院棟　地下1階　5,599.21㎡
建築基準法　5,587.90㎡

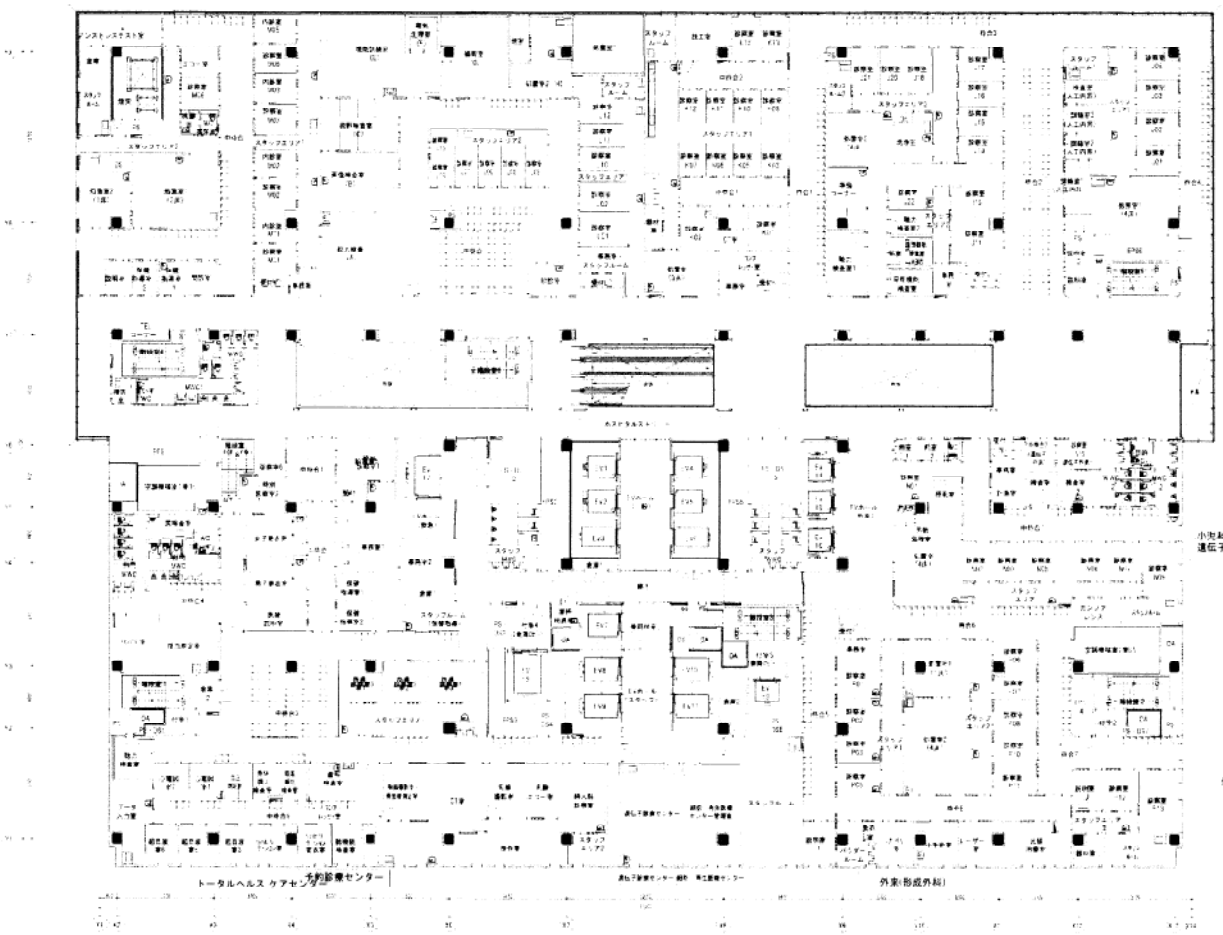


東京医科大学病院　B1階　S=1：300（A3版）　2023.04.01　東京医科大学病院建設課


病院棟　1階　5,418.53㎡
建築基準法　5,699.58㎡
プライマリ・ケア　エリア
（総合診療科）
総合相談・支援センター
医事課
救急救急センター（ER）
薬剤部
警衛室
防災センター
液体タンク置場
東京医科大学病院　1階　平面図
S=1：300（A3版）
2023.04.01
東京医科大学病院施設課

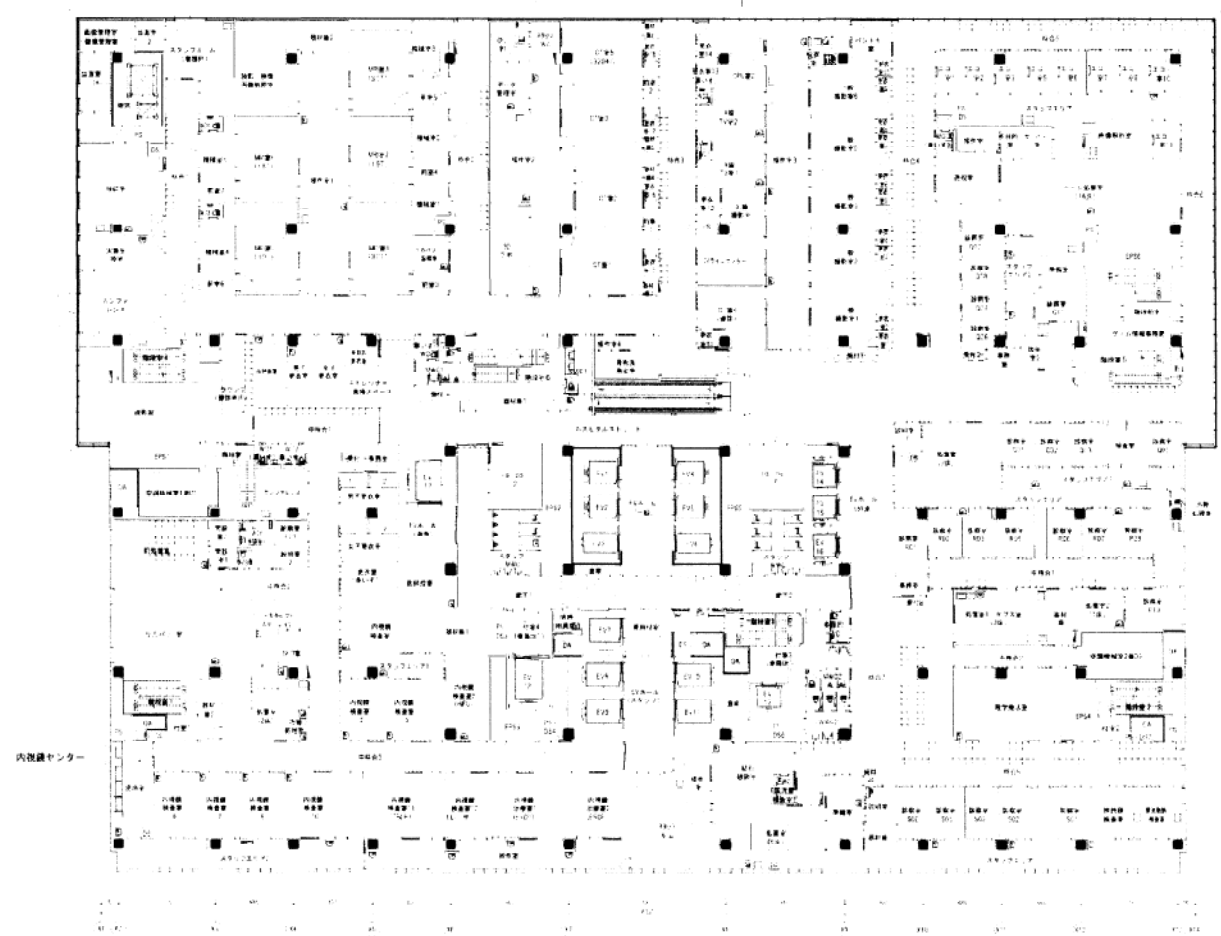

病院棟　2階　5,981.97㎡
建築基準法　5,973.14㎡
外来（外科）
外来（内科）
外来（内科）
外来（臨床検査医学科）
中央検査部
（生理機能検査、バスキュラーラボ）
中央検査部
（採血室・検体検査）
東京医科大学病院　2階　平面図
S=1：300（A3版）
2023.04.01
東京医科大学病院施設課

病院棟　3階　5,886.31㎡
建築基準法　5,877.48㎡



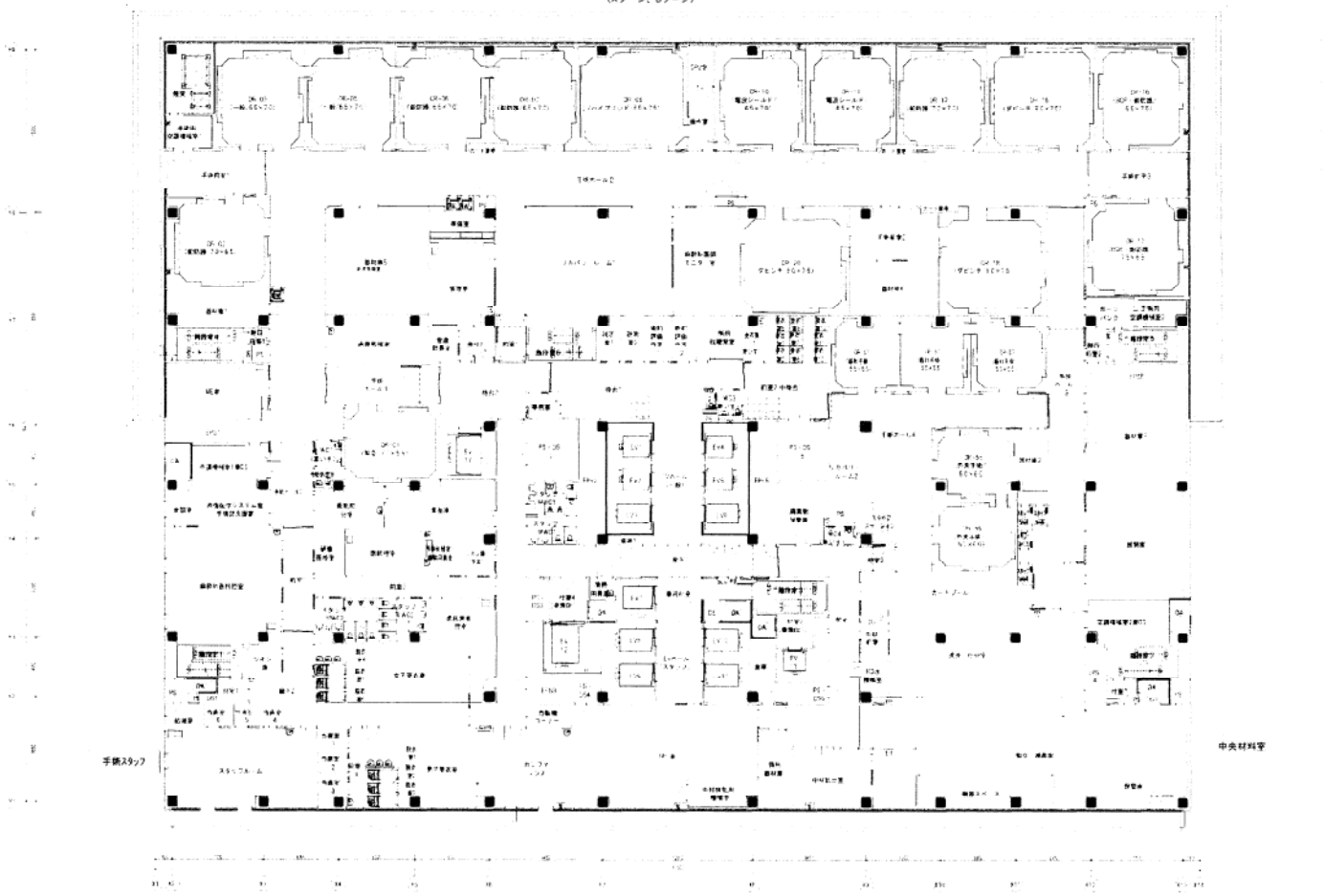
東京医科大学病院　3階　平面図　S=1：300（A3版）　2022.07.0*　東京医科大学病院施設課

病院棟　4階　6,073.32㎡
建築基準法　6,064.49㎡



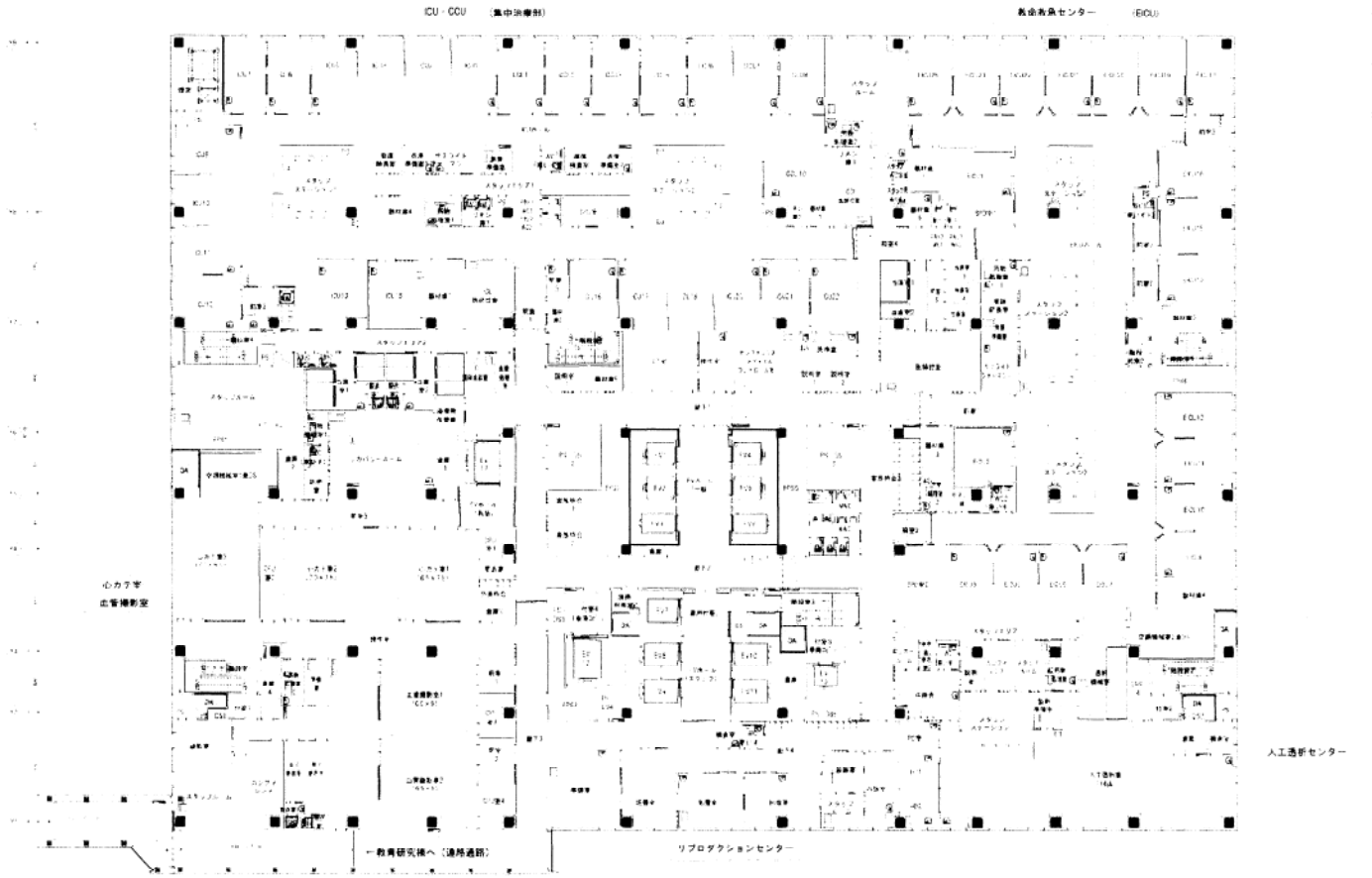
東京医科大学病院　4階　S=1：300（A3版）　2022.07.0*　東京医科大学病院施設課

病院棟　5階　5,538.40㎡
建築基準法　5,529.57㎡



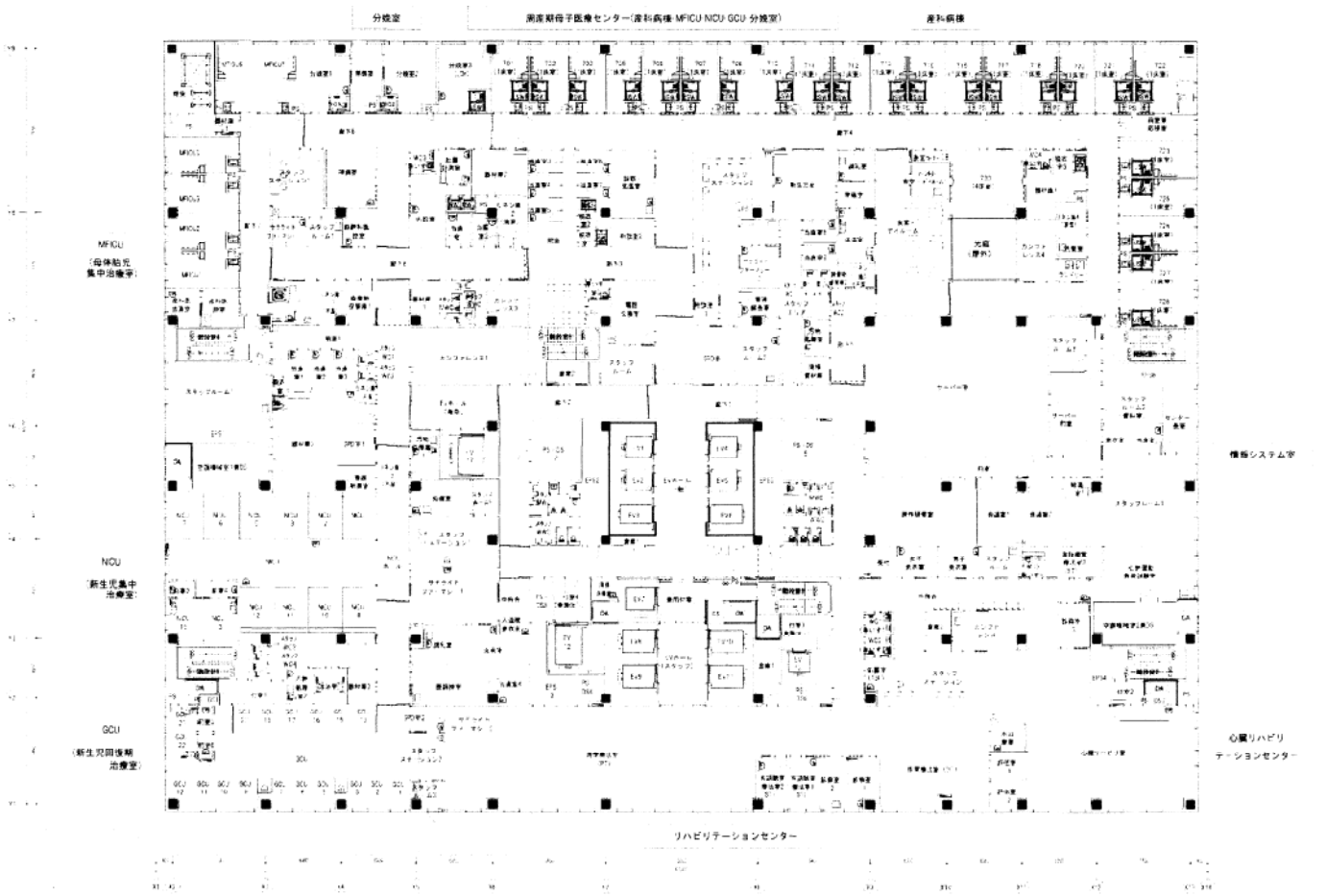
東京医科大学病院　5階　平面図　　S=1：300（A3版）　　2022.07.01　　東京医科大学病院施設課

病院棟　6階　5,648.39㎡
建築基準法　5,698.88㎡



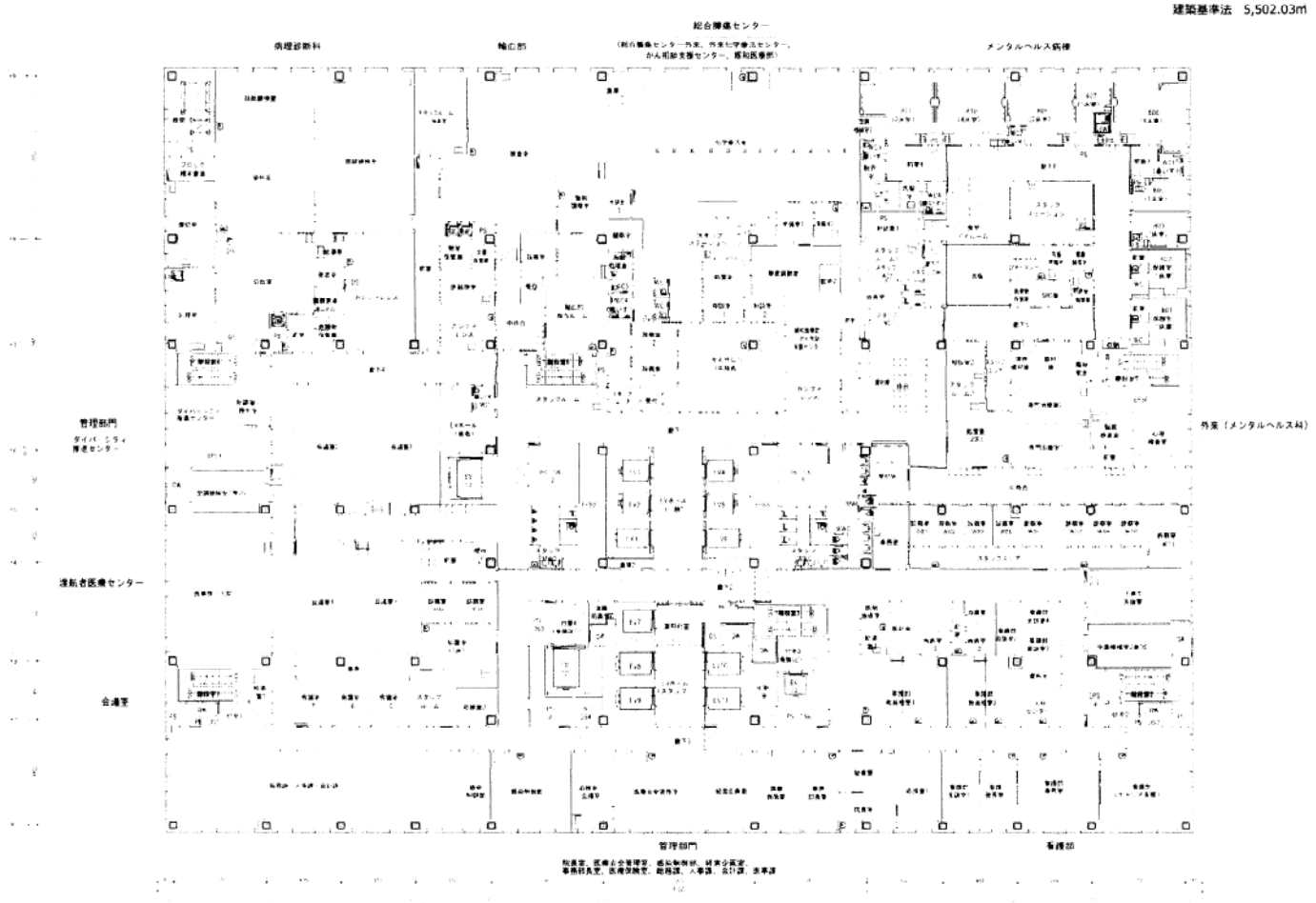
東京医科大学病院　6階　　S=1：300（A3版）　　2023.04.01　　東京医科大学病院施設課

病院棟　7階　5,510.86㎡
建築基準法　5,502.03㎡



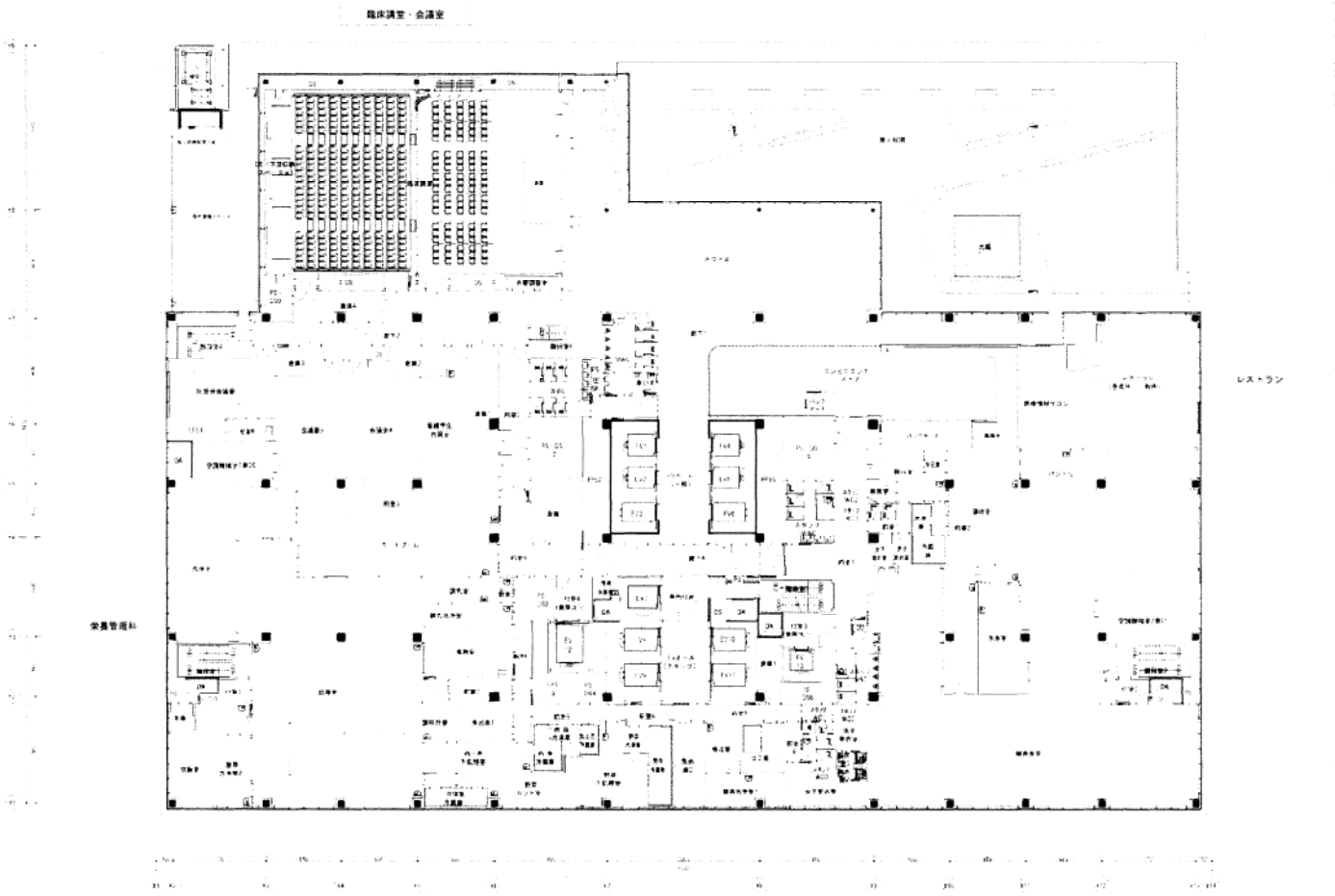
東京医科大学病院　7階　平面図　S=1：300（A3版）　2023.04.01　東京医科大学病院施設課

病院棟　8階　5,510.86㎡
建築基準法　5,502.03㎡



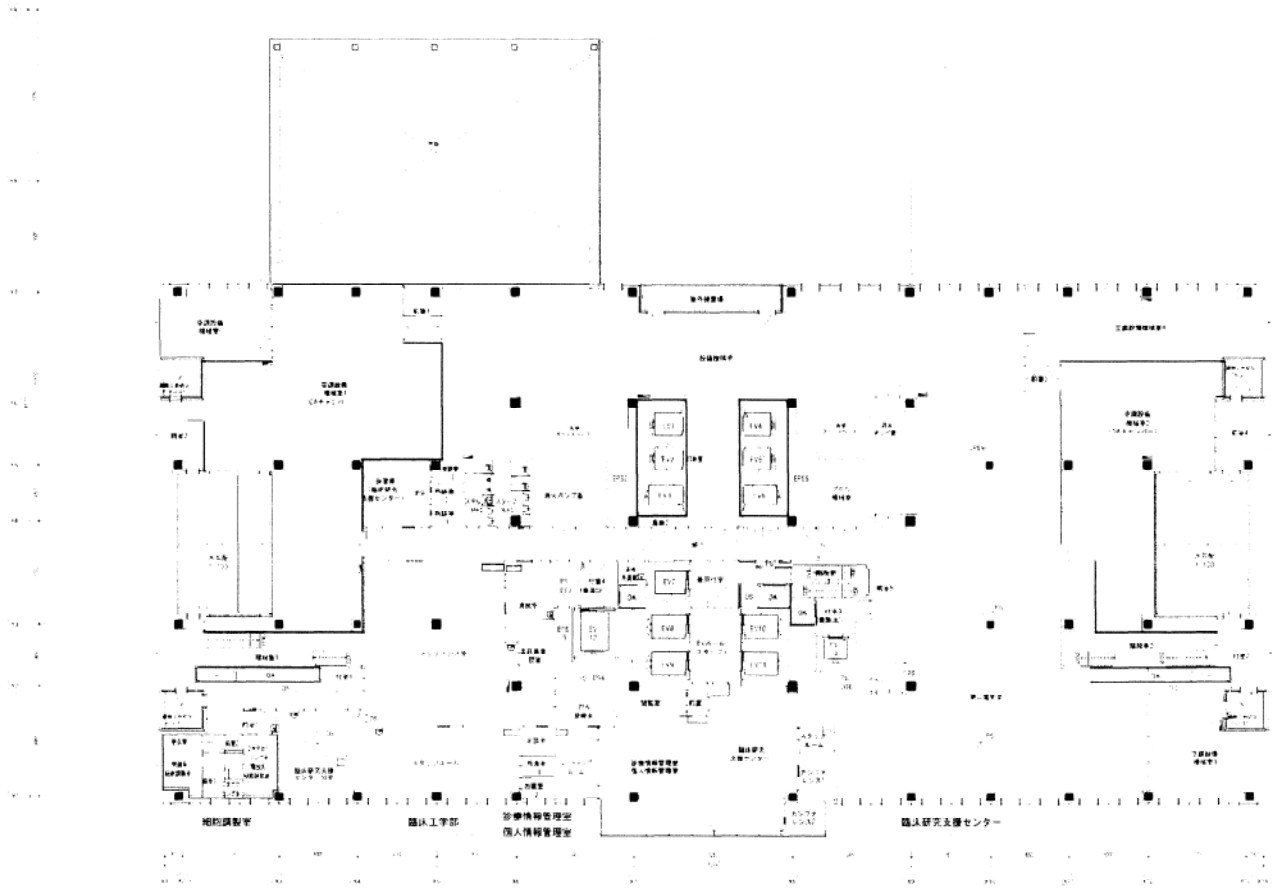
東京医科大学病院　8階　S=1：300（A3版）　2023.04.01　東京医科大学病院施設課

病院棟　9階　4,339.98㎡
建築基準法　4,339.98㎡

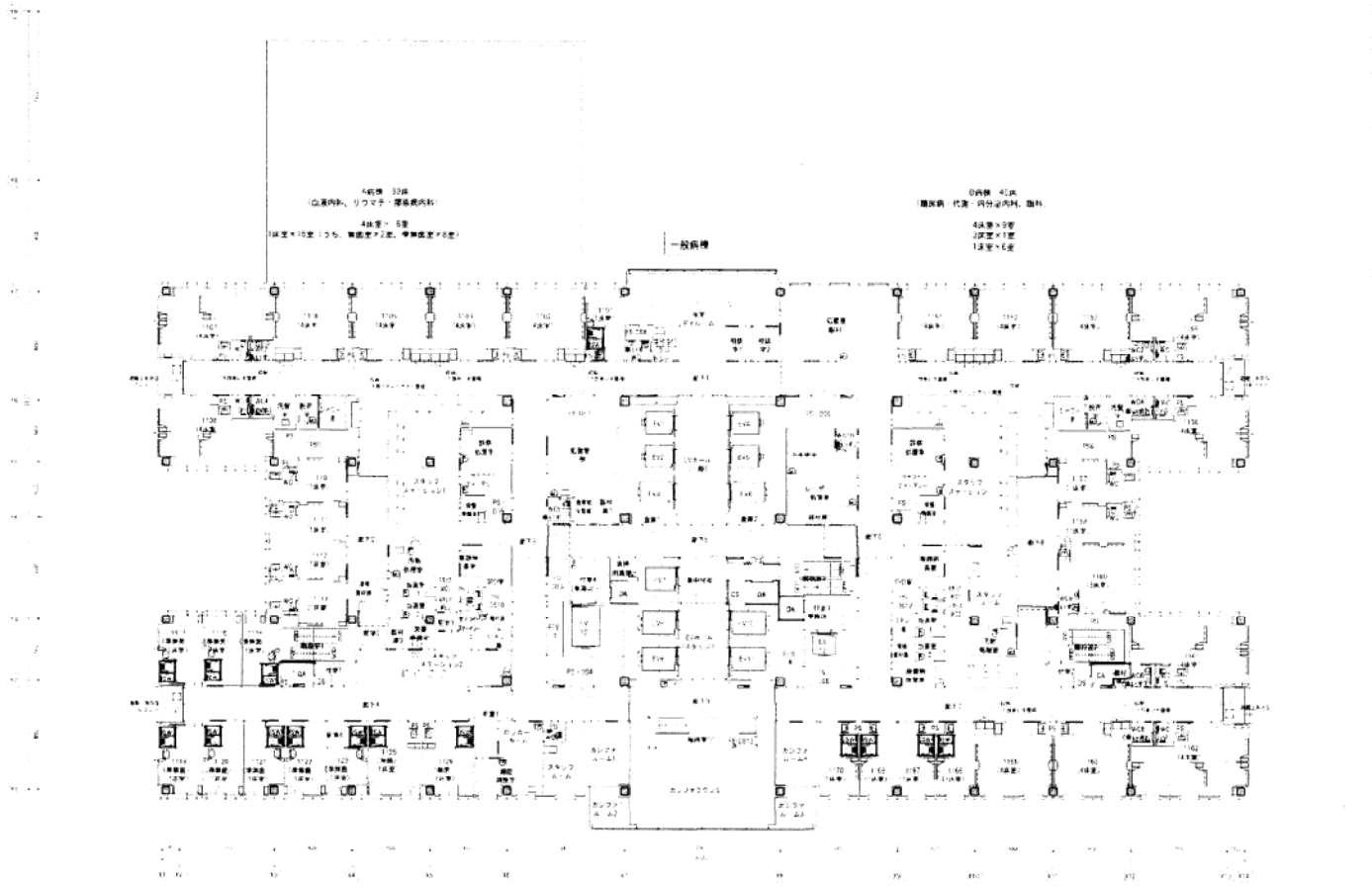


東京医科大学病院　9階　平面図　S=1：300（A3版）　2023.04.01　東京医科大学病院施設課

病院棟　10階　3,396.62㎡
建築基準法　3,508.95㎡

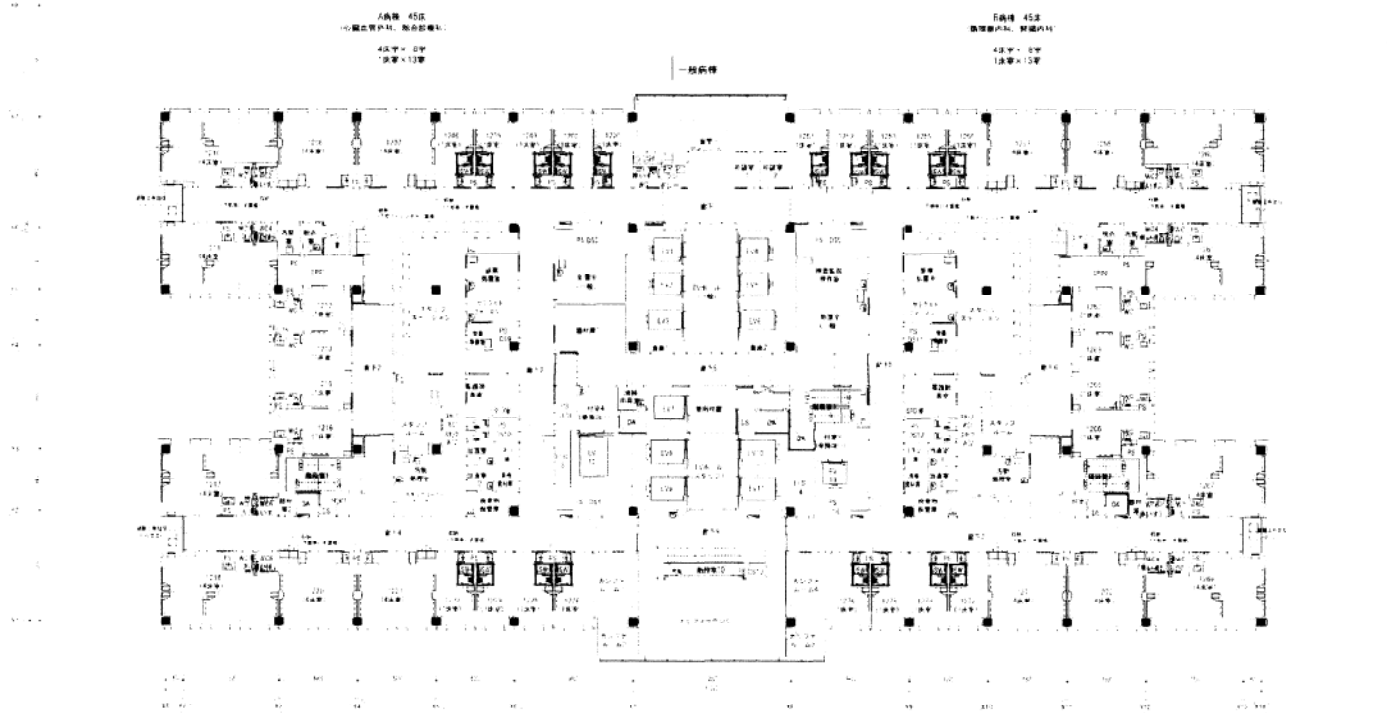


病院棟　11階　3,523.25㎡
建築基準法　3,523.25㎡



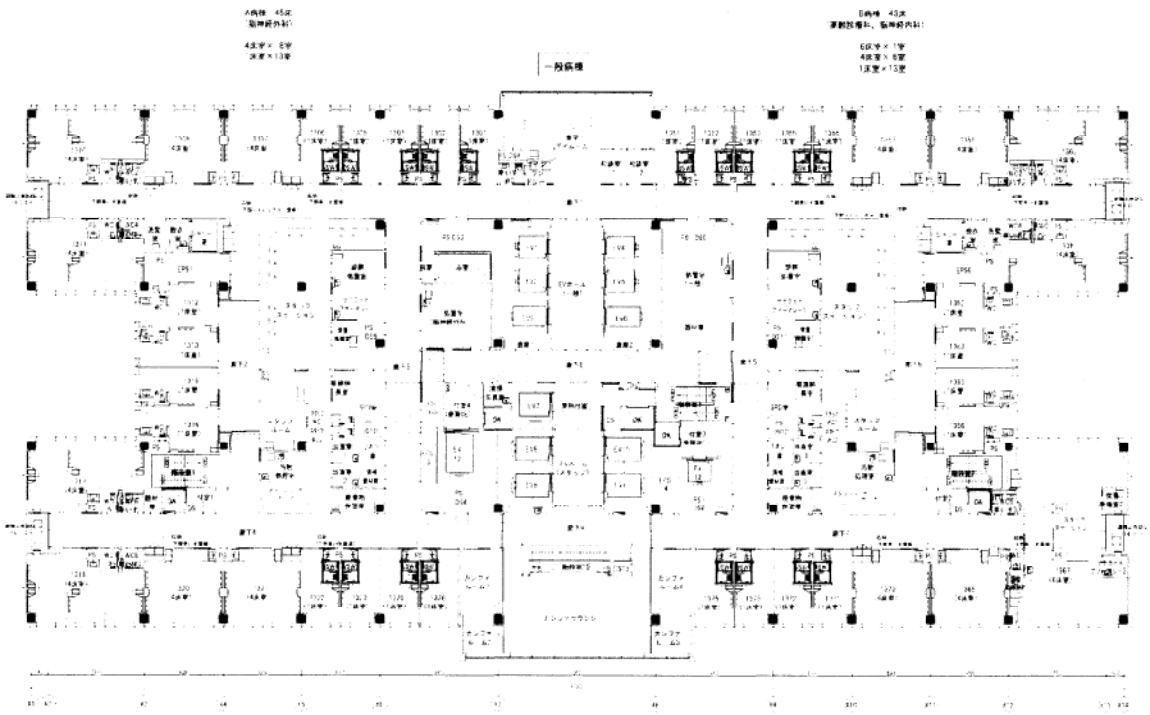
東京医科大学病院　11階　平面図　　S=1：300（A3版）　　2023.04.01　　東京医科大学病院施設課

病院棟　12階　3,513.03㎡
建築基準法　3,526.25㎡



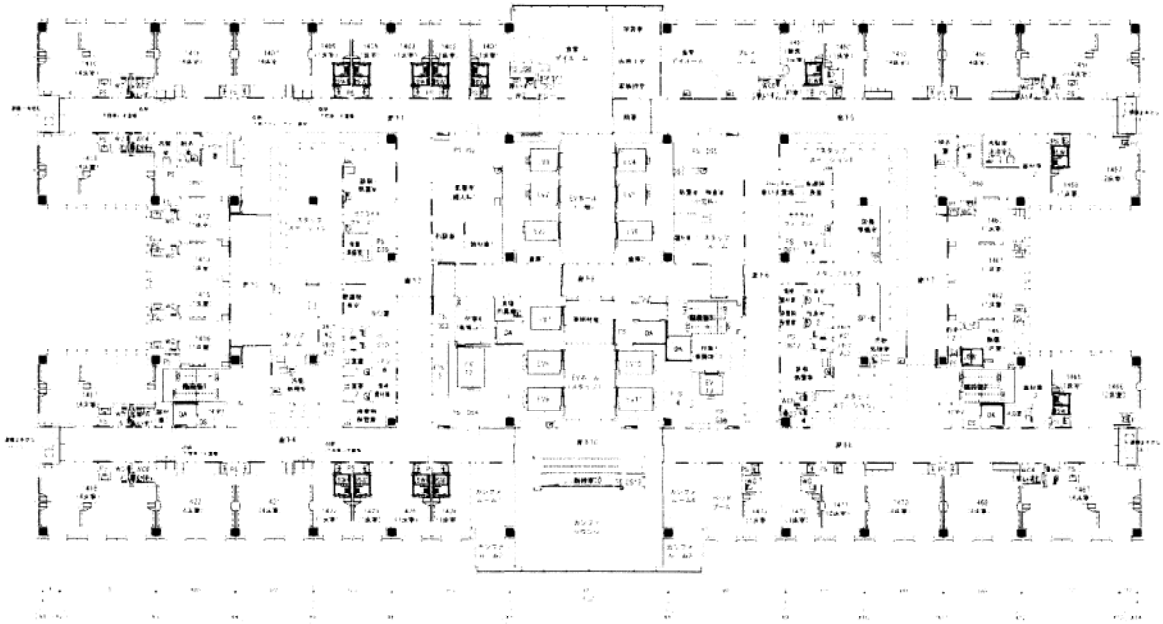
東京医科大学病院　12階　平面図　　S=1：300（A3版）　　2023.04.01　　東京医科大学病院施設課

病院棟　13階　3,513.03㎡
建築基準法　3,526.25㎡



東京医科大学病院　13階　平面図　S=1：300（A3版）　2023.04.01　東京医科大学病院施設課

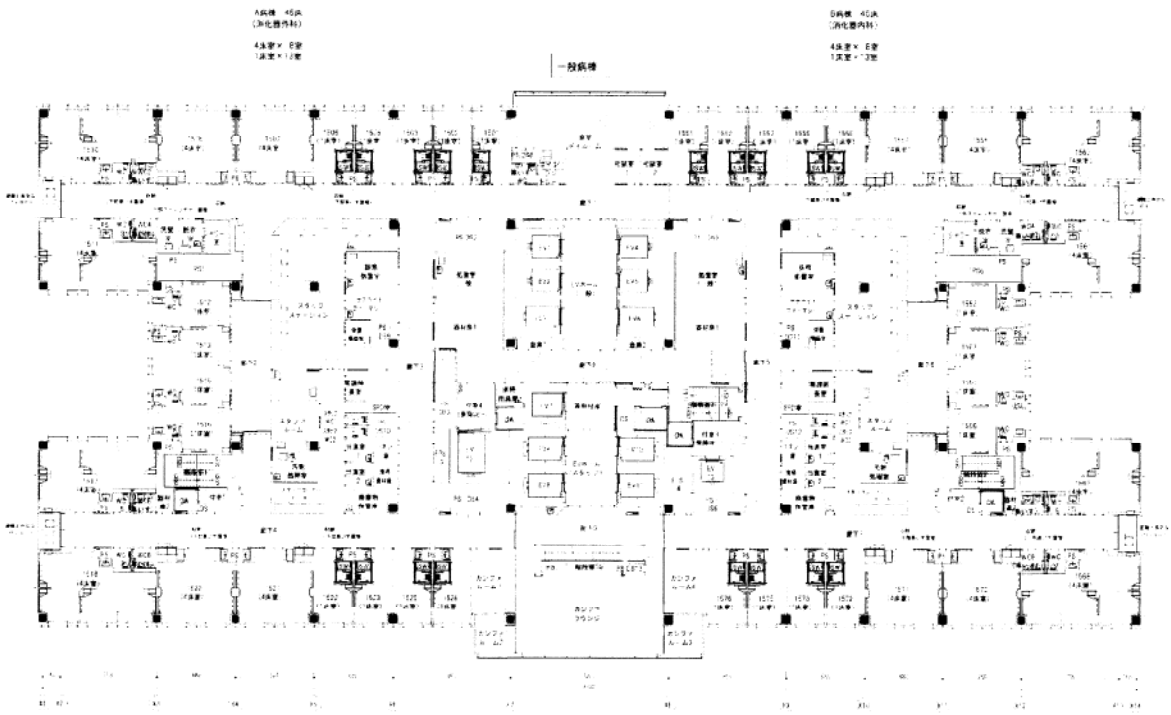
病院棟　14階　3,517.31㎡
建築基準法　3,526.25㎡



東京医科大学病院　14階

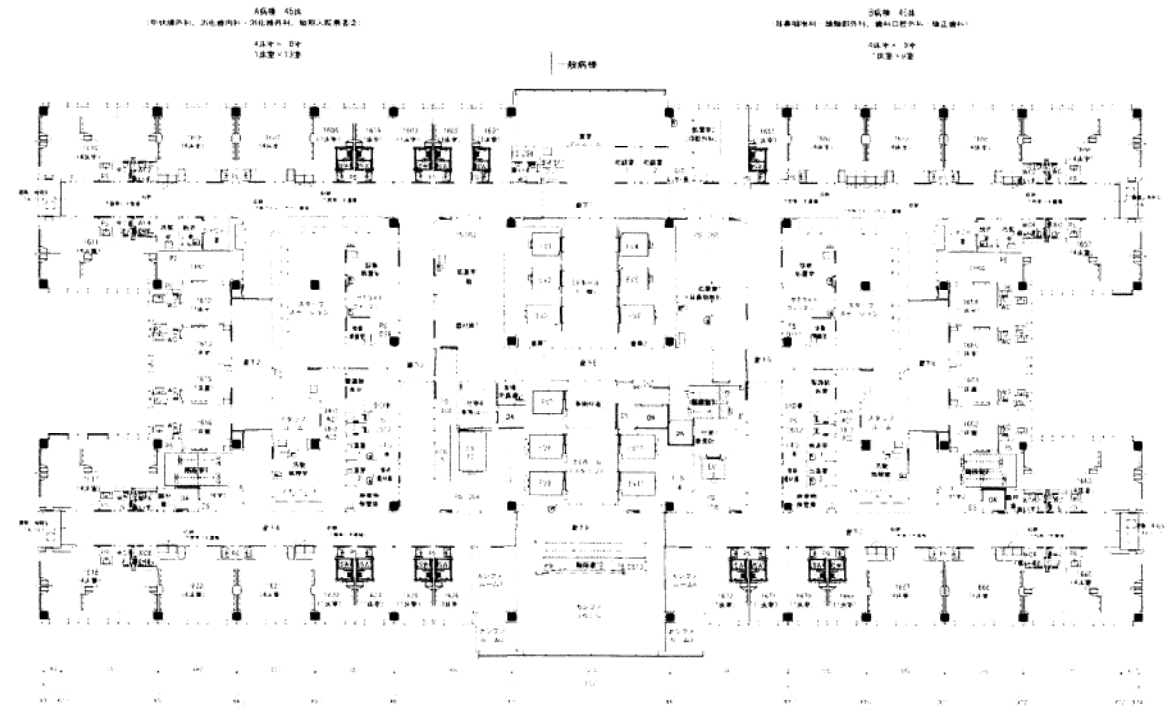
S=1：300（A3版）　2023.04.01　東京医科大学病院施設課

病院棟　15階　3,513.03㎡
建築基準法　3,526.25㎡



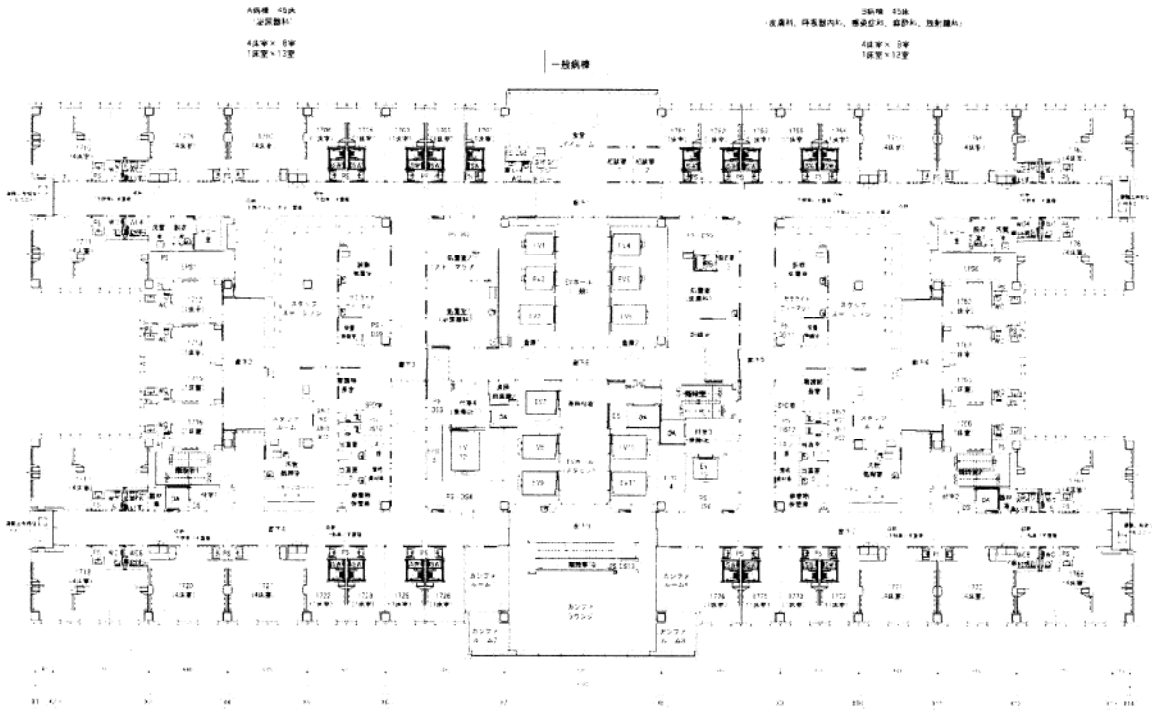
東京医科大学病院　15階　平面図　　S=1：300（A3版）　　2023.04.01　　東京医科大学病院施設課

病院棟　16階　3,513.03㎡
建築基準法　3,526.25㎡



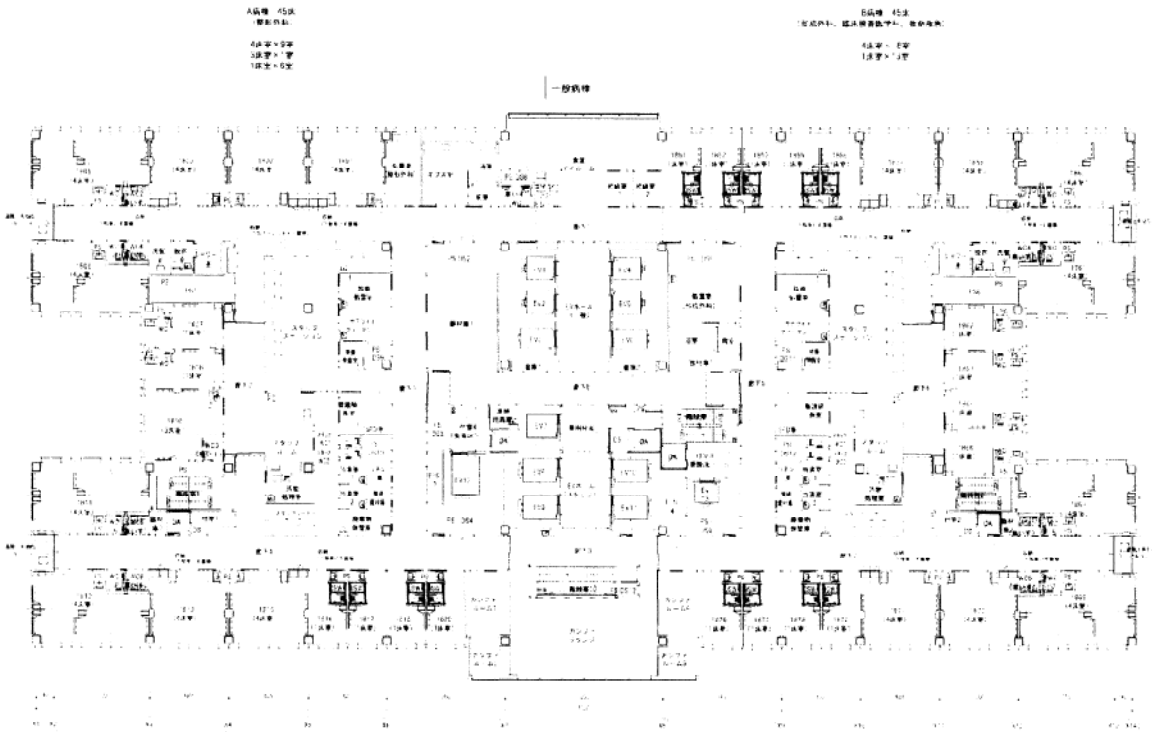
東京医科大学病院　16階　平面図　　S=1：300（A3版）　　2023.04.01　　東京医科大学病院施設課

病院棟　17階　3,517.31㎡
建築基準法　3,526.25㎡



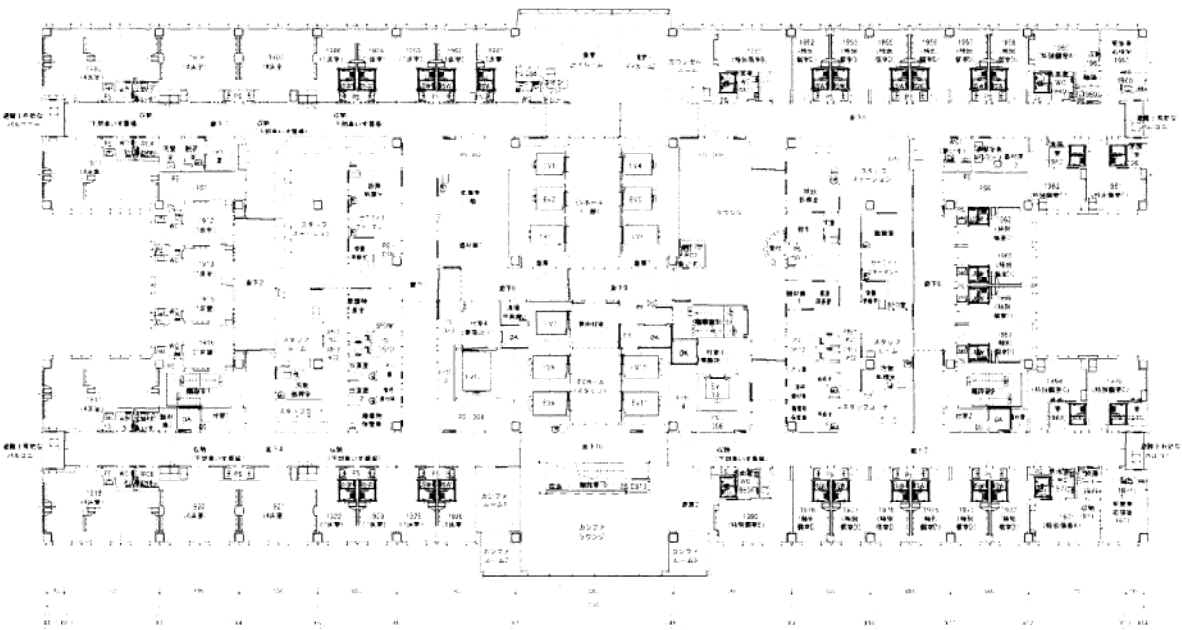
東京医科大学病院　17階　平面図　　S=1：300（A3版）　　2023.04.01　　東京医科大学病院施設課

病院棟　18階　3,513.03㎡
建築基準法　3,526.25㎡



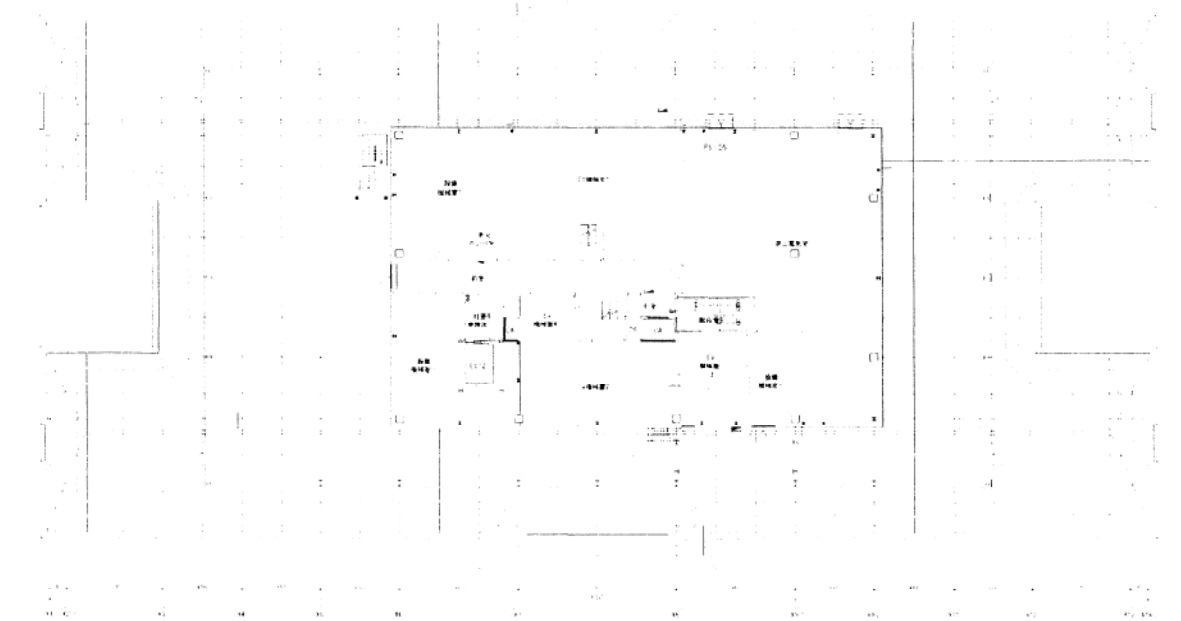
東京医科大学病院　18階　　S=1：300（A3版）　　2023.04.01　　東京医科大学病院施設課

病院棟　19階　3,513.03㎡
建築基準法　3,526.25㎡

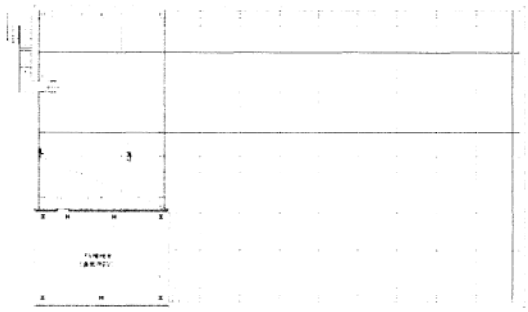


東京医科大学病院　19階　平面図　　S=1：300（A3版）　　2023. 04. 01　　東京医科大学病院施設課

病院棟　20階　938.40㎡
建築基準法　938.40㎡



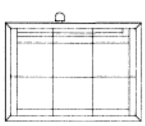
病院棟　PH階　－㎡
建築基準法　83.09㎡



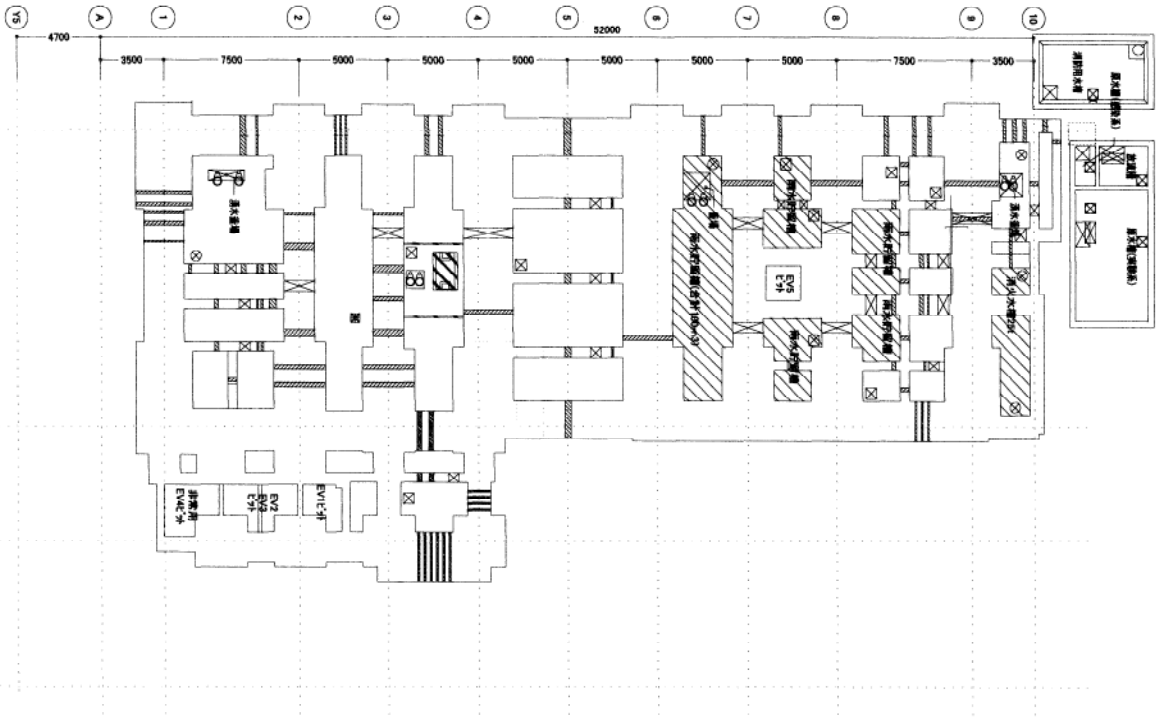
東京医科大学病院　PH階　平面図　　S=1：300（A3版）　　2023.04.01　　東京医科大学病院施設課

病院棟　PHR階　－㎡
建築基準法　－㎡

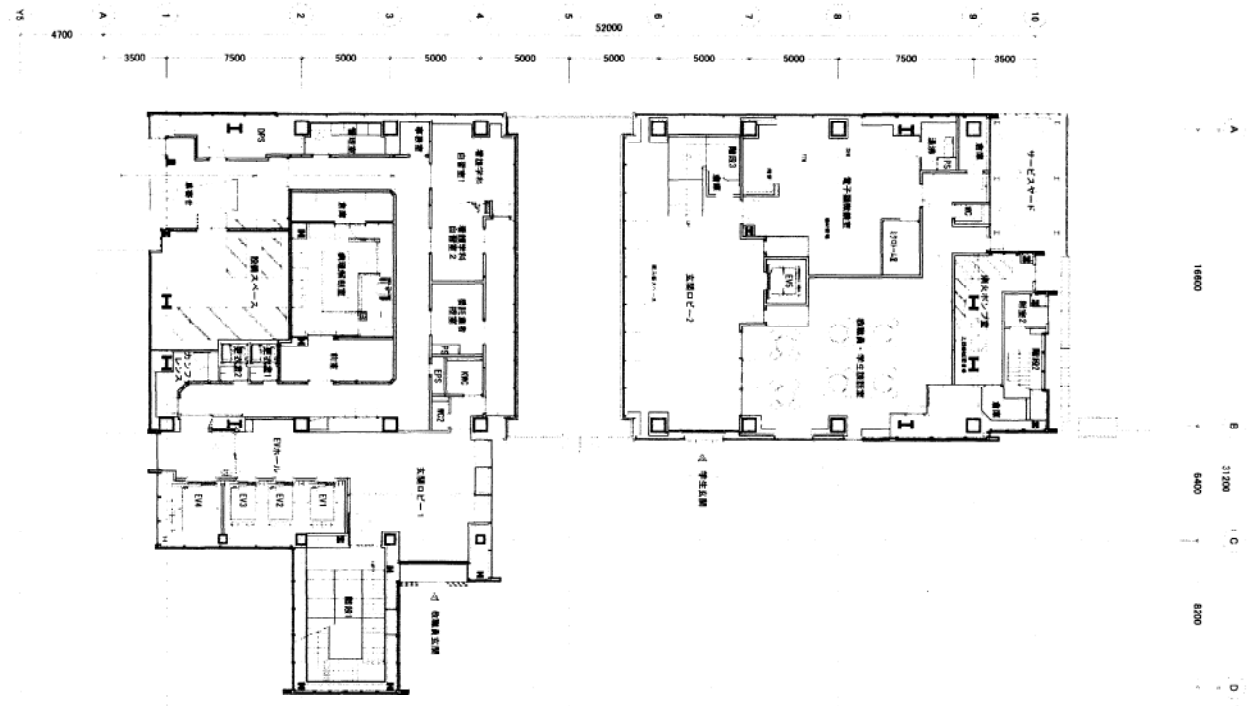








東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) ﾋﾟｯﾄ階平面図	S=1:200(A3版)	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.



東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) 1階平面図	S=1:200(A3版)	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.

教育研究棟(自主自学館)　M2階　－㎡
建築基準法　－㎡

東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) M2階平面図	S=1:200(A3版)	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.

教育研究棟(自主自学館)　2階　1,099.72㎡
建築基準法　1,105.52㎡

東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) 2階平面図	S=1:200(A3版)	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.

教育研究棟(自主自学館)　4階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡

東京医科大学 西新宿キャンパス	S=1:200(A3版)	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.
教育研究棟(自主自学館) 4階平面図				

教育研究棟(自主自学館)　3階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡

東京医科大学 西新宿キャンパス	S=1:200(A3版)	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.
教育研究棟(自主自学館) 3階平面図				

教育研究棟(自主自学館)　6階　1,098.60㎡
建築基準法　1,106.27㎡

東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) 6階平面図	S=1:200(A3版)	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.

教育研究棟(自主自学館)　5階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡

東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) 5階平面図	S=1:200(A3版)	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.

教育研究棟(自主自学館)　8階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡

東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) 8階平面図	S=1:200(A3版)	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.

教育研究棟(自主自学館)　7階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡

東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) 7階平面図	S=1:200(A3版)	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.

教育研究棟(自主自学館)　10階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡

東京医科大学 西新宿キャンパス
教育研究棟(自主自学館) 10階平面図
S=1:200(A3版)
2023.04.01
東京医科大学病院
施設課
No.

教育研究棟(自主自学館)　9階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡

東京医科大学 西新宿キャンパス
教育研究棟(自主自学館) 9階平面図
S=1:200(A3版)
2023.04.01
東京医科大学病院
施設課
No.

教育研究棟(自主自学館) 12階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡

東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) 12階平面図	S=1:200(A3版)	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.

教育研究棟(自主自学館) 11階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡

東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) 11階平面図	S=1:200(A3版)	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.

教育研究棟(自主自学館)　14階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡

東京医科大学 西新宿キャンパス
教育研究棟(自主自学館) 14階平面図　S=1:200(A3版)　2023.04.01　東京医科大学病院 施設課　No.

教育研究棟(自主自学館)　13階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡

東京医科大学 西新宿キャンパス
教育研究棟(自主自学館) 13階平面図　S=1:200(A3版)　2023.04.01　東京医科大学病院 施設課　No.

教育研究棟(自主自学館)　15階　1,060.20㎡
建築基準法　1,068.57㎡

東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) 15階平面図	S=1:200(A3版)	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.

教育研究棟(自主自学館)　16階　315.69㎡
建築基準法　324.05㎡

東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) 16階平面図	S=1:200(A3版)	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.

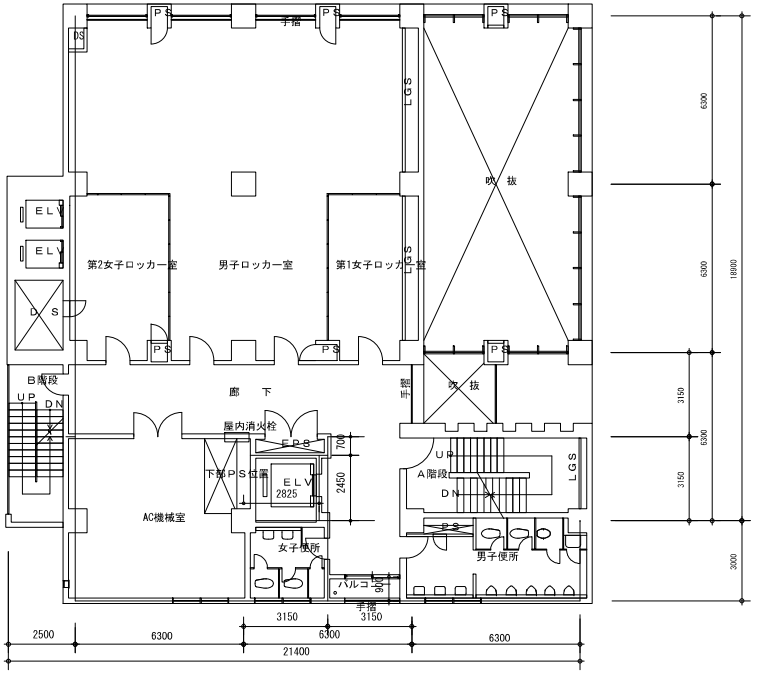
東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) PH2階平面図	S=1:200(A3版)	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.

教育研究棟(自主自学館) PH2階 ―㎡
建築基準法 104.53㎡

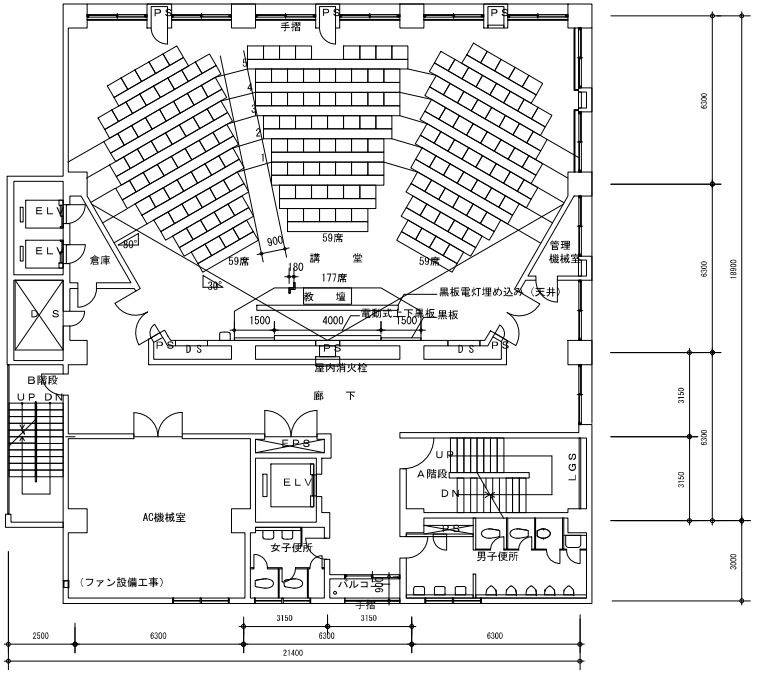
東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) PH1階平面図	S=1:200(A3版)	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.

教育研究棟(自主自学館) PH1階 ―㎡
建築基準法 89.58㎡

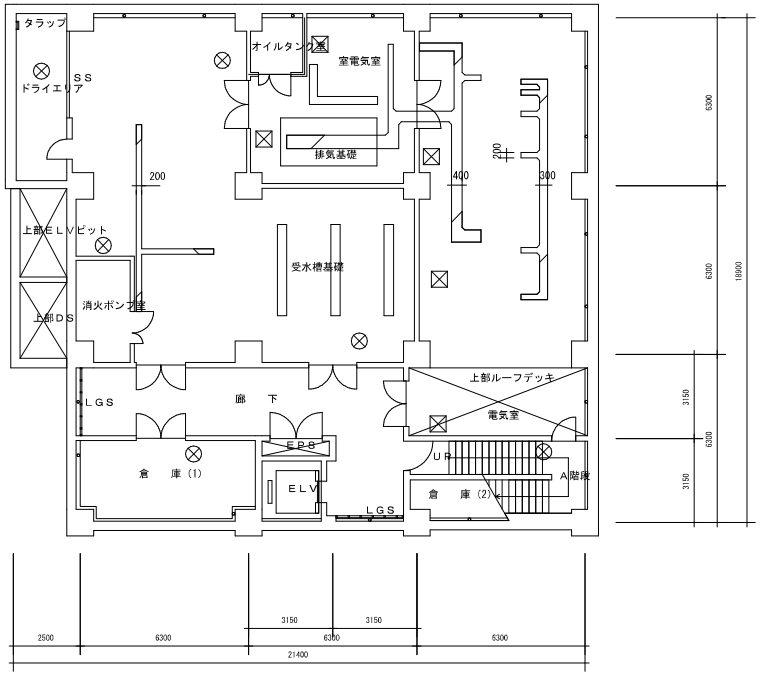
教育研究棟(自主自学館) PHR階 ―㎡
建築基準法 ―㎡
東京医科大学 西新宿キャンパス
教育研究棟(自主自学館) PHR階平面図
S=1:200(A3版)
2023.04.01
東京医科大学病院
施設課
No.



第一研究・教育棟　2階　平面図 S=1:200

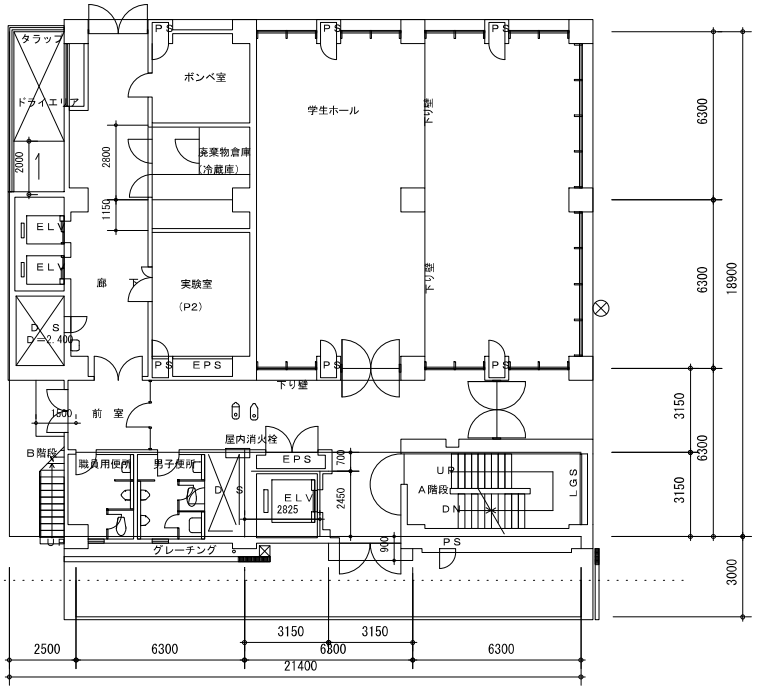


第一研究・教育棟　3階　平面図 S=1:200

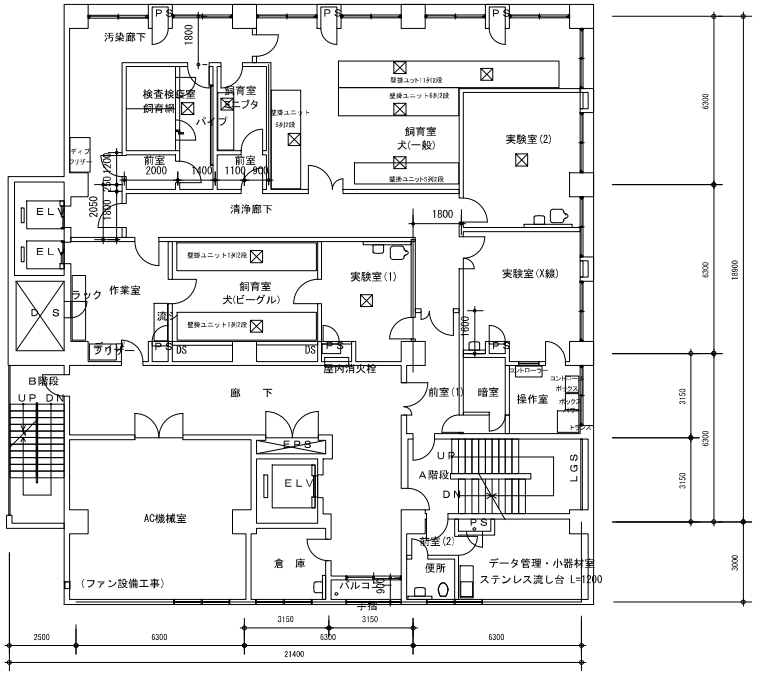


第一研究・教育棟　地下1階　平面図 S=1:200

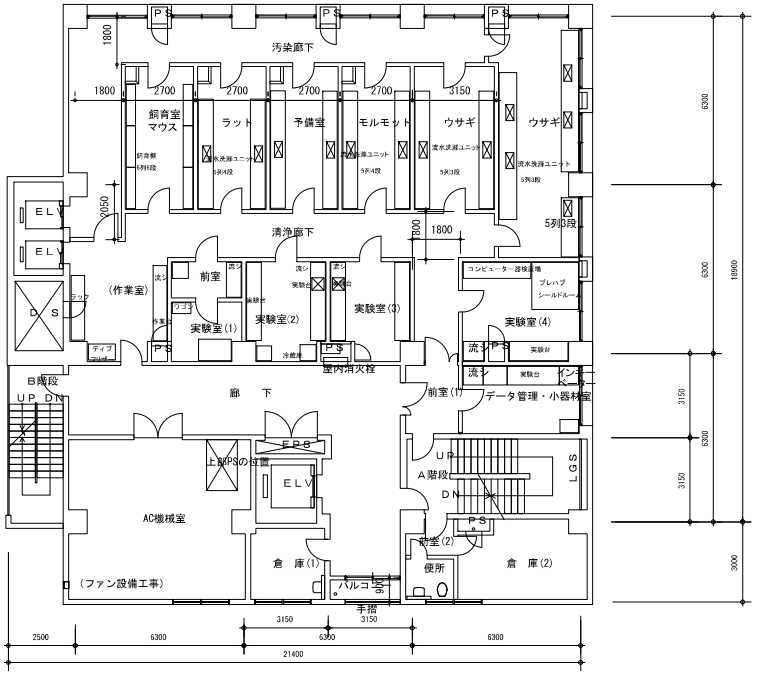
面積表	
階数	面積(㎡)
B1F	391.52
1F	373.40
2F	344.06
3F	436.99
4F	436.99
5F	436.99
6F	436.99
7F	436.99
8F	81.08
合計	3775.01
建築面積	439.46



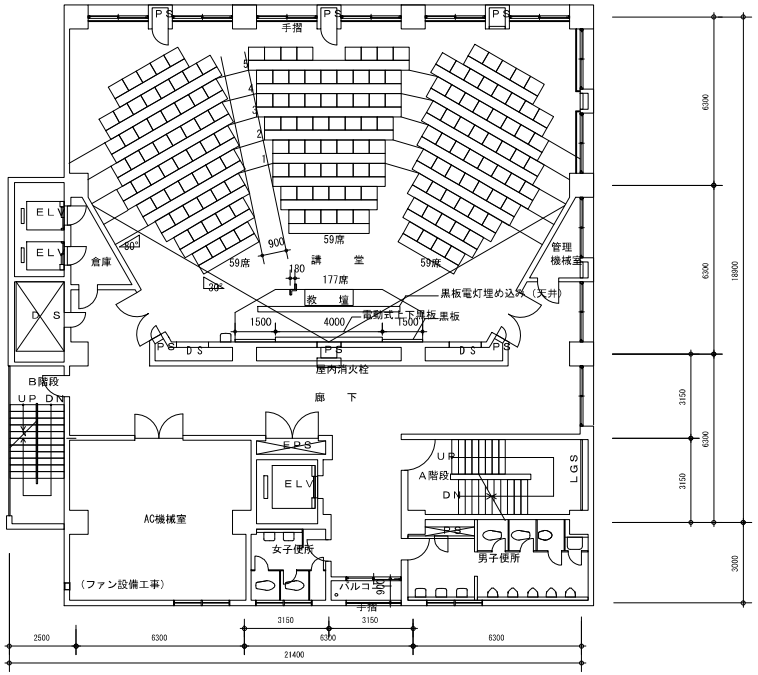
第一研究・教育棟　1階　平面図 S=1:200



第一研究・教育棟　6階　平面図 S=1:200

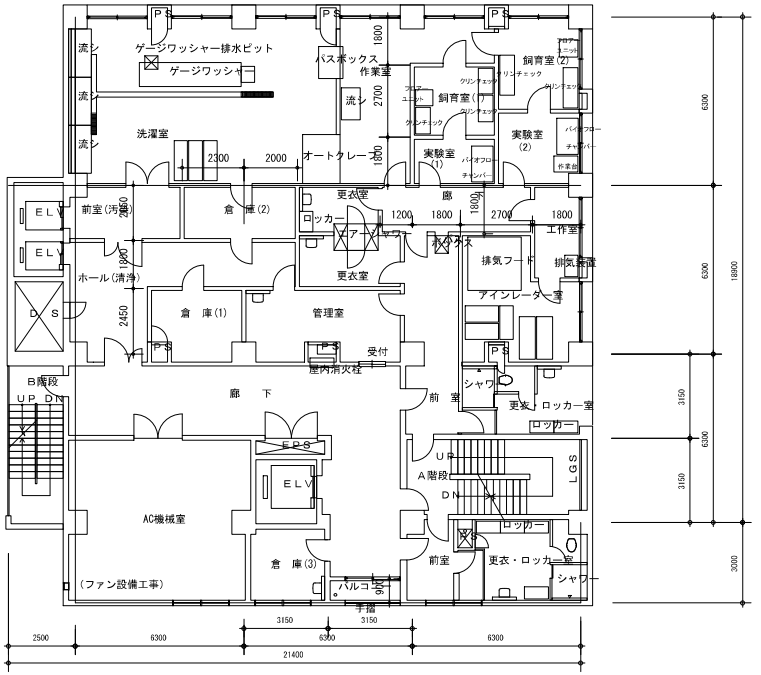


第一研究・教育棟　7階　平面図 S=1:200



第一研究・教育棟　4階　平面図 S=1:200

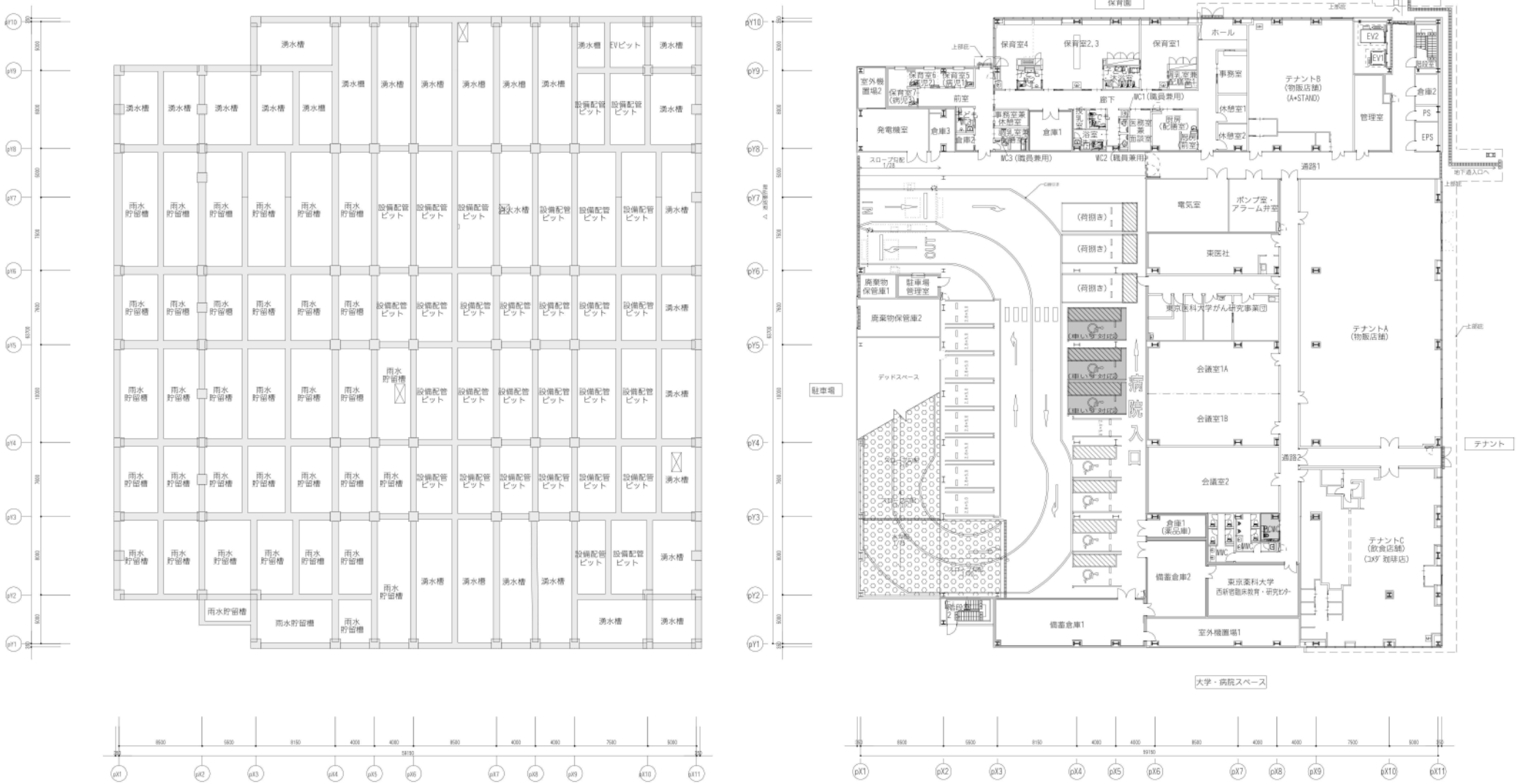
面積表	
階数	面積(㎡)
B1F	391.52
1F	373.40
2F	344.06
3F	436.99
4F	436.99
5F	436.99
6F	436.99
7F	436.99
8F	81.08
合計	3775.01
建築面積	439.46



第一研究・教育棟　5階　平面図 S=1:200

駐車台数	
階	台数
R階	129台
3階	133台
2階	131台
1階	19台
合計	412台

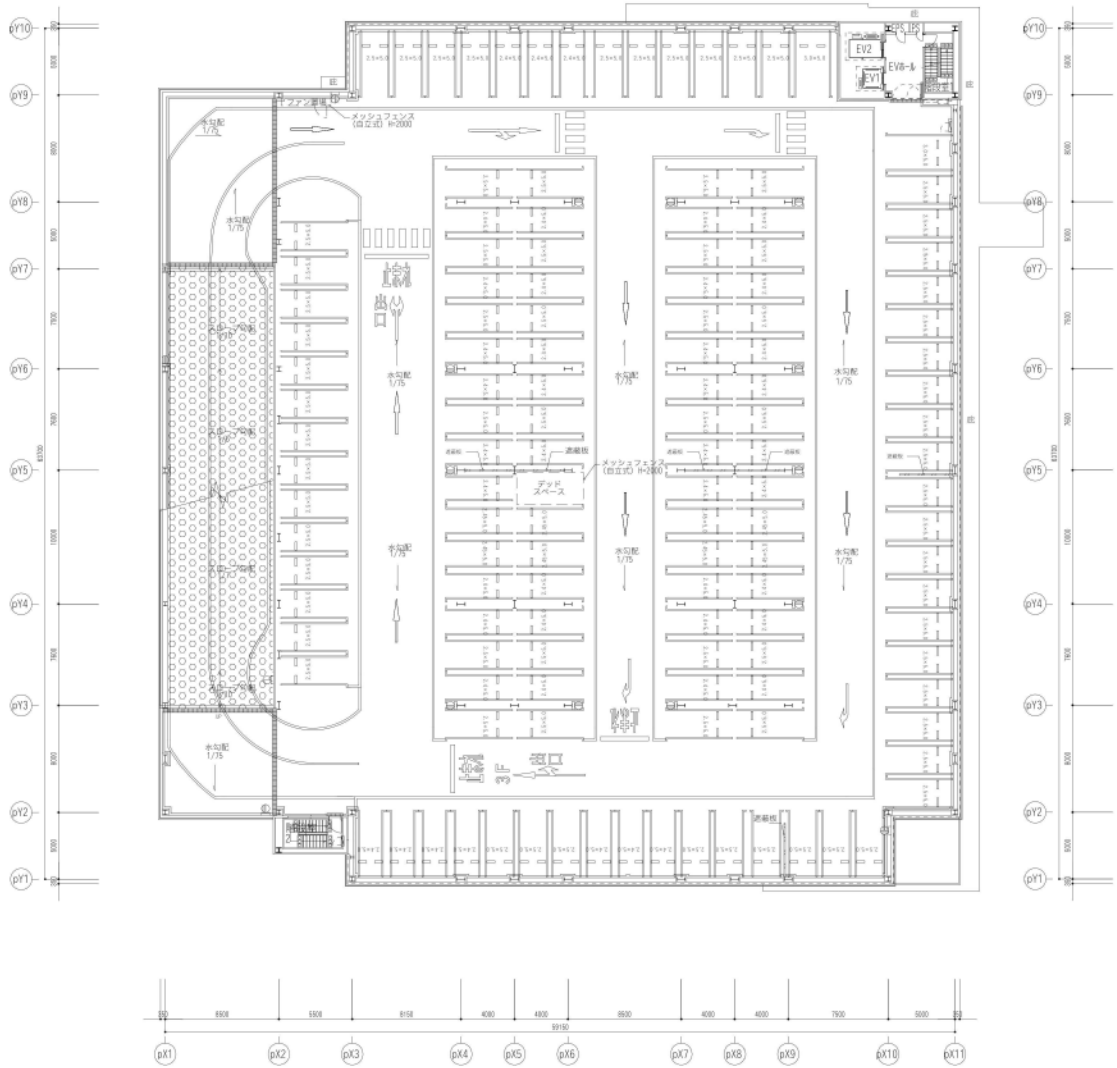
立体駐車場棟　1階　3,441.78㎡
建築基準法　3,502.37㎡

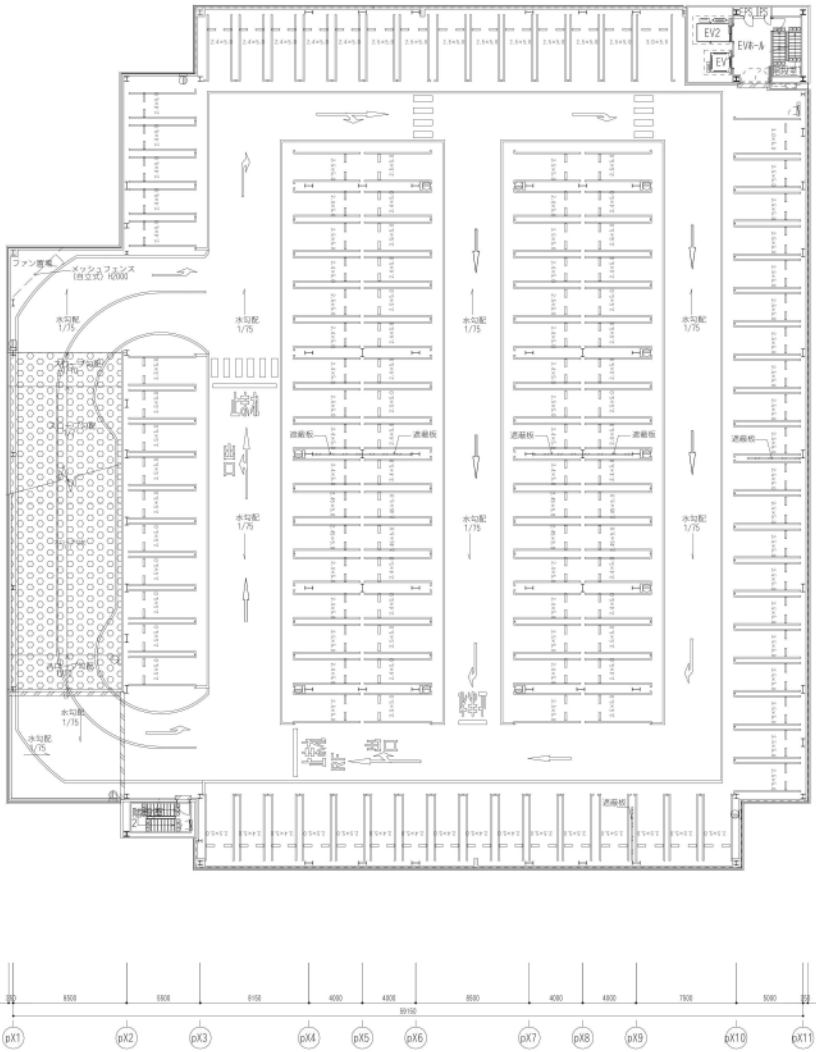


東京医科大学 西新宿キャンパス 立体駐車場棟　ピット・1階平面図	S=1：400（A3版）	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.

立体駐車場棟　2階　3,595.15㎡
建築基準法　3,595.15㎡

立体駐車場棟　3階　3,595.15㎡
建築基準法　3,595.15㎡

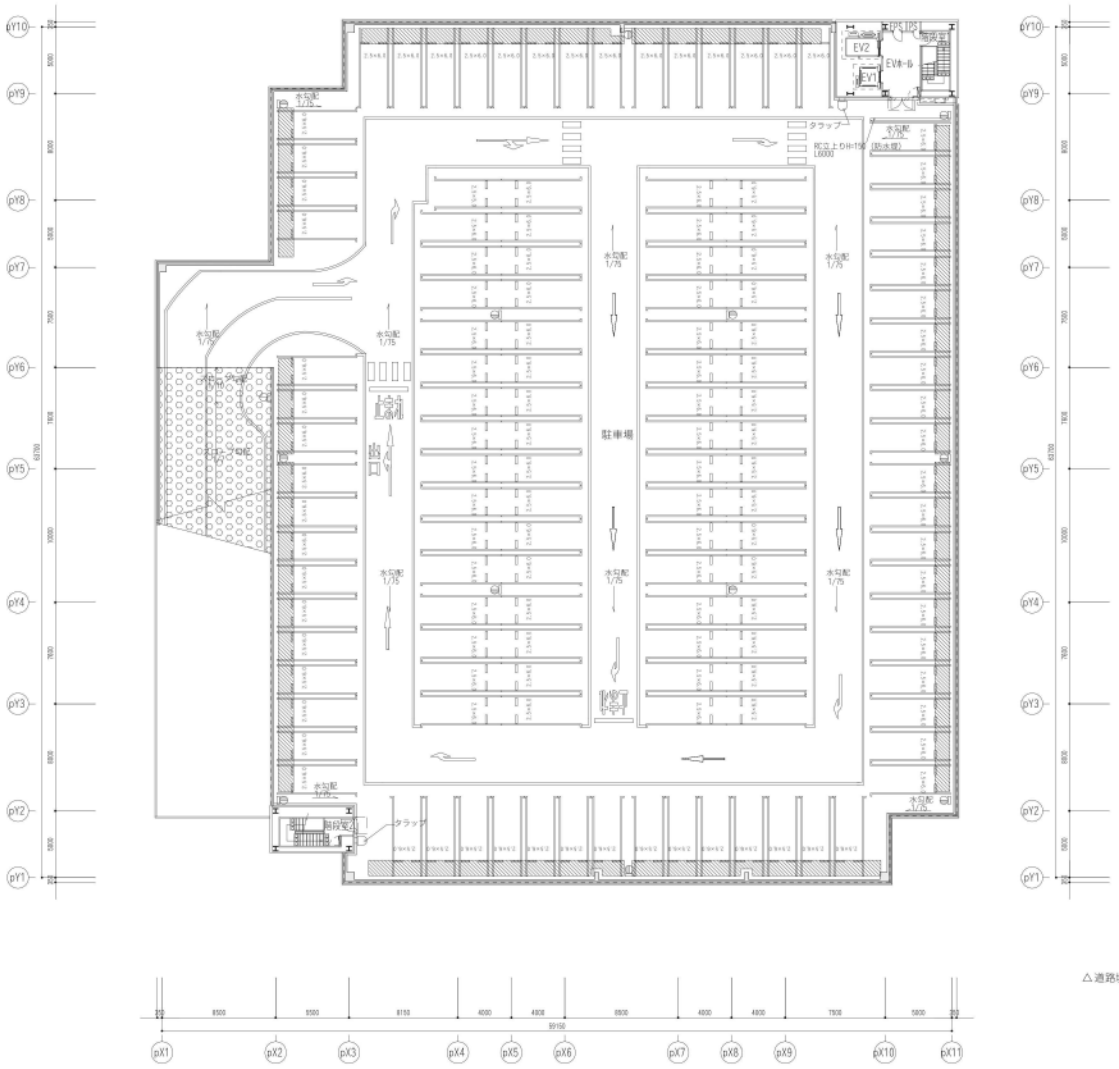


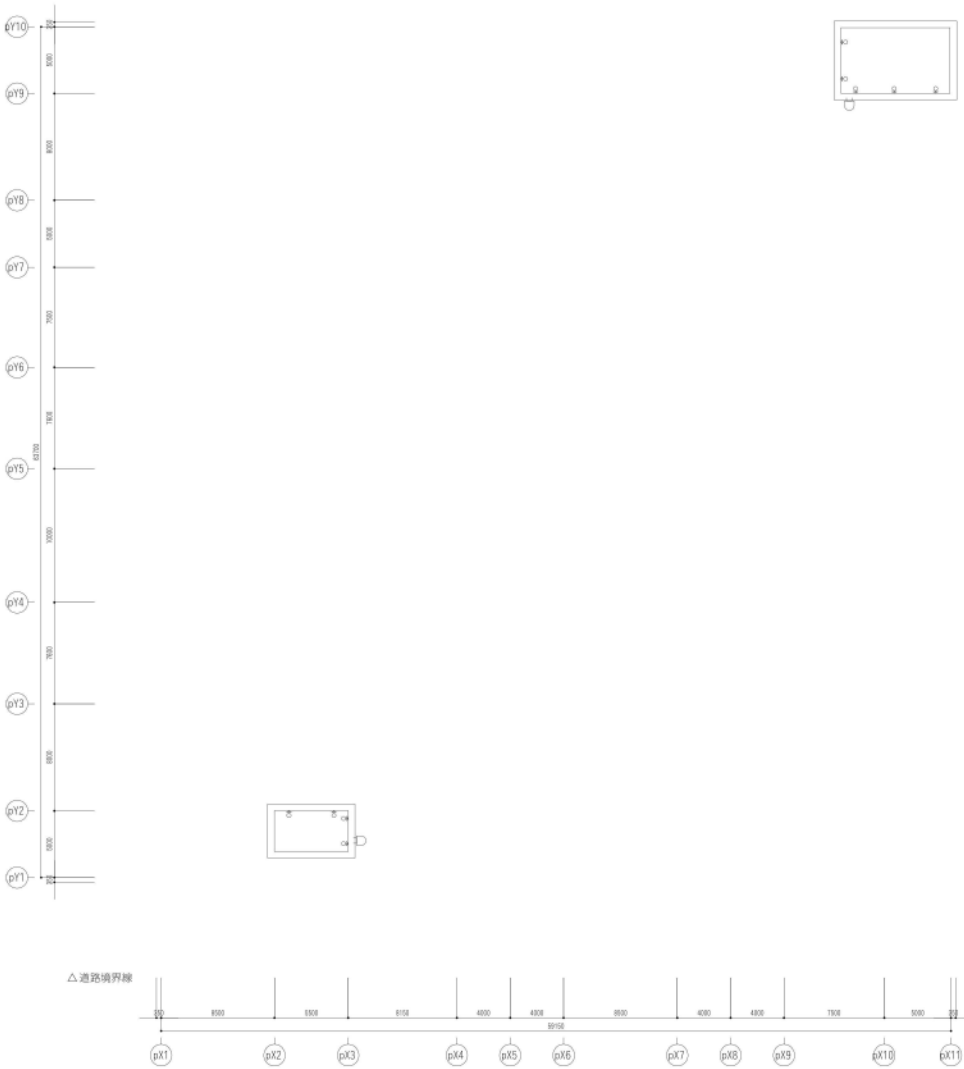


東京医科大学 西新宿キャンパス 立体駐車場棟　2・3階平面図	S=1：400（A3版）	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.

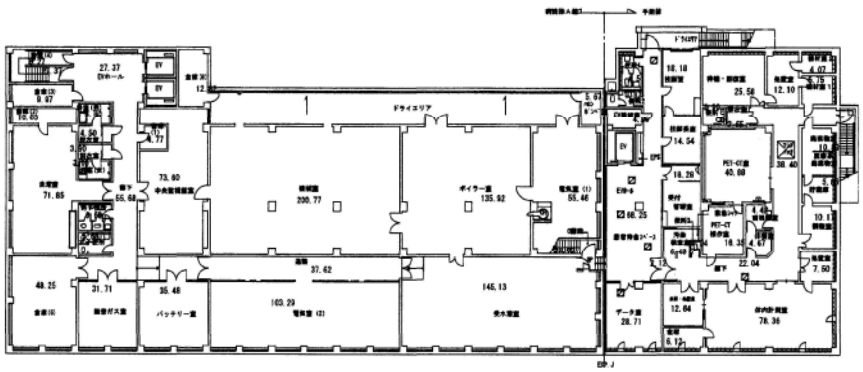
立体駐車場棟　RF階　－㎡
建築基準法　73.13㎡

立体駐車場棟　PH階　－㎡
建築基準法　－㎡





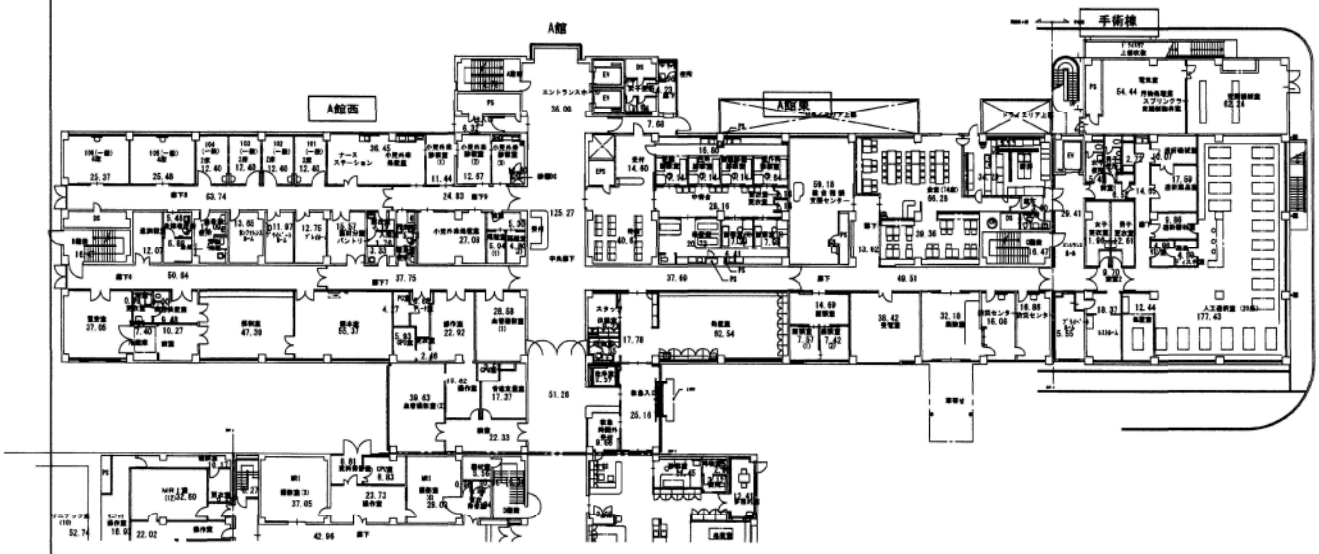
東京医科大学 西新宿キャンパス 立体駐車場棟　RF・PH階平面図	S=1：400（A3版）	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.



A館地階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター

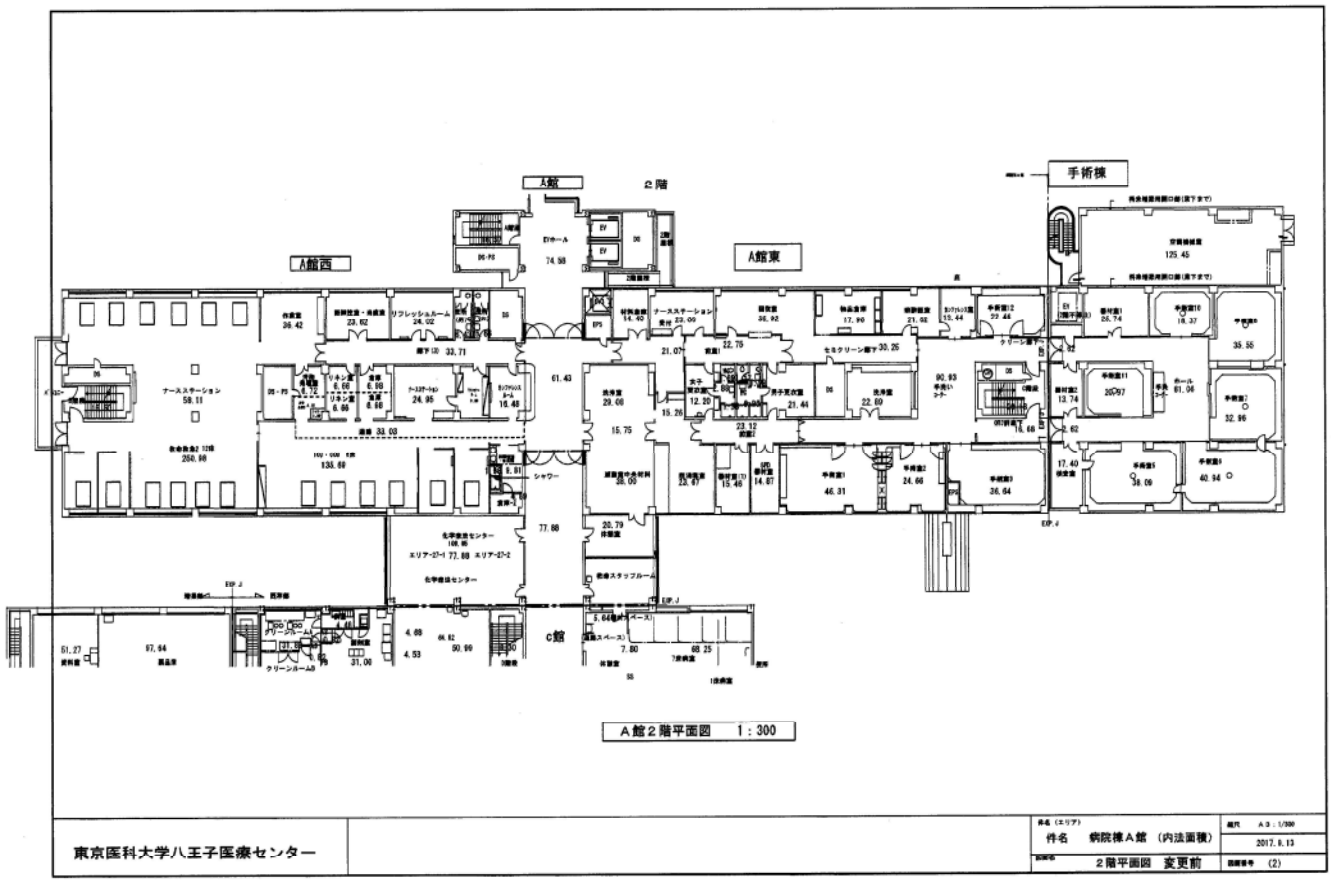
件名（エリア）
件名　病院棟A館（内法面積）
図面名
地階平面図
縮尺　A3：1/300
2015.11.30
図面番号　(2)

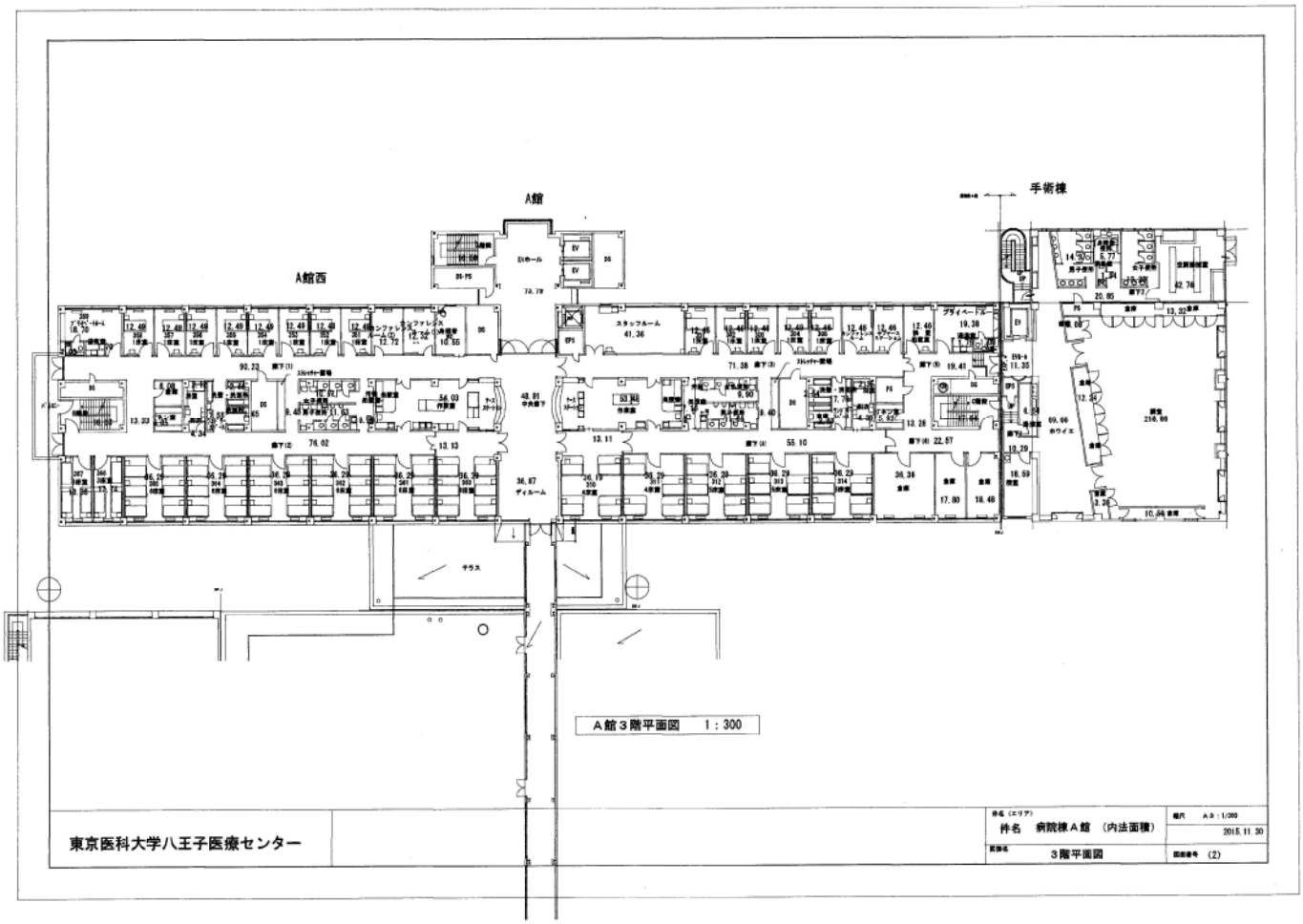


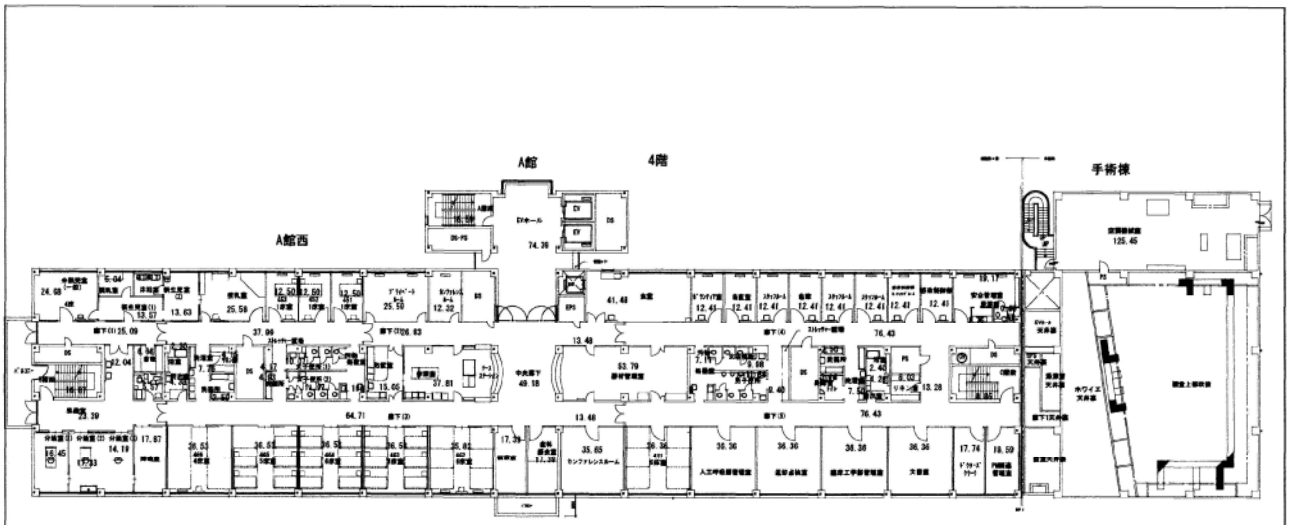
A館1階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター

件名（エリア）
件名　病院棟A館（内法面積）
図面名
1階平面図
縮尺　A3：1/300
2015.11.30
図面番号　(2)


A館
2階
手術棟
A館西
A館東
A館２階平面図　1：300
東京医科大学八王子医療センター
件名　病院棟A館（内法面積）
2017.8.13
２階平面図　変更前
(2)

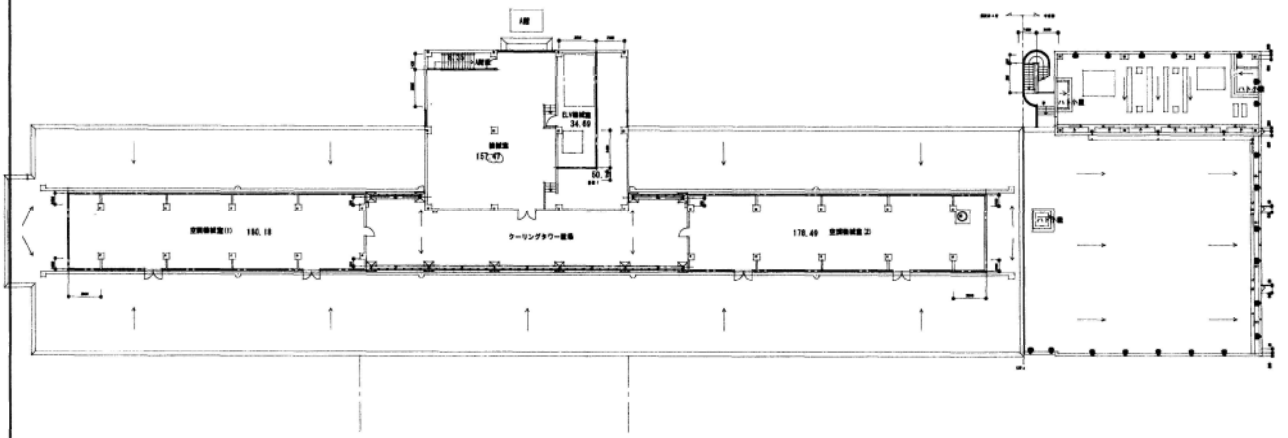

A館
手術棟
A館西
A館３階平面図　1：300
東京医科大学八王子医療センター
件名　病院棟A館（内法面積）
2015.11.30
３階平面図
(2)



A館４階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター

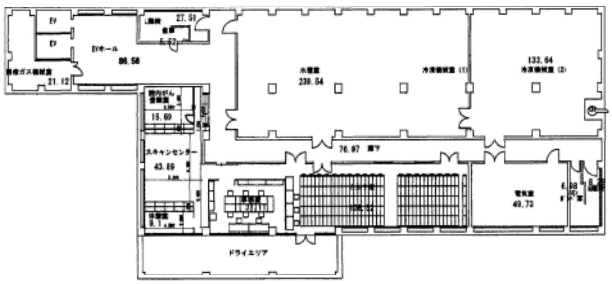
件名（エリア）
件名　病院棟Ａ館　（内法面積）
縮尺　A３：1/300
2015.11.30
図面名
４階平面図
図面番号　(2)



A館５階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター

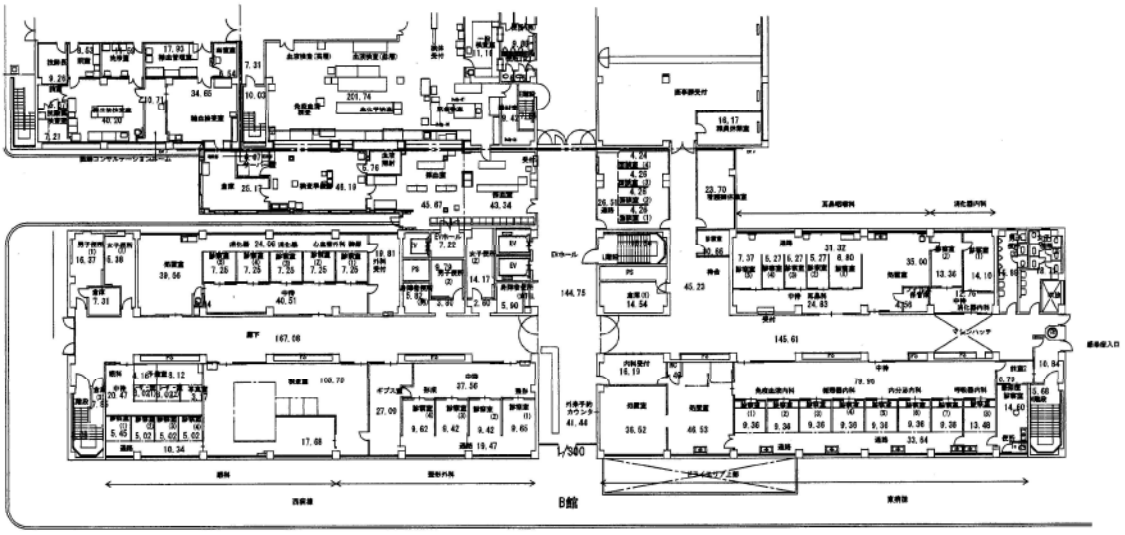
件名（エリア）
件名　病院棟Ａ館　（内法面積）
縮尺　A３：1/300
2015.11.30
図面名
５階平面図
図面番号　(2)



B館地下階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター

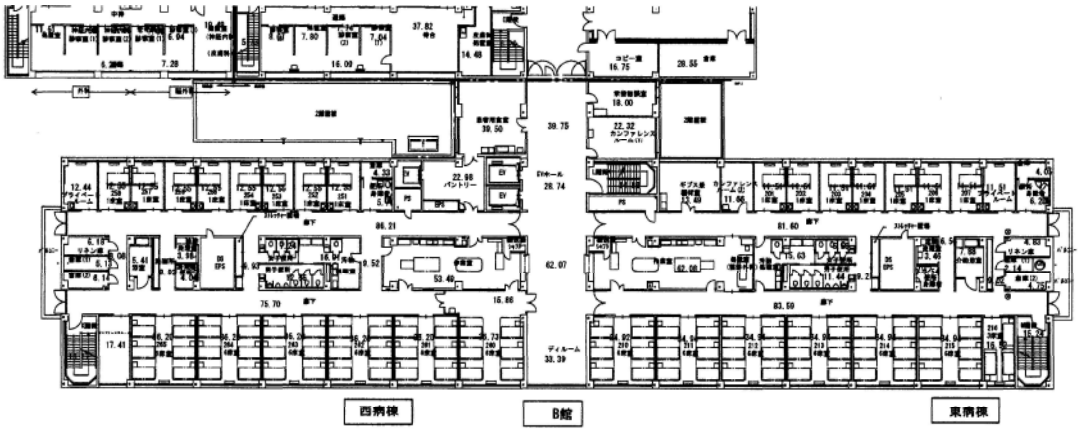
件名（エリア）	
件名	病院棟B館（内法面積）
図面名	地下階平面図
縮尺	A3：1/300
	2015.11.30
図面番号	(2)



B館1階平面図　1：300

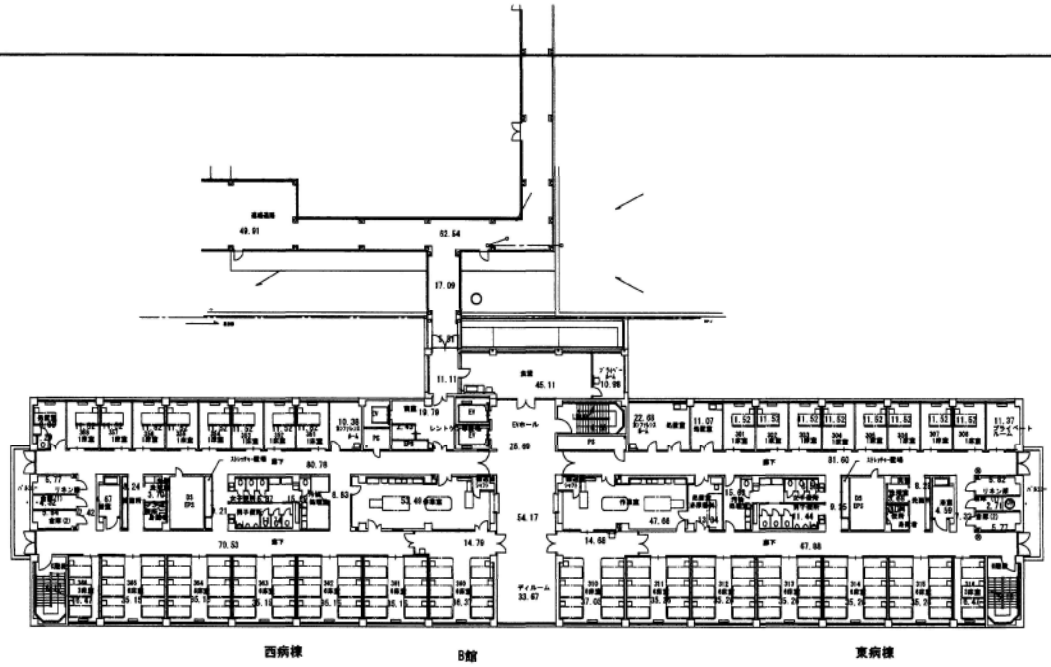
東京医科大学八王子医療センター

件名（エリア）	
件名	病院棟B館（内法面積）
図面名	1階平面図
縮尺	A3：1/300
	2015.11.30
図面番号	(2)



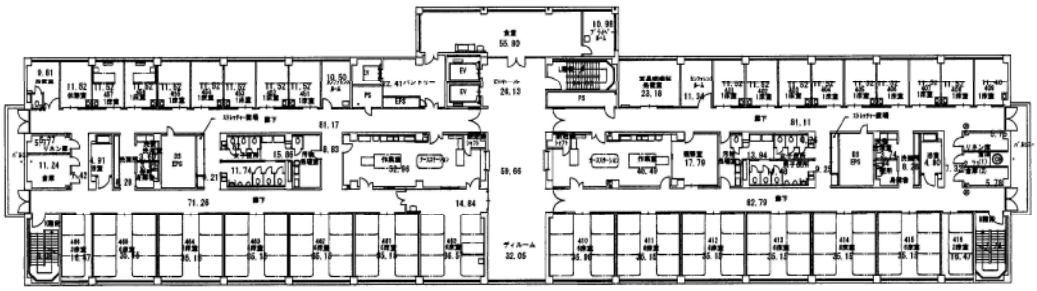
B館２階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名　病院棟Ｂ館（内法面積）	縮尺　A3：1/300
		図面名 ２階平面図	図面番号　(2)



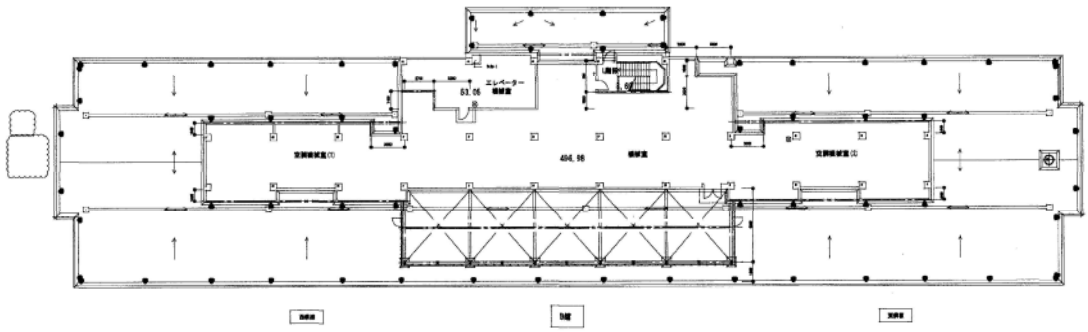
B館３階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名　病院棟Ｂ館（内法面積）	縮尺　A3：1/300 2015.11.30
		図面名 ３階平面図	図面番号　(2)



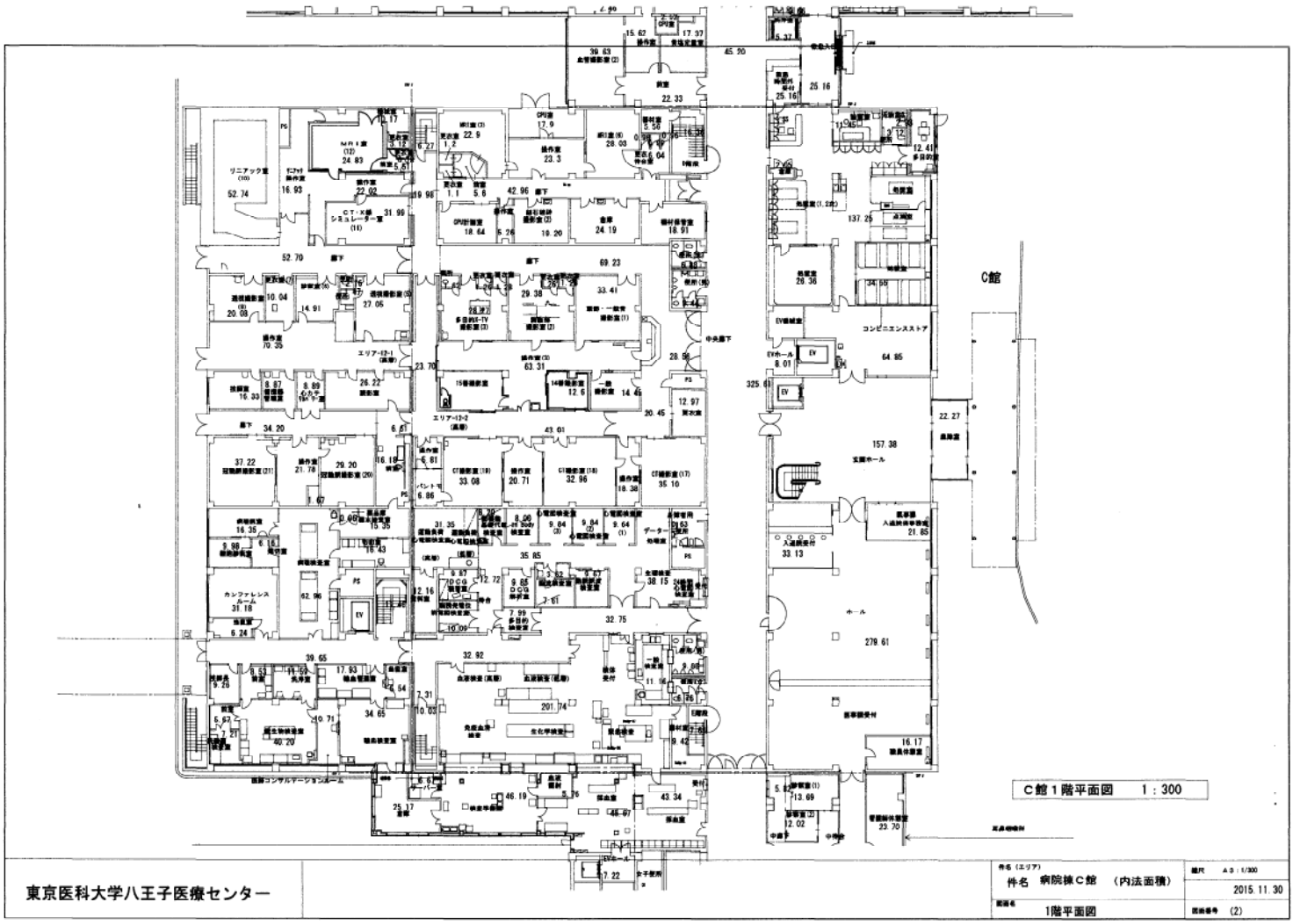
B館4階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名 病院棟B館（内法面積）	縮尺 A3：1/300
			2015.11.30
		図面名 4階平面図	図面番号 (2)



B館5階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名 病院棟B館（内法面積）	縮尺 A3：1/300
			(2) 2015.11.30
		図面名 5階平面図	図面番号 (2)



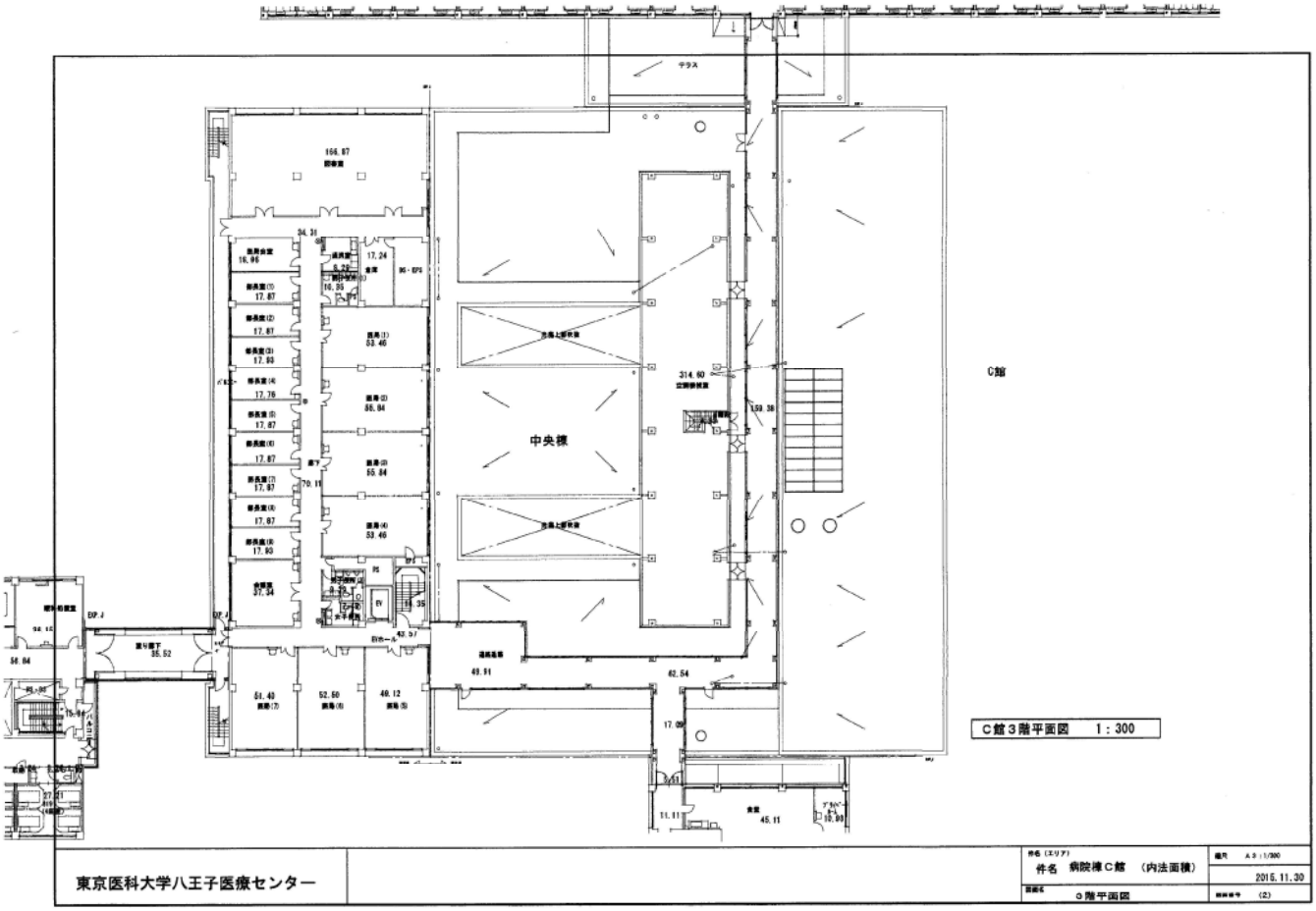
東京医科大学八王子医療センター

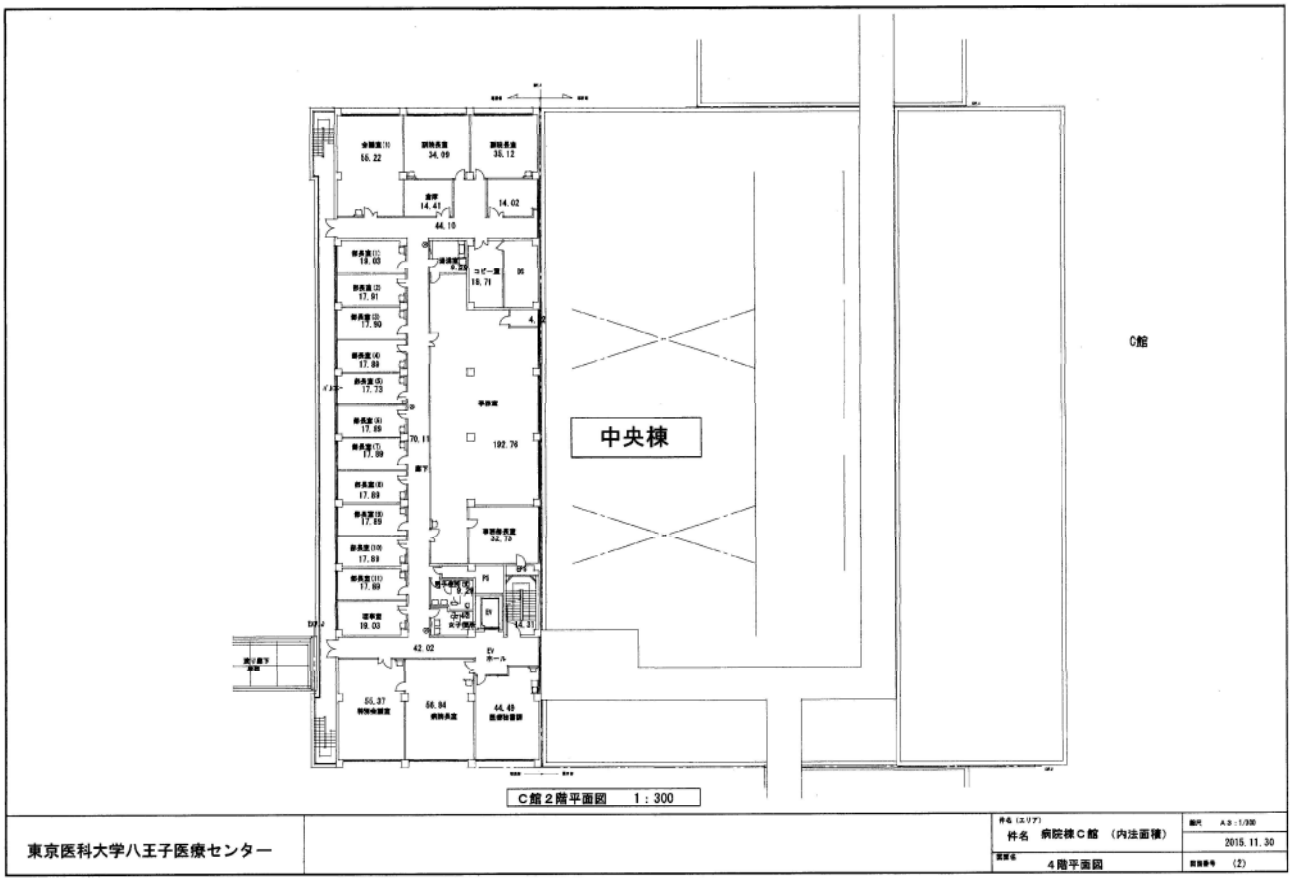
件名（エリア）	件名　病院棟Ｃ館　（内法面積）
図面名	1階平面図
縮尺	A3：1/300
作成日	2015.11.30
図面番号	(2)

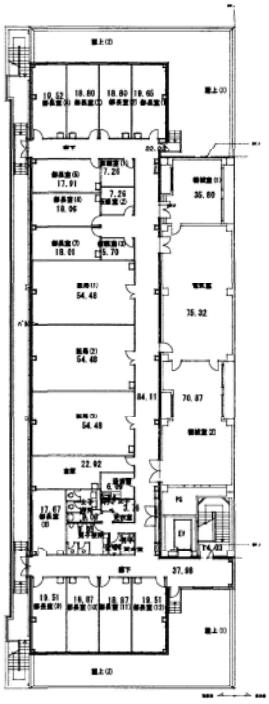


東京医科大学八王子医療センター

件名（エリア）	件名　病院棟Ｃ館　（内法面積）
図面名	2階平面図
縮尺	A3：1/300
作成日	2019.4.1
図面番号	(2)

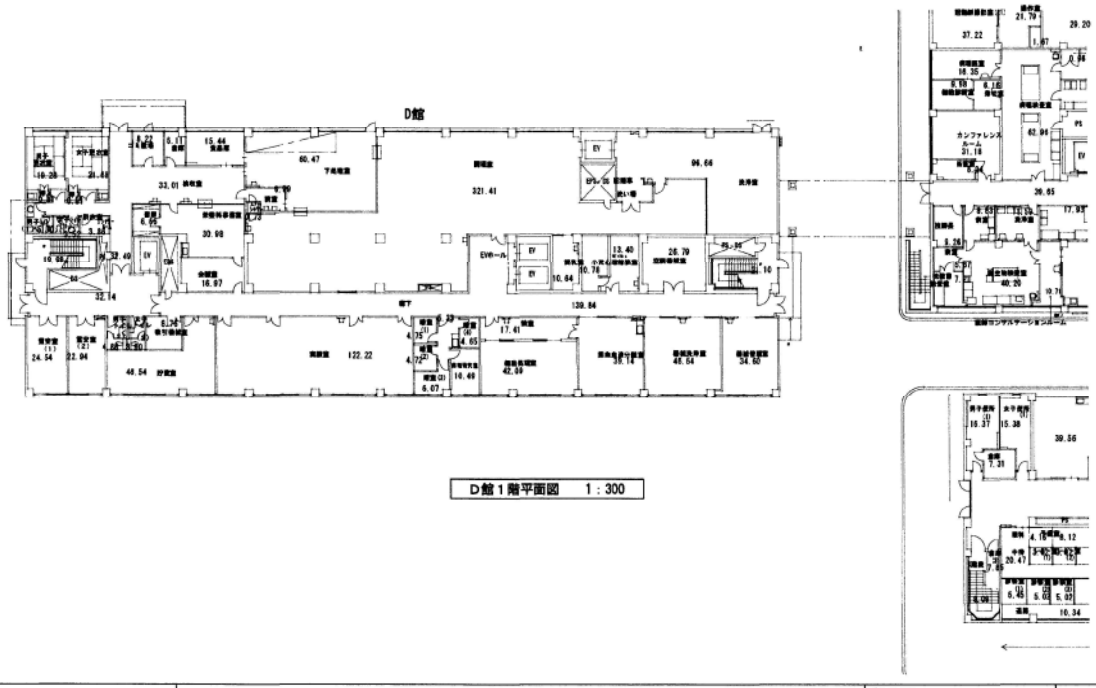

中央棟
C館
C館３階平面図　1：300
東京医科大学八王子医療センター
件名　病院棟Ｃ館　（内法面積）
2015.11.30
４階平面図
(2)


中央棟
C館
C館２階平面図　1：300
東京医科大学八王子医療センター
件名　病院棟Ｃ館　（内法面積）
2015.11.30
４階平面図
(2)



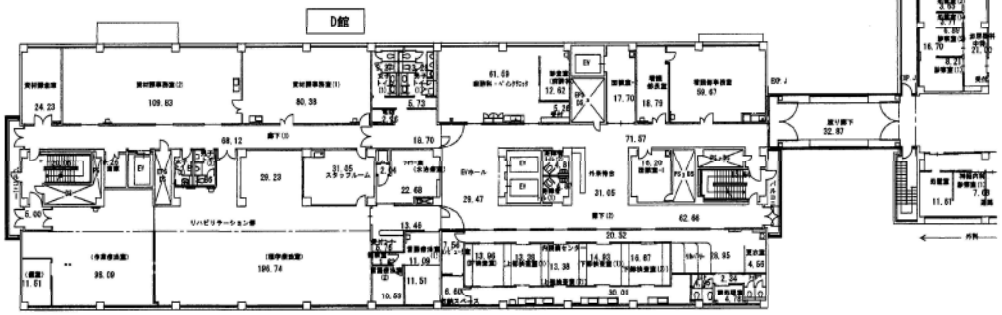
C館５階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名　病院棟Ｃ館　（内法面積）	縮尺　A3：1/300 2015.11.30
		図面名 ５階平面図	図面番号　(2)



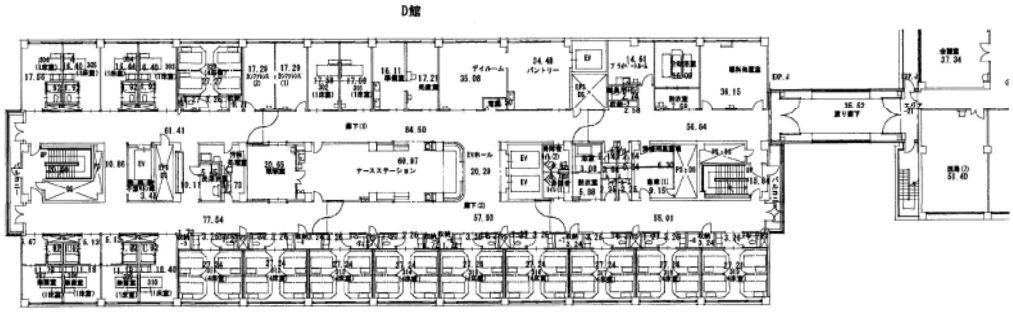
D館１階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名　病院棟Ｄ館　（内法面積）	縮尺　A3：1/300 2015.11.30
		図面名 １階平面図	図面番号　(2)



D館２階平面図　1：300

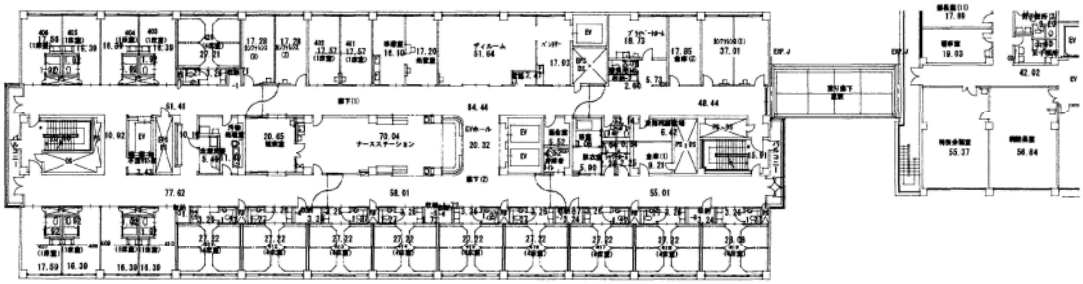
東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名　病院棟Ｄ館　（内法面積）	縮尺　A3：1/300 2015.11.30
		図面名 ２階平面図	図面番号　(2)



D館３階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名　病院棟Ｄ館　（内法面積）	縮尺　A3：1/300 2015.11.30
		図面名 ３階平面図	図面番号　(2)

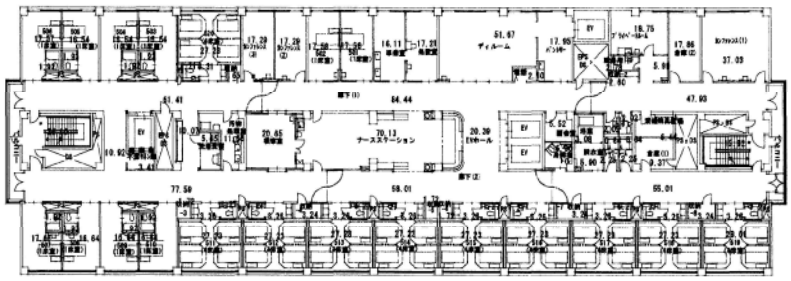
D館



D館４階平面図　1：300

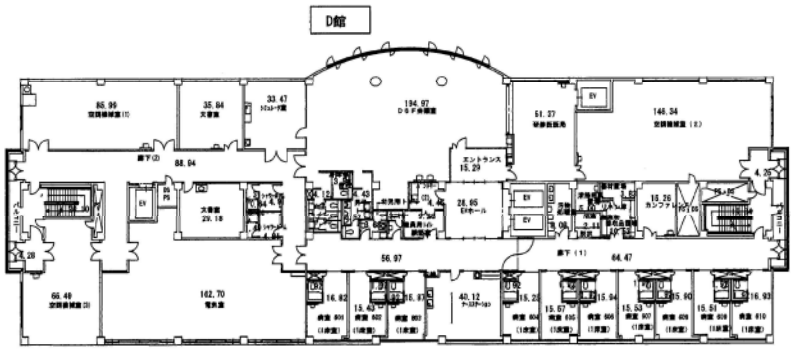
東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名　病院棟Ｄ館　（内法面積） 図面名 ４階平面図	縮尺　A3：1/300 2015.11.30 図面番号　(2)

D館



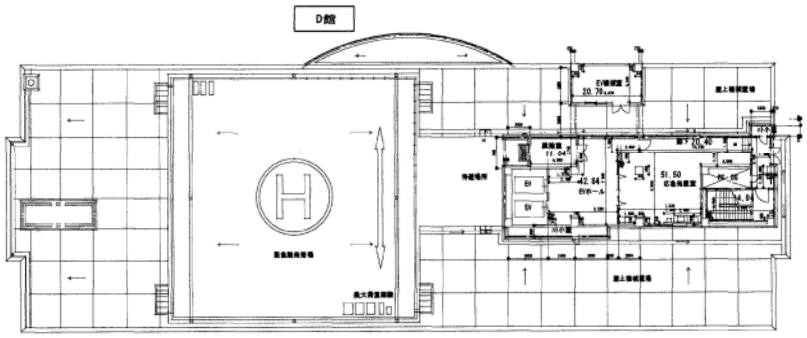
D館５階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名　病院棟Ｄ館　（内法面積） 図面名 ５階平面図	縮尺　A3：1/300 2015.11.30 図面番号　(2)



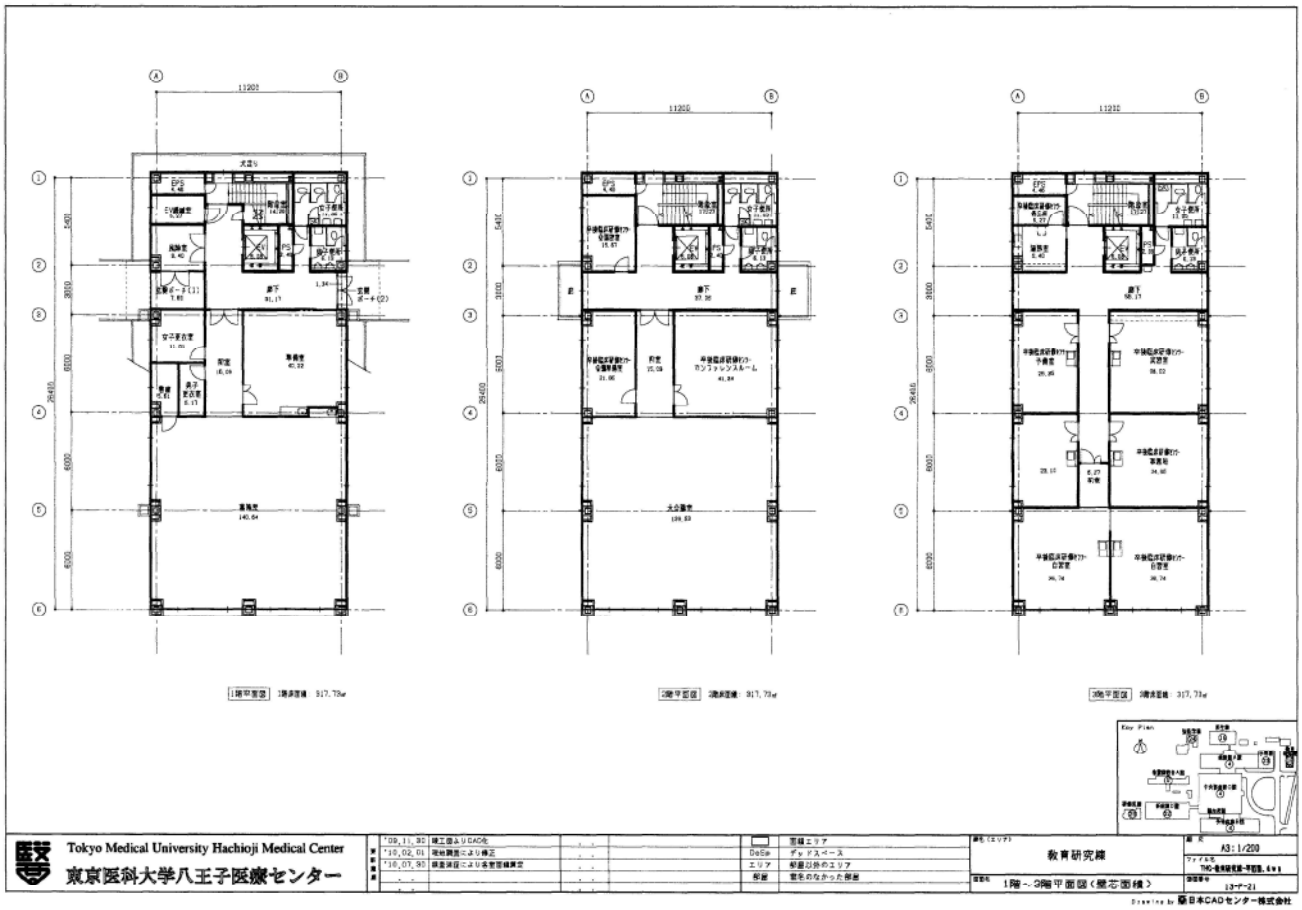
D館６階平面図　1：300

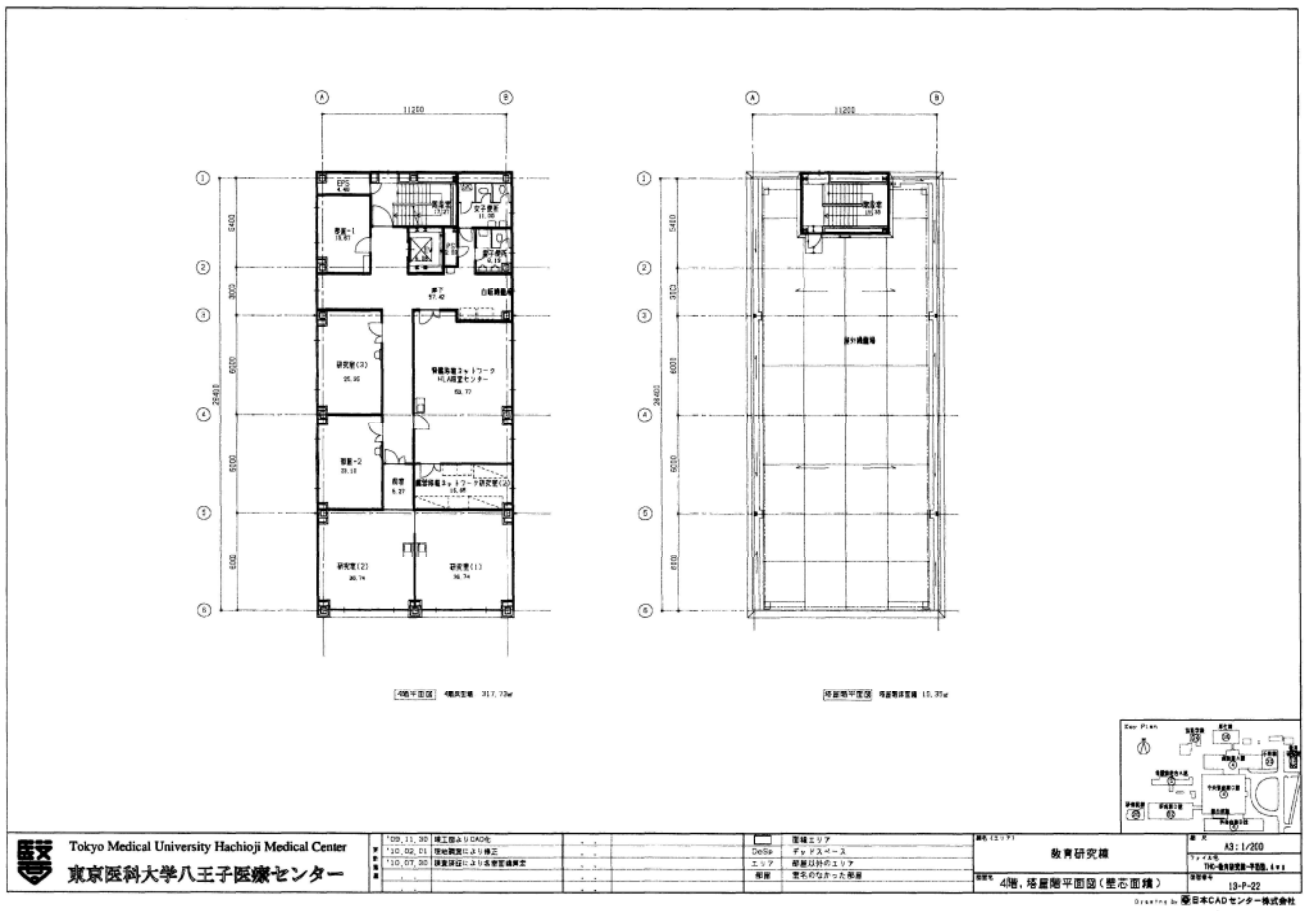
東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名　病院棟Ｄ館　（内法面積）	縮尺　A3：1/300 2015.11.30
		図面名 ５階平面図	図面番号　(2)



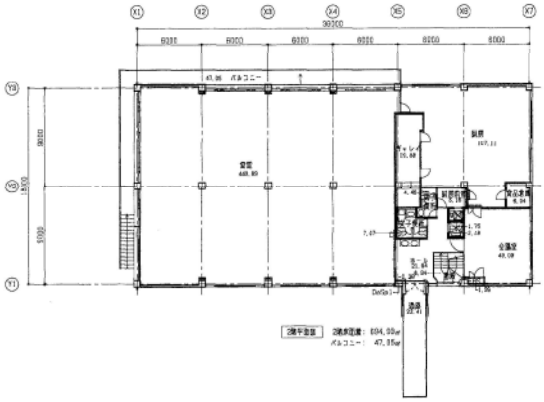
D館７階平面図　1：300

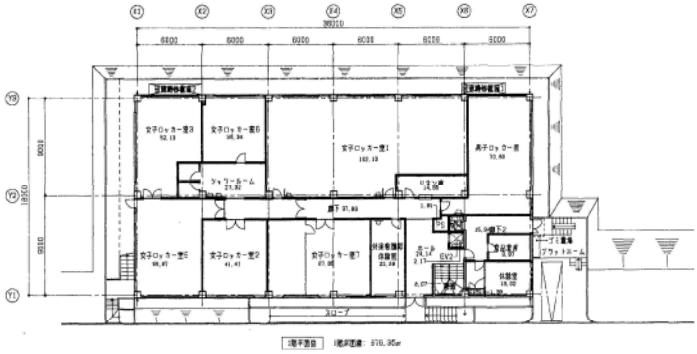
東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名　病院棟Ｄ館　（内法面積）	縮尺　A3：1/300 2015.11.30
		図面名 ７階平面図	図面番号　(3)

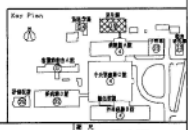

1階平面図
2階平面図
3階平面図
Key Plan
Tokyo Medical University Hachioji Medical Center
東京医科大学八王子医療センター
教育研究棟
1階～3階平面図（壁芯面積）
A3：1/200
13-P-21
Drawing by 日本CADセンター株式会社


4階平面図
塔屋階平面図
Key Plan
Tokyo Medical University Hachioji Medical Center
東京医科大学八王子医療センター
教育研究棟
4階，塔屋階平面図（壁芯面積）
A3：1/200
13-P-22
Drawing by 日本CADセンター株式会社

変更後





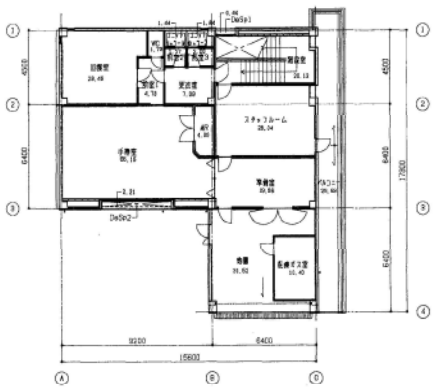


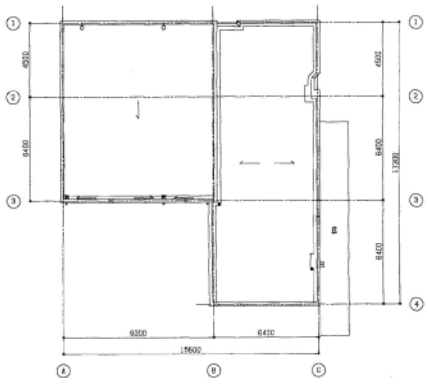
Tokyo Medical University Hachioji Medical Center
東京医科大学八王子医療センター

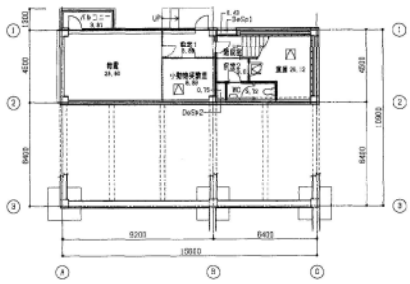
変更内容					
'09_11_30	構工管4.0 CAD化			面積エリア	
'10_02_01	現地調査により修正		DeSp	デッドスペース	
'10_07_30	設置項目により各面積集計		エリア	部屋以外のエリア	
'13_10_21	看護師カウンター→ロッカー室7		部屋	空名のなかった部屋	

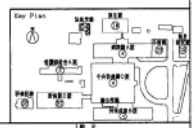
題名（エリア）	厚生棟	縮尺	A3：1/300
		ファイル名	TMD-厚生棟-平面図.dwg
図面名	1階，2階平面図（壁芯面積）	図面番号	10-P-21

Display by 日本CADセンター株式会社







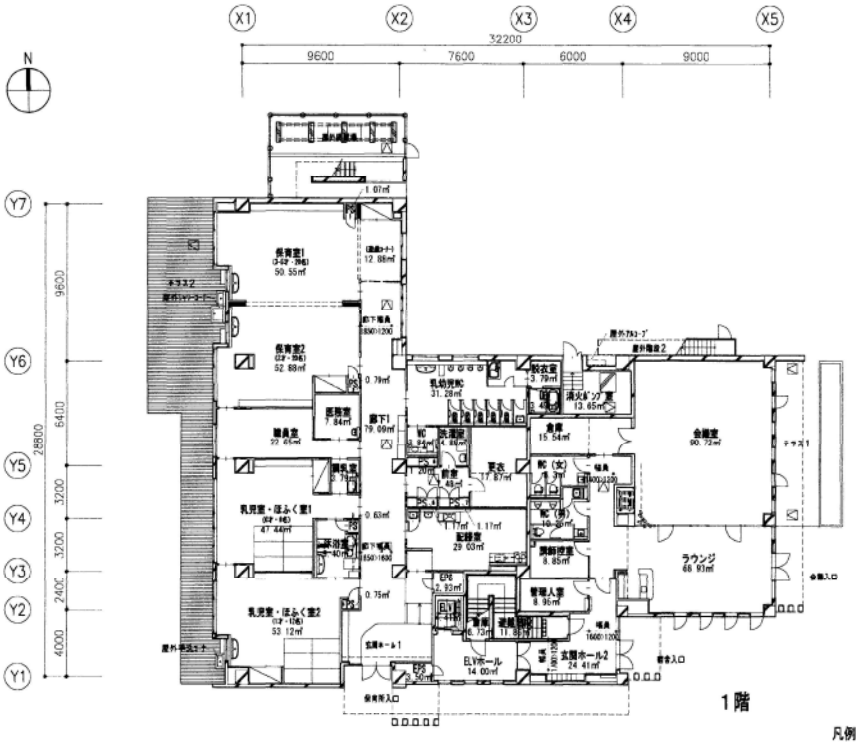


Tokyo Medical University Hachioji Medical Center
東京医科大学八王子医療センター

変更内容					
'09_11_30	構工管4.0 CAD化			面積エリア	
'10_02_01	現地調査により修正		DeSp	デッドスペース	
'10_07_30	設置項目により各面積集計		エリア	部屋以外のエリア	
			部屋	空名のなかった部屋	

題名（エリア）	法医学棟	縮尺	A3：1/200
		ファイル名	TMD-法医学棟-平面図.dwg
図面名	地下1階，1階，屋根平面図（壁芯面積）	図面番号	24-P-21

Display by 日本CADセンター株式会社



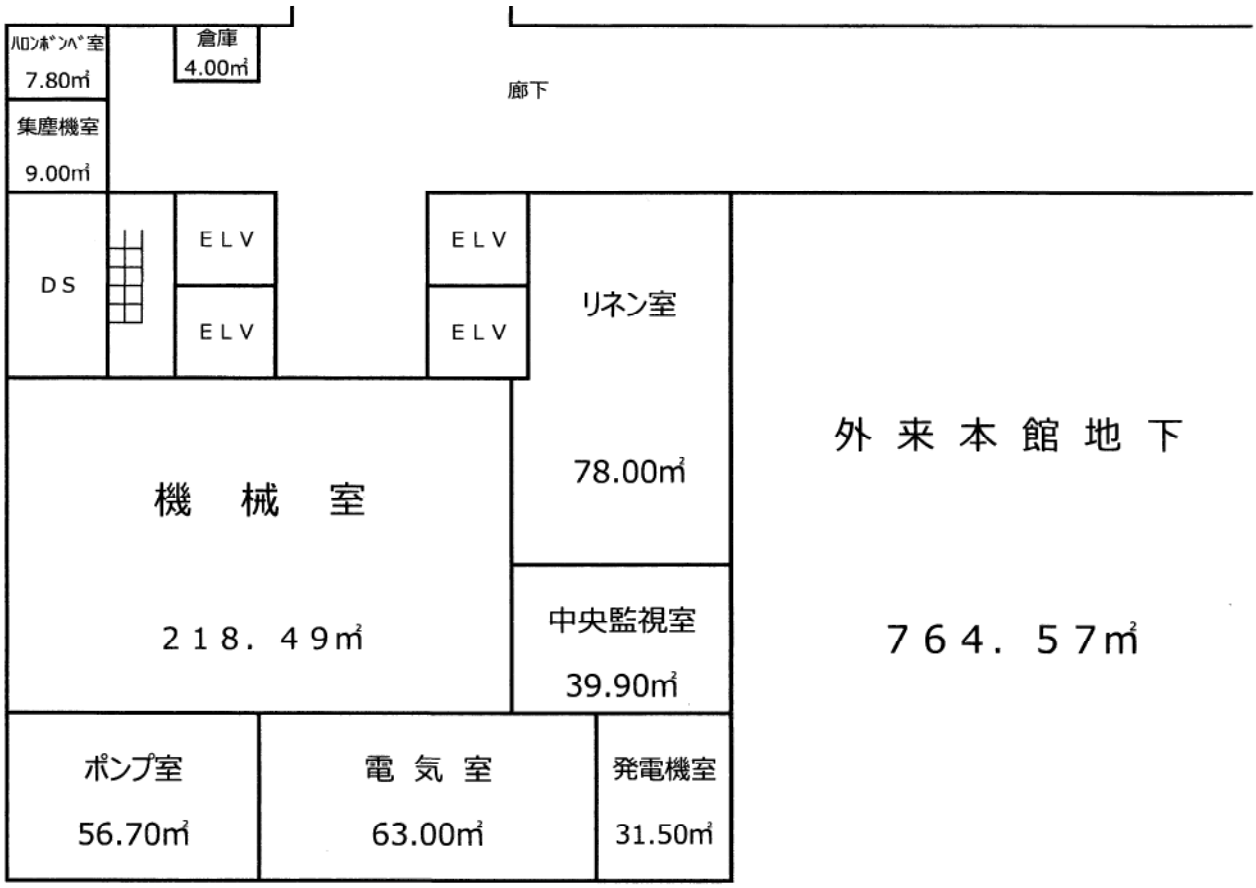
石本建築事務所 Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc.						2013.10.10		東京農工大学八王子農場センター 構内排水他・便器取替等改修工事	105/60-02		一級建築士
								1階キープラン (室面積（壁芯）記入平面図)	1/100/A1 1/200/A3		



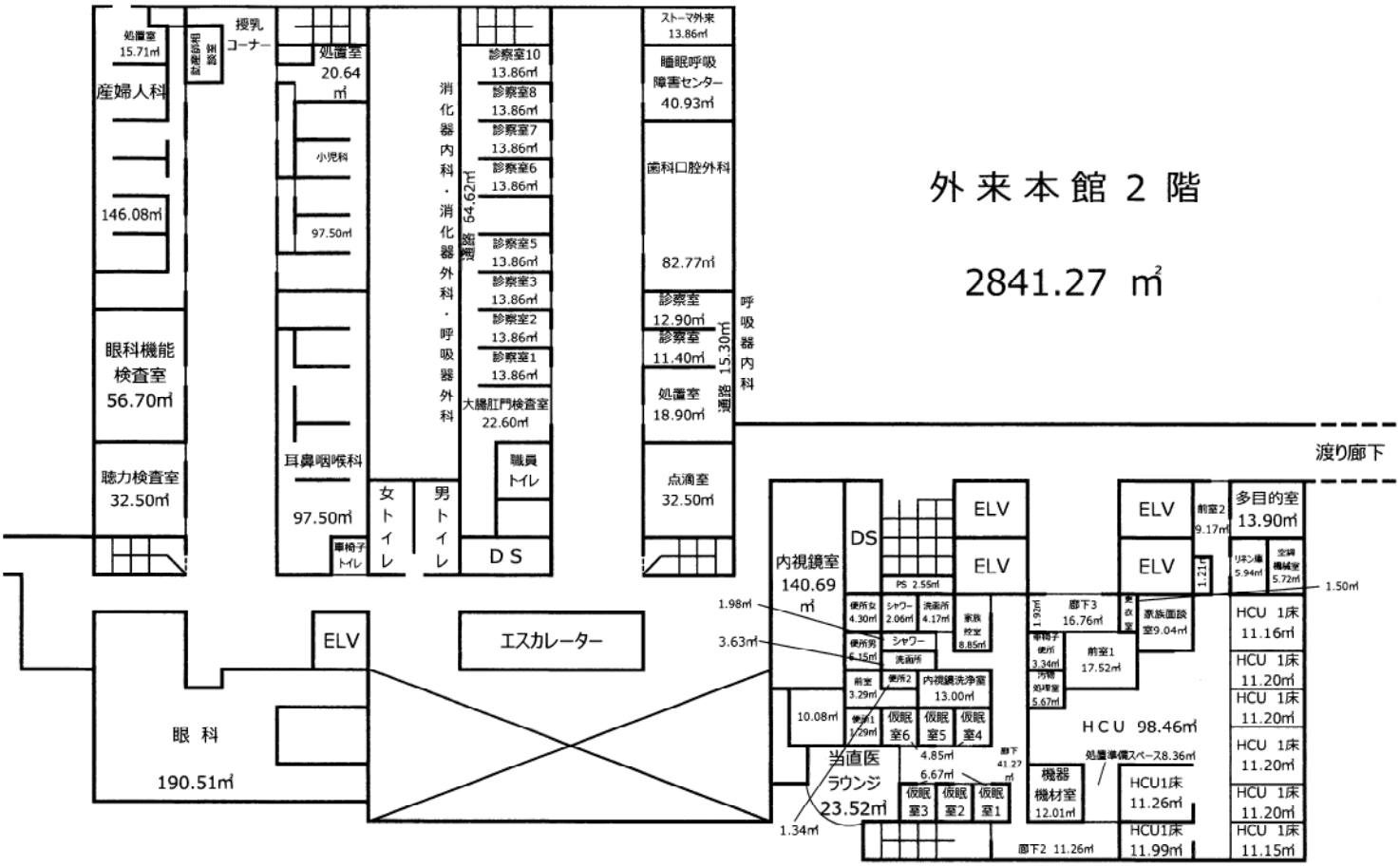
石本建築事務所 Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc.						2013.10.10		東京農工大学八王子農場センター 構内排水他・便器取替等改修工事	105765-02		一級建築士
								2階キープラン (室面積（壁芯）記入平面図)	1/100/A1 1/200/A3		

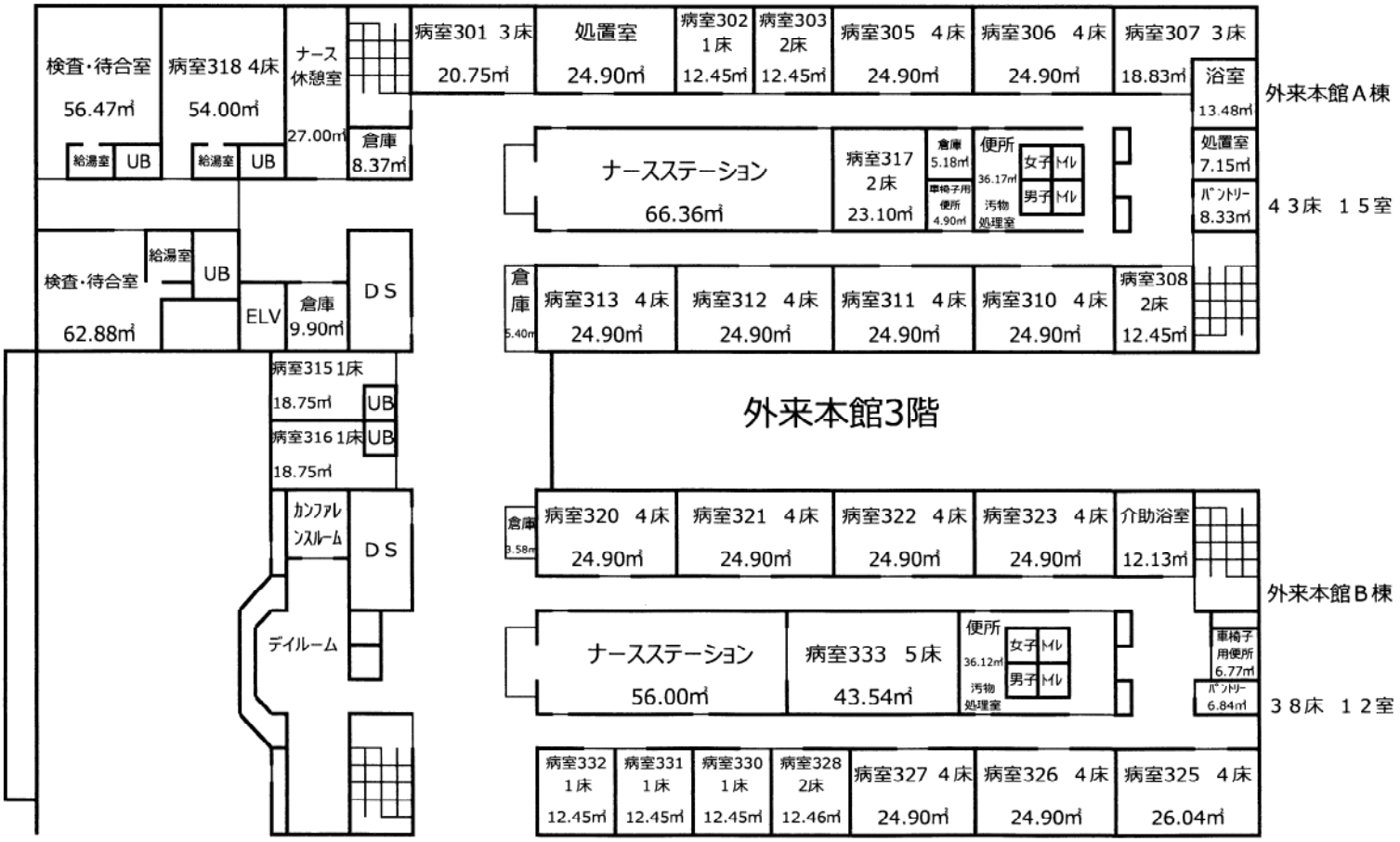


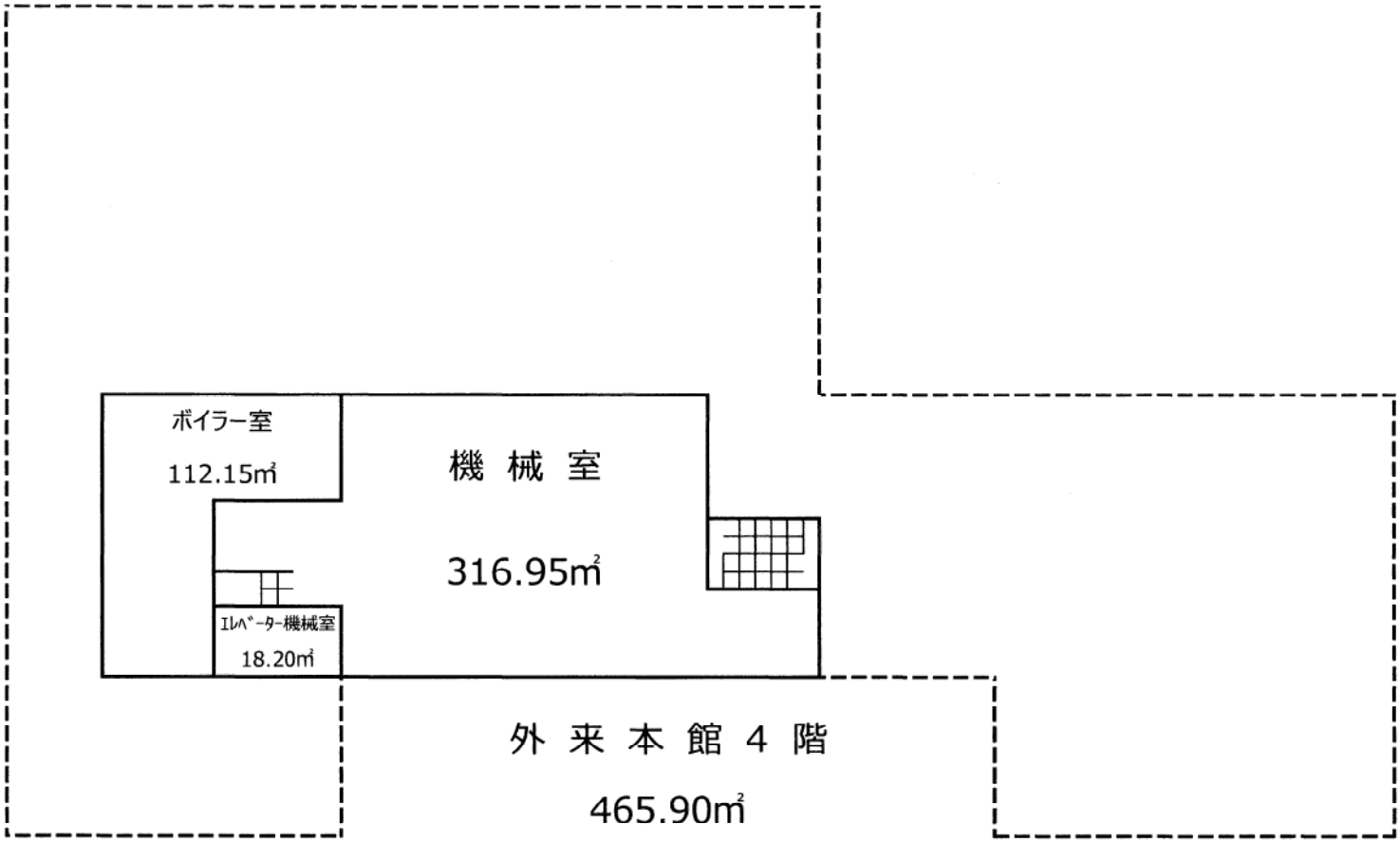
石本建築事務所 Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc.

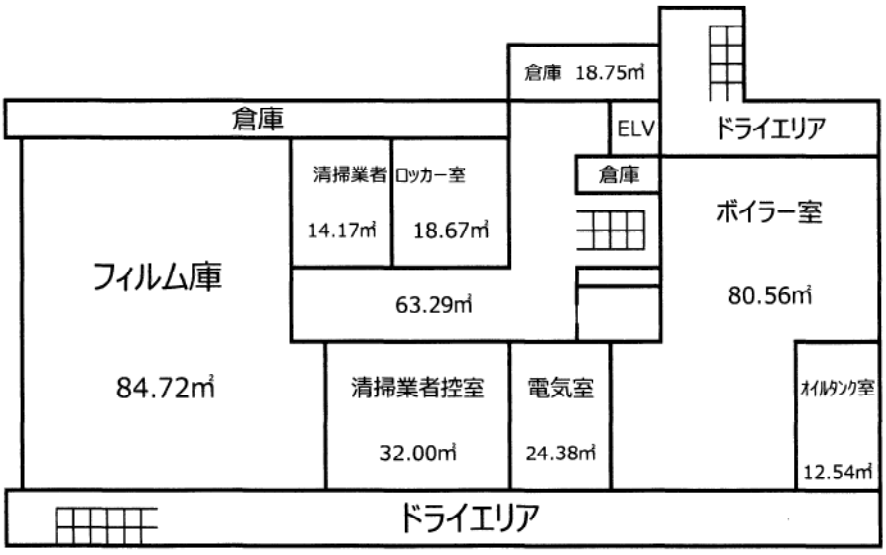

ﾊﾛﾝﾎﾟﾝﾍﾟ室
7.80㎡
倉庫
4.00㎡
廊下
集塵機室
9.00㎡
DS
ELV
ELV
ELV
ELV
リネン室
78.00㎡
外来本館地下
機械室
218.49㎡
中央監視室
39.90㎡
764.57㎡
ポンプ室
56.70㎡
電気室
63.00㎡
発電機室
31.50㎡


泌尿器科
79.70㎡
28.23㎡
33.08㎡
88.19㎡
入院サポートセンター
総合相談・支援センター兼ベッドセンター
脳神経外科脳神経内科処置室
63.74㎡
コピー室
6.28㎡
脳神経外科1
15.81㎡
脳神経外科2
16.74㎡
脳神経内科1
13.22㎡
脳神経内科2
10.70㎡
診察室9.94㎡
診察室10.50㎡
診察室12.03㎡
診察室
7.34㎡
診察室
7.34㎡
待合室
162.74㎡
中庭
女トイレ
男トイレ
診察室5
診察室4
診察室3
7.05㎡
診察室2
9.00㎡
診察室1
9.00㎡
受付
10.80㎡
前室
25.05㎡
整形外科
130.00㎡
代謝内分泌内科
感染症科
待合室
99.56㎡
待合室
98.18㎡
DS
診察室C
11.80㎡
診察室B
18.97㎡
診察室A
21.12㎡
皮膚科
77.84㎡
形成外科
22.88㎡
レーザー治療室
32.28㎡
診察室
17.68㎡
乳腺外科
感染性廃棄物保管室兼
不潔リネン室 11.02㎡
渡り廊下
入退院窓口
12.88㎡
患者相談窓口
26.72㎡
DS
ELV
ELV
ELV
ELV
EPS
当直
13.20㎡
処置コーナー
15.60㎡
汚物処理室9.51㎡
救命救急室
180.30㎡
前室
21.36㎡
夜間受付
風除室
9.75㎡
ドトール
75.82㎡
ELV
エスカレーター
エントランス
総合相談・支援センター
39.00㎡
医事課 160.35㎡
初診受付
54.00㎡
外来会計入力
文書受付
外来
6階
62.38㎡
外来本館1階
3198.22㎡

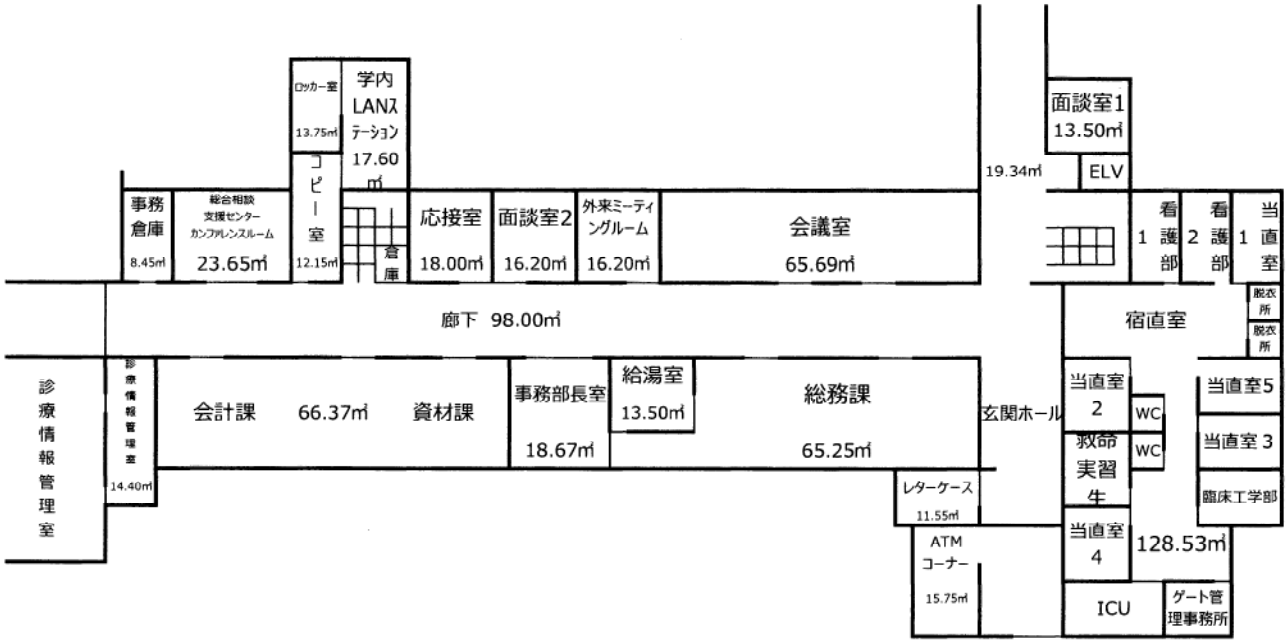

外来本館２階
2841.27 ㎡
産婦人科
146.08㎡
授乳コーナー
処置室 20.64㎡
小児科
97.50㎡
眼科機能検査室 56.70㎡
聴力検査室 32.50㎡
耳鼻咽喉科 97.50㎡
車椅子トイレ
女トイレ
男トイレ
消化器内科・消化器外科・呼吸器外科
診察室10 13.86㎡
診察室8 13.86㎡
診察室7 13.86㎡
診察室6 13.86㎡
診察室5 13.86㎡
診察室3 13.86㎡
診察室2 13.86㎡
診察室1 13.86㎡
大腸肛門検査室 22.60㎡
職員トイレ
D S
通路 64.62㎡
ストーマ外来 13.86㎡
睡眠呼吸障害センター 40.93㎡
歯科口腔外科 82.77㎡
診察室 12.90㎡
診察室 11.40㎡
処置室 18.90㎡
点滴室 32.50㎡
通路 15.30㎡
呼吸器内科
渡り廊下
ELV
エスカレーター
眼 科 190.51㎡
内視鏡室 140.69㎡
DS
ELV
PS 2.55㎡
便所女 4.30㎡
シャワー 2.06㎡
洗面所 4.17㎡
便所男 6.15㎡
シャワー
洗面所
家族控室 8.85㎡
廊下3 16.76㎡
車椅子便所 3.34㎡
汚物処理室 5.67㎡
前室1 17.52㎡
更衣室
家族面談室9.04㎡
前室2 9.17㎡
多目的室 13.90㎡
リネン庫 5.94㎡
空調機械室 5.72㎡
前室 3.29㎡
便所2
内視鏡洗浄室 13.00㎡
便所1 3.29㎡
仮眠室6
仮眠室5
仮眠室4
10.08㎡
当直医ラウンジ 23.52㎡
仮眠室3
仮眠室2
仮眠室1
4.85㎡
6.67㎡
廊下 41.27㎡
処置準備スペース8.36㎡
機器機材室 12.01㎡
HCU 98.46㎡
HCU1床 11.26㎡
HCU1床 11.99㎡
廊下2 11.26㎡
HCU 1床 11.16㎡
HCU 1床 11.20㎡
HCU 1床 11.20㎡
HCU 1床 11.20㎡
HCU 1床 11.20㎡
HCU 1床 11.15㎡
1.98㎡
3.63㎡
1.34㎡
1.50㎡


検査・待合室 56.47㎡
病室318 4床 54.00㎡
ナース休憩室 27.00㎡
給湯室
UB
倉庫 8.37㎡
病室301 3床 20.75㎡
処置室 24.90㎡
病室302 1床 12.45㎡
病室303 2床 12.45㎡
病室305 4床 24.90㎡
病室306 4床 24.90㎡
病室307 3床 18.83㎡
浴室 13.48㎡
処置室 7.15㎡
パントリー 8.33㎡
外来本館Ａ棟
４３床 １５室
ナースステーション 66.36㎡
病室317 2床 23.10㎡
倉庫 5.18㎡
車椅子用便所 4.90㎡
便所 36.17㎡
女子トイレ
男子トイレ
汚物処理室
検査・待合室 62.88㎡
ELV
倉庫 9.90㎡
D S
病室315 1床 18.75㎡
病室316 1床 18.75㎡
倉庫 5.40㎡
病室313 4床 24.90㎡
病室312 4床 24.90㎡
病室311 4床 24.90㎡
病室310 4床 24.90㎡
病室308 2床 12.45㎡
外来本館3階
カンファレンスルーム
デイルーム
倉庫 3.58㎡
病室320 4床 24.90㎡
病室321 4床 24.90㎡
病室322 4床 24.90㎡
病室323 4床 24.90㎡
介助浴室 12.13㎡
外来本館Ｂ棟
ナースステーション 56.00㎡
病室333 5床 43.54㎡
車椅子用便所 6.77㎡
パントリー 6.84㎡
３８床 １２室
病室332 1床 12.45㎡
病室331 1床 12.45㎡
病室330 1床 12.45㎡
病室328 2床 12.46㎡
病室327 4床 24.90㎡
病室326 4床 24.90㎡
病室325 4床 26.04㎡

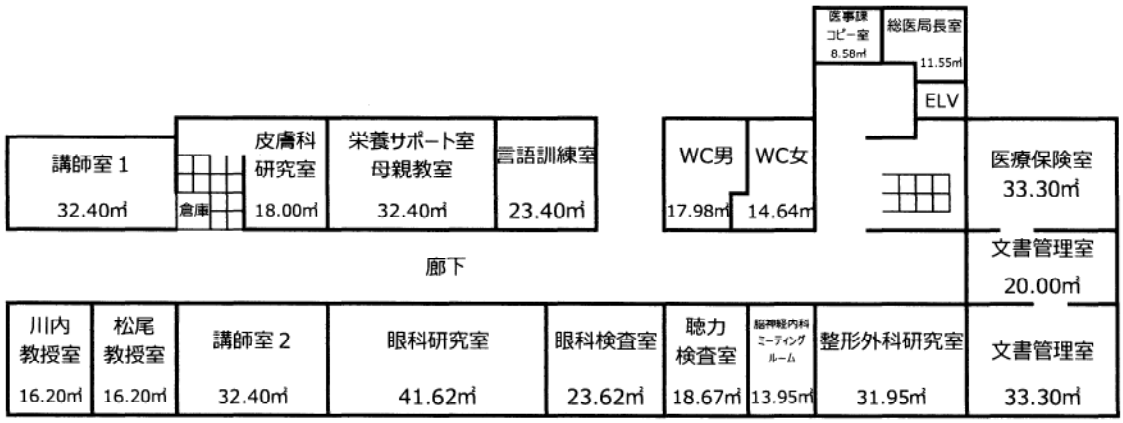




管理研究棟地下　　373.37㎡



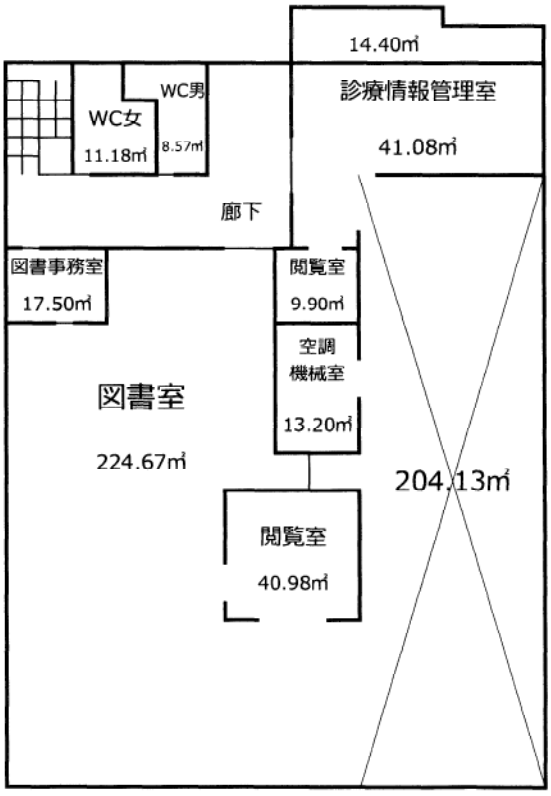
管理研究棟1階



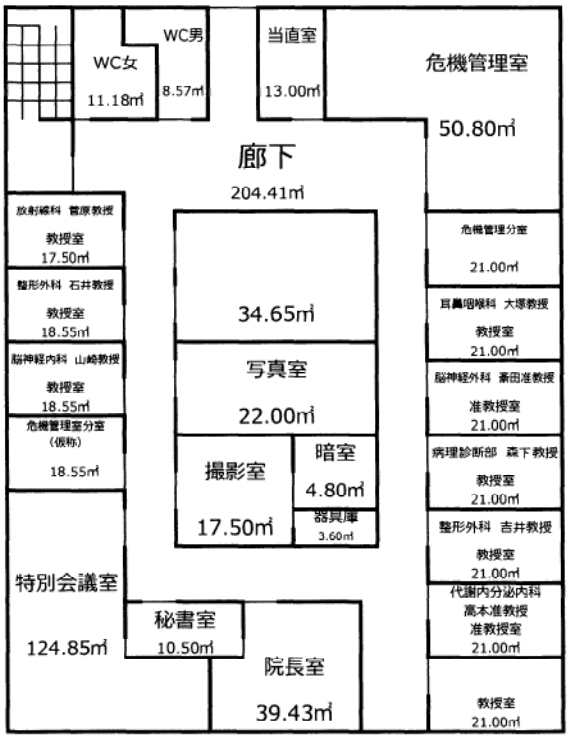
管理研究棟2階　　623.00㎡



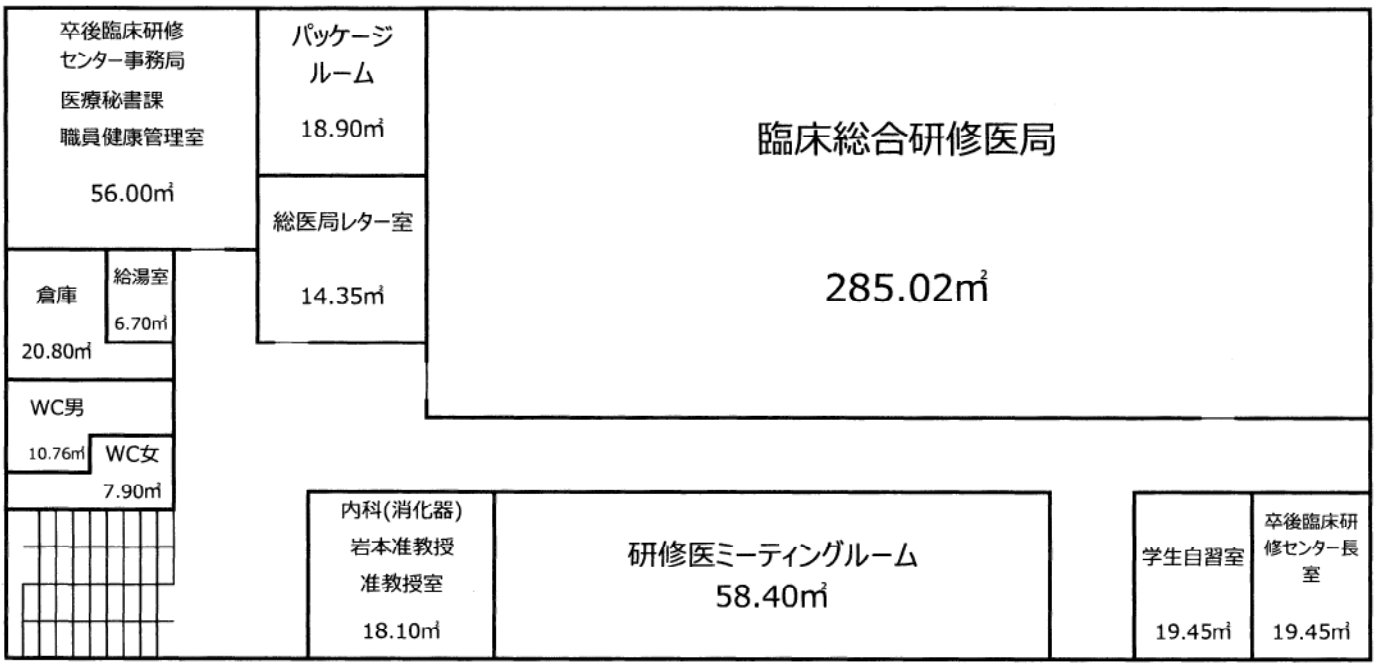
管理研究棟3階　　95.00㎡



教育研究棟1階



教育研究棟2階



教育研究棟　3階　　６５５．６２㎡



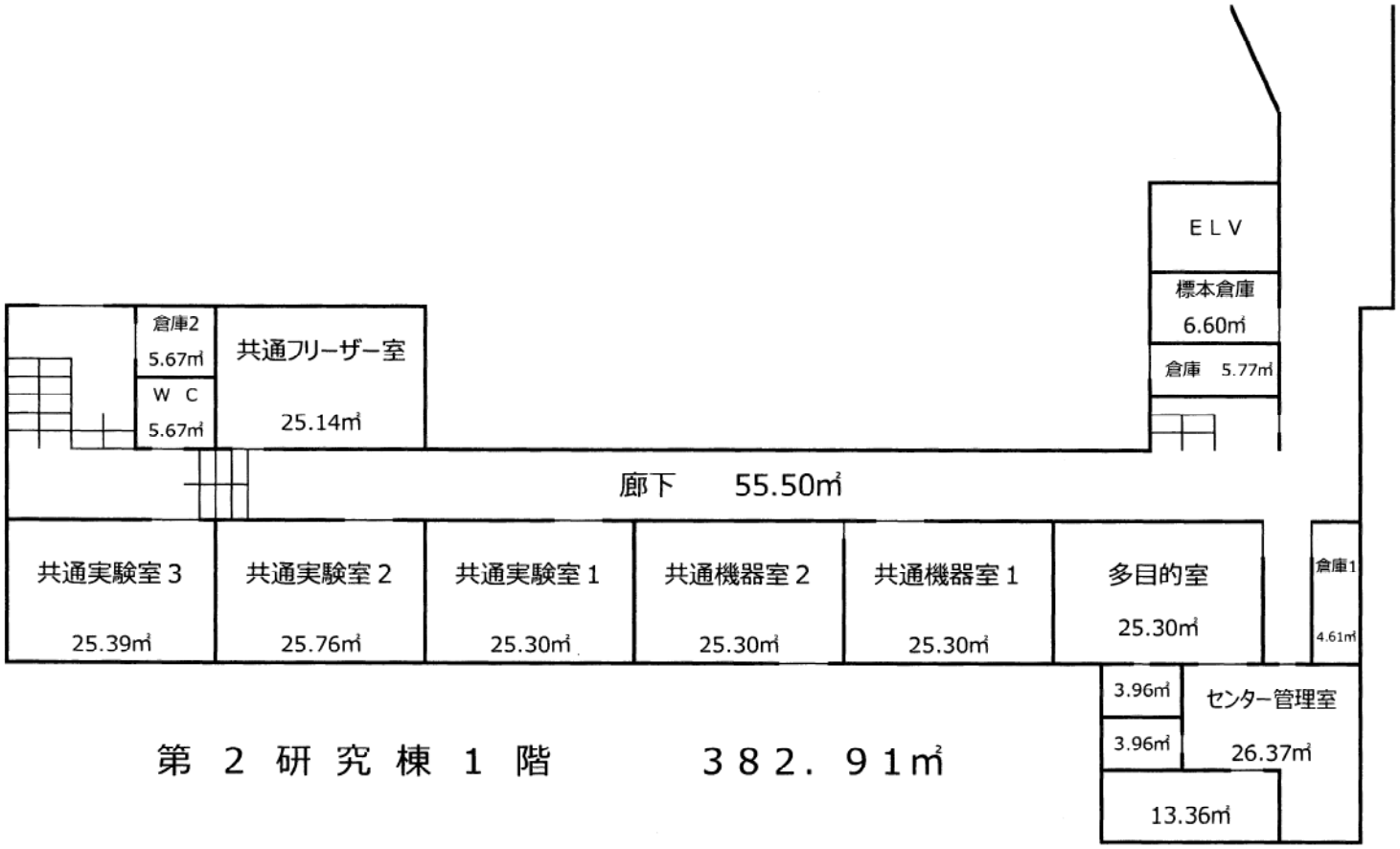
第１研究棟　1階　　４２９．４９㎡



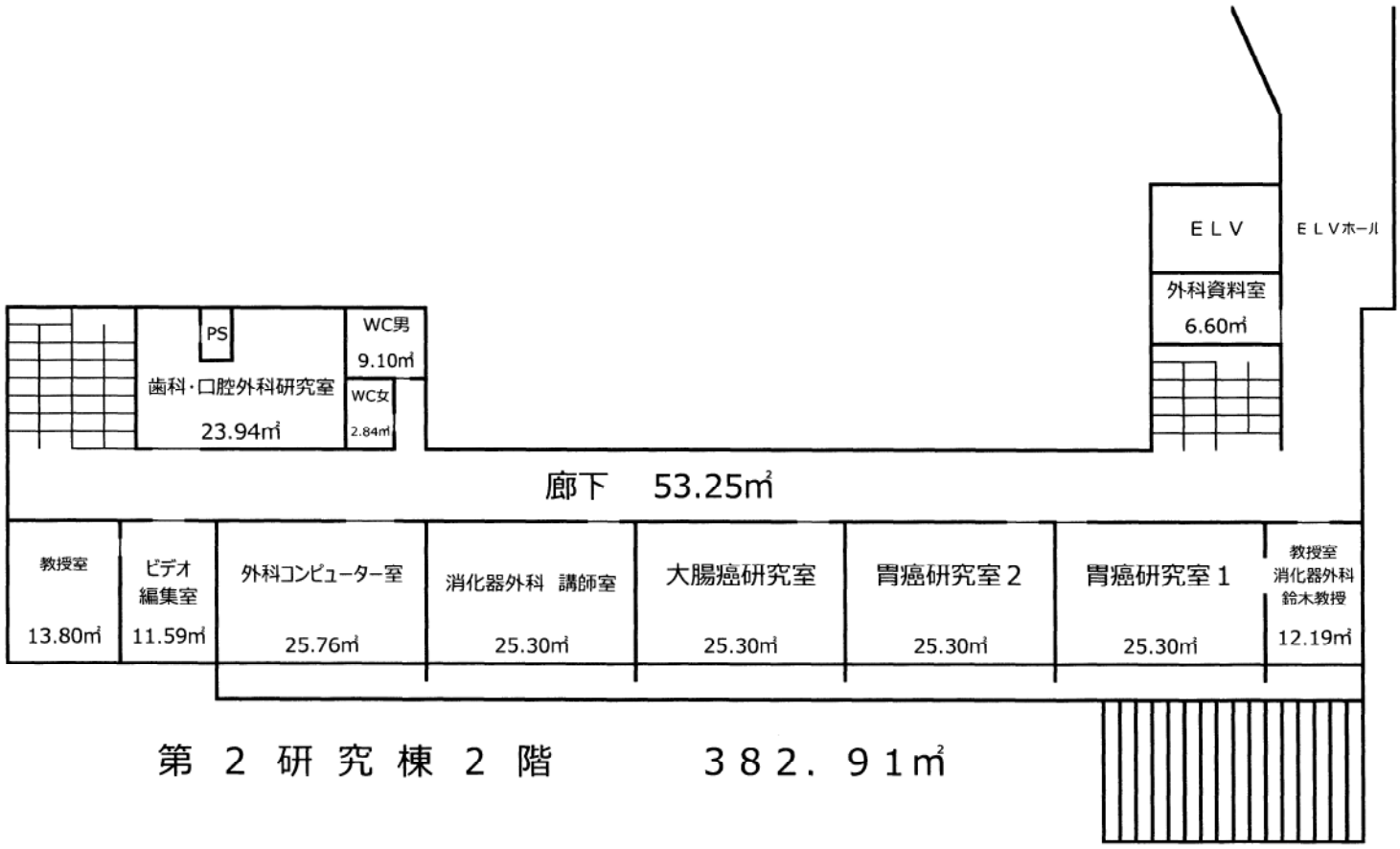
第１研究棟　２階　　４２９．４９㎡



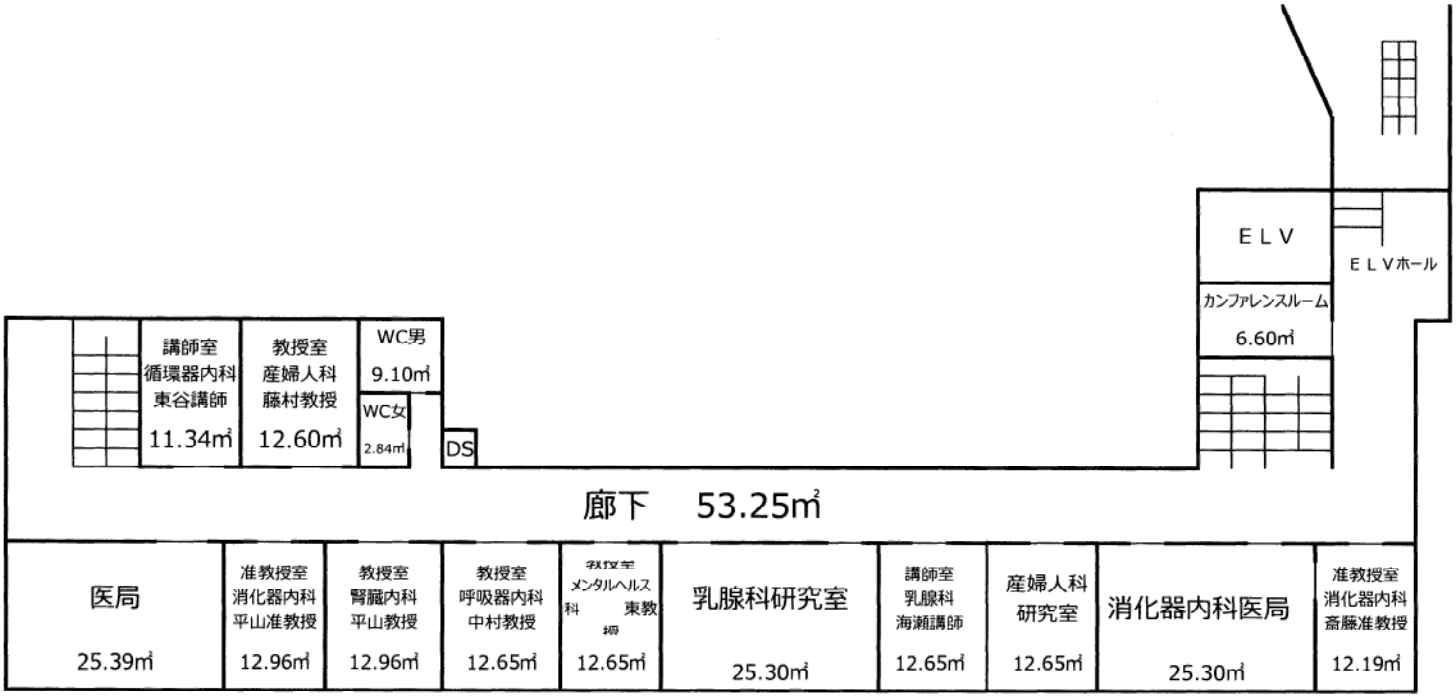
第１研究棟　３階　　３９１．５９㎡



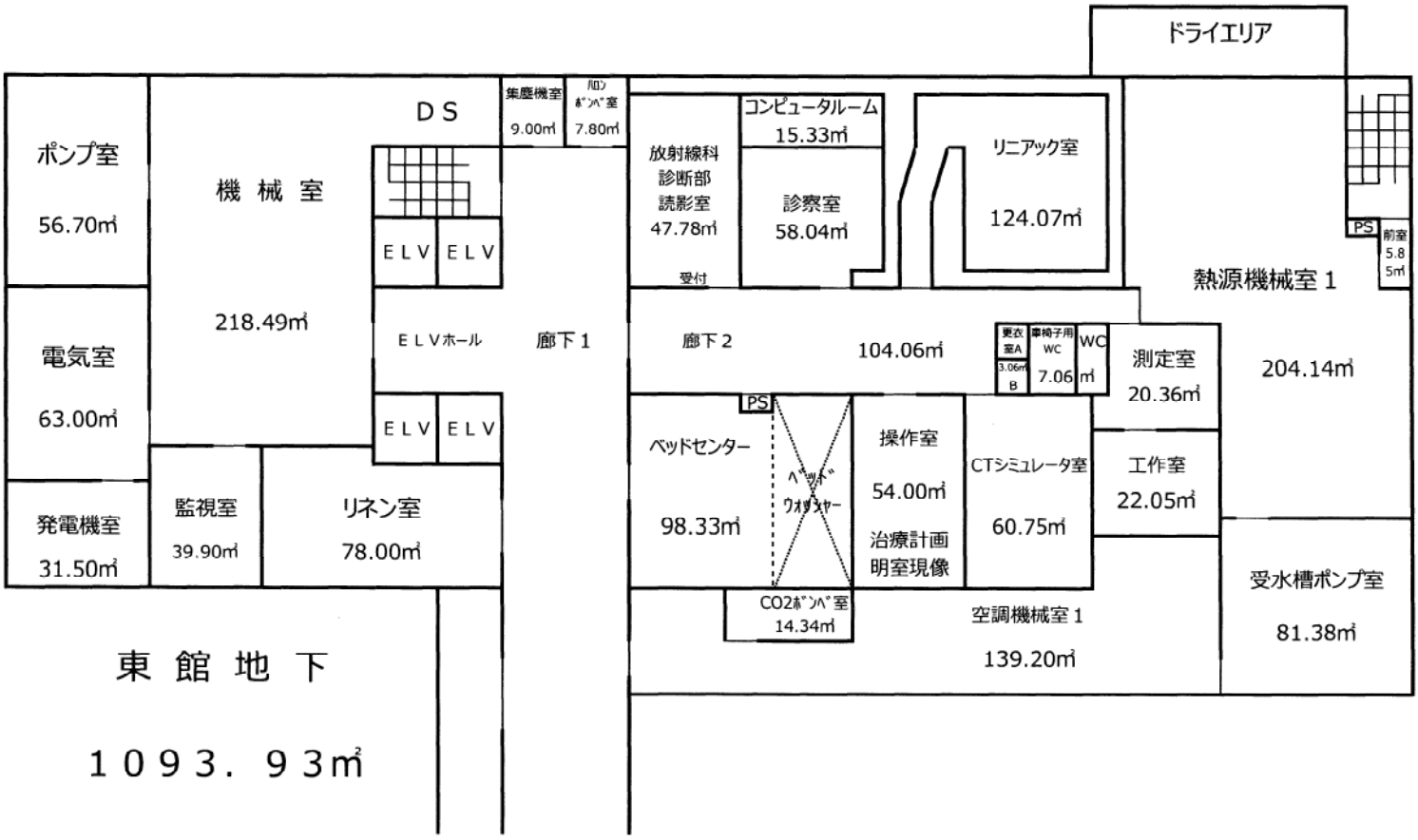
第２研究棟１階　　３８２．９１㎡

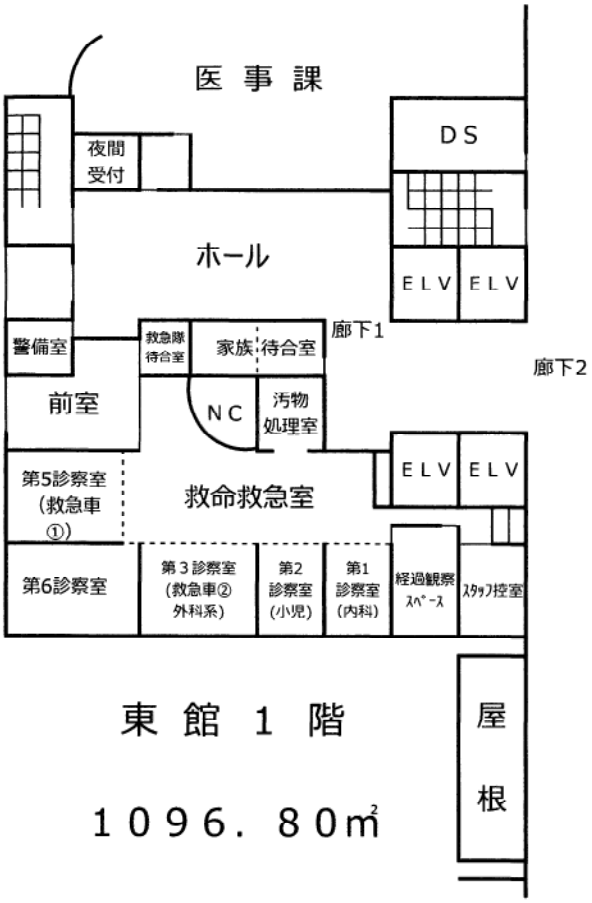


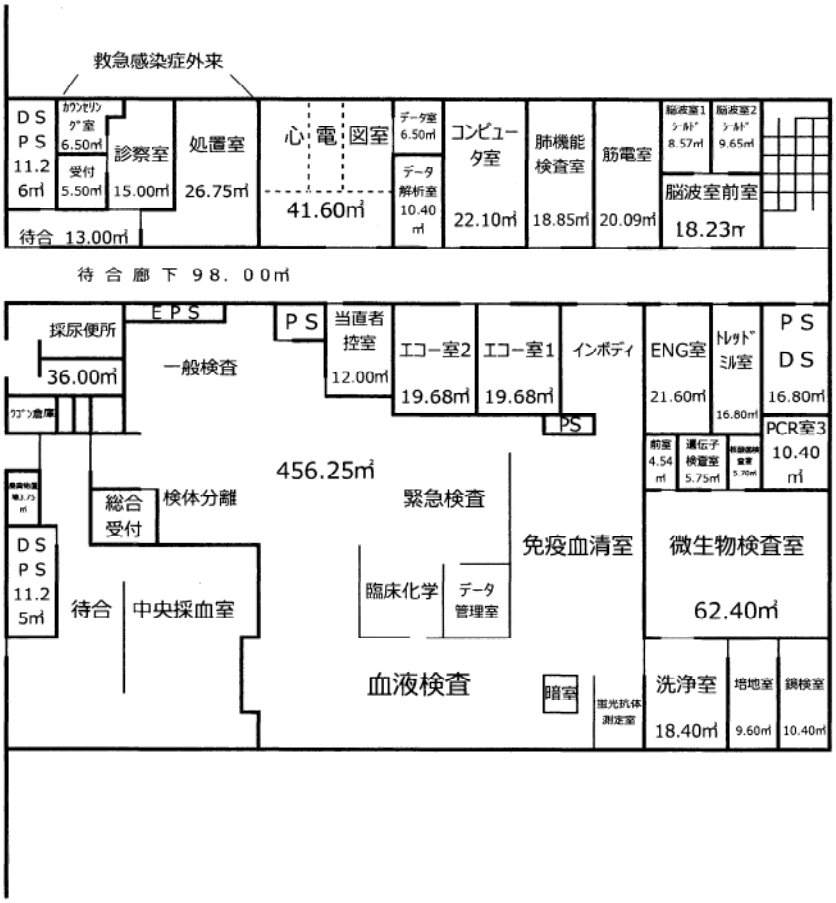
第２研究棟２階　　３８２．９１㎡

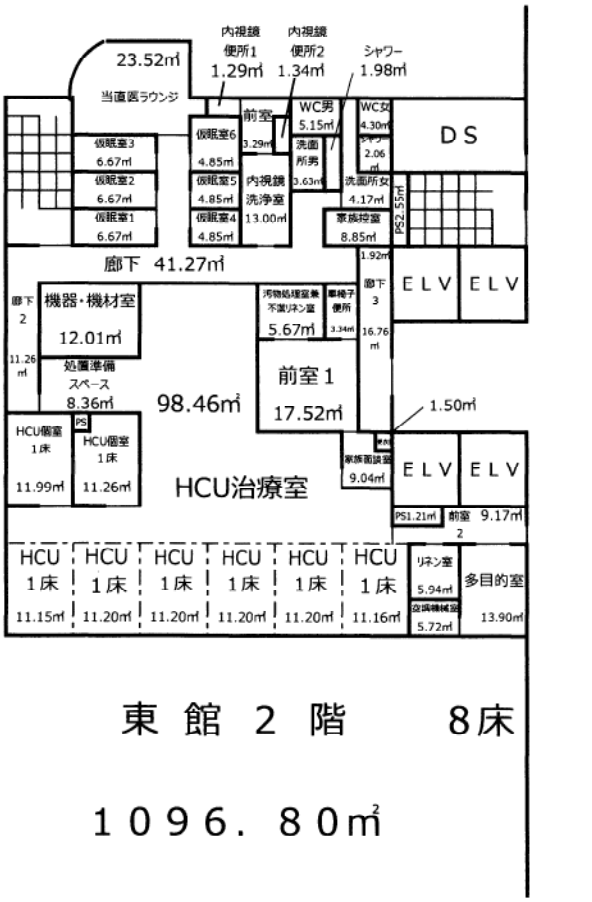


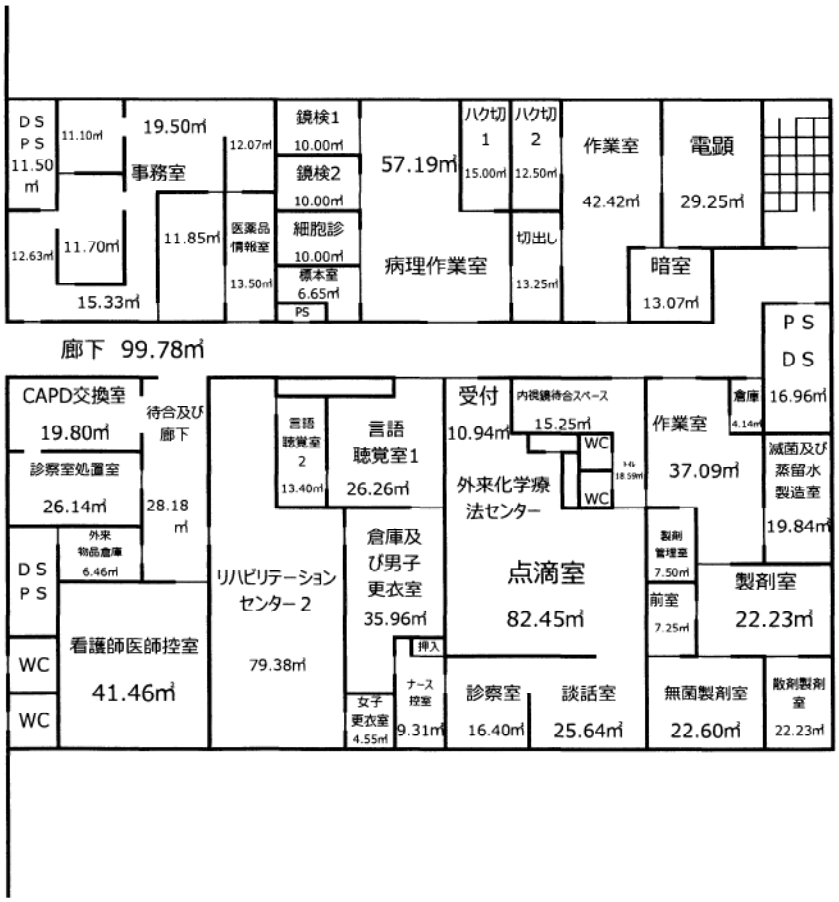
第２研究棟３階　　３６０．７１㎡

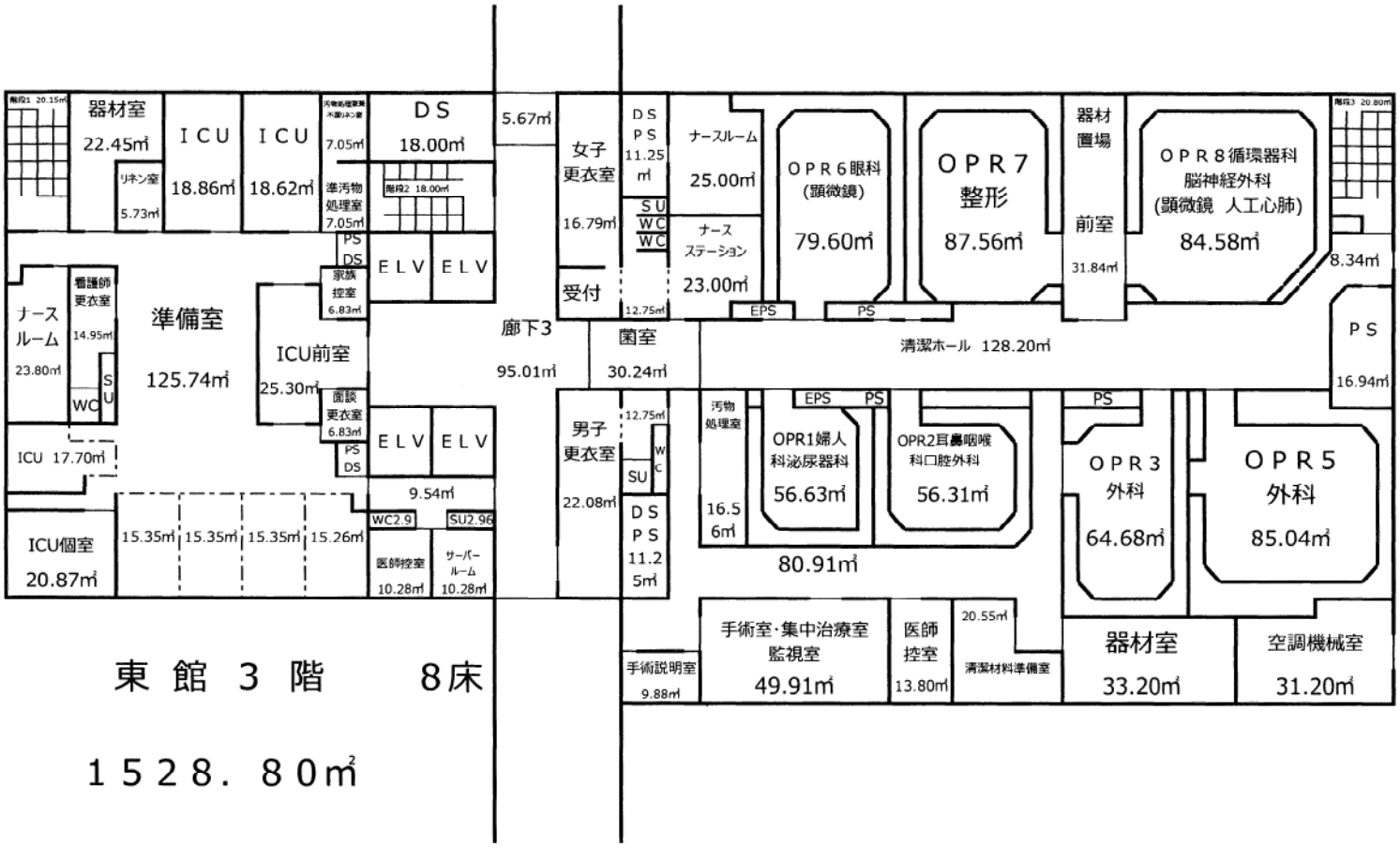


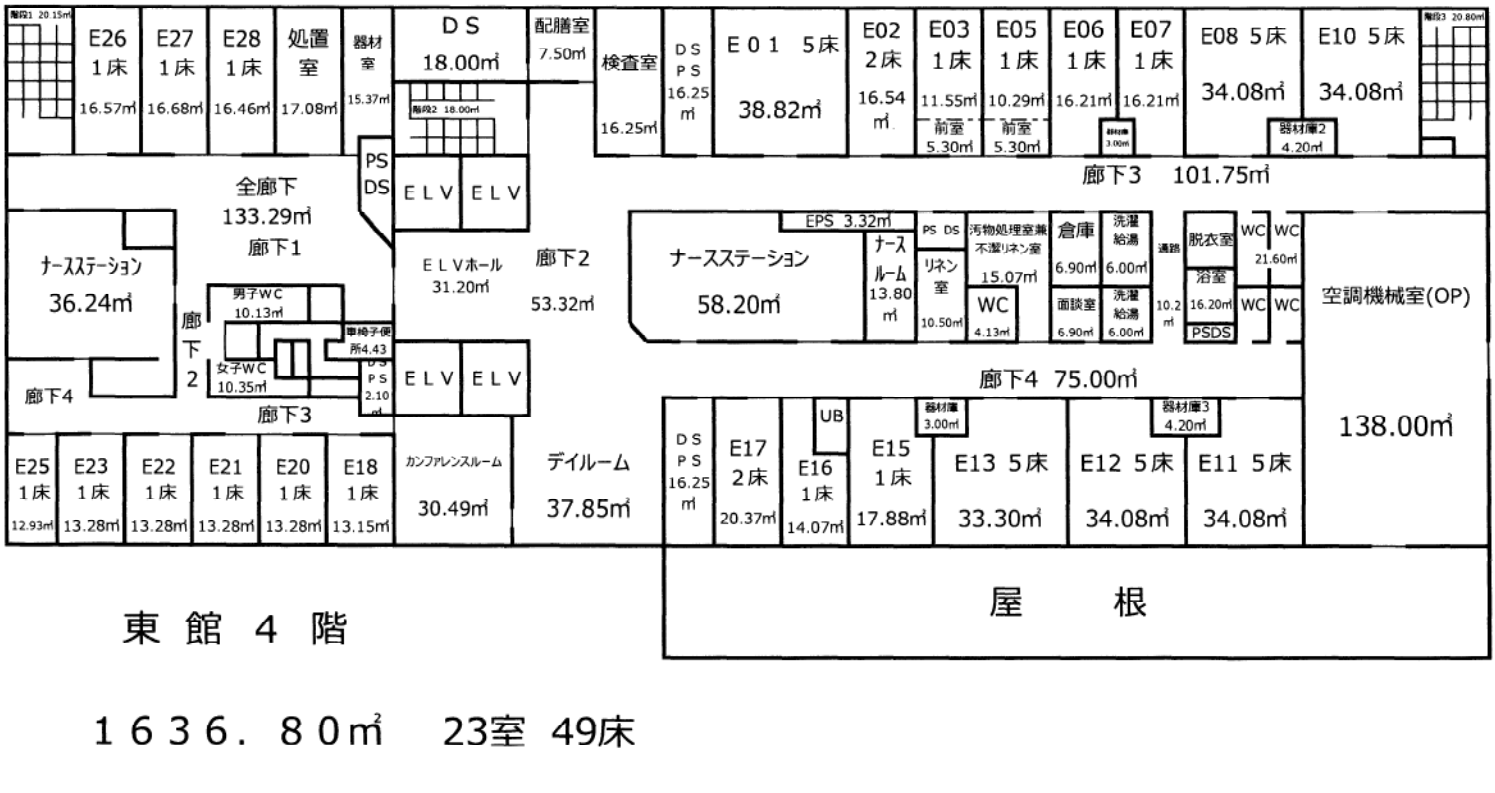

医事課
夜間受付
DS
ホール
ELV ELV
警備室
救急隊待合室
家族待合室
廊下1
廊下2
前室
NC
汚物処理室
第5診察室（救急車①）
救命救急室
ELV ELV
第6診察室
第3診察室（救急車② 外科系）
第2診察室（小児）
第1診察室（内科）
経過観察スペース
スタッフ控室
屋根
東館1階
1096.80㎡

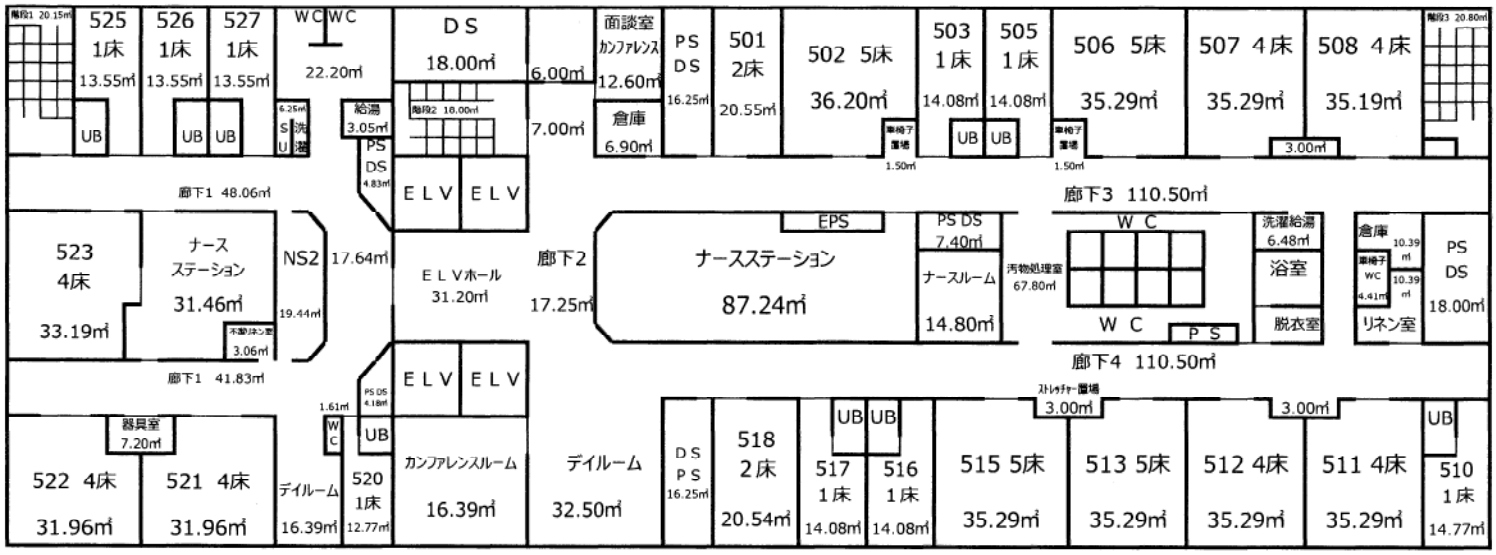

救急感染症外来
DS PS 11.26㎡
カウンセリング室 6.50㎡
受付 5.50㎡
診察室 15.00㎡
処置室 26.75㎡
心電図室 41.60㎡
データ室 6.50㎡
データ解析室 10.40㎡
コンピュータ室 22.10㎡
肺機能検査室 18.85㎡
筋電室 20.09㎡
脳波室1 8.57㎡
脳波室2 9.65㎡
脳波室前室 18.23㎡
待合 13.00㎡
待合廊下 98.00㎡
採尿便所 36.00㎡
EPS
一般検査
PS
当直者控室 12.00㎡
エコー室2 19.68㎡
エコー室1 19.68㎡
インボディ
PS
ENG室 21.60㎡
トレッドミル室 16.80㎡
PS DS 16.80㎡
PCR室3 10.40㎡
前室 4.54㎡
遺伝子検査室 5.75㎡
456.25㎡
総合受付
検体分離
緊急検査
免疫血清室
微生物検査室 62.40㎡
DS PS 11.25㎡
待合
中央採血室
臨床化学
データ管理室
血液検査
暗室
蛍光抗体測定室
洗浄室 18.40㎡
培地室 9.60㎡
鏡検室 10.40㎡


23.52㎡
当直医ラウンジ
内視鏡便所1 1.29㎡
内視鏡便所2 1.34㎡
シャワー 1.98㎡
前室
WC男 5.15㎡
WC女 4.30㎡
シャワー 2.06㎡
洗面所男 3.63㎡
洗面所女 4.17㎡
DS
仮眠室3 6.67㎡
仮眠室2 6.67㎡
仮眠室1 6.67㎡
仮眠室6 4.85㎡
仮眠室5 4.85㎡
仮眠室4 4.85㎡
内視鏡洗浄室 13.00㎡
家族控室 8.85㎡
廊下 41.27㎡
ELV ELV
廊下2 11.26㎡
機器・機材室 12.01㎡
処置準備スペース 8.36㎡
98.46㎡
汚物処理室兼不潔リネン室 5.67㎡
車椅子便所 3.34㎡
廊下3 16.76㎡
前室1 17.52㎡
1.50㎡
HCU個室1床 11.99㎡
HCU個室1床 11.26㎡
HCU治療室
家族面談室 9.04㎡
ELV ELV
PS1.21㎡
前室2 9.17㎡
HCU1床 11.15㎡
HCU1床 11.20㎡
HCU1床 11.20㎡
HCU1床 11.20㎡
HCU1床 11.20㎡
HCU1床 11.16㎡
リネン室 5.94㎡
空調機械室 5.72㎡
多目的室 13.90㎡
東館2階 8床
1096.80㎡


DS PS 11.50㎡
11.10㎡
19.50㎡
事務室
12.07㎡
鏡検1 10.00㎡
鏡検2 10.00㎡
細胞診 10.00㎡
標本室 6.65㎡
PS
57.19㎡
病理作業室
ハク切1 15.00㎡
ハク切2 12.50㎡
切出し 13.25㎡
作業室 42.42㎡
電顕 29.25㎡
暗室 13.07㎡
12.63㎡
11.70㎡
15.33㎡
11.85㎡
医薬品情報室 13.50㎡
廊下 99.78㎡
CAPD交換室 19.80㎡
待合及び廊下
診察室処置室 26.14㎡
28.18㎡
DS PS
外来物品倉庫 6.46㎡
WC
WC
看護師医師控室 41.46㎡
リハビリテーションセンター2 79.38㎡
言語聴覚室2 13.40㎡
言語聴覚室1 26.26㎡
倉庫及び男子更衣室 35.96㎡
女子更衣室 4.55㎡
挿入
ナース控室 9.31㎡
受付 10.94㎡
内視鏡待合スペース 15.25㎡
WC
WC
外来化学療法センター
点滴室 82.45㎡
診察室 16.40㎡
談話室 25.64㎡
作業室 37.09㎡
倉庫 4.14㎡
PS DS 16.96㎡
滅菌及び蒸留水製造室 19.84㎡
製剤管理室 7.50㎡
前室 7.25㎡
製剤室 22.23㎡
無菌製剤室 22.60㎡
散剤製剤室 22.23㎡

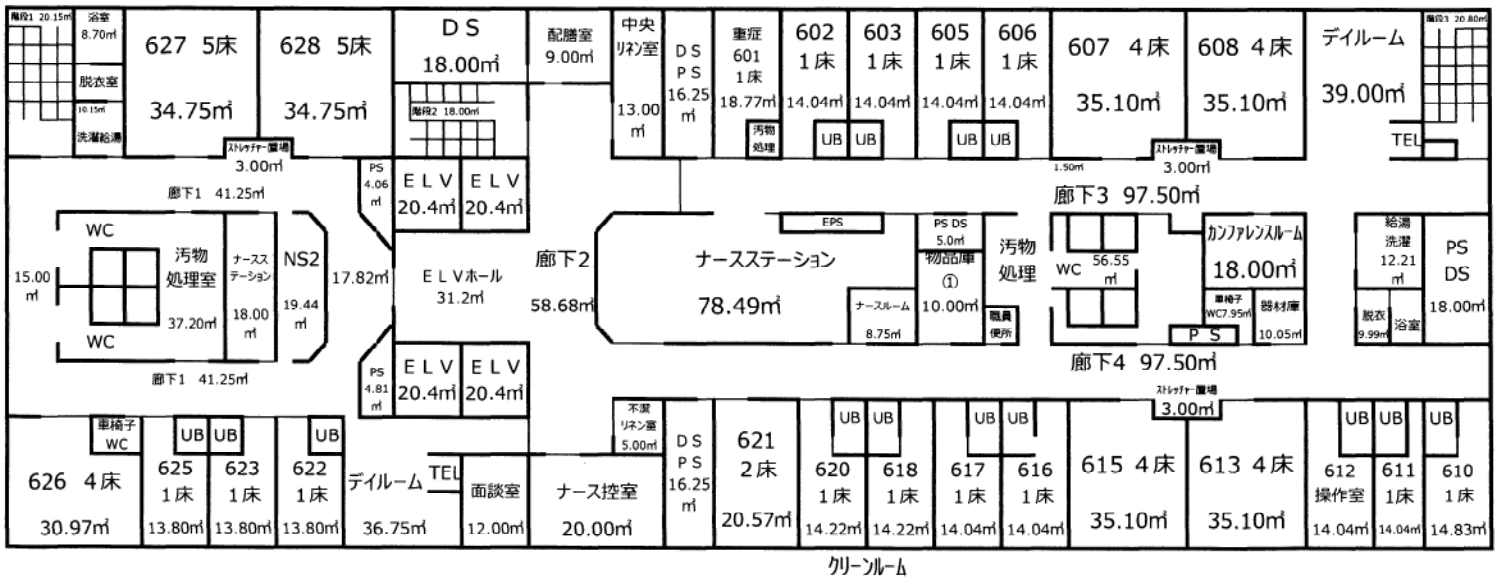

器材室
22.45㎡
ＩＣＵ
18.86㎡
ＩＣＵ
18.62㎡
ＤＳ
18.00㎡
5.67㎡
女子
更衣室
16.79㎡
ＤＳ
ＰＳ
11.25
㎡
ナースルーム
25.00㎡
ＯＰＲ６眼科
(顕微鏡)
79.60㎡
ＯＰＲ７
整形
87.56㎡
器材
置場
前室
31.84㎡
ＯＰＲ８循環器科
脳神経外科
(顕微鏡 人工心肺)
84.58㎡
8.34㎡
ＰＳ
16.94㎡
ナース
ステーション
23.00㎡
受付
12.75㎡
ＥＰＳ
ＰＳ
清潔ホール 128.20㎡
廊下3
95.01㎡
菌室
30.24㎡
ナース
ルーム
23.80㎡
準備室
125.74㎡
ICU前室
25.30㎡
ＥＬＶ
ＥＬＶ
ICU 17.70㎡
ICU個室
20.87㎡
15.35㎡
15.35㎡
15.35㎡
15.26㎡
9.54㎡
WC2.9
SU2.96
医師控室
10.28㎡
サーバー
ルーム
10.28㎡
男子
更衣室
22.08㎡
12.75㎡
ＤＳ
ＰＳ
11.2
5㎡
汚物
処理室
16.5
6㎡
OPR1婦人
科泌尿器科
56.63㎡
OPR2耳鼻咽喉
科口腔外科
56.31㎡
80.91㎡
ＯＰＲ３
外科
64.68㎡
ＯＰＲ５
外科
85.04㎡
手術説明室
9.88㎡
手術室・集中治療室
監視室
49.91㎡
医師
控室
13.80㎡
20.55㎡
清潔材料準備室
器材室
33.20㎡
空調機械室
31.20㎡
東 館 3 階 8床
１５２８．８０㎡


E26
1床
16.57㎡
E27
1床
16.68㎡
E28
1床
16.46㎡
処置
室
17.08㎡
器材
室
15.37㎡
ＤＳ
18.00㎡
配膳室
7.50㎡
検査室
16.25㎡
ＤＳ
ＰＳ
16.25
㎡
Ｅ０１ 5床
38.82㎡
E02
2床
16.54
㎡
E03
1床
11.55㎡
前室
5.30㎡
E05
1床
10.29㎡
前室
5.30㎡
E06
1床
16.21㎡
E07
1床
16.21㎡
E08 5床
34.08㎡
E10 5床
34.08㎡
器材庫2
4.20㎡
廊下3 101.75㎡
全廊下
133.29㎡
廊下1
ＰＳ
ＤＳ
ＥＬＶ
ＥＬＶ
ナースステーション
36.24㎡
男子WC
10.13㎡
車椅子便
所4.43
女子WC
10.35㎡
ＤＳ
ＰＳ
2.10
㎡
廊下4
廊下2
廊下3
ＥＬＶホール
31.20㎡
廊下2
53.32㎡
ＥＰＳ 3.32㎡
ナースステーション
58.20㎡
ナース
ルーム
13.80
㎡
ＰＳ ＤＳ
リネン
室
10.50㎡
汚物処理室兼
不潔リネン室
15.07㎡
WC
4.13㎡
倉庫
6.90㎡
洗濯
給湯
6.00㎡
面談室
6.90㎡
洗濯
給湯
6.00㎡
通路
10.2
㎡
脱衣室
浴室
16.20㎡
PSDS
WC
WC
21.60㎡
WC
WC
空調機械室(OP)
138.00㎡
廊下4 75.00㎡
E25
1床
12.93㎡
E23
1床
13.28㎡
E22
1床
13.28㎡
E21
1床
13.28㎡
E20
1床
13.28㎡
E18
1床
13.15㎡
カンファレンスルーム
30.49㎡
デイルーム
37.85㎡
ＤＳ
ＰＳ
16.25
㎡
E17
2床
20.37㎡
UB
E16
1床
14.07㎡
器材庫
3.00㎡
E15
1床
17.88㎡
E13 5床
33.30㎡
器材庫3
4.20㎡
E12 5床
34.08㎡
E11 5床
34.08㎡
屋 根
東 館 4 階
１６３６．８０㎡ 23室 49床



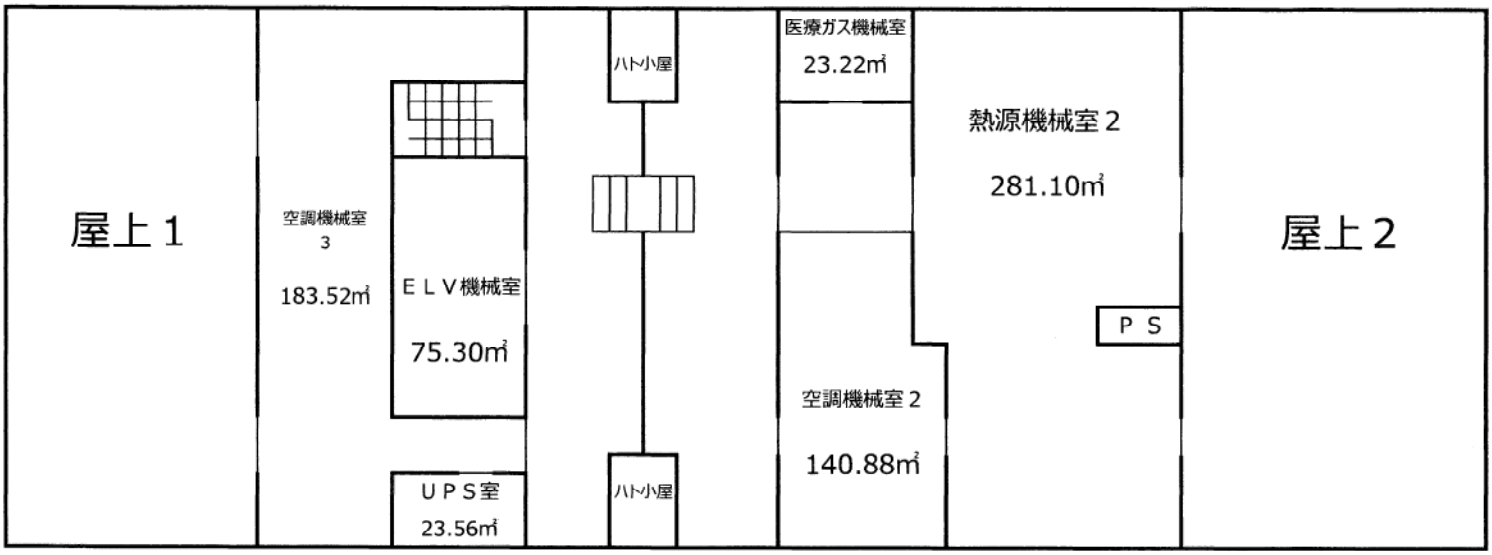
東 館 5 階　　22室 61床

1636.80㎡



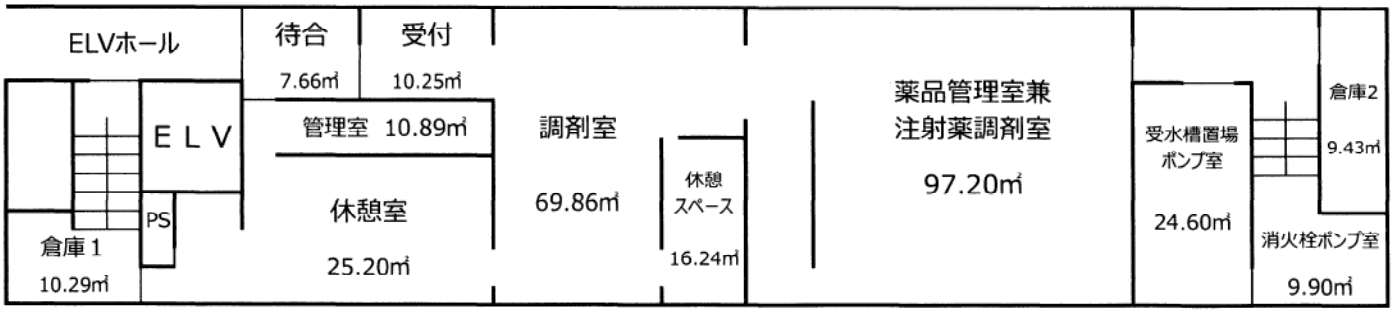
東 館 6 階　　23室 46床

1636.80㎡

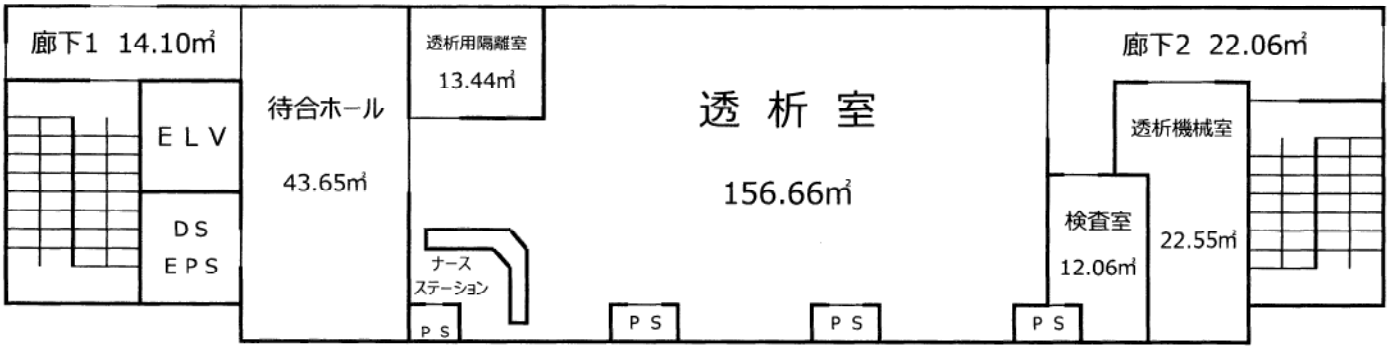


東館７階

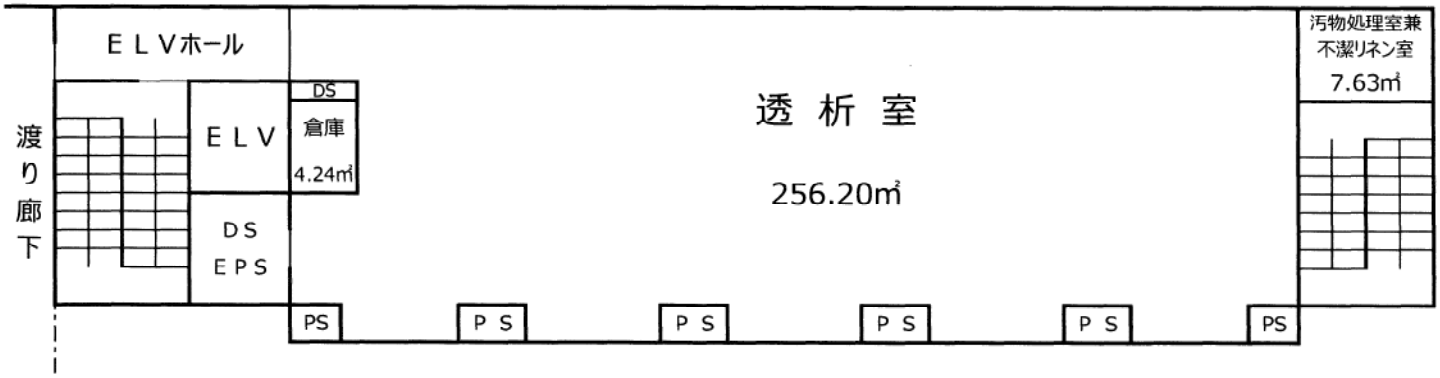
７４６．４０㎡



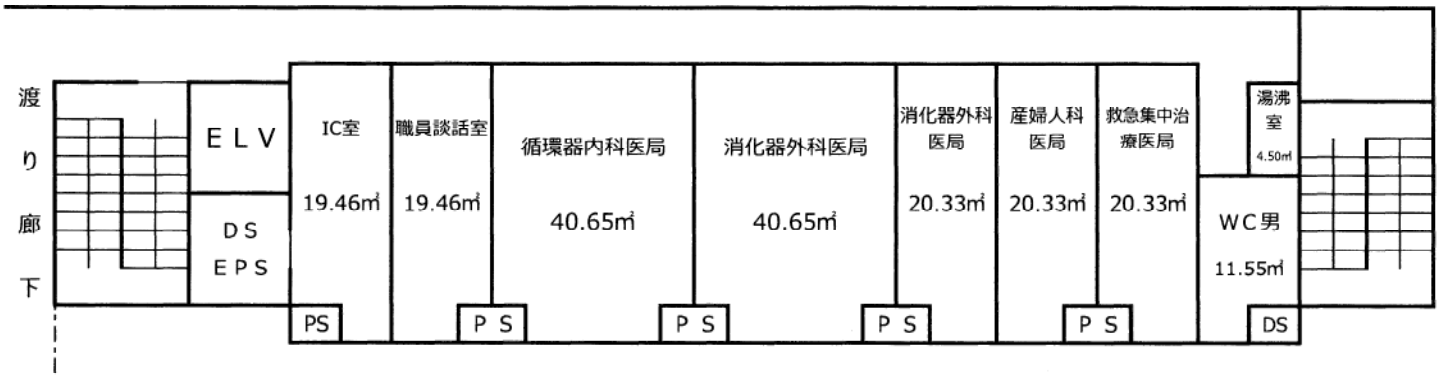
人工透析棟地下　　347.39㎡



人 工 透 析 棟 1 階　　347.39㎡



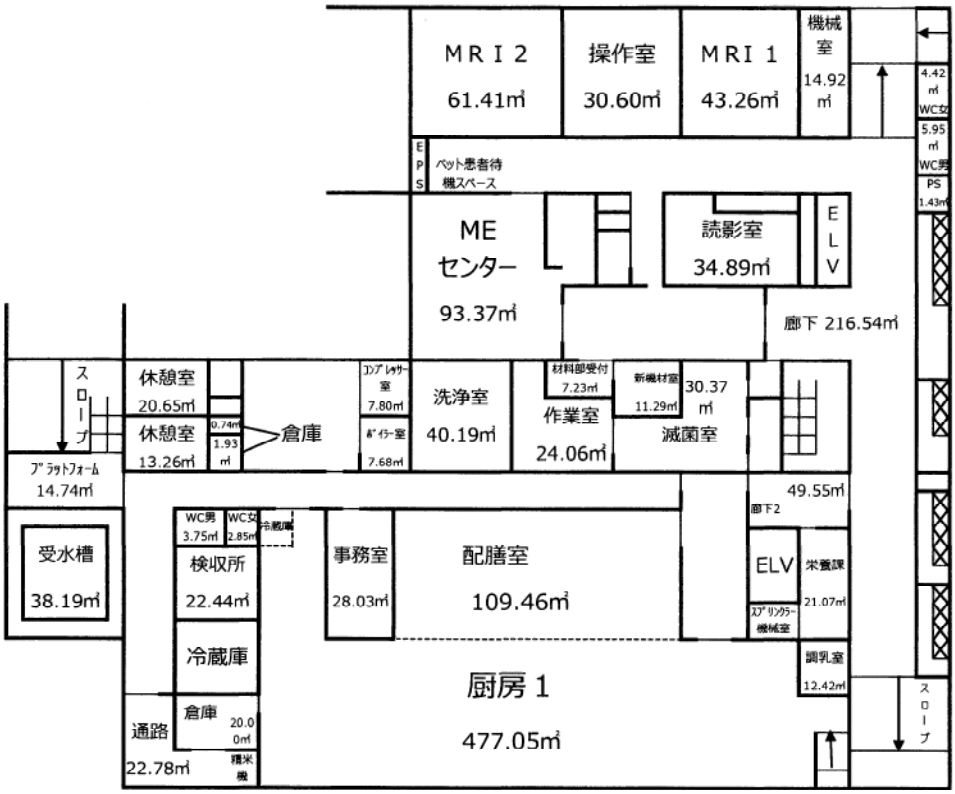
人 工 透 析 棟 2 階　　394.68㎡



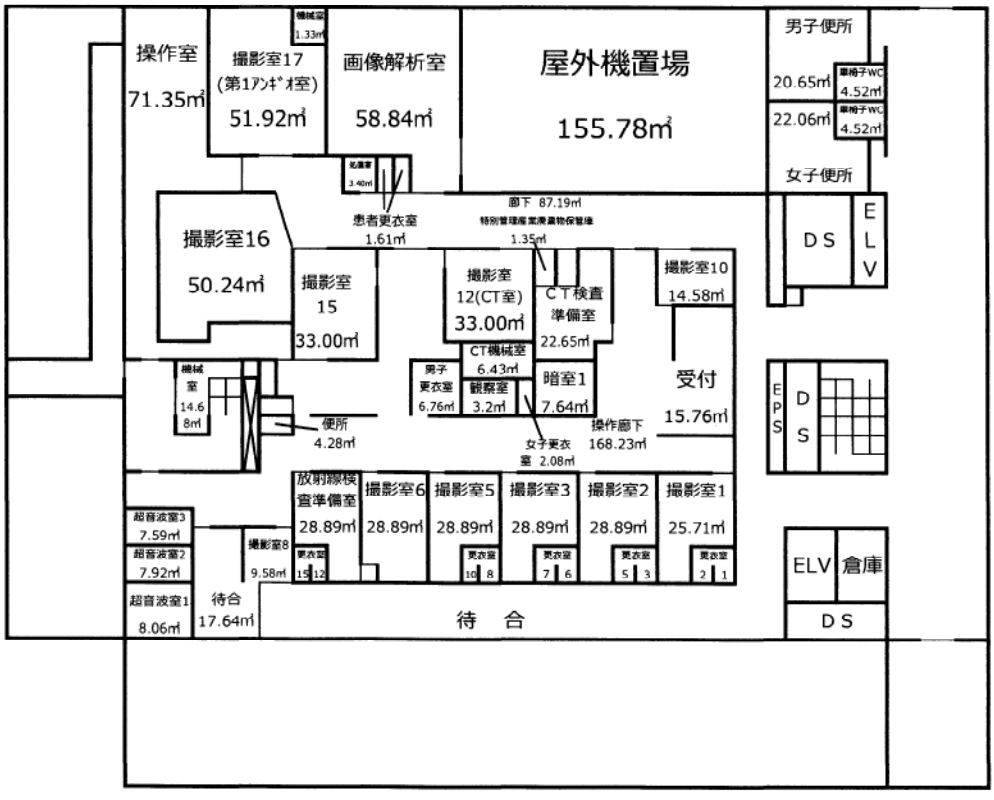
人 工 透 析 棟 3 階　　394.68㎡



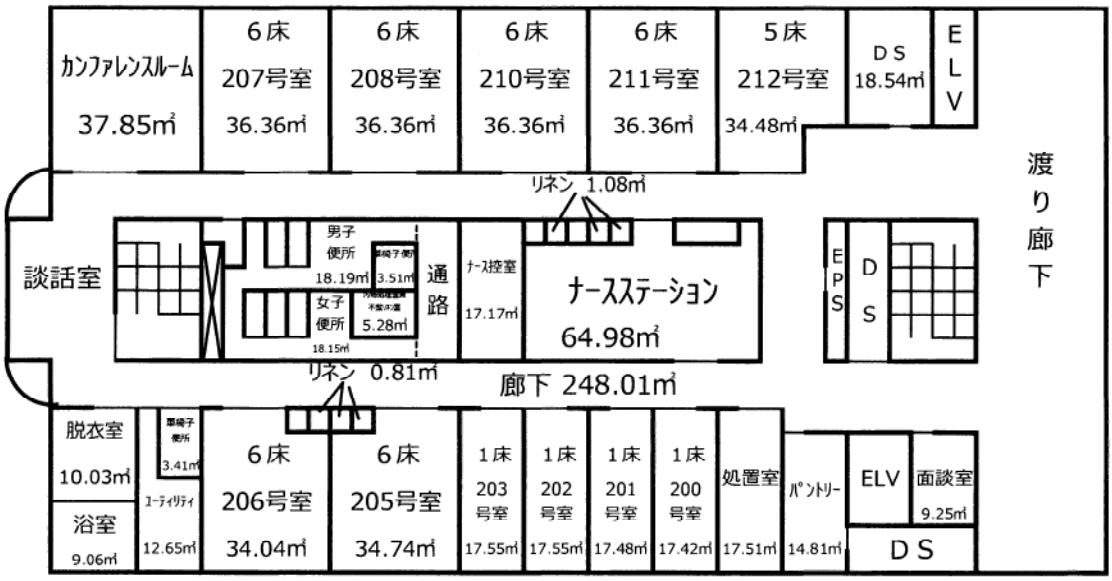
人 工 透 析 棟 4 階　　75.77㎡



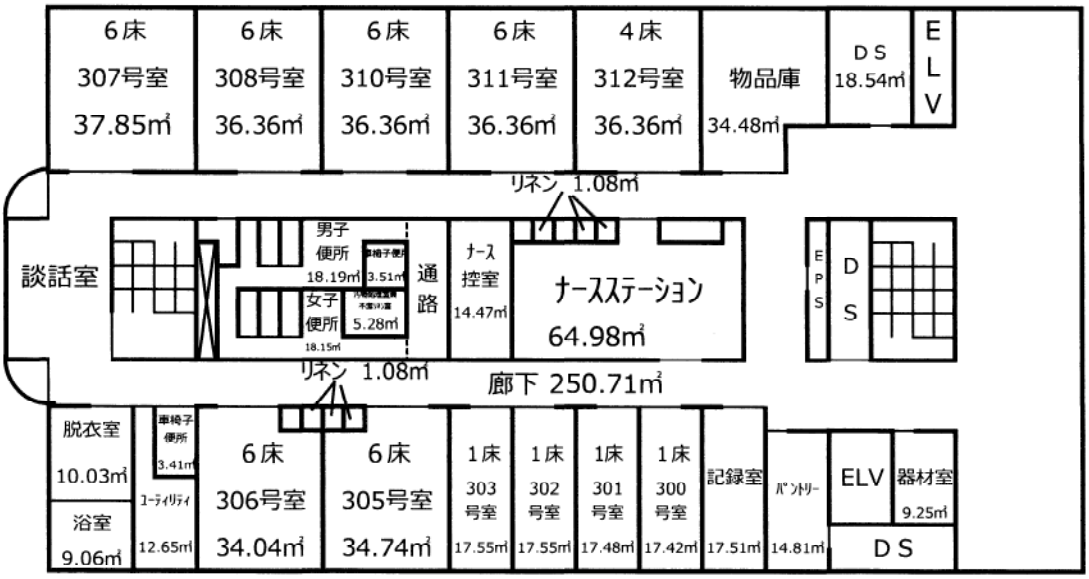
中 央 病 棟 地 下　　２２７０．１７㎡



中 央 病 棟 １ 階　　１５１７．０６㎡



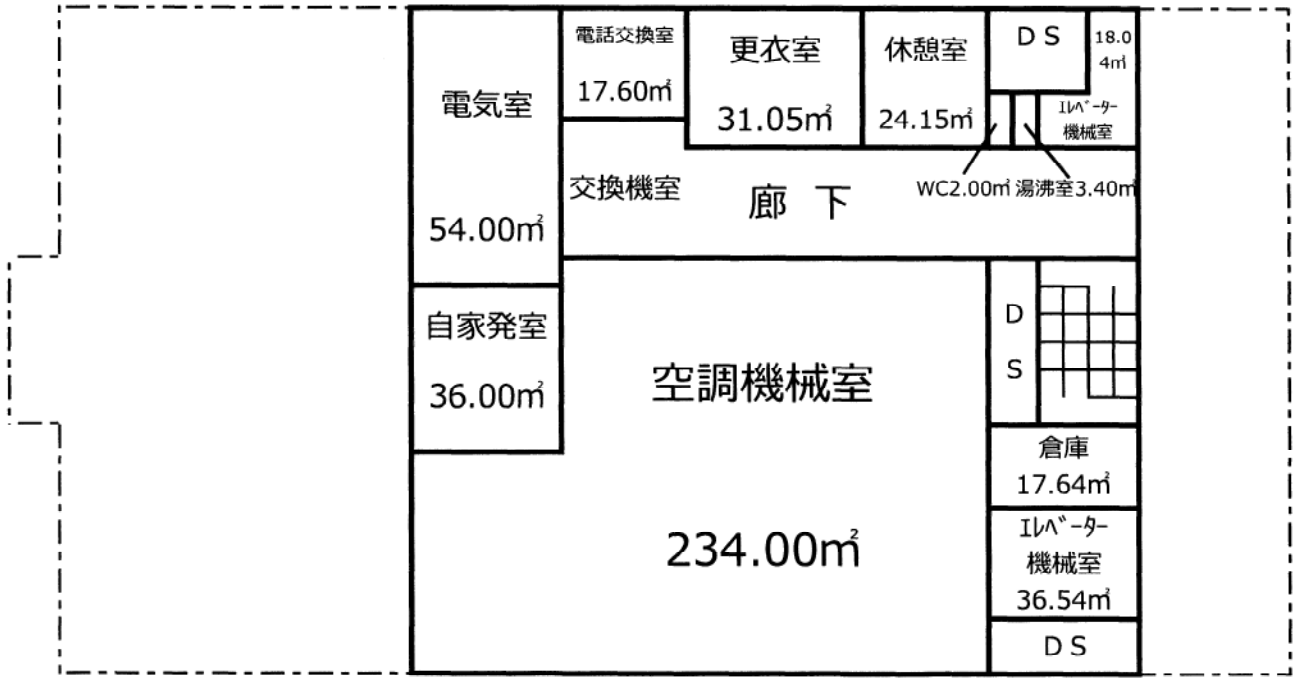
中央病棟２階　　１１室４５床１１５１．１１㎡



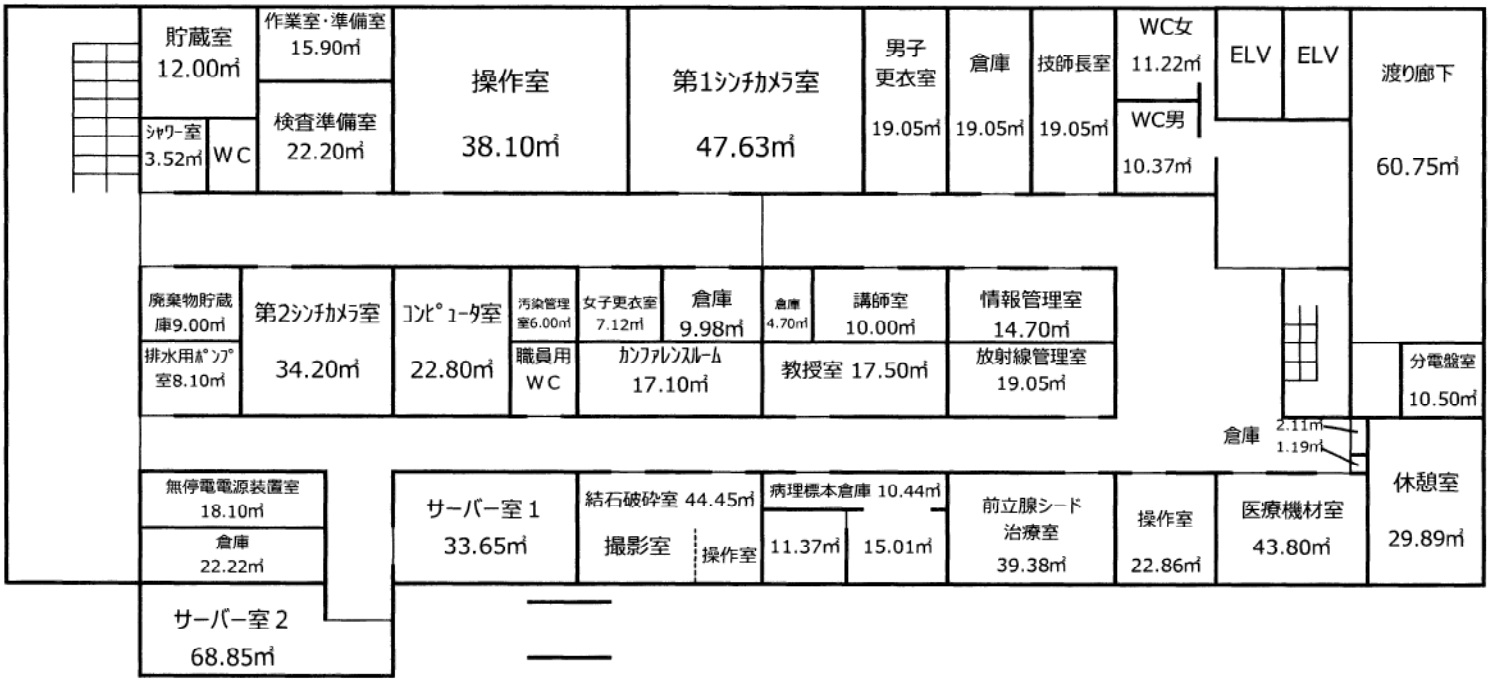
中央病棟３階　　１１室４４床１１５１．１１㎡



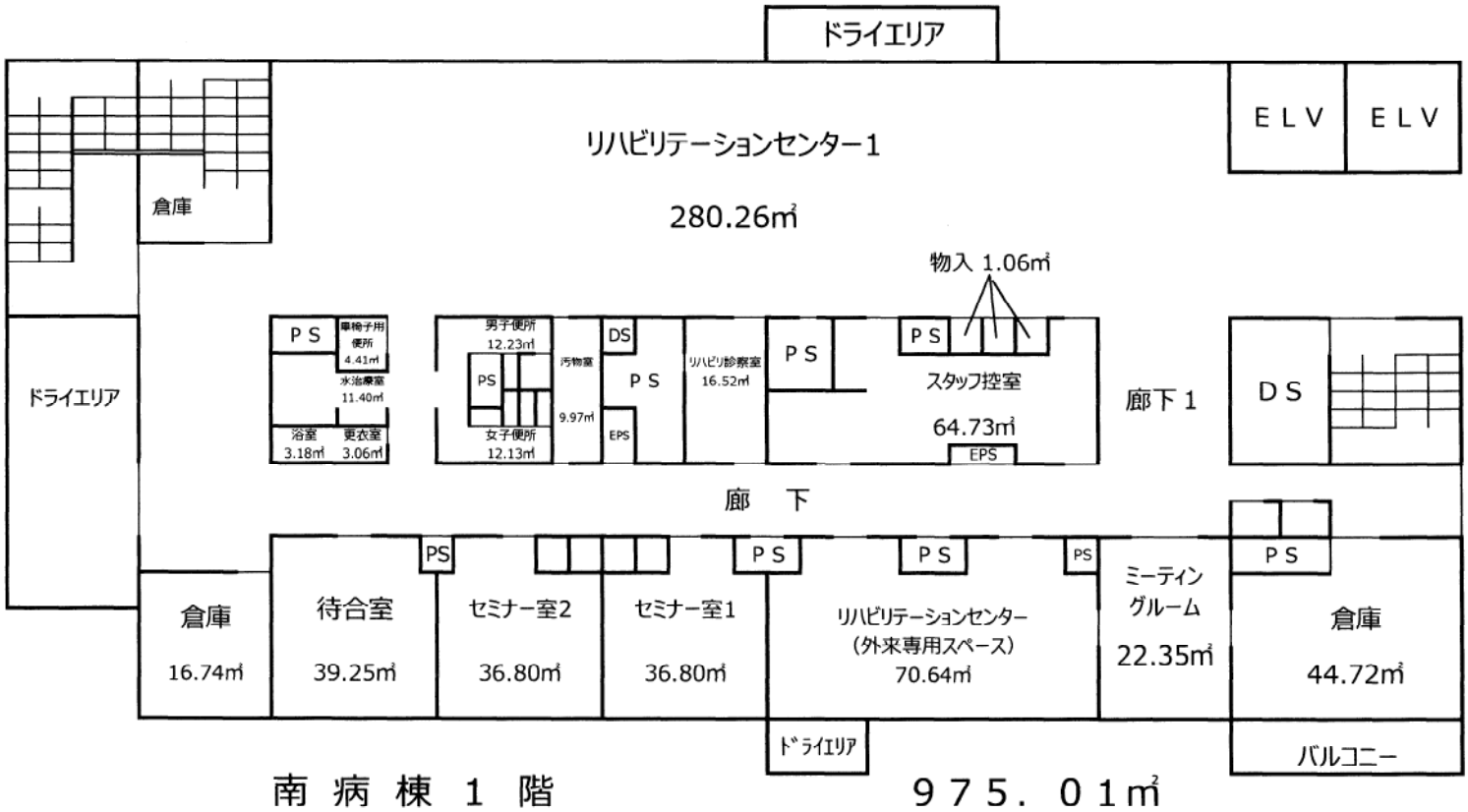
中央病棟４階　　１６室２６床１１５１．１１㎡



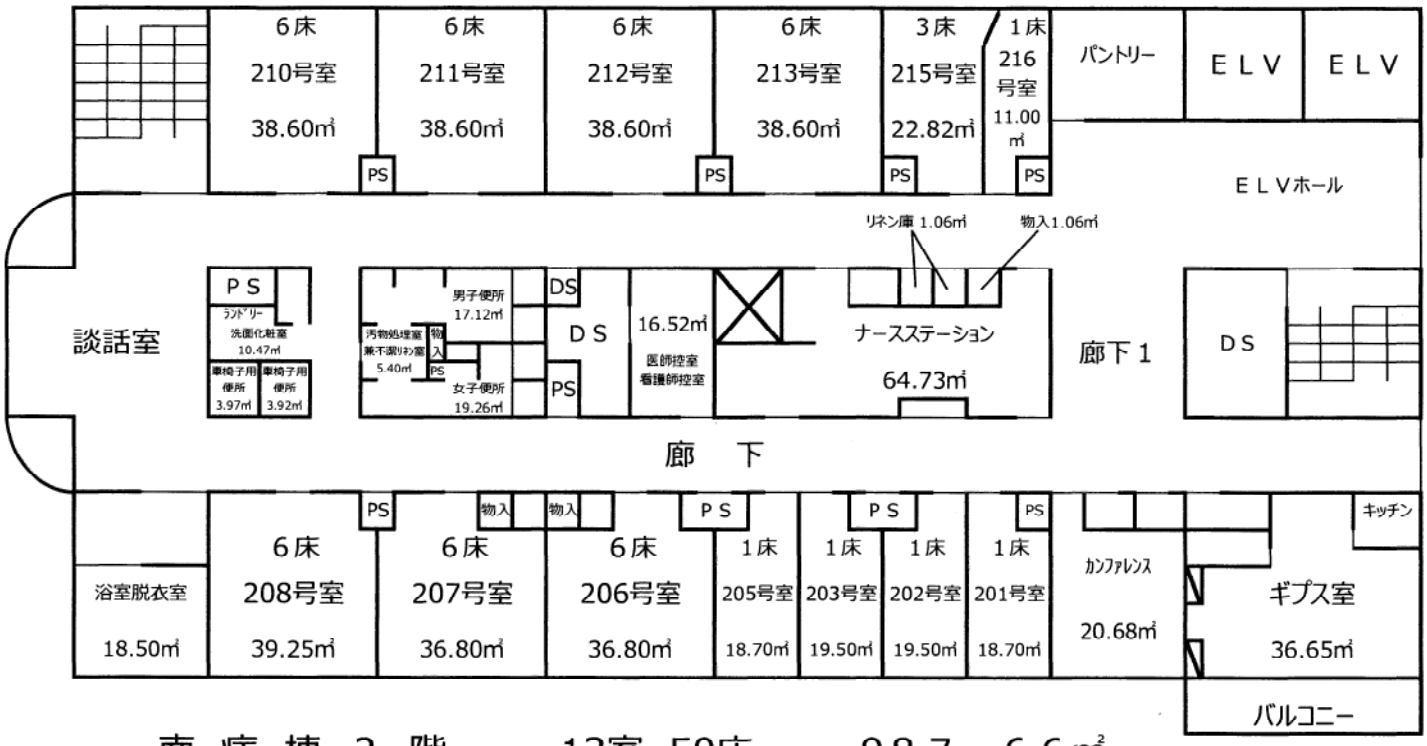
中央病棟５階　　５７７．８８㎡



南 病 棟 地 下　　１１６３．５０㎡



南 病 棟 １ 階　　９７５．０１㎡



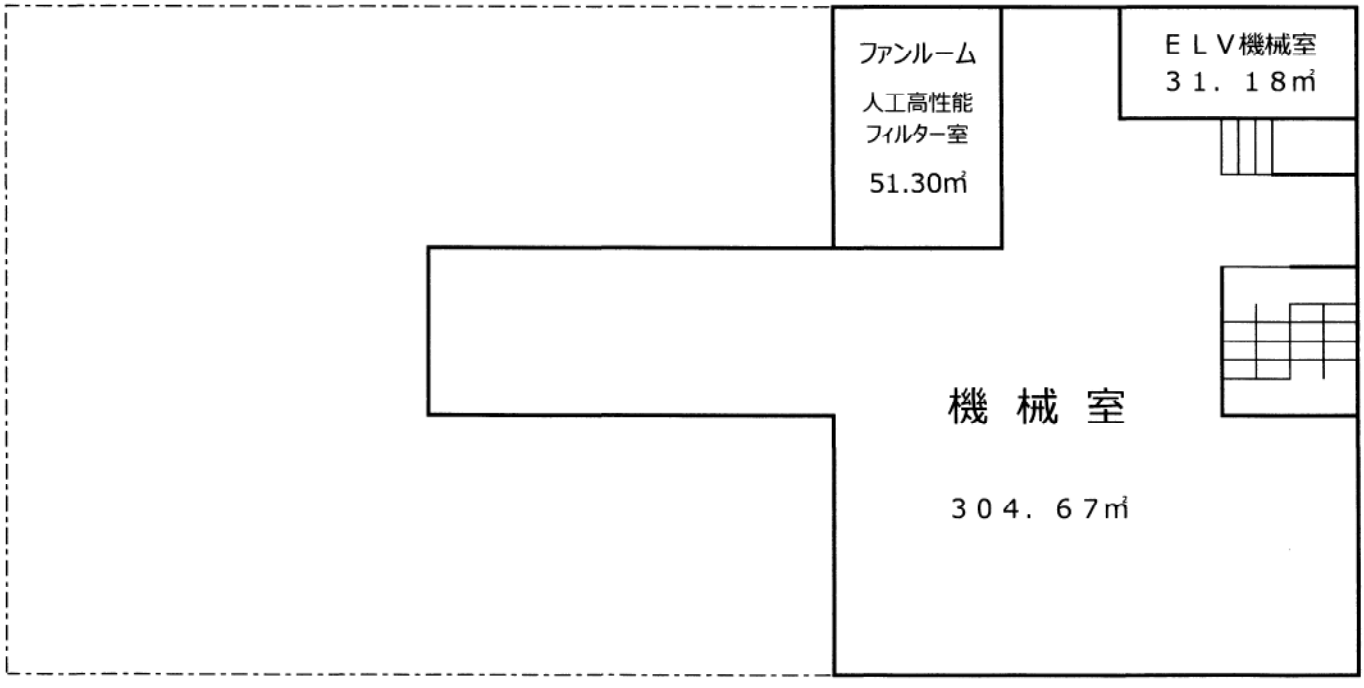
南 病 棟 2 階　　13室 50床　　９８７．６６㎡



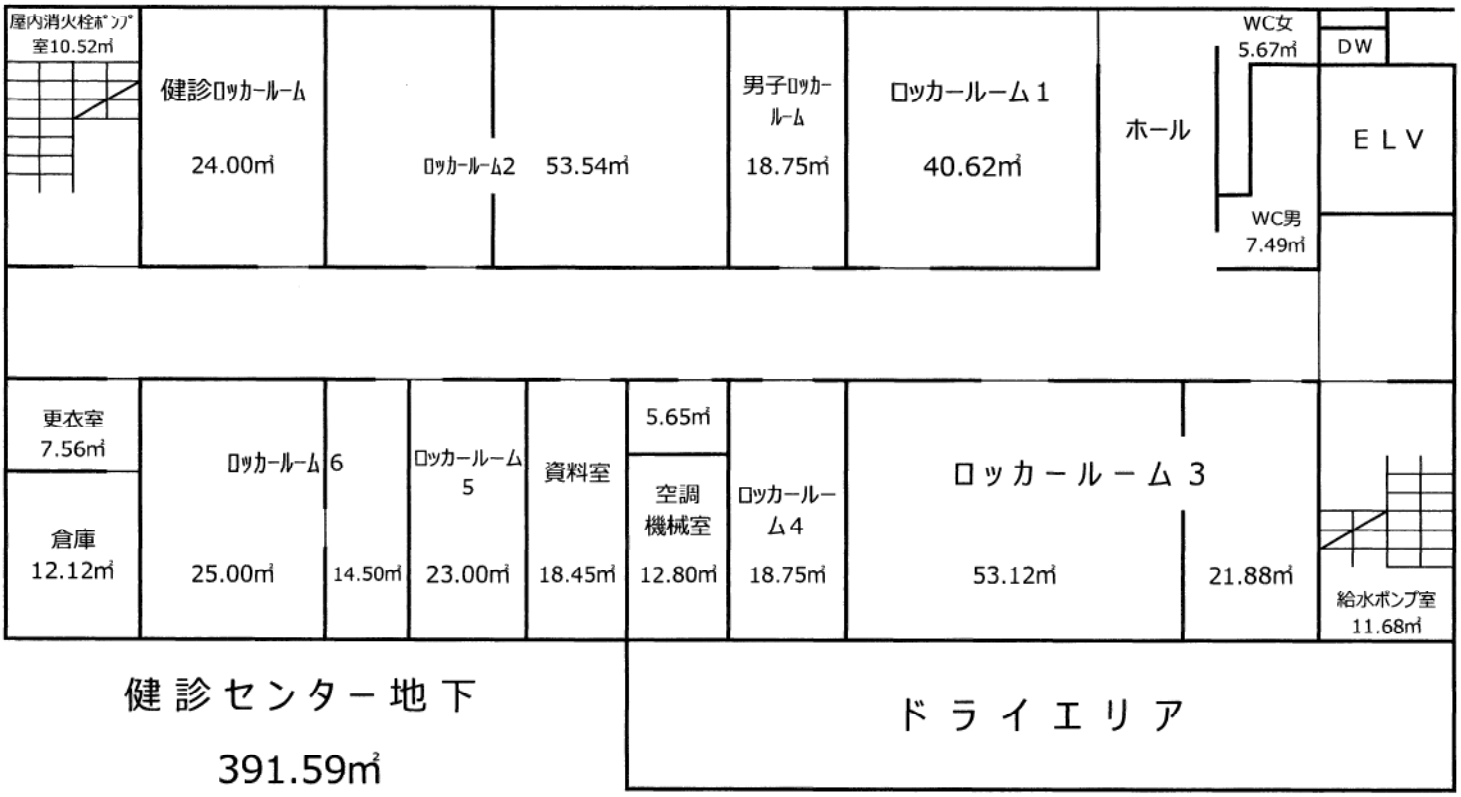
南 病 棟 3 階　　11室 44床　　987.66㎡

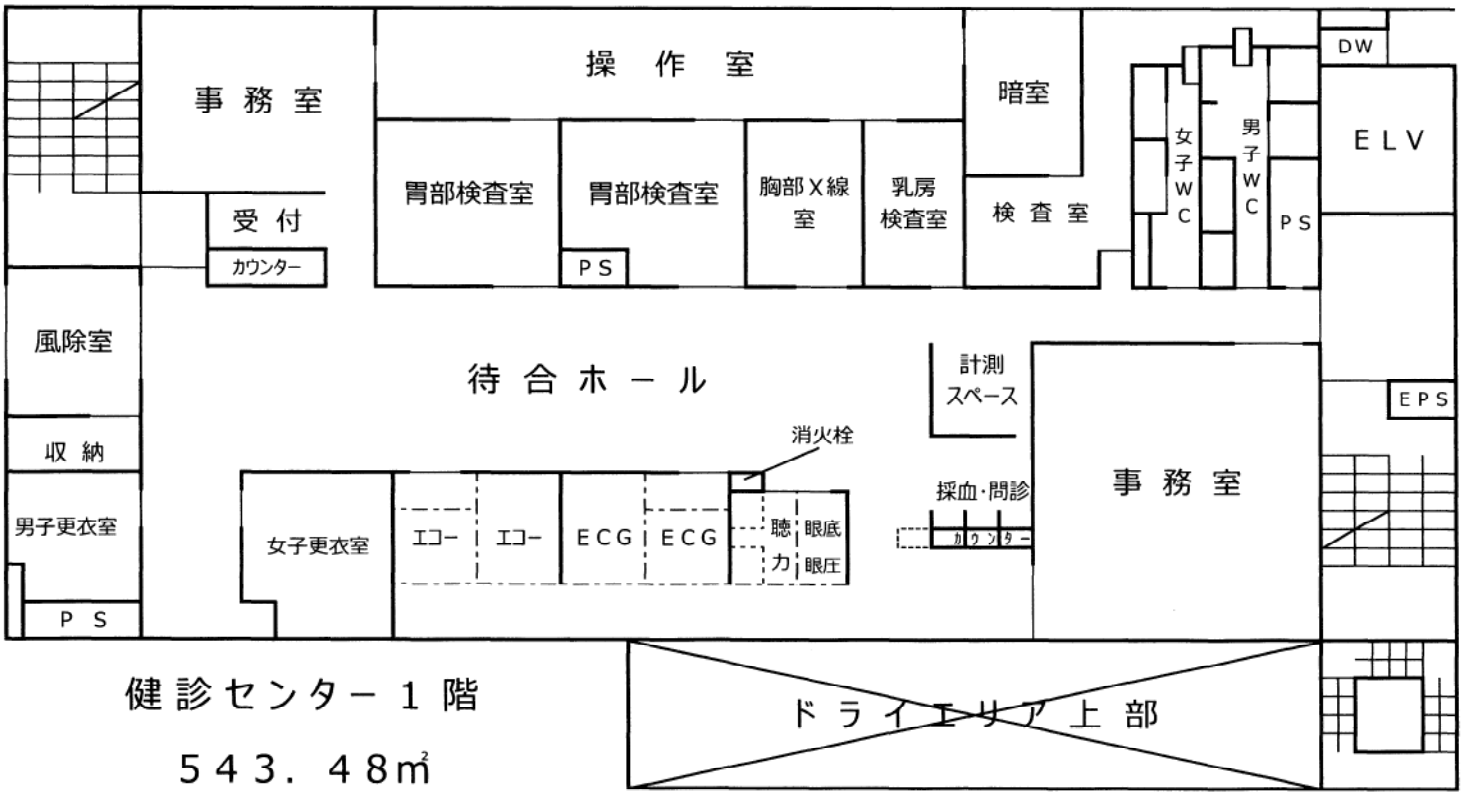


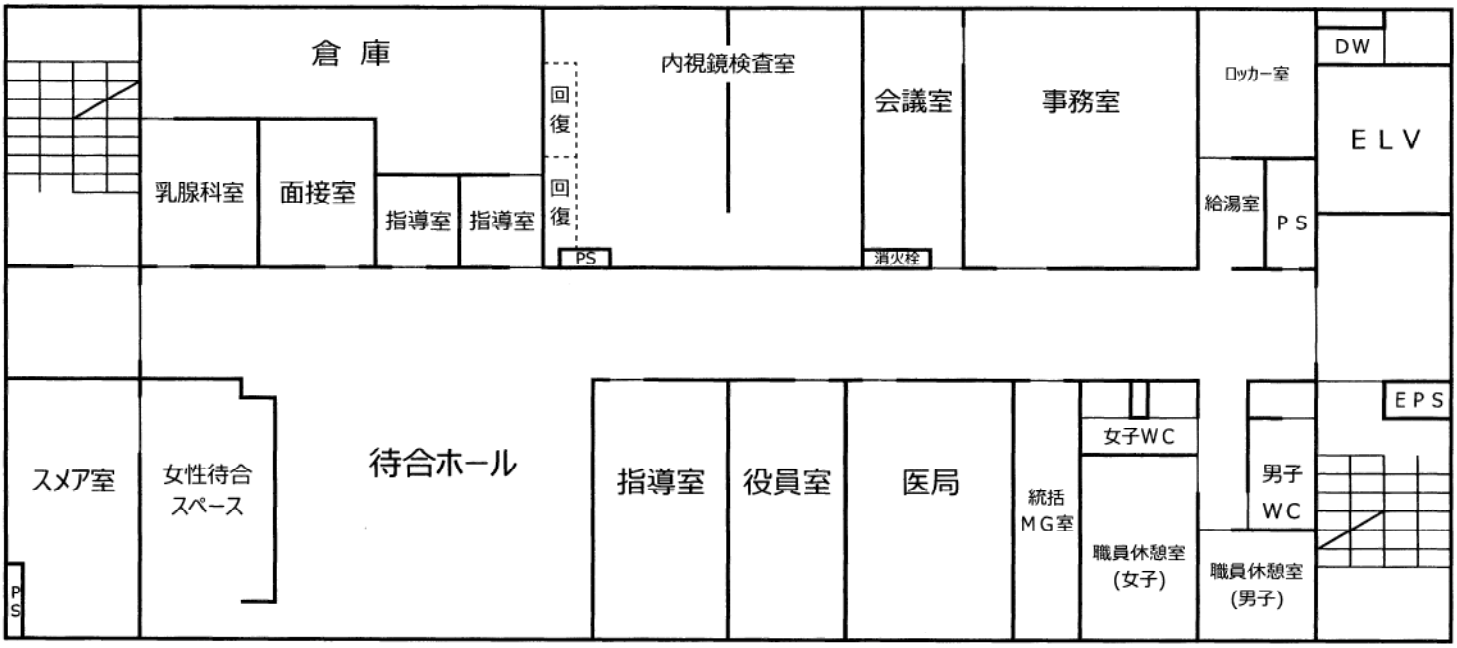
南 病 棟 4 階　　13室 39床　　９８７．６６㎡



南 病 棟 5 階　　４０７．８５㎡


屋内消火栓ﾎﾟﾝﾌﾟ室10.52㎡
健診ﾛｯｶｰﾙｰﾑ
24.00㎡
ﾛｯｶｰﾙｰﾑ2 53.54㎡
男子ﾛｯｶｰﾙｰﾑ
18.75㎡
ロッカールーム１
40.62㎡
ホール
WC女
5.67㎡
DW
ＥＬＶ
WC男
7.49㎡
更衣室
7.56㎡
倉庫
12.12㎡
ﾛｯｶｰﾙｰﾑ6
25.00㎡
14.50㎡
ﾛｯｶｰﾙｰﾑ5
23.00㎡
資料室
18.45㎡
5.65㎡
空調機械室
12.80㎡
ﾛｯｶｰﾙｰﾑ4
18.75㎡
ロッカールーム３
53.12㎡
21.88㎡
給水ポンプ室
11.68㎡
健診センター地下
391.59㎡
ドライエリア


事務室
操作室
暗室
DW
ＥＬＶ
受付
カウンター
胃部検査室
胃部検査室
ＰＳ
胸部Ｘ線室
乳房検査室
検査室
女子ＷＣ
男子ＷＣ
ＰＳ
風除室
待合ホール
計測スペース
ＥＰＳ
収納
消火栓
男子更衣室
女子更衣室
エコー
エコー
ＥＣＧ
ＥＣＧ
聴力
眼底
眼圧
採血･問診
カウンター
事務室
ＰＳ
健診センター１階
５４３．４８㎡
ドライエリア上部

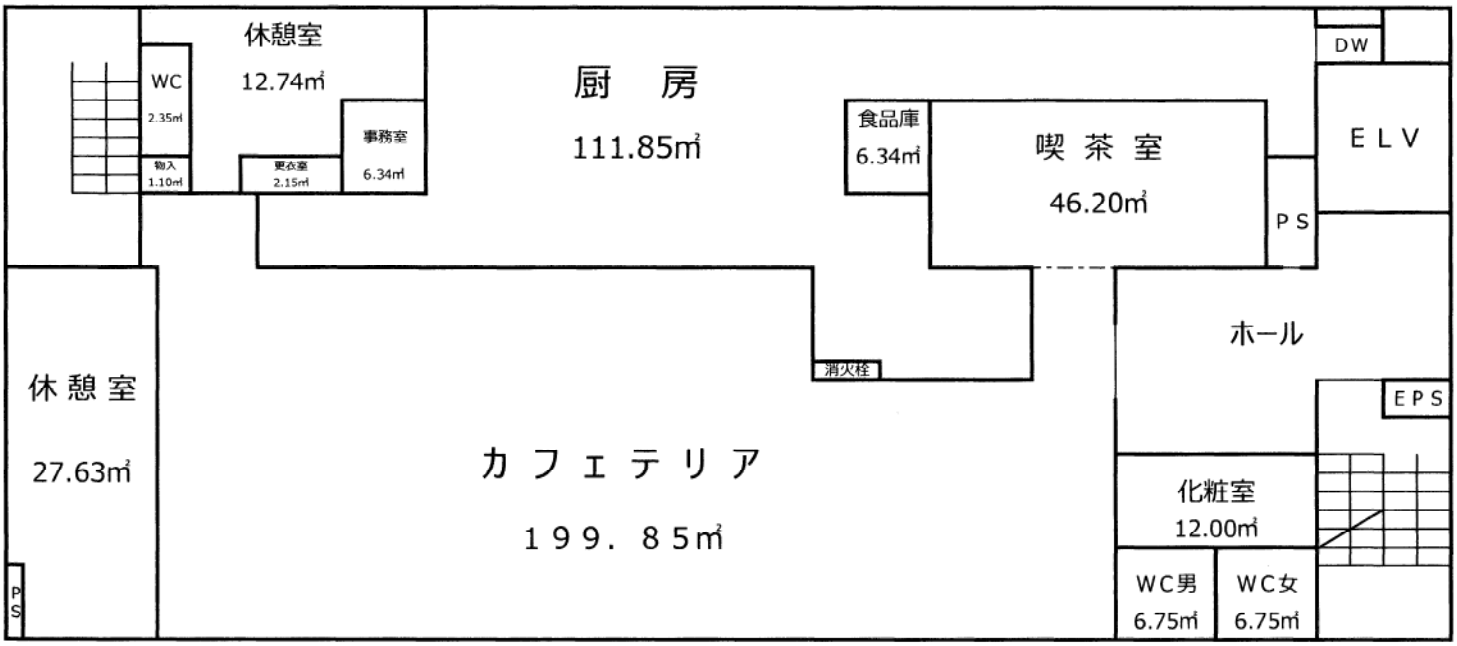


健診センター２階

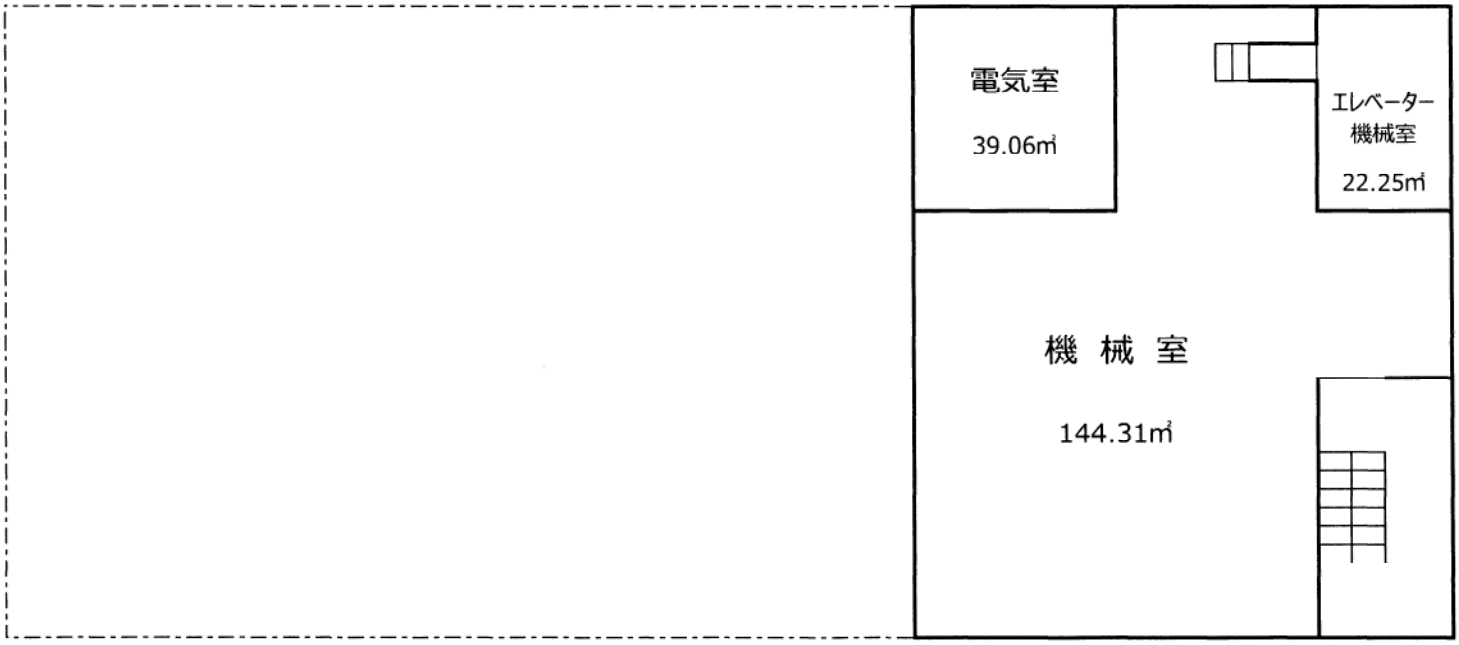
５４１．９１㎡



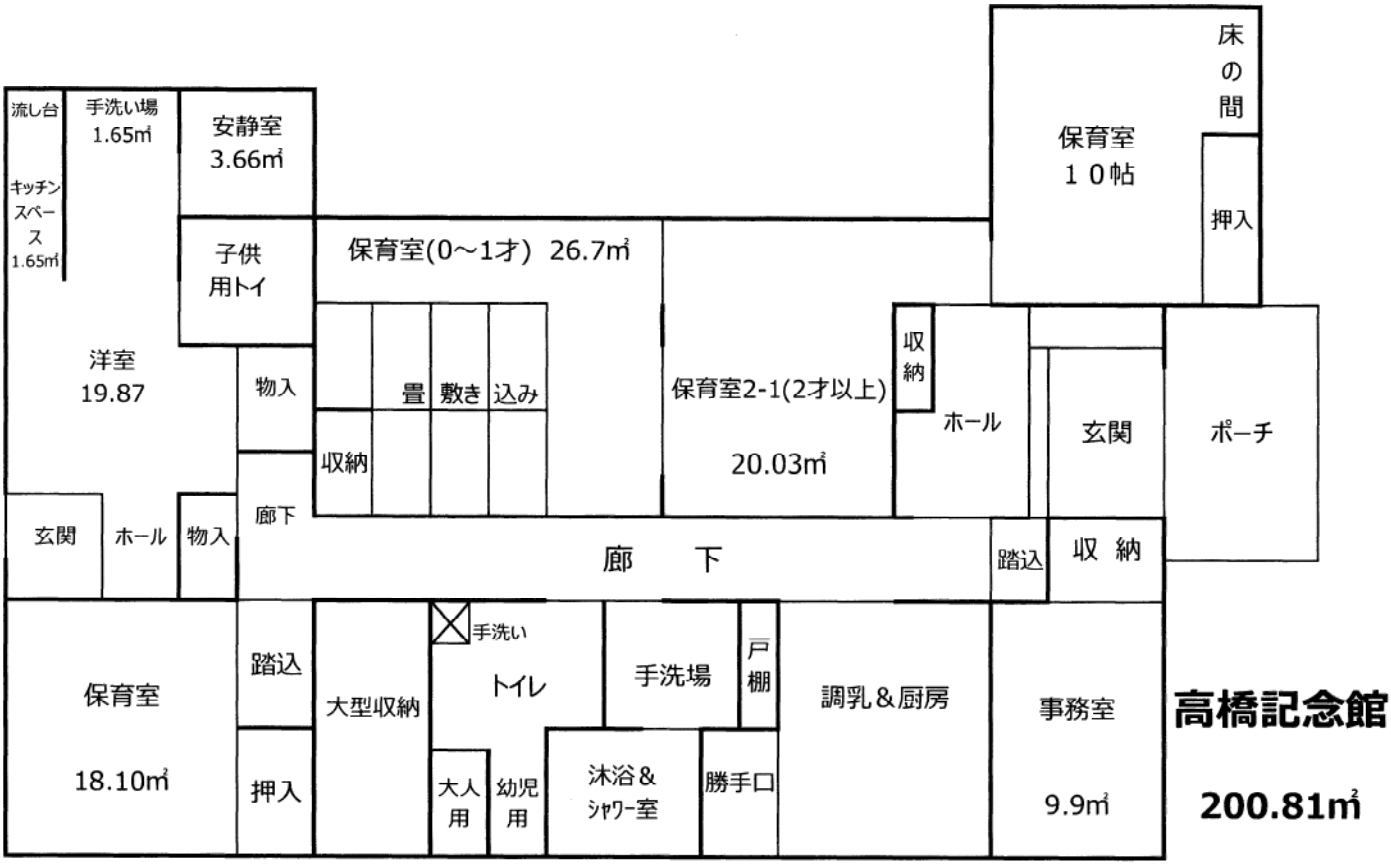
健診センター３階　　541.91㎡

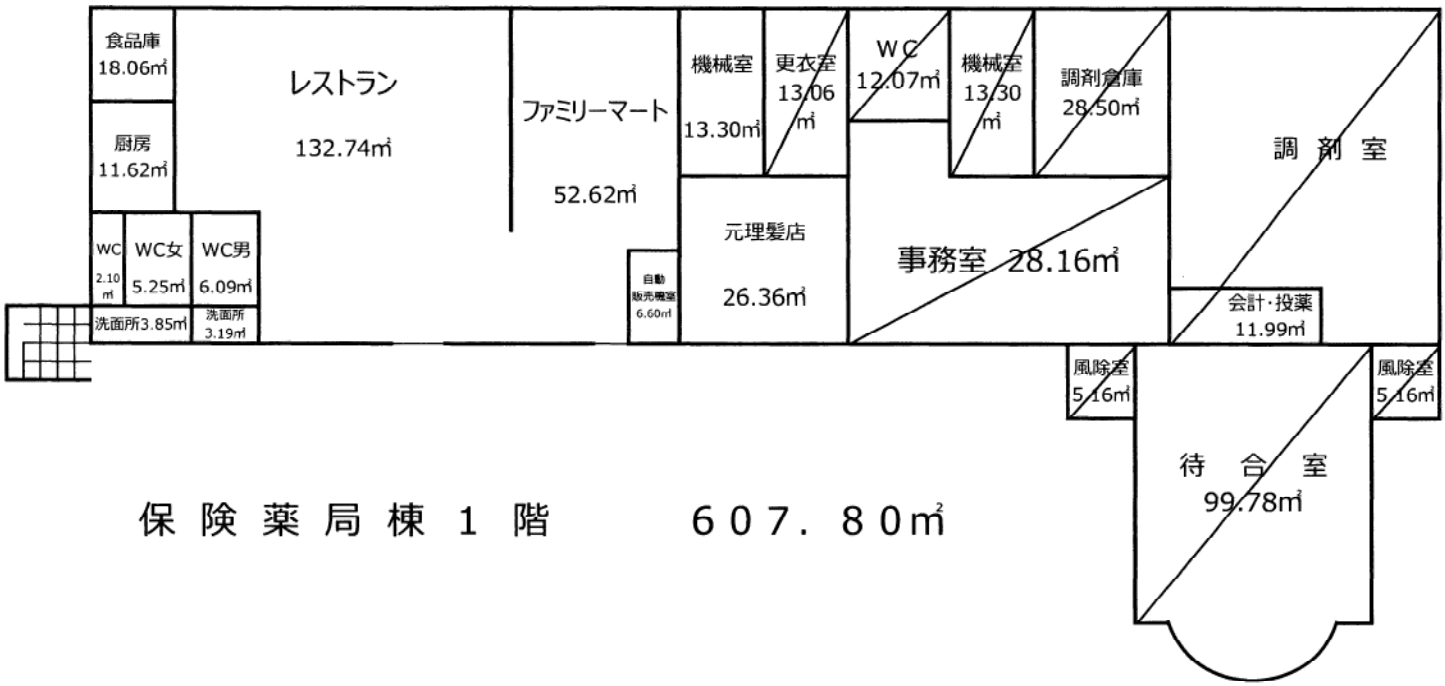


健診センター４階　　541.91㎡

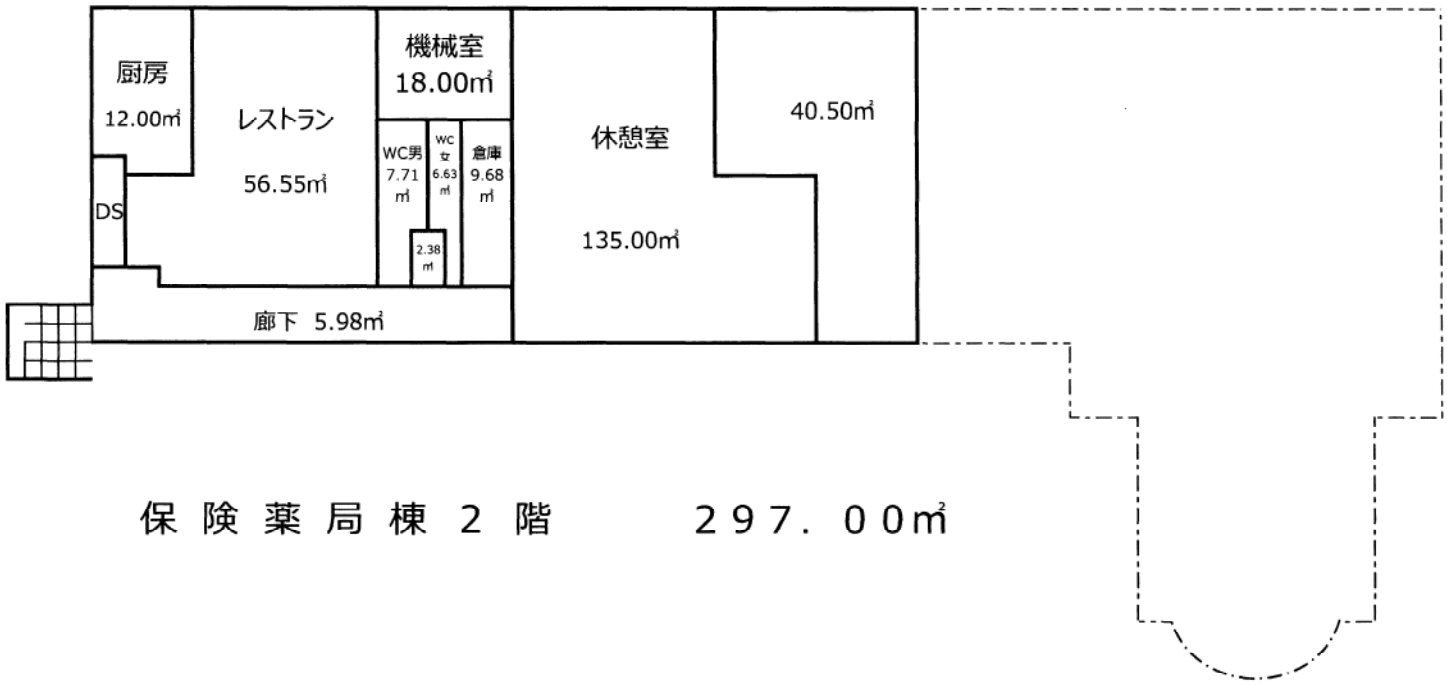


健診センター５階　　227.18㎡

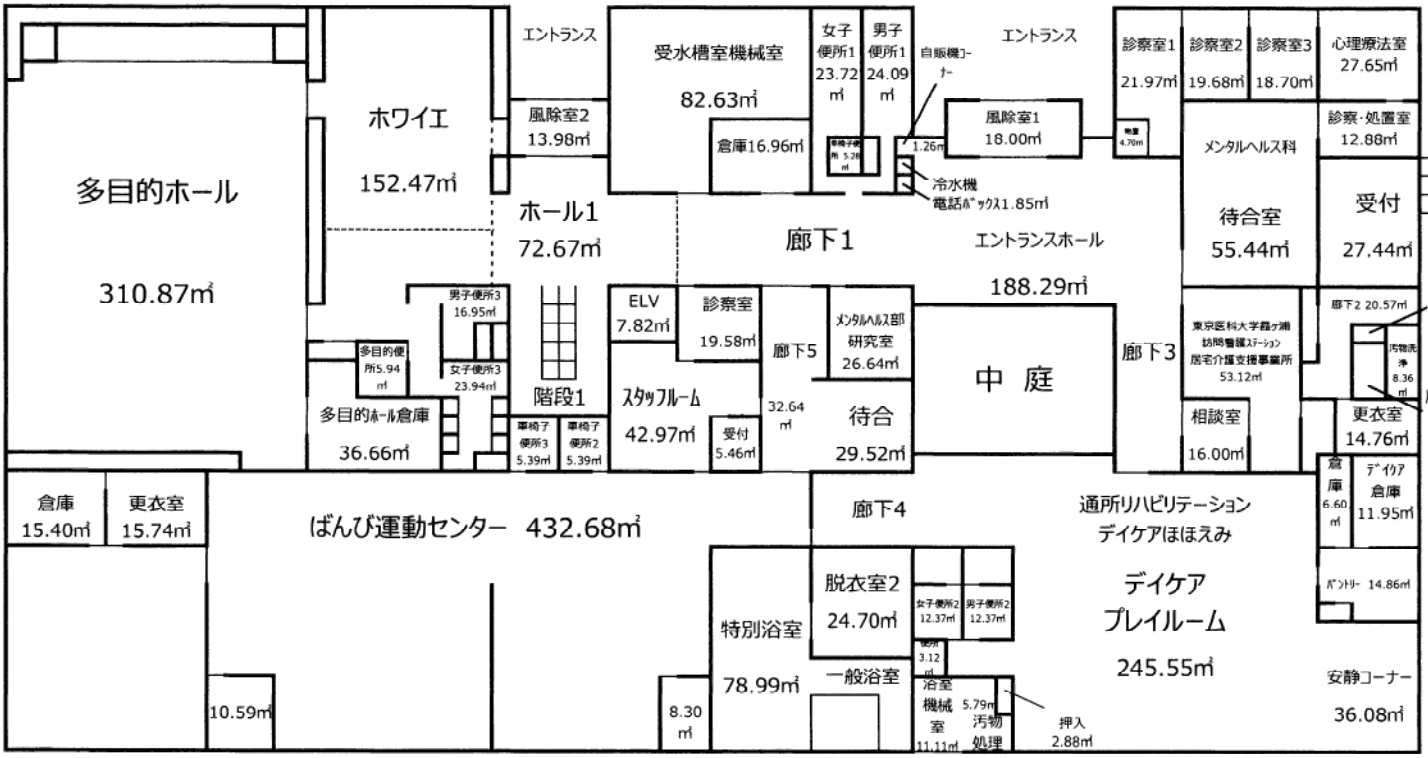

流し台
手洗い場
1.65㎡
安静室
3.66㎡
キッチン
スペース
1.65㎡
子供
用トイ
保育室(0～1才) 26.7㎡
保育室
１０帖
床
の
間
押入
洋室
19.87
物入
畳
敷き
込み
収納
保育室2-1(2才以上)
20.03㎡
収納
ホール
玄関
ポーチ
廊下
玄関
ホール
物入
廊　下
踏込
収 納
保育室
18.10㎡
踏込
押入
大型収納
手洗い
トイレ
大人
用
幼児
用
手洗場
沐浴&
ｼｬﾜｰ室
戸
棚
勝手口
調乳＆厨房
事務室
9.9㎡
高橋記念館
200.81㎡



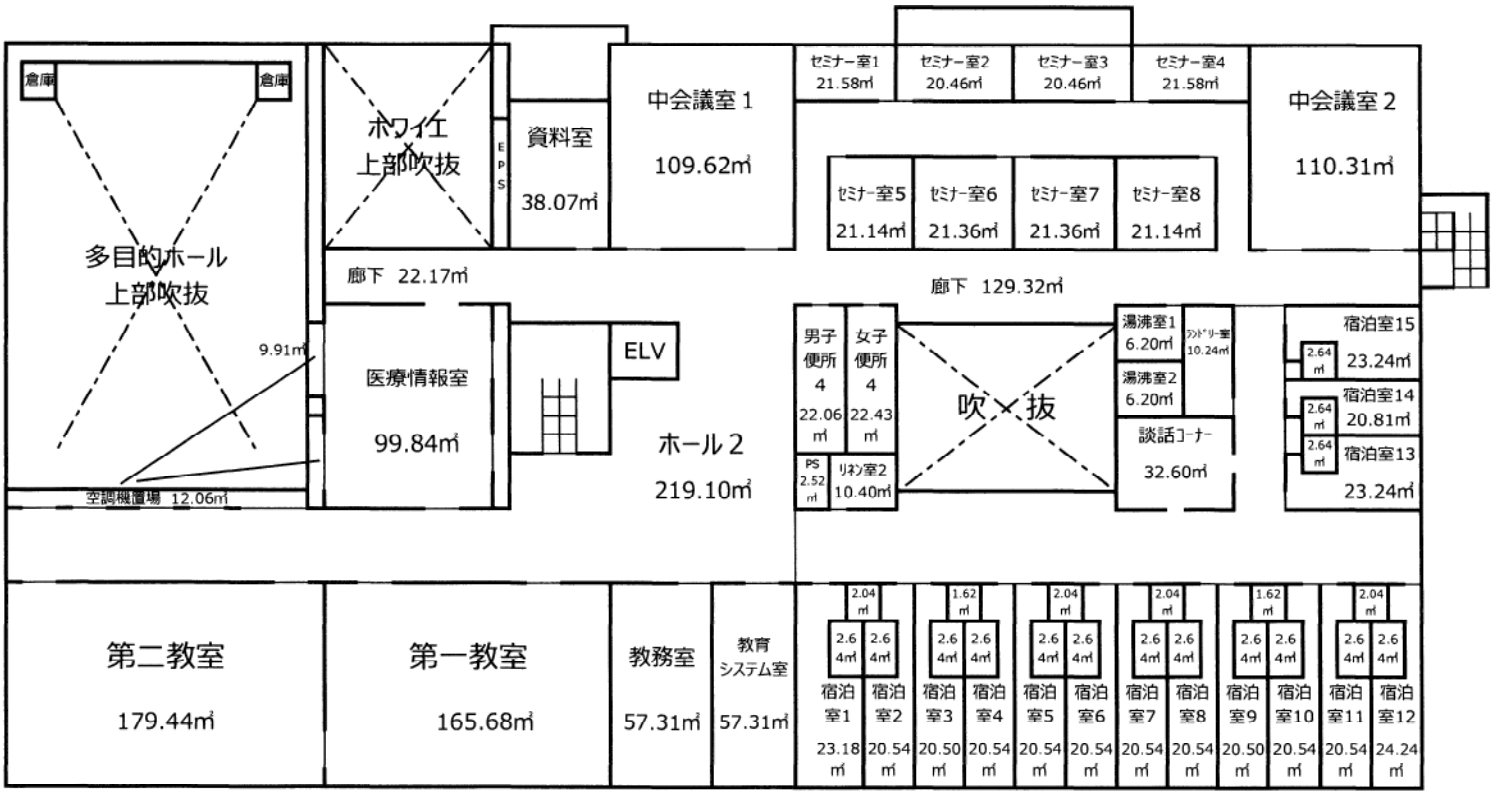
保険薬局棟１階　　６０７．８０㎡



保険薬局棟２階　　２９７．００㎡

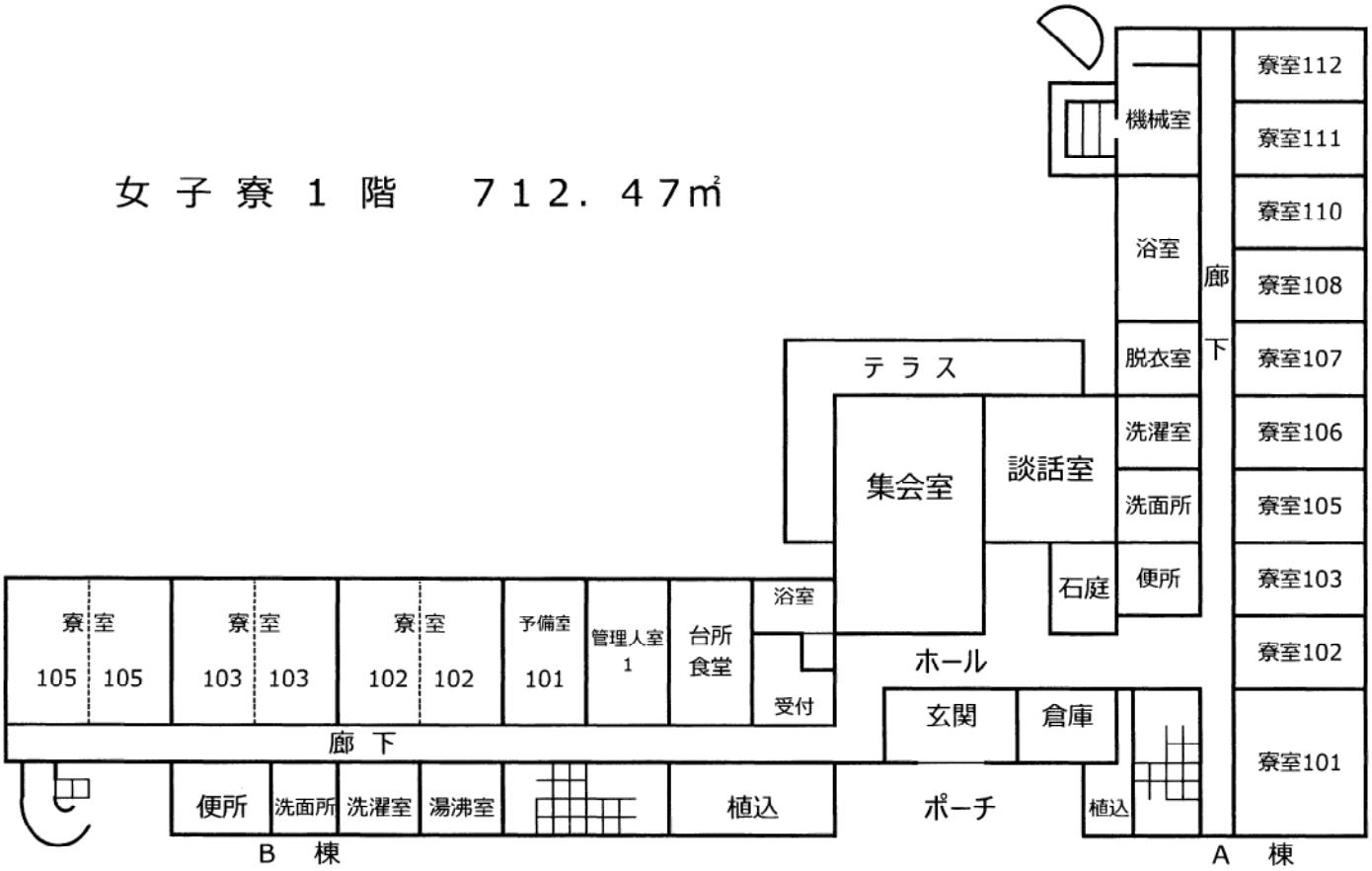


医療福祉研究センター１階

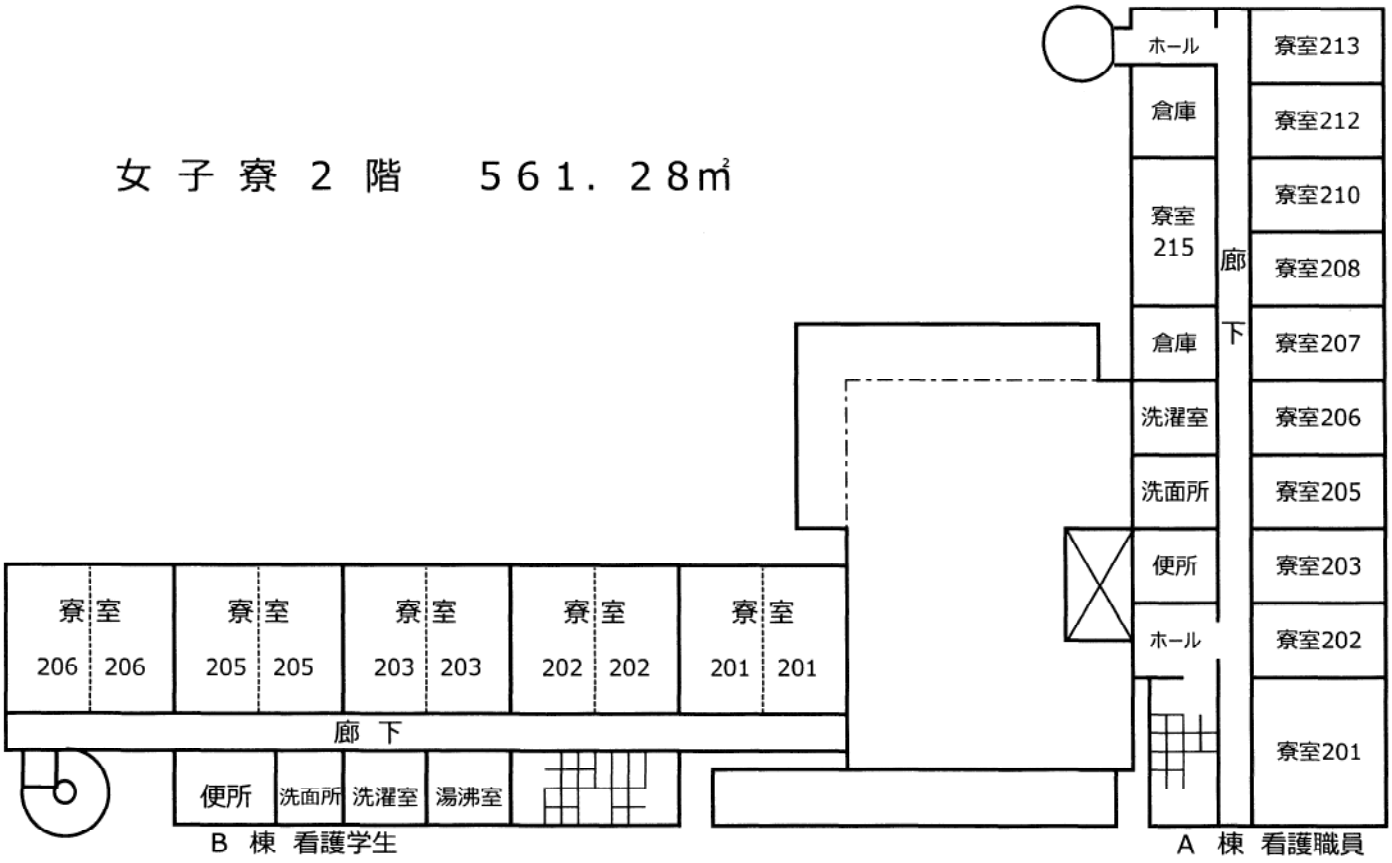


医療福祉研究センター２階

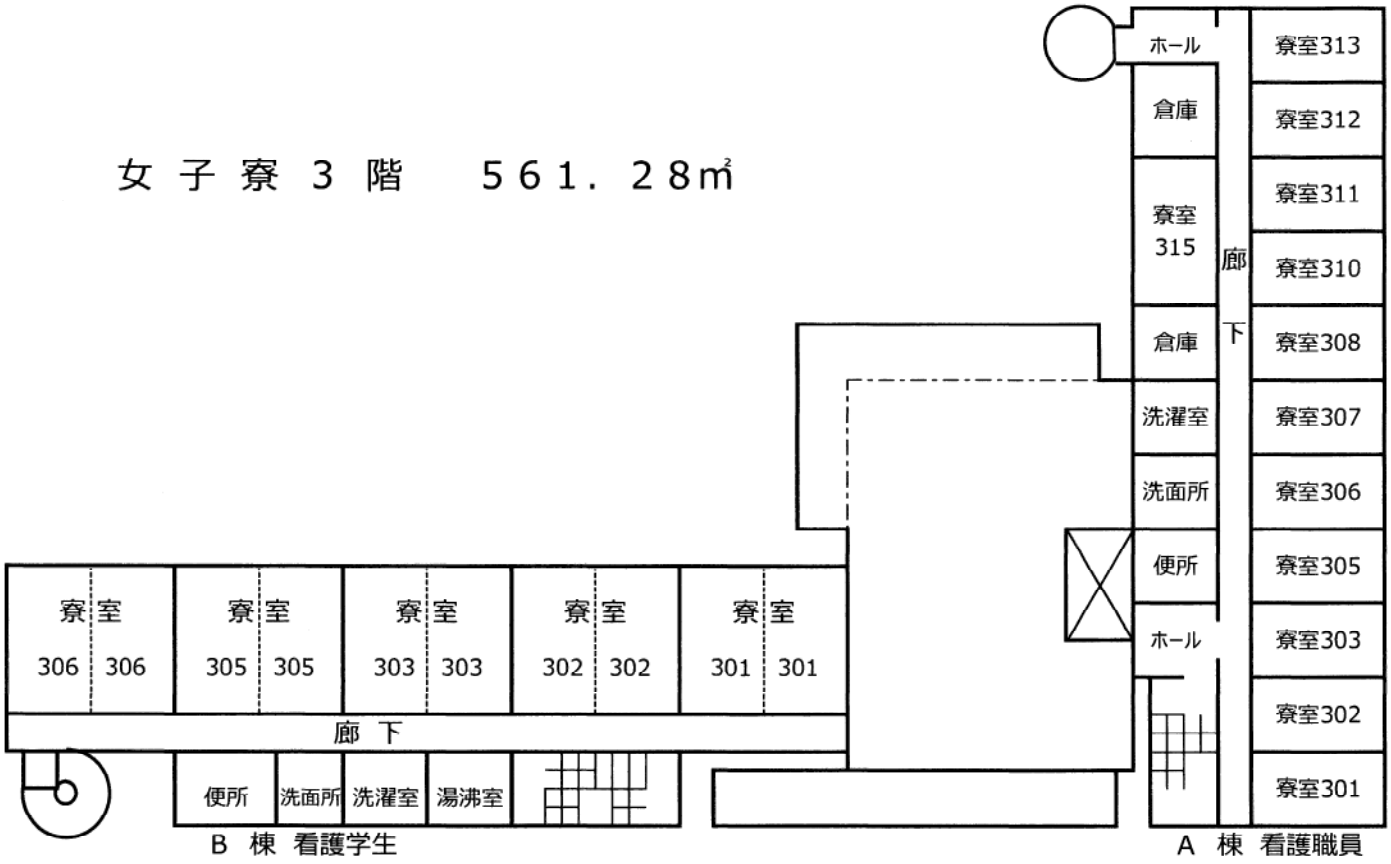
女子寮１階　７１２．４７㎡



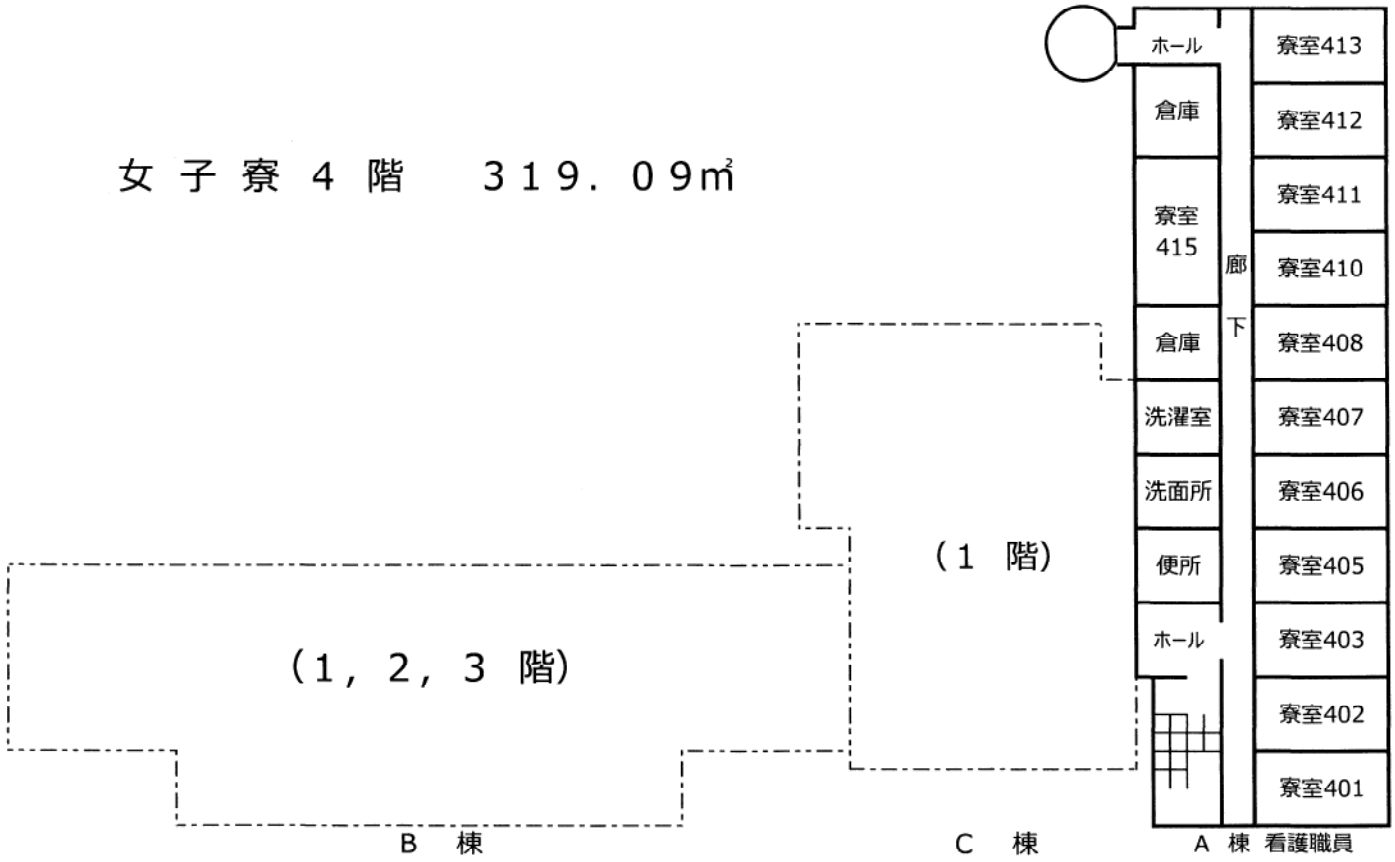
女子寮２階　５６１．２８㎡



女 子 寮 3 階　 561．28㎡



女 子 寮 4 階　 319．09㎡



別記様式第2号・別添3

2以上の校地において教育を行う場合のそれぞれの校地ごとの状況

区分	オ 一部のみ別校地で教育研究を行う場合

学部	新宿キャンパス					西新宿キャンパス					茨城キャンパス					八王子キャンパス					学部及び校地ごとにおける教育内容	備考
	最大受入定員	収容定員	在学者数	専任教員	校地面積 校舎面積	最大受入定員	収容定員	在学者数	基幹教員	校地面積 校舎面積	最大受入定員	収容定員	在学者数	基幹教員	校地面積 校舎面積	最大受入定員	収容定員	在学者数	専任教員	校地面積 校舎面積		
医学研究科 医学専攻	112人	112人	42人	64人 （64人）		176人	176人	169人	209人 （209人）		－人	設定なし	1人	30人 （30人）		－人	設定なし	0人	48人 （48人）		消化器外科学・内科系（一部）は茨城C、消化器外科・移植外科学は八王子C、にてそれぞれ研究指導を行う。	
計	112人	112人	42人	64人 （64人）	20,305㎡ 28,778㎡ （28,778㎡）	176人	176人	169人	209人 （209人）	23,406㎡ 19,489㎡ （19,489㎡）	－人	－人	1人	30人 （30人）	95,280㎡ 11,033㎡ （11,033㎡）	－人	－人	0人	48人 （48人）	96,013㎡ 3,106㎡ （3,106㎡）		

※収容定員欄には，収容定員の設定がされていない場合は，「設定なし」と記載すること。
※基幹教員欄，校舎面積欄の（ ）は開設時，（ ）外は完成時の数値を記載すること。
※基幹教員数について，同一の基幹教員が複数の校地で授業を担当する場合には，ダブルカウントし，ダブルカウントする教員の内訳を備考欄に記載すること。

施設・設備等	新宿	西新宿	茨城	八王子	備考
学長室	1室	0室	0室	0室	
会議室	1室	12室	4室	9室	
事務室	3室	15室	12室	19室	
事務職員	87人	163人	61人	74人	
研究室	94室	69室	35室	59室	共同利用研究室も含む
教室	42室	16室	0室	0室	
図書館	804.23㎡ 89,410冊	686.61㎡ 131,916冊	283.15㎡ 29,366冊	180.00㎡ 23,759冊	新宿キャンパスには看護閲覧室も含まれる
図書館職員	4人	5人	0人	1人	
医務室	1室	0室	0室	0室	
スポーツ施設	（有）・無	有・（無）	有・（無）	有・（無）	

※2以上の校地で教育を行うことを前提とした申請についてのみ本様式の記載を求めるものです。
※研究室が常勤の教員1人当たり1室でない場合には，備考欄に，研究室の利用形態を記述すること。

別記様式第2号・別添4

2以上の校地において教育研究を行う場合のそれぞれの校地ごとの教員の勤務状況

学部等名称	番号	氏名	年齢	所属する校地	勤務状況
医学研究科 医学専攻	1	イトウ マサヒロ 伊藤 正裕	63	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(ステップ1、コースワーク、人体構造学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	2	ヨシトミ ネイネイ 吉富 寧々	54	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、人体構造学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	3	タカハシ トキハル 高橋 宗春	60	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、組織・神解剖学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	4	ナガオ トシタカ 長尾 俊孝	59	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、人体病理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	5	マツバヤシ ジュン 松林 純	53	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、人体病理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	6	モリシタ ユキオ 森下 由紀雄	60	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	7	ナカツガワ ムネヒデ 中津川 宗秀	50	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	8	クロダ マサヒコ 黒田 雅彦	61	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(ステップ1、コースワーク、分子病理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	9	ナカムラ シゲキ 中村 茂樹	49	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、微生物学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	10	オオクス キヨフミ 大楠 清文	59	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、微生物学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	11	ヨコヤマ ウタコ 横山 詩子	56	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、細胞生理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	12	ハヤシユキコ 林 由起子	63	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、病態生理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	13	イトウ スギタ ミチコ 伊藤(杉田)美智子	49	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、生化学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	14	ヒラモト マサキ 平本 正樹	56	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、生化学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	15	カネクラ コウスケ 金蔵 孝介	47	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、薬理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

医学研究科 医学専攻	16	ヨコスカ タダシ 横須賀 忠	56	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、免疫学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	17	ヨシモト タカユキ 善本 隆之	63	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、免疫制御学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	18	イノウエ シゲル 井上 茂	59	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、公衆衛生学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	19	ハマオカ タカフミ 濱岡 隆文	62	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、健康増進スポーツ医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	20	ウチガサキ セイサク 内ヶ崎 西作	60	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、法医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	21	ミシマ シロウ 三島 史朗	61	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、医療の質・安全管理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	22	タグリ マサタカ 田栗 正隆	43	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(ステップ2医療データサイエンス、コースワーク、医療データサイエンス)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	23	ゴトウ モリタカ 後藤 守孝	58	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、血液内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	24	アベ シンジ 阿部 信二	58	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、呼吸器内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	25	サトミ カズヒロ 里見 和浩	56	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、循環器内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	26	タナカ ノブヒロ 田中 信大	60	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、循環器内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	27	スズキ リョウ 鈴木 亮	53	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、糖尿病・代謝・内分泌内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	28	サワダ テツジ 沢田 哲治	63	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、リウマチ・膠原病内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	29	ショウダ ヒロフミ 庄田 宏文	48	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、リウマチ・膠原病内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	30	テラシ ヒロオ 赫 寛雄	57	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、神経学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	31	イトイ タカオ 糸井 隆夫	59	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、消化器内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	32	イワモト ジュンイチ 岩本 淳一	56	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、内科系消化器内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

医学研究科 医学専攻	33	イケガミ タダシ 池上 正	62	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、内科系消化器内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	34	キタムラ カツヤ 北村 勝哉	53	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、消化器内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	35	ソフニ アツシ 祖父尼 淳	54	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	36	ワタナベ ヒデヒロ 渡邉 秀裕	63	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、内科系臨床感染症学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	37	ヒライ ユウジ 平井 由児	53	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	38	ホンダ アキラ 本多 彰	63	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、内科系腎臓内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	39	イチキ マサヒコ 市来 真彦	60	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、精神医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	40	ヒガシ シンジ 東 晋二	52	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、精神医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	41	フジムラ ヨウタ 藤村 洋太	49	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、精神医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	42	ヤマナカ ガク 山中 岳	53	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、小児科・思春期科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	43	ハラダ カズトシ 原田 和俊	55	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、皮膚科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	44	カワチ ヤスヒロ 川内 康弘	62	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、皮膚科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	45	ウメバヤシ ヨシヒロ 梅林 芳弘	63	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、皮膚科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	46	カトウ ユキヒコ 加藤 雪彦	63	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、皮膚科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	47	イトウ トモノブ 伊藤 友章	52	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、皮膚科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	48	サイトウ カズヒロ 齋藤 和博	60	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、放射線医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	49	ヨシムラ マナ 吉村 真奈	63	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、放射線医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

医学研究科 医学専攻	50	アベ コウイチロウ 阿部 光一郎	62	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、放射線医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	51	ナカイ モトキ 中井 資貴	54	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、放射線医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	52	スガハラ シンジ 菅原 信二	64	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、放射線医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	53	キナイ エイ 木内 英	58	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、臨床検査医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	54	アマノ カゲヒロ 天野 景裕	61	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、臨床検査医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	55	タナカ アサシ 田中 朝志	63	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	56	シミズ ソウイチロウ 清水 聰一郎	51	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、高齢総合医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	57	コバヤシ ダイキ 小林 大輝	44	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	58	カンノ ヨシヒコ 菅野 義彦	58	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、腎臓内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	59	ヒラヤマ コウイチ 平山 浩一	60	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、内科系腎臓内科学、腎臓内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	60	オダ タカシ 尾田 高志	63	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、腎臓内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	61	モリヤマ タカヒト 森山 能仁	52	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、腎臓内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	62	イケダ ノリヒコ 池田 徳彦	64	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、呼吸器・甲状腺外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	63	オオヒラ タツオ 大平 達夫	60	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、呼吸器・甲状腺外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	64	ツツイ ヒデミツ 筒井 英光	61	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、呼吸器・甲状腺外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	65	カジワラ ナオヒロ 梶原 直央	59	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	66	イシカワ タカシ 石川 孝	63	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、乳腺科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

医学研究科 医学専攻	67	ヤマダ キミト 山田 公人	62	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、乳腺科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	68	シマハラ ユウスケ 島原 佑介	48	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、心臓血管外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	69	フクダ シヨウジ 福田 尚司	62	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、心臓血管外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	70	アカサカ ジュンエツ 赤坂 純逸	59	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、心臓血管外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	71	ナガカワ ユウイチ 永川 裕一	56	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、消化器・小児外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	72	スズキ シュウジ 鈴木 修司	59	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、消化器外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	73	シモダ ミツギ 下田 貢	61	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、消化器外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	74	カワチ シゲユキ 河地 茂行	60	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、消化器外科・移植外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	75	ヒダカ エイジ 日高 英二	58	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、消化器外科・移植外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	76	シシド タカアキ 宍戸 孝明	64	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、整形外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	77	ワカバヤシ ヨシヒロ 若林 美宏	62	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、眼科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	78	マホ マサヒロ 真穂 雅博	64	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、眼科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	79	シムラ マサヒコ 志村 雅彦	60	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、眼科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	80	オオノ ヨシオ 大野 芳正	59	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、泌尿器科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	81	ツカハラ キヨアキ 塚原 清彰	51	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、耳鼻咽喉科。頭頸部外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	82	オガワ ヤスオ 小川 恭生	54	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	83	オカモト イサク 岡本 伊作	47	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、耳鼻咽喉科。頭頸部外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

医学研究科 医学専攻	84	ニシ ヒロタカ 西 洋孝	57	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、産科・婦人科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	85	ウチノ ヒロユキ 内野 博之	63	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、麻酔科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	86	ゴウヤギ トオル 合谷木 徹	59	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、麻酔科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	87	コウノ ミチヒロ 河野 道宏	63	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、脳神経外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	88	ジンボ ヒロユキ 神保 洋之	63	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	89	チカヅ ダイチ 近津 大地	59	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、口腔外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	90	マツオ アキラ 松尾 朗	64	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、口腔外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	91	マツムラ ハジメ 松村 一	62	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、形成外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	92	ホンマ ヒロシ 本間 宙	57	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、救急・災害医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	93	イナヅ マサト 稲津 正人	63	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(ステップ2グラント申請の書き方・研究資金の確保、コースワーク)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	94	コジマ タカコ 小島 多香子	50	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(ステップ2国際発信のための論文執筆とプレゼンテーション)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	95	イトウ ヨシカズ 伊藤 良和	63	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(ステップ1、ステップ2医学研究における法と倫理)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	96	クラタ マコト 倉田 誠	48	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(ステップ2医学研究における法と倫理)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	97	オイカワ テツロウ 及川 哲郎	63	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	98	カモハラ ヒデノブ 蒲原 英伸	62	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	99	ウチダ ケイコ 内田 敬子	55	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、細胞生理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	100	リ チュウレン 李 忠連	62	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、人体構造学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

医学研究科 医学専攻	101	オオヤマ キヨウジ 大山 恭司	61	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、組織・神経解剖学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	102	タカハシ レイスケ 高橋 礼典	57	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、人体病理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	103	ミヤザキ ハルコ 宮崎 治子	61	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、微生物学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	104	シバタ タケヒコ 柴田 岳彦	45	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、微生物学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	105	カワハラ ゲンリ 川原 玄理	52	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、病態生理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	106	タカノ ナオハル 高野 直治	46	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、生化学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	107	タケウチ アラタ 竹内 新	51	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、免疫学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	108	フクシマ ノリトシ 福島 教照	48	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、公衆衛生学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	109	イトウ トモコ 伊藤 朋子	54	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、公衆衛生学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	110	キクチ ヒロユキ 菊池 宏幸	45	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、公衆衛生学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	111	ウラマツ マサシ 浦松 雅史	50	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、医療の質・安全管理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	112	ヤマザキ ユカ 山崎 由花	48	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、医学教育学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	113	ハラダ ヨシミ 原田 芳巳	61	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、医学教育学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	114	フルヤ ナホコ 古屋 奈穂子	58	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、血液内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	115	アカハネ ダイゴ 赤羽 大悟	47	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、血液内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	116	コウノ ユウタ 河野 雄太	47	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、呼吸器内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	117	タケイ ヤスヨシ 武井 康悦	54	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、循環器内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

医学研究科 医学専攻	118	シイナ カズキ 椎名 一紀	55	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、循環器内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	119	コスゲ ヒサノリ 小菅 寿徳	55	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、循環器内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	120	ヒダ サトシ 肥田 敏	59	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、循環器内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	121	ヤマダ サトシ 山田 聡	62	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	122	ヤマシタ ジュン 山下 淳	52	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、循環器内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	123	サカイ ヒロユキ 酒井 裕幸	61	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、糖尿病・代謝・内分泌内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	124	シクマ ジュンペイ 志熊 淳平	50	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、糖尿病・代謝・内分泌内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	125	スワナイ ヒロツグ 諏訪内 浩紹	48	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、糖尿病・代謝・内分泌内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	126	タハラ コウイチロウ 太原 恒一郎	62	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、リウマチ・膠原病内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	127	カトウ ハルヒサ 加藤 陽久	53	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、神経学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	128	ヒデヤマ タクト 日出山 拓人	50	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、神経学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	129	ツチヤ タカヨシ 土屋 貴愛	48	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、消化器内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	130	フクザワ マサカツ 福澤 誠克	51	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、消化器内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	131	トノヅカ リヨウスケ 殿塚 亮祐	47	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	132	スギモト カツトシ 杉本 勝俊	50	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、消化器内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	133	ムカイ シュンタロウ 向井 俊太郎	42	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	134	ヤマモト ケンジロウ 山本 健治郎	44	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

医学研究科 医学専攻	135	ニイクラ リヨウタ 新倉 量太	42	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、消化器内視鏡学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	136	ナカムラ イタル 中村 造	46	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、内科系臨床感染症学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	137	タカモト イセキ 高本 偉碩	50	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、内科系代謝内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	138	マスヤ ジロウ 桝屋 二郎	52	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、精神医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	139	ヤマザキ タカシ 山崎 崇志	62	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、小児科・思春期科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	140	カシワギ ヤスヨ 柏木 保代	60	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、小児科・思春期科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	141	ニシマタ シゲオ 西亦 繁雄	52	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、小児科・思春期科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	142	サカイ ノリヤス 堺 則康	56	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	143	カタダ ヨシアキ 片田 芳明	48	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	144	オオクボ ミツル 大久保 充	47	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、放射線医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	145	ヨツモト ミホコ 四本 美保子	51	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、臨床検査医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	146	イナバ ヒロシ 稲葉 浩	64	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、臨床検査医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	147	フクイ サヤト 福井 早矢人	41	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	148	ヤマダ ムネハル 山田 宗治	53	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	149	カキハナ マサトシ 垣花 昌俊	57	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、呼吸器・甲状腺外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	150	ハギワラ マサル 萩原 優	55	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、呼吸器・甲状腺外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	151	モトハシ シンヤ 本橋 慎也	50	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

医学研究科 医学専攻	152	ハヤシ ユタカ 林 豊	48	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、消化器・小児外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	153	イシザキ テツオ 石崎 哲央	51	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、消化器・小児外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	154	シマザキ ジロウ 島崎 二郎	53	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、消化器外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	155	チバ ナオカズ 千葉 斉一	49	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、消化器外科・移植外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	156	マサオカ トシノリ 正岡 利紀	62	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、整形外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	157	エンドウ ケンジ 遠藤 健司	62	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、整形外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	158	コヤマ タカシ 小山 尊士	59	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、整形外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	159	タテイワ トシユキ 立岩 俊之	53	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、整形外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	160	ウスイ ヨシヒコ 臼井 嘉彦	48	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、眼科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	161	ノマ ヒデタカ 野間 英孝	57	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	162	ウマヅメ カズヒコ 馬詰 和比古	44	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、眼科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	163	クロダ イサオ 黒田 功	56	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	164	シシド トシヒデ 宍戸 俊英	58	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、泌尿器科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	165	イナガキ タロウ 稲垣 太郎	50	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	166	シミズ アキラ 清水 顕	54	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	167	ニシヤマ ノブヒロ 西山 信宏	55	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	168	オノ マサノリ 小野 政徳	49	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、産科・婦人科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

医学研究科 医学専攻	169	フタガミ マサユキ 二神 真行	53	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	170	ヤマモト アキコ 山本 阿紀子	50	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、産科・婦人科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	171	フカミ シンジロウ 深見 真二郎	52	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、脳神経外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	172	ハシモト タカオ 橋本 孝朗	58	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、脳神経外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	173	サイダ アキヒコ 齋田 晃彦	64	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	174	ハセガワ オン 長谷川 温	51	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、口腔外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	175	コミヤ タカコ 小宮 貴子	47	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、形成外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	176	カタヒラ ジロウ 片平 次郎	61	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	177	ツルキリ ジュンヤ 弦切 純也	46	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(コースワーク、救急・災害医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	178	イノウエ ヒロキ 井上 弘樹	38	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(ステップ1)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	179	イナガキ ナツコ 稲垣 夏子	50	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(ステップ2医学研究における法と倫理)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	180	ナガタ ナオヨシ 永田 尚義	49	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	181	フクシマ シンジ 福島 慎二	51	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(コースワーク、(研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	182	ヤクラ トミコ 矢倉 富子	44	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(人体構造学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	183	マスヤマ ユウコ 増山 裕子	49	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(組織・神経解剖学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	184	シノハラ ヒロシ 篠原 広志	46	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(組織・神経解剖学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	185	キタザワ ヒロマサ 北澤 宏理	59	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(組織・神経解剖学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

医学研究科 医学専攻	186	カシワギ タイチ 柏木 太一	48	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(組織・神経解剖学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	187	タニガワ マキ 谷川 真希	43	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(人体病理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	188	ウメヅ トモヒロ 梅津 知宏	48	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(分子病理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	189	オオノ シンイチロウ 大野 慎一郎	48	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(分子病理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	190	シロタ ハナ 城田 華	50	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(細胞生理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	191	ナカムラ タカシ 中村 隆	39	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(細胞生理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	192	ワダ エイジ 和田 英治	40	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(病態生理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	193	ハシモト ユウイチ 橋本 祐一	59	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(薬理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	194	ナワ ミキロウ 名和 幹朗	46	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(薬理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	195	スズキ ヒロアキ 鈴木 宏昌	44	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(薬理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	196	クサカリ シンヤ 草苅 伸也	46	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(薬理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	197	マチヤマ ヒロアキ 町山 裕亮	46	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(免疫学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	198	ワカマツ エイ 若松 英	44	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(免疫学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	199	ニシジマ ヒトシ 西嶋 仁	54	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(免疫学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	200	ミゾグチ イズル 溝口 出	51	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(免疫制御学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	201	ゴンダ ユウコ 権田 優子	59	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(公衆衛生学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	202	マチダ マサキ 町田 征己	35	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(公衆衛生学、内科系臨床感染症学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

医学研究科 医学専攻	203	クロサワ ユウコ 黒澤 裕子	59	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(健康増進スポーツ医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	204	キメ リョウタロウ 木目 良太郎	52	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(健康増進スポーツ医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	205	タカハシ メグミ 高橋 恵	57	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(医療の質・安全管理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	206	ノヒラ トモヨシ 野平 知良	61	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(医学教育学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	207	ウチダ コウタロウ 内田 康太郎	48	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(医学教育学、救急・災害医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	208	イガラシ リョウコ 五十嵐 涼子	62	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(医学教育学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	209	オカベ セイイチ 岡部 聖一	56	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(血液内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	210	ヨシザワ セイイチロウ 吉澤 成一郎	44	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(血液内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	211	タナカ ユウコ 田中 裕子	51	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(血液内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	212	キクチ リョウタ 菊池 亮太	42	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(呼吸器内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	213	ムラタ ナオタカ 村田 直隆	45	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	214	ヤザキ ヨシナオ 矢崎 義直	48	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(循環器内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	215	コマツ ヤスシ 小松 靖	41	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	216	コバヤシ マサタケ 小林 正武	42	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	217	マツシタ タカヤ 松下 隆哉	57	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	218	コバヤシ タカアキ 小林 高明	55	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	219	ササキ ジュンコ 佐々木 順子	44	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(糖尿病・代謝・内分泌内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

医学研究科 医学専攻	220	ハヤシ ハエル 林 映	55	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(リウマチ・膠原病内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	221	ナイトウ サキコ 内藤 咲貴子	45	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	222	タナカ レイナ 田中 麗奈	44	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	223	タケウチ ヒロヒト 竹内 啓人	41	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	224	タイラ ジュンイチ 平良 淳一	50	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	225	ナカムラ ヒロノリ 中村 洋典	50	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	226	マツナミ ユキトシ 松波 幸寿	39	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	227	ヨシマス ユウ 吉益 悠	39	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	228	コバヤシ タケヒト 小林 勇仁	40	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(内科系臨床感染症学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	229	ホンヤシキ ミナ 本屋敷 美奈	49	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(精神医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	230	モリシタ チヒロ 森下 千尋	37	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(精神医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	231	ヒガシヤマ モトキ 東山 幹	39	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(精神医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	232	オノ ミキ 小野 美樹	48	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(精神医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	233	ゴ ソウケン 呉 宗憲	47	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(小児科・思春期科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	234	モリチ シンイチロウ 森地 振一郎	45	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(小児科・思春期科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	235	イシダ ユウ 石田 悠	45	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(小児科・思春期科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	236	ナガオ リュウヘイ 長尾 竜兵	48	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(小児科・思春期科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

医学研究科 医学専攻	237	イリサワ リヨウキチ 入澤 亮吉	62	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	238	アベ ナミコ 阿部 名美子	49	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(皮膚科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	239	マエ ケンイチロウ 前 賢一郎	43	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	240	ヌマタ タカフミ 沼田 貴史	41	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(皮膚科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	241	サグチ トオル 佐口 徹	60	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(放射線医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	242	ミカミ リユウジ 三上 隆二	53	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(放射線医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	243	ノザカ ケイコ 野坂 圭子	62	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(臨床検査医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	244	ムラマツ タカシ 村松 崇	47	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(臨床検査医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	245	サトウ トモヒコ 佐藤 友彦	47	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(高齢総合医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	246	タケノシタ ナオト 竹野下 尚仁	36	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(高齢総合医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	247	アベ シンエ 阿部 晋衛	61	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(高齢総合医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	248	ミヤオカ ヨシタカ 宮岡 良卓	43	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(腎臓内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	249	ヒラヤマ ミホ 平山 美穂	45	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(腎臓内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	250	マルヤマ ヒロシ 丸山 浩史	43	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(内科系腎臓内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	251	コジマ タダス 小島 糾	43	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	252	ウチダ タカヒロ 内田 貴大	43	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	253	シマダ ヨシヒサ 嶋田 善久	48	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(呼吸器・甲状腺外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

医学研究科 医学専攻	254	ヤノ ユキコ 矢野 由希子	54	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(呼吸器・甲状腺外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	255	クドウ ユウジン 工藤 勇人	45	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(呼吸器・甲状腺外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	256	イマイ ケンタロウ 今井 健太郎	47	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	257	カイセ ヒロシ 海瀬 博史	64	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(乳腺科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	258	フジヨシ トシキ 藤吉 俊毅	42	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(心臓血管外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	259	カミヤ ケンタロウ 神谷 健太郎	51	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	260	イワハシ トオル 岩橋 徹	50	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(心臓血管外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	261	ハガ マコト 芳賀 真	46	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	262	ホシノ アキヒロ 星野 明弘	47	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(消化器・小児外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	263	マザキ ジュンイチ 真崎 純一	42	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(消化器・小児外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	264	イワサキ ケンイチ 岩崎 謙一	43	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(消化器・小児外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	265	クワバラ ヒロシ 桑原 寛	45	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(消化器・小児外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	266	タブチ サトシ 田渕 悟	52	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(消化器外科・移植外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	267	ニシムラ ヒロスケ 西村 浩輔	47	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(整形外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	268	イシダ ツネヒト 石田 常仁	47	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(整形外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	269	オサダ タクヤ 長田 卓也	57	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	270	ウエノ リュウイチ 上野 竜一	61	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

医学研究科 医学専攻	271	ヤマモト カオリ 山本 香織	54	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(眼科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	272	カワカミ セツコ 川上 摂子	53	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(眼科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	273	ナカガワ ハヤテ 中川 迅	43	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	274	ヤスダ カナコ 安田 佳奈子	52	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	275	ツボタ キンヤ 坪田 欣也	39	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(眼科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	276	ヒラサワ ヨウスケ 平澤 陽介	42	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(泌尿器科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	277	ハシモト タケシ 橋本 剛	45	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(泌尿器科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	278	サタケ ナオヤ 佐竹 直哉	45	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(泌尿器科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	279	モトハシ レイ 本橋 玲	46	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	280	トカシキ クニヒコ 渡嘉敷 邦彦	41	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	281	シライ キヨウコ 白井 杏湖	41	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	282	オカダ タクロウ 岡田 拓朗	42	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	283	ウエダ ユリ 上田 百合	40	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	284	オノ マサタカ 小野 理貴	42	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(産科・婦人科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	285	コジマ ジュンヤ 小島 淳哉	43	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(産科・婦人科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	286	ササキ トオル 佐々木 徹	44	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(産科・婦人科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	287	カキヌマ タカヤス 柿沼 孝泰	54	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(麻酔科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

医学研究科 医学専攻	288	ナカジマ ノブユキ 中島 伸幸	53	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(脳神経外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	289	コウノ ミチヒデ 河野 通秀	45	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(口腔外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	290	ハマダ ハヤト 濱田 勇人	47	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(口腔外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	291	シマダ カズキ 島田 和樹	40	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(形成外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	292	ワタナベ ユウスケ 渡邊 裕介	37	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(内科系臨床感染症学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	293	サノ ヒデフミ 佐野 秀史	42	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	294	カワタ シンイチ 河田 晋一	41	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(人体構造学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	295	エノモト アイ 榎本 愛	41	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(人体病理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	296	ヒライ ヒデアキ 平井 秀明	39	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(人体病理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	297	スケダ アオイ 助田 葵	43	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(人体病理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	298	ヤマダ ユウコ 山田 侑子	42	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(分子病理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	299	イヌカイ タツヤ 犬飼 達也	35	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(微生物学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	300	タニフジ ショウタ 谷藤 章太	42	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(細胞生理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	301	カトウ メグミ 華藤 恵美	45	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(病態生理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	302	ハマオカ サユリ 濱岡 沙由理	36	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(健康増進スポーツ医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	303	ハラダ カズハル 原田 和治	33	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(ステップ2医療データサイエンス)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	304	オリハラ シユンイチロウ 折原 隼一郎	33	新宿キャンパス	新宿キャンパス:6日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(ステップ2医療データサイエンス)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

医学研究科 医学専攻	305	アサノ ミチヨ 浅野 倫代	43	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(血液内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	306	カタギリ セイイチロウ 片桐 誠一朗	41	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(血液内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	307	ヤマダ アキコ 山田 晃子	36	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(血液内科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	308	ヤコウ フミヨシ 谷古宇 史芳	37	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	309	アベ ヒロノリ 安部 浩則	39	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	310	ナイトウ マキコ 内藤 万希子	47	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目(神経学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	311	マダラメ アキラ 班目 明	39	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	312	フジタ ヒロアキ 藤田 裕晃	39	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	313	デグチ アヤカ 出口 彩香	34	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(精神医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	314	ミヤザキ タケヒロ 宮崎 峻弘	41	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	315	アカマツ ノブコ 赤松 信子	49	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(小児科・思春期科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	316	タカハシ ヒデクニ 高橋 英城	45	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(小児科・思春期科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	317	ツツミ ノリト 堤 範音	42	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(小児科・思春期科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	318	ナラ ショウノスケ 奈良 昇乃助	42	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(小児科・思春期科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	319	アガタ カズシ 縣 一志	41	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	320	イトナガ トモヒロ 糸永 知広	39	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(放射線医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	321	シロタ ナツヒコ 代田 夏彦	39	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目(放射線医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

医学研究科 医学専攻	322	オオタカ ジュン 大高 純	41	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	323	ヤマダ タカフミ 山田 隆文	39	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	324	イチキ アキト 一木 昭人	46	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(臨床検査医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	325	チカサワ ユウシ 近澤 悠志	41	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(臨床検査医学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	326	ハタナカ シロウ 畑中 志郎	39	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	327	アメミヤ リョウスケ 雨宮 亮介	38	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(呼吸器・甲状腺外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	328	オオモリ トモカズ 大森 智一	41	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	329	タカハシ サトシ 高橋 聡	42	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	330	フルモト ヒデユキ 古本 秀行	43	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	331	タナカ タケヒコ 田中 健彦	40	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	332	カワテ タカヒコ 河手 敬彦	43	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(乳腺科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	333	サトウ サエコ 佐藤 冴子	40	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(乳腺科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	334	ニッタ ジュン 仁田 淳	41	八王子キャンパス	八王子キャンパス:6日 主に八王子キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	335	オサカベ ヒロアキ 刑部 弘哲	40	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(消化器・小児外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	336	ワタナベ ミツル 渡邊 充	44	茨城キャンパス	茨城キャンパス:6日 主に茨城キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	337	セキ タケシ 関 健	39	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(整形外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	338	シミズ ヒロユキ 清水 広之	40	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

医学研究科 医学専攻	339	ネヅ ナオヤ 禰津 直也	36	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	340	カシマ タケシ 鹿島 剛	41	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(泌尿器科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	341	サカモト ヒロキ 坂本 広喜	45	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	342	オカダ ヒロフミ 岡田 博史	44	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	343	タムラ トモコ 田村 知子	46	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	344	アオキ コウヘイ 青木 昂平	35	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	345	ナカノ ヒロキ 中野 宏己	38	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	346	サイキ イワオ 齊木 巖	39	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目((研究指導))の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	347	ポピエル ヘレナ アキコ Popiel H.Akiko	49	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(ステップ1、ステップ2国際発信のための論文執筆とプレゼンテーション)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	348	ヨコヤマ ミチコ 横山 倫子	56	新宿キャンパス	新宿キャンパス:2日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(細胞生理学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	349	アベ アキヒサ 阿部 晃久	66	新宿キャンパス	新宿キャンパス:2日 主に新宿キャンパスで授業担当科目(生化学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	350	オオクボ ユカリ 大久保 ゆかり	66	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(皮膚科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。
医学研究科 医学専攻	351	ニシダ ジュン 西田 淳	66	西新宿キャンパス	西新宿キャンパス:6日 主に西新宿キャンパスで授業担当科目(整形外科学)の教育、教授会等管理運営への参画、研究活動、オフィスアワーの設定を行う。

東京医科大学学則

平成24年２月17日制定

第１章　総則

（目的及び使命）

第１条　東京医科大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法に基づき、建学の精神である自主自学と校是である正義・友愛・奉仕に則り、医学及び看護学の理論と応用を教授研究することを目的とする。

２　前項の目的を達するために、人間を全人的に理解する教育を実践し、患者とともに歩む医療人を育てることにより、地域そして世界の健康と福祉に貢献することを使命とする。

（自己点検・評価等）

第２条　本学は、教育研究水準の向上を図り、前条の目的及び社会的使命を達成するため、教育研究活動等の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果について公表するものとする。

２　自己点検・評価に関する規程は、別に定める。

（情報の公開）

第３条　本学は、教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、広く情報を公開するものとする。

（教育内容等の改善のための組織的な研修等）

第４条　本学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を行う。

（社会的・職業的自立に関する指導等）

第５条　本学は、学部・学科の教育上の目的に応じ、学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を、教育課程の実施及び厚生補導を通じて培うことができるよう、大学内の組織間の有機的な連携を図り、適切な体制を整えるものとする。

第２章　組織

（学部）

第６条　本学に、医学部医学科及び看護学科を置き、学科ごとに次のとおり教育研究上の目的を定める。

（１）　医学部医学科

医学分野について、深く教授及び研究を行うとともに、高度な医学知識と倫理観、そして高い臨床能力を備えた医師を育成する。

（２）　医学部看護学科

看護学分野について､理論及び応用の研究を行うとともに､それぞれ十分な知識と技能を有し、保健医療の実践を担うことのできる応用能力及び豊かな人間性を備えた看護師、保健師等の人材を育成する。

２　学部に置く学科の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

（１）　医学部医学科　入学定員　120名　収容定員　720名

（２）　医学部看護学科　入学定員　80名　収容定員　320名

（分野及び領域）

第６条の２　医学部医学科に置く分野及び領域については、別に定める。

（大学院）

第７条　本学に、大学院を置く。

２　大学院に関する学則は、別に定める。

（図書館）

第８条　本学に、図書館を置く。

２　図書館に関する事項は、別に定める。

（附属施設）

第９条　本学に、次の附属施設を置く。

東京医科大学病院
茨城医療センター
八王子医療センター
医学総合研究所

２　附属施設に関する事項は、別に定める。
（事務局）
第10条　本学に、事務局を置く。
第３章　職員組織
（職員）
第11条　本学に、学長を置く。
２　本学に、副学長及び副学長補を置くことができる。
３　本学の医学科に、主任教授、教授、臨床教授、准教授、臨床准教授、講師、臨床講師、助教、臨床助教、病院助教、助手を置く。
４　本学の看護学科に、教授、准教授、講師、助教、助手を置く。
５　本学に、事務職員及びその他必要な職員を置く。
（職員組織）
第12条　学部の医学科及び看護学科に、それぞれ学科長を置く。
２　本学に、一般教育主任を置く。
３　図書館に、図書館長を置く。
４　東京医科大学病院、茨城医療センター、八王子医療センターに、それぞれ病院長を置く。
５　医学総合研究所に、所長を置く。
６　事務局に、事務局長を置く。
第４章　教授会及び教授会代表者会議
（教授会）
第13条　医学部医学科及び看護学科に、それぞれ教授会を置く。
２　教授会は､学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり審議し､意見を述べるものとする。
（１）　入学、進級、卒業、転学、退学、休学及び留学等学生の身分に関する事項
（２）　学位に関する事項
（３）　入学試験に関する事項
（４）　学生の試験及び評価に関する事項
（５）　教育課程の編成に関する事項
３　教授会は、前項に規定するもののほか、教育研究に関する次に掲げる事項について審議し、学長の求めに応じ、意見を述べることができる。
（１）　学生の表彰及び賞罰に関する事項
（２）　学生の厚生補導に関する事項
（３）　教育職員の選出に関する事項
（４）　名誉教授の推薦に関する事項
（５）　研究生、聴講生その他に関する事項
（６）　その他教育・研究に関する重要事項
４　その他教授会の運営に関して必要な事項は、別に定める。
（教授会代表者会議）
第14条　医学部両学科の共通事項及び本学の運営に関する重要事項を審議するため、両学科にまたがって、教授会代表者会議を置く。
２　教授会代表者会議は、それぞれの教授会の委任に基づき、次の事項を審議する。
（１）　学則その他の学部の教学に関する重要な規則の制定、改廃に関する事項
（２）　学部・学科に係る重要な組織の設置及び廃止に関する事項
（３）　本学の重要な施設の設置及び廃止に関する事項
（４）　学校法人の理事及び評議員の選出に関する事項
（５）　学長、病院長、その他重要な教育職員の選出に関する事項
（６）　教育職員の人事の基準及び調整に関する事項
（７）　理事会の諮問事項
（８）　その他、本学の運営に関する重要事項
３　その他、教授会代表者会議の運営に関して必要な事項は、別に定める。
（委員会）

第15条　教授会は、必要に応じて委員会を設けることができる。
２　教授会に置く委員会に関する事項は、別に定める。

第５章　学年、学期及び休業日

（学年）

第16条　学年は、４月１日に始まり、翌年３月31日に終わる。

（学期）

第17条　学年を分けて、次の２学期とする。

前期　４月１日から９月30日まで

後期　10月１日から翌年の３月31日まで

２　前項の規定にかかわらず、特に必要な場合は、前期終了日及び後期開始日を変更することができる。

（休業日）

第18条　休業日は、次のとおりとする。

（１）　日曜日

（２）　国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に定める休日

（３）　４月の第３土曜日（本学創立記念日　４月13日の代替日）

（４）　春季休業日（３月５日から４月９日まで）

（５）　夏季休業日

医学科（７月20日から９月９日まで）

看護学科（８月１日から９月20日まで）

（６）　冬季休業日（12月20日から翌年の１月９日まで）

２　学長は、必要に応じ前項各号の休業日を変更し、又は休業日に授業を行い、若しくは臨時に休業日を定めることができる。

第６章　修業年限及び在学年限

（修業年限）

第19条　医学部医学科の修業年限は、６年とする。

２　医学部看護学科の修業年限は、４年とする。

（在学年限）

第20条　医学部医学科の学生は、12年を超えて在学することができない。ただし、同一年次に２年を超えて在学することはできない。

２　医学部看護学科の学生は、８年を超えて在学することはできない。

第７章　入学

（入学の時期）

第21条　入学の時期は、学年の始めとする。

（入学の資格）

第22条　本学に入学することができる者は、次の各号の一に該当する者とする。

（１）　高等学校又は中等教育学校を卒業した者

（２）　通常の課程による12年の学校教育を修了した者

（３）　外国において学校教育による12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で、文部科学大臣の指定したもの

（４）　文部科学大臣が高等学校と同等と認定した在外教育施設の課程を修了した者

（５）　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

（６）　文部科学大臣の指定した者

（７）　高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同規則附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

（８）　本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの

（入学の出願）
第23条　入学を志願する者は、入学願書に所定の入学検定料及び別に定める書類を添えて、指定期日までに学長に願い出なければならない。
（入学者の選考）
第24条　入学者の選考は、学力試験、その他の方法による。
２　選考の方法は、別に定める。
（入学手続及び入学許可）
第25条　前条の選考に合格した者は、指定された期日までに、入学金、授業料、その他の学費に保証人連署の誓約書など所定の書類を添えて、入学手続を完了しなければならない。
２　学長は、前項の入学手続を完了した者について、入学を許可する。

第８章　教育課程、単位及び履修方法等

（教育課程）
第26条　教育課程は、医学部医学科及び看護学科の教育上の目的を達成するため必要な授業科目を開設し、体系的に編成するものとし、各授業科目を必修科目、選択科目、自由科目に分け、これを、各学年次に配当して編成するものとする。
２　医学部医学科の授業科目は、人間学系科目もしくは人文・社会科学系科目、自然科学系科目、外国語科目、医学関連科目、横断的領域科目、基礎医学系科目、社会医学系科目、臨床医学系科目、臨床実習、自由な学び系科目に区分し、編成するものとする。
３　医学部看護学科の授業科目は、一般教育科目、専門基礎科目、専門科目に区分し、編成するものとする。
（授業科目の名称及び単位数並びに卒業に必要な単位数）
第27条　医学部医学科の授業科目、単位数、配当年次及び卒業に必要な単位数は、別表１の１～５のとおりとする。
２　医学部看護学科の授業科目、単位数、配当年次及び卒業に必要な単位数は、別表２の１～３のとおりとする。
（授業の方法）
第28条　授業は、講義、演習、実験、実習及び実技又はこれらの併用により行うものとする。
２　文部科学大臣が別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。
（単位の計算方法）
第29条　授業科目の単位数は、１単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、講義及び演習については15時間から30時間、実験・実習及び実技については30時間から45時間の授業の時間をもってそれぞれ１単位とする。
２　前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらの学修の成果を評価して単位を授与することが適切と認められる場合には、これらに必要な学修等を考慮して別に単位数を定める。
（単位の認定、科目の修得及び評価）
第30条　授業科目を履修し、当該授業科目に係る試験又は論文等の審査に合格した者には、所定の単位を与える。
２　前項の規定にかかわらず、平常点をもって試験等に代えることを認められた科目については、この限りでない。
３　試験に関する事項は、別に定める。
（成績の評価）
第31条　成績の評価は、Ｓ・Ａ・Ｂ・Ｃ・Ｄの５種とし、Ｓ・Ａ・Ｂ・Ｃを合格、Ｄを不合格とする。
２　成績の評価に付与するＧＰ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ）及びＧＰＡ（Ｇｒａｄｅ　Ｐｏｉｎｔ　Ａｖｅｒａｇｅ）の算出については別に定める。
（授業日数）
第32条　毎学年の授業日数は、定期試験の日数を含め35週以上とする。
（履修方法）
第33条　学生は、医学部医学科においては本学に６年以上、医学部看護学科においては本学に４年以

上在学し、各学科所定の授業科目を履修しなければならない。
２　前項の履修方法等については、別に定める。
（医学科の学年の進級）
第34条　医学部医学科において次学年への進級は、当該学年の所定の授業科目の履修及び必要単位数を修得していなければ認めない。
２　進級に必要な授業科目及び必要単位数等は、別に定める。
（看護学科の学年の進級）
第35条　医学部看護学科においては、第１学年及び第２学年に配当された専門基礎科目及び専門科目のうち､別に定める授業科目をすべて修得しなければ､第２学年から第３学年への進級はできない。
（他の大学又は短期大学における授業科目の履修等）
第36条　医学部看護学科において、教育上有益と認めるときは、学生が本学の定めるところにより他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位を、30単位を超えない範囲で本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
２　前項の規定は、学生が外国の大学又は短期大学に留学した場合に準用する。
（大学以外の教育施設における学修）
第37条　医学部看護学科において、教育上有益と認めるときは、学生が行う短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修を、本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
２　前項により与えることができる単位数は、前条第１項により本学において修得したものとみなす単位数と合わせて30単位を超えないものとする。
（入学前の既修得単位等の認定）
第38条　医学部看護学科において、教育上有益と認めるときは、学生が本学に入学する前に大学、短期大学、高等専門学校又は大学設置基準第29条第１項の規定による専修学校において履修した授業科目について修得した単位を、本学に入学した後の本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。
２　学生が本学に入学する前に行った前条第１項に規定する学修を本学における授業科目の履修とみなし、単位を与えることができる。
３　前２項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、編入学、転入学等の場合を除き、本学において修得した単位以外のものについては、第36条第１項及び第２項並びに前条第１項により本学で修得したものとみなす単位数と合わせて60単位を超えないものとする。

第９章　休学、復学、転学、退学及び除籍等

（欠席）
第39条　疾病その他の事故により１週間以上欠席する場合には、その事由を添えて速やかに所定の欠席届を提出しなければならない。
（休学）
第40条　疾病その他やむを得ない事由により、引き続き３か月以上修学できない見込みの者は、所定の手続により、学長の許可を得て休学することができる。
２　疾病等のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。
（休学期間）
第41条　休学の期間は１年を超えることができない。ただし、やむを得ない事由があるときは、許可を得て更に１年以内に限り、期間を延長することができる。
２　休学の期間は、医学部医学科にあっては通算して３年、看護学科にあっては通算して２年を超えることができない。
３　休学の期間は、修業年限並びに在学年限に算入しない。
（復学）
第42条　休学期間が満了するとき及び休学期間中であっても、その事由が消滅した場合には、保証人連署のうえ、所定の復学願を学長に提出し、学長の許可を得なければならない。
２　疾病が治癒して復学を希望する者は、原則として休学開始時と同一の医師の診断書を提出し、学生・職員健康サポートセンターの医師の面談を受けなければならない。

３　疾病以外の理由で休学し復学する者は、その事由が解消された証明書又は理由書を添付しなければならない。

（転学、転入学）

第43条　本学から他の大学へ転学しようとする者は、所定の手続により、学長に願い出て許可を受けなければならない。

２　他の大学から転入学を願い出た者があるときは、欠員がある場合に限り、選考のうえ許可することがある。

（退学）

第44条　退学しようとする者は、その事由を付して、保証人連署のうえ、所定の様式により学長に願い出て、許可を受けなければならない。

２　前項の規定にかかわらず、学長は、学生が疾病その他の事由により成業の見込みがないと認めたときは、退学を命ずることができる。

（再入学）

第45条　前条により退学した者が、その事由が解消され再入学を願い出たときは、選考のうえ許可することがある。

２　再入学した者の入学前における本学の在学期間は､修業年限及び在学年限に算入するものとする。

（除籍）

第46条　次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。

（１）　学生納付金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者

（２）　第20条に定める在学年限を超えた者

（３）　第41条第２項に定める休学の期間を超えてもなお修学できない者

（４）　長期間にわたり行方不明の者

（５）　死亡した者

第10章　卒業及び学位

（卒業）

第47条　医学部医学科においては、本学に６年以上在学し、所定の単位を修得し、卒業試験に合格した者について、学長が卒業を認定する。

２　医学部看護学科においては、本学に４年以上在学し、所定の単位を修得し、卒業試験に合格した者について、学長が卒業を認定する。

（学位）

第48条　学長は､前条の卒業を認定した者に対して､医学部医学科においては学士（医学）の学位を、医学部看護学科においては学士（看護学）の学位を授与する。

２　その他、学士の授与に関して必要な事項は、別に定める。

第11章　表彰及び懲戒

（表彰）

第49条　学長は、学業及び操行が優秀で他の学生の模範となる学生を表彰することができる。

（懲戒）

第50条　学長は、学生が本学の学則その他の規程に違反し、若しくは秩序を乱し、又は学生の本分に反する行為があったときは、当該学生を懲戒することができる。

２　懲戒は、情状により戒告、停学及び退学とする。

３　前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。

（１）　性行不良で改善の見込みがないと認められる者

（２）　学業劣等で成業の見込みがないと認められる者

（３）　正当の理由なくして出席常でない者

（４）　本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

４　停学の期間は、在学年限に算入し、修業年限には算入しないものとする。ただし、停学期間が３か月未満の場合は、修業年限に算入することができる。

５　懲戒に関する手続きは、別に定める。

第12章　厚生補導

（学生指導）

第51条　本学は、学生の福利厚生並びに学生生活全般の指導の適切かつ円滑な実施を図るものとする。
２　前項に関する事項は、別に定める。
（保健管理）
第52条　本学に医務室を置き、学生の保健管理を行う。
第13章　施設利用
第53条　本学の施設は、本学の学生及び職員が使用できる。ただし、本学の運営に支障のない限りにおいて、一般市民の利用に供することができる。
第14章　研究生、聴講生、科目等履修生及び外国人留学生
（研究生）
第54条　本学において、特定の課題について研究することを志願する者があるときは、学部の教育研究に支障のない場合に限り、選考のうえ、研究生として入学を許可することがある。
２　研究生を志願することのできる者は、大学を卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。
３　研究期間は、１年とする。ただし、特別の理由がある場合は、その期間を更新することができる。
４　その他、研究生に関して必要な事項は、別に定める。
（聴講生）
第55条　本学において特定の授業科目を聴講することを志願する者があるときは、学部の教育に支障のない場合に限り、選考のうえ、聴講生として入学を許可することがある。
２　聴講生は、学期ごとに許可する。
３　その他、聴講生に関して必要な事項は、別に定める。
（看護学科の科目等履修生）
第56条　医学部看護学科の授業科目中、１科目又は数科目について履修を志願する者があるときは、教育に支障のない場合に限り、選考のうえ、科目等履修生として入学を許可することがある。
２　科目等履修生で授業科目を履修し、試験に合格した者に対しては、当該授業科目の単位修得の認定を行うことができる。
３　その他、科目等履修生に関して必要な事項は、別に定める。
（外国人留学生）
第57条　外国人で、大学において教育を受ける目的で入国し、本学に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可する。
２　その他、外国人留学生に関して必要な事項は、別に定める。
第15章　入学検定料及び学生納付金
（入学検定料及び学生納付金）
第58条　入学検定料及び学生納付金の額は、別表３のとおりとする。ただし、実習の実施に当たって特に必要な場合は、当該実習に要する経費を別に徴収することがある。
２　学生納付金は、次の前期の所定の期日までに全納するか、又は次の２期の所定の期日までに等分して納入しなければならない。ただし、特別の事情がある場合には、期限を定めて納入の延期を認めることがある。
前期　４月30日まで
後期　10月31日まで
３　停学の懲戒を受けた者に係る学生納付金は、停学期間中であってもこれを徴収する。
４　休学を許可された者に係る学生納付金は、事情により減免することがある。
５　前項の減免に当たっては、学長が決定する。
６　学年の中途において退学し、転学し、又は退学を命ぜられた者であっても、当該年度の学生納付金を納めなければならない。
７　学生納付金の滞納者は、納入後でなければ単位認定のための試験を受けることができない。
（免除等）
第59条　学業優秀である者又は経済的理由によって納付が困難な者に対しては、学生納付金の一部又は全部を免除し、徴収を猶予することがある。
（研究生、専攻生、聴講生等の入学検定料及び学生納付金）
第60条　研究生、専攻生、聴講生及び看護学科の科目等履修生の入学検定料並びに学生納付金につい

ては、別に定める。

第16章　奨学金

第61条　本学に奨学金の制度を設けることができる。

２　奨学金の支給は、品行方正で学業優秀な学生に対して行う。

第17章　公開講座及び各種講習会等

第62条　社会人の教養を高め、文化の向上に資するため、本学に公開講座、各種講習会を開設することができる。

２　社会人の再教育及び教育研究活動に資するため、特別講座等を開設することができる。

第18章　学生寮

第63条　本学に、学生寮を置く。

２　学生寮に関して必要な事項は、別に定める。

第19章　補則

第64条　この学則に定めるもののほか、この学則の実施のための必要な規程等は、別に定める。

附　則

１　この学則は、平成25年４月１日から施行する。

２　この学則の施行に伴い、昭和51年４月１日制定の「東京医科大学学則」は、廃止する。

３　前項の規定にかかわらず、平成24年４月１日以前に入学した者の授業科目及び単位数は、なお従前の例による。

４　第２項の規定にかかわらず、平成21年４月１日以前に入学した者の在学年限は、なお従前の例による。

５　第６条第２項に規定する医学部看護学科の収容定員は、同条同項の規定にかかわらず、平成25年度から平成27年度までは、次のとおりとする。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度
医学部看護学科	80名	160名	240名

附　則（平成25年12月18日）

１　この学則は、平成26年４月１日から施行し、平成26年度の入学者から適用する。（第26条第２項、第27条第１項、第31条及び別表１の２の改正並びに第31条第２項及び別表１の１の新設）

２　前項の規定にかかわらず、別表１の２の改正を除き、平成25年度に入学した者については、なお従前の例による。

附　則（平成26年１月15日）

この学則は、平成26年４月１日から施行する。（第27条第１項及び別表１の２の改正並びに別表１の３及び１の４の新設）

附　則（平成26年８月６日東医大発第626号）

この学則は、平成26年５月21日から施行し、平成26年４月１日から適用する。（第６条の２の新設）

附　則（平成27年３月18日）

この学則は、平成27年４月１日から施行する。（第13条第１項、第２項、第18条第１項第３号、第42条第１項、第46条、第47条、第49条、第50条第１項、第58条第５項、別表１の２、別表１の３、別表２の改正及び第50条第５項並びに第13条第３項の新設以下繰下げ）

附　則（平成28年３月８日東医大発第95号）

この学則は、平成28年４月１日から施行する。（第27条第１項、別表１の１から１の４までの改正及び別表１の５の新設）

附　則（平成28年３月28日東医大発第137号）

この学則は、平成28年４月１日から施行する。（第１条の改正）

附　則（平成28年８月26日東医大発第429号）

この学則は、平成28年７月20日から施行し、平成28年４月１日から適用する。（参考第４項の改正）

附　則（平成29年３月16日東医大発第118号）

この学則は、平成29年４月１日から施行する。（第27条第１項、第42条第２項、別表１の１から１の４までの改正及び別表１の５の削除）

附　則（平成29年４月４日東医大発第179号）

この学則は、平成29年４月１日から施行する。（別表２の改正）

附　則（平成30年１月６日東医大発第２号）

この学則は、平成30年４月１日から施行する。（別表２の改正）

附　則（平成30年４月11日東医大発第181号）

この学則は、平成30年４月１日から施行する。（第27条第１項の改正及び別表１の１の新設、以下別表の繰下げ）

附　則（平成30年10月11日東医大発第480号）

この学則は、平成31年４月１日から施行する。（別表２の改正）

附　則（令和元年６月10日東医大発第309号）

１　この学則は、令和元年５月28日から施行し、令和２年４月１日から適用する。（第６条第２項附則の追加）

２　医学部医学科の募集人員減への臨時的な措置を活用し、第６条第２項に規定する医学部医学科の入学定員及び収容定員は、同条同項の規定にかかわらず、令和２年度から令和10年度までの期限付きで、次のとおりとする。

医学部医学科

年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
入学定員	119名	119名	119名	119名	120名
収容定員	719名	718名	717名	716名	716名
年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度	
入学定員	120名	120名	120名	120名	
収容定員	716名	717名	718名	719名	

附　則（令和元年11月19日東医大発第508号）

この学則は、令和２年４月１日から施行する。（別表２の改正）

附　則（令和２年３月３日東医大発第621号）

この学則は、令和２年４月１日から施行する。（第13条第２号、第22条第４号、第36条第１項、第37条第１項、第38条第１項、第42条第２項の改正及び第３項の新設、第50条第２項の改正）

附　則（令和２年５月27日東医大発第33号）

この学則は、令和２年４月６日から施行し、令和２年４月１日から適用する。（第28条第２項の新設）

附　則（令和２年10月５日東医大発第190号）

この学則は、令和３年４月１日から適用する。（別表２の改正）

附　則（令和３年４月１日）

この学則は、令和３年４月１日から施行する。（第27条第１項、第27条第２項改正及び別表の改正【令和３年７月12日東医大発第161号】

附　則（令和３年８月24日）

１　この学則は、令和４年４月１日から施行し、令和４年度の入学者から適用する。（第58条第１項別表３の改正）【令和３年９月１日東医大発第221号】

２　前項の規定にかかわらず、別表３の改正を除き、令和３年度以前に入学した者については、なお従前の例による。

３　第６条第２項に規定する医学部医学科の入学定員及び収容定員は､同条同項の規定にかかわらず、令和４年度から令和９年度まで、次のとおりとする。

医学部医学科

年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度
入学定員	121名	119名	120名	120名	120名
収容定員	719名	718名	718名	718名	719名
年度	令和９年度				
入学定員	120名				
収容定員	720名				

附　則（令和４年２月15日）

この学則は、令和４年４月１日から施行する。（第26条第２項、第27条第１項の改正及び別表の改

正）【令和４年３月23日東医大発第443号】

附　則（令和４年９月６日）

１　この学則は、令和５年４月１日から施行する。

２　第６条第２項に規定する医学部医学科の入学定員及び収容定員は、同条同項の規定にかかわらず、令和５年度から令和10年度まで、次のとおりとする。【令和４年９月21日東医大発第289号】

医学部医学科

年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度
入学定員	122名	120名	120名	120名	120名
収容定員	721名	721名	721名	722名	723名

年度	令和10年度
入学定員	120名
収容定員	722名

附　則（令和４年９月13日）

この学則は、令和５年４月１日から施行する。（第27条第２項、別表２－１～２－３の改正、令和３年８月24日第３項附則の追加）【令和４年９月21日東医大発第289号】

附　則（令和５年３月14日）

この学則は、令和５年４月１日から施行する。（第26条第２項、別表１の１～１の４の改正及び別表１の５の削除）【令和５年９月１日東医大発第298号】

附　則（令和５年９月５日）

１　この学則は、令和６年４月１日から施行する。（第６条第２項附則の追加）【令和５年９月16日東医大発第311号】

２　第６条第２項に規定する医学部医学科の入学定員及び収容定員は、同条同項の規定にかかわらず、令和６年度から令和11年度まで、次のとおりとする。

医学部医学科

年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度	令和９年度	令和10年度
入学定員	123名	120名	120名	120名	120名
収容定員	724名	724名	725名	726名	725名

年度	令和11年度
入学定員	120名
収容定員	723名

別表１の１（第27条第１項関係）

東京医科大学教科課程表

（令和５年度第１学年から適用する。）

	学科目		学年	1 単位数	2 単位数	3 単位数	4 単位数	5 単位数	6 単位数	合計単位数	備考	
人間学系科目	医療心理学・死生学	講義	前	1						1	必修	
	哲学	講義	前・後	1						2	必修	
	社会科学	講義	前・後	1						1	必修	
	生命倫理学	講義	前・後	1						2	必修	
	医療プロフェッショナリズムⅠ	講義	後		1					1	必修	
	医療プロフェッショナリズムⅡ	講義	前・後			1				1	必修	
	医療倫理	講義	後			1				1	必修	
	医療プロフェッショナリズムⅢ	講義	前				1			1	必修	
	医療と保健の歴史	講義	前・後	1						2	選択	前・後期４

	法学	講義	前・後	1						2	必修	科目から１科目以上を選択必修
	人間理解のための文章講読	講義	前・後	1						2		
	医療人類学	講義	前・後	1						2		
自然科学系科目	人体の物理学	講義	後	1						1	自由	自由選択
	先進医療のための科学	講義	後	1						1	自由	
	数学	講義	後	1						1	自由	
	医系の物理学	講義	前	1						1	必修	
	医系の物理学実習	実習	通期	1						1	必修	
	医系の化学	講義	前	1						1	必修	
	医系の化学実習	実習	通期	1						1	必修	
	生物学	講義	前	1						1	必修	
	生物学実習	実習	通期	1						1	必修	
	自然科学基礎	講義	前	1						1	必修	
	生命現象の科学Ⅰ	講義	後	0.5						0.5	必修	
	生命現象の科学Ⅱ	講義	後	0.5						0.5	必修	
外国語科目	独語	講義	前	1						1	選択必修	２科目中１科目を選択必修
	仏語	講義	前	1						1		
	English For Medical Purposes１	講義	通期	2						2	必修	
	中国語	講義	前	1						1	自由	自由選択
	韓国語	講義	前	1						1	自由	
	スペイン語	講義	前	1						1	自由	
	English For Medical PurposesⅡ	講義	通期		2					2	必修	
	English For Medical PurposesⅢ	講義	通期			1				1	必修	
	English For Medical PurposesⅣ	講義	前				0.5			0.5	必修	
横断的領域科目	情報科学Ⅰ	講義	前	1						1	必修	
	課題研究	講義	前	2						2	必修	
	データサイエンスⅠ	講義	前	1						1	必修	
	データサイエンスⅡ	講義	後	1						1	必修	
	行動科学・患者学Ⅰ	講義	前		0.5					0.5	必修	
	３大学協働授業	講・演	後		1						必修	
	情報科学Ⅱ	講義	前			1				1	必修	
	情報科学Ⅲ	講義	前				1			1	必修	
	行動科学・患者学Ⅱ	講義	通期					0.5		0.5	必修	
基礎医学系科	解剖学（１）	講・実	後	1						1	必修	
	解剖学（２）	講・実	後	3						3	必修	
	生理学（１）	講義	後	2						2	必修	

目	生化学（分子生物学概論）	講義	後	1						1	必修
	基礎医学統合演習Ⅰ	演習	後	0.5						0.5	必修
	解剖学（1）	講・実	前		6.5					6.5	必修
	解剖学（2）	講・実	前		2					2	必修
	生理学（2）	講・実	通期		3					3	必修
	生化学	講・実	前		4					4	必修
	免疫学	講・実	通期		2.5					2.5	必修
	薬理学	講・実	後		4					4	必修
	病理学	講・実	後		2					2	必修
	微生物学	講・実	後		3					3	必修
	運動医学	講義	後		1					1	必修
	医用電子工学	講義	後		0.5					0.5	必修
	基礎医学統合演習Ⅱ	演習	後		0.5					0.5	必修
	病理学	講義	通期			3				3	必修
	グループ別自主研究	実習	前				4			4	必修
社会医学系科目	社会医学	講義	後		1					1	必修
	医学・医療と社会Ⅰ	講義	通期			1				1	必修
	医学・医療と社会Ⅱ	講義	前				1			1	必修
	法医学	講義	前				1			1	必修
臨床医学系科目	症候・病態学入門	講義	通期	2						2	必修
	緩和医療Ⅰ・漢方・ＣＰＣ	講義	後			1				1	必修
	臨床医学Ⅰ	講義	通期			26				26	必修
	医療安全Ⅰ	講義	後				0.5			0.5	必修
	臨床医学Ⅱ	講義	通期				14			14	必修
	基本的診療知識・技能	講・実	通期				2			2	必修
	医療安全Ⅱ	講義	通期					0.5		0.5	必修
	緩和医療Ⅱ・診療録の記載	講義	通期					0.5		0.5	必修
	臨床医学Ⅴ	講義	後						6	6	必修
臨床実習	早期臨床体験実習Ⅰ	実習	通期	2						2	必修
	早期臨床体験実習Ⅱ	実習	後		2					2	必修
	地域医療実習	実習	前			2				2	必修
	臨床医学Ⅲ										
	精神・神経コース	実習	通期				4			4	必修
	代謝・免疫・内分泌コース	実習	通期				2			2	必修
	血液・凝固コース	実習	通期				2			2	必修
	感覚器コース	実習	通期				2			2	必修
	呼吸器系コース	実習	通期				3			3	必修
	循環器コース	実習	通期				3			3	必修
	消化器コース	実習	通期				4			4	必修
	腎・泌尿器コース	実習	通期				2			2	必修
	運動器コース	実習	通期				2			2	必修
	皮膚コース	実習	通期				2			2	必修
	女性診療コース	実習	通期				3			3	必修
	小児科コース	実習	通期				2			2	必修
	全身管理コース	実習	通期				2			2	必修

	放射線科コース	実習	通期				1			1	必修	
	地域中核医療コース	実習	通期				4			4	必修	
	地域診療コース	実習	通期				2			2	必修	
	臨床医学Ⅳ	実習	通期					28		28	必修	
自由な学び系科目	海外臨床実習コミュニケーション	演習	通期					0.5		0.5	自由	
	ＵＳＭＬＥ受験準備コース	演習	通期		0.5					0.5	自由	
	Ｒｏａｄ ｔｏ Ｔｏｐ Ｓｕｒｇｅｏｎ	演習	通期			0.5	0.5			1	自由	
	地域医療リーダーズコース１	演習	通期	0.5						0.5	自由	
	地域医療リーダーズコース２	演習	通期		0.5					0.5	自由	
	地域医療リーダーズコース３	演習	通期			0.5				0.5	自由	
	地域医療リーダーズコース４	演習	通期				0.5			0.5	自由	
	地域医療リーダーズコース５	演習	通期					0.5		0.5	自由	
	リサーチ・コース１	演習	通期	0.5						0.5	自由	
	リサーチ・コース２	演習	通期		0.5					0.5	自由	
	リサーチ・コース３	演習	通期			0.5				0.5	自由	
	リサーチ・コース４	演習	通期				0.5			0.5	自由	
	合計			32.5単位以上	36.5単位	37単位	25単位	41.5単位	34単位	206.5単位以上		

別表１の２（第27条第１項関係）

東京医科大学教科課程表

（令和５年度第２学年に適用する。）

	学科目		学年	1 単位数	2 単位数	3 単位数	4 単位数	5 単位数	6 単位数	合計単位数	備考	
人間学系科目	医療心理学・死生学	講義	前	1						1	必修	
	哲学	講義	前・後	1						1	必修	
	社会科学	講義	後	1						1	必修	
	生命倫理学	講義	前・後	1						1	必修	
	医療プロフェッショナリズムⅠ	講義	後		1					1	必修	
	医療プロフェッショナリズムⅡ	講義	前・後			1				1	必修	
	医療倫理	講義	後			1				1	必修	
	医療プロフェッショナリズムⅢ	講義	前				1			1	必修	
	医学史	講義	前・後	1						1	選択必修	前・後期９科目から１科目以上を
	法学	講義	前・後	1						1		
	哲学テクスト入門	講義	前・後	1						1		

	医療人類学	講義	前・後	1						1		選択必修
	原典講読Ⅰ	講義	前	1						1		
	原典講読Ⅱ	講義	後	1						1		
自然科学系科目	科学的方法論	講義	後	1						1		
	人体の物理学	講義	後	1						1		
	先進医療のための科学	講義	後	1						1		
	数学	講義	前	1						1	必修	
	医系の物理学	講義	前	1						1	必修	
	医系の物理学実習	実習	前・後	1						1	必修	
	医系の化学	講義	前	1						1	必修	
	医系の化学実習	実習	前・後	1						1	必修	
	生物学	講義	前	1						1	必修	
	生物学実習	実習	前・後	1						1	必修	
	自然科学基礎	講義	前	1						1	必修	
外国語科目	独語	講義	前・後	2						2	選択必修	2科目中1科目を選択必修
	仏語	講義	前・後	2						2		
	English For Communication	講義	前・後	2						2	必修	
	English For Medical Purposes1	講義	前・後	2						2	必修	
	中国語	講義	前		1					1	選択	2科目中1科目を選択
	韓国語	講義	前		1					1	選択	
	English For Medical PurposesⅡ	講義	前・後		2					2	必修	
	English For Medical PurposesⅢ	講義	前・後			1				1	必修	
	English For Medical PurposesⅣ	講義	前				0.5			0.5	必修	
横断的領域科目	情報科学Ⅰ	講義	前	1						1	必修	
	課題研究	講義	前	2						2	必修	
	データサイエンス	講義	後	1						1	必修	
	行動科学・患者学Ⅰ	講義	後		0.5					0.5	必修	
	3大学協働授業	講・演	後		1						必修	
	情報科学Ⅱ	講義	前			1				1	必修	
	情報科学Ⅲ	講義	前				1			1	必修	
	行動科学・患者学Ⅱ	講義	前・後					0.5		0.5	必修	
基礎医学系科目	解剖学(1)	講・実	後	1						1	必修	
	解剖学(2)	講・実	後	3						3	必修	
	生理学(1)	講義	後	2						2	必修	
	生化学 (分子生物学概論)	講義	後	1						1	必修	

	基礎医学統合演習Ⅰ	演習	後	0.5						0.5	必修
	解剖学(１)	講・実	前		5					5	必修
	解剖学(２)	講・実	前		2					2	必修
	生理学(２)	講義	前		1					1	必修
	生理学実習	実習	後		2					2	必修
	生化学	講・実	前		4					4	必修
	免疫学	講・実	前・後		2					2	必修
	薬理学	講・実	後		4					4	必修
	病理学	講・実	後		2					2	必修
	微生物学	講・実	後		3					3	必修
	運動医学	講義	後		1					1	必修
	医用電子工学	講義	後		0.5					0.5	必修
	基礎医学統合演習Ⅱ	演習	後		0.5					0.5	必修
	病理学	講義	前・後			3				3	必修
	グループ別自主研究	実習	前				4			4	必修
社会医学系科目	社会医学Ⅰ	講義	後		1					1	必修
	医学・医療と社会Ⅰ	講義	前・後			1				1	必修
	医学・医療と社会Ⅱ	講義	前				1			1	必修
	法医学	講義	前				1			1	必修
臨床医学系科目	症候・病態学入門	講義	前・後	2						2	必修
	緩和医療Ⅰ・漢方・ＣＰＣ	講義	後			1				1	必修
	臨床医学Ⅰ	講義	前・後			26				26	必修
	医療安全Ⅰ	講義	後				0.5			0.5	必修
	臨床医学Ⅱ	講義	前・後				14			14	必修
	基本的診療知識・技能	講・実	前・後				2			2	必修
	医療安全Ⅱ	講義	前・後					0.5		0.5	必修
	緩和医療Ⅱ・診療録の記載	講義	前・後					0.5		0.5	必修
	臨床医学Ⅴ	講義	後						6	6	必修
臨床実習	早期臨床体験実習Ⅰ	実習	前・後	2						2	必修
	早期臨床体験実習Ⅱ	実習	後		2					2	必修
	地域医療実習	実習	前			2				2	必修
	臨床医学Ⅲ										
	精神・神経コース	実習	前・後				4			4	必修
	代謝・免疫・内分泌コース	実習	前・後				2			2	必修
	血液・凝固コース	実習	前・後				2			2	必修
	感覚器コース	実習	前・後				2			2	必修
	呼吸器系コース	実習	前・後				3			3	必修
	循環器コース	実習	前・後				3			3	必修
	消化器コース	実習	前・後				4			4	必修
	腎・泌尿器コース	実習	前・後				2			2	必修
	運動器コース	実習	前・後				2			2	必修
	皮膚コース	実習	前・後				2			2	必修
	女性診療コース	実習	前・後				3			3	必修
	小児科コース	実習	前・後				2			2	必修
	全身管理コース	実習	前・後				2			2	必修

	放射線科コース	実習	前・後				1		1	必修	
	地域中核医療コース	実習	前・後				4		4	必修	
	地域診療コース	実習	前・後				2		2	必修	
	臨床医学Ⅳ	実習	前・後					28	28	必修	
	合計			34.5単位以上	34.5単位以上	37単位	25単位	41.5単位	34単位	206.5単位以上		

別表１の３（第27条第１項関係）

東京医科大学教科課程表

（令和４年度から適用する。）

	学科目			学年 1 単位数	2 単位数	3 単位数	4 単位数	5 単位数	6 単位数	合計単位数	備考	
自由な学び系科目	海外臨床実習コミュニケーション	演習	通期					0.5		0.5	自由	
	ＵＳＭＬＥ受験準備コース	演習	通期		0.5					0.5	自由	
	Ｒｏａｄ ｔｏ Ｔｏｐ Ｓｕｒｇｅｏｎ※	演習	通期			0.5	0.5			1	自由	
	地域医療リーダーズコース１	演習	通期	0.5						0.5	自由	
	地域医療リーダーズコース２	演習	通期		0.5					0.5	自由	
	地域医療リーダーズコース３	演習	通期			0.5				0.5	自由	
	地域医療リーダーズコース４	演習	通期				0.5			0.5	自由	
	地域医療リーダーズコース５	演習	通期					0.5		0.5	自由	
	リサーチ・コース１	演習	通期	0.5						0.5	自由	
	リサーチ・コース２	演習	通期		0.5					0.5	自由	
	リサーチ・コース３	演習	通期			0.5				0.5	自由	
	リサーチ・コース４	演習	通期				0.5			0.5	自由	

※令和５年開講コース

別表１の４（第27条第１項関係）

東京医科大学教科課程表

（令和５年度第３学年に適用する。）

	学科目			学年 1 単位数	2 単位数	3 単位数	4 単位数	5 単位数	6 単位数	合計単位数	備考	
人間学系科目	医療心理学・死生学	講義	前	1						1	必修	
	哲学	講義	前・後	1						1	必修	
	社会科学	講義	後	1						1	必修	
	生命倫理学	講義	前・後	1						1	必修	
	医療プロフェッショナリズムⅠ	講義	後		1					1	必修	
	医療プロフェッショナリ	講義	前・後			1				1	必修	

	ズムⅡ											
	医療倫理	講義	後			1				1	必修	
	医療プロフェッショナリズムⅢ	講義	前				1			1	必修	
	医学史	講義	前・後	1						1	選択必修	前・後期９科目から１科目以上を選択必修
	法学	講義	前・後	1						1		
	哲学テクスト入門	講義	前・後	1						1		
	医療人類学	講義	前・後	1						1		
	原典講読Ⅰ	講義	前	1						1		
	原典講読Ⅱ	講義	後	1						1		
自然科学系科目	科学的方法論	講義	後	1						1		
	人体の物理学	講義	後	1						1		
	先進医療のための科学	講義	後	1						1		
	数学	講義	前	1						1	必修	
	医系の物理学	講義	前	1						1	必修	
	医系の物理学実習	実習	前・後	1						1	必修	
	医系の化学	講義	前	1						1	必修	
	医系の化学実習	実習	前・後	1						1	必修	
	生物学	講義	前	1						1	必修	
	生物学実習	実習	前・後	1						1	必修	
外国語科目	独語	講義	前・後	2						2	選択必修	２科目中１科目を選択必修
	仏語	講義	前・後	2						2		
	English For Communication	講義	前・後	2						2	必修	
	English For Medical PursesⅠ	講義	前・後	2						2	必修	
	中国語	講義	前		1					1	選択	２科目中１科目を選択
	韓国語	講義	前		1					1		
	English For Medical PursesⅡ	講義	前・後		2					2	必修	
	English For Medical PursesⅢ	講義	前・後			1				1	必修	
	English For Medical PursesⅣ	講義	前				0.5			0.5	必修	
医学関連	課題研究	講義	前	2						2	必修	
横断的領域科目	情報科学Ⅰ	講義	前	1						1	必修	
	データサイエンス	講義	後	1						1	必修	
	行動科学・患者学Ⅰ	講義	後		0.5					0.5	必修	
	情報科学Ⅱ	講義	前			1				1	必修	
	緩和医療Ⅰ・漢方・ＣＰＣ	講義	後			1				1	必修	

	医療安全Ⅰ	講義	後				0.5			0.5	必修
	情報科学Ⅲ	講義	前				1			1	必修
	医療安全Ⅱ	講義	前・後					0.5		0.5	必修
	行動科学・患者学Ⅱ	講義	前・後					0.5		0.5	必修
	緩和医療Ⅱ･診療録の記載	講義	前・後					0.5		0.5	必修
基礎医学系科目	解剖学(１)	講・実	後	1						1	必修
	解剖学(２)	講・実	後	3						3	必修
	生理学(１)	講義	後	2						2	必修
	生理学(２)	講義	後	1						1	必修
	生化学 (分子生物学概論)	講義	後	1						1	必修
	基礎医学統合演習Ⅰ	演習	後	0.5						0.5	必修
	解剖学(１)	講・実	前		5					5	必修
	解剖学(２)	講・実	前		2					2	必修
	生理学(２)	講義	前		1					1	必修
	生理学実習	実習	後		2					2	必修
	生化学	講・実	前		4					4	必修
	免疫学	講・実	前・後		2					2	必修
	薬理学	講・実	後		4					4	必修
	病理学	講・実	後		2					2	必修
	微生物学	講・実	後		3					3	必修
	運動医学	講義	後		1					1	必修
	医用電子工学	講義	後		0.5					0.5	必修
	基礎医学統合演習Ⅱ	演習	後		0.5					0.5	必修
	病理学	講義	前・後			3				3	必修
	グループ別自主研究	実習	前				4			4	必修
社会医学系科目	社会医学Ⅰ	講義	後		1					1	必修
	医学・医療と社会Ⅰ	講義	前・後			1				1	必修
	医学・医療と社会Ⅱ	講義	前				1			1	必修
	法医学	講義	前				1			1	必修
臨床医学系科目	症候・病態学入門	講義	前・後	2						2	必修
	臨床医学Ⅰ	講義	前・後			26				26	必修
	臨床医学Ⅱ	講義	前・後				14			14	必修
	基本的診療知識・技能	講・実	前・後				2			2	必修
	臨床医学Ⅴ	講義	後						6	6	必修
臨床実習	早期臨床体験実習Ⅰ	実習	前・後	2						2	必修
	早期臨床体験実習Ⅱ	実習	後		2					2	必修
	地域医療実習	実習	前			2				2	必修
	臨床医学Ⅲ										
	精神・神経コース	実習	前・後				4			4	必修
	代謝・免疫・内分泌コース	実習	前・後				2			2	必修
	血液・凝固コース	実習	前・後				2			2	必修
	感覚器コース	実習	前・後				2			2	必修
	呼吸器系コース	実習	前・後				3			3	必修
	循環器コース	実習	前・後				3			3	必修
	消化器コース	実習	前・後				4			4	必修

	腎・泌尿器コース	実習	前・後				2		2	必修	
	運動器コース	実習	前・後				2		2	必修	
	皮膚コース	実習	前・後				2		2	必修	
	女性診療コース	実習	前・後				3		3	必修	
	小児科コース	実習	前・後				2		2	必修	
	全身管理コース	実習	前・後				2		2	必修	
	放射線科コース	実習	前・後				1		1	必修	
	地域中核医療コース	実習	前・後				4		4	必修	
	地域診療コース	実習	前・後				2		2	必修	
	臨床医学Ⅳ	実習	前・後					28	28	必修	
	合計			34.5単位以上	33.5単位以上	37単位	25単位	41.5単位	34単位	205.5単位以上		

別表１の５（第27条第１項関係）

東京医科大学教科課程表

（令和５年度第４・５・６学年に適用する。）

	学科目		学年	1 単位数	2 単位数	3 単位数	4 単位数	5 単位数	6 単位数	合計単位数	備考	
人文・社会・自然科学科目	医療心理学・死生学	講義	前	1						1	必修	
	哲学	講義	前・後	1						1	必修	
	社会科学	講義	後	1						1	必修	
	医学史	講義	前・後	1						1	選択必修	前・後期９科目から１科目以上を選択必修
	法学	講義	前・後	1						1		
	哲学テクスト入門	講義	前・後	1						1		
	医療人類学	講義	前・後	1						1		
	原典講読Ⅰ	講義	前	1						1		
	原典講読Ⅱ	講義	後	1						1		
	科学的方法論	講義	後	1						1		
	人体の物理学	講義	後	1						1		
	先進医療のための科学	講義	後	1						1		
自然科学科目	数学	講義	前	1						1	必修	
	医系の物理学	講義	前	1						1	必修	
	医系の物理学実習	実習	前・後	1						1	必修	
	医系の化学	講義	前	1						1	必修	
	医系の化学実習	実習	前・後	1						1	必修	
	生物学	講義	前	1						1	必修	
	生物学実習	実習	前・後	1						1	必修	
	自然科学基礎	講義	前	1						1	必修	
	生命現象の科学Ⅰ	講義	後	1						1	必修	
	生命現象の科学Ⅱ	講義	後	1						1	必修	
外国語科目	独語	講義	前・後	2						2	選択必修	２科目中１科目を選択必修
	仏語	講義	前・後	2						2		
	英語Ⅰ	講義	前・後	3						3	必修	
	医学英語Ⅰ	講義	前	1						1	必修	

	中国語	講義	前		1					1	選択	2科目中1科目を選択
	韓国語	講義	前		1					1		
	英語Ⅱ	講義	後		1					1	必修	
	医学英語Ⅱ	講義	前・後		2					2	必修	
	医学英語Ⅲ	講義	前・後			1				1	必修	
	医学英語Ⅳ	講義	前				0.5			0.5	必修	
医学関連科目	症候学入門	講義	前・後	2						2	必修	
	課題研究	講義	前	2						2	必修	
横断的領域科目	生命倫理学	講義	前・後	1						1	必修	
	情報科学Ⅰ	講義	前	1						1	必修	
	医療プロフェッショナリズムⅠ	講義	後		1					1	必修	
	行動科学・患者学Ⅰ	講義	後		0.5					0.5	必修	
	医療プロフェッショナリズムⅡ	講義	前・後			1				1	必修	
	医療倫理	講義	後			1				1	必修	
	情報科学Ⅱ	講義	前			1				1	必修	
	緩和医療Ⅰ・漢方・ＣＰＣ	講義	後			1				1	必修	
	医療プロフェッショナリズムⅢ	講義	前				1			1	必修	
	医療安全Ⅰ	講義	後				0.5			0.5	必修	
	情報科学Ⅲ	講義	前				1			1	必修	
	医療安全Ⅱ	講義	前・後					0.5		0.5	必修	
	行動科学・患者学Ⅱ	講義	前・後					0.5		0.5	必修	
	緩和医療Ⅱ･診療録の記載	講義	前・後					0.5		0.5	必修	
基礎医学系科目	解剖学（１）	講・実	後	1						1	必修	
	解剖学（２）	講・実	後	3						3	必修	
	生理学（１）	講義	後	2						2	必修	
	生理学（２）	講義	後	1						1	必修	
	生化学（分子生物学概論）	講義	後	1						1	必修	
	解剖学（１）	講・実	前		5					5	必修	
	解剖学（２）	講・実	前		2					2	必修	
	生理学（２）	講義	前		1					1	必修	
	生理学実習	実習	後		2					2	必修	
	生化学	講・実	前		4					4	必修	
	免疫学	講・実	前・後		2					2	必修	
	薬理学	講・実	後		4					4	必修	
	病理学	講・実	後		2					2	必修	
	微生物学	講・実	後		3					3	必修	
	運動医学	講義	後		1					1	必修	
	医用電子工学	講義	後		0.5					0.5	必修	
	病理学	講義	前・後			3				3	必修	
	グループ別自主研究	実習	前				4			4	必修	
社会医学	社会医学Ⅰ	講義	後		1					1	必修	
	医学・医療と社会Ⅰ	講義	前・後			1				1	必修	

系科目	医学・医療と社会Ⅱ	講義	前				1			1	必修	
	法医学	講義	前				1			1	必修	
臨床医学系科目	臨床医学Ⅰ	講義	前・後			26				26	必修	
	臨床医学Ⅱ	講義	前・後				14			14	必修	
	基本的診療知識・技能	講・実	前・後				2			2	必修	
	臨床医学Ⅴ	講義	後						6	6	必修	
臨床実習	早期臨床体験実習Ⅰ	実習	前・後	2						2	必修	
	早期臨床体験実習Ⅱ	実習	後		2					2	必修	
	地域医療実習	実習	前			2				2	必修	
	臨床医学Ⅲ											
	精神・神経コース	実習	前・後				4			4	必修	
	代謝・免疫・内分泌コース	実習	前・後				2			2	必修	
	血液・凝固コース	実習	前・後				2			2	必修	
	感覚器コース	実習	前・後				2			2	必修	
	呼吸器系コース	実習	前・後				3			3	必修	
	循環器コース	実習	前・後				3			3	必修	
	消化器コース	実習	前・後				4			4	必修	
	腎・泌尿器コース	実習	前・後				2			2	必修	
	運動器コース	実習	前・後				2			2	必修	
	皮膚コース	実習	前・後				2			2	必修	
	女性診療コース	実習	前・後				3			3	必修	
	小児科コース	実習	前・後				2			2	必修	
	全身管理コース	実習	前・後				2			2	必修	
	放射線科コース	実習	前・後				1			1	必修	
	地域中核医療コース	実習	前・後				4			4	必修	
	地域診療コース	実習	前・後				2			2	必修	
	臨床医学Ⅳ	実習	前・後					28		28	必修	
	合計			36単位以上	34単位以上	37単位	25単位	41.5単位	34単位	207.5単位以上		

別表２－１（第27条第２項関係）

（令和５年度入学者から適用）

科目区分		授業科目	授業形態	配当年次	単位数	必修・選択の区分	備考	
一般教育科目	人間と自然科学	生命科学	講義	1	2	必修	必修４単位	必修22単位 選択６単位以上 ＊保健統計学は保健師コース必修
		生命と地球環境	講義	1	1	選択		
		情報科学	講義	1	2	必修		
		生体の化学	講義	1	2	選択		
		医療のための物理学	講義	1	1	選択		
		医療と保健の歴史	講義	1	2	選択		
		情報リテラシー入門	演習	1	1	選択		
	人間と文化	生命倫理	講義	1	2	選択	必修３単位	
		文学	講義	1	2	選択		
		哲学	講義	1	2	選択		
		教育学入門	講義	2	2	選択		

		心理学	講義	1	2	必修		
		発達心理学	講義	1	1	必修		
		健康とスポーツ	演習	2	2	選択		
		多文化共生論	講義	1	2	選択		
		人間理解のための文章講読	講義	1	2	選択		
	人間と社会	ジェンダー論	講義	1	2	選択	必修２単位	
		法学入門	講義	1	2	必修		
		医療人類学	講義	1	2	選択		
		社会学	講義	1	2	選択		
		政治・経済学	講義	2	1	選択		
		国際関係論	講義	1	1	選択		
	探求の技法	アカデミックスキルⅠ	演習	1	1	必修	必修４単位	
		統計学	講義	1	2	必修		
		アカデミックスキルⅡ	演習	1	1	必修		
	人間と言語	英語Ⅰ	講義	1	2	必修	必修７単位 選択２単位以上	
		英語Ⅱ	演習	1	1	必修		
		英語Ⅲ	講義	2	2	必修		
		英語Ⅳ	講義	2	2	必修		
		英語Ⅴ	講義	4	2	選択		
		スペイン語	講義	1	2	選択		
		韓国語	講義	1	2	選択		
		中国語	講義	1	2	選択		
		フランス語	講義	1	2	選択		
		ドイツ語	講義	1	2	選択		
	キャリアデザイン	キャリアデザインⅠ	演習	1	1	必修	必修２単位	
		キャリアデザインⅡ	演習	2	1	必修		
専門基礎科目	人間と健康	形態機能学	講義	1	2	必修	必修14単位	必修20単位 選択３単位以上
		病理学	講義	1	1	必修		
		栄養学	講義	1	1	必修		
		生化学	講義	2	1	必修		
		微生物学	講義	2	1	必修		
		免疫学	講義	2	1	必修		
		薬理学	講義	2	2	必修		
		疾病と治療Ⅰ（成人・老人系）	講義	2	1	必修		
		疾病と治療Ⅱ（成人・老人系）	講義	2	2	必修		
		疾病と治療Ⅲ（周産期と婦人科系）	講義	2	1	必修		
		疾病と治療Ⅳ（こども）	講義	2	1	必修		
		遺伝学	講義	3	1	選択		
		補完代替療法	講義	4	1	選択		
		臨床心理学	講義	2	1	選択		
	環境と	医療概論	講義	1	1	選択	必修６単位	

	健康	公衆衛生学	講義	2	2	必修	
		疫学	講義	2	2	必修	
		社会福祉・社会保障	講義	1	2	必修	
		保健統計学	講義	3	2	選択	
専門科目	看護の基礎	看護学概論	講義	1	2	必修	必修68単位 選択７単位以上 （※から７単位以上選択） ＊保健師国家試験受験資格希望者は 必修68単位 「パブリックヘルス」科目14単位、「パブリックヘルス」を除いた選択科目４単位以上
		看護倫理Ⅰ	講義	1	1	必修	
		看護倫理Ⅱ（事例分析）※	演習	4	1	選択	
		看護理論※	講義	4	1	選択	
		看護の歴史※	講義	4	1	選択	
		チーム医療論※	講義	2	1	選択	
	看護の対象	看護基礎実習Ⅰ	実習	1	1	必修	
		老年基礎実習	実習	1	1	必修	
		看護対象論	講義	1	2	必修	
		精神保健論	講義	2	1	必修	
		コミュニケーション論	講義	1	1	必修	
		家族看護論※	講義	3	1	選択	
		地域・在宅看護論Ⅰ	講義	1	1	必修	
		地域・在宅看護論Ⅱ	講義	2	1	必修	
		地域・在宅看護論Ⅲ	講義	2	1	必修	
		在宅看護基礎実習	実習	2	2	必修	
	看護の方法	看護過程とＥＢＮ	演習	2	2	必修	
		看護技術論Ⅰ	講義	1	1	必修	
		看護技術論Ⅱ	演習	1	2	必修	
		看護技術論Ⅲ	演習	2	1	必修	
		看護技術論Ⅳ	演習	2	1	必修	
		住宅看護援助論Ⅰ	演習	2	1	必修	
		成人・老年看護学概論	講義	2	1	必修	
		こども看護学概論	講義	2	1	必修	
		母性看護学概論	講義	2	1	必修	
		成人看護学援助論Ⅰ	演習	3	2	必修	
		成人看護学援助論Ⅱ	演習	3	2	必修	
		老年看護学援助論	演習	3	1	必修	
		こども看護学援助論	演習	3	2	必修	
		母性看護学援助論	演習	3	2	必修	
		精神看護学援助論	演習	3	2	必修	
		在宅看護援助論Ⅱ	演習	3	1	必修	
		看護基礎実習Ⅱ	実習	2	2	必修	
		成人看護学実習Ⅰ	実習	3	2	必修	
		成人看護学実習Ⅱ	実習	3	2	必修	
		老年看護学実習	実習	3	2	必修	
		こども看護学実習	実習	3	2	必修	
		母性看護学実習	実習	3	2	必修	
		精神看護学実習	実習	3	2	必修	
	グローバルヘ	災害看護論	講義	2	2	必修	
		災害看護援助論※	演習	2	1	選択	

	ルス	国際看護活動論	演習	2	1	必修
		国際保健論	講義	1	1	必修
		国際看護フィールドワーク※	演習	4	2	選択
	看護の統合と発展	看護研究法	講義	3	2	必修
		包括ケア実習	実習	3	2	必修
		統合実習	実習	4	3	必修
		卒業論文	演習	4	2	必修
		看護システムマネジメント論	講義	4	2	必修
		看護システム論	講義	2	2	必修
		看護技術論Ⅴ※	講義	4	1	選択
		生涯学習と看護の発展※	講義	4	1	選択
	パブリックヘルス	公衆衛生看護学概論※	講義	3	2	選択
		公衆衛生看護学活動論※	講義	3	2	選択
		公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	演習	3	2	選択
		公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	演習	4	2	選択
		公衆衛生看護管理論※	講義	4	1	選択
		公衆衛生看護学実習	実習	4	5	選択

卒業に必要な単位数：必修科目110単位、選択科目16単位以上　計126単位以上を修得し、卒業試験に合格すること。
＊保健師国家試験受験資格希望者は、必修科目110単位、選択科目13単位以上、「パブリックヘルス」科目14単位必修　計137単位以上

別表２－２（第27条第２項関係）

（令和３・４年度入学者に適用）

科目区分		授業科目	授業形態	配当年次	単位数	必修・選択の区分	備考	
一般教育科目	人間と自然科学	生命科学	講義	1	2	必修	必修４単位	必修22単位 選択６単位以上 ＊保健統計学は保健師コース必修
		生命と地球環境	講義	1	1	選択		
		情報科学	講義	1	2	必修		
		生体の化学	講義	1	2	選択		
		医療のための物理学	講義	1	1	選択		
		情報リテラシー入門	演習	1	1	選択		
	人間と文化	生命倫理	講義	1	2	選択	必修３単位	
		文学	講義	1	2	選択		
		哲学	講義	1	2	選択		
		教育学入門	講義	2	2	選択		
		心理学	講義	1	2	必修		
		発達心理学	講義	1	1	必修		
		健康とスポーツ	演習	2	2	選択		
		多文化共生論	講義	1	2	選択		
	人間と	ジェンダー論	講義	1	2	選択	必修２単位	

	社会	法学入門	講義	1	2	必修		
		文化人類学	講義	1	2	選択		
		社会学	講義	1	2	選択		
		政治・経済学	講義	2	1	選択		
		国際関係論	講義	1	1	選択		
	探求の技法	アカデミックスキルⅠ	演習	1	1	必修	必修４単位	
		統計学	講義	1	2	必修		
		アカデミックスキルⅡ	演習	1	1	必修		
	人間と言語	英語Ⅰ	講義	1	2	必修	必修７単位 選択２単位以上	
		英語Ⅱ	演習	1	1	必修		
		英語Ⅲ	講義	2	2	必修		
		英語Ⅳ	講義	2	2	必修		
		英語Ⅴ	講義	4	2	選択		
		スペイン語	講義	1	2	選択		
		韓国語	講義	1	2	選択		
		中国語	講義	1	2	選択		
		フランス語	講義	1	2	選択		
		ドイツ語	講義	1	2	選択		
	キャリアデザイン	キャリアデザインⅠ	演習	1	1	必修	必修２単位	
		キャリアデザインⅡ	演習	2	1	必修		
専門基礎科目	人間と健康	形態機能学	講義	1	2	必修	必修14単位	必修20単位 選択３単位以上
		病理学	講義	1	1	必修		
		栄養学	講義	1	1	必修		
		生化学	講義	2	1	必修		
		微生物学	講義	2	1	必修		
		免疫学	講義	2	1	必修		
		薬理学	講義	2	2	必修		
		疾病と治療Ⅰ（成人・老人系）	講義	2	1	必修		
		疾病と治療Ⅱ（成人・老人系）	講義	2	2	必修		
		疾病と治療Ⅲ（周産期と婦人科系）	講義	2	1	必修		
		疾病と治療Ⅳ（こども）	講義	2	1	必修		
		遺伝学	講義	3	1	選択		
		補完代替療法	講義	4	1	選択		
		臨床心理学	講義	2	1	選択		
	環境と健康	医療概論	講義	1	1	選択	必修６単位	
		公衆衛生学	講義	2	2	必修		
		疫学	講義	2	2	必修		
		社会福祉・社会保障	講義	1	2	必修		
		保健統計学	講義	3	2	選択		
専門科目	看護の基礎	看護学概論	講義	1	2	必修	必修68単位 選択７単位以上 （※から７単位以上選択）	
		看護倫理Ⅰ	講義	1	1	必修		
		看護倫理Ⅱ（事例分析）	演習	4	1	選択		

		※				
		看護理論※	講義	4	1	選択
		看護の歴史※	講義	4	1	選択
		チーム医療論※	講義	2	1	選択
	看護の対象	看護基礎実習Ⅰ	実習	1	1	必修
		老年基礎実習	実習	1	1	必修
		看護対象論	講義	1	2	必修
		精神保健論	講義	2	1	必修
		コミュニケーション論	講義	1	1	必修
		家族看護論※	講義	3	1	選択
		地域・在宅看護論Ⅰ	講義	1	1	必修
		地域・在宅看護論Ⅱ	講義	2	1	必修
		地域・在宅看護論Ⅲ	講義	2	1	必修
		在宅看護基礎実習	実習	2	2	必修
	看護の方法	看護過程とＥＢＮ	演習	2	2	必修
		看護技術論Ⅰ	講義	1	1	必修
		看護技術論Ⅱ	演習	1	2	必修
		看護技術論Ⅲ	演習	2	1	必修
		看護技術論Ⅳ	演習	2	1	必修
		住宅看護援助論Ⅰ	演習	2	1	必修
		成人・老年看護学概論	講義	2	1	必修
		こども看護学概論	講義	2	1	必修
		母性看護学概論	講義	2	1	必修
		成人看護学援助論Ⅰ	演習	3	2	必修
		成人看護学援助論Ⅱ	演習	3	2	必修
		老年看護学援助論	演習	3	1	必修
		こども看護学援助論	演習	3	2	必修
		母性看護学援助論	演習	3	2	必修
		精神看護学援助論	演習	3	2	必修
		在宅看護援助論Ⅱ	演習	3	1	必修
		看護基礎実習Ⅱ	実習	2	2	必修
		成人看護学実習Ⅰ	実習	3	2	必修
		成人看護学実習Ⅱ	実習	3	2	必修
		老年看護学実習	実習	3	2	必修
		こども看護学実習	実習	3	2	必修
		母性看護学実習	実習	3	2	必修
		精神看護学実習	実習	3	2	必修
	グローバルヘルス	災害看護論	講義	2	2	必修
		災害看護援助論※	演習	2	1	選択
		国際看護活動論	演習	2	1	必修
		国際保健論	講義	1	1	必修
		国際看護フィールドワーク※	演習	4	2	選択
	看護の統合と発展	看護研究法	講義	3	2	必修
		包括ケア実習	実習	3	2	必修
		統合実習	実習	4	3	必修

＊保健師国家試験受験資格希望者は
必修68単位
「パブリックヘルス」科目14単位、「パブリックヘルス」を除いた選択科目４単位以上

		卒業論文	演習	4	2	必修
		看護システムマネジメント論	講義	4	2	必修
		看護システム論	講義	2	2	必修
		看護技術論Ⅴ※	講義	4	1	選択
		生涯学習と看護の発展※	講義	4	1	選択
	パブリックヘルス	公衆衛生看護学概論※	講義	3	2	選択
		公衆衛生看護学活動論※	講義	3	2	選択
		公衆衛生看護活動展開論Ⅰ	演習	3	2	選択
		公衆衛生看護活動展開論Ⅱ	演習	4	2	選択
		公衆衛生看護管理論※	講義	4	1	選択
		公衆衛生看護学実習	実習	4	5	選択
卒業に必要な単位数：必修科目110単位、選択科目16単位以上　計126単位以上を修得し、卒業試験に合格すること。 ＊保健師国家試験受験資格希望者は、必修科目110単位、選択科目13単位以上、「パブリックヘルス」科目14単位必修　計137単位以上						

別表２－３（第27条第２項関係）

（令和２年度以前入学者に適用）

科目区分		授業科目	授業形態	配当年次	単位数	必修・選択の区分	備考	
一般教育科目	自然を知る	生命科学	講義	1	2	必修	必修８単位 選択３単位以上	必修15単位 選択６単位以上
		生命と地球環境	講義	1	1	選択		
		生物と進化	講義	1	2	選択		
		生体の化学	講義	1	2	選択		
		医療のための物理学	演習	1	1	選択		
		生命倫理	講義	1	2	選択		
	人を知る	文学	講義	1	2	選択		
		健康と身体活動	講義	2	2	必修		
		教育原理	講義	2	2	選択		
		心理学	講義	1	2	必修		
		哲学	講義	1	2	選択		
		スポーツ実技	実技	1	1	選択		
	社会を知る	家族と社会	講義	1	2	選択		
		現代社会と法（憲法）	講義	1	2	必修		
		文化人類学	講義	1	2	選択		
		ジェンダーの社会学	講義	2	2	選択		
		社会福祉	講義	2	2	選択		
	問題解決	情報科学	講義	1	2	必修	必修５単位 選択１単位以上	
		統計学	講義	2	2	必修		
		探求の技法	演習	1	1	必修		
		情報技術とコミュニケーション	演習	1	1	選択		

		プレゼンテーションの技法	演習	1	1	選択		
	グローバルコミュニケーション	英語Ⅰ（基礎）	講義	1	2	必修	必修２単位 選択２単位以上	
		英語Ⅱ（会話）	演習	2	1	選択		
		英語Ⅲ（英論文の読解）	講義	4	2	選択		
		スペイン語	講義	1	2	選択		
		韓国語	講義	1	2	選択		
		中国語	講義	1	2	選択		
		フランス語	講義	1	2	選択		
		ドイツ語	講義	1	2	選択		
専門基礎科目	病気と治療	人体の構造と機能	講義	1	4	必修	必修26単位 選択２単位以上	
		病理病態学	演習	1	2	必修		
		栄養学	講義	2	1	必修		
		生化学	講義	2	1	必修		
		臨床心理学	講義	2	1	必修		
		感染免疫学	講義	2	1	必修		
		臨床薬理学	講義	2	2	必修		
		診断治療学Ⅰ（内科・外科）	講義	2	3	必修		
		診断治療学Ⅱ（小児科）	講義	2	1	必修		
		診断治療学Ⅲ（精神科）	講義	2	1	必修		
		診断治療学Ⅳ（産婦人科）	講義	2	1	必修		
		遺伝学	講義	4	1	選択		
		公衆衛生と疫学	講義	3	2	必修		
	保健医療福祉のしくみ	保健統計学	講義	2	2	必修		
		医療概論	講義	1	1	必修		
		社会保障制度論	講義	1	1	必修		
		チーム医療論	講義	2	1	必修		
		医療安全管理論	講義	2	1	必修		
		医療経済学	講義	4	1	選択		
		保健医療福祉ネットワーク論	講義	2	1	選択		
専門科目	看護の基礎	看護学概論	講義	1	2	必修	必修65単位 選択10単位以上 （※から10単位以上選択） ＊保健師国家試験受験資格希望者は 必修65単位 選択10単位以上 「コミュニティーヘルスケア」科目 13単位選択必修	
		看護倫理Ⅰ（基礎）	講義	1	1	必修		
		看護倫理Ⅱ（事例分析）※	演習	4	1	選択		
		看護理論※	講義	4	2	選択		
		看護リテラシーⅠ（概念の理解）	演習	1	1	必修		
		看護リテラシーⅡ（看護基礎ゼミ）	演習	1	1	必修		
		コーチングの基礎	演習	3	1	必修		
	生活環境と看護の対	健康生活支援論	講義	1	2	必修		
		健康生活支援論演習	演習	1	2	必修		
		健康生活支援論実習	実習	1	1	必修		

	象	看護初期実習	実習	1	1	必修
		看護対象論Ⅰ（ライフサイクル）	講義	2	2	必修
		看護対象論Ⅱ（疾病の回復過程）	講義	2	2	必修
	看護援助の方法	看護援助論Ⅰ（コミュニケーション論）	講義	1	1	必修
		看護援助論Ⅱ（看護過程の展開）	講義	2	1	必修
		看護援助論Ⅲ（ＥＢＮ）	講義	2	1	必修
		フィジカルアセスメント	演習	2	2	必修
		ヘルスプロモーション	講義	2	1	必修
		健康教育論	演習	2	1	必修
		家族看護論※	講義	2	1	選択
		在宅看護援助論	演習	3	2	必修
		治療看護技術論Ⅰ（成人・老年）	演習	3	3	必修
		治療看護技術論Ⅱ（こども・女性）	演習	3	3	必修
		治療看護技術論Ⅲ（精神）	演習	3	2	必修
		代替補完医療と看護※	講義	4	1	選択
		看護基礎実習	実習	2	2	必修
		看護展開実習ＩＡ（成人）	実習	3	2	必修
		看護展開実習ＩＢ（成人）	実習	3	2	必修
		看護展開実習Ⅱ（老年）	実習	3	2	必修
		看護展開実習Ⅲ（こども）	実習	3	2	必修
		看護展開実習Ⅳ（母性）	実習	3	2	必修
		看護展開実習Ⅴ（精神）	実習	3	2	必修
		看護展開実習Ⅵ（在宅）	実習	3	2	必修
		統合援助技術Ⅰ※	講義	4	1	選択
		統合援助技術Ⅱ※	演習	4	1	選択
	看護提供のしくみ	看護システムマネジメント論	講義	4	2	必修
		看護サービス提供論	講義	2	1	必修
		看護システム実習	実習	2	1	必修
	グローバルヘルス	災害看護論	講義	3	2	必修
		災害看護論演習	演習	3	1	必修
		国際看護活動論	演習	4	1	必修
		防災教育論※	講義	4	1	選択
		国際看護フィールドワーク※	演習	4	2	選択
	看護の	看護研究法	講義	3	2	必修

	統合	看護課題ゼミ	演習	4	2	必修
		統合実習	実習	4	4	必修
		卒業研究※	演習	4	2	選択
		生涯学習特別講義※	講義	4	2	選択
	コミュニティヘルスケア	地域看護学概論※	講義	2	2	選択
		学校保健論※	講義	2	1	選択
		産業保健論※	講義	2	1	選択
		保健行政論	講義	3	2	自由
		地域看護学演習Ⅰ（保健指導の理論）	演習	3	1	自由
		地域看護学演習Ⅱ（地域看護活動）	演習	4	1	自由
		地域看護管理論	講義	4	1	自由
		地域看護学実習	実習	4	4	自由

卒業に必要な単位数：必修科目106単位、選択科目18単位以上　計124単位以上を修得し、卒業試験に合格すること。

＊保健師国家試験受験資格希望者は、必修科目106単位、選択科目18単位以上、「コミュニティーヘルスケア」科目13単位　計137単位以上

別表３（第58条第１項関係）

（単位：円）

学科名	学年	入学検定料	学生納付金				
			入学金	授業料	実習費〈削除〉	教育・施設設備充実費	合計
医学部医学科	1	60,000	1,000,000	2,900,000	—	900,000	4,800,000
	2	—	—	2,900,000	—	2,020,000	4,920,000
	3	—	—	2,900,000	—	2,020,000	4,920,000
	4	—	—	2,900,000	—	2,020,000	4,920,000
	5	—	—	2,900,000	—	2,020,000	4,920,000
	6	—	—	2,900,000	—	2,020,000	4,920,000
学科名	学年	入学検定料	入学金	授業料	実習費	施設設備費	合計
医学部看護学科	1	30,000	300,000	1,050,000	250,000	300,000	1,900,000
	2	—	—	1,050,000	250,000	300,000	1,600,000
	3	—	—	1,050,000	250,000	300,000	1,600,000
	4	—	—	1,050,000	250,000	300,000	1,600,000

（備考１）看護学科の保健師コースを選択する者は、上記以外に臨地実習費等の履修費として４年次に100,000円を加える。

（備考２）大学入試センター試験利用入試の入学検定料は、医学科にあっては40,000円、看護学科にあっては20,000円とする。

東京医科大学大学院学則（案）

第１章　総則

（目的）

第１条　東京医科大学大学院（以下「本大学院」という。）は、教育基本法及び学校教育法に基づき、先端的な研究の高度化を推進し、新しい時代に即応した人材を育成することを目的とする。

（課程）

第２条　本大学院に、次の研究科及び課程を置く。

研究科	課程
医学研究科	修士課程 博士課程
看護学研究科	修士課程

２　医学研究科修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を養うことを目的とする。

３　医学研究科博士課程は、学術の理論及び応用を教授し、創造性、活力、人間性豊かな総合判断力かつ国際的な視点を有し、医学の発展を通して人類に貢献・寄与しうる指導力を兼ね備えた人材を養成することを目的とする。

４　看護学研究科修士課程は「高度な専門的知識・能力をもつ高度専門職業人の養成」を担うべき人材養成機能とし、「高度な看護実践能力、基礎的な教育研究能力を備えた看護職の養成」を主たる教育上の目的とする。

（研究科の組織及び目的）

第３条　本大学院の医学研究科及び看護学研究科に次の専攻を置く。

研究科	課程	専攻
医学研究科	修士課程	医科学
	博士課程	医学
	博士課程 （令和6年度入学者迄）	形態系
		機能系
		社会医学系
		内科系
		外科系
		社会人大学院・臨床研究系
		社会人大学院・研究系
看護学研究科	修士課程	看護学

（１）　医科学専攻

医科学専攻は、基礎医科学分野の知識を統合的に習得させ、医科学研究を実践することで、多様な医学・医療関連の分野で活躍できる医学研究者及び医学研究に関連する業務に携わる人材を養成する。

（２）　医学専攻

医学専攻は、共通科目による高い倫理観と論理的思考の涵養、基礎・社会医学系分野と臨床系分野が融合して構成されるコースワークおよび専門科目による体系的な高度な知識と能力の修得を通して、

新たな 学理を拓く研究を実践し、医学の発展、人類の福祉に貢献する人間性豊かな研究者ならびに研究指導者を養成する。

（3） 形態系専攻

形態系専攻は、人体構造学、組織・神経解剖学、人体病理学、分子病理学及び微生物学の５分野からなり、人体の臓器、組織の解剖学的研究、疾患に対する病理学的アプローチまで主に形態学的観点から人体の構造と病態の解明に取組み、基礎及び臨床医学の発展に寄与できる能力を有する人材を養成する。

（4） 機能系専攻

機能系専攻は、細胞生理学、病態生理学、生化学、薬理学、免疫学及び免疫制御学の６分野からなり、薬物の生体に与える作用機序の解明、中枢神経系への生理学的アプローチ、免疫反応の仕組など生体機能、生体防御に関わる研究を行い、研究指導者や大学等の教員となりうる人材を養成する。

（5） 社会医学系専攻

社会医学系専攻は、公衆衛生学、健康増進スポーツ医学、法医学、医療の質・安全管理学、医療データサイエンス学及び医学教育学の６分野からなり、疫学的研究、心身の健康維持、医療事故の現状と予防対策を構築できる人材を養成するとともに、新しい教育の開発や導入、教育活動の改革を促進できる能力を養成する。

（6） 内科系専攻

内科系専攻は、血液内科学、呼吸器内科学、循環器内科学、糖尿病・代謝・内分泌内科学、リウマチ・膠原病内科学、神経学、消化器内科学、消化器内視鏡学、内科系、精神医学、小児科・思春期科学、皮膚科学、放射線医学、臨床検査医学、高齢総合医学及び腎臓内科学の 16 分野からなり、各分野の医療を実践できる専門医認定医と高度な水準の医学研究に基づいた研究マインドと指導力を兼ね備えた研究指導者を養成する。

（7） 外科系専攻

外科系専攻は、呼吸器・甲状腺外科学、乳腺科学、心臓血管外科学、消化器・小児外科学、消化器外科学、消化器外科・移植外科学、整形外科学、眼科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、産科婦人科学、麻酔科学、脳神経外科学、口腔外科学、形成外科学及び救急・災害医学の 16 分野からなり、疾病に対して観血的手技を用いて人体の回復を図ることが中心となる。したがって、外科学的な基本知識と技能を学び、その知識、技能を基に実践につながる応用力、未解明分野を研究する臨床医及び研究指導者を養成する。

（8） 社会人大学院・臨床研究系専攻

社会人大学院・臨床研究系専攻は、血液内科学、呼吸器内科学、循環器内科学、糖尿病・代謝・内分泌内科学、リウマチ・膠原病内科学、神経学、消化器内科学、消化器内視鏡学、内科系、精神医学、小児科・思春期科学、皮膚科学、放射線医学、臨床検査医学、高齢総合医学、腎臓内科学、呼吸器・甲状腺外科学、乳腺科学、心臓血管外科学、消化器・小児外科学、消化器外科学、消化器外科・移植外科学、整形外科学、眼科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、産科婦人科学、麻酔科学、脳神経外科学、口腔外科学、形成外科学及び救急・災害医学の 32 分野からなり、優秀な人材を求めるため広く社会に門戸を開き、優秀な臨床医及び研究指導者を養成する。

（９） 社会人大学院・研究系専攻

社会人大学院・研究系専攻は、人体構造学、組織・神経解剖学、人体病理学、分子病理学、微生物学、細胞生理学、病態生理学、生化学、薬理学、免疫学、免疫制御学、公衆衛生学、健康増進スポーツ医学、法医学、医療の質・安全管理学、医療データサイエンス学及び医学教育学の 17 分野からなり、優秀な人材を求めるため広く社会に門戸を開き、優秀な医学教育者及び研究指導者を養成する。

（10）看護学専攻

建学の精神「自主自学」と教育ビジョン「社会に出てからも永く活躍できる人材の育成」に基づき、基礎教育で身につけた能力を更に深化させ、高度な看護実践能力および基礎的な教育研究能力を備え、実践現場から看護の質向上に貢献する人材、将来教育研究者として看護学の発展に貢献できる人材を養成する。

（学生定員）

第４条　医学研究科及び看護研究科の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

	課程	専攻名	入学定員	収容定員
医学研究科	修士課程	医科学専攻	10 名	20 名
	博士課程	医学専攻	68 名	272 名
	博士課程（令和６年度入学者迄）	形態系専攻	10 名	40 名
		機能系専攻	10 名	40 名
		社会医学系専攻	4 名	16 名
		内科系専攻	10 名	40 名
		外科系専攻	10 名	40 名
		社会人大学院・臨床研究系専攻	20 名	80 名
		社会人大学院・研究系専攻	4 名	16 名
		小計	68 名	272 名
	合計		78 名	292 名
看護学研究科	修士課程	看護学専攻	6 名	12 名

第２章　修業年限、在学年限、学年及び学期等

（修業年限）

第５条　医学研究科における標準修業年限は、修士課程にあっては２年、博士課程にあっては４年とする。

２　看護学研究科における標準修業年限は、修士課程にあっては２年とする。

（在学年限）

第６条　医学研究科における在学年限は、修士課程にあっては４年を、博士課程にあっては８年を超えることはできない。

２　看護学研究科における在学年限は、修士課程にあっては４年を超えることはできない。

（長期履修）

第６条の２　看護学研究科においては、学生が入学時に考慮すべき事情により第５条第２項に規定する標準修業年限を超えて一定期間にわたり計画的に履修し修了すること（以下、「長期履修」という。）

を申し出た場合にはその計画的な履修を認めることが出来る。
2　前項の長期履修を認められた場合には、第 6 条第 1 項の規定に係わらず 6 年を限度として在学出来る。
3　長期履修制度に関し必要な事項は、別に定める。
（学年、学期及び休業日）
第 7 条　学年、学期及び休業日は、東京医科大学学則（以下「大学学則」という。）第 16 条、第 17 条及び第 18 条の規定を準用する。
第 3 章　教育方法、授業科目及び単位並びに履修方法等
（教育方法）
第 8 条　本大学院における教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導によって行うものとする。
2　看護学研究科においては、学位論文の作成に替えて課題研究に対する指導を含むものとする。
3　大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例により、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。
第 8 条の 2　授業は、講義、演習、実験、実習及びこれらの併用により行なうものとする。
2　文部科学大臣の別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行なう教室以外の場所で履修させる事が出来る。
（授業科目及び単位）
第 9 条　医科学専攻の授業科目及び単位等は、別表 1 のとおりとする。
2　第 3 条第 2 号　医学専攻の授業科目及び単位等は、別表 2 の 1 のとおりとする。
3　第 3 条第 3 号から第 9 号までの各専攻の授業科目及び単位等は、別表 2 の 2 のとおりとする。
4　看護学研究科修士課程の授業科目及び単位等は、別表 3 のとおりとする。
（履修方法等）
第 10 条　本大学院における研究指導の内容及び履修方法等は、別に定める。
（成績の評価）
第 11 条　成績の評価は、A・B・C・Dの 4 種とし、A・B・Cを合格、Dを不合格とする。
（他の大学院等における授業科目の履修）
第 12 条　本大学院の教育上特に有益と認めるときは、他の大学院、研究所等の長と協議のうえ、学生に当該大学院、研究所等における授業科目の授業又は研究指導を受けさせることができる。ただし、修士課程の学生については、当該研究指導を受けさせることができる期間は、1 年を超えないものとする。
2　前項の規定により修得した授業科目及び単位については、修士課程においては 4 単位を超えない範囲で、博士課程においては 8 単位を超えない範囲で、本大学院において相当する授業科目及び単位を修得したものとみなすことができる。
第 4 章　課程修了要件及び学位
（課程の修了要件）
第 13 条　修士課程の修了要件は、本大学院修士課程に 2 年以上在学して 30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学年

数に関しては、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。
看護学研究科高度実践看護師コースについては修士論文に代えて、課題研究の審査を課すものとする。

2　博士課程の修了要件は、本大学院博士課程に4年以上在学して30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学年数に関しては、優れた研究業績を上げた者については、3年以上在学すれば足りるものとする。

（課程修了の認定及び成績評価）

第14条　医学研究科における課程修了の認定は、医学研究科長が行う。

2　学位論文の審査及び最終試験の成績評価は、第49条に定める医学研究科委員会の審査に基づいて、研究科長が行う。

3　科目試験、学位論文の審査及び最終試験の成績評価の基準は、医学研究科委員会の定めるところによる。

第14条の2　看護学研究科における課程修了の認定は、看護学研究科長が行う。

4　学位論文または課題研究の審査及び最終試験の成績評価は、第49条に定める看護学研究科委員会の審査に基づいて、研究科長が行う。

3　科目試験、学位論文または課題研究の審査及び最終試験の成績評価の基準は、看護学研究科委員会の定めるところによる。

（学位授与）

第15条　学長は、医学研究科修士課程を修了した者には、修士（医科学）の学位を授与する。

2　医学研究科博士課程を修了した者には、博士（医学）の学位（甲種－課程博士）を授与する。

3　医学研究科博士課程を所定単位取得後退学後、3年以内に博士論文の審査及び最終試験に合格した者にも、博士（医学）の学位（甲種－課程博士）を授与する。

4　看護学研究科修士課程を修了した者には、修士（看護学）の学位を授与する。

第16条　医学研究科博士課程においては、第13条第2項及び第14条（修士課程に係る部分を除く。）の規定により学位を授与される者と同等以上の内容を有する論文を提出し、その審査及び試験等に合格した者に対しても、博士（医学）の学位（乙種－論文博士）を授与することができる。

第17条　学位の授与に関して必要な事項は、別に定める。

第5章　入学、再入学及び転入学

（入学資格）

第18条　医学研究科修士課程に入学することのできる者は、次のとおりとする。

（1）　大学を卒業した者

（2）　専修学校の専門課程を修了した者で、高度専門士の称号を授与されたもの

（3）　外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

（4）　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

（5）　我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

（6）　昭和28年文部省告示第5号をもって文部科学大臣の指定した者

（7）　学校教育法第68条の2第4項の規定により学士の学位を授与された者

（8） 研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達したもの

2　医学研究科博士課程に入学することのできる者は、次のとおりとする。

（1） 大学（6 年制の医学、歯学、獣医学又は薬学の課程。以下この項において同じ。）を卒業した者

（2） 修士の学位又は専門職学位を有する者

（3） 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

（4） 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

（5） 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

（6） 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者

（7） 昭和 30 年文部省告示第 39 号をもって文部科学大臣の指定した者

（8） 平成元年文部省告示第 118 号をもって文部科学大臣の指定した者

（9） 研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達したもの

第 18 条の 2　看護学研究科修士課程研究コースに入学することのできる者は、保健師・助産師・看護師のいずれかの資格を有し（入学時までに資格取得見込みを含む）、次のいずれかに該当する者とする。

（1） 大学を卒業した者及び入学時までに卒業見込みの者

（2） 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び入学時までに学位を授与される見込みの者

（3） 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び入学時までに修了見込みの者

（4） 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程(文部科学大臣指定外国大学日本校)を修了した者及び修了見込みの者

（5）文部科学大臣が外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者及び入学時までに修了見込みの者

（6）外国の大学等において、就業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学時までに学位授与される見込みの者

（7）専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び入学時までに修了見込みの者

（8）　本研究科において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等の学力があると認めた者

2　高度実践看護師コースに入学することができる者は第 1 項及び第 1 項(1)～（8）のいずれかに該当する者で、入学時点で各専門分野における看護実務経験を 3 年以上有する者

（入学の時期）

第 19 条　入学の時期は、原則として学年の始めとする。

（入学の出願）

第 20 条　本大学院の入学志願者は、所定の入学願書に所定の入学考査料及び別に定める書類を添えて、指定する期日までに本学に願い出なければならない。

（入学者の選考）

第 21 条　入学者の選考は、論文審査、面接、その他の方法による。

2　その他入学者の選考について必要な事項は、別に定める。

（入学手続）

第 22 条　前条の選考に合格した者は、指定する期日までに、入学金及び授業料を納入するとともに所定の書類を添えて入学の手続を完了しなければならない。

（入学の許可）

第 23 条　学長は、前条の手続を完了した者につき、入学を許可する。

（再入学）

第 24 条　本大学院を中途において退学した者で、再び同一専攻に入学を志願する者には、退学後 2 年以内に限り、これを許可することがある。

2　再入学した者の在籍年次、既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、所属の研究科委員会において決定する。

（転入学）

第 25 条　他の大学院の学生が本大学院に転入学しようとするときは、当該大学院設置の大学の学長又は所属研究科長の紹介状を添えて、学長に転入学願を提出しなければならない。

2　前項の願い出があったときは、欠員ある場合に限り、選考のうえ許可することがある。

3　転入学した者の在籍年次、既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については所属の研究科委員会において決定する。

第 6 章　休学、転学、退学及び除籍等

（休学）

第 26 条　疾病その他やむを得ない事由により、引き続き 3 か月以上修学できない見込みの者は、所定の手続により、学長の許可を得て休学することができる。

2　疾病等のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

（休学期間）

第 27 条　休学の期間は 1 年を超えることができない。ただし、やむを得ない事由があるときは、許可を得て更に 1 年以内に限り、期間を延長することができる。

2　休学の期間は、修士課程にあっては通算して 2 年、博士課程にあっては通算して 3 年を超えることができない。

3　休学の期間は、修業年限及び在学年限に算入しない。

（復学）

第 28 条　休学期間が満了するとき及び休学期間中であっても、その事由が消滅した場合には、保証人連署のうえ、所定の復学願を学長に提出し、各研究科委員会の議を経て学長の許可を得なければならない。

2　疾病が治癒して復学する者は、原則として休学開始時と同一の医師の診断書を提出し、学生・職員健

康サポートセンターの医師の面談を受けなければならない。
3　疾病以外の理由で休学し復学する者は、その事由が解消された証明書又は理由書を添付しなければならない。
（転学）
第 29 条　本大学院から他の大学院へ転学しようとする者は、所定の手続により、学長に願い出て許可を受けなければならない。
（退学）
第 30 条　退学しようとする者は、その事由を付して、保証人連署のうえ、所定の様式により学長に願い出て、許可を受けなければならない。
2　前項の規定にかかわらず、学長は、学生が疾病その他の事由で成業の見込みがないと認めたときは、退学を命ずることができる。
（除籍）
第 31 条　次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。
（1）　学生納付金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
（2）　第 6 条に定める在学年限を超えた者
（3）　第 27 条第 2 項に定める休学の期間を超えてもなお修学できない者
（4）　長期間にわたり行方不明の者
（5）　死亡した者
第 7 章　専攻の変更
（変更）
第 32 条　博士課程の専攻の変更は、原則として認めない。ただし、特別の事情がある場合は、学長が専攻の変更を許可することがある。
第 33 条　専攻を変更した後の在学すべき年限及び既修得単位の認定等については、当該学生の履修状況等を勘案して、学長が決定する。
2　前項により修業年限を変更された場合であっても、第 6 条第 1 項及び第 2 項に定める博士課程の在学年限を超えることができない。

第 8 章　表彰及び懲戒
（表彰）
第 34 条　学長は、学業及び操行が優秀で他の学生の模範となる学生を表彰することができる。
（懲戒）
第 35 条　学長は、学生が大学院学則その他の規程に違反し、若しくは秩序を乱し、又は学生の本分に反する行為があったときは、当該学生を懲戒することができる。
2　懲戒は、情状により戒告、停学及び退学とする。
3　前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
（1）　性行不良で改善の見込みがないと認められる者
（2）　学業劣等で成業の見込みがないと認められる者
（3）　正当の理由なくして出席常でない者

（4） 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4　停学の期間は、在学年限に算入し、修業年限には算入しないものとする。ただし、停学期間が3か月未満の場合は、修業年限に算入することができる。

5　懲戒に関する手続きは、別に定める。

第9章　研究生、専攻生、聴講生、委託生及び外国人留学生

（研究生及び専攻生）

第36条　本大学院博士課程において、特定の課題について研究することを志願する者があるときは、大学院の教育研究に支障のない限り、選考のうえ、研究生及び専攻生として入学を許可することがある。

2　研究生及び専攻生を志願することのできる者は、大学（6年制の医学、歯学、獣医学又は薬学の課程）卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

3　その他、研究生及び専攻生に関して必要な事項は、別に定める。

（聴講生）

第37条　特定の授業科目の聴講を願い出る者のあるときは、教育に支障がない限り、聴講生として入学を許可することがある。

2　その他、聴講生に関して必要な事項は、別に定める。

（委託生）

第38条　官庁又は公共団体等から1学期以上を在学期間とし、学修する授業科目を指定して教育の委託の願い出のあるときは、選考のうえ、委託生として入学を許可することがある。

2　その他、委託生に関して必要な事項は、別に定める。

（外国人留学生）

第39条　外国人で、大学において教育を受ける目的で入国し、本大学院に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可する。

2　その他、外国人留学生に関して必要な事項は、別に定める。

第10章　入学考査料及び学生納付金

（入学考査料及び学生納付金）

第40条　入学考査料及び学生納付金の額は、別表4のとおりとする。

2　学生納付金は、次の前期の所定の期日までに全納するか、又は次の2期の所定の期日までに等分して納入しなければならない。ただし、特別の事情がある場合には、期限を定めて納入の延期を認めることがある。

前期　4月30日まで

後期　10月31日まで

3　停学の懲戒を受けた者に係る学生納付金は、停学期間中であってもこれを徴収する。

4　休学を許可された者に係る学生納付金は、事情により減免することがある。

5　前項の減免に当たっては、各研究科委員会の議を経て、学長が決定する。

6　学年の中途において退学し、転学し、又は退学を命ぜられた者であっても、当該年度の学生納付金を納めなければならない。

7　学生納付金の滞納者は、納入後でなければ単位認定のための試験を受けることができない。

（免除等）
第 41 条　学業優秀である者又は経済的理由によって納付が困難な者に対しては、学生納付金の一部又は全部を免除することがある。
2　再入学者の入学金は、免除することがある。
（研究生、専攻生、聴講生及び委託生の入学考査料及び学生納付金）
第 42 条　研究生、専攻生、聴講生及び委託生の入学考査料及び学生納付金の額は、別表５のとおりとする。
（授業料等の返還）
第 43 条　納付した入学考査料及び学生納付金は、返還しない。ただし、入学許可を得た者で、指定の期日までに入学辞退を届け出た者については、入学金又はこれに相当する金額を除き授業料等を返還することがある。
（奨学生）
第 44 条　品行方正で学力優秀な学生で、他の学生の模範となると認められた学生を奨学生とすることがある。
2　奨学生に対しては、授業料の額の一部を給付するものとする。
3　その他、奨学生に関して必要な事項は、別に定める。
第 11 章　職員組織
（研究科長、専攻主任、教育職員等）
第 45 条　本大学院の研究科に、研究科長を置く。
2　医学研究科長は、医学研究科を統括する。
3　看護学研究科長は、看護学研究科を統括する。
4　研究科長は、学長がこれを兼ねることができる。
第 46 条　医学研究科及び看護学研究科の各専攻に、専攻主任を置く。
2　専攻主任は、当該専攻を統括する。
第 47 条　本大学院における授業及び研究指導は、東京医科大学大学院医学研究科教員選考基準の定めた研究指導教員、研究指導補助教員が行なう。
2　本大学院における授業は、東京医科大学大学院医学研究科教員選考基準の定めた授業担当教員が行う。
（事務職員）
第 48 条　本大学院の事務を処理するため、事務職員若干名を置く。
第 12 章　運営組織
（研究科委員会）
第 49 条　医学研究科に、医学研究科委員会を置く。
2　医学研究科委員会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり審議し、意見を述べるものとする。
（1）　大学院学則その他大学院に係る規程等の制定、改廃に関する事項
（2）　本大学院の組織の設置及び改廃に関する事項
（3）　入学、転学、退学、休学及び留学等学生の身分に関する事項

（４） 課程の修了及び学位の授与に関する事項
（５） 入学試験に関する事項
（６） 学生の試験及び評価に関する事項
（７） 教育課程の編成に関する事項
３　医学研究科委員会は、前項に規定するもののほか、教育研究に関する次に掲げる事項について審議し、学長の求めに応じ、意見を述べることができる。
（１） 学生の表彰及び懲戒に関する事項
（２） 学生の厚生補導に関する事項
（３） 本大学院に係る教育職員の選出に関する事項
（４） 学生納付金の減免に関する事項
（５） その他本大学院の教育・研究に関する学長の重要事項
４　その他医学研究科委員会の運営に関して必要な事項は、別に定める。
第 49 条の２　看護学研究科に、看護学研究科委員会を置く。
２　看護学研究科委員会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり審議し、意見を述べるものとする。
（１） 大学院学則その他大学院に係る規程等の制定、改廃に関する事項
（２） 本大学院の組織の設置及び改廃に関する事項
（３） 入学、転学、退学、休学及び留学等学生の身分に関する事項
（４） 課程の修了及び学位の授与に関する事項
（５） 入学試験に関する事項
（６） 学生の試験及び評価に関する事項
（７） 教育課程の編成に関する事項
３　看護学研究科委員会は、前項に規定するもののほか、教育研究に関する次に掲げる事項について審議し、学長の求めに応じ、意見を述べることができる。
（１） 学生の表彰及び懲戒に関する事項
（２） 学生の厚生補導に関する事項
（３） 本大学院に係る教育職員の選出に関する事項
（４） 学生納付金の減免に関する事項
（５） その他本大学院の教育・研究に関する学長の重要事項
４　その他看護学研究科委員会の運営に関して必要な事項は、別に定める。
（委員会）
第 50 条　医学研究科委員会は、必要に応じて委員会を設けることができる。
２　看護学研究科委員会は、必要に応じて委員会を設けることができる。
３　医学研究科委員会及び看護学研究科委員会に置く委員会に関する事項は、別に定める。
第 13 章　研究指導施設
第 51 条　本大学院に、学生研究室及び演習・実験実習室を置く。
２　学部及び附属施設の施設は、必要に応じ本大学院の学生の研究及び指導のために用いる。

第 14 章　補則

第 52 条　この学則に定めるもののほか、この学則の実施のために必要な規程等は、別に定める。

附　則

1　この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

2　この学則の施行に伴い、昭和 32 年 4 月 1 日制定の「東京医科大学大学院学則」及び昭和 32 年 4 月 1 日制定の「東京医科大学大学院医学研究科規程」は、廃止する。

3　前項の規定にかかわらず、平成 24 年 4 月 1 日以前に入学した者の学科目及び単位は、なお従前の例による。

4　平成 25 年度の医科学専攻（修士課程）の収容定員は、第 4 条の規定にかかわらず、10 名とする。

附　則（平成 26 年 2 月 19 日）

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。（第 3 条第 3 号、第 5 号、第 6 号、第 7 号、第 9 条第 2 項、第 12 条第 2 項、別表 2 の 1 の改正及び別表 2 の 2 の新設）

附　則（平成 27 年 2 月 20 日）

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。（第 3 条第 5 号、第 7 号、別表 1 及び別表 2 の 2 の改正）

附　則（平成 27 年 3 月 18 日）

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。（第 31 条、第 32 条、第 33 条第 1 項、第 34 条、第 35 条第 1 項、第 49 条第 2 項の改正及び第 35 条第 5 項並びに第 49 条第 3 項の新設以下繰下げ）

附　則（平成 27 年 6 月 17 日）

この学則は、平成 27 年 7 月 1 日から施行する。（第 3 条第 3 号、別表 2 の 2 の改正及び第 8 条第 2 項の新設）

附　則（平成 29 年 3 月 15 日）

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。（第 3 条第 5 号から第 8 号まで及び別表 2 の 2 の改正）

附　則（平成 30 年 1 月 17 日）

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。（第 9 条第 1 項及び別表 1 の改正並びに別表 1 の 2 の新設）

附　則（令和 2 年 3 月 18 日）

この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。（第 47 条、別表 1 の改正）

附　則（令和 4 年 3 月 8 日）

この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。（第 3 条第 4 号、5 号、7 号、8 号、第 9 条、第 15 条、第 16 号の改正及び第 15 条第 2 項、3 項の新設、別表 1 の 2 の削除、別表 2 の 1 の削除以下繰上げ、別表 2 の改正）【令和 4 年 3 月 23 日東医大発第 444 号】

附　則（令和 5 年 3 月 14 日）

この学則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。（第 28 条第 2 項の改正、第 3 項の新設及び別表 1 、別表 2 の改正）【令和 5 年 9 月 1 日東医大発第 298 号】

附　則（令和 6 年〇月〇日）

この学則は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

別表１

教育課程表

医学研究科医科学専攻（修士課程）

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験実習
専門科目	医学特論Ⅰ（総論）	1前	1			○		
	医学特論Ⅱ（生命倫理）	1前	1			○		
	医学特論Ⅲ（医学英語）	1前	1			○		
	医学特論Ⅳ（医科学一般）	1前	0.5			○		
	基礎生命科学特論	1前	0.5			○		
	分子細胞生物学特論	1前	1			○		
	分子病態学特論	1前	1			○		
	生体機能医学特論Ⅰ（分子生理学）	1前	1			○		
	生体機能医学特論Ⅱ（分子病理学）	1前	1			○		
	生体機能医学特論Ⅲ（神経解剖学）	1後	1			○		
	生体機能医学特論Ⅳ（分子薬理学）	1前	1			○		
	生体機能医学特論Ⅴ（感染症学）	1前	1			○		
	生体機能医学特論Ⅵ（分子免疫学）	1前	1			○		
	医療データサイエンス持論	1後	1			○		
	医学会総会発表	1～2	1				○	
	生体病態医学特論Ⅰ（リウマチ膠原病・神経内科学）	1後		0.5		○		
	生体病態医学特論Ⅱ（法医学）	1後		0.5		○		
	生体病態医学特論Ⅲ（循環器病学）	1後		0.5		○		
	生体病態医学特論Ⅳ（呼吸器・甲状腺学）	1後		0.5		○		
	医療安全管理学特論	2前		0.5		○		
	医学教育学特論	1後		0.5		○		
	人体構造学特論	1後		0.5		○		
	学内医学講演会（4回以上）	1～2		0.5			○	
	医科学特別研究	1～2	15				○	
合計		—	29	4	0	—		

修了要件及び履修方法

30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

別表２の１（第９条第２項関係）

教育課程表

医学研究科医学専攻（博士課程）

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数		授業形態			備考
				必修	選択	講義	演習	実験実習	
専門科目	医学専攻	人体構造学	１～３ １～３	6 14		○	○	 ○	専門科目は１科目 20 単位以上取得
		組織・神経解剖学	１～３ １～３	6 14		○	○	 ○	
		人体病理学	１～３ １～３	6 14		○	○	 ○	
		分子病理学	１～３ １～３	6 14		○	○	 ○	
		微生物学	１～３ １～３	6 14		○	○	 ○	
		細胞生理学	１～３ １～３	6 14		○	○	 ○	
		病態生理学	１～３ １～３	6 14		○	○	 ○	
		生化学	１～３ １～３	6 14		○	○	 ○	
		薬理学	１～３ １～３	6 14		○	○	 ○	
		免疫学	１～３ １～３	6 14		○	○	 ○	
		免疫制御学	１～３ １～３	6 14		○	○	 ○	
		公衆衛生学	１～３ １～３	6 14		○	○	 ○	
		健康増進スポーツ医学	１～３ １～３	6 14		○	○	 ○	
		法医学	１～３ １～３	6 14		○	○	 ○	
		医療の質・安全管理学	１～３ １～３	6 14		○	○	 ○	
		医療データサイエ	１～３	6		○	○		

ンス学	1～3	14				○
血液内科学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
呼吸器内科学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
循環器内科学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
糖尿病・代謝・内	1～3	6		○	○	
分泌内科学	1～3	14				○
リウマチ・膠原病	1～3	6		○	○	
内科学	1～3	14				○
神経内科学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
消化器内科学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
内科系	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
精神医学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
小児科･思春期科学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
皮膚科学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
放射線医学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
臨床検査医学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
高齢総合医学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
腎臓内科学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
呼吸器・甲状腺外	1～3	6		○	○	
科学	1～3	14				○
乳腺科学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
心臓血管外科学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○

		消化器･小児外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		消化器外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		消化器外科・移植外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		整形外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		眼科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		泌尿器科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		産科婦人科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		麻酔科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		脳神経外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		口腔外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		形成外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		救急・災害医学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		小計（1科目）	―	20		―			
コースワーク	コースワーク講義・演習		1～3	3		○	○		コースワーク別研究発表及び講義、特別講義出席、医学会総会発表及び出席
	コースワーク実習		1～3	2				○	
		小計（2科目）	―	5		―			
共通科目	ステップ1		1	1		○	○		講義
	ステップ2								
	医学研究における法と倫理		1～3	1		○	○		

	医療データサイエンス	1～3	2		○	○		
	国際発信のための論文執筆とプレゼンテーション	1～3	0.5		○	○		
	グラント申請の書き方・研究資金の確保	1～3	0.5		○	○		
	小計（5科目）	—	5		—			
合計（8科目）		—	30		—			
修了要件及び履修方法								
専門科目20単位以上、コースワーク5単位以上、共通科目5単位を修得し、計30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。								

別表2の2（第9条第2項関係）

教育課程表

（医学研究科博士課程）　　令和6年度入学者迄

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数		授業形態			備考
				必修	選択	講義	演習	実験実習	
専門科目	形態系専攻	人体構造学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	専門科目は1科目20単位以上取得
		組織・神経解剖学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		人体病理学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		分子病理学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		微生物学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
	機能系専攻	細胞生理学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		病態生理学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		生化学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		薬理学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		免疫学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		免疫制御学	1～3	6		○	○		

		1～3	14				○
社会医学系専攻	公衆衛生学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	健康増進スポーツ医学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	法医学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	医療の質・安全管理学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	医療データサイエンス学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	医学教育学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
内科系専攻	血液内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	呼吸器内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	循環器内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	糖尿病・代謝・内分泌内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	リウマチ・膠原病内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	神経内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	消化器内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	消化器内視鏡学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	内科系	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	精神医学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	小児科･思春期科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	皮膚科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○

		放射線医学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		臨床検査医学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		高齢総合医学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		腎臓内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
	外科系専攻	呼吸器・甲状腺外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		乳腺科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		心臓血管外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		消化器･小児外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		消化器外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		消化器外科・移植外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		整形外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		眼科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		泌尿器科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		産科婦人科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		麻酔科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		脳神経外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		口腔外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		形成外科学	1～3	6		○	○	

		1～3	14				○
	救急・災害医学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
社会人大学院・臨床研究系	血液内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	呼吸器内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	循環器内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	糖尿病・代謝・内分泌内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	リウマチ・膠原病内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	神経内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	消化器内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	消化器内視鏡学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	内科系	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	精神医学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	小児科･思春期科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	皮膚科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	放射線医学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	臨床検査医学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	高齢総合医学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	腎臓内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	呼吸器・甲状腺外科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○

		乳腺科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		心臓血管外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		消化器･小児外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		消化器外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		消化器外科・移植外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		整形外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		眼科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		泌尿器科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		産科婦人科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		麻酔科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		脳神経外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		口腔外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		形成外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		救急・災害医学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
	社会人大学院・研究系	人体構造学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		組織・神経解剖学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		人体病理学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		分子病理学	1～3	6		○	○	

			1～3	14				○	
		微生物学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		細胞生理学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		病態生理学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		生化学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		薬理学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		免疫学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		免疫制御学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		公衆衛生学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		健康増進スポーツ医学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		法医学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		医療の質・安全管理学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		医療データサイエンス学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		医学教育学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		小計（1科目）	—	20		—			
コースワーク	コースワーク講義・演習		1～3	3		○	○		コースワーク別研究発表及び講義、特別講義出席、医学会総会発表及び出席
	コースワーク実習		1～3	2				○	
		小計（2科目）	—	5		—			
共通科目	ステップ1		1	1			○		講義
	ステップ2								

	医学研究における法と倫理	1～3	1			○		
	医療データサイエンス	1～3	2			○		
	国際発信のための論文執筆とプレゼンテーション	1～3	0.5			○		
	グラント申請の書き方・研究資金の確保	1～3	0.5			○		
	小計（5科目）	—	5		—			
合計（8科目）		—	30		—			
修了要件及び履修方法								
専門科目20単位以上、コースワーク5単位以上、共通科目5単位を修得し、計30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。								

別表3（第9条第3項関係）

教育課程

看護学研究科看護学専攻（修士課程）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
共通基礎科目		看護理論特論	1後		2		○			
		看護倫理特論	1前	＊2	2		○			
		看護研究方法論Ⅰ	1前	2			○			
		看護研究方法論Ⅱ	1後	1	＊1		○			
		医療データサイエンス特論	1後	1	＊1		○			
		コンサルテーション特論	1後		2		○			
		看護教育特論	1前	2			○			
		看護マネジメント特論	1前	2			○			
		異文化看護特論	1後	2	＊2		○			
		フィジカルアセスメント	1通	＊2	2			○		
		臨床薬理学	1後	＊2	2		○			
		病態生理学	1前	＊2	2		○			
		小計（12科目）	－				－			
基盤看護学領域科目	基礎看護学分野科目	基礎看護学特論Ⅰ	1前		2		○			
		基礎看護学特論Ⅱ	1後		2		○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2前		2			○		
		基礎看護学演習Ⅱ	2後		2			○		
		小計（4科目）	－				－			

こども・女性看護学領域科目	こども看護学分野科目	こども看護学特論Ⅰ（発達理論）	1前		2		○			
		こども看護学特論Ⅱ（健康の維持・増進、回復）	1前		2		○			
		こども看護学特論Ⅲ（看護実践と倫理）	1前		＊2		○			
		こども看護学特論Ⅳ（制度・政策、調整・協働）	1後		＊2		○			
		こども看護学演習Ⅰ（包括的アセスメント）	1前		2			○		
		こども看護学演習Ⅱ（病態生理･診断･治療）	1前		＊2			○		
		こども看護学演習Ⅲ（多様な健康状態と生活の場）	1後		2			○		
		こども看護学実習Ⅰ（診断・治療）	1後		＊2				○	
		こども看護学実習Ⅱ（高度実践/プライマリケア）	2通		＊4				○	
		こども看護学実習Ⅲ（高度実践）	2通		＊4				○	
		小計（10科目）	－				－			
	ウィメンズヘルス看護学分野科目	ウィメンズヘルス看護学特論Ⅰ	1前		2		○			
		ウィメンズヘルス看護学特論Ⅱ	1後		2		○			
		ウィメンズヘルス看護学演習Ⅰ	1前		2			○		
		ウィメンズヘルス看護学演習Ⅱ	1後		2			○		
		小計（4科目）	－				－			
療養支援看護学領域科目	がん看護学分野科目	がん看護学特論Ⅰ(がん看護学理論)	1前		2		○			
		がん看護学特論Ⅱ(がん看護学援助論)	1前		2		○			
		がん看護学特論Ⅲ(がんの	1前	＊2	2		○			

		病態と診断治療）								
		がん看護学特論Ⅳ（がん薬物療法看護）	1後	＊2	2		○			
		がん看護学特論Ⅴ（緩和ケア）	1後	＊2	2		○			
		がん看護学演習Ⅰ（エビデンス検索と活用）	1後		2			○		
		がん看護学演習Ⅱ（フィールドワーク）	1後		2			○		
		がん看護学演習Ⅲ（がん看護実践演習）	2前	＊2				○		
		がん看護学実習Ⅰ（診断治療実習）	1後	＊2					○	
		がん看護学実習Ⅱ（役割開発実習）	1後	＊2					○	
		がん看護学実習Ⅲ（高度実践実習：がん薬物療法看護）	2通	＊3					○	
		がん看護学実習Ⅳ（高度実践実習：緩和ケア）	2通	＊3					○	
		小計（12科目）	－				－			
	精神看護学分野科目	精神看護学特論Ⅰ（歴史と法制度）	1前		2		○			
		精神看護学特論Ⅱ（心身のアセスメント）	1前		2		○			
		精神看護学特論Ⅲ（精神科の治療技法）	1前	＊2	2		○			
		精神看護学特論Ⅳ（看護理論と援助技法）	1後	＊3	3		○			
		精神看護学特論Ⅴ（リエゾン精神看護）	1後	＊4			○			
		精神看護学演習Ⅰ（フィールドワーク）	1後		2			○		
		精神看護学演習Ⅱ（援助技法に関する演習）	2前		2			○		
		精神看護学実習Ⅰ（高度実践/直接ケア）	2通	＊6					○	
		精神看護学実習Ⅱ（高度実	2通	＊2					○	

		践/CNS の役割）								
		精神看護学実習Ⅲ（高度実践/リエゾン精神看護）	2 通	＊2					○	
		小計（10 科目）	－				－			
広域看護学領域科目	公衆衛生看護学分野科目	公衆衛生看護学特論Ⅰ	1 前		2		○			
		公衆衛生看護学特論Ⅱ	1 前		2		○			
		公衆衛生看護学演習Ⅰ	1 後		2			○		
		公衆衛生看護学演習Ⅱ	1 後		2			○		
		小計（4 科目）	－				－			
	国際看護学分野科目	国際看護学特論Ⅰ	1 前		2		○			
		国際看護学特論Ⅱ	1 後		2		○			
		国際看護学演習Ⅰ	2 前		2			○		
		国際看護学演習Ⅱ	2 通		2			○		
		小計（4 科目）	－				－			
研究科目		特別研究Ⅰ	1 後		2			○		
		特別研究Ⅱ	2 通		6			○		
		課題研究	1~2 通		＊4			○		
		小計（3 科目）	－				－			
合計（64 科目）			－				－			
卒業・修了要件及び履修方法										
研究コースでは、所定の 30 単位を取得し、修士論文審査及び最終試験に合格することとする。 高度実践看護師コースでは、所定の 44 単位を取得し、課題研究の審査及び最終試験に合格することとする。										

＊高度実践看護師コースに適用

別表 4　入学考査料及び学生納付金（第 40 条関係）

課程	専攻名	学年	入学考査料	学生納付金		計
				入学金	授業料	
修士課程	医科学専攻	―	10,000 円	―	―	―
		1 年次	―	100,000 円	400,000 円	500,000 円
		2 年次	―	―	400,000 円	400,000 円
	看護学専攻	―	35,000 円	―	―	―
		1 年次	―	300,000 円	1,000,000 円	1,300,000 円
		2 年次	―		1,000,000 円	1,000,000 円
博士課程	医学専攻	―	10,000 円	―	―	―
		1 年次	―	100,000 円	400,000 円	500,000 円
		2 年次	―	―	400,000 円	400,000 円

		3 年次	―	―	400,000 円	400,000 円
		4 年次	―	―	400,000 円	400,000 円
博士課程	形態系専攻、機能系専攻、社会医学系専攻、内科系専攻、外科系専攻、社会人大学院・臨床研究系専攻、社会人大学院・研究系専攻（令和 6 年度入学者迄）	―	10,000 円	―	―	―
		1 年次	―	100,000 円	400,000 円	500,000 円
		2 年次	―	―	400,000 円	400,000 円
		3 年次	―	―	400,000 円	400,000 円
		4 年次	―	―	400,000 円	400,000 円

※看護学研究科修士課程看護学専攻において高度実践看護師コースは別途、実習費 100,000 円（年額）を徴収する。

別表 5　大学院の研究生、専攻生、聴講生及び委託生に係る入学考査料及び学生納付金（第 42 条関係）

区分	入学考査料	学生納付金	
		入学金	授業料
研究生 専攻生	20,000 円	150,000 円	年額 300,000 円
聴講生	10,000 円	100,000 円	月額 20,000 円
委託生	10,000 円	100,000 円	月額 20,000 円

備考 1：本学を卒業した者の研究生及び専攻生の入学金は、100,000 円とする。

備考 2：上記の学生納付金のほか、実習費として別途徴収することがある。

変更事項を記載した書類

医学研究科医学専攻の設置届出に伴い、現行の大学院学則に新たに追加又は整理する事項は、以下の通りである。

なお、大学学則の変更はない。

① 第3条に医学専攻を置くことを規定し、現行専攻に入学年度を追記。

② 第3条第2号に医学専攻の目的を規定

③ 第3条第3号より第10号までの繰り下げ

④ 第4条に医学専攻の入学定員・収容定員を規定

⑤ 第4条の現行専攻に入学年度を追記

⑥ 第9条第2項　別表2の1に医学専攻の教育課程表について規定

⑦ 第9条第3項　別表2の2に現専攻の教育課程表について規定、入学年度を追記

⑧ 第9条第4項　繰り下げ

⑨ 第40条　別表4に医学専攻の入学考査料及び学生納付金を規定

⑩ 第40条　別表4の現専攻に入学年度を追記

変更部分の新旧対照表

改正

東京医科大学大学院学則

第１章　総則

（目的）

第１条　東京医科大学大学院（以下「本大学院」という。）は、教育基本法及び学校教育法に基づき、先端的な研究の高度化を推進し、新しい時代に即応した人材を育成することを目的とする。

（課程）

第２条　本大学院に、次の研究科及び課程を置く。

研究科	課程
医学研究科	修士課程 博士課程
看護学研究科	修士課程

２　医学研究科修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を養うことを目的とする。

３　医学研究科博士課程は、学術の理論及び応用を教授し、創造性、活力、人間性豊かな総合判断力かつ国際的な視点を有し、医学の発展を通して人類に貢献・寄与しうる指導力を兼ね備えた人材を養成することを目的とする。

４　看護学研究科修士課程は「高度な専門的知識・能力をもつ高度専門職業人の養成」を担うべき人材養成機能とし、「高度な看護実践能力、基礎的な教育研究能力を備えた看護職の養成」を主たる教育上の目的とする。

（研究科の組織及び目的）

第３条　本大学院の医学研究科及び看護学研究科に次の専攻を置く。

研究科	課程	専攻
医学研究科	修士課程	医科学
	博士課程	医学
	博士課程	形態系

現行

東京医科大学大学院学則

第１章　総則

（目的）

第１条　東京医科大学大学院（以下「本大学院」という。）は、教育基本法及び学校教育法に基づき、先端的な研究の高度化を推進し、新しい時代に即応した人材を育成することを目的とする。

（課程）

第２条　本大学院に、次の研究科及び課程を置く。

研究科	課程
医学研究科	修士課程 博士課程
看護学研究科	修士課程

２　医学研究科修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を養うことを目的とする。

３　医学研究科博士課程は、学術の理論及び応用を教授し、創造性、活力、人間性豊かな総合判断力かつ国際的な視点を有し、医学の発展を通して人類に貢献・寄与しうる指導力を兼ね備えた人材を養成することを目的とする。

４　看護学研究科修士課程は「高度な専門的知識・能力をもつ高度専門職業人の養成」を担うべき人材養成機能とし、「高度な看護実践能力、基礎的な教育研究能力を備えた看護職の養成」を主たる教育上の目的とする。

（研究科の組織及び目的）

第３条　本大学院の医学研究科及び看護学研究科に次の専攻を置く。

研究科	課程	専攻
医学研究科	修士課程	医科学
	（新設）	（新設）
	博士課程	形態系

改正			
		（令和6年度入学者迄）	機能系
			社会医学系
			内科系
			外科系
			社会人大学院・臨床研究系
			社会人大学院・研究系
	看護学研究科	修士課程	看護学

（1） 医科学専攻

医科学専攻は、基礎医科学分野の知識を統合的に習得させ、医科学研究を実践することで、多様な医学・医療関連の分野で活躍できる医学研究者及び医学研究に関連する業務に携わる人材を養成する。

（2） 医学専攻

医学専攻は、共通科目による高い倫理観と論理的思考の涵養、基礎・社会医学系分野と臨床系分野が融 合して構成されるコースワークおよび専門科目による体系的な高度な知識と能力の修得を通して、新たな 学理を拓く研究を実践し、医学の発展、人類の福祉に貢献する人間性豊かな研究者ならびに研究指導者を養成する。

（3） 形態系専攻

形態系専攻は、人体構造学、組織・神経解剖学、人体病理学、分子病理学及び微生物学の５分野からなり、人体の臓器、組織の解剖学的研究、疾患に対する病理学的アプローチまで主に形態学的観点から人体の構造と病態の解明に取組み、基礎及び臨床医学の発展に寄与できる能力を有する人材を養成する。

（4） 機能系専攻

機能系専攻は、細胞生理学、病態生理学、生化学、薬理学、免疫学及び免疫制御学の６分野からなり、薬物の生体に与える作用機序の解明、中枢神経系への生理学的アプローチ、免疫反応の仕組など生体機能、生体防御に関わる研究を行い、研究指導者や大学等の教員となりうる人材を養成する。

（5） 社会医学系専攻

社会医学系専攻は、公衆衛生学、健康増進スポーツ医学、法医学、医

現行		
		機能系
		社会医学系
		内科系
		外科系
		社会人大学院・臨床研究系
		社会人大学院・研究系
看護学研究科	修士課程	看護学

（1） 医科学専攻

医科学専攻は、基礎医科学分野の知識を統合的に習得させ、医科学研究を実践することで、多様な医学・医療関連の分野で活躍できる医学研究者及び医学研究に関連する業務に携わる人材を養成する。

（新設）

（2） 形態系専攻

形態系専攻は、人体構造学、組織・神経解剖学、人体病理学、分子病理学及び微生物学の５分野からなり、人体の臓器、組織の解剖学的研究、疾患に対する病理学的アプローチまで主に形態学的観点から人体の構造と病態の解明に取組み、基礎及び臨床医学の発展に寄与できる能力を有する人材を養成する。

（3） 機能系専攻

機能系専攻は、細胞生理学、病態生理学、生化学、薬理学、免疫学及び免疫制御学の６分野からなり、薬物の生体に与える作用機序の解明、中枢神経系への生理学的アプローチ、免疫反応の仕組など生体機能、生体防御に関わる研究を行い、研究指導者や大学等の教員となりうる人材を養成する。

（4） 社会医学系専攻

社会医学系専攻は、公衆衛生学、健康増進スポーツ医学、法医学、医療

改正	現行
療の質・安全管理学、医療データサイエンス及び医学教育学の６分野からなり、疫学的研究、心身の健康維持、医療事故の現状と予防対策を構築できる人材を養成するとともに、新しい教育の開発や導入、教育活動の改革を促進できる能力を養成する。	の質・安全管理学、医療データサイエンス及び医学教育学の６分野からなり、疫学的研究、心身の健康維持、医療事故の現状と予防対策を構築できる人材を養成するとともに、新しい教育の開発や導入、教育活動の改革を促進できる能力を養成する。
（６）　内科系専攻	（５）　内科系専攻
内科系専攻は、血液内科学、呼吸器内科学、循環器内科学、糖尿病・代謝・内分泌内科学、リウマチ・膠原病内科学、神経学、消化器内科学、消化器内視鏡学、内科系、精神医学、小児科・思春期科学、皮膚科学、放射線医学、臨床検査医学、高齢総合医学及び腎臓内科学の16分野からなり、各分野の医療を実践できる専門医認定医と高度な水準の医学研究に基づいた研究マインドと指導力を兼ね備えた研究指導者を養成する。	内科系専攻は、血液内科学、呼吸器内科学、循環器内科学、糖尿病・代謝・内分泌内科学、リウマチ・膠原病内科学、神経学、消化器内科学、消化器内視鏡学、内科系、精神医学、小児科・思春期科学、皮膚科学、放射線医学、臨床検査医学、高齢総合医学及び腎臓内科学の16分野からなり、各分野の医療を実践できる専門医認定医と高度な水準の医学研究に基づいた研究マインドと指導力を兼ね備えた研究指導者を養成する。
（７）　外科系専攻	（６）　外科系専攻
外科系専攻は、呼吸器・甲状腺外科学、乳腺科学、心臓血管外科学、消化器・小児外科学、消化器外科学、消化器外科・移植外科学、整形外科学、眼科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、産科婦人科学、麻酔科学、脳神経外科学、口腔外科学、形成外科学及び救急・災害医学の16分野からなり、疾病に対して観血的手技を用いて人体の回復を図ることが中心となる。したがって、外科学的な基本知識と技能を学び、その知識、技能を基に実践につながる応用力、未解明分野を研究する臨床医及び研究指導者を養成する。	外科系専攻は、呼吸器・甲状腺外科学、乳腺科学、心臓血管外科学、消化器・小児外科学、消化器外科学、消化器外科・移植外科学、整形外科学、眼科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、産科婦人科学、麻酔科学、脳神経外科学、口腔外科学、形成外科学及び救急・災害医学の16分野からなり、疾病に対して観血的手技を用いて人体の回復を図ることが中心となる。したがって、外科学的な基本知識と技能を学び、その知識、技能を基に実践につながる応用力、未解明分野を研究する臨床医及び研究指導者を養成する。
（８）　社会人大学院・臨床研究系専攻	（７）　社会人大学院・臨床研究系専攻
社会人大学院・臨床研究系専攻は、血液内科学、呼吸器内科学、循環器内科学、糖尿病・代謝・内分泌内科学、リウマチ・膠原病内科学、神経学、消化器内科学、消化器内視鏡学、内科系、精神医学、小児科・思春期科学、皮膚科学、放射線医学、臨床検査医学、高齢総合医学、腎臓内科学、呼吸器・甲状腺外科学、乳腺科学、心臓血管外科学、消化器・小児外科学、消化器外科学、消化器外科・移植外科学、整形外科学、眼科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、産科婦人科学、麻酔科学、脳神経外科学、口腔外科学、形成外科学及び救急・災害医学の32分野からなり、優秀な人材を求めるため広く社会に門戸を開き、優秀な臨床医及び研究指導者を養成する。	社会人大学院・臨床研究系専攻は、血液内科学、呼吸器内科学、循環器内科学、糖尿病・代謝・内分泌内科学、リウマチ・膠原病内科学、神経学、消化器内科学、消化器内視鏡学、内科系、精神医学、小児科・思春期科学、皮膚科学、放射線医学、臨床検査医学、高齢総合医学、腎臓内科学、呼吸器・甲状腺外科学、乳腺科学、心臓血管外科学、消化器・小児外科学、消化器外科学、消化器外科・移植外科学、整形外科学、眼科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、産科婦人科学、麻酔科学、脳神経外科学、口腔外科学、形成外科学及び救急・災害医学の32分野からなり、優秀な人材を求めるため広く社会に門戸を開き、優秀な臨床医及び研究指導者を養成する。

改正

（9） 社会人大学院・研究系専攻

社会人大学院・研究系専攻は、人体構造学、組織・神経解剖学、人体病理学、分子病理学、微生物学、細胞生理学、病態生理学、生化学、薬理学、免疫学、免疫制御学、公衆衛生学、健康増進スポーツ医学、法医学、医療の質・安全管理学及び医療データサイエンス及び医学教育学の17分野からなり、優秀な人材を求めるため広く社会に門戸を開き、優秀な医学教育者及び研究指導者を養成する。

（10）看護学専攻

建学の精神「自主自学」と教育ビジョン「社会に出てからも永く活躍できる人材の育成」に基づき、基礎教育で身につけた能力を更に深化させ、高度な看護実践能力および基礎的な教育研究能力を備え、実践現場から看護の質向上に貢献する人材、将来教育研究者として看護学の発展に貢献できる人材を養成する。

（学生定員）

第４条　医学研究科及び看護研究科の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

	課程	専攻名	入学定員	収容定員
医学研究科	修士課程	医科学専攻	10名	20名
	博士課程	医学専攻	68名	272名
	博士課程（令和6年度入学者迄）	形態系専攻	10名	40名
		機能系専攻	10名	40名
		社会医学系専攻	４名	16名
		内科系専攻	10名	40名
		外科系専攻	10名	40名
		社会人大学院・臨床研究系専攻	20名	80名
		社会人大学院・研究系専攻	４名	16名
		小計	68名	272名
	合計		78名	292名
看護学研究科	修士課程	看護学専攻	6名	12名

現行

（8） 社会人大学院・研究系専攻

社会人大学院・研究系専攻は、人体構造学、組織・神経解剖学、人体病理学、分子病理学、微生物学、細胞生理学、病態生理学、生化学、薬理学、免疫学、免疫制御学、公衆衛生学、健康増進スポーツ医学、法医学、医療の質・安全管理学、医療データサイエンス及び医学教育学の17分野からなり、優秀な人材を求めるため広く社会に門戸を開き、優秀な医学教育者及び研究指導者を養成する。

（9）看護学専攻

建学の精神「自主自学」と教育ビジョン「社会に出てからも永く活躍できる人材の育成」に基づき、基礎教育で身につけた能力を更に深化させ、高度な看護実践能力および基礎的な教育研究能力を備え、実践現場から看護の質向上に貢献する人材、将来教育研究者として看護学の発展に貢献できる人材を養成する。

（学生定員）

第４条　医学研究科及び看護研究科の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

	課程	専攻名	入学定員	収容定員
医学研究科	修士課程	医科学専攻	10名	20名
	（新設）	（新設）	（新設）	（新設）
	博士課程（追加）	形態系専攻	10名	40名
		機能系専攻	10名	40名
		社会医学系専攻	４名	16名
		内科系専攻	10名	40名
		外科系専攻	10名	40名
		社会人大学院・臨床研究系専攻	20名	80名
		社会人大学院・研究系専攻	４名	16名
		小計	68名	272名
	合計		78名	292名
看護学研究科	修士課程	看護学専攻	6名	12名

改正	現行
第２章　修業年限、在学年限、学年及び学期等 （授業科目及び単位） 第９条　医科学専攻の授業科目及び単位等は、別表１のとおりとする。 ２　第３条第２号　医学専攻の授業科目及び単位等は、別表２の１のとおりとする。 ３　第３条第３号から第９号までの各専攻の授業科目及び単位等は、別表２の２のとおりとする。 ４　看護学研究科修士課程の授業科目及び単位等は、別表３のとおりとする。 （略） 第 10 章　入学考査料及び学生納付金 （入学考査料及び学生納付金） 第 40 条　入学考査料及び学生納付金の額は、別表４のとおりとする。 （略） 第14章　補則 第52条　この学則に定めるもののほか、この学則の実施のために必要な規程等は、別に定める。 附　則 １　この学則は、平成25年４月１日から施行する。 （略） 附　則（令和５年３月14日） この学則は、令和５年４月１日から施行する。（第28条第２項の改正、第３項の新設及び別表１、別表２の改正）【令和５年９月１日東医大発第298号】 附　則（令和６年〇月〇日） この学則は、令和７年４月１日から施行する。 別表１（第９条第１項関係） （略）	第２章　修業年限、在学年限、学年及び学期等 （授業科目及び単位） 第９条　医科学専攻の授業科目及び単位等は、別表１のとおりとする。 ２　医学研究科博士課程の授業科目及び単位等は、別表２のとおりとする。 （追加） ３　看護学研究科修士課程の授業科目及び単位等は、別表３のとおりとする。 （略） 第 10 章　入学考査料及び学生納付金 （入学考査料及び学生納付金） 第 40 条　入学考査料及び学生納付金の額は、別表４のとおりとする。 （略） 第14章　補則 第52条　この学則に定めるもののほか、この学則の実施のために必要な規程等は、別に定める。 附　則 １　この学則は、平成25年４月１日から施行する。 （略） 附　則（令和５年３月14日） この学則は、令和５年４月１日から施行する。（第28条第２項の改正、第３項の新設及び別表１、別表２の改正）【令和５年９月１日東医大発第298号】 別表１（第９条第１項関係） （略）

改正	現行

別表２の１（第９条第２項関係）

教育課程表

医学研究科医学専攻（博士課程）

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験実習	備考
専門科目	医学専攻	人体構造学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	専門科目は１科目20単位以上取得
		組織・神経解剖学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		人体病理学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		分子病理学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		微生物学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		細胞生理学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		病態生理学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		生化学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		薬理学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		免疫学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		免疫制御学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		公衆衛生学	１～３	６		○	○		

別表２（第９条第２項関係）

（新設）

改正											現行
				1～3	14				○		
			健康増進スポーツ医学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○		
			法医学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○		
			医療の質・安全管理学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○		
			医療データサイエンス	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○		
			血液内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○		
			呼吸器内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○		
			循環器内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○		
			糖尿病・代謝・内分泌内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○		
			リウマチ・膠原病内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○		
			神経学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○		
			消化器内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○		
			内科系	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○		
			精神医学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○		
			小児科・思	1～3	6		○	○			

改正										現行
			春期科学	1～3	14				○	
			皮膚科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
			放射線医学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
			臨床検査医学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
			高齢総合医学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
			腎臓内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
			呼吸器・甲状腺外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
			乳腺科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
			心臓血管外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
			消化器・小児外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
			消化器外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
			消化器外科・移植外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
			整形外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
			眼科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
			泌尿器科学	1～3	6		○	○		

改正											現行
				1～3	14				○		
			耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○		
			産科婦人科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○		
			麻酔科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○		
			脳神経外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○		
			口腔外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○		
			形成外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○		
			救急・災害医学	1～3 1～3	6 14		○	○	○		
			小計（1科目）	―	20		―				
	コースワーク	コースワーク講義・演習		1～3	3		○	○		コースワーク別研究発表及び講義、特別講義出席、医学会総会発表及び出席	
		コースワーク実習		1～3	2				○		
			小計（2科目）	―	5		―				
	共通	ステップ1		1	1		○	○		講義	

改正

科目	ステップ２						
	医学研究における法と倫理	１～３	１		○	○	
	医療データサイエンス	１～３	２		○	○	
	国際発信のための論文執筆とプレゼンテーション	１～３	0.5		○	○	
	グラント申請の書き方・研究資金の確保	１～３	0.5		○	○	
	小計（５科目）	―	５		―		
合計（８科目）		―	30		―		
修了要件及び履修方法							
専門科目20単位以上、コースワーク５単位以上、共通科目５単位を修得し、計30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。							

別表２の２（第９条第２項関係）

教育課程表

（医学研究科博士課程）　令和6年度入学者迄

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験実習	備考
専門科目	形態系専攻	人体構造学	１～３	６		○	○		専門科目は１科目20単位以上取得
			１～３	14				○	
		組織・神経解剖学	１～３	６		○	○		
			１～３	14				○	
		人体病理学	１～３	６		○	○		
			１～３	14				○	

現行

別表２（第９条第２項関係）

教育課程表

（医学研究科博士課程）　（追加）

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数 必修	単位数 選択	授業形態 講義	授業形態 演習	授業形態 実験実習	備考
専門科目	形態系専攻	人体構造学	１～３	６		○	○		専門科目は１科目20単位以上取得
			１～３	14				○	
		組織・神経解剖学	１～３	６		○	○		
			１～３	14				○	
		人体病理学	１～３	６		○	○		
			１～３	14				○	

改正										現行									
			分子病理学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				分子病理学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			微生物学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				微生物学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
		機能系専専攻	細胞生理学	1～3 1～3	6 14		○	○	○			機能系専専攻	細胞生理学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			病態生理学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				病態生理学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			生化学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				生化学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			薬理学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				薬理学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			免疫学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				免疫学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			免疫制御学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				免疫制御学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
		社会医学系専攻	公衆衛生学	1～3 1～3	6 14		○	○	○			社会医学系専攻	公衆衛生学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			健康増進スポーツ医学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				健康増進スポーツ医学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			法医学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				法医学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			医療の質・安全管理学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				医療の質・安全管理学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			医療データサイエンス	1～3 1～3	6 14		○	○	○				医療データサイエンス	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			医学教育学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				医学教育学	1～3 1～3	6 14		○	○	○

改正											現行									
		内科系専攻	血液内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○			内科系専攻	血液内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			呼吸器内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				呼吸器内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			循環器内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				循環器内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			糖尿病・代謝・内分泌内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				糖尿病・代謝・内分泌内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			リウマチ・膠原病内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				リウマチ・膠原病内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			神経学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				神経学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			消化器内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				消化器内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			消化器内視鏡学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				消化器内視鏡学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			内科系	1～3 1～3	6 14		○	○	○				内科系	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			精神医学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				精神医学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			小児科・思春期科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				小児科・思春期科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			皮膚科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				皮膚科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			放射線医学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				放射線医学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			臨床検査医	1～3	6		○	○					臨床検査医	1～3	6		○	○		

改正										現行									
			学	1～3	14				○				学	1～3	14				○
			高齢総合医学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				高齢総合医学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			腎臓内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				腎臓内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
		外科系専攻	呼吸器・甲状腺外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○			外科系専攻	呼吸器・甲状腺外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			乳腺科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				乳腺科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			心臓血管外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				心臓血管外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			消化器・小児外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				消化器・小児外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			消化器外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				消化器外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			消化器外科・移植外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				消化器外科・移植外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			整形外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				整形外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			眼科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				眼科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			泌尿器科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				泌尿器科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○
			産科婦人科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				産科婦人科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○

改正										現行									
			麻酔科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				麻酔科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○		
			脳神経外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				脳神経外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○		
			口腔外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				口腔外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○		
			形成外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				形成外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○		
			救急・災害医学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				救急・災害医学	1～3 1～3	6 14		○	○	○		
		社会人大学院・臨床研究系	血液内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○			社会人大学院・臨床研究系	血液内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○		
			呼吸器内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				呼吸器内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○		
			循環器内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				循環器内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○		
			糖尿病・代謝・内分泌内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				糖尿病・代謝・内分泌内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○		
			リウマチ・膠原病内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				リウマチ・膠原病内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○		
			神経学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				神経学	1～3 1～3	6 14		○	○	○		
			消化器内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				消化器内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	○		
			消化器内視鏡学	1～3 1～3	6 14		○	○	○				消化器内視鏡学	1～3 1～3	6 14		○	○	○		
			内科系	1～3	6		○	○					内科系	1～3	6		○	○			

改正								現行							
	1～3	14				○		1～3	14				○	
精神医学	1～3	6		○	○		精神医学	1～3	6		○	○		
	1～3	14				○		1～3	14				○	
小児科・思春期科学	1～3	6		○	○		小児科・思春期科学	1～3	6		○	○		
	1～3	14				○		1～3	14				○	
皮膚科学	1～3	6		○	○		皮膚科学	1～3	6		○	○		
	1～3	14				○		1～3	14				○	
放射線医学	1～3	6		○	○		放射線医学	1～3	6		○	○		
	1～3	14				○		1～3	14				○	
臨床検査医学	1～3	6		○	○		臨床検査医学	1～3	6		○	○		
	1～3	14				○		1～3	14				○	
高齢総合医学	1～3	6		○	○		高齢総合医学	1～3	6		○	○		
	1～3	14				○		1～3	14				○	
腎臓内科学	1～3	6		○	○		腎臓内科学	1～3	6		○	○		
	1～3	14				○		1～3	14				○	
呼吸器・甲状腺外科学	1～3	6		○	○		呼吸器・甲状腺外科学	1～3	6		○	○		
	1～3	14				○		1～3	14				○	
乳腺科学	1～3	6		○	○		乳腺科学	1～3	6		○	○		
	1～3	14				○		1～3	14				○	
心臓血管外科学	1～3	6		○	○		心臓血管外科学	1～3	6		○	○		
	1～3	14				○		1～3	14				○	
消化器・小児外科学	1～3	6		○	○		消化器・小児外科学	1～3	6		○	○		
	1～3	14				○		1～3	14				○	
消化器外科学	1～3	6		○	○		消化器外科学	1～3	6		○	○		
	1～3	14				○		1～3	14				○	
消化器外科・移植外科学	1～3	6		○	○		消化器外科・移植外科学	1～3	6		○	○		
	1～3	14				○		1～3	14				○	
整形外科学	1～3	6		○	○		整形外科学	1～3	6		○	○		

改正									現行								
				1～3	14				○					1～3	14				○
			眼科学	1～3	6		○	○				眼科学	1～3	6		○	○	
				1～3	14				○					1～3	14				○
			泌尿器科学	1～3	6		○	○				泌尿器科学	1～3	6		○	○	
				1～3	14				○					1～3	14				○
			耳鼻咽喉	1～3	6		○	○				耳鼻咽喉	1～3	6		○	○	
			科・頭頸部	1～3	14				○			科・頭頸部	1～3	14				○
			外科学									外科学						
			産科婦人科	1～3	6		○	○				産科婦人科	1～3	6		○	○	
			学	1～3	14				○			学	1～3	14				○
			麻酔科学	1～3	6		○	○				麻酔科学	1～3	6		○	○	
				1～3	14				○					1～3	14				○
			脳神経外科	1～3	6		○	○				脳神経外科	1～3	6		○	○	
			学	1～3	14				○			学	1～3	14				○
			口腔外科学	1～3	6		○	○				口腔外科学	1～3	6		○	○	
				1～3	14				○					1～3	14				○
			形成外科学	1～3	6		○	○				形成外科学	1～3	6		○	○	
				1～3	14				○					1～3	14				○
			救急・災害	1～3	6		○	○				救急・災害	1～3	6		○	○	
			医学	1～3	14				○			医学	1～3	14				○
		社会人大学院・研究系	人体構造学	1～3	6		○	○				社会人大学院・研究系	人体構造学	1～3	6		○	○	
				1～3	14				○					1～3	14				○
			組織・神経	1～3	6		○	○					組織・神経	1～3	6		○	○	
			解剖学	1～3	14				○				解剖学	1～3	14				○
			人体病理学	1～3	6		○	○					人体病理学	1～3	6		○	○	
				1～3	14				○					1～3	14				○
			分子病理学	1～3	6		○	○					分子病理学	1～3	6		○	○	
				1～3	14				○					1～3	14				○

改正										
			微生物学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			細胞生理学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			病態生理学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			生化学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			薬理学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			免疫学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			免疫制御学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			公衆衛生学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			健康増進スポーツ医学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			法医学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			医療の質・安全管理学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			医療データサイエンス	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			医学教育学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			小計（１科目）	—	20		—			
コー	コースワーク講			1～3	3		○	○		コースワ

現行										
			微生物学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			細胞生理学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			病態生理学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			生化学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			薬理学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			免疫学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			免疫制御学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			公衆衛生学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			健康増進スポーツ医学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			法医学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			医療の質・安全管理学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			医療データサイエンス	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			医学教育学	1～3 1～3	6 14		○	○	○	
			小計（１科目）	—	20		—			
コー	コースワーク講			1～3	3		○	○		コースワ

改正

スワーク	義・演習								ーク別研究発表及び講義、特別講義出席、医学会総会発表及び出席
	コースワーク実習		1～3	2				○	
		小計（2科目）	―	5		―			
共通科目	ステップ1		1	1		○	○		講義
	ステップ2								
		医学研究における法と倫理	1～3	1		○	○		
		医療データサイエンス	1～3	2		○	○		
		国際発信のための論文執筆とプレゼンテーション	1～3	0.5		○	○		
		グラント申請の書き方・研究資金の確保	1～3	0.5		○	○		
	小計（5科目）		―	5		―			
合計（8科目）			―	30		―			

修了要件及び履修方法
専門科目20単位以上、コースワーク5単位以上、共通科目5単位を修得し、計30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

別表3

（略）

現行

スワーク	義・演習								ーク別研究発表及び講義、特別講義出席、医学会総会発表及び出席
	コースワーク実習		1～3	2				○	
		小計（2科目）	―	5		―			
共通科目	ステップ1		1	1		○	○		講義
	ステップ2								
		医学研究における法と倫理	1～3	1		○	○		
		医療データサイエンス	1～3	2		○	○		
		国際発信のための論文執筆とプレゼンテーション	1～3	0.5		○	○		
		グラント申請の書き方・研究資金の確保	1～3	0.5		○	○		
	小計（5科目）		―	5		―			
合計（8科目）			―	30		―			

修了要件及び履修方法
専門科目20単位以上、コースワーク5単位以上、共通科目5単位を修得し、計30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

別表3

（略）

改正

別表４　入学考査料及び学生納付金（第40条関係）

課程	専攻名	学年	入学考査料	学生納付金		計
				入学金	授業料	
修士課程	医科学専攻	—	10,000円	—	—	—
		１年次	—	100,000円	400,000円	500,000円
		２年次	—	—	400,000円	400,000円
	看護学専攻	—	35,000円	—	—	—
		１年次	—	300,000円	1,000,000円	1,300,000円
		２年次	—	—	1,000,000円	1,000,000円
博士課程	医学専攻	—	10,000円	—	—	—
		１年次	—	100,000円	400,000円	500,000円
		２年次	—	—	400,000円	400,000円
		３年次	—	—	400,000円	400,000円
		４年次	—	—	400,000円	400,000円
博士課程	形態系専攻、機能系専攻、社会医学系専攻、内科系専攻、外科系専攻、社会人大学院・臨床研究系専攻、社会人大学院・研究系専攻（令和6年度入学者迄）	—	10,000円	—	—	—
		１年次	—	100,000円	400,000円	500,000円
		２年次	—	—	400,000円	400,000円
		３年次	—	—	400,000円	400,000円
		４年次	—	—	400,000円	400,000円

※看護学研究科修士課程護学専攻において高度実践看護師コースは別途、実習費100,000円（年額）を徴収する。

（略）

現行

別表４　入学考査料及び学生納付金（第40条関係）

課程	専攻名	学年	入学考査料	学生納付金		計
				入学金	授業料	
修士課程	医科学専攻	—	10,000円	—	—	—
		１年次	—	100,000円	400,000円	500,000円
		２年次	—	—	400,000円	400,000円
	看護学専攻	—	35,000円	—	—	—
		１年次	—	300,000円	1,000,000円	1,300,000円
		２年次	—	—	1,000,000円	1,000,000円
（新設）	（新設）	（新設）				
博士課程	形態系専攻、機能系専攻、社会医学系専攻、内科系専攻、外科系専攻、社会人大学院・臨床研究系専攻、社会人大学院・研究系専攻（追加）	—	10,000円	—	—	—
		１年次	—	100,000円	400,000円	500,000円
		２年次	—	—	400,000円	400,000円
		３年次	—	—	400,000円	400,000円
		４年次	—	—	400,000円	400,000円

※看護学研究科修士課程護学専攻において高度実践看護師コースは別途、実習費100,000円（年額）を徴収する。

（略）

○東京医科大学大学院医学研究科委員会規程

平成24年３月21日制定

東京医科大学大学院医学研究科委員会規程

（目的）

第１条　この規程は、東京医科大学大学院学則第49条第３項の規定に基づき、医学研究科委員会（以下「研究科委員会」という。）に関して必要な事項を定めることを目的とする。

（構成）

第２条　研究科委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

（１）　学長

（２）　研究科長

（３）　専攻主任

（４）　本研究科の授業又は研究指導を担当する主任教授

（５）　その他研究科長が指名する者

（審議事項）

第３条　研究科委員会は、研究科に関する次の事項を審議する。

（１）　大学院学則その他大学院に係る規則の制定、改廃に関する事項

（２）　大学院の組織の設置及び改廃に関する事項

（３）　入学、転学、退学、休学及び留学等学生の身分に関する事項

（４）　課程の修了及び学位の授与に関する事項

（５）　入学試験に関する事項

（６）　学生の試験及び評価に関する事項

（７）　教育課程の編成に関する事項

（８）　学生の表彰及び賞罰に関する事項

（９）　学生の厚生補導に関する事項

(10)　大学院に係る教育職員の任免に関する事項

(11)　その他、大学院の教育・研究に関する学長の諮問事項

（招集）

第４条　研究科委員会は、研究科長が招集し、議長となる。

２　研究科長に事故があるときは、研究科長があらかじめ指名する者が議長の職務を代行する。

３　研究科委員会は、構成員の過半数の出席がなければ、会議を開き議決することができない。

（議決）

第５条　議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

（事務の処理）

第６条　研究科委員会の事務は、教育部医学科学務課において処理する。

（規程の改廃）

第７条　この規程の改廃は、研究科委員会の議を経て、学長が行う。

附　則

この規程は、平成25年４月１日から施行する。

設置の趣旨等を記載した書類

学校法人東京医科大学

設置の趣旨等を記載した書類

目次

Ⅰ　設置の趣旨及び必要性 …… 4
　1．東京医科大学の沿革と建学の精神 …… 4
　2．設置の背景 …… 4
　3．医学専攻設置の趣旨及び必要性 …… 5
　4．医学研究科の特徴と人材養成像 …… 6
Ⅱ　研究科、専攻等の名称及び学位の名称 …… 9
Ⅲ　教育課程の編成の考え方及び特色 …… 9
　1．教育課程の編成の考え方 …… 9
　（1）共通科目 …… 9
　（2）コースワーク …… 9
　（3）専門科目 …… 10
　2．評価の方針 …… 10
Ⅳ　教育方法、履修指導、研究指導の方法および修了要件 …… 10
　1．教育方法 …… 10
　2．履修指導 …… 11
　（1）共通科目 …… 11
　（2）コースワーク …… 11
　（3）専門科目 …… 12
　3．学位論文の審査 …… 12
　4．学位論文に関する審査基準 …… 12
　5．修了要件 …… 13
Ⅴ　基礎となる学部との関係 …… 13
Ⅵ　多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる場合 …… 13
Ⅶ　「大学院設置基準」第 14 条による教育方法の実施 …… 14
　1．社会人への配慮 …… 15
　2．修業年限 …… 15
　3．履修指導及び研究指導の方法 …… 15
　4．授業の実施方法 …… 15
　5．教員の負担の程度 …… 15
　6．図書館等の利用方法や学生の厚生に対する配慮、必要な職員の配置 …… 15
Ⅷ　入学者選抜の概要 …… 16
　1．入学者の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー) …… 16
　2．出願資格 …… 16
　3．募集定員 …… 16

４．入学者選抜方法…… 16
（１）外国語（英語）筆記試験 …… 16
（２）分野別試験 …… 17
５．入学者選抜の実施内容及び判定の方針 …… 17
６．入学者選抜体制…… 17
Ⅸ　教育研究実施組織の編成の考え方及び特色 …… 18
１．教育研究実施組織の考え方 …… 18
２．教員配置の適正化…… 18
（１）共通科目…… 18
（２）コースワーク…… 19
（３）専門科目…… 19
３．教員の年齢構成と指導体制の継続性…… 19
Ⅹ　研究の実施についての考え方、体制、取り組み …… 20
１．研究の実施についての考え方と環境整備…… 20
２．研究倫理及び研究倫理審査体制 …… 20
３．教員に対する研究支援体制…… 20
（１）研究活動の補助…… 20
（２）研究費獲得・学生助成金・大学間共同研究の支援 …… 21
（３）研究補助者配置制度…… 21
Ⅺ　施設、設備等の整備計画…… 21
１．校地、運動場の整備 …… 21
２．校舎等の整備計画…… 22
３．医学研究科の施設、設備の整備計画…… 22
４．図書館の資料及び図書館の整備計画…… 22
Ⅻ　管理運営 …… 23
１．管理運営体制の概要 …… 23
２．医学研究科委員会…… 23
３．医学科教授会との関係…… 24
４．各種委員会…… 24
ⅩⅢ　自己点検・評価…… 24
１．基本方針…… 24
２．実施体制・実施方法 …… 25
（１）実施体制…… 25
（２）実施方法、評価結果の活用と公表…… 25
（３）点検・評価の項目 …… 26
ⅩⅣ　認証評価 …… 27
ⅩⅤ　情報の公表…… 27
１．基本方針…… 27

２．ホームページでの情報公開 …… 27
ＸＶＩ　教育内容等の改善を図るための組織的な研修等 …… 28
１．FD／SD 研修会を通した教員の資質向上 …… 28
（１）SD 研修 …… 28
（２）FD 研修等 …… 29
２．その他の研究能力向上に向けた取り組み …… 30
（１）学生による修了時アンケート …… 30
（２）教員の自己評価 …… 30

Ⅰ　設置の趣旨及び必要性

１．東京医科大学の沿革と建学の精神

東京医科大学（以下、本学）は、1916年、新しい医学教育の場を求める学生の活動を契機に東京医学講習所を開設したことに始まり、2024年で創立108 周年を迎える単科大学である。建学の精神である「自主自学」と、校是である「正義・友愛・奉仕」に則り、人間を全人的に理解する教育を実践し、患者とともに歩む医療人を育てることをミッションとしている。

医学部医学科においては、グローバルな視点から社会のニーズを迅速かつ的確にとらえ、あらゆる場面で状況に応じたヒューマンケアが提供できる高度な知識と技術を持った最高水準の医師の育成を目指している。また、大学院医学研究科博士課程においては、新たな学知を創造し、グローバルに発信することを通して医学の発展、人類の福祉に貢献する人間性豊かな研究者ならびに研究指導者を、修士課程(医科学専攻)においては医学科以外の出身者を対象に、自立した研究活動と医学・医療分野の高度に専門的な業務の従事に必要な基礎となる豊かな学識を備えた人材を養成し、大学院教育を通して医学の発展、人類の福祉に貢献してきた。

附属の医療機関としては東京医科大学病院（904床、東京都新宿区)、八王子医療センター（610床、東京都八王子市)、茨城医療センター（501床、茨城県阿見町）の3つの附属病院と上高地診療所（長野県松本市）を設置し、各々の役割と地域住民の健康ニーズに応じた医療の提供と医学の発展に努めてきた。

本学は 2016 年 4 月から 10 年間の東京医科大学中長期計画において、本学のミッションを「患者とともに歩む医療人を育てる」と掲げ、「建学の精神と校是に基づき、思いやりの心と深い教養に裏付けられた最高水準の技能を持った医療人を育成するとともに、臨床を支える高度な研究を推進し、地域そして世界の健康と福祉に貢献する」としている。

２．設置の背景

日本は現在、世界に例のない超高齢多死社会を目前に控え、保健医療福祉を取り巻く状況の大きな変化に直面している。医療技術は日々進歩し、一方で人々の健康問題は長期化・複雑さを増している。人的資源に限りがある中、医療や介護の需要は増大する一途を辿っている。このような社会においては、効率的かつ質の高い医療提供体制および地域包括ケアシステムの構築と、それらが十分機能するためにコアとなる人材の養成は喫緊の課題である。加えて、女性のライフコースの変化、独居世帯の増加、貧困、コロナ禍や度重なる自然災害に起因する様々な問題など社会の変化は目まぐるしく、人々の健康にも様々な影響をもたらしている。それらは更に、健康や医療に対する多様で複雑なニーズを生じさせている。このような複雑に変動する社会の中で、幅広い視野と高い倫理観をもって人々のケアニーズを見出し、適切に応え、健康を支えていくために、医学の専門的な知識や技術に基づく高度な実践能力を備えた高度専門

職業人が求められる。

2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）によれば、「今後、我が国に求められる社会を牽引する高度な人材の育成に大学院が果たす役割の重要性がますます高まることは明らかであり、諸外国と比べて遜色ない水準で 2040 年の社会を牽引する高度人材が活躍していかなければ、我が国の国際競争力にも大いに問題が生じる可能性がある。」とされ、「各大学院が、学生の修了後の進路を確保し、高度な専門的知識のみならず普遍的なスキル・リテラシー等も身に付けた高度な人材を育成することができるよう、分野横断的なコースワークの充実などに取り組むべきである。」と示されている。

本学は、「自主自学」を建学の精神とし、「社会に出てからも永く活躍できる人材の育成」を教育ビジョンとしており、医師をはじめとする医療人として生涯にわたり自ら学び続ける力を備えた人材を養成することは当然の使命である。

都心の特定機能病院として高度・先進医療を担う東京医科大学病院、地域完結型医療の中核病院として急性期医療を担う八王子医療センターおよび茨城医療センターの 3 つの附属病院を有しており、いずれにおいても質の高い医療を提供することもまた当然の使命である。近年は医療の高度化・複雑化が進み、一方で人々の生活様式や価値観などが多様化し、健康課題もより複雑化している。とくに高度な専門的知識・技術に基づく卓越した実践能力を備え、組織横断的な活動を担う医師をはじめとする医療人はチーム医療の要であり、医療の質向上に寄与する人材の育成が求められている。

加えて、本学は交通の便がよく、様々な情報やリソースにアクセスしやすい都心に立地しており、首都圏はもちろん広範囲の地域から通学可能であると共に、恵まれた環境を生かし幅広い視野や創造性を育むことが可能である。

３．医学専攻設置の趣旨及び必要性

本学の前身である東京医学専門学校の設立が 1918 年に認可され、1946 年、新学制への移行に伴い、同専門学校は東京医科大学に昇格し、同大学における大学院医学研究科（博士課程）は 1957 年に設置が認可された。

設置の目的は「医学に関する理論および応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与すると共に、専攻分野に関する研究指導者を養成すること」であり、主に医学部卒業者である医師を対象として、基礎および臨床医学の研究指導者の養成を行ってきた。

開設時は、①形態系、②機能系、③社会医学系、④内科系、⑤外科系の 5 専攻からなっていたが、平成 20 年に、入学者増及び社会の要請により、病院勤務医を中心とした社会人が通える昼夜制専攻として⑥社会人大学院・臨床研究系、⑦社会人大学院・研究系の 2 専攻を追加開設し、現在の 7 専攻を併設するに至った。

一部、初期臨床研修と並行して入学者もあるが、2 年間の初期臨床研修を終えた医師たちが多く入学する⑥社会人大学院・臨床研究系が大学院在学生の大部分を占めると同時に、従来の

①~⑤専攻では入学する者がいない年も複数年度にわたって認められるようになり、7 専攻のバランスの悪さが顕著になってきた。他学の状況と比べると、社会人大学院生の受け入れは全国的に同時期に始まったものの、新たに独立した専攻を社会人大学院生のために設立したのは全国医学部の中でも本学だけという特異的背景があったことが判明した。

【資料 1】東京医科大学大学院医学研究科現行の専攻

現在、社会人大学院である⑥社会人大学院・臨床研究系、⑦社会人大学院・研究系の専攻に90%前後の大学院生が入学し、従来の 5 専攻（①形態系、②機能系、③社会医学系、④内科系、⑤外科系）は構成比 10%前後となっており、49 分野に、①〜⑤に属する全日制大学院生と⑥・⑦に所属する社会人大学院生がそれぞれ籍を置く状況となっている。大学基準協会からその偏りの改善の必要性を指摘されていた。

2007 年度からは、分野（教室）間の壁を取り払い、専門とする研究領域での横のつながりを強化するために、1.神経系、2.生体防御系、3.腫瘍系、4.器官系機能解析、5.分子・細胞機能解析、6.社会・情報・教育系からなるコースワークを本大学院は独自にスタートさせ、2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）の求める分野横断的なコースワークの充実を一層強めていく方向性を強めている。

従来の 7 専攻（①形態系、②機能系、③社会医学系、④内科系、⑤外科系、⑥社会人大学院・臨床研究系、⑦社会人大学院・研究系）だけが残るかたちとなり、今回、「医学専攻」一専攻の設置に統合することにより、基礎・社会医学系教室と臨床系教室の融合および各教室間の横の繋がりの強化し、従来の「学問体系別専攻による入学制度」を廃し、「専門研究領域別コースワークによる全学的指導」を目的とする。

専攻を「医学専攻」に一本化することで、より簡易な入試出願になるため、受験生の増加を図ることも目的としている。この取り組みにより、大学院教員も専攻の枠に縛られることがなくなり、所属する大学院生も周辺分野教員から意見や指導を受けやすい環境を構築できることが趣旨であり、必要性でもある。

【資料 2】令和 6 年度コースワーク研究指導教員一覧
【資料 3】東京医科大学大学院医学研究科医学専攻への統合図
【資料 4】東京医科大学大学院医学研究科教員選考基準

４．医学研究科の特徴と人材養成像

東京医科大学大学院は、教育基本法及び学校教育法に基づき、先端的な研究の高度化を推進し、新しい時代に即応した人材を育成することを目的としており、医学研究科博士課程は、学

術の理論及び応用を教授し、創造性、活力、人間性豊かな総合判断力かつ国際的な視点を有し、医学の発展を通して人類に貢献・寄与しうる指導力を兼ね備えた人材を養成することを目的とする。

1）養成する人材像

医学専攻は、共通科目による高い倫理観と論理的思考の涵養、基礎・社会医学系分野と臨床系分野が融合して構成されるコースワークおよび専門科目による体系的な高度な知識と能力の修得を通して、新たな学理を拓く研究を実践し、医学の発展、人類の福祉に貢献する人間性豊かな研究者ならびに研究指導者を養成する。

2）ディプロマ・ポリシー

国際的視野と専攻領域における高度な専門的知識を有し、研究者としての高い倫理観と論理的思考のもとで、医学・医療の高度化に寄与し、新たな学理を拓く研究を自立的に実践できる能力を有する者に学位を授与する。

学位授与に際しては以下の条件を満たす必要がある。

大学院医学研究科が定める所定の期間在学し、開講されている授業科目を履修し修了要件以上の単位数を修得し、研究科が行う最終試験および博士論文審査を受け、医学研究科委員会で合格と認定された者。また、最終試験では下記の項目を審査する。

1. 研究の背景・目的の意義を論理的に説明できる。
2. 内外の専攻分野の普遍的および最新の知識が十分である。
3. 研究方法の科学的な正当性をよく理解し、説明できる。
4. 研究結果を論理的に解釈し、考察、結論できる。
5. 医学研究を自ら計画し、研究倫理に則り主体的に取り組むことができる。
6. 論理的に思考し、質疑応答する能力がある。

なお、博士論文は、申請者が筆頭著者として公表する査読付き原著論文であり、かつ原則として英文で記載されたものとする。

3）カリキュラム・ポリシー

「専門科目」と「共通科目」、「コースワーク」を体系的に展開することにより、責任ある研究行為を実践し、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力が修得できるように教育課程を編成する。

1. 「専門科目」では、担当研究指導教員との協議により研究テーマを設定し、専攻領域と研究テーマに即した先端知識・技術を修得し、日々の討論と内外の学会・研究会の参加を通して、論理的、科学的思考が定着するよう編成する。
2. 「共通科目」では、研究遂行に不可欠な医学・研究倫理、医療統計、医学英語のプレゼンテーションスキル、英語論文作成、グラント申請能力などを修得できるよう編成す

る。

3. 「コースワーク」は、「神経系」、「生体防御系」、「腫瘍系」、「器官機能解析系」「分子・細胞機能系」、「社会・情報・教育系」の 6 領域から構成され、学生が研究テーマに即した領域を選択することで、（専門分野の研究室枠を越えて）研究遂行に必要とされる研究手法・技能を修得できるよう編成する。年 2 回開催される「コースワーク別研究発表会」では、原則として、第 1 学年では研究テーマに関する「目的、背景、研究方法」等を発表し、第 2、3 学年では「（進捗状況）中間報告」を行う。第 4 学年では「東京医科大学医学会総会」で研究成果に関するポスター発表を英語で行う。
4. コースワーク講義・演習においては、先端医学・医療の講義を通して、専攻分野にとらわれない研究者としての幅広い視野と科学に共通する思考・アプローチ法を修得できるように編成する。
5. 「東京医科大学医学会総会」（年 2 回開催）、「コースワーク別研究発表会」を含む学内外の学会、研究会で、自らが行った研究内容を発表すると共に、他の学生や研究者の発表を聴講し討論することで科学的・論理的思考が定着するよう編成する。「医学会総会」のポスター発表では、研究成果を英語で行うことにより、英語による総合的なプレゼンテーションスキルを高める。

4）アドミッション・ポリシー

本学の校是である「正義・友愛・奉仕」の精神をもち、自ら積極的に学び(自主自学)、本学のミッションの実現のもとで高度先進医学・医療を推進するため、以下のような人を求める。

1. 国際的視野で、医学・医療の発展に貢献する意欲の有する人
2. 高い倫理観を有し、積極性・協調性・コミュニケーション能力が優れている人
3. 次世代の医学・医療に対して深い関心をもち、能動的な学びを実践する能力を有する人
4. 医科学情報の収集・解析・発信のためのスキルとしての英語力を有する人
5. 科学的な思考と公正な評価ができる人

【資料 5】東京医科大学大学院カリキュラムマップ（博士課程）

5）修了後の進路

・保健医療福祉機関において、実践に根差した研究を行い、研究成果を実践に生かす循環を自ら先導する医師及び医療実践者、現任教育や学生の教育を主導する医師及び医療実践者として、実践現場から医療の質向上に貢献する。

・教育研究機関において、専門性にすぐれた研究・教育能力を基盤に、医学教育や継続教育を担い、次世代の育成および医学の発展に貢献する。

Ⅱ　研究科、専攻等の名称及び学位の名称

現行の 7 専攻（形態系、機能系、社会医学系、内科系、外科系、社会人大学院・臨床研究系、社会人大学院・研究系専攻）を廃止し、新たに医学専攻を設置する。

研究科の名称	医学研究科	Graduate School of Medicine
専攻名	医学専攻	Doctor's Program of Medicine
学位	博士（医学）	Doctor of Philosophy in Medical Science

【資料 6】東京医科大学学位規程

Ⅲ　教育課程の編成の考え方及び特色

１．教育課程の編成の考え方

本研究科の教育課程は、「共通科目」「コースワーク」「専門科目」の 3 つの科目区分を設ける。

（１）共通科目

共通科目では、所定の期間内に以下のものを履修し 5 単位を取得する。研究の推進に必要不可欠な事柄をステップ１（入門コース）およびステップ２（発展コース）に分けて、段階的に履修する。

１）ステップ 1　 1 単位

２）ステップ 2　 4 単位

1. 国際発信のための論文執筆とプレゼンテーション（5 回） 0.5 単位
2. 医学研究における法と倫理（8 回） 1 単位
3. 医療データサイエンス（15 回） 2 単位
4. グラント申請の書き方・研究資金の確保（5 回） 0.5 単位

（２）コースワーク

コースワークを履修しようとするときは、主任教授および担当教員の許可を得なければならない。所定の期間内に 5 単位以上を取得する。

学生が幅広い知識・技術を体系的に理解・修得できるように、研究領域を単位として 6 つのコースワークを設ける。

指導教員の指導のもと、学生は①神経系②生体防御系③腫瘍系④器官系機能解析⑤分子・細胞機能解析⑥社会・情報・教育系のいずれかのコースワークを入学時に選択する。

各コースワークで講義・演習および実習を行う。

１）講義・演習 3 単位

専攻するコースワーク別の研究発表及び講義を 1 年次から 3 年次の各学年で履修

し 2 単位を取得する。

また、毎年 6 月と 11 月の年 2 回開催される東京医科大学大学院コースワーク発表会に 3 年間で 3 回以上出席し、原則として 1 年次に研究計画（目的・研究背景・方法を含む）、2・3 年時に研究中間報告・進捗状況の発表（計 2 回以上）を行い、1 単位を取得する。4 年次には東京医科大学医学会総会において研究成果を英語によるポスター作成・発表を行う。

2）実習 2 単位

学生は専攻するコースワークにおいて所定期間内に 60 時間以上の実習を行い、2 単位を取得する。

（3）専門科目

所定の期間内に 20 単位以上を取得する。専門科目では専攻した分野で専門領域を深く学ぶ。診断・治療法、手術（見学を含む）、実験技術・解析法、現地調査、剖検（見学を含む）等を実習とする。

講義・演習 6 単位以上

実験・実習 14 単位以上

2．評価の方針

共通科目、コースワークについては、予め明示した評価方法と評価基準に基づき評価する。専門科目の単位取得の認定は指導主任教授が行い、所定の様式により各学年末に研究科長に報告するものとする。

評価については、100 点～80 点以上を A、80 点未満～70 点を B、70 点未満～60 点を C、60 点未満を D と評価し D は不合格である。合格した科目の単位を取得することができる。

学位論文審査に係る評価にあたっての基準については、ホームページに公表し、入学時のオリエンテーションで明確かつ具体的に提示している。

【資料 7】東京医科大学博士論文（医学）審査細則

【資料 8】博士論文審査基準について

Ⅳ　教育方法、履修指導、研究指導の方法および修了要件

1．教育方法

「専門科目」と「共通科目」及び「コースワーク」を体系的に展開することにより、責任ある研究行為を実践し、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力が修得できるように教育を実施する。

1）「専門科目」では、担当研究指導教員との協議により研究テーマを設定し、専攻領域と

研究テーマに即した先端知識・技術を修得し、日々の討論と内外の学会・研究会の参加を通して、論理的、科学的思考が定着するよう実施する。

2）「共通科目」では、研究遂行に不可欠な医学・研究倫理、医療統計、医学英語のプレゼンテーションスキル、英語論文作成、グラント申請能力などを修得できるよう編成する。

3）「コースワーク」は、「神経系」、「生体防御系」、「腫瘍系」、「器官機能解析系」「分子・細胞機能系」、「社会・情報・教育系」の 6 領域から構成され、学生が研究テーマに即した領域を選択することで、(専門分野の研究室枠を越えて) 研究遂行に必要とされる研究手法・技能を修得できるよう編成する。年 2 回開催される「コースワーク別研究発表会」では、原則として、第 1 学年では研究テーマに関する「目的、背景、研究方法」等を発表し、第 2、3 学年では「(進捗状況) 中間報告」を行う。第 4 学年では「東京医科大学医学会総会」で研究成果に関するポスター発表を英語で行う。

4）「コースワーク講義・演習」においては、先端医学・医療の講義を通して、専攻分野にとらわれない研究者としての幅広い視野と科学に共通する思考・アプローチ法を修得できるように編成する。

5）「東京医科大学医学会総会」(年 2 回開催)、「コースワーク別研究発表会」を含む学内外の学会、研究会で、自らが行った研究内容を発表すると共に、他の学生や研究者の発表を聴講し討論することで科学的・論理的思考が定着するよう編成する。「医学会総会」のポスター発表では、研究成果を英語で行うことにより、英語による総合的なプレゼンテーションスキルを高める。

医学研究科においては 4 年以上在学し、所定の学科目を履修し、且つ学位論文審査等、最終試験に合格した者には、学位を授与する。ただし、標準修業年限は優れた研究業績を上げた者で、所定の要件を満たした場合は、3 年以上とすることができる。

1）所定の期間内に所定の単位を取得できない、あるいは所定の期間内に学位論文等の提出がなければ留年となる。

2）ただし、4 年目に論文を投稿して 5 年目に受理されれば、所定の手続きにより 5 年目の授業料を免除することができる。

2．履修指導

科目履修の方法は毎学年の初めに、当該学年内に履修しようとする専門科目を、指導主任教授の指示を受け、所定の用紙により研究科長に届け出なければならない。

（1）共通科目

所定の期間内に以下のものを履修し 5 単位を取得する。研究の推進に必要不可欠な事柄をステップ 1（入門コース）およびステップ 2（発展コース）に分けて、段階的に履修する。

（2）コースワーク

コースワークを履修しようとするときは、主任教授および担当教員の許可を得なければなら

ない。所定の期間内に 5 単位以上を取得する。

（3）専門科目

専門科目を履修しようとするときは、主任教授および指導教員の許可を得なければならない。所定の期間内に 20 単位以上を取得する。専門科目では専攻した分野で専門領域を深く学ぶ。診断・治療法、手術（見学を含む）、実験技術・解析法、現地調査、剖検（見学を含む）等を実習とする。

講義・演習 6 単位以上

実験・実習 14 単位以上

科目履修の方法は毎学年の初めに、当該学年内に履修しようとする専門科目を、指導主任教授の指示を受け、所定の用紙により研究科長に届け出なければならない。

3．学位論文の審査

1．第 1 次審査において、医学研究科委員会構成委員の報告により申請資格等について審議する。 論文を受理する者に対しては、審査委員推薦委員会で推薦された審査委員として主査 1 名及び副査 2 名を医学研究科委員会で決定する。

2．審査委員会（主査 1 名・副査 2 名）は公開制とし、論文提出者の出席を求め、さらに必要があれば、参考資料の供覧、指導者の出席を求める。

3．審査委員会終了後、主査は学位論文審査要旨（1000 字以内）及び試験の結果の要旨を作成する。

4．主査は研究科委員会において質問等に対する回答を含め論文審査要旨（1000 字以内）および最終試験の結果を報告し、審議のうえ、学位を授与すべきか否かを議決する。

4．学位論文に関する審査基準

1．学術誌（東京医科大学雑誌を含む）に投稿され、ピアレビューによる審査を経て受理された「原著論文」であり、原則として英文で記載されたものであること。

2．研究テーマの背景・目的を十分に理解し、かつ、明確に説明できること。

3．研究方法をよく理解し、わかりやすく説明できること。

4．研究結果を論理的に考察し、科学的に結論に結び付けることができること。

5．当該研究に自ら計画し、主体的に取り組んだか。

6．専攻分野・関連領域に関する十分な知識を有すること。

7．論理的に思考し、質疑応答に対応する能力があること。

8．倫理的配慮がなされていること

（①研究計画の立案および遂行、研究成果の発表ならびにデータの保管に関して、適切な倫理的配慮がなされていること②学内の倫理規程や研究テーマに関連する学会や団体の倫理基準等を遵守していること）。

【資料 7】東京医科大学博士論文（医学）審査細則
【資料 8】博士論文審査基準について

５．修了要件

医学研究科においては 4 年以上在学し、所定の学科目を履修し 30 単位を取得し、且つ学位論文審査等、最終試験に合格した者に学位を授与する。ただし、標準修業年限は優れた研究業績を上げた者で、所定の要件を満たした場合は、3 年以上とすることができる。

【資料 9】研究指導計画に基づく学位審査までの流れ
【資料 10】大学院医学研究科博士課程履修系統図

Ⅴ　基礎となる学部との関係

自らの意志で学び、考え、自立して行動する「自主自学」を建学の精神とし、本学医学部医学科では、「医学分野について、深く教授及び研究を行うとともに、高度な医学知識と倫理観、そして高い臨床能力を備えた医師を育成する。」ことを教育研究上の目的を定めている。高度な知識と技術を持った"最高水準"の医師の育成を目指し、学修成果基盤型教育として 6 年間で身につけておく教育到達目標が定め、これらを段階的に学び、グローバル人材の育成のため海外留学の機会を設け、国際的にも活躍できる次世代の医療人に必要な教育を行っている。

本研究科博士課程では、上記医学科の教育目的を踏まえた教育を経た卒業生が臨床研修を経て成長した医師を受入れ学生の基盤としており、学術の理論及び応用を教授し、創造性、活力、人間性豊かな総合判断力かつ国際的な視点を有し、医学の発展を通して人類に貢献・寄与しうる指導力を兼ね備えた人材を養成することを目的としている。

本学医学研究科の研究指導教員、研究指導補助教員、授業担当教員は、全て医学部専任教員（一部、兼任教員）であり、教育の一貫性を担保している。

【資料 11】医学科と医学研究科の関係

Ⅵ 多様なメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させる場合

本学では、「中長期計画 2016－2025」で定められた方針に基づき、医師、看護師を育てる医育機関として①キャンパス・校舎に加え、充実した臨床実習を行うための附属病院と、②自主的な学修を促進する情報通信技術（ICT）環境を整備している。

大学院学則第 8 条の 2 第 2 項に「2　文部科学大臣の別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行なう教室以外の場所で履修させる事が出

来る。」と定めた。

情報通信技術の基盤として、①登録した通信機器のみ接続許可される「学内 LAN」、②学生が自身のスマートフォン等から自由に利用できる「学生用無線 LAN」、さらに③電子カルテシステムを中心とした「医療情報ネットワーク」と 3 つの情報通信基盤を整備している。この情報通信基盤を活用して、学生ポータルサイト「e 自主自学」と学務システム「Universal Passport（UNIPA)」という 2 種類を運用している。学生ポータルサイト「e 自主自学」は learning management system として、掲示板、 e ラーニング、オンデマンド授業配信、授業資料の掲載・提出物の収納に活用できる。また、Zoom や Teams を活用したオンタイムの遠隔授業の接続窓口としても活用でき、e ポートフォリオなどの ICT サービスの利用窓口となっている。一方、「UNIPA」は、ウェブシラバス・時間割連携、スマートフォン出席として活用している。

Zoom の法人契約により、教員は、必ずしも教室からではなく、研究室等からの授業・研究指導が可能となっている。履修者側の利便性を考慮し、Zoom での遠隔授業・研究指導は積極的に取り入れていく。

Zoom のみではなく、本学教職員・学生には、0ffice365 ライセンスを付与し、Teams を活用した連携・ミーティングも盛んに行われており、「e 自主自学」を軸としてメディアを高度に利用して、授業を教室以外の場所で履修させることを取り入れる。

また、看護学科との共同利用となる第 1 看護学科棟 102 講義室、202 講義室、基礎新館 412 講義室には、教員追尾式の遠隔授業用カメラを設置しており、複数教室での使用やハイブリッド形式で、学生が職場・自宅から受講することを可能とする。

管理体制として、本学では、「適切な情報通信技術の有効かつ倫理的な利用と、それを評価する」組織体として 2019（平成 31）年に「ICT 活用教育推進委員会」を設立している。医学科、看護学科、研究科教員代表と、「総合情報部」、「医学教育推進センター」、「総合事務センター教務・学生グループ（ICT 担当)」)の職員が主な構成者であり、「ICT 活用教育推進委員会」の策定した方針のもと、ICT インフラの設置、ネットワーク環境、情報通信機器の整備、情報セキュリティの確保を、「医学教育推進センター」が教育活用の戦略、「教務・学生グループ（ICT 担当)」が実際の運営を行っている。

Ⅶ 「大学院設置基準」第 14 条による教育方法の実施

本研究科博士課程では、学術の理論及び応用を教授し、創造性、活力、人間性豊かな総合判断力かつ国際的な視点を有し、医学の発展を通して人類に貢献・寄与しうる指導力を兼ね備えた人材を養成する。そのため、既に社会人として保健・医療・福祉の現場での実務経験を有し、勤務を継続しながら就学することを希望する者の入学を想定し、受け入れる。そこで、本研究科では、大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例を実施し、社会人が勤務を継続しながら就学することを可能とする特別措置を設けている。

１．社会人への配慮

在職のまま修学する機会を提供するために、大学設置基準第 14 条を適用する。授業は平日夜間、および土曜日を中心に編成する。

２．修業年限

本研究科博士課程の修業年限は 4 年である。

３．履修指導及び研究指導の方法

一般学生と同様、特段な区別は行っていない。

４．授業の実施方法

共通科目については、授業の実施方法について、必ずしも登校しなくても学修できるよう、本学のポータルサイト「e 自主自学」や WEB 会議システム「ZOOM」を用いたオンライン授業を主とし、専門科目については、各所属する分野ごとに、院生の状況により調整し、集合・個別授業を実施している。

オンライン授業の運用に際しては、双方向型授業となることや、登校や対面授業で得られる学生間の交流が確保できるよう導入する科目のバランスを考慮している。

コースワークにおいては、コースワーク発表・医学会総会出席、医学会総会における発表は、基本土曜開催とし、各分野が主催する特別講義も、平日夜間、土曜に設定、実施している。また図書館の電子資料や文献検索ツールの利用により、自宅や職場など遠隔地からの受講や自己学習を可能とするよう配慮している。

５．教員の負担の程度

今回は、実質、既存の 7 つの専攻の廃止、医学専攻への統合となる為、これによる教員の負担の増加はない。ただし、本研究科の教育・運営に携わる教員は医学科の教育、運営と兼任であるため、研究指導教員、研究指導補助教員、授業担当教員の負担は相応、生じている。主指導教員となった教員の負担が過重にならないよう可能な範囲で他の業務を分散し、第 6・7 時限の夜間開講を行う場合は時差出勤、土曜日に出勤した場合は平日に振替休日を取得するなど負担軽減を考慮している。

６．図書館等の利用方法や学生の厚生に対する配慮、必要な職員の配置

本学は各キャンパスに図書館を有しており、本研究科の学生はいずれの図書館も利用することができる。特に西新宿キャンパスにある本館（平日 8:30～19:00、第 1・3・5 土曜日 8:30～17:00）、新宿キャンパスにある分館（平日 9:00～17:00、第 1・3・5 土曜日 9:00～13:00）は日常的な利用が想定される文献検索や文献複写依頼はオンラインで可能であるため、勤務を継続しながら就学する学生にとっても利用しやすい環境が整っている。

大学から学生への通知・連絡は、ポータルサイト「e 自主自学」の医学研究科掲示板および大学から配布した電子メールアドレスによって行う。社会人以外の学生については、入学時定期健康診断を行う。

学生・職員健康サポートセンターでは、体調不良時の対応の他、公認心理士や臨床心理士などが随時相談に応じる体制が整っている。

Ⅷ　入学者選抜の概要

１．入学者の受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)

本学の校是である「正義・友愛・奉仕」の精神をもち、自ら積極的に学び(自主自学)、本学のミッションの実現のもとで高度先進医学・医療を推進するため、以下のような人を求める。

1. 国際的視野で、医学・医療の発展に貢献する意欲の有する人
2. 高い倫理観を有し、積極性・協調性・コミュニケーション能力が優れている人
3. 次世代の医学・医療に対して深い関心をもち、能動的な学びを実践する能力を有する人
4. 医科学情報の収集・解析・発信のためのスキルとしての英語力を有する人
5. 科学的な思考と公正な評価ができる人

２．出願資格

研究科の出願資格は、次のいずれかの条件を満たす者

1. 大学(6 年制の医学、歯学、獣医学又は薬学の学部)を卒業した者又は令和 7 年 3 月までに卒業見込みの者。
2. 外国において、学校教育における 18 年の課程(最終の課程は医学、歯学、獣医学又は薬学)を修了した者又は令和 7 年 3 月までに修了見込みの者。
3. 文部科学大臣の指定した者
4. その他の学部卒業者で基礎医学に入学する場合は、大学院修士課程を修了した者又は令和 7 年 3 月までに修了見込みの者。
5. 本学大学院において、大学(6 年制の医学、歯学、獣医学又は薬学の学部)を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者。

３．募集定員

募集定員は 68 人とする。

４．入学者選抜方法

（1） 外国語（英語）　筆記試験

［英語］筆記試験 ※外国語試験には辞書持込可。ただし、電子辞書は不可。

※出題形式：出題問題３題よりいずれか１題を選択、解答する。

①英文和訳問題（一般的な内容（500words 程度）のものを和訳する）
②英文和訳問題（医学的な内容（500words 程度）のものを和訳する）
③英文長文問題（1500～2000words 程度の英文を 100words 以内の英語で要約する）

（２） 分野別試験

各分野の主任教授が定める試験方法による。

５．入学者選抜の実施内容及び判定の方針

本大学の大学院医学研究科に入学を希望する者の選抜方法は、学力検査、調査書及び健康診断の結果により、東京医科大学大学院医学研究科入学試験選考委員会において総合判定を行い研究科委員会に諮り決定する。

大学院医学研究科入学試験の成績は、外国語（英語）試験及び分野別試験の成績、出身校の調査書及び健康診断の結果をもって総合成績とする。

入学に適格と判定された者の各専攻課程への入学は、原則、合格基準点を満たした各専攻分野の成績上位者２名について入学を許可する。なお、合格基準点を満たし、３名以上の成績優秀者がでた場合は、大学院教育に支障の出ない範囲で希望専攻分野への入学を許可する。

アドミッション・ポリシーと入学者選抜試験の関連

アドミッション・ポリシー	筆記試験	分野別試験
	英語	
国際的視野で、医学・医療の発展に貢献する意欲の有する人		○
高い倫理観を有し、積極性・協調性・コミュニケーション能力が優れている人		○
次世代の医学・医療に対して深い関心をもち、能動的な学びを実践する能力を有する人		○
医科学情報の収集・解析・発信のためのスキルとしての英語力を有する人	○	○
科学的な思考と公正な評価ができる人		○

６．入学者選抜体制

入学者選抜試験は、東京医科大学アドミッションセンターが担当し、実施する。入学者の合否判定は、大学院入試選考委員会で審議の上、医学研究科委員会で行う。

【資料 12】東京医科大学大学院医学研究科入学試験選考委員会規程
【資料 13】東京医科大学大学院医学研究科入学試験実施細則

Ⅸ　教育研究実施組織の編成の考え方及び特色

１．教育研究実施組織の考え方

専任教員は 345 名を予定し、内訳は教授 98 名、准教授 83 名、講師 110 名、助教 54 名、特任教授 2 名、客員准教授 2 名を加えた 349 名の構成である。保有学位は、348 名が博士号を保有し、うち学位名称は「医学博士」及び「博士（医学)」が 324 名と 92.8%を占めている。専任教員のうち 1 名が修士号であるが、共通科目の授業担当教員である。

研究指導教員を、これまで分野責任者である主任教授、教授と限定してきたが、昨年改定により、研究指導教員を分野に所属する教授 94 名、研究指導補助教員を分野に所属する准教授及び講師 187 名、授業担当教員を分野に所属する助教（博士号を持つ者に限る）53 名、分野に属さない教員 7 名は共通科目を担当する授業担当教員となる。

【資料 4】東京医科大学大学院医学研究科教員選考基準

２．教員配置の適正化

本研究科の教育課程は、「共通科目」「コースワーク」「専門科目」の 3 つの科目区分を設ける。

（1）共通科目

1）ステップ 1　 1 単位

共通科目のステップⅠでは、研究をスタートするに当たって必要とされる事項（サイエンスの精神、医学哲学、医学倫理、医学英語論文の執筆方法、情報科学、トランスレーショナルリサーチ、臨床研究などの概要）を教示する。

そのため、研究科長、主任教授に加え、人間学教室、医学総合研究所、臨床研究支援センター所属の授業担当教員が担当する。

2）ステップ２　4 単位

ステップ２では、自立した研究者に必要とされるより実践的な事項（医学統計、英語による論文執筆・出版倫理知識・プレゼンテーションスキル、グラント申請、知財など）を習得させることによって、新たな研究分野を開発・推進できる人材を育成する。

そのため、

１．国際発信のための論文執筆とプレゼンテーション（5 回） 0.5 単位

国際教育研究センター所属の授業担当教員

２．医学研究における法と倫理（8 回） 1 単位

人間学教室、臨床研究支援センター、疾患モデル研究センター、

遺伝子診察センタ　ー所属の授業担当教員に加え、非常勤となる弁護士

3. 医療データサイエンス（15 回） 2 単位

医療データサイエンス研究指導教員及び研究指導補助教員

4. グラント申請の書き方・研究資金の確保（5 回） 0.5 単位

医学総合研究所授業担当教員

を配置している。

（2）コースワーク

1）講義・演習 3 単位

コースワーク別の研究発表・講義については、大学院所属の教員が 6 つのコースワークに個々、分かれ担当する。

大学院特別講義については、各分野が個別に企画し、都度、座長、講演者を指名し実施する。講師は大学院教員に加え、国内外からの招聘講師なども担当する。

2）実習 2 単位

各分野に所属する研究指導教員、研究指導補助教員が担当する。

（3）専門科目

各分野に所属する研究指導教員、研究指導補助教員が担当する。

3．教員の年齢構成と指導体制の継続性

東京医科大学定員外教員に関する規程に沿って､特任教授として雇用される特任教授は 3 名、教員の年齢構成は全体で 30 歳代が 31 名で 8.9%、40 歳代が 136 名で 39.2%、50 歳代が 111 名で 32.0%、60 歳代が 69 名で 19.9%である。

49 分野の教員構成も、いずれの分野においても、研究指導教員の欠員はなく、研究指導補助教員の配置も問題がない。定年による教授、准教授の欠員が一部に発生した場合には、内外からの公募・推薦により今年度末までに補充の予定であり、教員の継続した質保持については問題がない。

教員年齢構成（人数）令和 7 年 4 月 1 日時点

職位 / 年齢	助教	講師	准教授	教授	うち特任教授・客員教授
65 歳以上	0	0	0	0	3
60～64 歳	0	8	14	47	0
50 歳代	0	27	43	41	1
40 歳代	33	68	25	10	0
30 歳代	21	9	1	0	0

【資料 14】東京医科大学就業規則

【資料 15】東京医科大学定員外教員に関する規程

X　研究の実施についての考え方、体制、取り組み

１．研究の実施についての考え方と環境整備

本学の研究に対する基本的な考えは、大学のミッションに「臨床を支える高度な研究を推進し、地域そして世界の健康と福祉に貢献すること」であると定めている。これに基づき、医学研究科（修士課程・博士課程）では、幅広い分野において質の高い先進的研究を行っており、研究を奨励し、支援する。

ミッションに規定された研究に対する基本的な考えに沿って、「研究戦略推進会議」が研究戦略を策定し、「研究支援部研究支援課」が外部資金獲得の積極的な支援を関係部署と連携して行っている。これにより研究環境を整備している。

整備環境として、本学に附属する研究施設として、医学総合研究所（免疫制御研究部門、分子細胞治療 研究部門、難病分子制御部門、実験病理学部門)、外部資金により設置された講座である産学連携講座（先端核酸医療講座、人工知能応用医学講座、AI 量子・未来医療講座)、寄附講座（10 講座）を設置しており、トランスレーショナルリサーチや臨床研究を、学内の各分野や学外研究施設と連携して精力的に展開している。これらの本学の研究活動を推進し、その戦略を策定し、諸課題の改善を図る組織として「研究戦略推進会議」を設けている。ここでの議論を経て、現在は、「患者に優しい医療(低侵襲医療)」を特に重点領域と定め、各分野、研究施設の研究の活性化を図っている。

２．研究倫理及び研究倫理審査体制

研究実施に際しては、倫理審査を受審し承認を受けることが必要となる。そのため、研究倫理についてはｅラーニング「APRINｅラーニングプログラム（eAPRIN)」の受講を義務付け、コンプライアンス教育および研究倫理教育を行っている。

研究倫理審査体制については、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年 12 月 22 日告示）および「東京医科大学医学倫理委員会および医学系研究に関する規程」に則り、東京医科大学医学倫理委員会で審査を行う。

【資料 16】東京医科大学医学倫理委員会および医学研究に関する細則
【資料 17】東京医科大学医学倫理委員会申請手順について

３．教員に対する研究支援体制

（１）研究活動の補助

研究費は、所属する教員数を基準に適切に支給している。また、学長のリーダーシップのもと、次のように各分野の研究費を補助する仕組みを作り、研究活動を活性化している。

① 教育研究のより一層の充実・発展、設備の充実を目的として、創造的な取り組みや部局

の枠を超えた全学的な視点から計画されたプロジェクトに対して、「学長裁量経費」を支給している。

② 教育用機器と研究室の整備に関する機器の購入のために、年 1 回、「教育研究用機器備品に係わる購入申請」を可能とし、設備の充実を行えるようになっている。

③ 大学が保有する大型（高額）共同利用機器を計画的に整備・更新するため、研究戦略推進会議で翌年度の整備機器を選考し予算申請している。

④ 新たな研究成果の創出を支援する目的で、事務職員にも研究者の登録資格を付与し、研究の機会を与えている。

⑤ 「国外留学出張審議会」が国外出張の旅費及び留学中の補助金を審議し、認められた教員には「国外出張・留学旅費補助金」を支給している。

（2）研究費獲得・学生助成金・大学間共同研究の支援

研究費獲得・学内助成金の支援、大学間共同研究を支援する部署として、「研究支援部研究支援課」を設置し、下記の支援を一元的に行っている。

① 科学研究費助成事業（科研費）応募予定者及び採択者支援のための科研費学内説明会の開催、並びに科研費に関する管理全般。

② 民間企業等との共同研究、受託研究、民間助成金及びその他の公的研究費獲得支援と管理全般。

③ 3 種類の学内助成金の管理。

ア．科研費に応募し不採択となった研究課題に対して、当該研究代表者の研究活動を助成・奨励するための「科研費フォローアップ助成金」。

イ．本学の若手研究者が行う研究活動を助成・推奨するための「東京医科大学研究助成金」。

ウ．各年度の最優秀論文（英語）に対して記念賞を授与する「佐々記念賞」。

④ 医学と工学の融合による社会貢献を目的とした、工学院大学との分野横断型共同研究の実施支援。

（3）研究補助者配置制度

「ダイバーシティ推進センター」において、出産、育児、介護などのライフイベントのある研究者に対して、研究補助者配置制度を実施している。

XI　施設、設備等の整備計画

1．校地、運動場の整備

本学は、「新宿キャンパス」（東京都新宿区新宿）、「西新宿キャンパス（東京医科大学病院併設）」（東京都新宿区西新宿）、「東京医科大学病院（東京都新宿区西新宿）、「茨城医療センター」（茨城県稲敷郡阿見町）、「八王子医療センター」（東京都八王子市館町）という 2 つのキャンパ

ス、３つの附属病院を有し、校地・校舎面積は、大学設置基準上、必要とする十分な面積を有している。

本学では、「中長期計画 2016－2025」で定められた方針に基づき、医師、看護師を育てる医育機関として①キャンパス・校舎に加え、充実した臨床実習を行うための附属病院と、②自主的な学修を促進する情報通信技術（ICT）環境を整備している。

「新宿キャンパス」（東京都新宿区新宿）には、講義室、実習室をはじめ、研究室、図書館、体育館（記念会館)、人工芝グラウンド運動場（2,891 ㎡）体育館の地下には休憩室、自習室、各運動部専用の部室（相撲土俵、剣道場、柔道場、卓球場）や、学友会活動・文化系部の課外活動施設等を整備・配置している。

２．校舎等の整備計画

「新宿キャンパス」では、学部生（医学科・看護学科)、各学年全員が講義を受講できる講堂のほか、講義室、少人数制によるゼミ形式に対応できる小教室を整備している。さらに「人体解剖学」「生理学・生物学」「化学・生化学」「組織神経解剖学・免疫学・病理学・微生物学」等の基礎医学の実習室を完備しており、「物理学」「化学」「生物学」の一般教育も 基礎医学と調整を行い、実習室を併用している。パソコン（約 150 台）を設置し、共用試験 CBT（Computer-Based Testing） にも対応している。

３．医学研究科の施設、設備の整備計画

医学研究科においては、基礎医学系、社会医学系分野（一部）の院生が上記環境を十分に活用し各分野に割り当てられた研究室、さらに併設する医学総合研究所、新宿キャンパス共同研究センター、疾患モデル研究センター、ラジオアイソトープ研究室と潤沢な研究環境を活用し、専門科目における実習・実験に打ち込める環境を整えている。

「西新宿キャンパス」では東京医科大学病院、教育研究棟、第一教育研究棟を擁し、臨床系分野、社会医学系（一部）の各分野の研究室に加え、共同研究室、クリニカル・シュミレーション・ラボ、疾患モデル研究センター等の環境を整えている。

【資料 18】キャンパスと附属施設の位置関係
【資料 19】キャンパスアクセスマップ
【資料 20】キャンパス建物配置図

４．図書館の資料及び図書館の整備計画

「東京医科大学図書館」は、新宿キャンパス、西新宿キャンパスに設置しており、各キャンパスとも学生・教職員が利用できている。

2020（令和 2）年の COVID-19 の影響もあり、開館時間の制限があるが、図書館職員による館内管理により、教職員・学生の感染対策を行い安全面に配慮している。

「東京医科大学図書館」は両キャンパスで 27 万冊、年間受入数は 2,100 冊を数え、また、電子ジャーナル数は和洋合わせ 7,000 誌以上を契約している。電子ブックは和書 6,310 タイトル、洋書 137 タイトルを契約し、これらの電子資料はリンクリゾルバ「S.F.X」の導入により、情報源へアクセスが円滑にできるよう、管理運用している。

図書館は、学内 LAN 及び学外からもアクセスが可能で、学修に必要な図書、雑誌、その他必要な資料等の収集・整理・管理・運用を行っており、図書館が契約している電子ブック、電子ジャーナル及び各種のデータベース（医中誌 web、PubMed、UpToDate、Web of Science、今日の臨床サポートなど）を利用することができる。

各キャンパス図書館は資料の増加もあり、閲覧席の増設は難しい現状であるが、その分、電子資料の収集、利用整備をすすめている。また、昨今の外国雑誌価格高騰や研究分野の学際化に伴い、当館で所蔵していない資料の利用も増加しているが、医学図書館をはじめ国内の大学図書館との協力事業（「図書館間相互貸借システム」への参加）により、利用者のニーズに即した文献入手を行っている。

図書館職員は派遣、臨時職員を含め 20 名おり、8 割強の職員が司書資格を有する。日本医学図書館協会及び国立情報学研究所目録所在情報サービス等関連団体に所属し、学術情報サービスを提供するための研修にも積極的に参加しており、一部の職員は講師や研修主催側スタッフとしての経験も有する。

【資料 21】東京医科大学図書館個別契約電子ジャーナル一覧
【資料 22】東京医科大学図書館契約電子リソース一覧

Ⅻ　管理運営

１．管理運営体制の概要

本研究科の運営は、学長のガバナンス体制を構築するとともに、その独立性を確保し、カリキュラム等で独自の運営ができる仕組みを担保するために、管理運営に関する重要な事項は、東京医科大学大学院学則第 49 条の 2（以下「大学院学則」という）に基づき、医学研究科委員会において審議する。

２．医学研究科委員会

構成員は、学長、医学研究科長、専攻主任、各分野の長となる主任教授、その他医学研究科長が指名したもので構成され、月 1 回の定例会議を開催する。医学研究科委員会は、委員会規程に定められた下記の重要な事項を審議する。

(以下の内容は東京医科大学大学院学則より)

(1)　大学院学則その他大学院に係る規程等の制定、改廃に関する事項
(2)　大学院の組織の設置及び改廃に関する事項
(3)　入学、転学、退学、休学及び留学等学生の身分に関する事項

(4)　課程の修了及び学位の授与に関する事項
(5)　入学試験に関する事項
(6)　学生の試験及び評価に関する事項
(7)　教育課程の編成に関する事項
(8)　学生の表彰及び懲戒に関する事項
(9)　学生の厚生補導に関する事項
(10) 大学院に係る教育職員の選出に関する事項
(11) 学生納付金の減免に関する事項
(12) その他、大学院の教育・研究に関する学長の諮問事項

【資料 23】東京医科大学大学院学則
【資料 24】東京医科大学大学院医学研究科委員会規程

３．医学科教授会との関係

大学院研究科委員会は、その独立性を確保するため、医学科教授会とは別途開催している。ただし、医学科と大学院の両方を担当している教員が大半であり、相互が効率・効果的に運営できるよう配慮し、協力しあう。

４．各種委員会

医学研究科委員会
医学研究科運営委員会
医学研究科カリキュラム委員会
医学研究科入学試験選考委員会
医学研究科奨学生選考委員会

【資料 25】東京医科大学大学院医学研究科運営委員会規程
【資料 26】東京医科大学大学院医学研究科カリキュラム委員会規程
【資料 12】東京医科大学大学院医学研究科入学試験選考委員会規程
【資料 27】東京医科大学大学院医学研究科奨学生選考委員会規程

ＸⅢ　自己点検・評価

１．基本方針

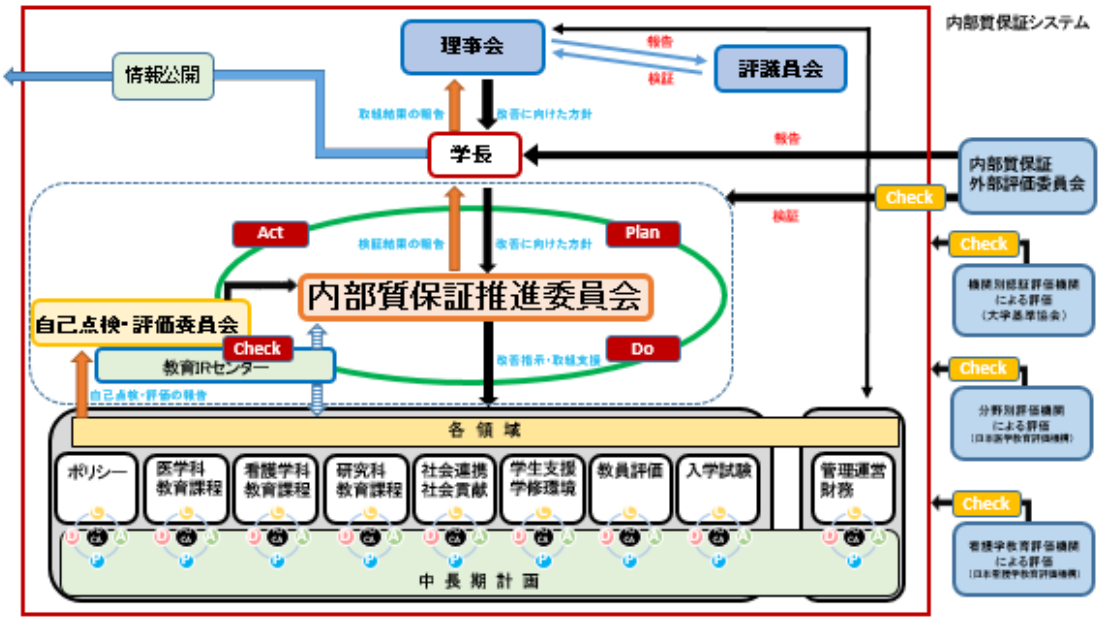
本学は、「東京医科大学内部質保証規程」を定め、教育理念、教育研究上の目的を実現するため、内部質保証の方針に基づいて、教育研究における質の保証とその向上に資する活動を継続して推進するとともに、その取り組みを公表している。また、大学を構成する全ての組織と教職員は、内部質保証の方針及び手続に基づき、それぞれの業務と役割について、自律的・継続

的に自己点検・評価及び改善を行い、質の保証とその向上に努めなければならないことを共有し、内部質保証に取り組んでいる。

２．実施体制・実施方法

（１）実施体制

本学における内部質保証の推進に責任を負い、大学全体の内部質保証システムを有効に機能させるための役割を担う組織として、学長の下に内部質保証推進委員会（以下、「推進委員会」）を置く。全学的観点から自己点検・評価を推進するため、推進委員会に自己点検・評価委員会を置く。大学の学科・研究科、その他の領域の活動と業務に関する自己点検・評価を実施するため、9 領域(ポリシー、医学科教育課程、看護学科教育課程、研究科教育課程、社会連携・社会貢献、学生支援・学修環境、教員評価、入学試験、管理運営・財務)と自己点検・評価委員会をつなぐ組織として、領域のプロジェクトチームを設けている。さらに、内部質保証の客観性を担保するため、学長の下に第三者評価機関として、内部質保証外部評価委員会（以下、「外部評価委員会」を置く）（下図参照)。



図（内部室保証システム）【資料 27】

（２）実施方法、評価結果の活用と公表

推進委員会は、３つのポリシー(学位授与方針、教育課程の編成・実施方針、学生の受け入れ方針)に基づく各教学担当領域の教育活動、その検証および改善の PDCA サイクルが適切に展開できるように支援する。また、自己点検・評価の基本方針を策定すると共に、自己点検・評価の結果に基づき各教学担当領域の取り組みの有効性を検証し、改善のための行動計画を策定する。これらを継続的に行うことで、全学的な教学マネジメントの好循環を推進させている。自己点検・評価委員会は、毎年度各教学担当領域から提出された自己点検・評価書をもとに、

点検・検証を行い、推進委員会へ点検・評価結果を報告する。推進委員会は、各教学担当領域が作成した自己点検・評価報告書および自己点検・評価委員会の点検・評価結果を全学的観点から検証し、その検証結果を学長に報告する。学長はそれを受けて必要に応じ推進委員会に改善の実施を求める。学長の方針に基づき、推進委員会は各教学担当領域に改善を指示すると共に、各教学担当領域の改善の取り組みを支援する。また、学長は、外部評価委員会に内部質保証システムの検証を依頼し、外部評価委員会は、内部質保証システムの有効性並びに点検・評価の客観性および妥当性の検証を行い、学長に検証結果報告書を提出する。学長は、外部評価委員会の報告を受け、必要に応じ推進委員会に改善指示を行う。学長は、年度ごとの内部質保証に係る情報を理事会に報告すると共に、本学ホームページを通して社会に対して公表する。

（3）点検・評価の項目

点検・評価は、前述の 9 領域に加え、大学基準協会の評価基準に則り「内部質保証」を加えた 10 項目としている。

（1） ポリシー
（2） 医学科教育課程
（3） 看護学科教育課程
（4） 研究科教育課程
（5） 社会連携・社会貢献
（6） 学生支援・学修環境
（7） 教員評価
（8） 入学試験
（9） 管理運営・財務
(10) 内部質保証

点検・評価は、目標の設定、目標の達成に向けた取り組み、現状分析の結果を踏まえた改善方策の策定及びその実施、各々の事項に関する報告及び公表に関するもの等であり、毎年度、内部質保証スケジュールに基づき行っている。

医学研究科においても、本学の内部質保証の方針、体制に基づき、運営委員会、研究科委員会が自己点検・評価を行い、PDCA サイクルを適切に機能させることによって、教育研究活動の質の向上を図り、それらが適切な水準にあることを自らの責任で説明し証明していく。

【資料 28】 東京医科大学内部質保証規程
【資料 29】 東京医科大学内部質保証体制図

ⅩⅣ　認証評価

本学は、2018(平成30)年7月に発覚した医学部医学科入学者選抜に係る問題により、2017(平成 29)年度に実施した公益財団法人大学基準協会(JUAA)による大学評価(認証評価)における「適合」の判定が取り消された。その後、迅速で適正な対応が取られると共に、具体的な改善策が推進されたことを受け、2020(令和 2)年度の追評価により再度「適合」の認定を受けた(認定期間：2021(令和 3)年 4 月 1 日から 2025(令和 7)年 3 月 31 日まで)。現在、2024 年度の受審に向け準備を進めている。

医学科では、2022(令和 4)年度に一般社団法人日本医学教育評価機構（JACME）による医学教育分野別評価を再受審の結果、評価基準に「適合」していると認定された（認定期間：2023(令和 5)年 6 月 1 日から 2030(令和 12 年)年 5 月 31 日まで)。

ⅩⅤ　情報の公表

１．基本方針

東京医科大学では、教育・研究・診療・国際連携・社会貢献等に関する取り組みについて、公的な教育機関として社会に対する説明責任を果たすとともに、広く理解いただくためにさまざまな情報をホームページに公開している。

学校教育法施行規則等の一部を改正する省令（平成 22 年文部科学省令第 15 号）に基づき、教育研究活動に関わる主要なデータをまとめ、公表しており、医学研究科に関する情報を含め、以下の通り、公表している。

２．ホームページでの情報公開

本学 Web サイトにおいて公開している情報は以下の通りである。

医学研究科

https://www.tokyo-med.ac.jp/graduate/

ア 大学の教育研究上の目的及び３つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）に関すること

https://www.tokyo-med.ac.jp/graduate/med/doctor/policy.html

イ 教育研究上の基本組織に関すること

https://www.tokyo-med.ac.jp/univ/information/index.html

ウ 教員組織，教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

https://www.tokyo-med.ac.jp/univ/information/index.html

エ 入学者に関する受入れ方針及び入学者の数，収容定員及び在学する学生の数，卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

https://www.tokyo-med.ac.jp/univ/information/index.html

オ 授業科目，授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

https://www.tokyo-med.ac.jp/univ/information/index.html

カ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

https://www.tokyo-med.ac.jp/univ/information/index.html

キ 校地・校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

https://www.tokyo-med.ac.jp/univ/information/index.html

ク 授業料，入学料その他の大学が徴収する費用に関すること

https://www.tokyo-med.ac.jp/graduate/med/doctor/payment.html

ケ 大学が行う学生の修学，進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

学生支援に関する方針

https://www.tokyo-med.ac.jp/univ/support-policy.html

学生・教職員健康サポートセンター

https://www.tokyo-med.ac.jp/facilities/health-support/

コ 大学院設置基準第 14 条の 2 第 2 項に規定する学位論文に係る評価に当たっての基準

https://www.tokyo-med.ac.jp/graduate/media/docs/shinsakijjun.pdf

サ その他

情報公開

https://www.tokyo-med.ac.jp/univ/information/index.html

内部質保証・自己点検・評価報告書

https://www.tokyo-med.ac.jp/univ/naibushitsuhosyo.html

認証評価

https://www.tokyo-med.ac.jp/univ/ninsyo.html

医学教育分野別評価

https://www.tokyo-med.ac.jp/med/bunyabetsuhyoka.html

ⅩⅥ　教育内容等の改善を図るための組織的な研修等

１．ＦＤ / ＳＤ研修会を通した教員の資質向上

（１）ＳＤ研修

「東京医科大学中長期計画 2016-2025」において、人事システムの構築にあたっては、「安心して働ける職場、有意義でやりがいを感じられる仕事、長く勤めて成長し続けられる職場」を基本方針とした制度設計を行い、優秀な人材の確保と計画的な人材育成を行うとしている。大学職員としての資質向上や将来を担う職員の育成を目的として体系的な研修制度を構築し

ている。

2022（令和 4）年度は、内部質保証や個人情報保護法の法改正等について、2023（令和 5）年度は、「LGBT」や「ChatGPT」をテーマにした SD 研修等を実施し、コンプライアンス意識の醸成を行っている。

COVID-19 の感染拡大時の SD ：COVID-19 感染拡大の影響で、研修時期、研修方法の変更、参加人数を制限した規模縮小での開催など工夫して対応した。具体的には、本部で実施していた集合研修を施設毎での分散実施、オンライン研修、会場とオンラインを併用したハイブリッド形式、従来の集合研修に一部オンライン研修を取り入れた形式等、それぞれの特徴、利点を活かす研修方法を実施した。

（2） ＦＤ研修等

本学は FD 研修会を企画・運営する組織体を設け、教育、学生支援、入学者選抜に関する FD を体系的に実施している。医学に関するＦＤは「医学教育推進センター」、学生支援、入学者選抜に関する FD は「ダイバーシティ推進センター」、「アドミッションセンター」が全教員に向け随時主宰している。教育 FD 研修会は学科・研究科の特性に併せて、定められた組織体が計画し、実施している。

FD・SD 研修	担当課
「大学入学者選抜に関する最新の動向」	ｱﾄﾞﾐｯｼｮﾝｾﾝﾀｰ
「“教育”だと思っているのは、あなただけ－ハラスメントについて考えよう！－」	医学教育推進ｾﾝﾀｰ
コンプライアンス教育研修	総合事務ｾﾝﾀｰ
ハラスメントの基礎知識	総合事務ｾﾝﾀｰ
指導医のモチベーションを上げる 3 つの原理	医学教育推進ｾﾝﾀｰ
研究費不正について	総合事務ｾﾝﾀｰ
AI 時代の指導医に必要な 3 つの戦略	医学教育推進ｾﾝﾀｰ
共用試験の公的化について FD・SD	総合事務ｾﾝﾀｰ
特別な支援を必要とする学生の支援方法と合理的配慮の考え方	総合事務ｾﾝﾀｰ
第 1 回 研究・実践活動報告会	総合事務ｾﾝﾀｰ
志向倫理ー科学者に必要な倫理ー	総合事務ｾﾝﾀ
内部質保証 FD・SD	大学総務部
個人情報保護 FD・SD	大学総務部
性の多様性を認め誰もが働きやすい環境づくり	ﾀﾞｲﾊﾞｰｼﾃｨ推進ｾﾝﾀｰ
ChatGPT の利活用と課題	情報システム統括室

２．その他の研究能力向上に向けた取り組み

（１）学生による修了時アンケート

修了時アンケートを実施している。挙がった意見等については、カリキュラム委員会、運営委員会、医学研究科委員会にて教育の質の向上を観点に対応していく。

【資料 30】東京医科大学医学教育推進センター規程

（２）教員の自己評価

毎年度実施している自己点検評価に基づく教員実績評価から自己の現状、課題を認識し、教育研究活動に対する自己の目標を明確にさせる。個々に直面している教育研究上の問題等については、教員間における情報交換、相談・支援が可能な体制を整える。

設置の趣旨等を記載した書類　資料

目次

【資料 1】東京医科大学大学院医学研究科現行の専攻 …… 2
【資料 2】令和 6 年度コースワーク研究指導教員一覧 …… 4
【資料 3】東京医科大学大学院医学研究科医学専攻への統合図…… 6
【資料 4】東京医科大学大学院医学研究科教員選考基準…… 7
【資料 5】東京医科大学大学院カリキュラムマップ（博士課程） …… 9
【資料 6】東京医科大学学位規程 …… 10
【資料 7】東京医科大学博士論文（医学）審査細則…… 17
【資料 8】博士論文審査基準について …… 22
【資料 9】研究指導計画に基づく学位審査までの流れ ……23
【資料 10】大学院医学研究科博士課程履修系統図……24
【資料 11】医学研究科と医学科の関係…… 25
【資料 12】東京医科大学大学院医学研究科入学試験選考委員会規程 …… 28
【資料 13】東京医科大学大学院医学研究科入学試験実施細則 …… 26
【資料 14】東京医科大学就業規則 …… 29
【資料 15】定員外教員に関する規程 …… 43
【資料 16】東京医科大学医学倫理委員会および医学研究に関する細則…… 46
【資料 17】東京医科大学医学倫理委員会申請手順について …… 49
【資料 18】キャンパスと付属施設の位置関係…… 55
【資料 19】キャンパスアクセスマップ…… 64
【資料 20】キャンパス建物配置図 …… 66
【資料 21】東京医科大学図書館個別契約電子ジャーナル一覧 …… 167
【資料 22】東京医科大学図書館契約電子リソース一覧 …… 169
【資料 23】東京医科大学大学院学則 …… 170
【資料 24】東京医科大学大学院医学研究科委員会規程 …… 197
【資料 25】東京医科大学大学院医学研究科運営委員会規程…… 198
【資料 26】東京医科大学大学院医学研究科カリキュラム委員会規程 …… 199
【資料 27】東京医科大学大学院医学研究科奨学生選考委員会規程…… 200
【資料 28】東京医科大学内部質保証規程 …… 201
【資料 29】東京医科大学内部質保証体制図 …… 205
【資料 30】東京医科大学医学教育推進センター規程…… 206

【資料1】

（現行）

大学院博士課程＜7 専攻＞

専　　攻	分　　野	募集定員
形　態　系	人体構造学、組織･神経解剖学、人体病理学、分子病理学、微生物学	10 名
機　能　系	細胞生理学、病態生理学、生化学、薬理学、免疫学、免疫制御学	10 名
社会医学系	公衆衛生学、健康増進スポーツ医学、法医学、医療の質・安全管理学、医学教育学、医療データサイエンス	4 名
内　科　系	血液内科学、呼吸器内科学、循環器内科学、糖尿病・代謝・内分泌内科学、リウマチ・膠原病内科学、消化器内科学、消化器内視鏡学、内科系、精神医学、小児科・思春期科学、皮膚科学、放射線医学、臨床検査医学、高齢総合医学、神経学、腎臓内科学	10 名
外　科　系	呼吸器・甲状腺外科学、乳腺科学、心臓血管外科学、消化器・小児外科学、消化器外科学、消化器外科・移植外科学、整形外科学、眼科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、産科婦人科学、麻酔科学、脳神経外科学、口腔外科学、形成外科学、救急・災害医学	10 名
社会人大学院・臨床研究系※	血液内科学、呼吸器内科学、循環器内科学、糖尿病・代謝・内分泌内科学、リウマチ・膠原病内科学、消化器内科学、消化器内視鏡学、内科系、精神医学、小児科・思春期科学、放射線医学、臨床検査医学、高齢総合医学、神経学、腎臓内科学、呼吸器・甲状腺外科学、乳腺科学、心臓血管外科学、消化器・小児外科学、消化器外科学、消化器外科・移植外科学、整形外科学、眼科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、産科婦人科学、麻酔科学、脳神経外科学、口腔外科学、形成外科学、救急・災害医学	20 名
社会人大学院・研究系※	人体構造学、組織・神経解剖学、人体病理学、分子病理学、微生物学、細胞生理学、病態生理学、生化学、薬理学、免疫学、免疫制御学、公衆衛生学、健康増進スポーツ医学、法医学、医療の質・安全管理学、医学教育学、医療データサイエンス	4 名
（特別枠）		（3 名）
計		68 名

※ 社会人大学院・臨床研究系専攻及び社会人大学院・研究系専攻は大学院設置基準第 14 条による教育方法の特例に基づき、「昼夜開講制」を導入しています。

（変更後）

大学院博士課程医学専攻＜1 専攻＞

令和 7 年 4 月設置予定

専　　攻	分　　野	募集定員
医学	人体構造学、組織･神経解剖学、人体病理学、分子病理学、微生物学	68 名
	細胞生理学、病態生理学、生化学、薬理学、免疫学、免疫制御学	
	公衆衛生学、健康増進スポーツ医学、法医学、医療の質・安全管理学、医療データサイエンス	
	血液内科学、呼吸器内科学、循環器内科学、糖尿病・代謝・内分泌内科学、リウマチ・膠原病内科学、消化器内科学、内科系、精神医学、小児科・思春期科学、皮膚科学、放射線医学、臨床検査医学、高齢総合医学、神経学、腎臓内科学、臨床感染症学	
	呼吸器・甲状腺外科学、乳腺科学、心臓血管外科学、消化器・小児外科学、消化器外科学、消化器外科・移植外科学、整形外科学、眼科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、産科婦人科学、麻酔科学、脳神経外科学、口腔外科学、形成外科学、救急・災害医学	
（特別枠）		（3 名）
計		68 名

コースワーク演習　研究指導教員

系	世話人	職位	氏名	所属	施設
1.神経系	赫　　主任教授	主任教授	金蔵 孝介	薬理学分野	東京医科大学
	清水　主任教授	主任教授	赫　寛雄	神経学分野	東京医科大学
		主任教授	井上　猛	精神医学分野	東京医科大学
		主任教授	清水 聰一郎	高齢総合医学分野	東京医科大学
		主任教授	山中　岳	小児科・思春期科学分野	東京医科大学
		教授	市来 真彦	精神医学分野	東京医科大学
		教授	稲津 正人	医学総合研究所	東京医科大学
		教授	合谷木 徹	麻酔科学分野	東京医科大学
		教授	藤村 洋太	メンタルヘルス科(内関・八王子)	東京医科大学八王子医療センター
		教授	神保 洋之	脳神経外科(外分・八王子)	東京医科大学八王子医療センター
		教授	東　晋二	メンタルヘルス科	東京医科大学茨城医療センター
		教授	山崎　薫	脳神経内科	東京医科大学茨城医療センター
2.生体防御系	横須賀主任教授	主任教授	中村 茂樹	微生物学分野	東京医科大学
	中村　主任教授	主任教授	横須賀 忠	免疫学分野	東京医科大学
		主任教授	本間　宙	救急・災害医学分野	東京医科大学
		主任教授	原田 和俊	皮膚科学分野	東京医科大学
		教授	大楠 清文	微生物学	東京医科大学
		教授	善本 隆之	免疫制御学分野	東京医科大学
		教授	渡邉 秀裕	内科系臨床感染症学	東京医科大学
		教授	小林　弘	リウマチ性疾患治療(内関・八王子)	東京医科大学八王子医療センター
		教授	加藤 雪彦	皮膚科(内関・八王子)	東京医科大学八王子医療センター
		教授	蒲原 英伸	特定集中治療部(病機・八王子)	東京医科大学八王子医療センター
		教授	川内 康弘	皮膚科	東京医科大学茨城医療センター
3.腫瘍系	黒田　主任教授	主任教授	長尾 俊孝	人体病理学分野	東京医科大学
	石川　主任教授	主任教授	黒田 雅彦	分子病理学分野	東京医科大学
		主任教授	後藤 明彦	血液内科学分野	東京医科大学
		主任教授	糸井 隆夫	消化器内科学分野	東京医科大学
		主任教授	齋藤 和博	放射線医学分野	東京医科大学
		主任教授	池田 德彦	呼吸器・甲状腺外科学分野	東京医科大学
		主任教授	石川　孝	乳腺科学分野	東京医科大学
		主任教授	河野 道宏	脳神経外科学分野	東京医科大学
		主任教授	永川 裕一	消化器・小児外科学分野	東京医科大学
		主任教授	大野 芳正	泌尿器科学分野	東京医科大学
		主任教授	塚原 清彰	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野	東京医科大学
		主任教授	西　洋孝	産科婦人科学分野	東京医科大学
		主任教授	鈴木 修司	消化器外科学分野	東京医科大学茨城医療センター
		教授	松林　純	人体病理学	東京医科大学
		教授	祖父尼 淳	臨床腫瘍科	東京医科大学
		教授	阿部 光一郎	放射線医学分野	東京医科大学
		教授	吉村 真奈	放射線医学分野	東京医科大学
		教授	中井 資貴	放射線医学分野	東京医科大学
		教授	大平 達夫	呼吸器外科・甲状腺外科学	東京医科大学
		教授	筒井 英光	呼吸器外科・甲状腺外科学	東京医科大学
		教授	濱田　宏	緩和医療部	東京医科大学病院
		教授	伊藤 良和	臨床研究支援センター	東京医科大学病院
		教授	後藤 守孝	血液内科(内分・八王子)	東京医科大学八王子医療センター
		教授	梶原 直央	呼吸器外科(外分・八王子)	東京医科大学八王子医療センター
		教授	山田 公人	乳腺科(外分・八王子)	東京医科大学八王子医療センター
		教授	日高 英二	消化器外科・移植外科	東京医科大学八王子医療センター
		教授	中津川 宗秀	病理診断部(病機・八王子)	東京医科大学八王子医療センター
		教授	青木 琢也	臨床腫瘍科(病機・八王子)	東京医科大学八王子医療センター
		教授	菅原 信二	放射線科	東京医科大学茨城医療センター
		教授	下田　貢	消化器外科	東京医科大学茨城医療センター
		教授	森下 由紀雄	病理診断部	東京医科大学茨城医療センター

4.器官系機能解析 (1)頭頸部・運動器系	濱岡　主任教授 近津　主任教授	主任教授 主任教授 主任教授 主任教授 主任教授 主任教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授	伊藤 正裕 濵岡 隆文 山本 謙吾 後藤　浩 近津 大地 松村　一 宍戸 孝明 志村 雅彦 小川 恭生 石井 朝夫 吉井 雄一 三浦 雅博 松尾　朗	人体構造学分野 健康増進スポーツ医学分野 整形外科学分野 眼科学分野 口腔外科学分野 形成外科学分野 整形外科学分野 眼科(外関・八王子) 耳鼻咽喉科・頭頸部(外関・八 整形外科 整形外科 眼科 歯科口腔外科	東京医科大学 東京医科大学 東京医科大学 東京医科大学 東京医科大学 東京医科大学 東京医科大学 東京医科大学八王子医療センター 東京医科大学八王子医療センター 東京医科大学茨城医療センター 東京医科大学茨城医療センター 東京医科大学茨城医療センター 東京医科大学茨城医療センター
4.器官系機能解析 (2)内臓・自律神経系	里見　主任教授 島原　主任教授	主任教授 主任教授 主任教授 主任教授 主任教授 主任教授 主任教授 教授 教授 教授 教授 教授 教授

【資料3】

大学院博士課程の組織変更図

専　攻	分　野	コース	募集定員
医学	人体構造学分野 組織・神経解剖学分野 細胞生理学分野 病態生理学分野 生化学分野 薬理学分野 人体病理学分野 分子病理学分野 微生物学分野 免疫学分野 公衆衛生学分野 健康増進スポーツ医学分野 法医学分野 医療の質・安全管理学分野 医療データサイエンス分野	神経系 生体防御系	６８名 （社会人を含む）
	血液内科学分野 呼吸器内科学分野 循環器内科学分野 糖尿病・代謝・内分泌内科学分野 リウマチ・膠原病内科学分野 神経学分野 消化器内科学分野 腎臓内科学分野 精神医学分野 小児科・思春期科学分野 放射線医学分野 臨床検査医学分野 高齢総合医学分野	腫瘍系	
	呼吸器・甲状腺外科学分野 乳腺科学分野 心臓血管外科学分野 脳神経外科学分野 救急・災害医学分野 消化器・小児外科学分野 整形外科学分野 皮膚科学分野 眼科学分野 泌尿器科学分野 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野 産科婦人科学分野 麻酔科学分野 口腔外科学分野 形成外科学分野	器官系機能解析 分子・細胞機能解析	
	内科系分野（茨城） 内科関連分野（茨城） 外科系分野（茨城） 外科系関連分野（茨城） 消化器外科学分野（茨城）	社会・情報・教育系	
	内科系分野（八王子） 内科関連分野（八王子） 外科系分野（八王子） 外科関連分野（八王子） 消化器外科・移植外科学分野（八王子）		

〇東京医科大学大学院医学研究科教員選考基準

令和２年９月４日東医大発第176号

改正

令和５年12月20日

令和６年２月21日

東京医科大学大学院医学研究科教員選考基準

（趣旨）

第１条　本学大学院医学研究科に研究指導教員、研究指導補助教員、授業担当教員及びその他の大学院教員を置き、医学科教員がこれを兼務するものとし、その任用及び選考については、この選考基準の定めるところによる。

（大学院医学研究科教員の資格）

第２条　本学医学研究科の教員となることのできる者は、東京医科大学教員選考基準を満たし、かつ次の各号を満たす者とする。

（１）　医学研究科の人材を育成するにふさわしい、優れた人格、見識、高い倫理観を有し、論理的思考に基づく研究指導能力を有する者。

（２）　専門分野に関する十分な研究能力を有するとともに、最新情報に精通し、医学研究の持続的発展、研究成果の発信、社会への還元、等に貢献できる者。

（３）　国際的な視野をもち、医学の発展と人類の福祉に貢献する独創的で創造性に富んだ研究を推進・教育できる者。

（大学院医学研究科研究指導教員の資格）

第３条　大学院医学研究科の研究指導教員となることのできる者は、前条に定める大学院医学研究科教員の資格を満たす次の教員とする。

（１）　大学院医学研究科における研究指導を担当するにふさわしい特に優れた研究および教育上の能力を有し、大学院生の研究成果に対して包括的な責任をもつことができると認められた主任教授又は教授

（大学院医学研究科の研究指導補助教員の資格）

第４条　大学院医学研究科の研究指導補助教員となることのできる者は、第２条に定める大学院医学研究科教員の資格を満たす次の教員とする。

（１）　大学院医学研究科における研究指導を担当するにふさわしい研究及び教育上の能力を有すると認められた臨床教授、准教授、臨床准教授又は講師

（大学院医学研究科授業担当教員の資格）

第５条　大学院医学研究科の授業担当教員となることのできる者は、第２条に定める大学院医学研究科教員の資格を満たす次の教員とする。ただし、臨床講師及び助教については、博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有し、研究上の業績を有する者に限る。

（大学院医学研究科その他の大学院教員の資格）

第６条　大学院医学研究科のその他の大学院教員となることができる者は、第２条に定める大学院医学研究科教員の資格を満たす次の教員とする。

（１）　定員外教員のうち、教授又は准教授の職にある者（ただし地域医療指導教授、臨床研修地域医療指導教授、地域医療指導准教授及び臨床研修地域医療指導准教授並びに派遣教授及び派遣准教授を除く。）

（大学院医学研究科教員の選考）

第７条　大学院医学研究科教員の選考は、人事審査会で審議され、医学研究科委員会の議を経て、学長が行う。

第８条　この基準の改廃は、研究科委員会の議を経て、学長が行う。

附　則

この規程は、令和２年５月20日から施行し、令和２年５月１日より適用する。

附　則（令和５年12月20日）

１　この規程は、令和６年４月１日から施行する。（第１条、第２条、第４条乃至第６条の改正、第４条第１項第２号の削除並びに第５条第１項第１号及び第６条第１項第１号の新設、第３条の削除、以下条の繰り上げ並びに第６条、第７条の新設、以下条の繰下げ）【令和５年12月26日東医大発第439号】

２　この規程の施行に伴い、東京医科大学大学院医学研究科教員選考基準の改正日前に医学科の主任教授、教授、臨床教授、准教授、臨床准教授及び講師の職にある者については、この規程による大学院医学研究科教員の資格を満たすものとみなす。

附　則（令和６年２月21日）

この規程は、令和６年４月１日から施行する。（第５条第１項の改正及び第５条第１項第１号の削除）【令和６年４月11日東医大発第13号】

【博士課程】カリキュラムマップ

ディプロマポリシー	学年	共通科目					専門科目									コースワーク				最終試験	備考
		ステップ1	国際発信のための論文執筆とプレゼンテーション	医学研究における法と倫理	医療データサイエンス	グラント申請の書き方・研究資金の確保	研究計画書	講義Ⅰ	講義Ⅱ	講義Ⅲ	実験・実習Ⅰ	実験・実習Ⅱ	実験・実習Ⅲ	実験・実習Ⅳ	実験・実習Ⅴ	コースワーク別研究発表	特別講義	医学会総会	コースワーク実習	公開審査会	
		必修	必修	必修	必修	必修	—	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	必修	—	
		1	0.5	1	2	0.5	—	2	2	2	2	2	2	4	4	3			2	—	
1．研究の背景・目的の意義を論理的に説明できる。	4年						A							A	A	A		A		A	
	3年						B						B			B		B		B	
	2年	C	C	B		B	C					B				C		C			
	1年						C				C					C		C			
2．内外の専攻分野の普遍的および最新の知識が十分である。	4年													A	A		A	A	A	A	
	3年									A			B				B	B	B	B	
	2年	C		C	B	B			B			B					C	C	C		
	1年							C			C						C	C	C		
3．研究方法の科学的な正当性をよく理解し、説明できる。	4年													A	A	A		A		A	
	3年												B			B		B		B	
	2年	C	B	B		B						B				C		C			
	1年										C					C		C			
4．研究結果を論理的に解釈し、考察、結論できる。	4年						A							A	A	A		A		A	
	3年						B						B			B		B		B	
	2年	C	C	C	B	B	C					B				C		C			
	1年						C				C					C		C			
5．医学研究を自ら計画し、研究倫理に則り主体的に取り組むことができる。	4年						A												A		
	3年						B												B	B	
	2年	C				B	C				B								C	C	
	1年						C												C	C	
6．論理的に思考し、質疑応答する能力がある。	4年													A	A			A		A	
	3年									A			B					B			
	2年		C						B			B						C			
	1年							C			C							C			

難易度	
A	上級・応用段階
B	中級・発展段階
C	初級・基礎段階

○東京医科大学学位規程

平成24年３月21日制定

改正

平成25年４月17日
平成27年２月９日東医大発第66号
令和４年11月16日

東京医科大学学位規程

（趣旨）

第１条　東京医科大学（以下「本学」という。）が授与する学位については、学位規則（昭和28年文部省令第９号）第13条第１項及び東京医科大学学則第48条並びに東京医科大学大学院学則第15条から第17条までに定めるもののほか、この規程の定めるところによる。

（学位）

第２条　本学において授与する学位は、学士、修士及び博士とする。

（学位授与の要件）

第３条　学士の学位は、本学を卒業した者に授与する。

２　修士の学位は、本学の大学院医学研究科の修士課程を修了した者に授与する。

３　博士の学位は、次の各号の一に該当する者に授与する。

（１）　本学の大学院医学研究科の博士課程を修了した者（甲種－課程博士）

（２）　本学の大学院医学研究科の博士課程を所定単位取得後退学後、３年以内に博士論文の審査及び最終試験に合格した者（甲種－課程博士）

（３）　本学に博士論文を提出してその審査に合格し、かつ、前号の者と同等以上の学力を有することを確認された者（乙種－論文博士）

（論文等の提出）

第４条　修士の学位を申請する者は東京医科大学修士論文（医科学）審査細則第３条に定める書類等を、博士の学位を申請する者は東京医科大学博士論文（医学）審査細則第７条に定める書類等を学長宛てに提出しなければならない。ただし、博士の学位を申請する者のうち、本学の研究生及び専攻生については、授業料完納者に限る。

２　提出された修士論文又は博士論文（不合格を除く。）、申請手数料及び審査料は、返還しない。

（審査）

第５条　学長は、前条により提出された修士論文又は博士論文を東京医科大学大学院医学研究科委員会（以下「研究科委員会」という。）に審査を付託するものとする。

２　研究科委員会は、審査を付託された当該論文について、それぞれ論文審査委員会（以下「審査委員会」という。）を設け、審査を行わせるものとする。

（試験）

第６条　提出された当該論文に関連のある科目については、筆答又は口答により最終試験を行う。

２　最終試験は、公開制とする。

（審査期間）

第７条　修士論文に係る審査及び試験は提出された日から２か月以内に、博士論文に係る審査及び試験は提出された日から１年以内に終了するものとする。ただし、博士論文に係る審査について特別な理由があるときは、研究科委員会の議決を経て審査期間を６か月を限度として延長することができる。

（審査結果の報告）

第８条　審査委員会は、当該論文の審査及び最終試験の結果を研究科委員会に報告しなければならない。

２　審査結果を報告するときは、当該論文、当該論文の要旨及び審査結果の要旨を研究科委員会に提出するものとする。

（学位授与の決定）

第９条　研究科委員会は、前条第１項の報告に基づき、修士又は博士の学位を授与すべきか否かを決定する。

２　前項の決定は、研究科委員会の構成員の３分の２以上の出席を必要とし、無記名投票により出席者の３分の２以上の賛成を要するものとする。

（学位の授与）

第10条　学長は、第３条第１項に定める者に対しては、学位記を交付し学士の学位を授与する。

２　学長は、研究科委員会の決定に基づき、修士又は博士の学位を授与すべきものと決定した者に対しては、学位記を交付し当該学位を授与する。

３　前項の規定により博士の学位を授与したときは、本学の学位簿に登録し、当該学位を授与した日から３か月以内に学位授与報告書を文部科学大臣に提出するものとする。

（審査要旨の公表）

第11条　本学は、博士の学位を授与したときは、当該学位を授与した日から３か月以内に論文内容の要旨及び審査結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。

（学位論文の公表）

第12条　博士の学位を授与された者は、当該学位を授与された日から１年以内に、当該学位の授与に係る論文の全文を公表しなければならない。ただし、既に公表しているときは、この限りでない。

２　前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、やむを得ない理由がある場合には、研究科委員会の承認を受けて、当該学位の授与に係る論文の全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる。この場合において、本学は、その論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。

３　前２項の規定による公表は、東京医科大学審査学位論文である旨を明記しなければならない。

（学位の名称）

第13条　学位を授与された者が、当該学位の名称を用いるときは、東京医科大学と付記するものとする。

（学位授与の取消し）

第14条　学位を授与された者が、その名誉を汚す行為をしたとき、又は不正な方法により当該学位の授与を受けた事実が判明したときは、学長は、医学科教授会、看護学科教授会又は研究科委員会（以下「教授会等」という。）の議を経てその学位を取消し、学位記を返還させ、かつ、その旨を公表するものとする。

２　教授会等において、学長が前項の判断を行う場合は、第９条第２項の規定を準用する。

（学位記の再交付）

第15条　学位記の再交付は行わない。ただし、学長が相当な事由があると判断した場合は、再交付を行うことができる。この場合において、学位記の再交付を受けようとする者は、その事由を記載した申請書に手数料5,000円を添えて学長宛てに提出しなければならない。

（学位記の様式）

第16条　学位記の様式は、様式１、様式２、様式３、様式４及び様式５のとおりとする。

（雑則）

第17条　この規程に定めるもののほか、修士及び博士の論文審査に関し必要な事項は別に定める。

（改廃）

第18条　この規程の改廃は、医学部教授会代表者会議及び研究科委員会の議を経て学長が行う。

附　則

１　この規程は、平成25年４月１日から施行する。

２　この規程の施行に伴い、昭和29年７月９日制定の「東京医科大学学位規程」は、廃止する。

附　則（平成25年４月17日）

この規程は、平成25年４月17日から施行し、平成25年４月１日から適用する。

附　則（平成27年２月９日東医大発第66号）

この規程は、平成27年１月21日から施行し、平成27年１月１日から適用する。（全部の改正）

附　則（令和４年11月16日）

この規程は、令和４年11月16日から施行し、令和４年４月１日から適用する。（第３条第３項第１号、第２号の改正、第３条第３項第２号の新設、以下号の繰下げ及び別表１の改正）【令和４年11月30日東医大発第351号】

別表１

	申請手数料	予備調査料	審査料	要旨公表料	合計
大学院生				20,000円	20,000円
教育職員	20,000円		360,000円	20,000円	400,000円
研究生・専攻生・所定単位取得後退学者	20,000円		160,000円	20,000円	200,000円
学外申請者	20,000円	200,000円	2,100,000円	20,000円	2,340,000円

※（注）要旨公表料：論文内容の要旨及び論文審査の結果の要旨公表料

※（注）教育職員が退職後学位申請をする場合の申請手数料等は、２年以内であれば教育職員と同額とし、２年を超える場合は、学外申請者と同額とする。

※（注）本学での研究歴が３年以上４年未満の教育職員が研究歴を通算し学外申請者として学位申請する場合の申請手数料等は、学外申請者の合計額から100万円を減ずる額とする。

別記

様式１

第16条の規定により授与する学位記の様式

第　　号

卒　業　証　書・学　位　記

氏　名

年　　月　　日生

本学所定の課程を修めて本学を卒業したことを認め学士（医学）の学位を授与する。

年　　月　　日

東京医科大学

学　長　　氏　名　　印

様式２

第16条の規定により授与する学位記の様式

第　　号

卒　業　証　書・学　位　記

氏　名

年　　月　　日生

本学所定の課程を修めて本学を卒業したことを認め学士（看護学）の学位を授与する。

年　　月　　日

東京医科大学

学　長　　氏　名　　印

様式３

第16条の規定により授与する学位記の様式

学　　位　　記

本籍（都道府県名）

氏　名

年　　月　　日生

本学大学院医学研究科の修士課程において所定の単位を修得し学位論文の審査及び最終試験に合格したので修士（医科学）の学位を授与する。

年　　月　　日

東京医科大学　　印

様式４

第16条の規定により授与する学位記の様式

学　　位　　記

本籍（都道府県名）

氏　名

年　　月　　日生

本学大学院医学研究科の博士課程において所定の単位を修得し学位論文の審査及び最終試験に合格したので博士（医学）の学位を授与する。

年　　月　　日

東京医科大学　　印

様式５

第16条の規定により授与する学位記の様式

第　　号

学　　位　　記

本籍（都道府県名）

氏　名

年　　月　　日生

本学に学位論文を提出し所定の審査及び試験に合格したので博士（医学）の学位を授与する。

年　　月　　日

東京医科大学　　印

東京医科大学博士論文（医学）審査細則

（趣旨）

第１条　この細則は、東京医科大学（以下「本学」という。）学位規程（以下「学位規程」という。）第 17 条の規定に基づき、博士（医学）の論文審査に関し必要な事項を定めるものとする。

（定義）

第２条　この細則において「学歴」とは、次の各号に定めるところによるものをいう。

（１）　大学の医学部医学科の卒業者

（２）　大学の歯学部歯学科又は６年制の薬学部薬学科、獣医学部獣医学科、農学部獣医学科の卒業者

（３）　前２号以外の大学卒業者のうち、修士課程を修了した者

（４）　前各号以外の学歴の者で、東京医科大学大学院医学研究科委員会（以下「研究科委員会」という。）において審議し認めるもの

２　この細則において「研究歴」とは、次の各号に定めるところによるものをいう。

（１）　本学専任の教育職員、臨床研究医又は研究員として研究に従事した期間

（２）　本学の研究生又は専攻生として研究に従事した期間

（３）　本学の大学院を退学した者の場合、大学院に在学していた期間

（４）　大学の医学部、歯学部又はその附属研究施設若しくは本学の研究科委員会が認める研究施設において専任の教育職員として研究に従事した期間

（５）　研究歴の中断が３年以上ある場合、中断前の研究歴の 10 分の８の期間

（論文提出の資格）

第３条　博士論文の審査について申請できる者は、本学が定める学歴及び研究歴があり、かつ、研究科委員会の委員の推薦があるものとする。

２　前項に定める者のうち、本学の教育職員、大学院生、研究生及び専攻生については、本学の医学会総会において発表しているものとする。

３　博士論文の審査について申請できる者は、本学大学院の単位取得者であること。または、左記の者と同等以上の内容を有する論文を提出し、推薦者が、医学に関して広い学識と専門性を有することと判断した者においては、本学において実施される英語試験に合格していることを条件に申請を認めるものとする。

（申請できる博士論文）

第４条　申請できる博士論文は、次に掲げるものとする。

（１）　原著論文

（２）　印刷公表されたもの（未公表のものは掲載証明を要する。）

原著論文は原則として英文で記載され、査読のある定期刊行学術誌に掲載済みあるいは掲載予定でもので論文筆頭者であるもの。ただし、第２著者が第１著者と同等の貢献をしたと認められる論文の場合は、申請前に研究科委員会で審査するものとする。

システマティック・レビューは次の二つの条件を満たす場合に限り学位論文として受理することがある。

1.当該論文が直近のインパクトファクター３以上の学術誌に掲載済みまた掲載予定であること。かつ、2.システマティック・レビューを実施する際の臨床課題設定の元となる症例報告/症例シリーズ報告等の副論文が査読を要する学術誌に英文論文として掲載済みであること。

（研究期間）
第５条　博士論文の審査に申請できる者の研究期間は、次のとおりとする。
（１）　本学専任の教育職員、臨床研究医、研究員及び、研究生の場合は、基礎医学分野において５年以上、臨床医学分野においては６年以上
（２）　本学の一般教育科目専任の教育職員は、当該研究分野において７年以上
（３）　本学の専攻生の場合は、基礎医学分野においては６年以上、臨床医学分野においては７年以上
（４）　学外の申請者の場合は、基礎医学分野においては７年以上、臨床医学分野においては９年以上、その他の研究分野の者は当該研究においては９年以上
（研究歴の加算）
第６条　基礎医学分野及び臨床医学分野に関する研究歴の加算については、次のとおりとする。
（１）　基礎医学分野から申請する場合は、基礎医学分野に係る研究歴が連続して前条各号の研究期間の２分の１以上のときは、臨床医学分野の研究歴を加算することができるものとする。
（２）　臨床医学分野から申請する場合は、臨床医学分野に係る研究歴が連続して前条各号の研究期間の２分の１以上のときは、基礎医学分野の研究歴を加算することができるものとする。
（３）　研究生が申請する場合は、前条第１号の研究期間と専攻生の研究歴に基礎医学分野については６分の５、臨床医学分野については７分の６を乗じた研究歴を加算することができるものとする。
（４）　専攻生が申請する場合は、前条第３号の研究期間と研究生の研究歴に基礎医学分野については５分の６、臨床医学分野については６分の７を乗じた研究歴を加算することができるものとする。
（提出書類等）
第７条　博士の学位を申請する者は、次の各号に掲げる書類に、別表１に掲げる申請手数料、審査料、要旨公表料を添えて提出しなければならない。
（１）　学位申請書　１通
（２）　審査論文　10部
（３）　掲載証明　１通（公表済のものは不要）
（４）　論文目録　９通
（５）　審査論文要旨
ア　日本文　10通
イ　英文　７通
（６）　英語試験合格書（論文博士申請者のみ）
（７）　履歴書　６通
（８）　研究歴証明書　１通（論文博士申請者のみ）
（９）　戸籍抄本　１通
(10)　東京医科大学医学会総会発表証明書　１通（学外申請者は不要）
(11)　推薦書　５通（原本１通、コピー４通）
(12)　学位論文要旨等電子的公開許諾書　１通
(13)　学外申請者は、研究指導者の推薦書（本学学長宛て）、卒業証明書及び研究歴証明書を各１通
２　学位申請関係書類の様式は、別に定める。

（学外申請者）
第８条　学位規程第３条第３項第３号に定める者のうち、学外において研究した者（本学出身の学外研究者を含む。）については、学外申請者として予備調査を行い、別表１に掲げる予備調査料を納入する。
２　予備調査に合格した者は、申請手数料、審査料、要旨公表料を納入するものとする。
（審査委員推薦委員会）
第９条　博士論文を審査するに当たり、論文審査委員を推薦する審査委員推薦委員会（以下「推薦委員会」という。）を置く。
２　推薦委員会に委員長を置き、副学長（研究科長）をもって充てる。
３　委員は、研究科委員会の構成員のうち基礎医学分野から１人、臨床医学分野から２人で構成し、任期は１年とする。
（博士論文審査委員会）
第 10 条　博士論文を審査するため、博士論文審査委員会（以下「審査委員会」という。）を置く。
２　審査委員会の委員は、推薦委員会から推薦され、研究科委員会で承認された主査１人及び副査２人とする。
３　研究科委員会が必要と認めるときは、審査委員会に学内又は学外の専門家１人を加えることができる。ただし、判定に加わることはできない。
４　申請者が所属する分野の主任教授は、主査又は副査になることはできない。
５　申請者が申請する博士論文の共著者は、主査又は副査になることはできない。
６　審査委員会の委員及び当該論文の指導教員は、利害関係者から疑惑や不信を招くような金品を受け取ってはならない。
７　審査委員会の委員の手当は、別表２のとおりとする。
（予備調査）
第 11 条　学外申請者については、推薦委員会が指名する学内又は学外の専門家２人の予備調査委員が当該論文の価値判定を含めた予備調査を行い、研究科委員会に報告するものとする。
２　研究科委員会は、予備調査委員の報告を基に、当該博士論文の受理の可否を決定する。
（１次審査）
第 12 条　研究科委員会は、第７条の規定により提出された書類を基に審査を行う。
２　研究科委員会の委員は、当該論文に対する質問等がある場合は、公開審査までに書面による質問書を審査委員会に提出するものとする。
（公開審査）
第 13 条　公開審査は、プレゼンテーション及び最終試験により行う。
２　審査委員会は、当該論文の提出者に出席を求め、必要があると認められる場合は、参考資料の提出、指導教員の出席を求めることができる。
３　審査委員会への出席を希望する者は、主査の許可を得るものとする。ただし、判定に加わることはできない。
４　主査は、公開審査終了後、学位論文審査要旨（1,000 字以内）及び最終試験の結果の要旨を作成し、２次審査の 10 日前までに研究科委員会へ報告するものとする。
（２次審査及び学長への報告）

第 14 条　研究科委員会は、当該論文の 1 次審査の結果及び前条第 4 項に定める学位論文審査要旨等を資料とし、学位規程第 9 条に定める方法により学位授与の可否の判定を行い、当該結果を学長に報告するものとする。

（改廃）

第 15 条　この細則の改廃は、研究科委員会の議を経て学長が行う。

附　則

1　この細則は、平成 27 年 1 月 21 日から施行し、平成 27 年 1 月 1 日から適用する。

2　この細則の施行に伴い、昭和 36 年 1 月 1 日制定の東京医科大学学位論文審査内規は廃止する。

附　則（平成 29 年 7 月 6 日東医大発第 343 号）

この細則は、平成 29 年 7 月 1 日から施行する。（第 11 条及び別表 2 の改正）

附　則（令和 3 年 7 月 2 1 日）

この細則は、令和 4 年 1 月 1 日から適用する。（第 8 条及び別表 1 の改正）

附　則（令和 3 年 1 2 月 1 5 日）

この細則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。（第 3 条第 3 項、第 4 条第 1 項及び別表 1 の改正）

別表 1（第 7 条及び第 8 条関係）

	申請手数料	予備調査料	審査料	要旨公表料	合計
1.大学院生				20,000 円	20,000 円
2.教育職員	20,000 円		360,000 円	20,000 円	400,000 円
3.研究生・専攻生・所定単位取得後退学者	20,000 円		160,000 円	20,000 円	200,000 円
4.学外申請者	20,000 円	200,000 円	2,100,000 円	20,000 円	2,340,000 円

（注）教育職員が退職後、学位申請をする場合の審査手数料等は、2 年以内であれば教育職員と同額とし、2 年を超える場合は、学外申請者と同額とする。

（注）本学専任の教育職員、臨床研究医又は研究員として研究に従事した期間（以下、「従事期間」という。）が 4 年未満の場合、学外申請者と同額の扱いとする。そのうえで、別表 1 に掲げる 2.と 4.の申請手数料、審査料、要旨公表料の差額は貸与とすることができる。貸与を受ける者は、退職等により従事期間の不足が生した場合には下記に掲げる要弁済額を支弁する旨を記載した誓約書に署名するものとし、従事期間が 4 年に足りれば弁済を免除されることとする。

従事期間が 4 年に不足した場合の要弁済額

申請手数料、審査料、要旨公表料の差額 1,740,000 円	1 年未満	左記金額の 100%
	1 年以上 2 年未満	左記金額の 90%
	2 年以上 3 年未満	左記金額の 75%
	3 年以上 4 年未満	左記金額の 50%

別表 2（第 10 条第 7 項関係）

	学内申請者	学外申請者
主査手当	50,000 円	50,000 円
副査手当	30,000 円	30,000 円
専門家手当	30,000 円	30,000 円
予備調査委員手当		100,000 円

博士論文審査基準について

【審査対象】

審査の対象となる博士論文は、次に掲げるものとする。

※　原著論文

※　印刷公表されたもの（未公表のものは掲載証明を要する。）

※　原則として英文で記載されたもの

査読のある定期刊行雑誌に掲載のもので、論文筆頭者であるもの。ただし、第２著者が第１著者と同等の貢献をしたと認められる論文の場合は、申請前に研究科委員会で審査するものとする。

※　公表後3年以内のもの（4年以上経過している場合、研究科委員会での審議を要する。）

【研究報告の評価】

１．研究テーマの背景・目的を十分に理解し、かつ、明確に説明できること。

２．研究方法をよく理解し、わかりやすく説明できること。

３．研究結果を論理的に考察し、科学的に結論に結び付けることができること。

【研究への主体的な取り組み・高い研究者としての自立】

４．当該研究に自ら計画し、主体的に取り組んだか。

５．専攻分野・関連領域に関する十分な知識を有すること。

６．論理的に思考し、質疑応答に対応する能力があること。

【研究実施における論理的配慮】

倫理的配慮がなされていること（①研究計画の立案および遂行、研究成果の発表ならびにデータの保管に関して、適切な倫理的配慮がなされていること②学内の倫理規程や研究テーマに関連する学会や団体の倫理基準等を遵守していること）。

【掲載誌】

掲載誌が IF2.0 以上の英文誌である場合には評価点はＡ、IF2.0 未満の英文誌の場合にはＢ

上記それぞれについてＡＢＣＤの４段階評価とし、総合判定がＤの場合は不合格とする。

【資料9】

研究指導計画に基づく学位審査までの流れ

１年次　　入学時にコースワーク（①～⑥）の領域の決定
研究指導教員の指導のもとで研究テーマを決定し、
研究計画を立案「博士課程ポートフォリオ」(P.9)

⬇

研究開始

⬇

コースワーク講義にて「研究課題」（研究背景，方法を含む）を発表
研究継続

⬇

進捗状況「博士課程ポートフォリオ」(P.9)を総合事務センターに提出

２－３年次　研究計画の修正等「博士課程ポートフォリオ」(P.9)

⬇

コースワーク講義にて「中間報告」（進捗状況）を発表（1 回以上）

⬇

研究継続

⬇

進捗状況「博士課程ポートフォリオ」(P.9)を総合事務センターに提出

４年次　　研究計画の最終調整「博士課程ポートフォリオ」(P.9)

⬇

研究成果を東京医科大学医学会総会でポスター発表
（英語での抄録作成、ポスター作成・発表）（発表証明書取得）

⬇

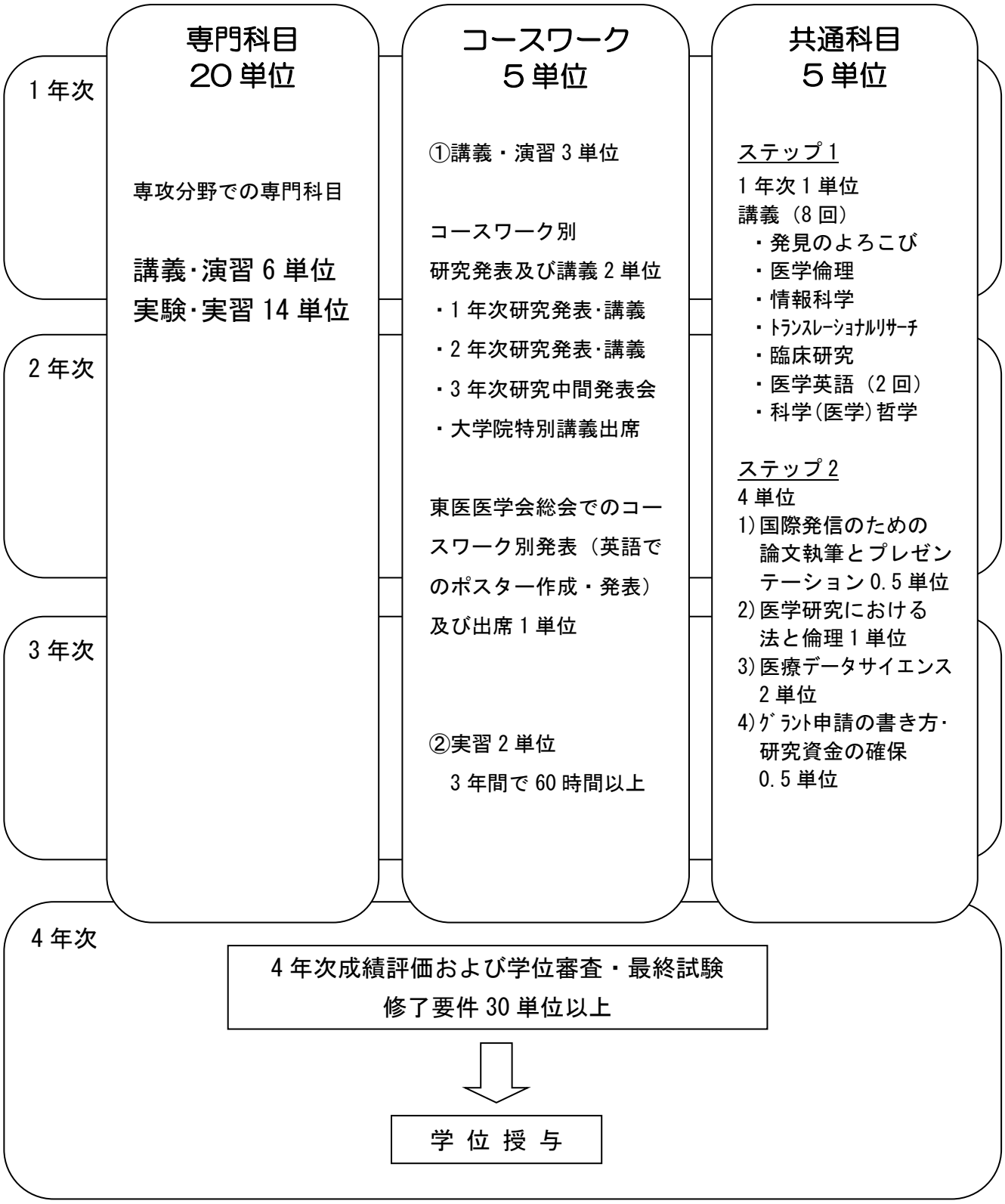
学位論文作成

⬇

学位論文の「学術誌」への受理かつ所定科目 30 単位以上の履修を以て
学位申請資格を得る

【資料10】

大学院医学研究科博士課程履修系統図



【資料11】

医学科と医学研究科の関係

医学科 教室・分野等一覧

■一般教育系
＜人文科学領域＞
人間学教室
＜自然科学領域＞
数学教室
物理学教室
化学教室
生物学教室
＜語学教育＞
国際教育研究センター

■基礎社会医学系

人体構造学分野
組織・神経解剖学分野
細胞生理学分野
病態生理学分野
生化学分野
薬理学分野
人体病理学分野
分子病理学分野
微生物学分野
免疫学分野

公衆衛生学分野
健康増進スポーツ医学分野
法医学分野
医療の質・安全管理学分野
医療データサイエンス分野

＜大学病院＞

血液内科学分野
呼吸器内科学分野
循環器内科学分野
糖尿病・代謝・内分泌内科学分野
リウマチ・膠原病内科学分野
神経学分野
消化器内科学分野
腎臓内科学分野
精神医学分野
小児科・思春期科学分野
放射線医学分野
臨床検査医学分野
高齢総合医学分野

呼吸器・甲状腺外科学分野
乳腺科学分野
心臓血管外科学分野
脳神経外科学分野
救急・災害医学分野
消化器・小児外科学分野
整形外科学分野
皮膚科学分野
眼科学分野
泌尿器科学分野
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野
産科婦人科学分野
麻酔科学分野
口腔外科学分野
形成外科学分野
＜茨城＞ 消化器外科学分野
＜八王子＞ 消化器外科・移植外科学分野

医学研究科医学研究科

博士課程　専攻・分野

共通科目
コースワーク

■博士課程　専攻分野

医学専攻

人体構造学
組織・神経解剖学
細胞生理学
病態生理学
生化学
薬理学
人体病理学
分子病理学
微生物学
免疫学
免疫制御学
公衆衛生学
健康増進スポーツ医学
法医学
医療の質・安全管理学
医療データサイエンス

血液内科学
呼吸器内科学
循環器内科学
糖尿病・代謝・内分泌内科学
リウマチ・膠原病内科学
神経学
消化器内科学
腎臓内科学
精神医学
小児科・思春期科学
放射線医学
臨床検査医学
高齢総合医学
内科系
呼吸器内科学（茨城）
代謝内科学（茨城）
消化器内科学（茨城）
腎臓内科学（茨城）
臨床感染症学

呼吸器・甲状腺外科学
乳腺科学
心臓血管外科学
脳神経外科学
救急・災害医学
消化器・小児外科学
整形外科学
皮膚科学
眼科学
泌尿器科学
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
産科婦人科学
麻酔科学
口腔外科学
形成外科学
消化器外科学
消化器外科・移植外科学

○東京医科大学大学院医学研究科入学試験選考委員会規程

昭和56年12月16日制定

改正

平成８年３月12日
平成11年３月１日
平成25年４月17日
令和３年９月15日
令和５年６月21日

東京医科大学大学院医学研究科入学試験選考委員会規程

（設置）

第１条　東京医科大学大学院学則第49条第２項第５号の入学者選抜に関する事項を審議するために、大学院医学研究科委員会の付託のもとに大学院入学試験選考委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（審議事項）

第２条　委員会は、次の事項を審議する。

（１）　入学試験の実施方針
（２）　入学試験に関する専門委員の選出
（３）　入学試験合格者の選考
（４）　その他、入学試験に関する事項

（構成）

第３条　委員会は、各専攻主任、各専攻副主任をもって組織し、委員の任期は３年とする。

（委員長・副委員長）

第４条　委員会に委員長及び副委員長を置く。委員長、副委員長は互選により決定する。

２　委員長は会議を招集し、その議長となる。

３　委員長に事故あるときは、副委員長がその職務を代行する。

（成立要件及び議決）

第５条　委員会の成立は、委員の３分の２以上の出席を必要とする。

２　委員会の議事は、出席した委員の過半数の賛成を必要とし、可否同数のときは委員長が決する。

（専門委員）

第６条　入学試験を実施するために、次の専門委員を置く。

（１）　入学試験問題出題委員
（２）　入学試験採点委員
（３）　健康診断委員（校医）
（４）　その他、委員会が必要と認める委員

２　前項の専門委員は、当該業務が終了したときは解職となる。

（事務）

第７条　委員会に関する事務は、アドミッションセンターにおいて行う。

第８条　この規程の改廃は、大学院医学研究科委員会の議を経て学長が行う。

附　則

この規程は、昭和56年12月16日より施行する。

附　則（平成８年３月12日）

この規程は、平成８年３月12日より施行し、平成８年３月１日から適用する。（第３条、第５条第１項の改正）

附　則（平成11年３月１日）

この規程は、平成11年３月１日から施行する。

附　則（平成25年４月17日）

この規程は、平成25年４月17日から施行し、平成25年４月１日から適用する。（第１条、第３条の改正及び第４条の削除並びに以下繰上げ）

附　則（令和３年９月15日）

この規程は、令和３年９月15日より施行する。（第３条、第４条第１項、第７条の改正並びに第８条の新設）

附　則（令和５年６月21日）

この規程は、令和５年６月21日から施行する。（第７条の改正）【令和５年９月１日東医大発第299号】

○東京医科大学大学院医学研究科入学試験実施細則

昭和56年12月16日制定

改正

平成２年１月17日
平成７年１月１日
平成11年３月１日
平成27年９月24日東医大発第546号
令和５年６月21日

東京医科大学大学院医学研究科入学試験実施細則

（入学者選抜方法）

第１条　本大学の大学院医学研究科に入学を希望する者の選抜方法は、学力検査、調査書及び健康診断の結果により、東京医科大学大学院医学研究科入学試験選考委員会（以下「委員会」という。）において総合判定を行い研究科委員会に諮り決定する。

（試験科目及び試験実施方法）

第２条　大学院医学研究科の入学試験科目及び試験実施方法は、次のとおりとする。

（１）　外国語（英語）　筆記試験

（２）　分野別試験　各分野の主任教授が定める試験方法による。

（試験問題の出題及び採点）

第３条　前条第１号の外国語（英語）試験問題の出題及び採点は、委員会規程第７条第１号及び第２号の委員が行うものとする。

（総合成績）

第４条　大学院医学研究科入学試験の成績は、第２条の成績、出身校の調査書及び健康診断の結果をもって総合成績とする。

（入学適格者の決定）

第５条　前条により総合判定し、これに合格した者を入学適格者とする。

（各専攻課程への入学者の決定）

第６条　第２条により入学に適格と判定された者の各専攻課程への入学は、原則、合格基準点を満たした各専攻分野の成績上位者２名について入学を許可する。なお、合格基準点を満たし、３名以上の成績優秀者がでた場合は、大学院教育に支障の出ない範囲で希望専攻分野への入学を許可する。

（改廃）

第７条　この細則の改廃は、大学院医学研究科委員会の議を経て学長が行う。

附　則

この細則は、昭和56年12月16日より施行する。

附　則（平成２年１月17日）

この細則は、平成２年１月17日から施行する。

附　則（平成７年１月１日）

この細則は、平成７年１月１日より施行する。

附　則（平成11年３月１日）

この細則は、平成11年３月１日から施行する。

附　則（平成27年９月24日東医大発第546号）

この細則は、平成27年９月24日から施行し、平成26年４月１日から適用する。（第２条及び第６条の改正）

附　則（令和５年６月21日）

この細則は、令和５年６月21日から施行する。（第６条の改正及び第７条の新設）【令和５年９月１日東医大発第299号】

東京医科大学就業規則

第１章　総則

（目的）

第１条　この就業規則（以下「規則」という。）は、東京医科大学（以下「大学」という。）が、医学の教育及び研究をとおして公共的社会福祉の増進に貢献すべき使命を果すため、職員の就業に関する基本的事項を定めたものである。

（規則等の遵守義務）

第２条　職員は、大学の秩序及び規律を維持するため、この規則及びその他の規程又は通達を誠実に遵守し、職務上の指示命令に従い、その義務を履行しなければならない。

（適用上の許容）

第３条　職員は、大学がこの規則の一部について、その適用の緩和を許容している場合があっても、その許容の取り扱いを廃止又は変更することに対し、慣行の故をもって、これを拒むことはできない。

（職員の定義）

第４条　この規則で「職員」とは、次の各号に掲げる者を除き、第８条に定める採用手続きを経て、大学の業務に常時勤務する者（短時間正規雇用制度の適用を受ける者を含む。）をいう。

（１）　試用中の者
（２）　日々雇い入れられる者
（３）　パートタイマー
（４）　臨時に雇用する者
（５）　非常勤嘱託者
（６）　その他大学が指定する者

（適用範囲）

第５条　大学において就業する者のうち､東京医科大学教育職員及び職員以外の者の就業に関しては、別に定めるもののほか、この規則を準用する。

（職制）

第６条　職員の職制は、別に定める。

（監視断続的業務）

第７条　この規則で監視又は断続的業務に従事する者とは、労働基準法第41条の規定により所轄労働基準監督署長の許可を得た者をいう。

第２章　人事

第１節　採用

（採用）

第８条　大学は、就職を志望する者のうち、選考の上、適格と認めた者を所定の手続きを経て職員として採用する。

（志望者の提出書類）

第９条　前条の規定による就職志望者は、次の書類を提出しなければならない。ただし、次の各号のうち大学が必要としないと認めた書類は、その提出を省略させることがある。

（１）　履歴書（指定の用紙）　一通
（２）　名刺型写真（最近のもの）　一枚
（３）　住民票記載事項証明書　一通
（４）　必要なる免許証の写　一通
（５）　最終学校の卒業証明書　一通
（６）　最終学校の成績証明書　一通
（７）　身上調書
（８）　前歴のあった者はその使用証明書
（９）　その他大学が指定する書類

（適格者の提出書類）

第10条　身体検査の結果をふくめ、選考の上、適格と認められた者は、採用通知を受けた日から10日以内に、次の書類を提出しなければならない。

（１） 誓約書
（２） 身元保証書
（３） 通勤届
（４） 源泉徴収票（その年に他所に就職勤務した者）
（５） 所得税、扶養家族に関する申告書
（６） 個人番号（マイナンバー）に関する書類
（７） その他大学が必要と認めた書類
２　前項の手続きを怠った場合には、採用を取消されることがある。
３　第１項の提出書類の記載事項に異動が生じた場合は、その都度、すみやかに届け出なければならない。
（試用期間）
第11条　あらたに採用した者については、採用の日から３ヵ月間を試用期間とする。ただし、特殊の技能又は経験を有する者については、試用期間を短縮し、又は設けないことがある。
２　試用期間中に本人の身元、健康状態及び勤務状況等を勘案し、大学の職員として不適格と認めたときは、試用期間を延長するか、又は解雇する。
３　試用期間を経過し、引き続き職員となったときは、辞令を交付し、その試用期間は勤続期間に通算する。
第２節　任免及び異動
（職制上の任免）
第12条　大学は、業務上必要がある場合、職員に対して職制上の役職を任命し、又はこれを罷免することができる。
（異動）
第13条　大学は、業務の都合により、職員に対して転任、出向、配置転換、職種の変更又は応援勤務を命ずることがある。
２　前項の異動を命ぜられた場合は、これに従わなければならない。
（赴任）
第14条　職員は、転任又は出向を命ぜられた場合は、発令の日から10日以内に着任しなければならない。
（事務引継）
第15条　異動を命ぜられた者は、すみやかに、その業務を引継がなければならない。
第３節　休職及び復職
（休職の条件）
第16条　職員が、次の各号の一に該当する場合は、原則として、休職とする。
（１） 業務外の傷病による欠勤が勤続３年未満の者は３月、勤続３年以上の者は６月にわたるとき。ただし、結核性疾患並びに通勤による負傷もしくは疾病にかかった場合は、勤続３年未満の者は９月、勤続３年以上の者は１年、勤続５年以上の者は１年６月にわたるとき。
（２） 国会議員又は地方公共団体の議会の議員等の公職に就任し、大学が業務と両立しないと認めた場合
（３） 長期にわたり学術に関する事項の調査、研究又は指導に従事するため、大学の許可を得た場合
（４） 刑事事件に関し起訴された場合
（５） その他大学が特別な事由があると認めた場合
２　前項第１号に規定する欠勤の期間の計算にあたっては、休日を通算するものとする。
３　第１項第１号の欠勤期間は有給とする。
４　第１項第１号の欠勤が引続き１月を超えた後、出勤した職員が出勤日数３月に満たない間に同一傷病又は主傷病を起因とする傷病若しくは類似の傷病により再び欠勤又は通常の労務に服することができない状況に至ったときは、欠勤の終了を取消し、前の欠勤期間を通算する。
５　休職者は大学の許可を受けないで、業務につくことはできない。
（休職期間）
第17条　休職期間は、次のとおりとする。

（１） 前条第１項第１号に掲げる場合は、勤続３年未満の者で３月以内、勤続３年以上の者で６月以内、勤続５年以上の者で１年以内
（２） 前条第１項第１号ただし書きの場合は１年以内
（３） 前条第１項第２号、第３号及び第５号に掲げる場合は、その都度定める。
（４） 前条第１項第４号に掲げる場合は、その事件が裁判所に係属する期間

（復職）

第18条　休職期間が満了する前に休職の事由が消滅したときは、復職を命ずる。ただし、業務の都合により、旧職務と異なる職務に配置転換、又は職種の変更を命ずることがある。

２　第16条第１項第１号の事由による休職後に復職した職員が、出勤日数３月に満たない間に同一傷病又は主傷病を起因とする傷病若しくは類似の傷病により再び欠勤又は通常の労務に服することができない状況に至ったときは、復職を取消し、前の休職期間を通算する。

（休職者の勤続年数）

第19条　休職期間は、別に定める場合を除き勤続期間に通算する。

第４節　定年・退職及び解雇

（定年）

第20条　職員の定年は、満65才とする。

２　特に必要があると認められる職員については、前項と異なる定めをすることができる。

３　定年により退職するも、業務の都合により、大学が必要と認めた者は嘱託職員としてあらたに採用し、期間を付して職務を嘱託することがある。

第20条の２　前条第１項の規定にかかわらず、別に定めるところにより、選択定年制を設けることができる。

（退職）

第21条　職員は、次の各号の一に該当する場合は、退職するものとする。
（１） 自己の都合により退職を願い出て承認されたとき。
（２） 雇用期間の定めがある者については、その雇用期間が満了したとき。
（３） 定年に達したとき。
（４） 選択定年制を適用されたとき。
（５） 死亡したとき。

２　傷病以外の欠勤にひきつづいて退職するときは、その欠勤の初日をもって退職日とする。

３　無給の休職者が、休職事由の消滅したあとにおいて復職しないときは、休職となった日の前日をもって退職したものとする。

４　定年に達したときは、その日の属する月の末日をもって退職日とする。

５　選択定年制を適用されたときは、その年度の末日をもって退職日とする。

（退職願）

第22条　職員が、自己の都合で退職しようとするときは、原則として、30日前までに当該職員が勤務する直属の長を経て大学に退職願を提出しその承認があるまでは従前の業務に従事しなければならない。

（貸与品の返納）

第23条　職員が退職し、又は解雇されたときは、身分証明書その他一切の貸与品をすみやかに返納しなければならない。

２　解雇をめぐり裁判所に係争中の場合であっても、身分証明書その他一切の貸与品をすみやかに返納しなければならない。

（解雇の基準）

第24条　職員は、次の各号の一に該当する場合は解雇されるものとする。
（１） 精神又は身体の故障のため、業務に耐えられないと認められたとき。
（２） 休職の期間が満了し、なお休職の事由が消滅しないとき。
（３） 試用期間中の者で、本人の身元、健康状態、能力及び勤務状況を勘案し職員として不適格と認められたとき。
（４） 業務上の負傷もしくは疾病にかかり労働者災害補償保険法（以下「労災法」という。）第18条の規定による傷病補償年金を受けることとなったとき。

（５） 経営上やむを得ない事由のあるとき。
（６） 勤務成績が著しく不良な者で、職員としての適格性を欠くと認められたとき。
（７） 懲戒解雇に該当するとき。
（８） その他前各号に準ずるやむを得ない事由があるとき。

（解雇予告）

第25条 職員を解雇しようとするときは、30日前に予告するか、又は平均賃金の30日分の解雇予告手当を支給する。ただし、天災地変その他やむを得ない事由のために事業の継続が不可能となった場合、又は懲戒解雇の場合においては、この限りでない。

（臨時雇用者等の解雇）

第26条 日々雇入れられた者が１月以内に解雇される場合及び２月以内の期間を定めて雇入れられた者が所定の期間以内に解雇される場合、又は試用期間中の者で試用期間開始後14日以内に解雇される場合は、前条の規定によらないものとする。

（解雇制限）

第27条 職員は、次の各号の一に該当する期間は解雇されることがない。ただし、労災法による傷病補償年金を受けることとなった場合、又は天災地変その他やむを得ない事由のため事業の継続が不可能となった場合はこの限りでない。
（１） 業務上の負傷もしくは疾病にかかり、療養のために欠勤する期間及びその後30日間
（２） 産前産後の女子職員が第55条第10号の規定により欠勤する期間及びその後30日間

第３章 退職金

（退職金）

第28条 職員が３年以上勤務し退職又は解雇されるときは、退職金を支給する。ただし、第24条第７号による解雇の場合は、原則として、退職金は支給しない。
２ 職員が勤続３年未満で退職するときは、次の慰労金を支給する。
（１） 勤続１年以上２年未満のとき 5,000円
（２） 勤続２年以上３年未満のとき 20,000円
３ 職員の退職金に関する規程は、別に定める。

第４章 服務規律

（服務の基本原則）

第29条 職員は大学の公共的使命を自覚し、誠実に職務に専念しなければならない。

（服務心得）

第30条 職員は相互に人格を尊重し、秩序と品位との保持に務め、協力して職務の遂行を計らなければならない。
２ 職員は大学の施設内外の清潔整頓に心がけるとともに火災､盗難の防止に努めなければならない。
３ 職員は大学の施設、設備の保全ならびに物品および経費の節約に努めなければならない。
４ 職員は、次の行為をしてはならない。
（１） 大学の名誉を傷つけ、又は利益を害すること。
（２） 上司の許可なく職務の権限をこえて、独断的なことを行なうこと。
（３） 職務上知ることのできた秘密を他に漏らすこと。
（４） 許可なく業務以外の目的で大学の施設、設備、車輌およびその他の物品を使用すること。
（５） 許可なく勤務時間中みだりに職場を離れ、もしくは業務に無関係の集会その他これに類する活動を行なうこと。
（６） 許可なく大学の施設、設備その他公衆の目のとまる場所に貼紙をしもしくは大学の構内において印刷物等を配布すること。
（７） 職務に関し、不当な金品の借用又は贈与の利益を受けること。
（８） みだりに酒気を帯びて職場に入ること。
（９） 大学の許可なく、他の事業所職場等に勤務すること。
(10) ハラスメントとなり得る言動をすること。

（管理規程の遵守）

第31条 職員は、前条に定めた服務心得のほか、構内の土地を含む大学施設の秩序の維持及び災害の防止に関し、別に定める「校内管理規程」を遵守しなければならない。

（守衛等の職務執行）
第32条　職員は、この規則その他の規程又は指示等によって明らかにされた秩序を保持するため、守衛その他、大学が命ずる者が行なう職務執行措置を、正当な理由がないのに拒否し、又は妨害してはならない。
（兼職制限）
第33条　職員は、有給無給を問わず、大学以外の職又は業務に従事してはならない。ただし、大学の許可を受けた場合はこの限りでない。
（服装）
第34条　職員は、大学が指定した制服がある場合は、これを着装して就業し、大学が指定したもの以外の服装を着装してはならない。
（組合活動）
第35条　組合活動は、勤務時間中に行なってはならない。ただし、やむを得ない特別な事由により勤務時間中に組合活動を行なう必要を生じたときは、あらかじめ大学に届け出てその許可を得なければならない。
２　前項の場合、大学は業務の正常な運営に支障を与えないと認めたときに限り、これを許可することができる。
３　勤務時間中に組合活動を行なう場合において、団体交渉又は、大学、組合の合意によって開かれる会議に出席するときは、大学が指示した時間について勤務したものとして取り扱う。ただし、出席者は、あらかじめ直属の長に届け出なければならない。
４　前項以外の組合活動ならびに争議行為のため、通常の勤務に従事しないときは、その間の勤務に係る賃金は支払わない。

第５章　勤務

第１節　勤務時間及び休憩時間

（勤務時間）
第36条　職員の勤務は、これを通常勤務及び時差勤務とする。
（通常勤務）
第37条　通常勤務の勤務時間は、１週間については39時間、１日について平日は７時間、土曜日、12月28日及び１月４日（この日が日曜日のときは、その翌日）は４時間とする。
２　始業時刻及び終業時刻並びに休憩時間は次のとおりとする。
始業時刻　午前９時
終業時刻　午後５時
休憩時間　午後０時から午後１時までとする。
ただし、土曜日、12月28日及び１月４日（この日が日曜日のときは、その翌日）の終業時刻は午後１時とし、休憩時間は設けない。
（時差勤務）
第38条　時差勤務は、事務職員及び技能一般職員を対象として、１週間については39時間、１日については７時間以内として、別表１に記載のシフトの組合せによることとする。
（始・終業及び休憩時間の変更）
第39条　第37条及び第38条の勤務時間及び休憩時間は、業務の都合により、職員の全部又は一部の者について他の時間に適宜変更することがある。
（勤務場所以外の勤務）
第39条の２　職員が、業務上の必要があると認められ、通常の勤務場所を離れ勤務する場合、その勤務時間を算定しがたいときは、所定就業時間を就業したものとみなす。
（休憩時間の利用）
第40条　職員が、休憩時間を利用して、とくに遠隔地に外出する場合は、予定時間及び行先を直属の長に届け出なければならない。
（育児時間）
第41条　生後満１年に達しない生児を育てる女子は、所定の休憩時間のほか、１日２回、おのおの30分の育児時間を受けることができる。ただし、４時間以内の勤務の場合は１回・30分とする。
２　前項の育児時間を受ける場合にあっては、あらかじめ所属長を通じて施設長に申し出なければな

らない。
（監視断続勤務者）
第42条　監視又は断続的業務に従事する者の始業及び終業時刻ならびに休憩時間については、必要に応じて別に定める。
第２節　休日
（休日）
第43条　休日は、次のとおりとする。
（１）　日曜日
（２）　国民の祝日（祝日が日曜日と重なるときは、その翌日）
（３）　12月29日、12月30日、12月31日、１月２日、１月３日
（４）　４月の第３土曜日（大学創立記念日　４月13日の代替日）
（５）　前各号のほか、大学が必要と認めた臨時休日
２　前項第１号の休日を法定休日とし、第２号から第５号までの休日を法定外休日とする。
（休日の振替）
第44条　前条の規定にかかわらず､大学は業務の都合により休日を他の日と振り替えることができる。
２　振り替えられた休日の勤務は、通常の勤務とし、休日勤務の規定は適用しない。
第３節　時間外勤務及び休日勤務
（時間外勤務及び休日勤務）
第45条　直属の長は、業務の都合により職員のうち一部もしくは特定の者に休日に勤務させ、又は早出、残業、呼出及び深夜勤務をさせることがある。
２　妊娠中及び産後１年を経過しない女子が請求した場合においては、前項の勤務には就かせないものとする。
（宿直及び日直）
第46条　職員は、大学の命を受けた場合、宿直又は日直をしなければならない。
２　宿直勤務及び日直勤務については、別に定める「宿日直規程」による。
（非常時出勤）
第47条　災害その他避けることのできない理由により、緊急に必要を生じたときは、勤務時間の変更又は延長もしくは休日勤務を命ずることがある。
第４節　出勤・遅刻・早退及び欠勤
（出勤簿の押印）
第48条　職員は、出勤したときは、ただちに、みずから出勤簿に押印、又はタイムレコーダに打刻しなければならない。
２　前項の手続きを怠った場合は、当日欠勤したものとして取り扱うことがある。
（出勤禁止及び退場）
第49条　次に掲げる者については、出勤を許可せず、又は退場を命ずることがある。
（１）　業務を妨害し、若しくは大学の風紀、秩序をみだし、又はそのおそれのある者
（２）　就業を禁止されている者
（３）　停職を命ぜられている者
（欠勤手続）
第50条　職員が欠勤をするときは、欠勤届にその理由を記入し、原則として、前日までに直属の長を経て大学に届け出てその許可を受けなければならない。ただし、やむを得ない理由により事前に許可を受けられなかった場合には、事後すみやかに届け出て承認を受けなければならない。
２　欠勤日について、本人の届け出があったときは、残存有給休暇日数の限度においてこれと振り替えることができる。
（遅刻、早退等の手続き）
第51条　職員は、遅刻したとき又は早退をするときは、遅刻届又は早退願にその理由及び時刻を記入し、直属の長を経て大学に届け出て、その承認又は許可を受けなければならない。
２　私用のため勤務時間中に外出しようとするときも、前項の手続きを要するものとする。
（就業時間外勤務の欠勤の手続き）
第52条　職員が、就業時間外に勤務（休日・早出・残業・呼出勤務）を命ぜられ、勤務すべき休日及

び早出、残業、呼出勤務時間の全部又は一部について勤務しないときは、その理由を直属の長に申し出て承認を得なければならない。

第５節　休暇

（年次有給休暇）

第53条　職員に、次のとおり年次有給休暇を与える。

勤続年数	１年未満	１年	２年	３年	４年	５年以上
休暇日数	11日	12日	14日	16日	18日	20日打切

２　前項の規定にかかわらず、あらたに採用された者の休暇は次のとおりとする。ただし試用期間中においては、この休暇を受けることができない。

採用された月	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	１月	２月
休暇日数	10日	10日	10日	10日	10日	10日	８日	６日	４日	２日	１日

３　本休暇日数算定の基礎となる勤続年数は、毎年３月31日現在をもって計算する。

４　年次有給休暇は、毎年４月１日から翌年３月31日までの間にこれを受けるものとし、当該年度の本休暇に残日数ある場合は、翌年度に限りこれを繰越すことができる。

（年次有給休暇の手続等）

第54条　職員は、前条の規定による年次有給休暇を受けようとするときは、あらかじめ休暇届を直属の長を経て大学に提出し、その承認を受けなければならない。ただし、届け出の暇のないときは、事後すみやかに届け出て、承認を受けなければならない。

２　前項の規定にかかわらず、前条第１項又は第２項の年次有給休暇が10日以上与えられた職員は、付与された日から１年以内に、当該職員の有する年次有給休暇のうち５日について、直属の長が職員の意見を聴取し、その意見を尊重したうえで、あらかじめ時季を指定して取得させる。ただし、職員が前項の規定による年次有給休暇を取得した場合においては、当該取得した日数分を５日から控除するものとする。

３　前項の時季を指定して取得させるときは、年次有給管理簿を作成し、その取得を管理する。

４　年次有給休暇は、分割し、又は継続して請求することができる。ただし、直属の長が、業務上支障があると認めるときは、その時季を変更させることがある。

（年次有給休暇の時間単位での付与）

第54条の２　職員は、労使協定に基づき、第53条の年次有給休暇のうち取得可能日数以下の範囲で１年につき５日を限度として、時間を単位とする年次有給休暇（以下「時間単位年休」という。）を受けることができる。

２　時間単位年休付与の対象者の範囲は、すべての職員とする。ただし、職務内容・態様等が本制度になじまないものとして労使が合意した特定部門の特定の職員は対象外とすることができる。

３　時間単位年休を取得する場合の、１日の年次有給休暇に相当する時間数は、７時間とする。

４　時間単位年休は１時間単位で付与する。

５　本条により時間単位年休を取得した職員は、当該休暇取得単位時間につき、通常勤務したものとみなす。

６　その他時間単位年休の取扱いについては、前２条の年次有給休暇と同様とする。

（特別休暇）

第55条　職員は、次の各号の一に該当する場合は、第53条に定める年次有給休暇のほか、次のとおり特別休暇を受けることができる。

（１）　結婚休暇

ア　本人が結婚するとき　７日以内

イ　子女が結婚するとき　３日以内

ウ　本人又は配偶者の兄弟姉妹の結婚式に参列するとき　１日

（２）　出産休暇　配偶者が出産するとき　７日以内

（３）　忌引休暇

ア　本人若しくは配偶者の父母、配偶者又は子女が死亡したとき　７日以内

イ　祖父母又は兄弟姉妹が死亡したとき　３日以内

ウ　ア及びイに掲げる場合のうち、葬儀参列のため遠隔地の間を往復するときは、それに必要な

旅行日数を加えることができる。

（４） 隔離休暇　感染症予防のため第70条第１項により就業を禁止されたとき　認定日数

（５） 罹災休暇　火災その他天災地変により罹災したとき　認定日数

（６） 遮断休暇　天災地変その他やむを得ない事由により交通を遮断されたとき　認定時間又は認定日数

（７） 赴任休暇　転任を命ぜられ赴任するとき　認定日数

（８） 公務休暇　選挙権その他公民としての権利を行使するとき、及び証人鑑定人若しくは参考人として裁判所に出頭し、又はこれに準ずるとき　認定時間又は認定日数

（９） 生理日の休暇　生理日の就業が著しく困難な女子に対しては、その者の生理日に、必要日数の休暇を与える。ただし、有給は１日とする。

(10) 産前産後休暇　産前６週間（ただし多胎妊娠の場合は14週間）、産後８週間

(11) 夏期休暇　６月から９月にわたって、引き続き勤務する者に対し、７月及び８月（業務の都合によりこの期間に付与することが困難な場合は６月から９月まで）に５日を与える。ただし試用期間が７月に終った者には３日、８月に終った者には２日をそれぞれ与える。

(12) ボランティア休暇　職員が自発的に、かつ、報酬を得ないで次に掲げる社会に貢献する活動（専ら親族に対する支援となる活動を除く。）を行う場合で、その勤務しないことが相当であると認められるとき　１年間に５日以内（この場合の１年間とは、４月１日から翌年３月31日までの期間とする。）

ア　地震、暴風雨、噴火等により相当規模の災害が発生した被災地又はその周辺の地域における生活関連物資の配布その他の被災者を支援する活動。

イ　障害者支援施設、特別養護老人ホームその他の主として身体上若しくは精神上の障害がある者又は負傷し、若しくは疾病にかかった者に対して必要な措置を講ずることを目的とする施設であって施設長が適当と認めたものにおける活動。

ウ　ア及びイに掲げる活動のほか、身体上若しくは精神上の障害、負傷又は疾病により常態として日常生活を営むのに支障がある者の介護その他の日常生活を支援する活動。

２　前項の休暇日数については、第11号の場合を除き、その間に休日があれば、これを通算する。

３　ボランティア休暇を取得する場合は、ボランティア保険に加入しなければならない。

（特別休暇の手続き）

第56条　職員は、前条の規定により特別休暇を受けようとするときは、休暇届にその事由及び日数又は時間を記入し、あらかじめ直属の長を経て大学に提出し、その承認を受けなければならない。ただし、届け出の暇のないときは、事後、すみやかに届け出てその承認を受けなければならない。

２　前項の届け出には、前条第１項第７号、第９号及び第11号の場合を除き、原則として、その事実を証明する書類を添えなければならない。

（管理職員の適用除外）

第57条　本章で定める労働時間、休憩及び休日に関する規定は、労働基準法第41条第２号の定めるところにより管理職員については適用を除外する。

第６章　被服貸与等

（被服等の貸与）

第58条　職員には、別に定める「被服等貸与規程」により、業務上必要な被服等を貸与又は支給する。

（慶弔金）

第59条　職員及びその家族に慶弔のあったときは、次に定める祝儀金或は弔慰金を、本人又は遺族に贈る。

項目＼勤続年数		５年未満	10年未満	15年未満	15年以上
		円	円	円	円
結婚（本人）		10,000	15,000	18,000	20,000
出産（本人又は配偶者）		10,000	12,000	15,000	18,000
死亡	本人	50,000	70,000	100,000	150,000
	配偶者	30,000	50,000	70,000	100,000

	子女	15,000	25,000	35,000	50,000
	本人の親	15,000	25,000	35,000	50,000
	配偶者の親	10,000	15,000	20,000	30,000

摘要　表中本人結婚の場合結婚の目的で退職し、２ヶ月以内に結婚した者を含む。
ただし、出産の場合に、該当者が２名以上あるときは、そのうちの１名に贈る。

２　本人、配偶者及び本人の親が死亡した時は、生花又は花環を贈るものとする。

（見舞金）

第60条　職員が日常の居住地において天災地変等で罹災したときは、その程度に応じ、見舞金として20万円以内を支給する。

２　職員が、傷病により１月以上を欠勤したときは、見舞金として次のとおり支給する。

勤続年数	５年未満	10年未満	10年以上
金額	10,000円	20,000円	30,000円

第60条の２　試用期間中の者については、見舞金及び慶弔金は支給しない。

第７章　出張

（出張）

第61条　大学は、業務上必要があるときは、職員に対して出張を命ずる。

２　前項の規定により出張を命ぜられた者は、その日程及び順路等につき変更の必要ある場合は、直属の長の指示を受けなければならない。

３　派遣及び海外出張については、別に定める。

（出張報告）

第62条　出張の用務を終了して帰着したときは、ただちに出張の経過及び結果について、直属の長に口頭により報告するほか、大学に復命書を提出しなければならない。ただし、軽易な出張業務については、復命書を省略することが出来る。

（出張旅費等）

第63条　職員が出張し、又は赴任する場合の旅費に関する規程は別に定める。

第８章　給与

（給与）

第64条　職員の給与は、別に定める「学校法人東京医科大学給与規程」による。

第９章　教育

（教育）

第65条　職員は、大学が行なう安全、衛生ならびに防火等に関する教育を受けなければならない。

２　職員が、前項の教育に参加したときは、その期間勤務したものとみなす。

第10章　安全及び衛生

（遵守・協力義務）

第66条　職員は、安全衛生に関する法令及び大学が別に定める規程ならびに指示を厳正に守るとともに、大学が行なう安全衛生に関する措置には進んで協力しなければならない。

（遵守事項）

第67条　職員は、災害防止及び保健衛生のため、特に次の事項を守らなければならない。

（１）　常に職場の整理整頓に努め、特に通路、非常用出入口及び防火設備のある箇所には物品を置かないこと。

（２）　許可がないのに、たき火し、電熱器、ガス器具を使用し、その他火気を粗略に取り扱わないこと。

（３）　現像室、薬品倉庫及び特に指定した場所、その他引火のおそれがある物品を取り扱う場所では、防火上特に細心の注意を払い、火気は絶対に近づけないこと。

（４）　施設及び敷地内においては、喫煙しないこと。

（５）　安全装置、消火設備、衛生設備、その他危害防止上のための諸施設を、許可がないのに除去し、変更し、又はその効力を失なわしめるような行為をしないこと。

（６）　業務上必要がある場合のほか、みだりに自己の担当職場以外に出入りし、又は、自己の職場以外の機械器具に手を触れぬこと。

（７） 常に、職場の清潔に努め、廃棄物は定められた場所以外にすてないこと。
（８） 健康診断、感染症予防注射、種痘等は、必ず受けること。
（９） その他大学から安全衛生に関して指示されたこと。

（非常災害防止）

第68条　職員は、火災その他非常災害の発生する危険があることを知ったとき及び物品の紛失その他の異常を認めたときは、臨機の措置をとるとともに、ただちにそのことを直属の長及び関係者に通報しなければならない。

２　職員は、大学及びその附近に火災その他非常災害があったときは、勤務時間の内外を問わず出動し、たがいに協力して、その被害を最少限度に止めるよう努力しなければならない。

（健康診断）

第69条　大学は、職員に対して毎年定期健康診断を行ない、かつ、必要があると認めるときは、臨時の健康診断、感染症予防注射等を行なう。

２　健康診断の結果、健康要保護者と認められる者に対しては、就業の場所又は業務の転換、労働時間の短縮、その他健康の保持に必要な措置を講ずる。

（就業禁止）

第70条　労働安全衛生法第68条及び労働安全衛生規則第61条の規定に該当する疾病若しくは感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下「感染症法」という。）第６条に該当する感染症にかかり、又はかかるおそれのある者に対しては、就業を禁止することがある。

２　前項の規定により、就業を禁止された者が再び就業する場合は、大学の指定医師の証明を必要とする。

（感染症発生の届出）

第71条　職員は、同居の家族又は同居人が感染症法第６条に該当する感染症にかかり、又はその疑いがあるときは、ただちに大学に申し出て、その指示を受けなければならない。この場合には、必要によりその就業を禁止することがある。

２　前項の規定により就業を禁止された者が、再び就業する場合は、大学の指定医師の証明を必要とする。

第11章　災害補償

（災害補償）

第72条　大学は、職員が業務上の負傷もしくは疾病にかかり廃疾となり、又は死亡したときは、労災法の規定及びこの規則の定めるところにより補償を行なう。

（休業補償）

第73条　前条の規定による療養のため欠勤する期間に対しては、給与規程に定めるところにより給与を支給する。

２　休業補償を請求しようとする者は、災害発生後すみやかに欠勤を要する日数を記載した医師の診断書、直属の長の現認証明書その他必要な書類を大学に提出しなければならない。

（給付制限）

第74条　職員が、本人の責に帰すべき重大なる過失によって業務上の負傷もしくは疾病にかかり、且つ、その過失について行政官庁の認定を受けた場合には、休業補償または障害補償は行なわれないことがある。

第12章　傷病扶助

（傷病扶助）

第75条　職員が、業務外の事由によって傷病したときは、別に定める「東京医科大学職員等医療扶助規程」により扶助する。

第13章　表彰

（表彰理由）

第76条　大学は、職員が次の各号の一に該当し、一般の模範とするにたると認めたときは、これを表彰する。

（１） 10年以上勤続して勤務成績が良好な者（５年毎）
（２） 業務上有益な工夫改良又は発明をした者
（３） 災害又は危険を未然に防止し、或は非常の際特に功労のあった者

（４） 業務上特に有益と認められる重要な献策をした者
（５） 業務上特に有益と認められる調査研究又は計画等をした者
（６） 社会的功績又は善行があって、大学の名誉を高めるような行為のあった者
（７） その他特に表彰にあたいすると認められた者
２　特に優秀な成績をあげた職場に対しては、団体としてこれを表彰する。
（表彰の決定）
第77条　表彰は、直属の長の内申に基づき、そのことを調査の上行なう。
（表彰の方法）
第78条　表彰は、原則として、毎年４月13日（本学創立記念日）に次の１又は２以上を併せて行なう。
（１） 賞状授与
（２） 賞品授与
（３） 賞金授与
（４） 特別昇給
（表彰の公示）
第79条　表彰は、原則として、掲示その他の方法によりこれを公示する。
第14章　懲戒
（懲戒）
第80条　職員としてふさわしくない行為があったときは、懲戒する。
（懲戒の種類）
第81条　懲戒の種類は、次の通りとする。
（１） 戒告　将来を戒める。
（２） 減給　１回について本俸の１／10以内を減給する。
（３） 停職　３月以内とし、その間給与は支給しない。
（４） 昇給停止　次期昇給を停止する。
（５） 諭旨解雇　説諭し退職せしめ退職金を支給する。
（６） 懲戒解雇　解雇し退職金は支給しない。
２　情状により、２以上を併せて行なうことがある。
（戒告、減給、停職及び昇給停止）
第82条　職員が、次の各号の一に該当する場合は、情状に応じて戒告、減給、停職、昇給停止に処する。
（１） 正当な理由がなくて、しばしば遅刻、早退、又は欠勤をしたとき。
（２） 正当な理由がなくて、無断欠勤が引き続き５日以上に及んだとき。
（３） 法令、この規則及び諸規程に違反したとき。
（懲戒解雇ならびに諭旨解雇）
第83条　職員が、次の各号の一に該当する場合は、懲戒解雇又は諭旨解雇を行なう。ただし、情状が特に軽微な場合は、停職又は昇給停止にとどめることがある。
（１） 正当な理由がなくて、無断欠勤が引き続き10日以上に及んだとき。
（２） 他の職員に対し、暴行、脅迫を加え、又はその業務を妨害したとき。
（３） 重要な前歴をいつわり、その他不正な方法を用いて雇い入れられたとき。
（４） 業務上の重大な秘密を他にもらしたり、又はもらそうとしたとき。
（５） 許可を受けないで、他に雇用され、又は営業したとき。
（６） 業務に関し、不当な金品の借用又は贈与の利益を受けたとき。
（７） 許可を受けないで、大学の物品を持ち出したり、又は持ち出そうとしたとき。
（８） 許可を受けないで構内において、集会、演説、放送、宣伝、落書、貼紙、掲示をし、又は印刷物若しくは文書の配布及び政治活動を行なったとき。
（９） 故意又は重大な過失により、建造物、器物その他の物品を破損し、又は紛失したとき。
(10) 職制上の指示及び命令に従わなかったとき。
(11) 懲戒を受け、なお、改し(・)ゅ(・)ん(・)の見込みがないとき。
(12) 不正な行為をして、大学の名誉を汚したとき。
(13) 自己の地位を利用して、私利をはかったとき。

(14)　故意に作業能率を阻害したとき。
(15)　法令、この規則その他大学の諸規程に違反し、その行為が悪質と認められたとき。
（損害賠償との関係）
第84条　第82条及び第83条の各号に該当する行為により、大学に損害を与えたときの損害賠償、又は不当利得返還の義務は、懲戒処分によって免除されない。
（懲戒の公示）
第85条　懲戒は、原則としてこれを公示する。ただし、公示の期間は特別の場合のほか、48時間を超えることはない。

第15章　福利厚生

（福利厚生事業の利用）
第86条　職員は、大学が行なう福利厚生事業を、利用することができる。
２　福利厚生事業を利用する場合には、利用上の諸規程を守らなければならない。

第16章　育児休業等

（育児休業等）
第87条　職員のうち必要のある者は、育児休業等の適用を受けることができる。
２　育児休業等に関する対象職員、手続等必要な事項は、別に定める「学校法人東京医科大学育児休業等規程」による。

第17章　介護休業等

（介護休業等）
第88条　職員のうち必要のある者は、介護休業等の適用を受けることができる。
２　介護休業等に関する対象職員、手続等必要な事項は、別に定める「学校法人東京医科大学介護休業等規程」による。

第18章　短時間正規雇用制度

（病院助教）
第89条　病院助教は、短時間正規雇用制度の適用を受けることができる。
２　短時間正規雇用制度に関することは、別に定める「学校法人東京医科大学短時間正規雇用規程」による。

附　則

１　この規則は、昭和46年10月１日から施行する。ただし、第55条第１項第９号（生理休暇）及び第14章（懲戒）については、昭和47年２月１日から適用する。
２　第５章の規定にかかわらず来の宮保養所の職員については別に定める。
３　第５条の規定による教育職員の就業に関しては昭和47年３月31日までに制定することとし、その間は従前の慣行による。

附　則（昭和47年３月31日）

この規則は、昭和47年３月31日から施行する。

附　則（昭和48年４月29日理事長達第５号）

この規則は、昭和48年４月29日から施行する。（第43条第２号の改正）

附　則（昭和49年６月10日理事長達第９号）

この規則は、昭和49年６月10日から施行し、昭和49年６月１日から適用する。（第21条第３項の新設）

附　則（昭和49年８月１日理事長達第15号）

この規則は、昭和49年８月１日から施行する。（第16条第１項第１号ただし書、第24条第４号、第27条第１号及び第２号、第72条、第73条第１項、第74条の改正）

附　則（昭和50年４月10日理事長達第３号）

この規則は、昭和50年４月10日から施行し、昭和50年４月１日から適用する。（第28条第２項第２号、第59条、第60条第１項及び第２項の改正）

附　則（昭和50年12月10日理事長達第16号）

この規則は、昭和50年12月10日から施行する。（第37条第１項、第43条第３号の改正、第37条第１項ただし書の新設）

附　則（昭和52年４月11日理事長達第３号）

この規則は、昭和52年４月11日から施行する。（第37条、第43条第３号の改正）

附　則（昭和54年６月11日理事長達第５号）

この規則は、昭和54年６月11日から施行し、昭和54年６月15日から適用する。（第19条、第21条の改正）

附　則（昭和54年10月１日理事長達第８号）

この規則は、昭和54年10月１日から施行する。（第59条、第60条の改正）

附　則（昭和55年１月10日理事長達第１号）

この規則は、昭和55年１月10日から施行する。（第37条第１項、第43条第４号の改正）

附　則（昭和55年４月１日理事長達第６号）

この規則は、昭和55年４月１日から施行する。（第60条の２の新設、第70条の改正）

附　則（昭和56年９月11日理事長達第３号）

この規則は、昭和56年９月11日から施行する。（第24条第４号、第27条の改正）

附　則（昭和61年４月１日理事長達第１号）

この規則は、昭和61年４月１日から施行する。（第45条第１号の改正及び同条第２号の新設、第55条第９号及び第10号の改正）

附　則（昭和63年４月１日理事長達第３号）

この規則は、昭和63年４月１日から施行する。（第36条第１項）

附　則（昭和63年４月３日）

この規程は、昭和63年４月３日から施行する。（第36条第２項の改正）

附　則（昭和63年10月１日理事長達第10号）

この規則は、昭和63年10月１日から適用する。（第20条の２、第21条第１項第４号、第５項の新設）

附　則（昭和63年12月12日理事長達第18号）

この規程は、昭和63年12月12日から施行する。（第41条の改正、第41条第２項の新設）

附　則（平成４年４月10日理事長達第１号）

この規則は、平成４年４月10日より施行し、平成４年４月１日より適用する。（第87条の新設）

附　則（平成６年２月８日理事長達第２号）

この規則は、平成６年２月８日から施行し、平成６年４月１日から適用する。（第53条の改正）

附　則（平成10年４月１日理事長達第12号）

この規則は、平成10年４月１日から施行する。（第55条第１項第10号の改正）

附　則（平成11年３月９日理事長達第４号・第８号）

この規則は、平成11年４月１日から施行する。（第53条第１項の改正、第88条の新設）

附　則（平成11年５月18日理事長達第10号）

この規則は、平成11年６月１日から施行する。（第55条第３号及び第11号の改正）

附　則（平成12年２月８日理事長達第11号）

この規則は、平成12年２月８日から施行する。（第30条第４項第10号の新設）

附　則（平成17年３月31日東医大発第175号）

この規則は、平成17年４月１日から施行する。（第９条第３号の削除、第４号の改正、第４号を第３号とし、第５号から第10号までを１号ずつ繰り上げ、及び第17条第４号の改正）

附　則（平成21年10月29日東医大発第571号）

この規則は、平成21年10月29日から施行し、平成21年10月１日より適用する。（第55条第１項第４号、第67条第１項第８号、第69条第１項、第70条第１項及び第71条第１項の改正）

附　則（平成22年３月26日東医大発第153号）

この規則は、平成22年４月１日から施行する。（第43条第２項の新設、第54条第２項の改正及び第54条の２の新設）

附　則（平成23年４月27日東医大発第232号）

この規則は、平成23年４月12日から施行し、平成23年４月１日から適用する。（第４条の改正及び第89条の新設）

附　則（平成23年４月27日東医大発第232号）

この規則は、平成23年４月12日から施行する。（第55条第１項第12号及び第３項の新設）

附　則（平成24年３月31日東医大発第222号）

この規則は、平成24年４月１日から施行する。（第39条の２の新設、第61条の改正）

附　則（平成24年３月31日東医大発第224号）

この規則は、平成25年４月１日から施行する。ただし、第20条第２項については、平成29年３月31日限り、その効力を失う。（第20条第２項の新設、以下項の繰り下げ）

附　則（平成25年３月29日東医大発第166号）

この規則は、平成25年４月１日から施行する。（第16条第１項第２号の削除、以下１号ずつ繰上げ及び第16条第２項、第４項、第17条第１項第１号、第３号、第４号、第18条第２項の改正）

附　則（平成26年10月16日東医大発第771号）

この規則は、平成27年４月１日から施行する。（第43条第１項第４号の改正）

附　則（平成27年２月24日東医大発第88号）

この規則は、平成27年３月１日から施行する。（第67条第４号の改正）

附　則（平成27年12月11日東医大発第653号）

１　この規則は、平成27年12月８日から施行する。（第10条第１項第６号の新設以下繰下げ）

２　第10条第１項第６号については、採用時にかかわらずマイナンバー制度開始時に、提出しなければならないものとする。

附　則（平成29年１月10日東医大発第４号）

この規則は、平成29年１月１日から施行する。（第30条第４項第10号の改正）

附　則（平成31年３月６日東医大発第86号）

この規則は、平成31年４月１日から施行する。（第36条から第38条まで、別表１の改正並びに第54条第２項及び第３項の新設以下繰下げ）

附　則（令和４年３月１日）

１　この規則は、令和４年４月１日から施行する。（第21条第５項の改正）【令和４年３月10日東医大発第429号】

別表１

時差勤務の勤務時間

職種		始業	終業	休憩時間	労働時間
事務職員	早出勤務	８：30	16：30	12：00～13：00	７時間
	普通勤務	９：00	17：00	13：00～14：00	
	遅出勤務①	10：00	18：00	11：30～12：30 または 12：30～13：30	
	遅出勤務②	11：00	19：00	11：30～12：30 または 12：30～13：30	
交換手	早出勤務	８：30	16：30	12：00～13：00	７時間
	遅出勤務	９：30	17：30	13：00～14：00	

備考　事務職員及び交換手の土曜日における勤務時間については別に定める。

○定員外教員に関する規程

平成17年４月28日東医大発第211号

改正

平成19年３月29日東医大発第163号
平成19年３月30日東医大発第167号
平成20年10月31日東医大発第460号
平成22年８月11日東医大発第437号
平成25年３月29日東医大発第165号
平成25年10月28日東医大発第628号
令和２年７月30日東医大発第122号

定員外教員に関する規程

（趣旨）

第１条　この規程は、学校法人東京医科大学組織及び職制並びに職員規則第４条に定める定員外教員に関し必要な事項を定める。

（定員外教員）

第２条　定員外教員は、非常勤教員、客員教員、派遣教員及び特任教員の４種とする。

２　定員外教員の任免は、学校法人東京医科大学職員任免規程によるほか、この規程の定めるところによる。

（非常勤教員）

第３条　非常勤教員は、兼任教授、地域医療指導教授、臨床研修地域医療指導教授、兼任准教授、地域医療指導准教授、臨床研修地域医療指導准教授、兼任講師及び兼任助教とし、主任教授又は施設長の下において委嘱された教育、研究及び診療に従事する。ただし、医師賠償責任保険に加入していない者には診療をさせることはできない。

２　地域医療指導教授及び地域医療指導准教授は医学部学生の地域医療臨床実習の指導にあたり、臨床研修地域医療指導教授及び臨床研修地域医療指導准教授は医師法第16条の２第１項に規定する臨床研修のプログラムの地域医療の指導に当たるものとする。

３　現に地域医療指導教授又は地域医療指導准教授に任用されている者に対しては、臨床研修地域医療指導教授及び臨床研修地域医療指導准教授の発令を省略する。また、現に臨床研修地域医療指導教授又は臨床研修地域医療指導准教授に任用されている者に対しては、地域医療指導教授及び地域医療指導准教授の発令を省略する。

４　新たに医学部学生に対する地域医療臨床実習及び研修医に対する臨床研修のプログラムの地域医療の双方の指導にあたる者に対しては、地域医療指導教授又は地域医療指導准教授に任ずるものとし、臨床研修地域医療指導教授又は臨床研修地域医療指導准教授の発令は省略する。

（非常勤教員の任期、定年及び給与）

第４条　非常勤教員の任期は、１年以内とする。ただし、任期満了後改めて任用することができる。

２　非常勤教員の定年は、教育職員の定年に関する規程による。ただし、特に必要がある場合は、65歳を超えた者を任用することができる。

３　非常勤教員の給与は、学校法人東京医科大学非常勤教員給与規程による。

（客員教員）

第５条　本学の教育研究の向上に寄与するものと認めた外部の機関の職員及び専門の学術技能に秀でたものに対し客員教授、客員准教授又は客員講師を委嘱することができる。

２　客員教員は、学生に講義等を行うほか、主任教授又は施設長の下において一定期間の研究及び研究の一環として行われる診療をすることができる。ただし、研究に要する経費は、原則として本人の負担とする。

３　客員教員から非常勤教員に任用する場合は、医学科教授会の審議及び理事会の承認を省略することができる。

４　客員教員の診療は、施設長が必要と認めたときに限り行うことができる。ただし、医師賠償責任保険に加入していない者は、診療を行うことはできない。

（客員教員の任期及び定年）

第６条　客員教員の任期は、原則として３年とし、更新を妨げない。
２　客員教員の定年は、教育職員の定年に関する規程による。ただし、客員教授については、特に必要がある場合は65歳を超えた者にも委嘱することができる。
（派遣教員）
第７条　派遣教員は、派遣教授、派遣准教授及び派遣講師の３種とし、その任免は別に定める教員の派遣病院に関する規程並びに医師派遣に関する内規による。
（特任教員）
第８条　次の各号に掲げる者のうち、本学が特に必要と認める者は、主任教授又は施設長の推薦により、特任教授として再雇用又は雇用することができる。ただし、現任の主任教授の退職が１年以内に見込まれる場合においては、後任の主任教授の推薦によるものとする。
（１）　本学を定年退職した満65歳以上の教員
（２）　他学を定年退職した満60歳以上の教員
（３）　外部の機関を定年退職した満60歳以上の者
２　特任教授は、研究系と教育・臨床系とし、標記は職名の後ろにそれぞれ括弧書きで研究又は教育・臨床と付すものとする。
３　特任教授（研究）は、競争的資金等の外部資金により本学内において研究を行い、特任教授（教育・臨床）は、講義等を行うほか、本学の各病院において診療を行うことができる。
（特任教員の任期及び給与等）
第９条　特任教員の任期は、１年以内とし、任期満了後は人事審査会の議を経て再度更新することができる。
２　特任教員の任期は、原則として満68歳に達した日の属する年度末をもって終了とする。ただし、通算契約期間が５年を超えることはない。
３　特任教員の給与は、職務の内容や勤務時間を考慮しその都度定めることとする。ただし、特任教授（研究）の給与は、外部資金により支弁する。
４　退職金は支給しない。
５　特任教授（教育・臨床）のうち診療を行う者は、医師賠償責任保険に加入していなければならない。
（その他の非常勤教員）
第10条　第３条に定めるもののほか、非常勤教員として、教育研究の円滑な実施に必要な職務を行う者を兼任助手に任ずることができる。
２　兼任助手の契約期間、給与その他就業に関しては、学校法人東京医科大学臨時職員就業規則を適用する。
（雑則）
第11条　この規程に定めるもののほか、必要な事項は別に定める。
附　則（平成17年４月28日東医大発第211号）
１　この規程は、平成17年５月１日から施行する。
２　この規程の施行に伴い、昭和46年11月１日制定「定員外教員に関する規程」、昭和46年10月31日制定「非常勤教員（非常勤講師）任用規程」及び昭和38年11月６日制定「東京医科大学客員教員内規」は、廃止する。
３　前項により廃止される昭和46年11月１日制定「定員外教員に関する規程」により非常勤講師に任用された者で、この規程の施行日に引続き在職する者は、施行日において兼任講師に任用されたものとする。ただし、任期は非常勤講師の任期とする。
４　平成６年３月31日以前に講師（定員外）に任用された者で、平成６年４月１日以降引続き休職している者は、この規程の施行日に職名を講師に改める。
附　則（平成19年３月29日東医大発第163号）
この規程は、平成19年４月１日から施行する。（第３条から第６条まで、及び第８条の改正、並びに第９条を第10条に繰り下げ、第９条の新設）
附　則（平成19年３月30日東医大発第167号）
この規程は、平成19年４月１日から施行する。（第３条、第５条第１項及び第８条の改正）
附　則（平成20年10月31日東医大発第460号）

この規程は、平成20年11月１日から施行する。（第３条の改正）

附　則（平成22年８月11日東医大発第437号）

この規程は、平成22年８月１日から施行する。（第３条第１項の改正、第３条第２項から第４項の新設）

附　則（平成25年３月29日東医大発第165号）

この規程は、平成25年４月１日から施行する。（第１条、第３条第２項、第４条第１項、第２項、第５条、第６条、第７条第１項及び第２項の改正）

附　則（平成25年10月28日東医大発第628号）

この規程は、平成25年12月１日から施行する。（第２条第１項、第５条第２項、第３項の改正及び第５条第４項、第９条、第10条の新設並びに以下２条ずつ繰下げ）

附　則（令和２年７月30日東医大発第122号）

この規程は、令和２年４月１日から施行する。（第７条の削除、第８条から第12条を繰上げ、９条１項の改正）

東京医科大学医学倫理委員会および医学研究に関する細則

（申請）

第１条　東京医科大学医学倫理委員会規程および医学研究に関する規程（以下、「規程」という。）第４条に基づき、研究計画の審査を受ける者は、所定の様式（様式１）に従い総務課を経て学長宛申請書を提出するものとする。

対象となる研究者は本学に籍を置く大学職員、各付属病院職員、各看護学校職員、学生および倫理審査機関を設置できない施設に所属し本学において倫理審査を求める者とする。

２　倫理委員会への申請の対象となる研究は東京医科大学（以下、「本学」という。）の研究者が実施、または関係する、ヒト由来の試料およびデータの研究を含む、人間を対象とした医学的、生物学的及び行動科学的研究（以下、「医学研究等」という。）であり、疫学研究、臨床研究及びその他必要と認める研究であるが、以下については原則として各項に従う。また、「医学系研究」には、医学に関する研究とともに、歯学、薬学、看護学、リハビリテーション学、予防医学、健康科学に関する研究が含まれる。観察研究には通常の診療の範囲内であって、いわゆるランダム化、割付け等を行わない医療行為における記録、結果及び当該医療行為に用いた検体等を利用する研究も含むものとする。

（1）　特定の患者の診断・治療に当たるものは対象外とする。

（2）　医師主導臨床試験を除く、phaseⅠ、phaseⅡ、phaseⅢなどの薬物治験で薬事法上の治験に関するものは各付属病院の治験審査委員会による審査とする。

（3）　臓器移植に関するものは、特に要請がない限り東京医科大学臓器移植審査委員会、東京医科大学肺移植適応決定委員会、東京医科大学生体肝移植適応決定委員会等による審査とする。

（4）　遺伝子治療に関するものは、特に要請がない限り東京医科大学病院遺伝子治療臨床研究審査委員会による審査とする。

３　規程第８条に掲げる項目に該当し予備審査による許可に相当すると思われる研究を申請する研究者は、前条の規定に基づく申請書に　予備審査申請書（様式　）を添えて申請する。予備審査委員による審査により、それが倫理審査を要しないと判断した場合、規程に則り手続きを進める。

４　迅速審査を求める研究者は、前条の規定に基づく申請書に迅速審査申請書（様式５）を添えて申請する。迅速審査委員による審査により、それが迅速審査に該当すると判断した場合、規程に則り手続きを進める。

５　ヒトゲノム・遺伝子解析研究を申請する研究者は個人情報管理者申請書（様式 11）を併せて提出をするものとする。

６　類似する研究計画の複数申請については１申請のみ受理し、承認後残りの申請は規程第９条により申請を行うものとする。

７　審査を求める研究者は、申請の際、利益相反（ＣＯＩ）管理に関する報告を提出しなければならな

い。

（審査）

第２条　審査委員会の開催は、毎月１回を原則とするが、その他必要に応じ臨時に開催できるものとする。

２　倫理委員会の開催に当たっては規程第６条に掲げる各構成員のうち基礎系主任教授・教授２名、臨床系主任教授３名、法律学の専門家等人文・社会科学の学識経験者及び一般の立場を代表する者若干名により審査を行う。

３　審議又は採決の際には、法律学の専門家等人文・社会科学の学識経験者及び一般の立場を代表する者１名以上の出席を必要とする。

（通知）

第３条　規程第 11 条第２項に基づき、審査結果は所定の様式（様式２）をもって、速やかに学長から申請者へ通知する。

（申請内容の修正）

第４条　審査の結果、一部を修正の上で承認となった場合は、委員長は医学研究倫理審査申請修正指示書（様式６）を申請者へ交付する。

２　申請者は速やかに申請書類を修正し、医学研究倫理審査申請修正報告書（様式７）を委員長宛てに提出する。

（再申請）

第５条　規程第 16 条に基づき、再審査を希望する者は、研究内容を修正の上、再審査の理由を付し、所定の様式（様式３）をもって再申請の手続きをとるものとする。

（報告）

第６条　規程第 15 条第３項に基づく報告は、所定の様式（様式４）による。

第７条　規程第 15 条第６項に基づく報告は、所定の様式（経過報告の場合は様式９または、終了（中止）の場合は様式 10）による。

（倫理教育）

第８条　医学研究の実施に先立ち、研究者は臨床研究の倫理に関する講習その他必要な教育を受けなければならない。

（研究の登録及び公開）

第９条　学長は、規程第 14 条４の規定により臨床研究の登録がなされ、臨床研究計画及び臨床研究の成果の公開が確保されるよう努めるものとする。

２　学長は、前項に規定する当該倫理審査委員会の手順書、委員名簿及び会議の記録の概要を公表しな

ければならない。ただし、知的財産等の問題により臨床研究の実施に著しく支障が生じるものとして、倫理委員会が承認し、学長が許可した内容については、この限りではない。

3　学長は、規程第 1 条に掲げる指針等に基づき倫理委員会の委員名簿、開催状況、委員の出席状況、会議の記録及びその概要及び審議時間その他必要な事項を毎年一回厚生労働大臣等に報告しなければならない。

（事務）

第 10 条　倫理委員会に関する事務は、総務課において行う。

（細則の変更）

第 11 条　細則の変更は、委員の３分の２以上の同意を必要とし、教授会の承認を受けるものとする。

この規程は、平成 21 年 4 月 1 日から施行する。

東京医科大学医学倫理委員会申請手順について

本手順書は「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年12月22日告示）および「東京医科大学医学倫理委員会および医学系研究に関する規程」に則り、東京医科大学医学倫理委員会で審査を行う人を対象とする医学系研究の申請及び実施の具体的な手順を示したものです。研究者等は、各種倫理指針及び本手順書に従い、研究の申請及び実施を行ってください。

1. 申請者について

本学の研究者が人（試料・情報を含む。）を対象とした医学系研究を実施、または関係するときは、総務課を通じて学長宛に当該研究計画の倫理上の審査を申請してください。なお、対象となる研究者は本学に籍を置く大学職員、各付属病院職員、各看護学校職員、学生および倫理審査機関を設置できない施設に所属し本学において倫理審査を求める者とします。

なお、医学系研究とは、傷病の成因及び病態の理解並びに傷病の予防方法並びに医療における診断方法及び治療方法の改善又は有効性の検証を通じて、国民の健康の保持増進又は患者の傷病からの回復若しくは生活の質の向上に資する知識を得ることを目的として実施される活動と「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に定義されており、本手順書においても同様とします。

2.申請対象について

医学倫理委員会への申請の対象となる研究は本学の研究者が実施、または関係する、人（試料・情報を含む。）を対象とした医学系研究となります。

医学系研究には、例えば、医科学、臨床医学、公衆衛生学、予防医学、歯学、薬学、看護学、リハビリテーション学、検査学、医工学のほか、介護・福祉分野、食品衛生・栄養分野、環境衛生分野、労働安全衛生分野等で、個人の健康に関する情報を用いた疫学的手法による研究及び質的研究が含まれます。医療、介護･福祉等に関するものであっても、医事法や社会福祉学など人文・社会科学分野の研究の中には医学系研究に含まれないものもあります。また、通常の診療の範囲内であって、いわゆるランダム化、割付け等を行わない医療行為における記録、結果及び当該医療行為に用いた検体等を利用する研究も含まれますので、申請漏れが無いよう注意してください。

下記の項目に該当するものについては、医学倫理委員会の申請対象外となります。

（1） 特定の患者の診断・治療に当たるものは対象外とします。
（2） 医師主導臨床試験を除く、phaseⅠ、phaseⅡ、phaseⅢなどの薬物治験で薬事法上の治験に関するものは各付属病院の治験審査委員会による審査とします。
（3） 臓器移植に関するものは、特に要請がない限り東京医科大学臓器移植審査委員会、東京医科大学肺移植適応決定委員会、東京医科大学生体肝移植適応決定委員会等による審査とします。
（4） 遺伝子治療に関するものは、特に要請がない限り東京医科大学病院遺伝子治療臨床研究審査委員会による審査とします。
（5） 医学教育に関連する研究（但し患者が直接対象となるものは除く）や業務改善を目的とした研究は倫理審査の対象外とします。

なお、例外として医学系研究には該当しないが倫理審査を要する案件で、審査を行う委員会等が定まっておらず学長の承認を得ることが妥当と判断されるものについては、その根拠が示された場合に限り、審査を行うこととします。

3. 提出書類について

下記の申請書類一式（原則として①③④⑤については必ず提出ください（無記名のアンケート調査で同意書を得ない計画である場合等を除く）。また申請書類の不足があった際は審査を行えませんので、ご承知下さい。

① 医学研究倫理審査申請書（様式１）
② 迅速審査申請書（様式５）（迅速審査を希望する場合、様式１と合わせて提出）
③ 研究計画書（様式については特に定めはありませんが、申請書や説明文書に記載されている内容が、記載されていることが必要です。）
④ 被験者の方への説明文書
⑤ 同意文書
⑥ その他の審査に必要な資料（アンケート調査におけるアンケート用紙等）
⑦ 参考文献（必要最小限で結構です。また、ないのであれば提出は不要です。）
⑧ 個人情報管理者申請書（様式 11）（ヒトゲノム遺伝子解析研究の場合のみ）

4.申請書等の作成について
（１）参照すべき指針
研究計画の策定および申請書の作成に際しては、研究の内容に応じて下記の指針を遵守してください。
○ 世界医師会「ヘルシンキ宣言」
http://www.med.or.jp/wma/helsinki08_j.html
○ 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針
http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000069410.pdf
○ 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針ガイダンス
http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/0000080275.pdf
○ ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針
http://www.lifescience.mext.go.jp/files/pdf/40_126.pdf
○ 遺伝子治療臨床研究に関する指針
http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10600000-Daijinkanboukouseikagakuka/150812_rinrisisin.pdf
○ 生命倫理・安全に対する取組（文部科学省）
http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/seimei/main.htm

なお、平成 27 年 4 月 1 日以前に承認された研究の研究計画の変更については、疫学研究に関する倫理指針、臨床研究に関する倫理指針等に従ってかまいません。

5.申請から委員会の審査・承認まで

（１）委員会の開催
偶数月の第 1 月曜日と最終火曜日 15 時から（会場：大学病院内会議室）

（２）申請書の提出
提 出 先：大学総務課
提出締切：毎月末日
（奇数月は翌月最終火曜日開催分、偶数月は翌々月第 1 月曜日開催分となります）

（３）申請者への質疑・応答
定例開催日に申請課題に対するヒアリングを実施します。当日は、委員会に出席できるように日程等を調整してください。出席者については、申請書の研究組織に記載されている方で研究内

容を把握されている方であればどなたでも構いません。

（４）迅速審査について

下記に該当する研究について迅速審査申請書を提出された場合、書面審査による審査となりますので、原則として委員会に出席してのヒアリングはありません。委員会で内容を審議した後、結果を通知します。ただし事前の書類審査の結果、ヒアリングが必要と判断された場合は委員会への出席を求められますので、委員会に出席できるように調整してください。

① 他の研究機関と共同して実施される研究であって、既に当該研究の全体について共同研究機関において委員会の審査を受け、その実施について適当である旨の意見を得ている場合の審査（※総括研究代表者の所属する施設の倫理審査の通知書を合せて提出すること）

② 研究計画書の軽微な変更に関する審査

該当する例として、

・研究者の追加・交代・役職の変更等
・研究計画書の誤字・脱字の修正
・あまり長期ではない研究期間の延長
・住所変更・電話変更・委託会社変更
・公的研究費(文部科学省科学研究費、厚生労働省科学研究費、日本医療研究開発機構（AMED）委託研究費 等の府省庁より配分される研究費)の獲得に伴う資金源の変更

※ 上記以外の内容で研究計画書・説明文書の改定を行う必要のあるものについては、一般審査申請を行ってください。

③ 侵襲を伴わない研究であって介入を行わないものに関する審査

④ 軽微な侵襲を伴う研究であって介入を行わないものに関する審査

該当する例として、

・診療記録のみを用いた後方視的研究
・観察研究（非介入研究）であり、研究目的でない診療で採取された血液、体液、組織、細胞、分娩後の胎盤・臍帯等（いわゆる残余検体）を既存試料・情報として用いた研究
・観察研究（非介入研究）であり、研究目的でない診療において穿刺、切開、採血等が行われる際に、上乗せして研究目的で穿刺、切開、採血量を増やす等がなされる場合において、研究目的でない穿刺、切開、採血等と比較して研究対象者の身体及び精神に追加的に生じる傷害や負担が相対的にわずかである研究
・観察研究（非介入研究）であり、人体から取得された試料を用いない研究
・アンケート調査（ただしアンケートの内容が研究対象者の精神に生じる負担が大きいと判断されるものについては除外されます。）

（５）申請書等の修正

審査の結果、一部を修正の上で承認と判定された場合、医学研究倫理審査申請修正指示書が交付されます。申請者は速やかに指摘内容に沿って申請書類を修正し、医学研究倫理審査申請修正報告書と共に事務局に提出してください。

（６）審査結果及び研究の実施

審査後、審査結果通知書が交付されますので、それまでは研究を開始しないでください。申請課題に対する判定は下記のいずれかになりますが、④～⑥の判定の場合は、再審査を受けてください。また、上記の修正指示書が交付された場合、報告書の提出を受け委員長等の確認の後、通知書が交付されます。

① 承認 （修正等の必要はなく研究を行って良い）

② 条件付承認（研究計画の変更は求めないが、実施する際は他の委員会の承認や配慮を要する）

③　非該当（医学倫理委員会の審査の対象外であるため、研究を行って差し支えない）
④　変更の勧告（研究計画の大幅な変更を要する、修正し再申請が必要）
⑤　不承認（研究に関し倫理的問題があり実施は認められない、問題を解消し再申請が必要）
⑥　保留　（研究計画に疑義が残るため、次回以降の委員会で継続審査を行う）

（７）研究実施
承認の結果通知を受け取った場合、研究を開始してください。ただし、倫理指針に従い研究登録を必要とするものは登録後、研究を開始してください。
研究計画に変更が生じた場合は、本手順書に従い再度申請を行ってください。研究期間の延長についても申請が必要となります。期間切れとならないよう留意してください。

（８）モニタリング・監査の実施
研究開始後は、侵襲を伴う研究であって介入を行う研究の場合、研究計画書に定めるところにより、モニタリング及び必要に応じて監査を実施しなければなりません。また、研究責任者はモニタリングに関する手順書、監査に関する手順書を作成することで実施手順についてはこれに替えることも可能です。
また、上記に該当しない研究であっても 1 年間で終了しない研究である場合、1 年に 1 度経過報告書を提出してください。

（９）研究の終了・中止
研究を終了・中止した際は報告書を提出してください。

（10）申請から研究実施までの流れ

仮提出（月末締切、医学倫理委員会申請書類の提出・受付）
↓
事務確認　（書類に不備がないか確認および受付番号の割振り）
↓
申請者に本提出を依頼（書類に不備があった場合、修正や追加資料の提出依頼をします）
↓
本提出（提出書類に必要な資料が欠けていた場合、審査を受けられないことがあります）
↓
医学倫理委員会委員に申請資料送付
↓
医学倫理委員会当日(偶数月の第1月曜日と最終火曜日)
↓
倫理委員会課題審査（申請者等による概要説明・質疑応答（1件につき15分程度））
↓
審査結果通知（委員会後約3週間程度）
↓
審査結果通知書を交付（承認・条件付承認・非該当・変更の勧告・不承認・保留）
修正後承認の判定がされた場合、修正指示書を交付
↓
修正事項を確認後、問題がなければ審査結果通知書（承認）を交付
↓
研究開始

※　介入を行う研究については、大学病院医療情報ネットワーク研究センター 臨床試験登録システム（UMIN-CTR）、一般財団法人日本医薬情報センター iyaku Search（医薬品データベース）又は公益社団法人日本医師会 治験促進センター臨床試験登録システム（JMA CCT）のいずれかに、当該研究の概要をその実施に先立って登録し、研究計画書の変更及び研究の進捗

に応じて適宜更新しなければならないとされています。また、研究を終了したときは、遅滞なく、当該研究の結果を登録しなければなりません。ただし、研究対象者等及びその関係者の人権又は研究者等及びその関係者の権利利益の保護のため非公開とすることが必要な内容として、倫理審査委員会の意見を受けて学長が許可したものについては、この限りではありません。

↓

経過報告書を提出（研究開始から１年後）
研究終了報告書を提出（研究終了時）

6. 重篤な有害事象及び不具合への対応

研究責任者は、医学研究に関連する重篤な有害事象及び不具合等の発生を知ったときは、直ちにその旨を学長に通知してください。また、重篤な有害事象または重大な不具合が発生した場合は直ちに研究の中止を含む最善の対応策を検討し、迅速に対応するとともに、遅滞なく学長へ文書で報告してください。なお、重大な不具合には個人情報の漏洩や検査成績の過誤など研究の実施に重大な影響をもたらす事象が含まれます。なお、詳細については「重篤な有害事象発生時の対応手順書」を確認すること。

7.倫理教育について

研究者等は、研究の実施に先立ち研究に関する倫理並びに当該研究の実施に必要な知識及び技術に関する教育・研究を受けてください。また、研究期間中も適宜継続して教育・研究を受けてください。以下の講習等を受けてください。なお、本学で公的研究費(文部科学省科学研究費、厚生労働省科学研究費、日本医療研究開発機構（AMED）委託研究費 等の府省庁より配分される研究費)を管理している研究代表者・研究分担者の方、翌年度の科研費に応募される方は、CITI JAPAN PROGRAM の受講が義務付けられていますので、こちらを受講している場合も医学系研究の実施に伴う倫理講習を受講済みとみなします。

（1）学内講習会
（2）ICR web
(厚生労働科学研究費補助金による研究事業として作成された臨床研究教育のためのウェブサイト)
http://icrweb.jp/icr/
（3）日本医師会治験促進センター「臨床試験のための e Training Center」
(治験・臨床研究のための教育ウェブサイト･利用には登録が必要)
http://etrain.jmacct.med.or.jp/
（4）その他（学会等での講習会）

8. 利益相反について

（1）研究者等は、研究を実施するときは、個人の収益等、当該研究に係る利益相反に関する状況について、その状況を研究責任者に報告し、透明性を確保するよう適切に対応する。また、利益相反定期自己申告をしてください。
（2）研究責任者は、医薬品又は医療機器の有効性又は安全性に関する研究等、商業活動に関連し得る研究を実施する場合には、当該研究に係る利益相反に関する状況を把握し、研究計画書に記載してください。
（3）研究者等は、（2）の規定により研究計画書に記載された利益相反に関する状況を、研究対象者からインフォームド・コンセントを受ける手続きにおいて説明してください。

9. 手順書の変更

手順書の改正または廃止は、委員会の議を経て学長が行います。

10.医学倫理委員会に関する問い合わせ先

東京医科大学　総務課
TEL：03-3351-6141（内203・261）
E-mail：d-irinri@tokyo-med.ac.jp

都道府県内における位置関係の図面



東京医科大学（新宿御苑前から 0.5km）

■所在地



住所　〒160-0034　東京都新宿区新宿６-1- 1

TEL　03-3351-6141（代表）

■交通案内

JR、小田急線、京王線：「新宿駅」　徒歩約 20 分
西武新宿線：「西武新宿駅」　徒歩約 20 分
東京メトロ丸ノ内線：「新宿御苑前駅」　徒歩約 7 分
都営新宿線：「新宿三丁目駅」　徒歩約 10 分
東京メトロ副都心線：「新宿三丁目駅」　徒歩約 15 分
都営大江戸線：「東新宿駅」　徒歩約 10 分

東京医科大学病院　（西新宿駅から 0.1km）

■所在地



住所　〒160-0023　東京都新宿区西新宿６-７-１

TEL　03-3342-6111（代表）

■交通案内



（新病院棟 2019 年７月開院）

すぐ　東京メトロ丸ノ内線　西新宿駅下車（東京医大病院前）

出口 E5　エスカレーターをのぼると正面玄関前に出ます（地下道）

出口 2　改札を出て右側（エレベーターがあります）

5分　新宿駅からタクシー

7分　都営大江戸線　都庁前駅から徒歩（地下道）

10分　新宿駅　西口から徒歩

14分　西武新宿駅から徒歩

3分　新宿駅　西口からバス

都営バス「東京医大病院前」下車

⑧番のりば「王子駅行」　⑨番のりば「新代田駅行」　⑩番のりば「杉並車庫行」

西武バス「東京医大病院前」下車

⑦番のりば「西武百貨店前行」

京王バス「新宿住友ビル」下車

⑯番のりば「渋谷駅行」　⑰番のりば「永福駅行」「佼成会聖堂前行」「佼成病院行」

東京医科大学茨城医療センター　（荒川沖駅から 6.7km）

■所在地



〒300-0395　茨城県稲敷郡阿見町中央 3-20-1

TEL　029-887-1161（代）

■交通案内

土浦駅

関東鉄道バス約 15 分

阿見中央公民館行

東京医大前　下車徒歩1分

荒川沖駅

関東鉄道バス約 15 分

県立医療大学行（1 時間間隔）

東京医大前　下車徒歩 1 分

東京医科大学八王子医療センター　（高尾駅から 2km）

■所在地



住所　〒193-0998　東京都八王子市館町 1163 番地　電話　042-665-5611（代表）

■交通案内

羽田空港から約90分（JR・バス利用）

JR新宿駅／京王線新宿駅から約60分（高尾駅よりバス利用）
JR大月駅から約50分（高尾駅よりバス利用）

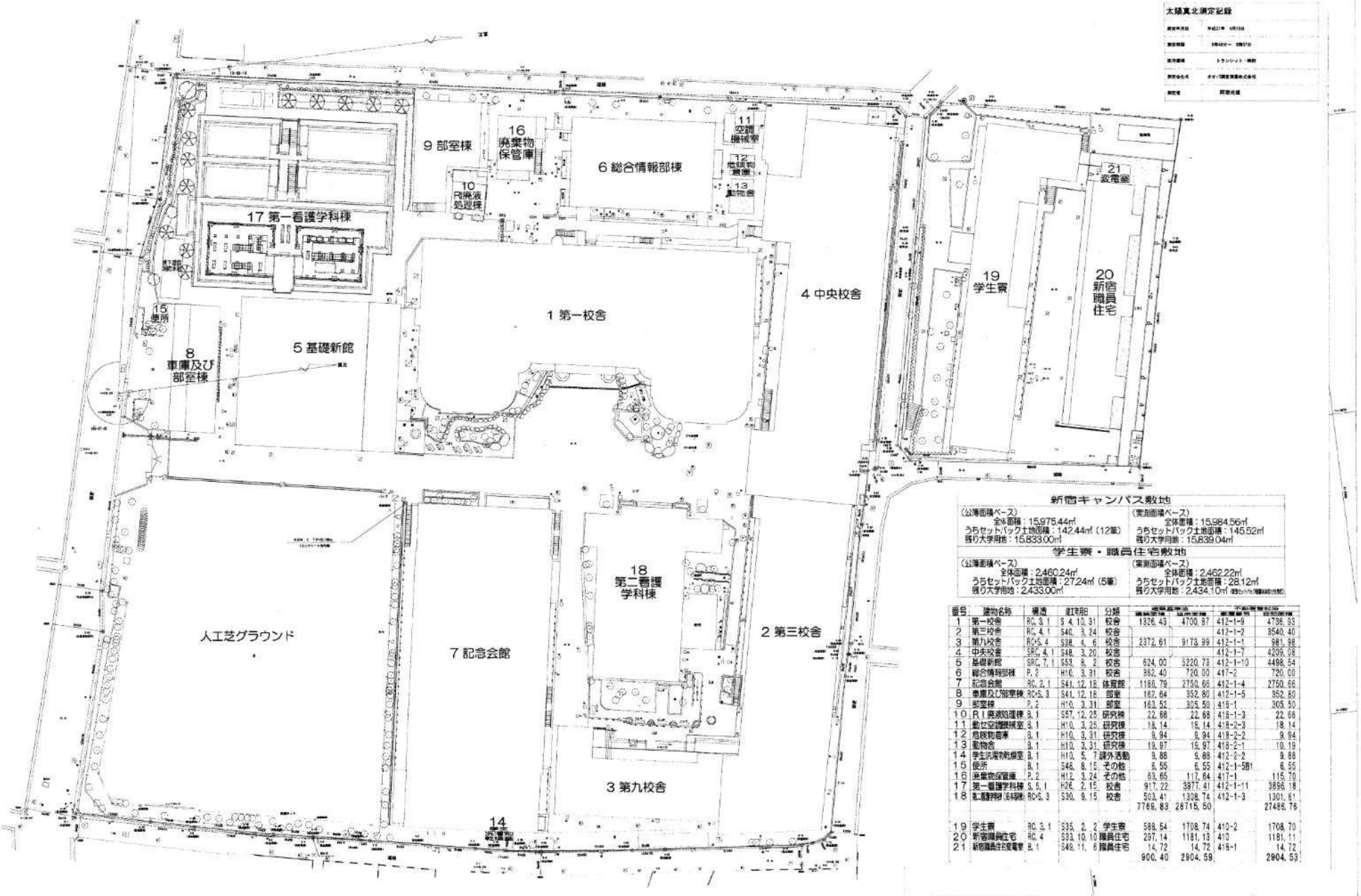
JR高尾駅／京王線高尾駅・南口3番乗り場から約7分
（医療センター経由館ヶ丘団地行き　または医療センター行き）

JR高尾駅／京王線高尾駅・南口ロータリーから約5分

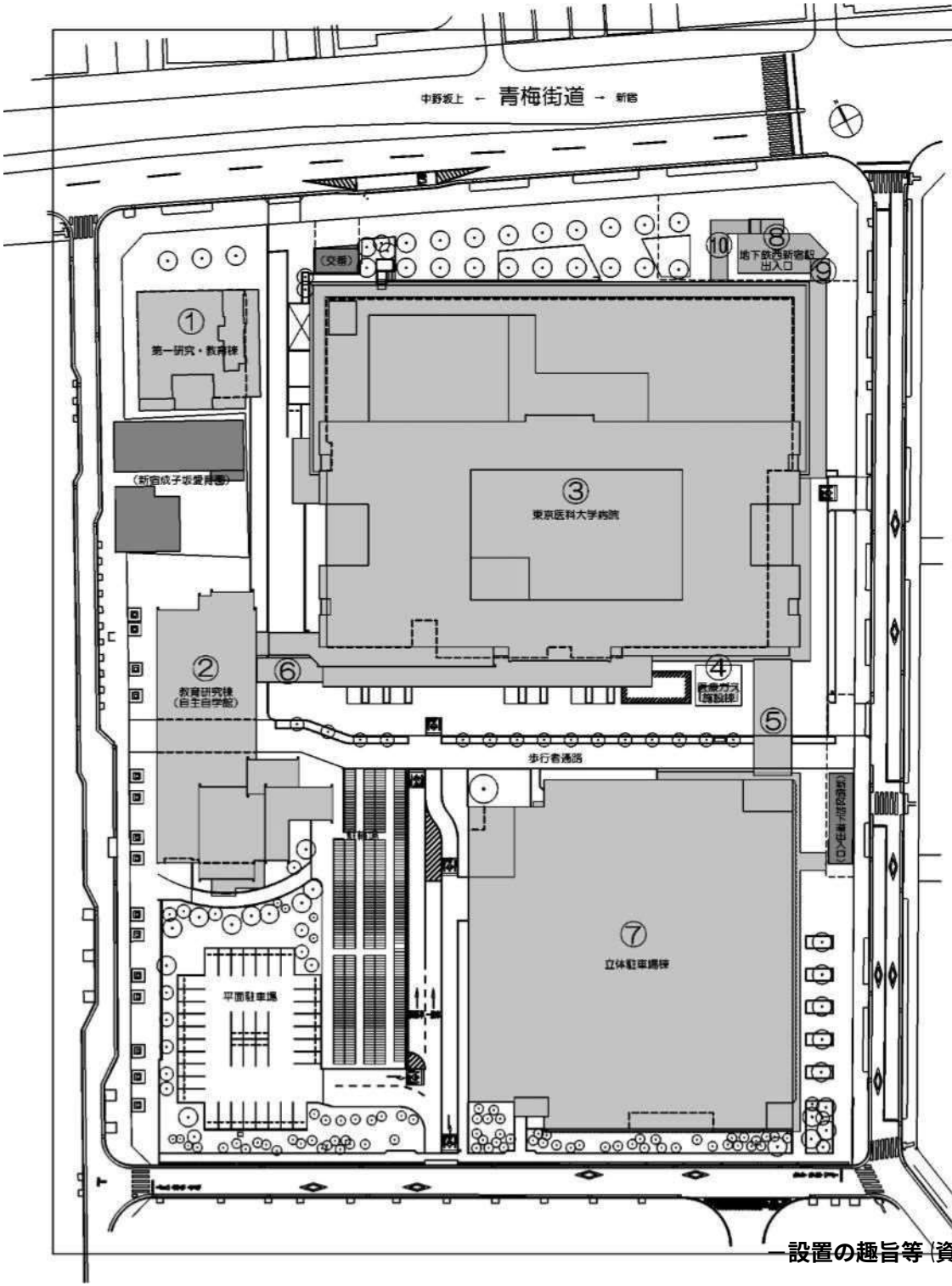
JR横浜線八王子みなみ野駅・西口ロータリーから約20分
無料シャトルバス運行中



東京医科大学
八王子医療センター



番号	建物名称	構造	竣工年月日	分類	建築面積	延床面積	所在地番号	固定資産税評価額
1	第一校舎	RC, 3, 1	S 4, 10, 31	校舎	1326.43	4700.87	412-1-9	4736.93
2	第三校舎	RC, 4, 1	S40, 3, 24	校舎			412-1-2	3540.40
3	第九校舎	RC+S, 4	S38, 4, 6	校舎	2372.61	9173.99	412-1-1	981.98
4	中央校舎	SRC, 4, 1	S48, 3, 20	校舎			412-1-7	4209.08
5	基礎新館	SRC, 7, 1	S53, 9, 2	校舎	624.00	5220.73	412-1-10	4498.54
6	総合情報部棟	P, 2	H10, 3, 31	校舎	362.40	720.00	417-2	720.00
7	記念会館	RC, 2, 1	S41, 12, 18	体育館	1186.79	2750.66	412-1-4	2750.66
8	車庫及び部室棟	RC+S, 3	S41, 12, 18	部室	182.64	352.80	412-1-5	352.80
9	部室棟	P, 2	H10, 3, 31	部室	163.52	305.50	416-1	305.50
10	RI廃液処理棟	S, 1	S57, 12, 25	研究棟	22.68	22.68	418-1-3	22.68
11	動力空調機械室	S, 1	H10, 3, 25	研究棟	18.14	18.14	418-2-3	18.14
12	危険物倉庫	S, 1	H10, 3, 31	研究棟	9.94	9.94	418-2-2	9.94
13	動物舎	S, 1	H10, 3, 31	研究棟	19.97	19.97	418-2-1	10.19
14	学生汎用物乾燥室	S, 1	H10, 5, 7	課外活動	9.88	9.88	412-2-2	9.88
15	便所	S, 1	S48, 8, 15	その他	6.55	6.55	412-1-5B1	6.55
16	廃棄物保管庫	P, 2	H12, 3, 24	その他	63.65	117.64	411-1	115.70
17	第一看護学科棟	S, 5, 1	H26, 2, 15	校舎	917.22	3977.41	412-1-11	3896.18
18	第二看護学科棟（B4F除く）	RC+S, 3	S30, 9, 15	校舎	503.41	1308.74	412-1-3	1301.61
					7769.83	28715.50		27486.75
19	学生寮	RC, 3, 1	S35, 2, 2	学生寮	588.54	1708.74	410-2	1708.70
20	新宿職員住宅	RC, 4	S33, 10, 10	職員住宅	297.14	1181.13	410	1181.11
21	新宿職員住宅変電室	S, 1	S49, 11, 6	職員住宅	14.72	14.72	416-1	14.72
					900.40	2904.59		2904.53



東京医科大学病院建物配置図

2022年4月1日現在

指定区域等：商業地域・防火地域・高度利用地区・地区計画区域

建ぺい率　70%　　容積率　950%

西新宿キャンパス内保有施設

番号	建物名称	構造	竣工年月日	分類	建築基準法		不動産登記法	
					建築面積㎡	延床面積㎡	家屋番号	登記面積㎡
①	第一研究・教育棟	SRC/地下1階/地上7階	1981.3.31	研究棟	439.46	3,375.01	63-3-1	3,296.32
②	教育研究棟(自主自学館)	S/地上16階	2013.7.31	研究棟	1,123.92	16,487.72	55-1-2	16,192.04
③	東京医科大学病院	S/地下2階/地上20階	2019.3.15	病院棟	6,733.56	98,567.11	60-4-2	98,079.81
④	医療ガス施設棟	S/地上1階	2019.3.15	付属棟	19.14	19.14	60-4-2附1	19.14
⑤	渡廊下上屋-1	S	2019.3.15	庇	129.00		−	−
⑥	渡廊下上屋-2	S	2021.3.25	庇	59.85	−	−	−
⑦	立体駐車場棟	S/地上3階	2021.3.25	駐車場	3,790.88	10,765.80	55-1-3	10,632.08
				③⑥重複	▲3.85			
				小計	12,291.96	129,214.78		128,219.39
⑧	地下鉄出入口	RC+S/地下1階/地上1階	1996.3.31	地下鉄出入口倉庫	101.37	261.43	−	−
⑨	渡廊下上屋-3	S	2019.3.15	庇	10.26	−	−	−
⑩	渡廊下上屋-4	S	2019.3.15	庇	32.32	−	−	−
				小計	143.95	261.43	−	−
				合計	12,435.91	129,476.21		128,219.39

東京医科大学茨城医療センター配置図

1. 管理研究棟
2. 教育研究棟
3. 外来本館
4. 第1研究棟
5. 第2研究棟
6. 東館
7. 人工透析棟
8. 中央病棟
9. 南病棟
10. 健診センター
11. 霊安解剖室
12. プレハブ研究棟
13. 特高変電所
14. 第1給水施設
15. 南病棟機械室
16. 中央病棟地下オイルタンク
17. 感染性廃棄物保管庫
18. 放射線同位元素保管庫
19. 車庫・ゴミ置場
20. 増設車庫
21. 職員宿舎E棟
22. 学生宿舎
23. 職員宿舎C棟
24. 職員宿舎新C棟
25. 職員宿舎A棟
26. 職員宿舎B棟
27. 第2給水施設
28. 高橋記念館
29. 保険薬局棟
30. 総合排水処理施設
31. 女子寮
32. 東京医科大学霞ヶ浦看護専門学校
33. 医療福祉研究センター

茨城大学農学部

国道125号バイパス

民有地

民有地

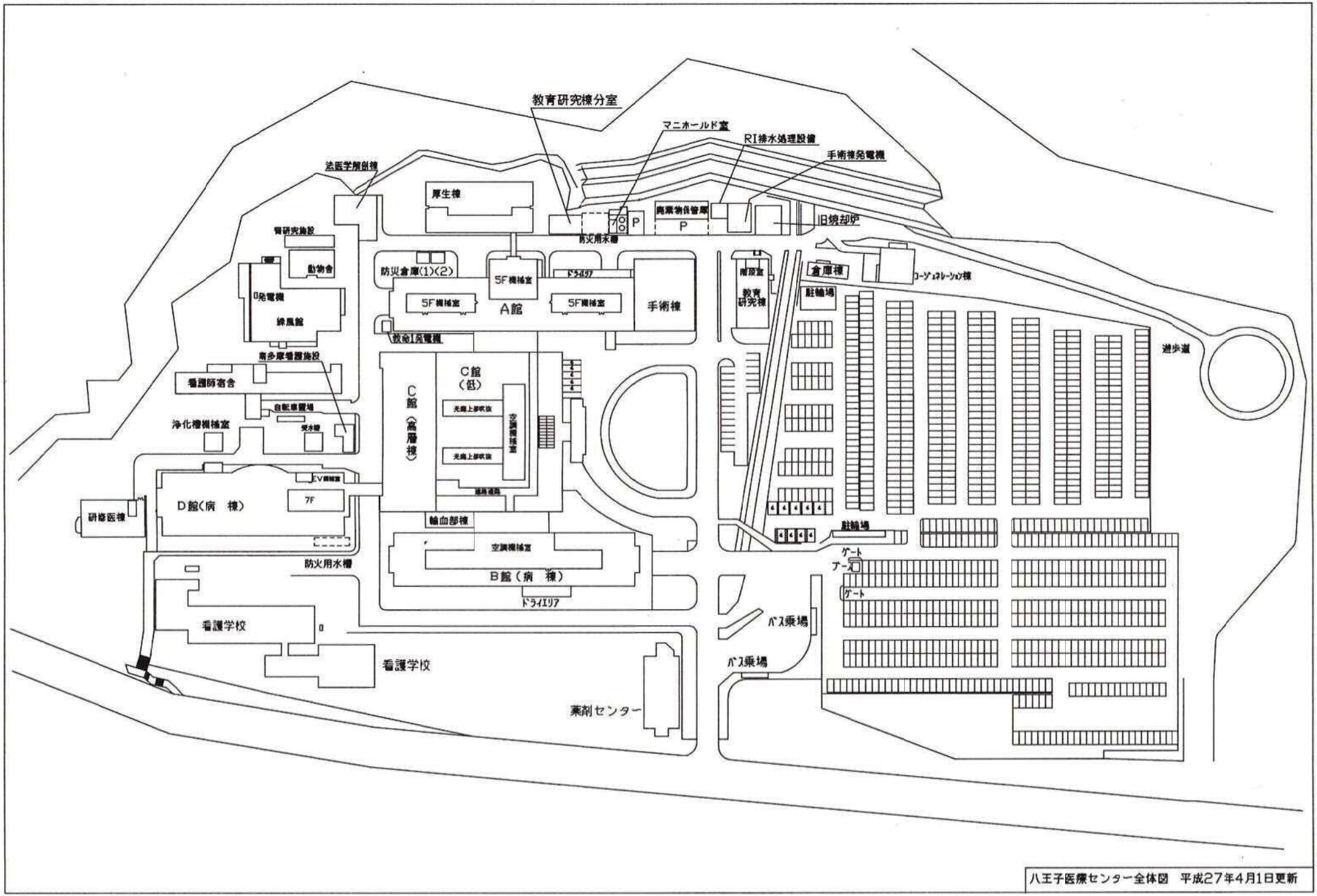
民有地

民有地

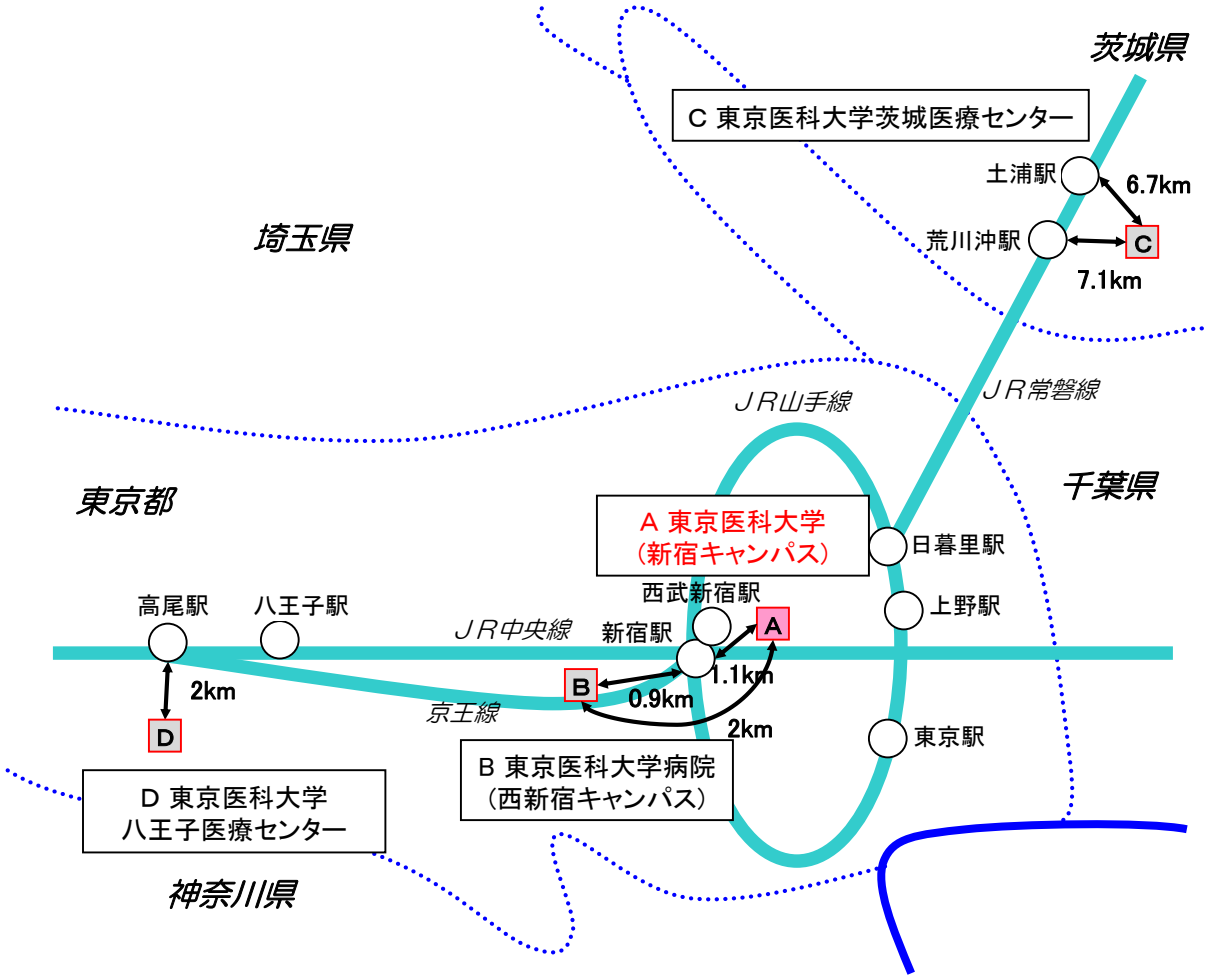
町道

町道

入口　　出口


教育研究棟分室
マニホールド室
RI排水処理設備
手術棟発電機
法医学解剖棟
厚生棟
廃棄物保管庫
旧焼却炉
防災用水槽
P
P
医研究施設
動物舎
発電機
排風館
南多摩看護施設
防災倉庫(1)(2)
5F機械室
A館
5F機械室
ドライエリア
5F機械室
手術棟
教育研究棟
階段室
倉庫棟
コージェネレーション棟
駐輪場
遊歩道
教育1発電機
看護師宿舎
自転車置場
浄化槽機械室
受水槽
C館(高層棟)
C館(低)
光庭上部吹抜
光庭上部吹抜
空調機械室
連絡通路
EV機械室
D館(病　棟)
7F
研修医棟
輸血部棟
空調機械室
B館(病　棟)
ドライエリア
防火用水槽
駐輪場
ゲート
ゲート
看護学校
看護学校
バス乗場
バス乗場
薬剤センター
八王子医療センター全体図　平成27年4月1日更新

東京医科大学
キャンパス 位置関係



A 東京医科大学（新宿キャンパス）

所在地　東京都新宿区新宿６－１－１

交　通　ＪＲ・小田急線・京王線「新宿駅」下車 徒歩２０分
東京メトロ丸の内線「新宿御苑前駅」下車 徒歩７分
都営新宿線「新宿三丁目駅」下車 徒歩１０分
都営大江戸線、東京メトロ副都心線「東新宿駅」下車 徒歩１０分

B 東京医科大学病院（西新宿キャンパス）

所在地　東京都西新宿６－７－１

交　通　ＪＲ・小田急線・京王線「新宿駅」西口下車 徒歩１５分
東京メトロ丸の内線「西新宿」（東京医大病院前）下車 徒歩１分
都営大江戸線「都庁前駅」下車 徒歩５分

C 東京医科大学茨城医療センター

所在地　茨城県稲敷郡阿見町中央３－２０－１

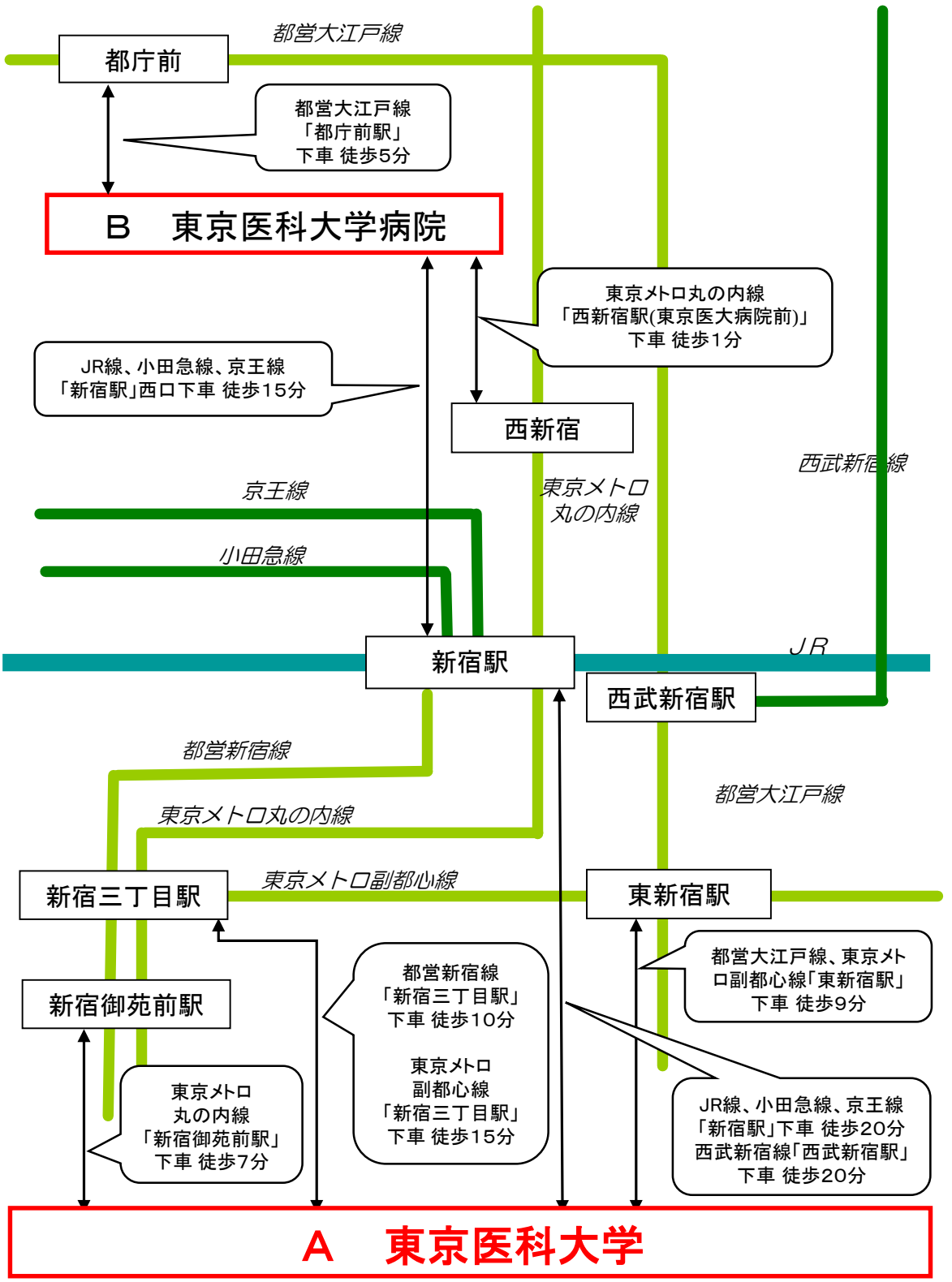
交　通　ＪＲ常磐線「土浦駅」より関東鉄道バス１５分
ＪＲ常磐線「荒川沖駅」より関東鉄道バス１５分

D 東京医科大学八王子医療センター

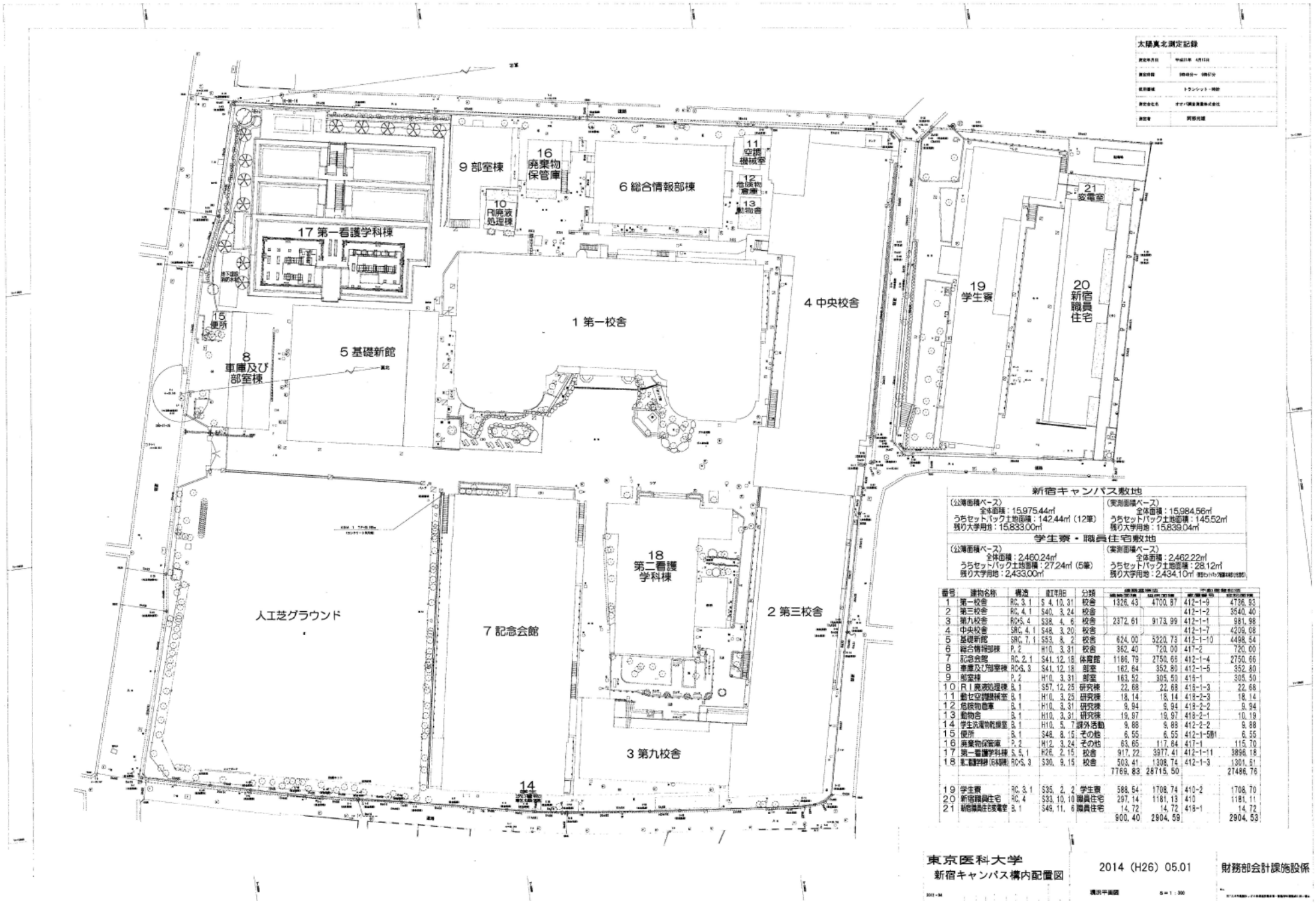
所在地　東京都八王子市館町１１６３

交　通　ＪＲ中央線・京王線「高尾駅」南口より京王バス館ヶ丘団地行７分

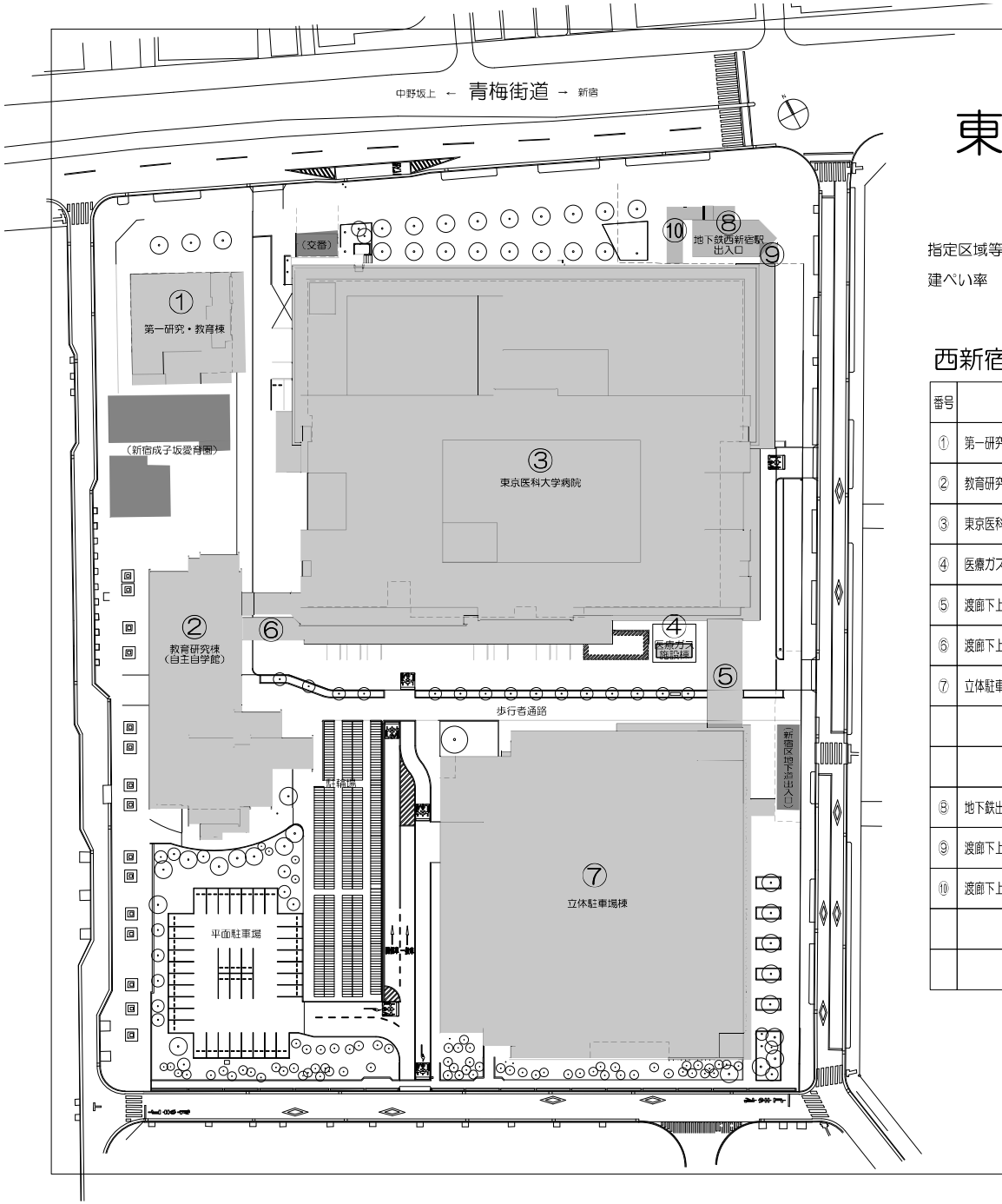
東京医科大学　新宿キャンパス
最寄り駅からの距離や交通機関



【資料20】



番号	建物名称	構造	竣工年月日	分類				
1	第一校舎	RC, 3, 1	S 4, 10, 31	校舎	1326, 43	4700, 87	412-1-9	4736, 93
2	第三校舎	RC, 4, 1	S40, 3, 24	校舎			412-1-2	3540, 40
3	第九校舎	RC+S, 4	S38, 4, 6	校舎	2372, 61	9173, 99	412-1-1	981, 98
4	中央校舎	SRC, 4, 1	S48, 3, 20	校舎			412-1-7	4209, 08
5	基礎新館	SRC, 7, 1	S53, 8, 2	校舎	624, 00	5220, 73	412-1-10	4498, 54
6	総合情報部棟	P, 2	H10, 3, 31	校舎	362, 40	720, 00	417-2	720, 00
7	記念会館	RC, 2, 1	S41, 12, 18	体育館	1186, 79	2750, 66	412-1-4	2750, 66
8	車庫及び物置棟	RC+S, 3	S41, 12, 18	部室	162, 64	352, 80	412-1-5	352, 80
9	部室棟	P, 2	H10, 3, 31	部室	163, 52	305, 50	416-1	305, 50
10	RI廃液処理棟	S, 1	S57, 12, 25	研究棟	22, 68	22, 68	416-1-3	22, 68
11	動化空調機械室	S, 1	H10, 3, 25	研究棟	18, 14	18, 14	418-2-3	18, 14
12	危険物倉庫	S, 1	H10, 3, 31	研究棟	9, 94	9, 94	418-2-2	9, 94
13	動物舎	S, 1	H10, 3, 31	研究棟	19, 97	19, 97	418-2-1	10, 19
14	学生洗濯物乾燥室	S, 1	H10, 5, 7	課外活動	9, 88	9, 88	412-2-2	9, 88
15	便所	S, 1	S48, 8, 15	その他	6, 55	6, 55	412-1-5B1	6, 55
16	廃棄物保管庫	P, 2	H12, 3, 24	その他	53, 65	117, 64	417-1	115, 70
17	第一看護学科棟	S, 5, 1	H26, 2, 15	校舎	917, 22	3977, 41	412-1-11	3896, 18
18	第二看護学科棟（共利用）	RC+S, 3	S30, 9, 15	校舎	503, 41	1308, 74	412-1-3	1301, 61
					7769, 83	28715, 50		27486, 76
19	学生寮	RC, 3, 1	S35, 2, 2	学生寮	588, 54	1708, 74	410-2	1708, 70
20	新宿職員住宅	RC, 4	S33, 10, 10	職員住宅	297, 14	1181, 13	410	1181, 11
21	新宿職員住宅変電室	S, 1	S48, 11, 6	職員住宅	14, 72	14, 72	418-1	14, 72
					900, 40	2904, 59		2904, 53



東京医科大学病院建物配置図

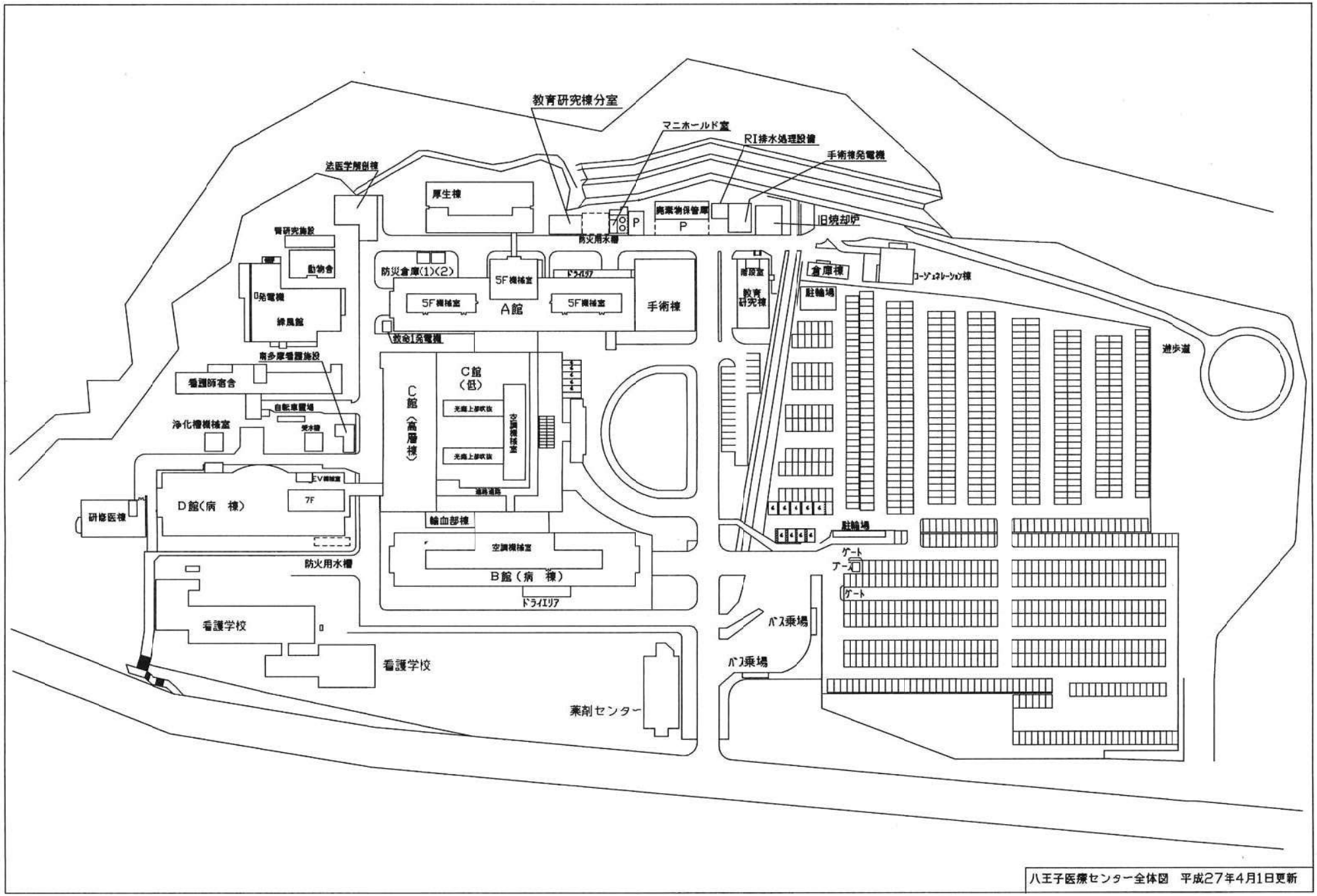
2021年4月1日現在

指定区域等：商業地域・防火地域・高度利用地区・地区計画区域

建ぺい率　70%　　容積率　950%

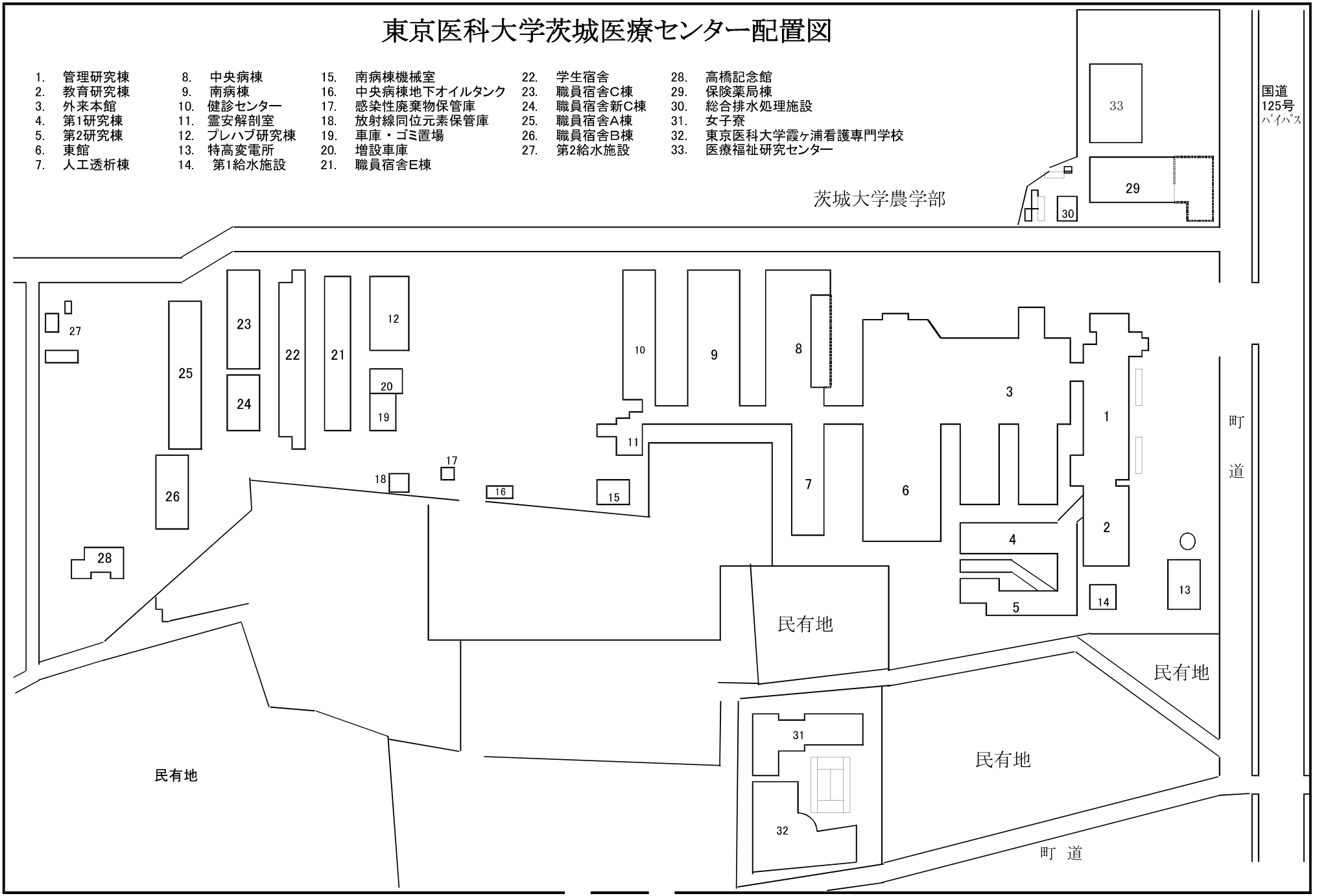
西新宿キャンパス内保有施設

番号	建物名称	構造	竣工年月日	分類	建築基準法		不動産登記法	
					建築面積㎡	延床面積㎡	家屋番号	登記面積㎡
①	第一研究・教育棟	SRC/地下1階/地上7階	1981.3.31	研究棟	439.46	3,375.01	63-3-1	3,296.32
②	教育研究棟(自主自学館)	S/地上16階	2013.7.31	研究棟	1,123.92	16,487.72	55-1-2	16,192.04
③	東京医科大学病院	S/地下2階/地上20階	2019.3.15	病院棟	6,733.56	98,567.11	60-4-2	98,079.81
④	医療ガス施設棟	S/地上1階	2019.3.15	付属棟	19.14	19.14	60-4-2附1	19.14
⑤	渡廊下上屋-1	S	2019.3.15	庇	129.00		−	−
⑥	渡廊下上屋-2	S	2021.3.25	庇	59.85	−	−	−
⑦	立体駐車場棟	S/地上3階	2021.3.25	駐車場	3,790.88	10,765.80	55-1-3	10,632.08
				③⑥重複	▲3.85			
				小計	12,291.96	129,214.78		128,219.39
⑧	地下鉄出入口	RC+S/地下1階/地上1階	1996.3.31	地下鉄出入口倉庫	101.37	261.43	−	−
⑨	渡廊下上屋-3	S	2019.3.15	庇	10.26	−	−	−
⑩	渡廊下上屋-4	S	2019.3.15	庇	32.32	−	−	−
				小計	143.95	261.43	−	−
				合計	12,435.91	129,476.21		128,219.39


教育研究棟分室
マニホールド室
RI排水処理設備
手術棟発電機
法医学解剖棟
厚生棟
廃棄物保管庫
旧焼却炉
防災用水槽
P
P
実研究施設
動物舎
発電機
緋鳳館
南多摩看護施設
防災倉庫(1)(2)
5F機械室
5F機械室
A館
5F機械室
ドライエリア
手術棟
救命1発電機
倉庫棟
コージェネレーション棟
駐輪場
教育研究棟
避歩道
看護師宿舎
自転車置場
浄化槽機械室
受水槽
C館(高層棟)
C館(低)
光庭上部吹抜
光庭上部吹抜
空調機械室
EV機械室
7F
D館(病　棟)
研修医棟
連絡通路
輸血部棟
空調機械室
B館(病　棟)
ドライエリア
防火用水槽
駐輪場
ゲート
ゲート
ゲート
バス乗場
バス乗場
看護学校
看護学校
薬剤センター
八王子医療センター全体図　平成27年4月1日更新

東京医科大学茨城医療センター配置図

1. 管理研究棟
2. 教育研究棟
3. 外来本館
4. 第1研究棟
5. 第2研究棟
6. 東館
7. 人工透析棟
8. 中央病棟
9. 南病棟
10. 健診センター
11. 霊安解剖室
12. プレハブ研究棟
13. 特高変電所
14. 第1給水施設
15. 南病棟機械室
16. 中央病棟地下オイルタンク
17. 感染性廃棄物保管庫
18. 放射線同位元素保管庫
19. 車庫・ゴミ置場
20. 増設車庫
21. 職員宿舎E棟
22. 学生宿舎
23. 職員宿舎C棟
24. 職員宿舎新C棟
25. 職員宿舎A棟
26. 職員宿舎B棟
27. 第2給水施設
28. 高橋記念館
29. 保険薬局棟
30. 総合排水処理施設
31. 女子寮
32. 東京医科大学霞ヶ浦看護専門学校
33. 医療福祉研究センター

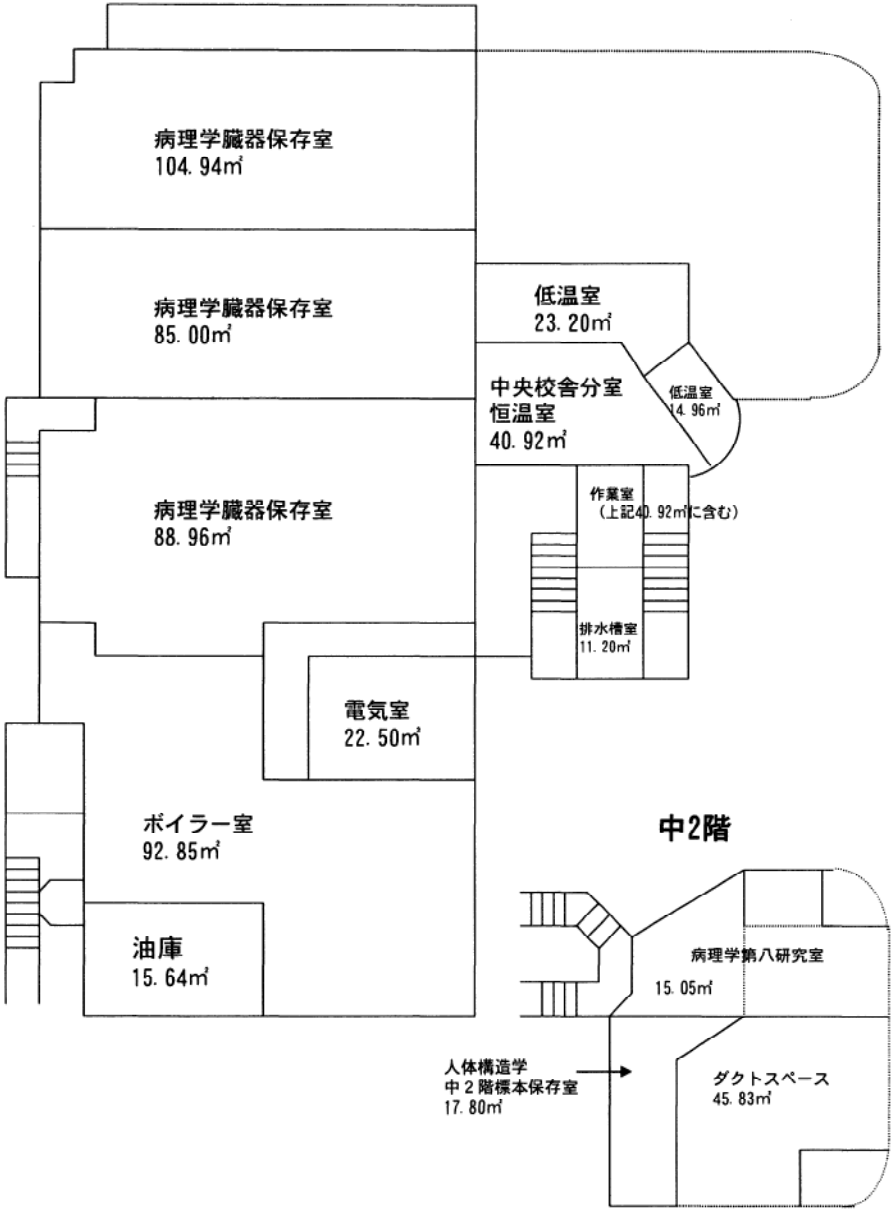


第一校舎

4,736.93㎡

地階

584.79㎡

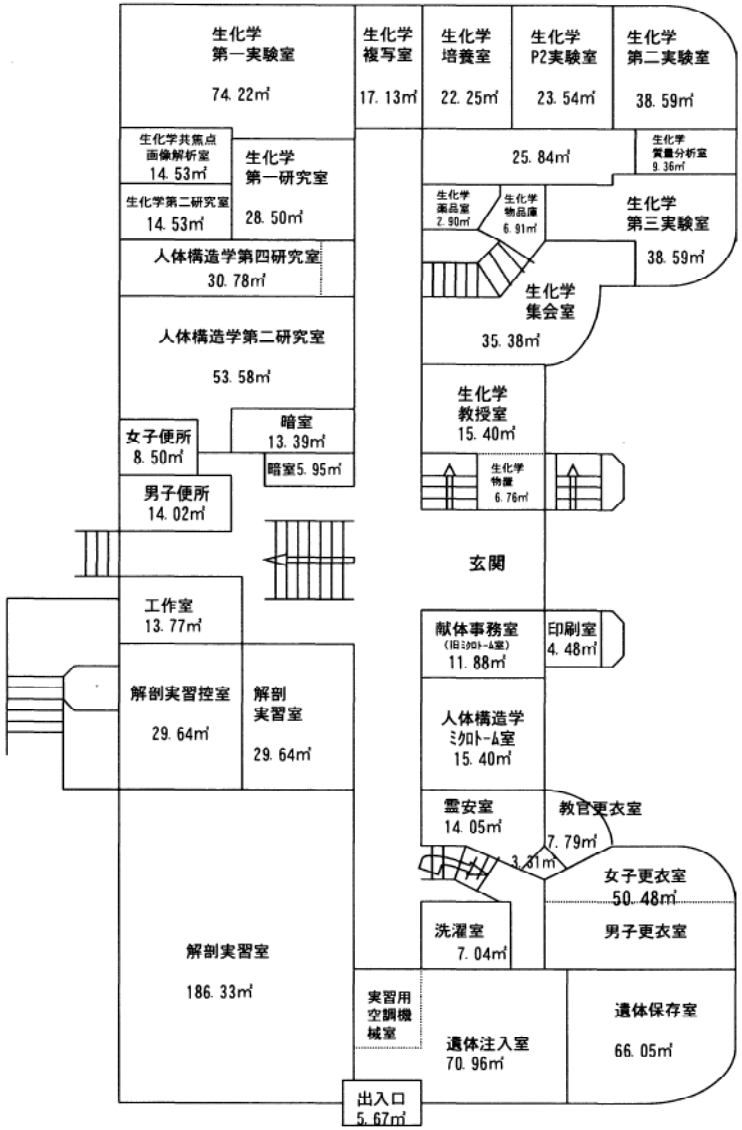


中2階

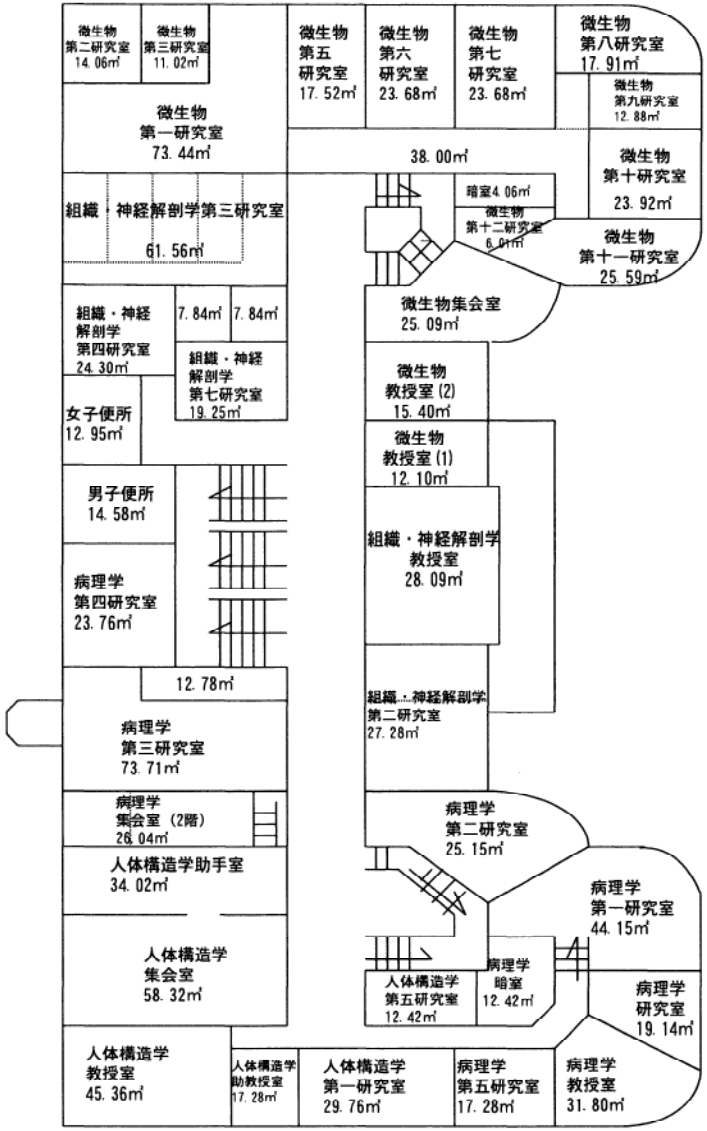
第一校舎

1階

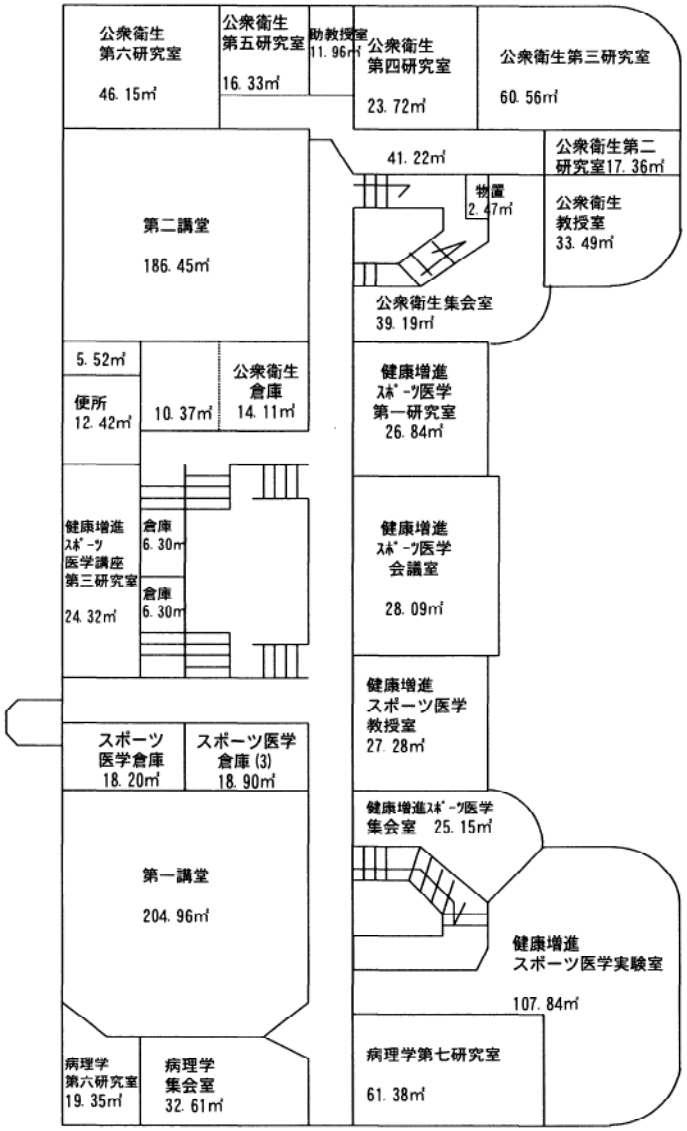
1,296.26㎡



第一校舎
2階
1,334.34㎡



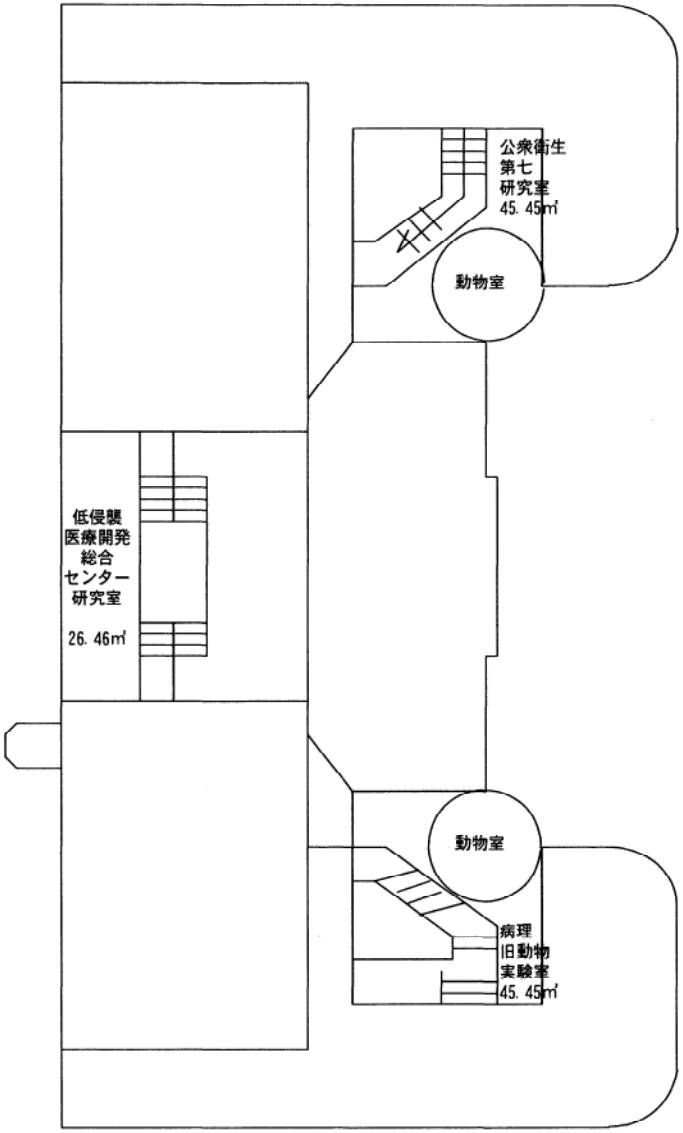
第一校舎
3階
1,375.86㎡



第一校舎

屋上

145.68㎡

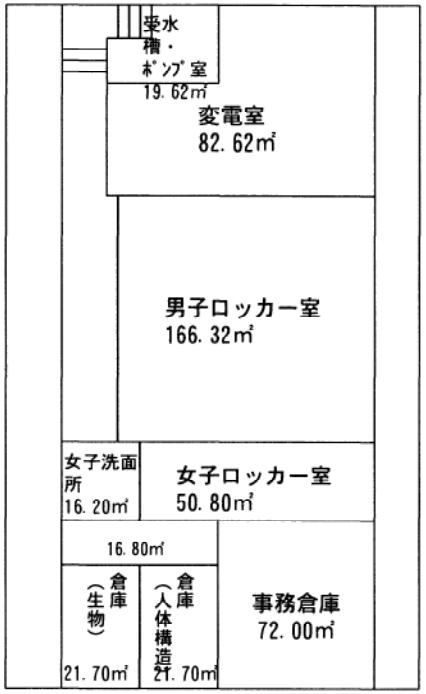


第三校舎

3,540.40㎡

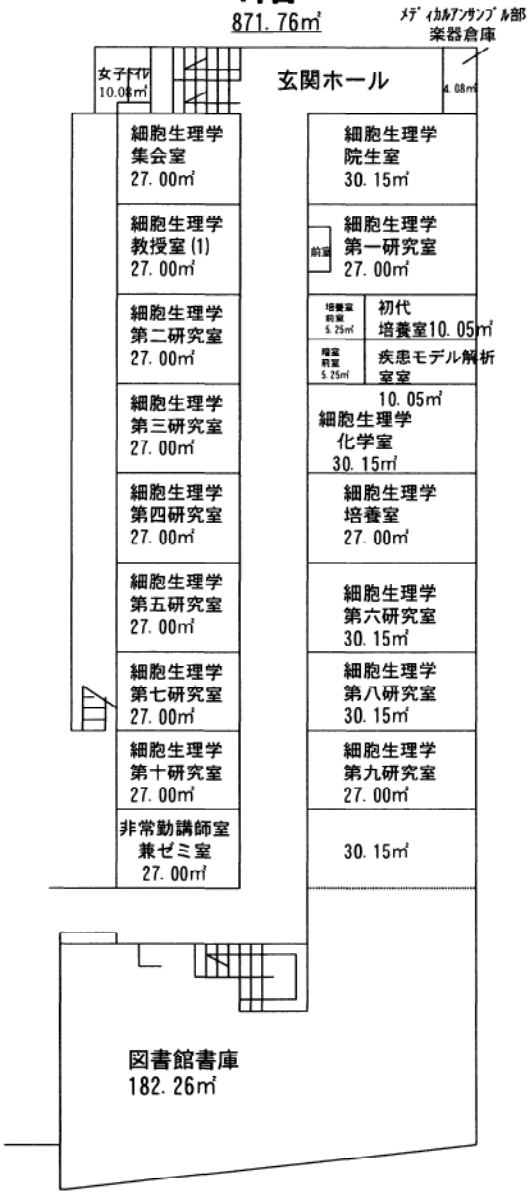
地階

522.99㎡



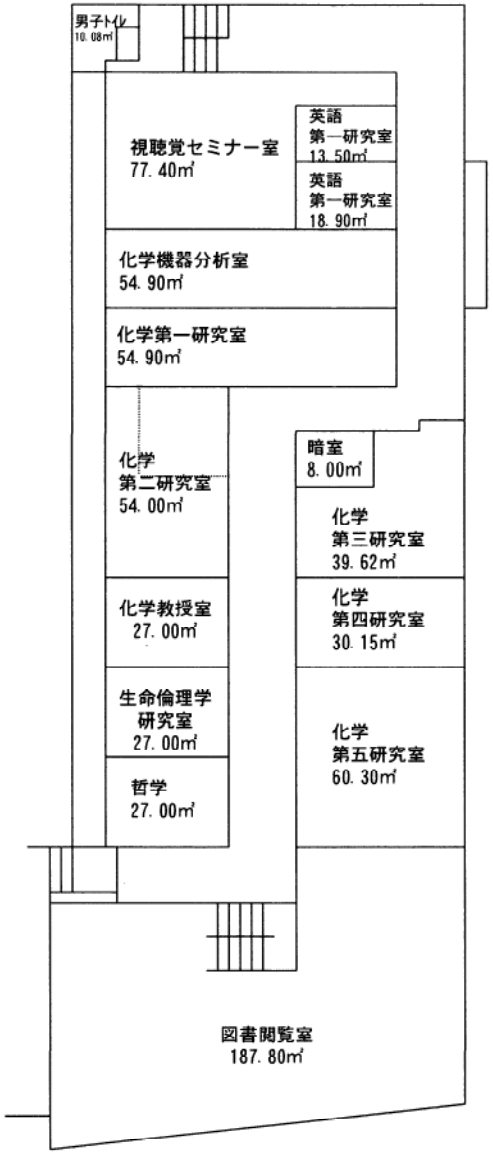
1階

871.76㎡

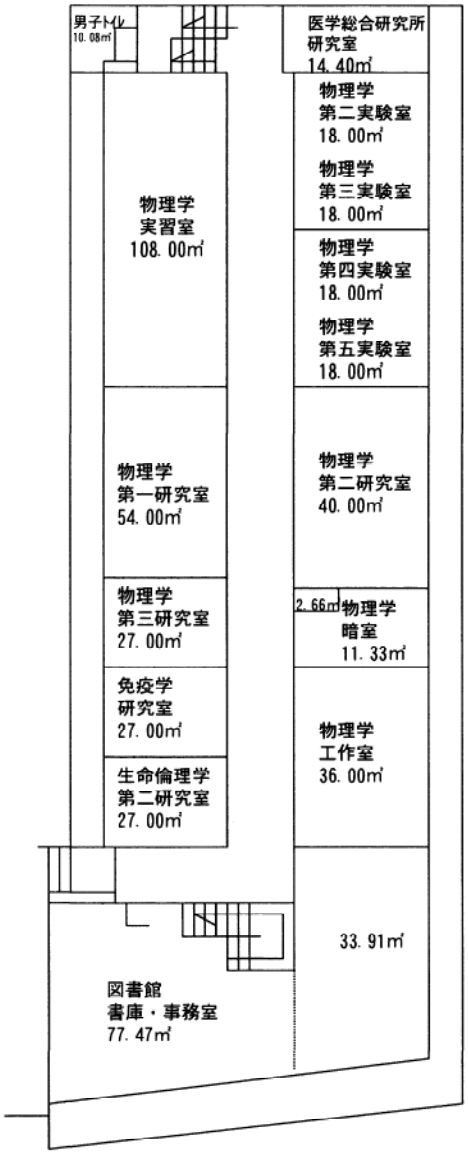


第三校舎

2階
879.41㎡

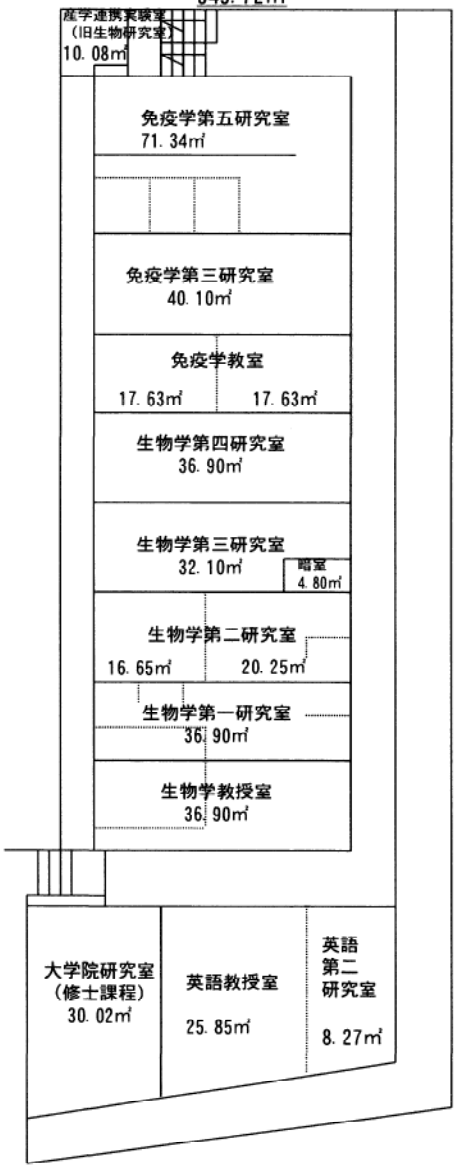


3階
682.70㎡

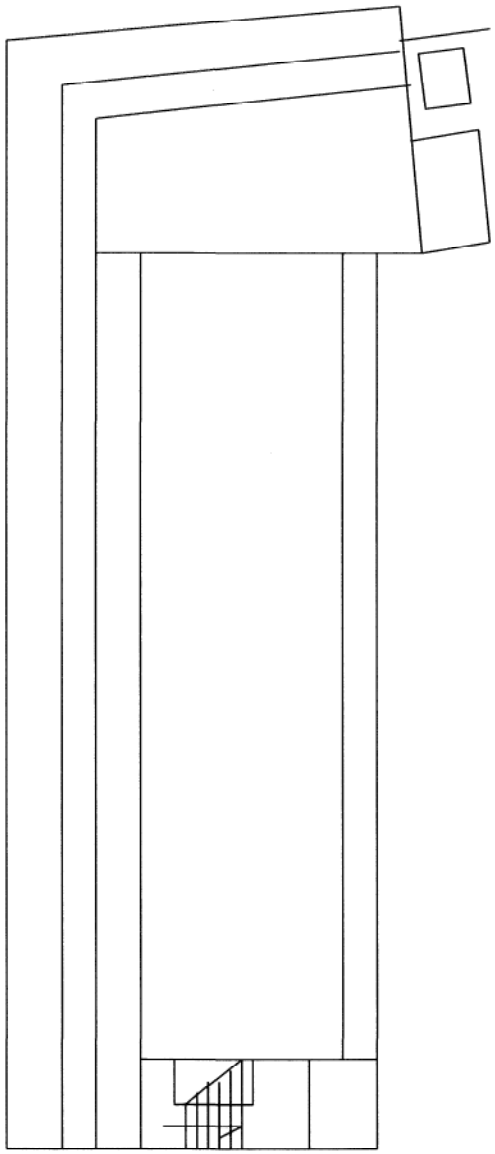


第三校舎

4階
549.72㎡



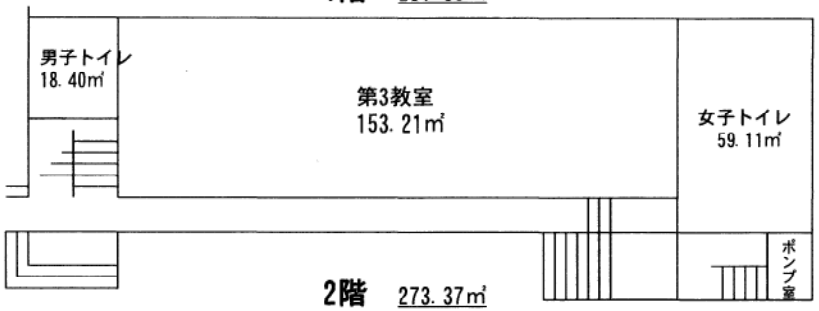
屋階
33.82㎡



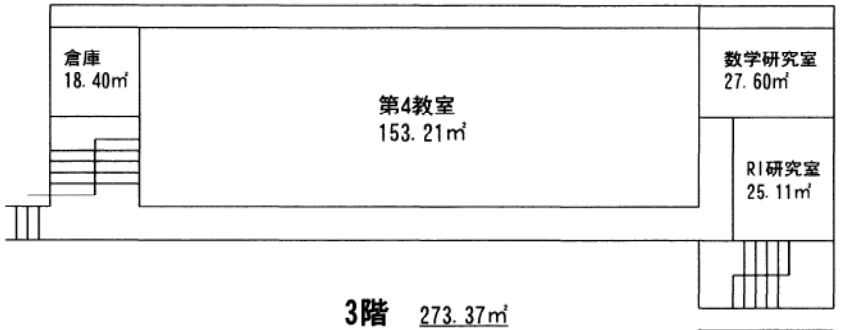
第九校舎

981.98㎡

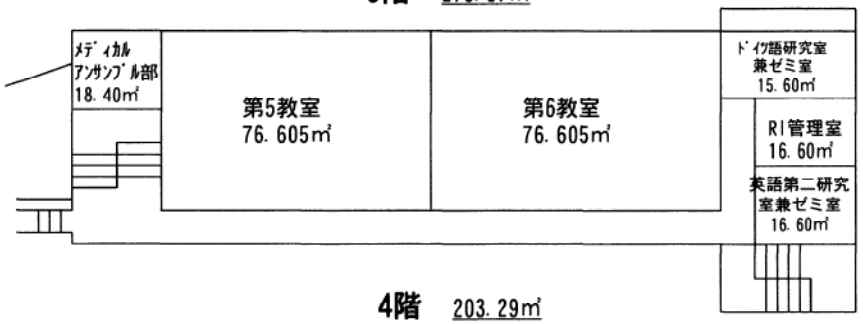
1階　231.95㎡



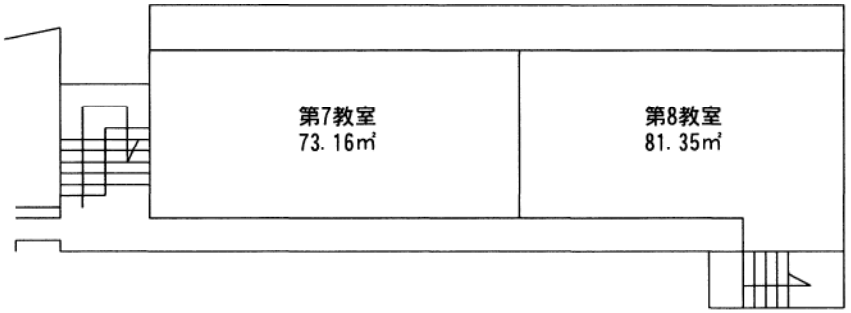
2階　273.37㎡



3階　273.37㎡



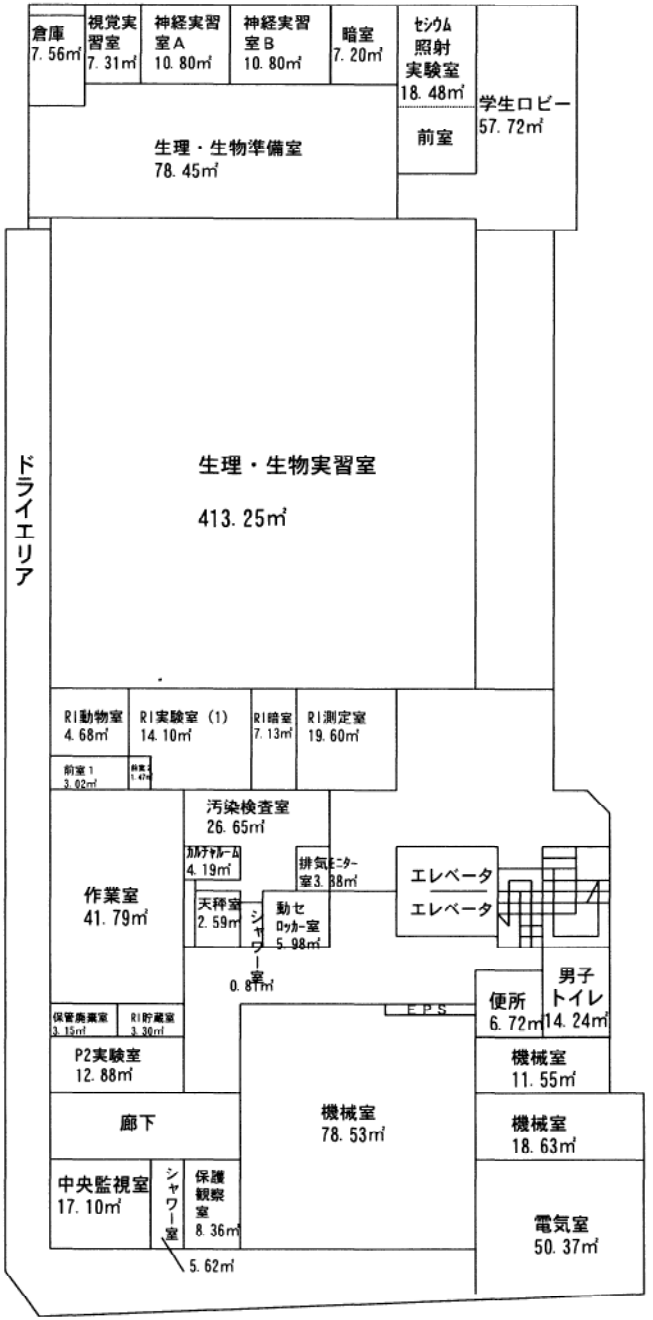
4階　203.29㎡



中央校舎地階

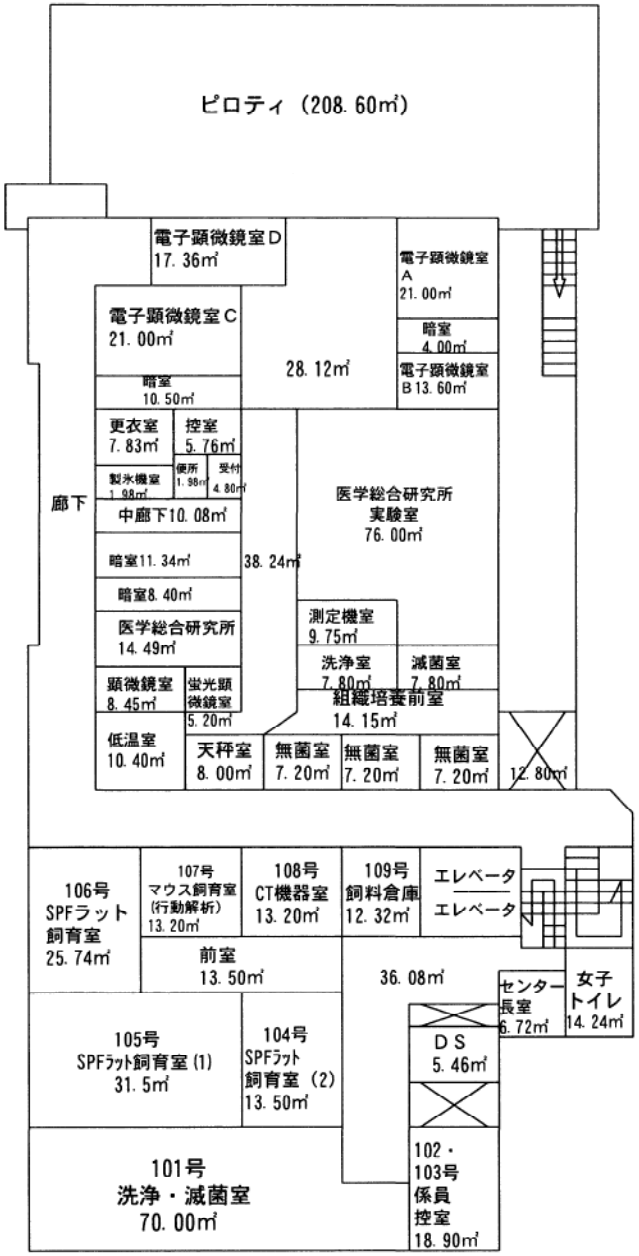
4,209.08㎡

1,097.80㎡



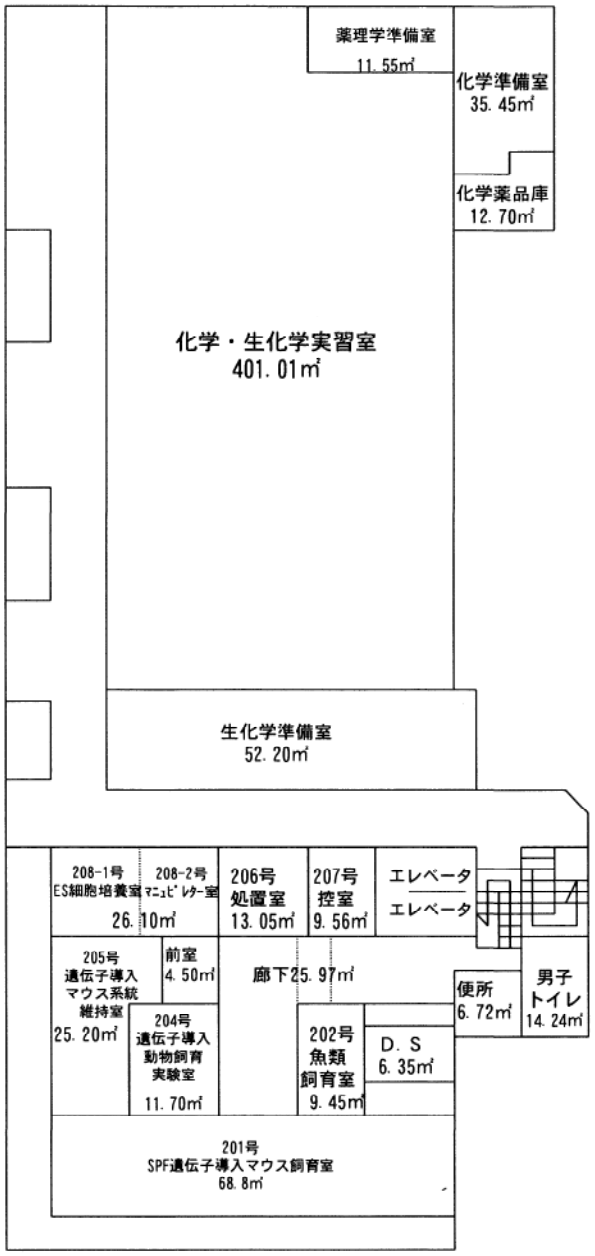
中央校舎１階

840.46㎡



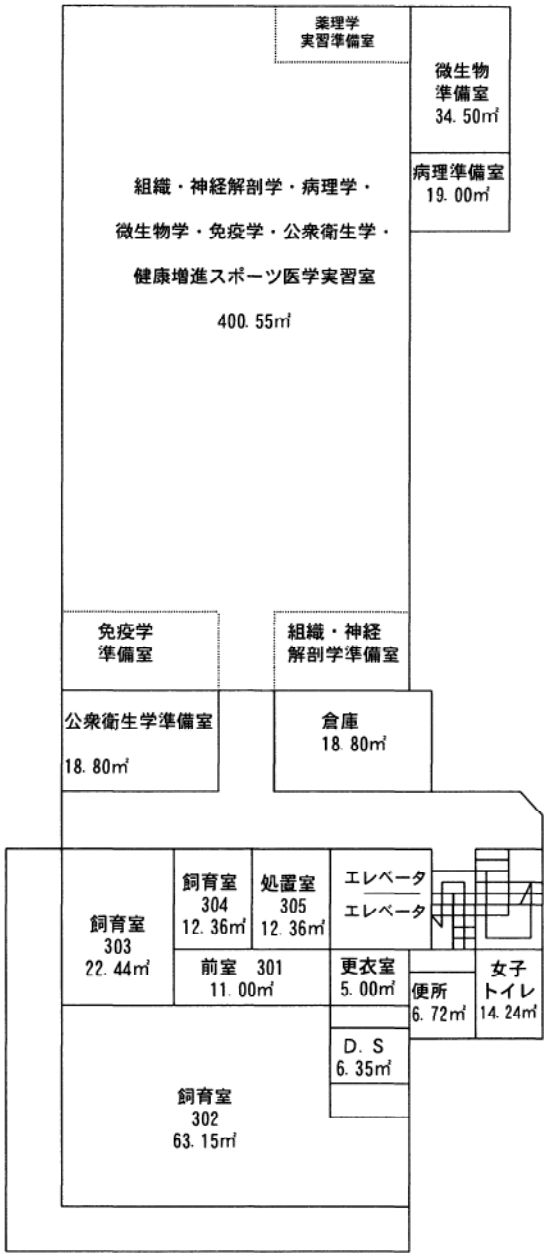
中央校舎２階

948.53㎡



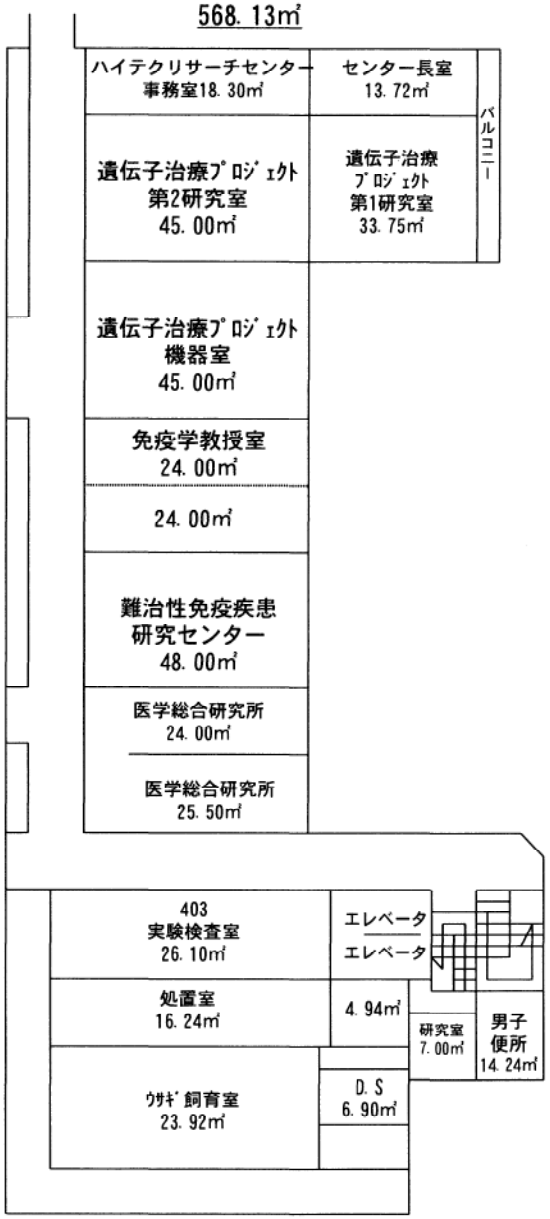
中央校舎３階

754.16㎡

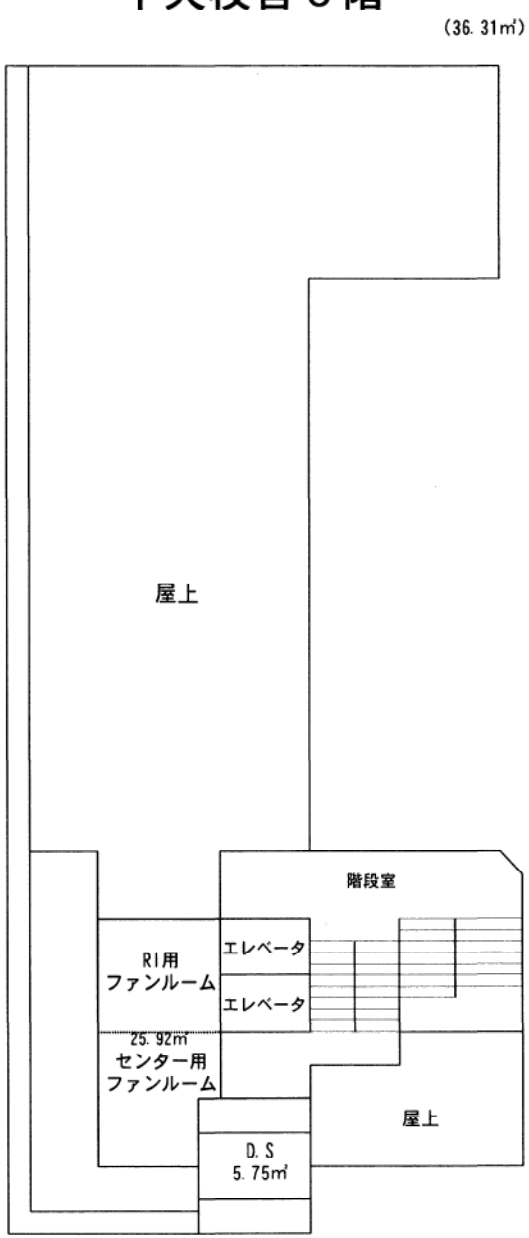


中央校舎４階

568.13㎡

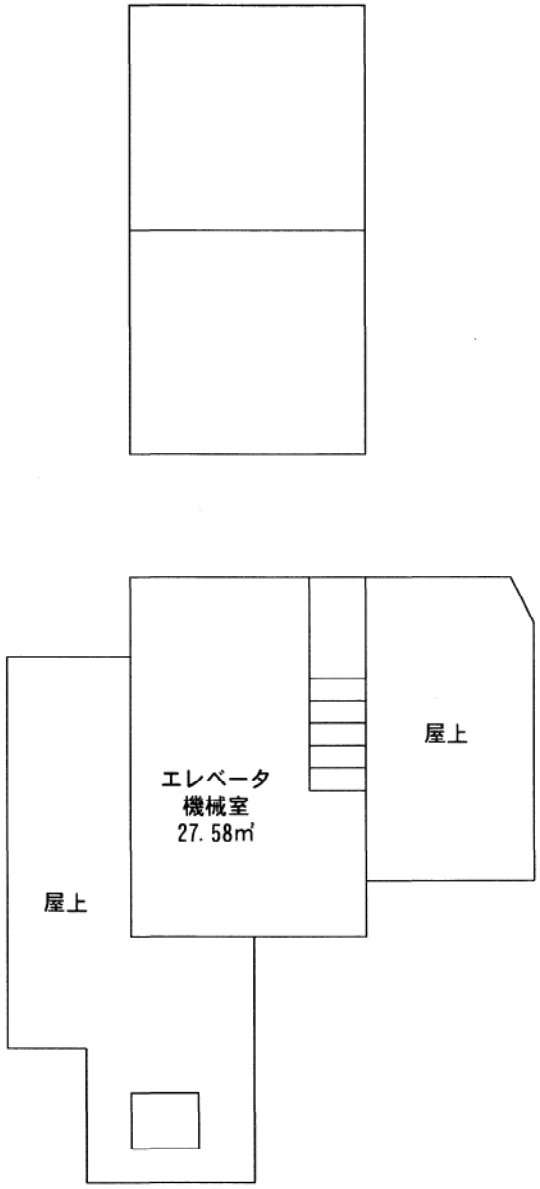


中央校舎５階



中央校舎

屋上

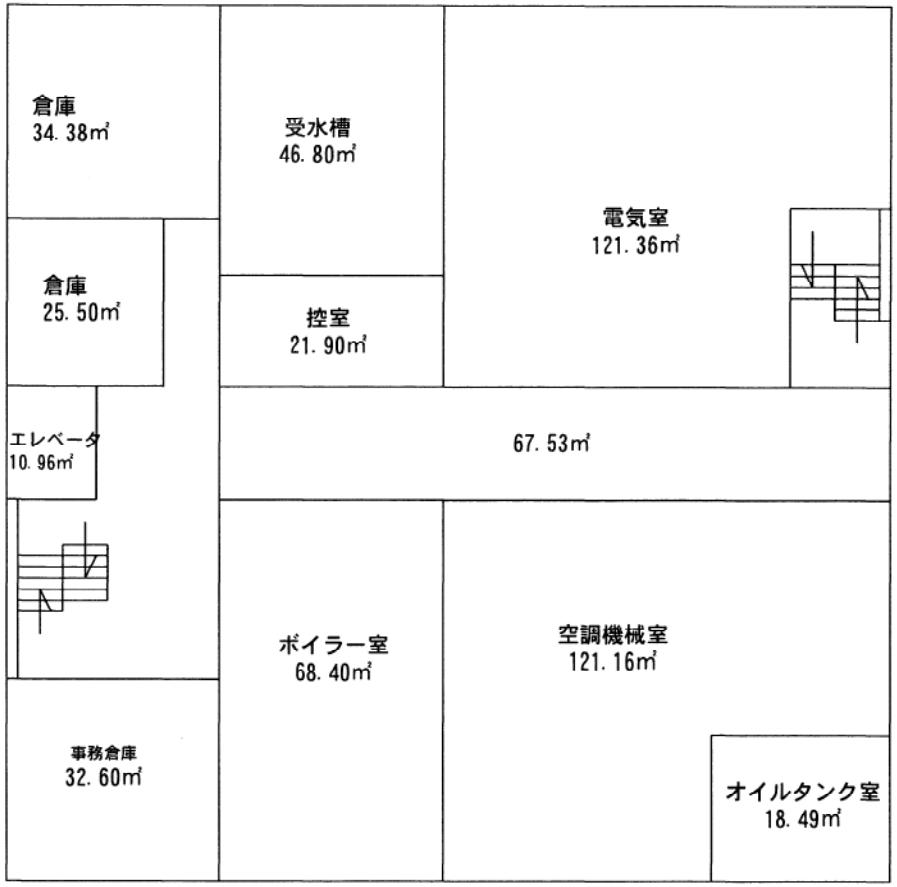


4,498.54㎡

基礎新館

（地下１階）

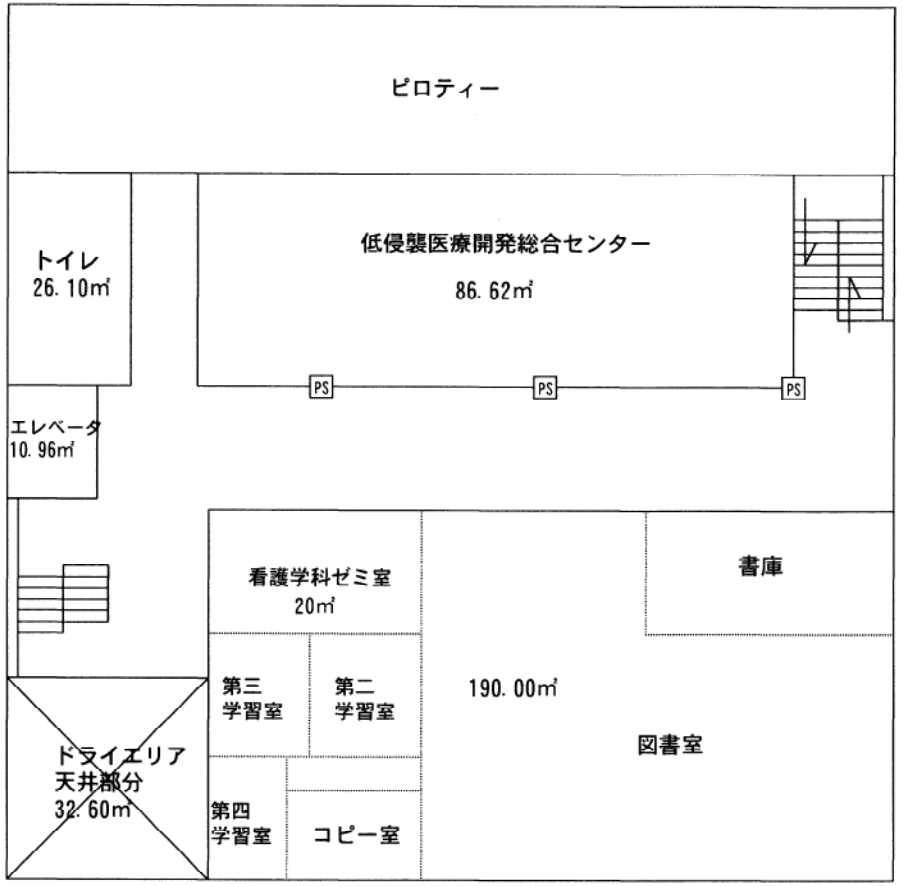
601.77㎡



基礎新館一階

460.63㎡

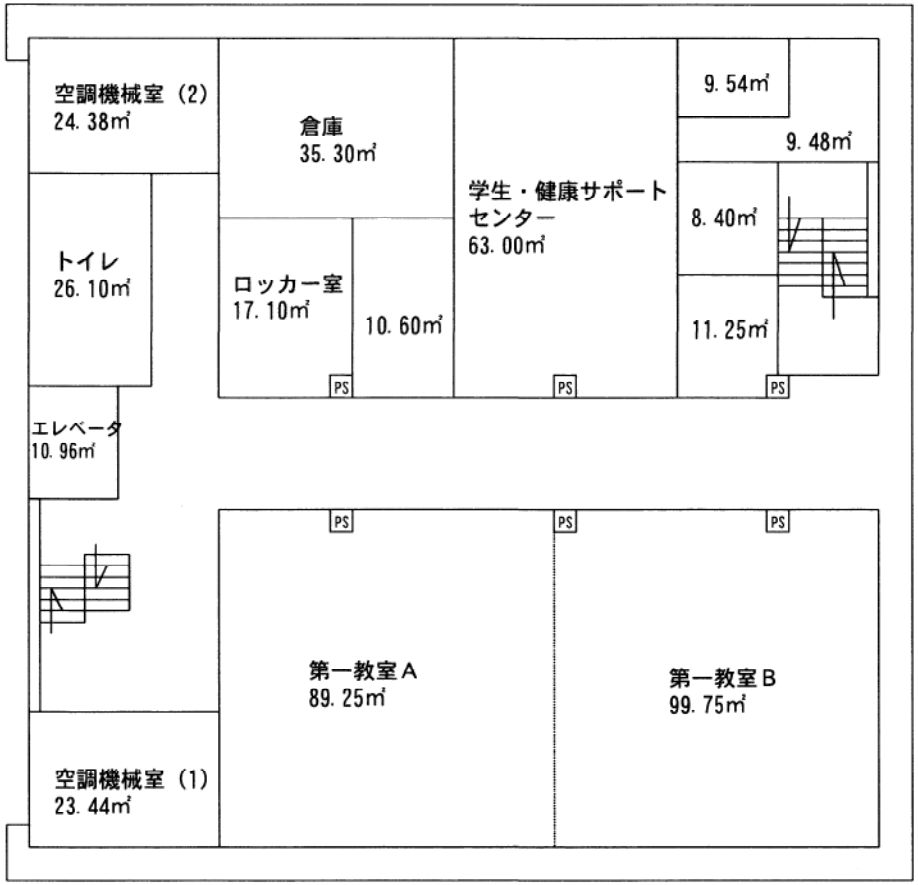
医学科・看護学科



基礎新館二階

572.69㎡

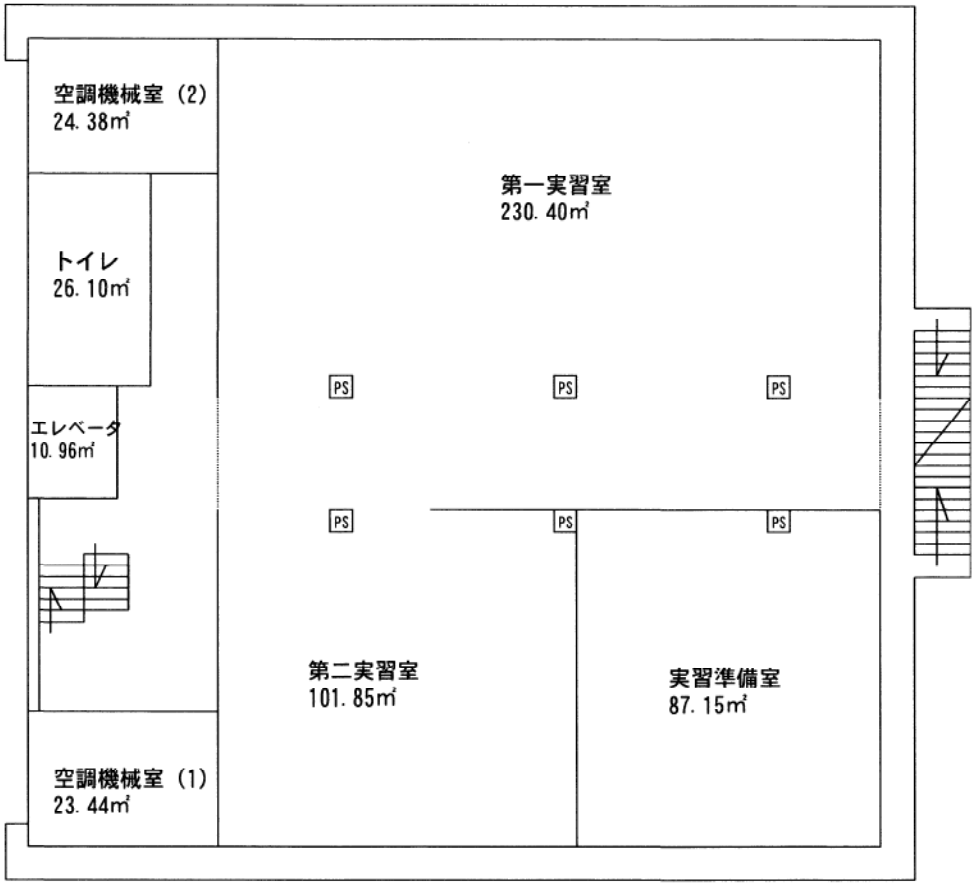
医学科・看護学科



基礎新館三階

572.69㎡

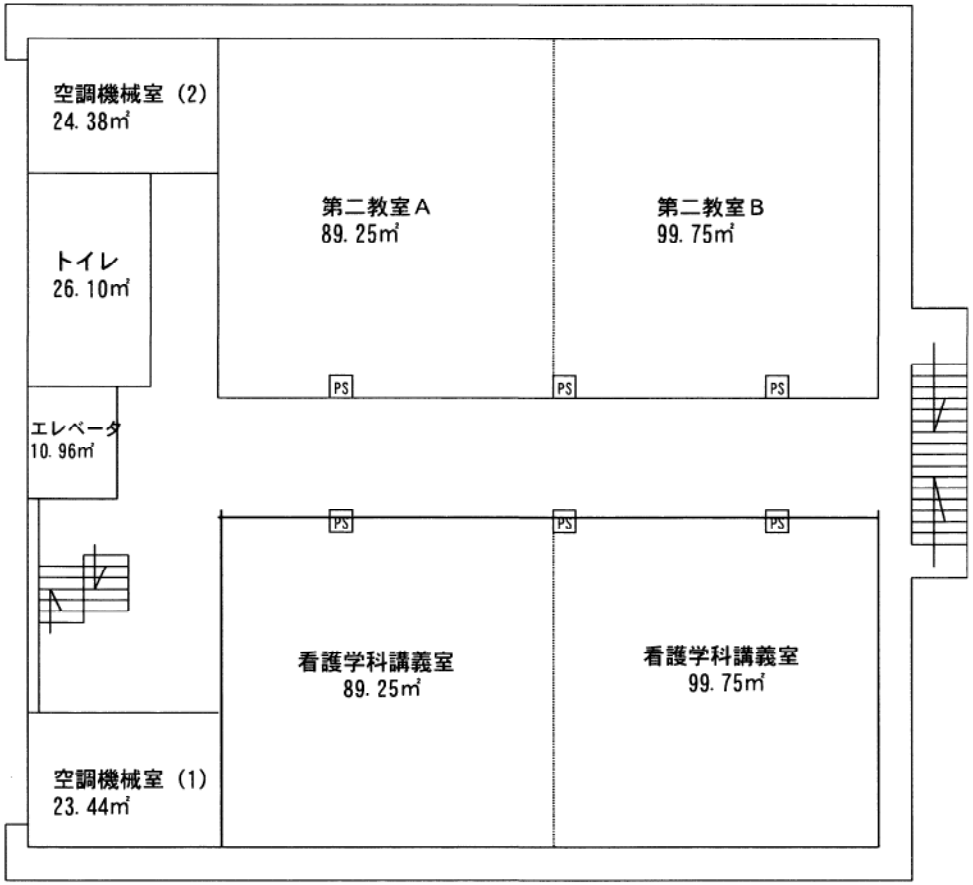
看護学科



基礎新館四階

572.69㎡

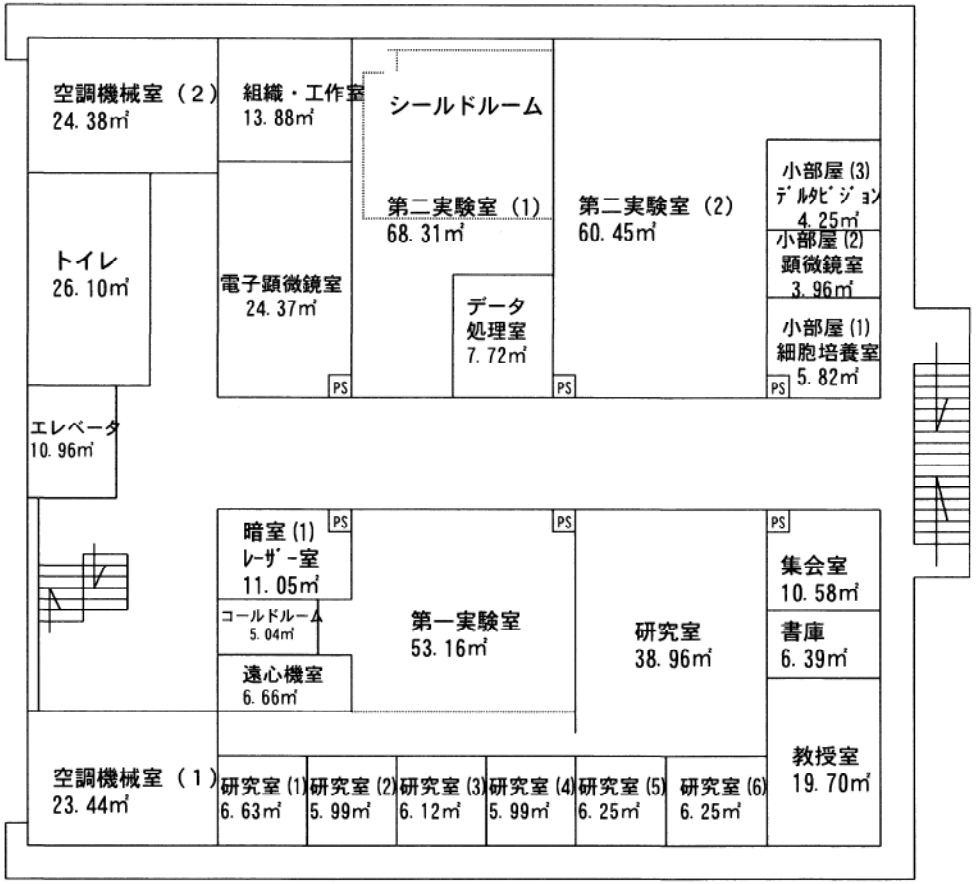
看護学科



基礎新館五階

572.69㎡

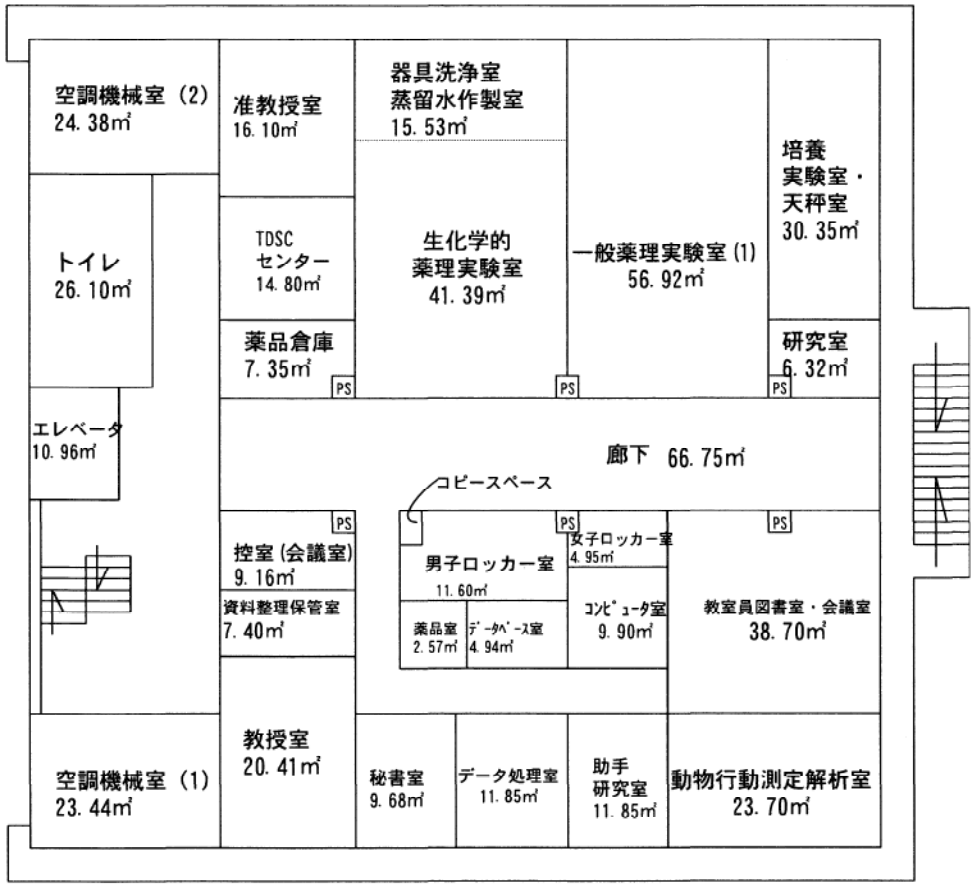
病態生理学



基礎新館六階

572.69㎡

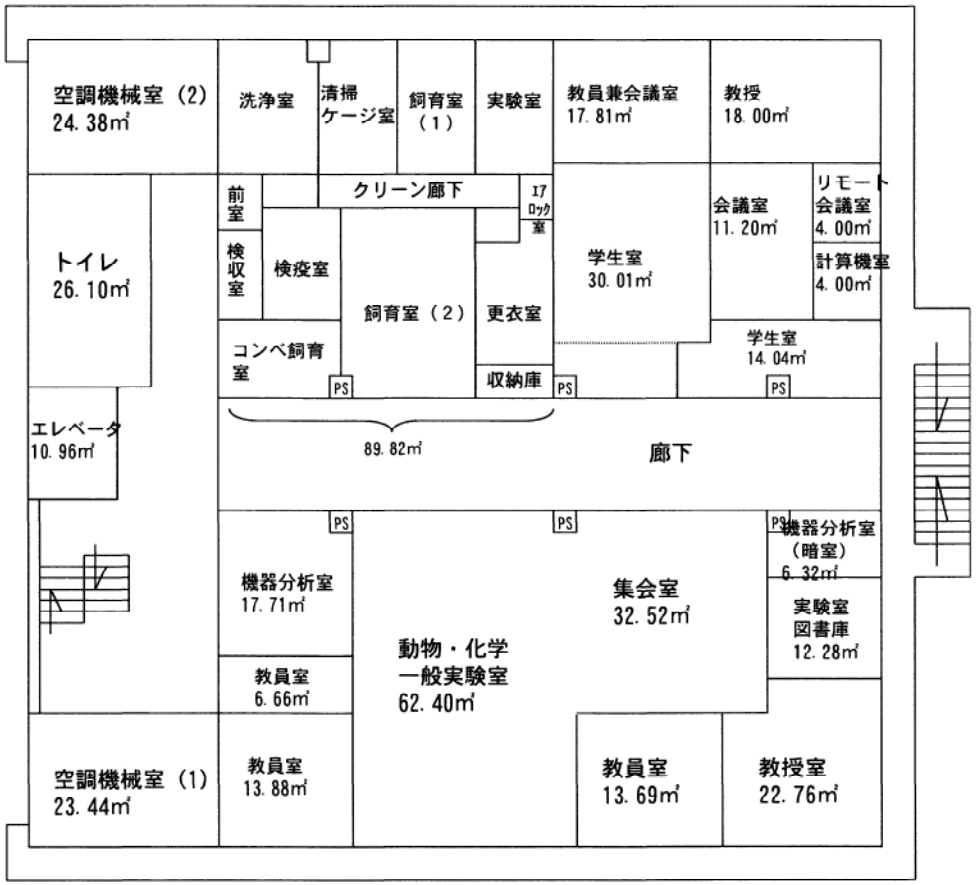
薬理学



基礎新館七階

572.69㎡

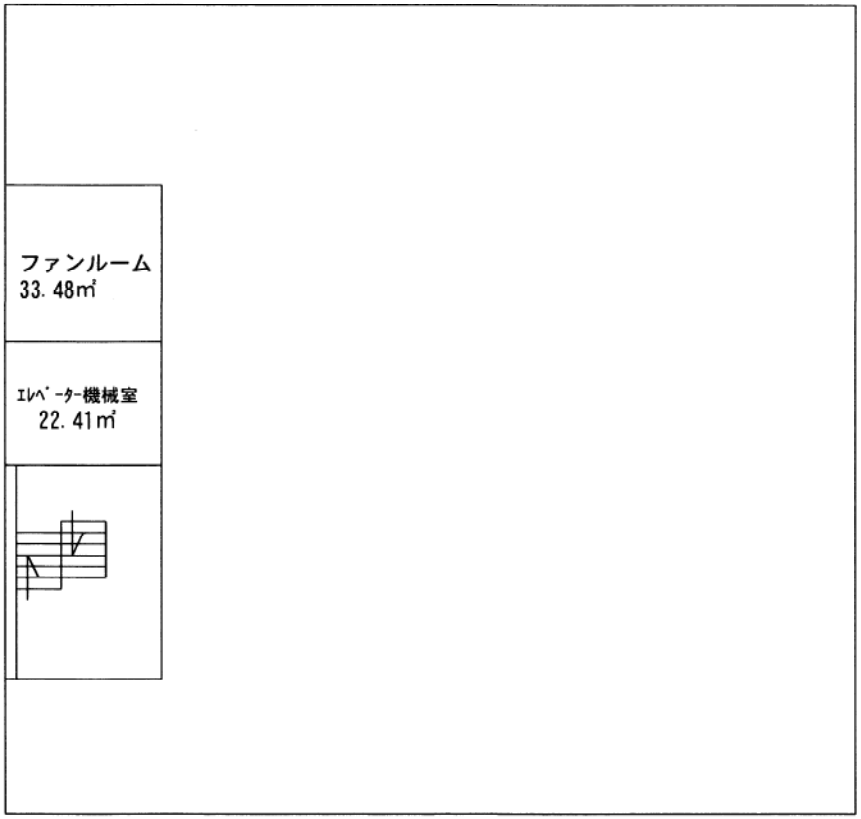
医療データサイエンス



法医学

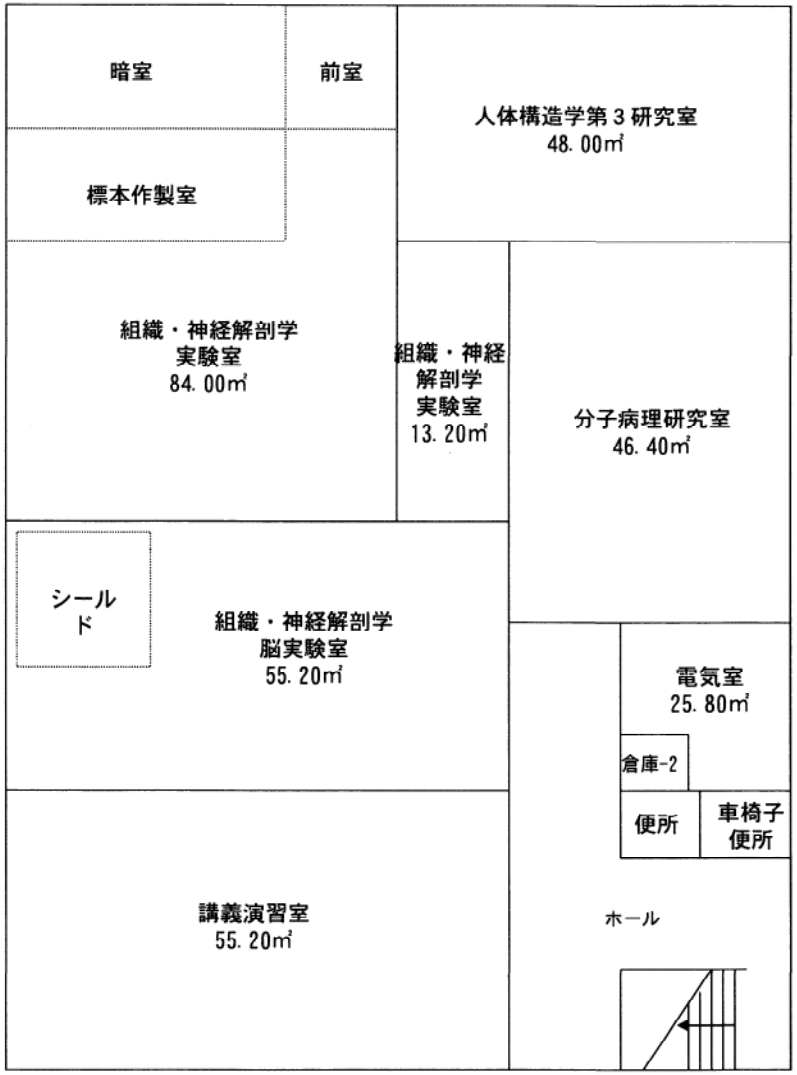
720.00㎡

基礎新館屋上



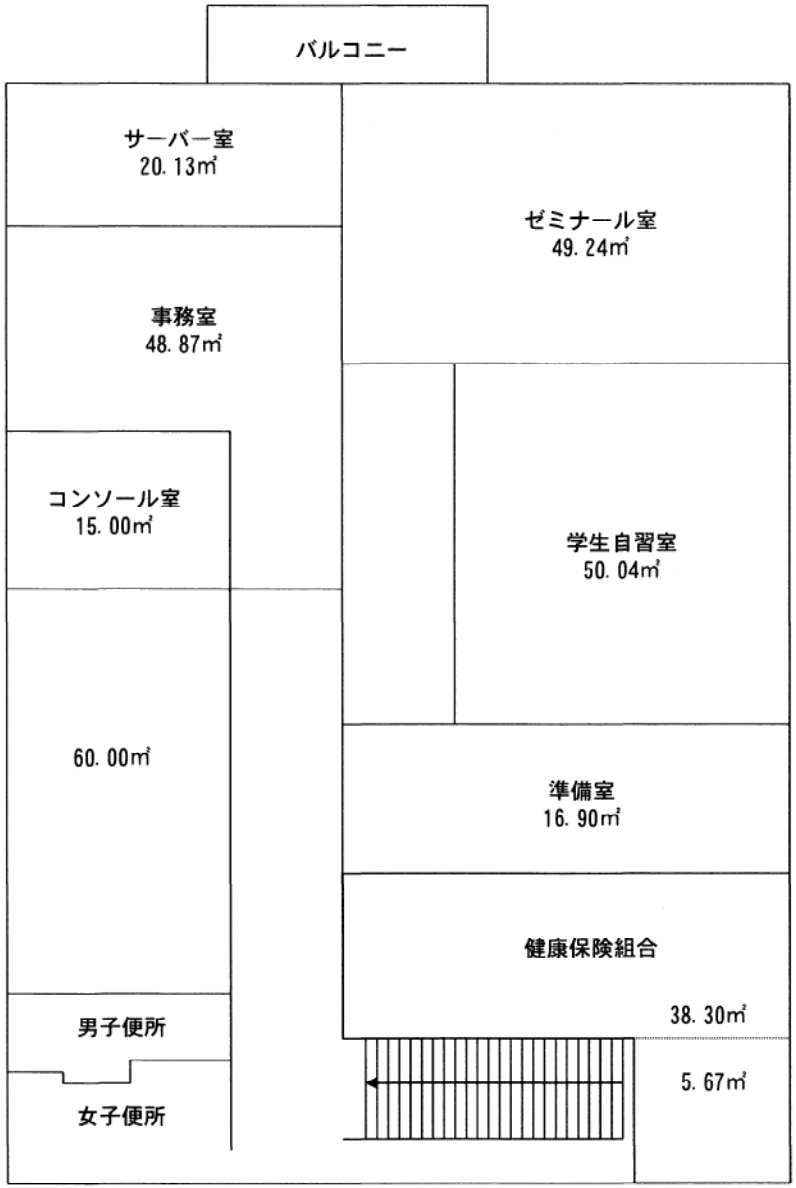
総合情報部棟１階

360.00㎡



総合情報部棟2階

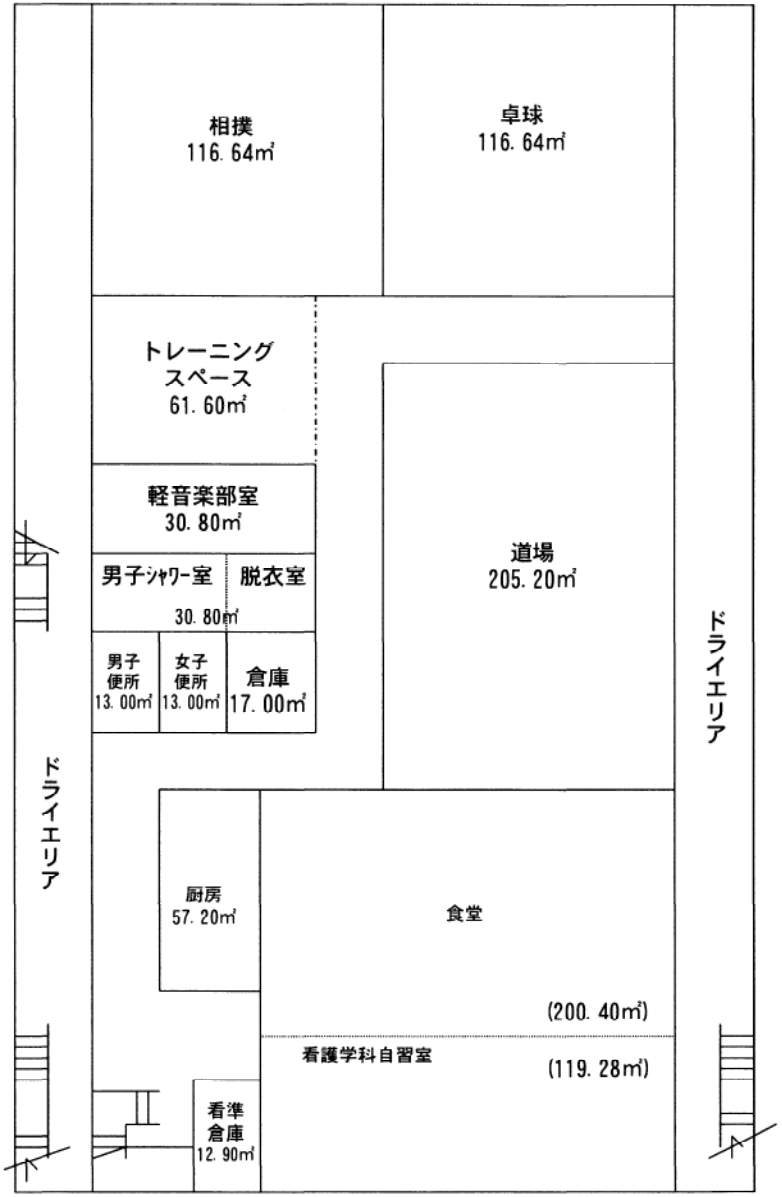
360.00㎡



記念会館地下

2,750.66㎡

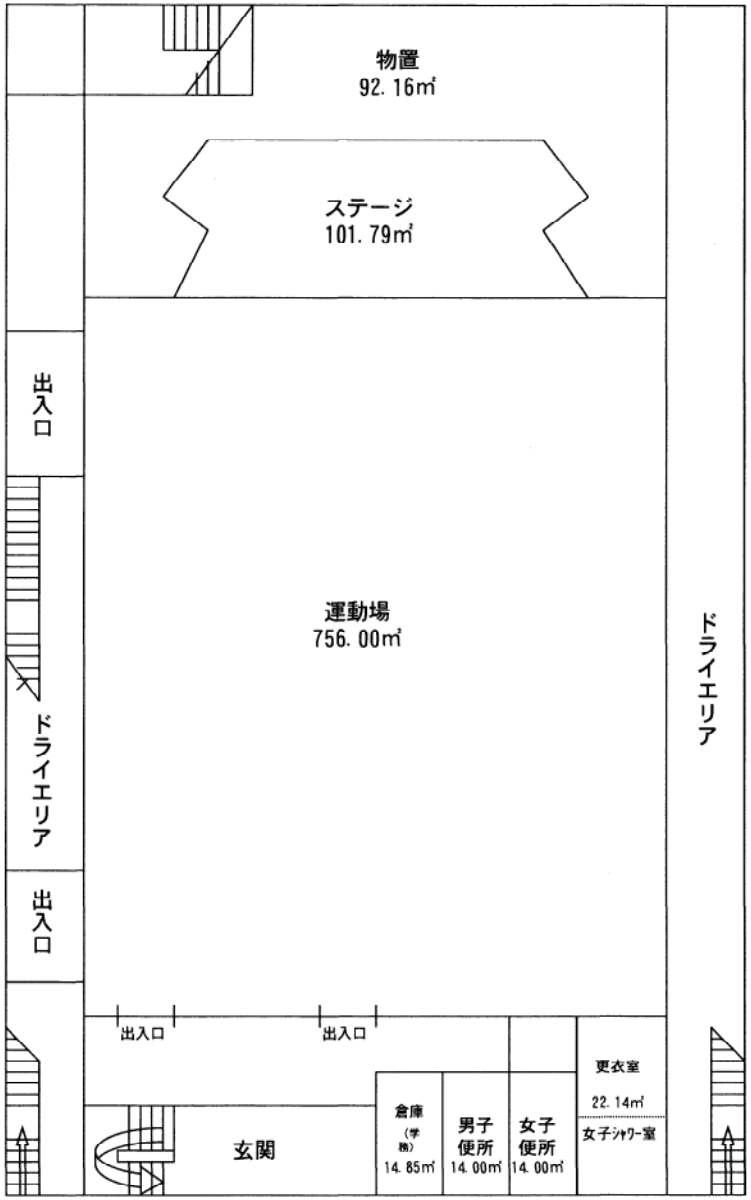
1,166.40㎡



ドライエリア
253.80㎡

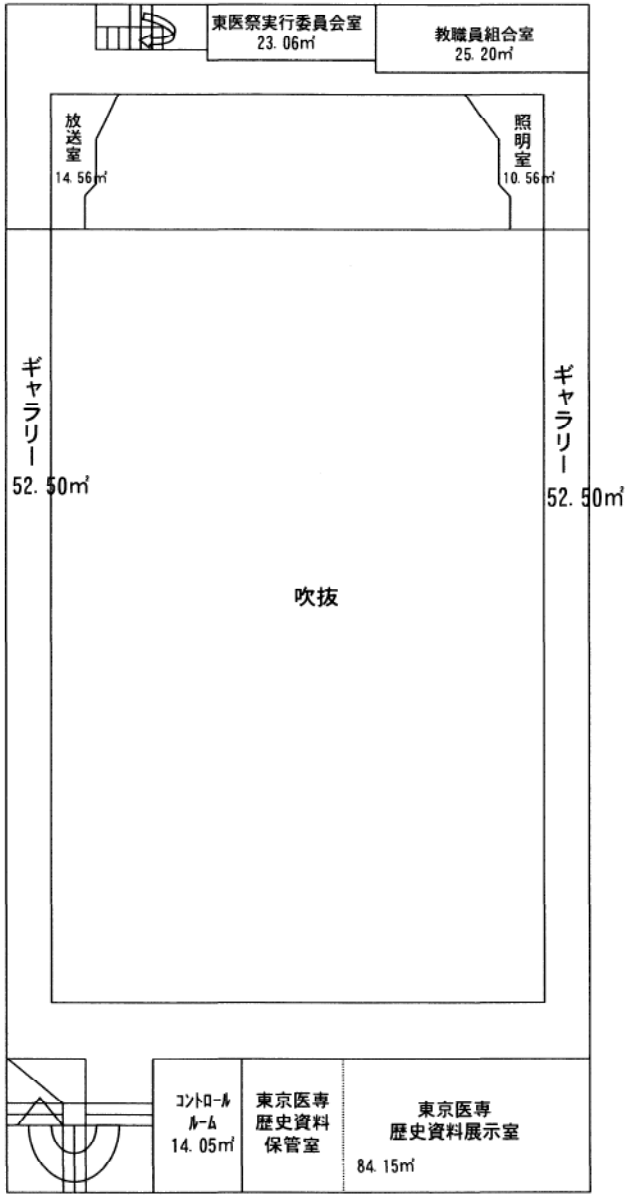
記念会館１階

1,166.40㎡



記念会館2階

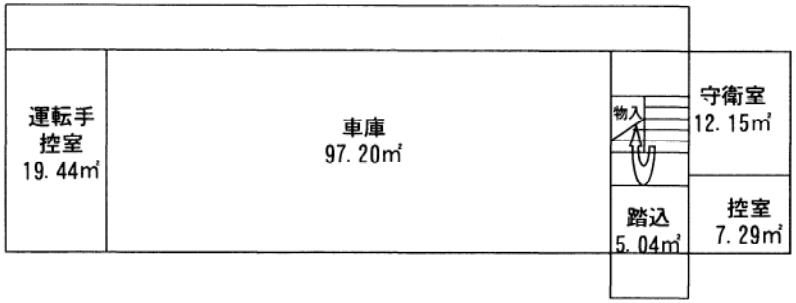
417.86㎡



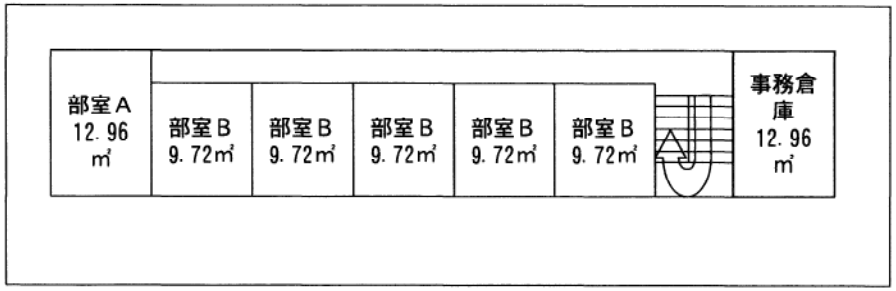
車庫及び部室棟

352.80㎡

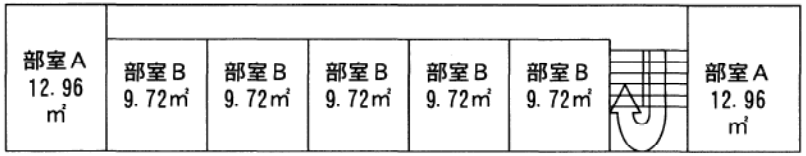
1階　151.20㎡



2階　100.80㎡



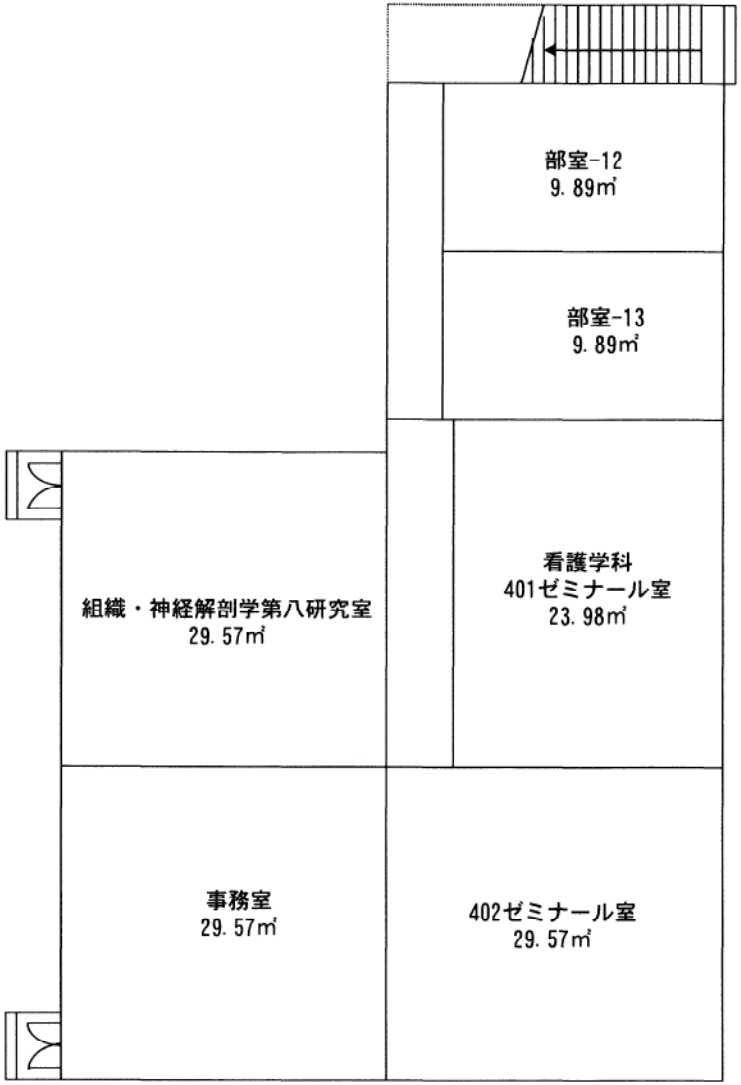
3階　100.80㎡



部室棟1階

305.50㎡

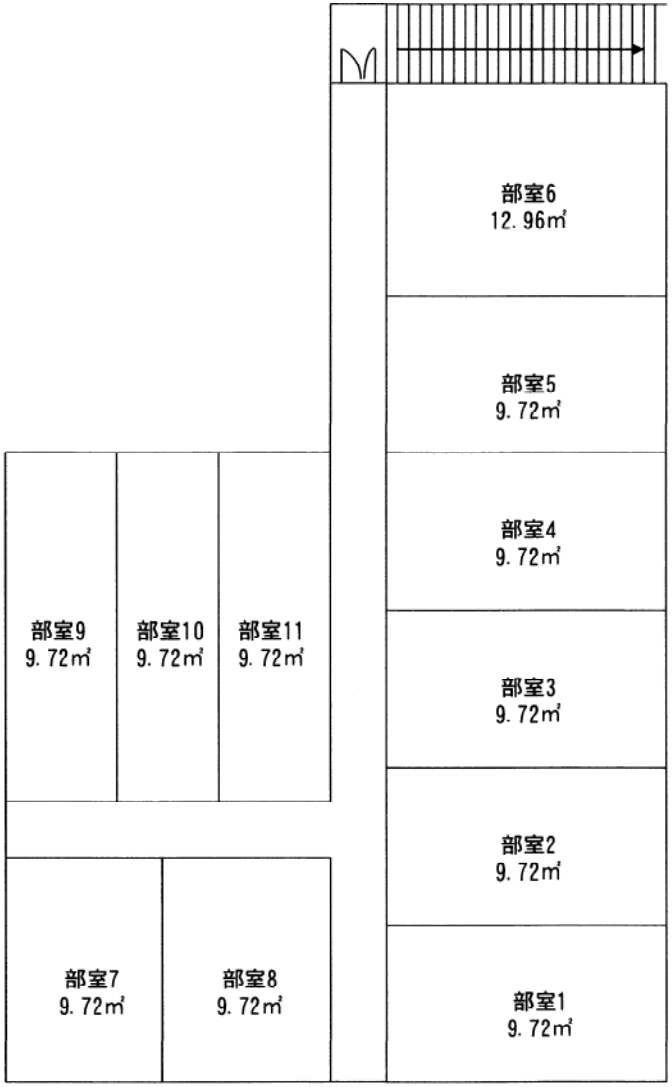
152.75㎡



22.68㎡

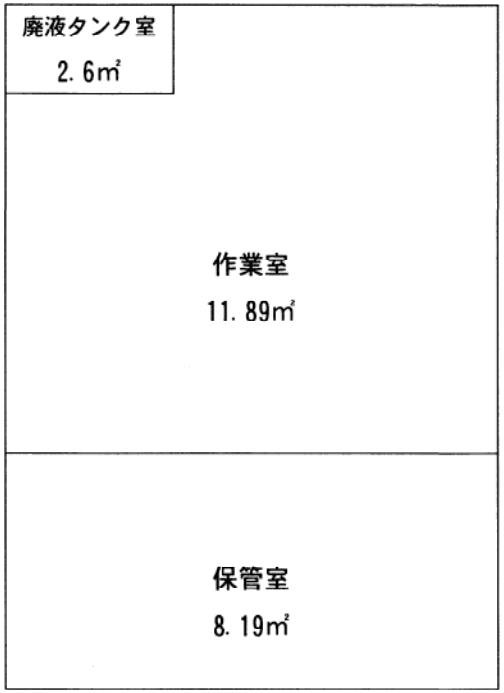
部室棟2階

152.75㎡



ＲＩ廃液処理棟

22.68㎡



18.14㎡

空調機械室

18.14㎡

空調機械室
18.14㎡

9.94㎡

危険物倉庫

9.94㎡

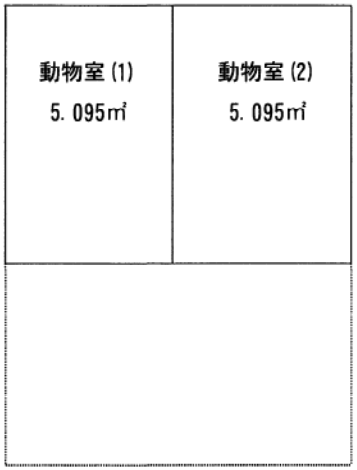
医療系
廃棄物保管庫
4.46㎡

危険物倉庫
5.48㎡

10.19㎡

動物舎

10.19㎡

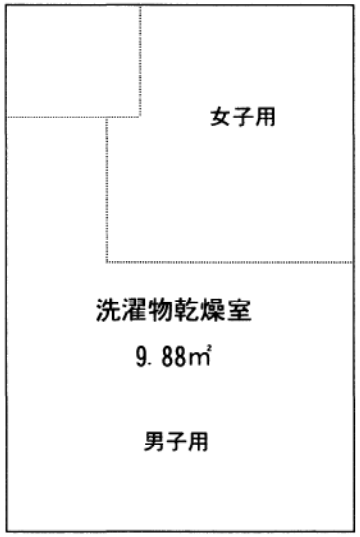


9.88㎡

洗濯物乾燥室

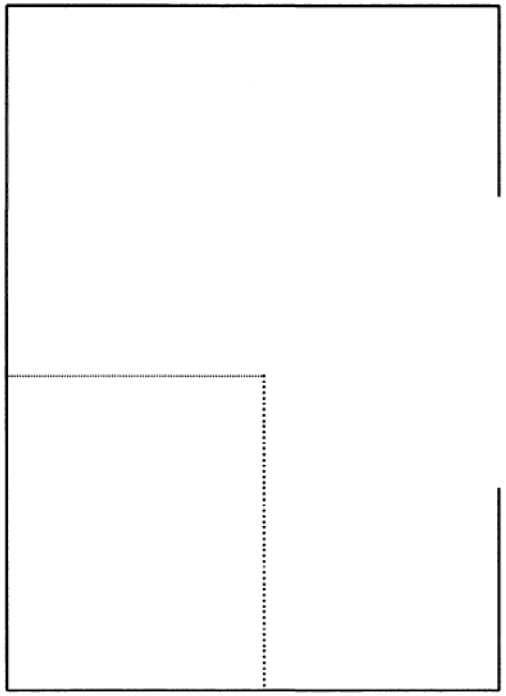
(旧記念会館ﾎﾞｲﾗｰ棟)

9.88㎡



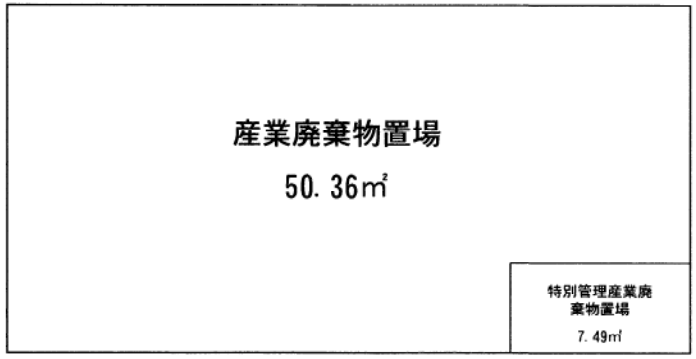
6.55㎡

便所
6.55㎡

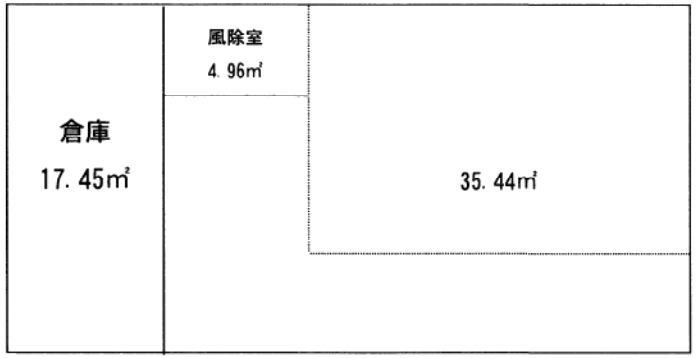


115.70㎡

廃棄物保管庫1階
57.85㎡



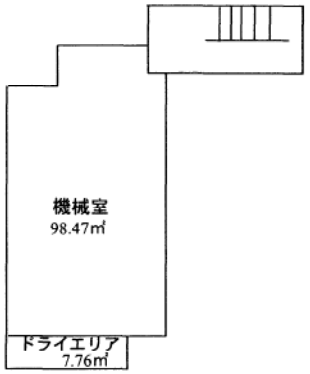
廃棄物保管庫2階
57.85㎡



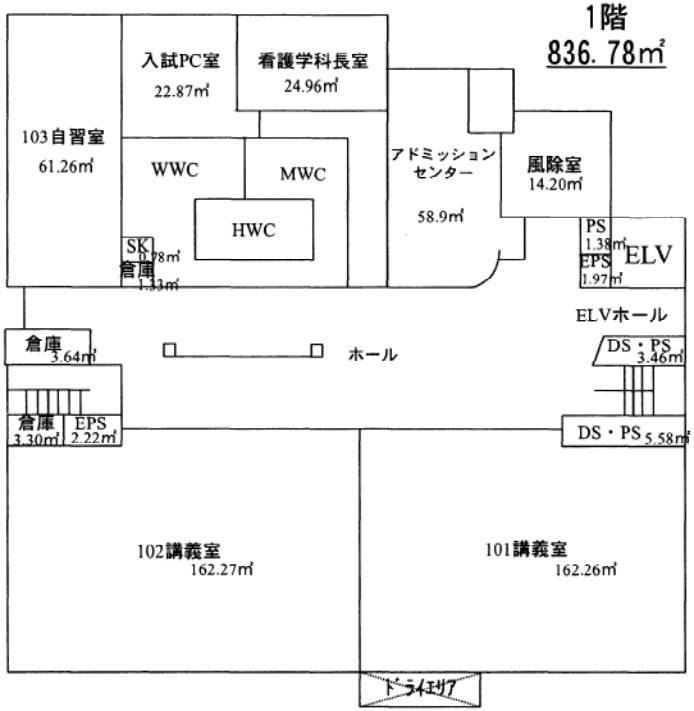
第一看護学科棟

3,896.18㎡

B1階
139.15㎡

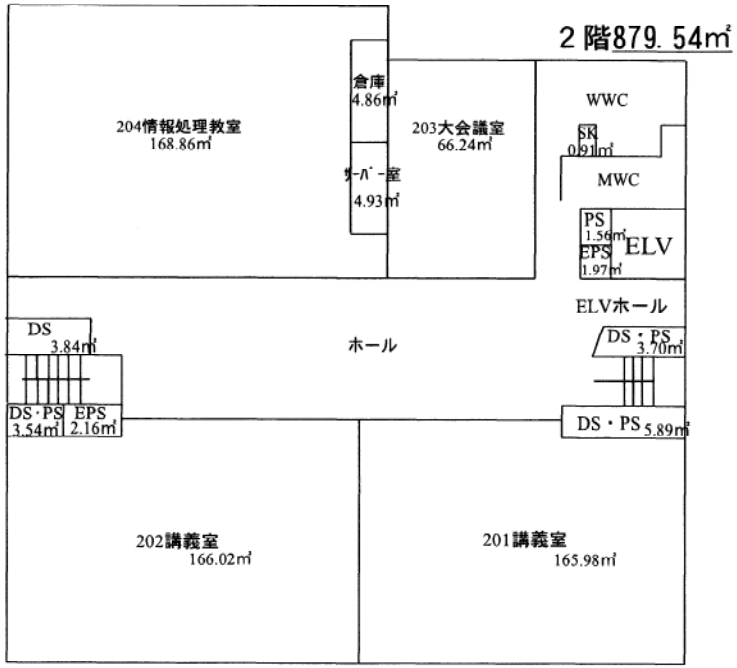


1階
836.78㎡

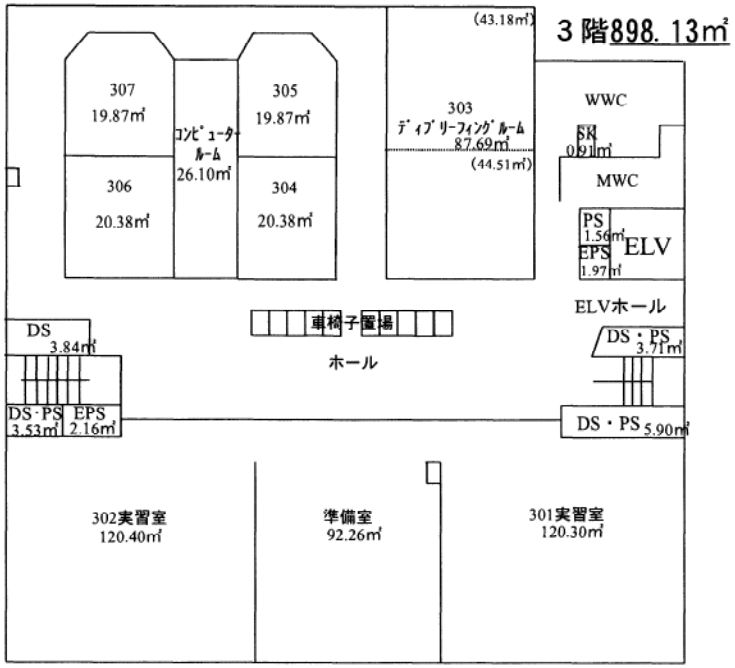


第一看護学科棟

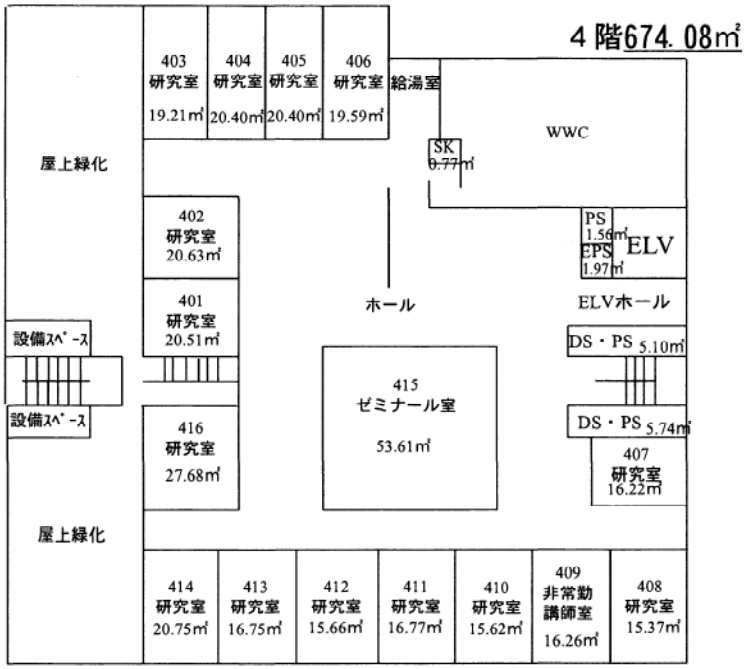
2階879.54㎡

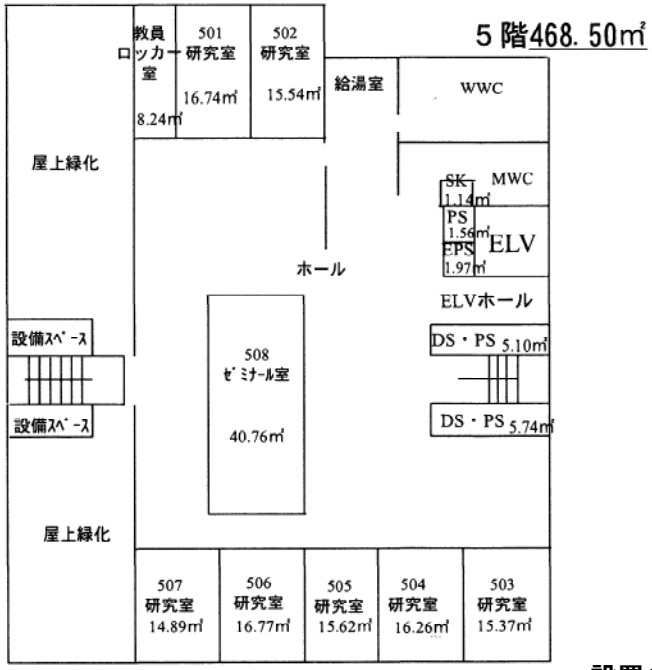


3階898.13㎡



第一看護学科棟





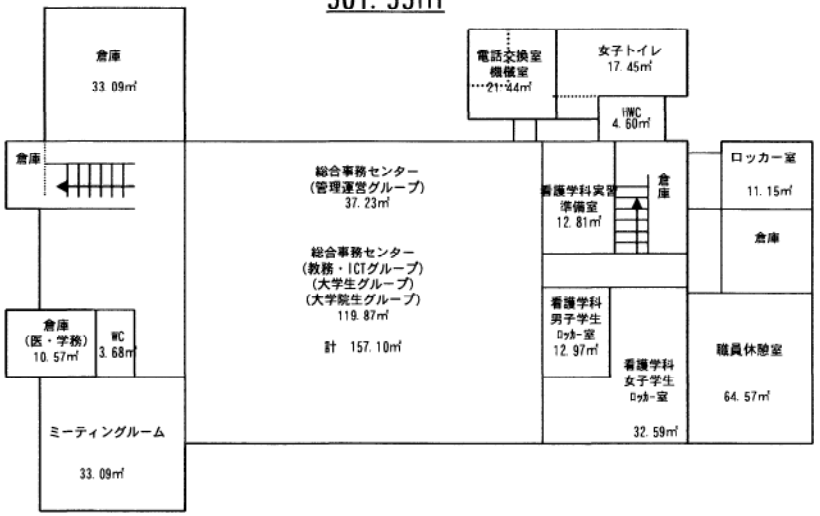
第二看護学科棟

1,301.61㎡

（旧本部棟）

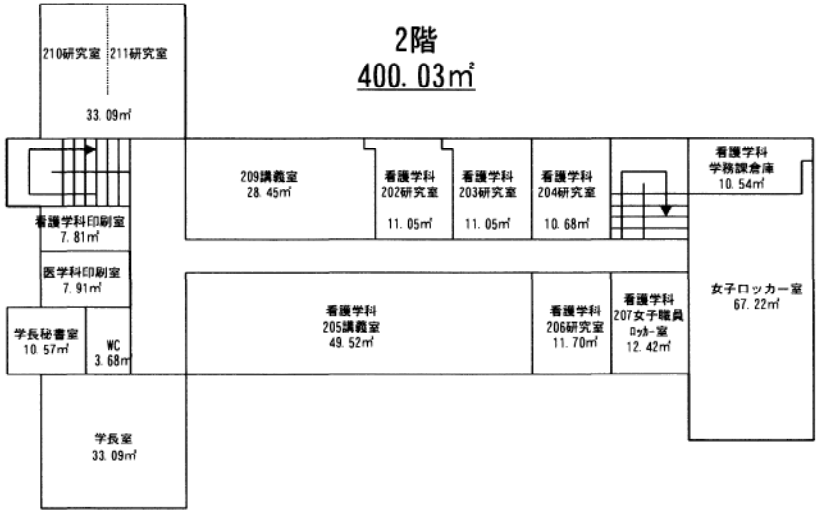
1階

501.55㎡



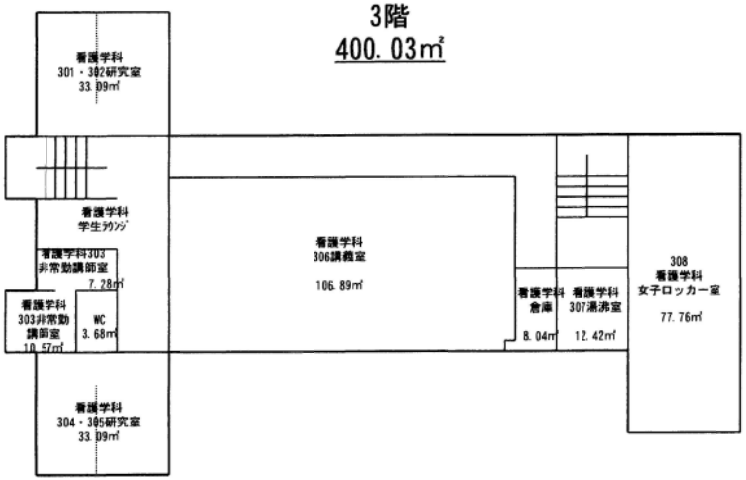
2階

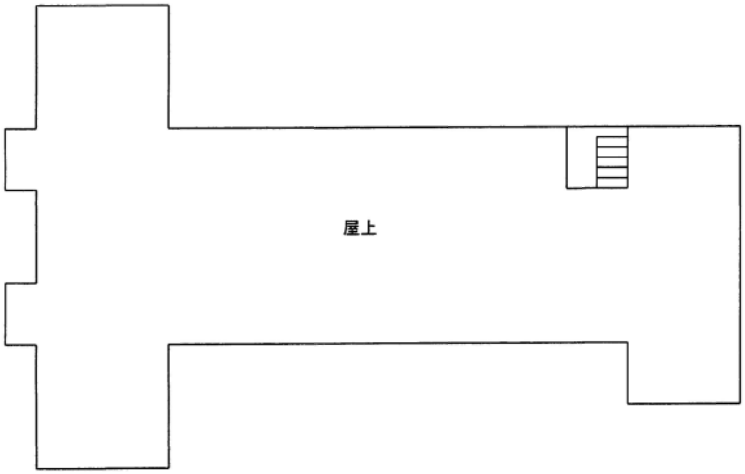
400.03㎡



第二看護学科棟
（旧本部棟）

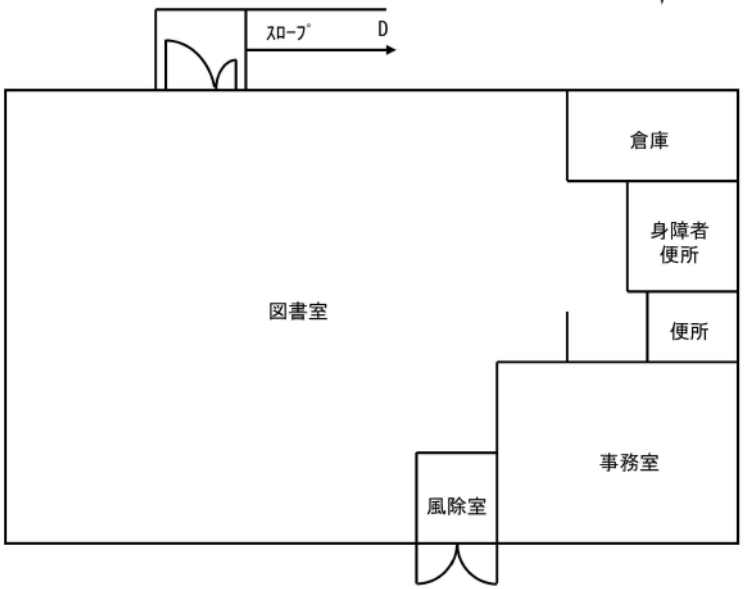
3階
400.03㎡



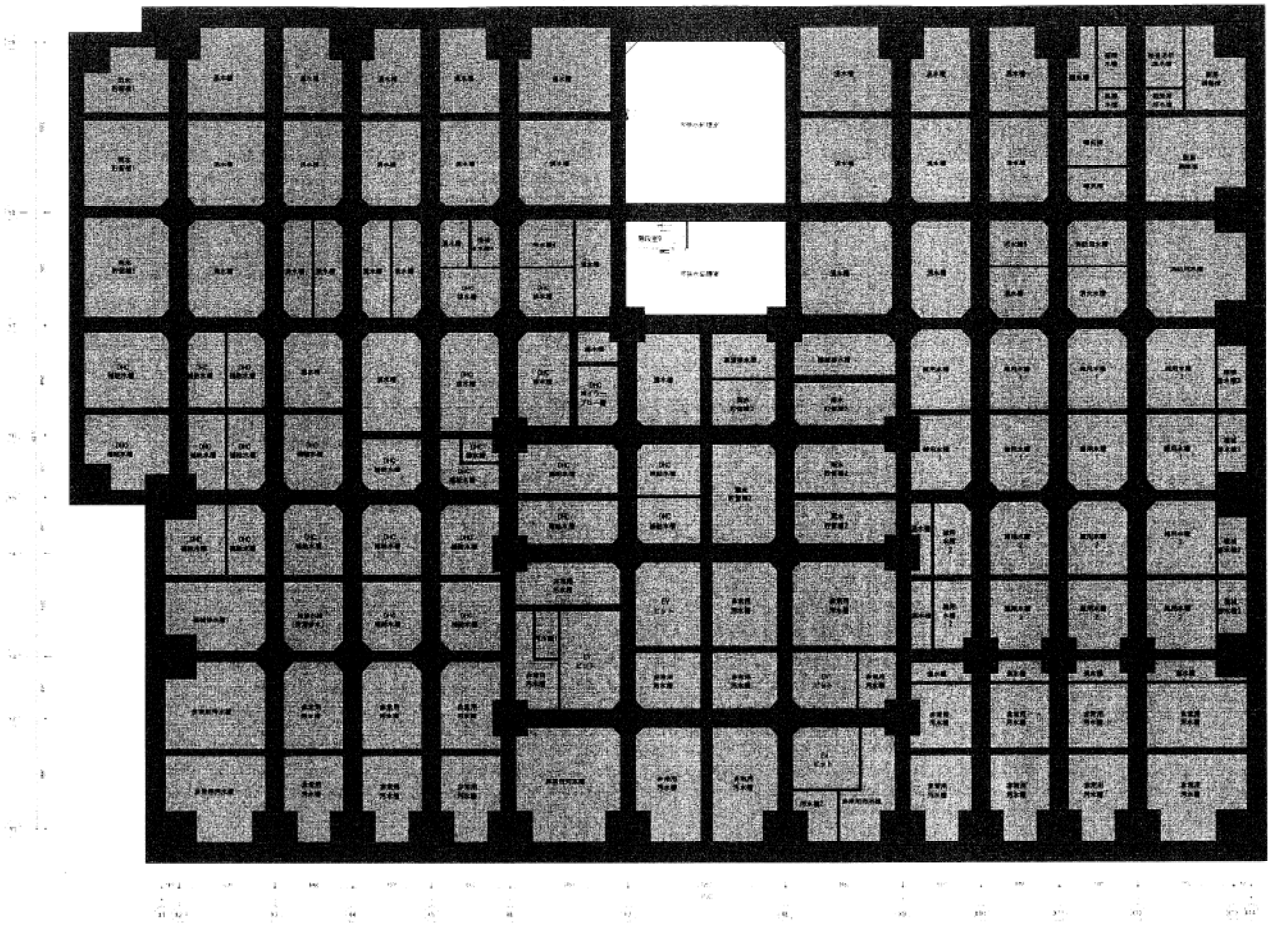


図書館　世田谷分館

131.36㎡

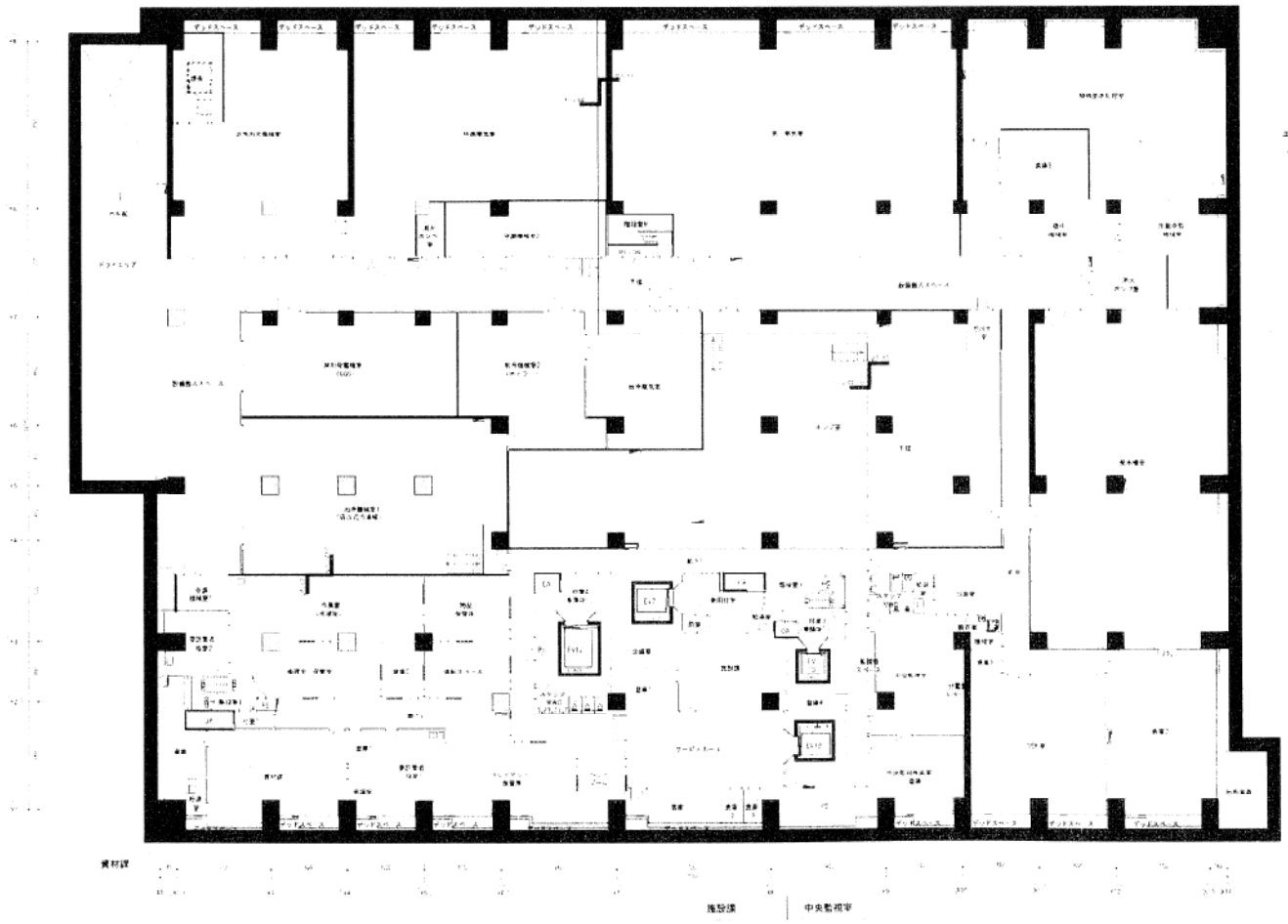


病院棟　地下3階　336.89㎡
建築基準法　336.89㎡



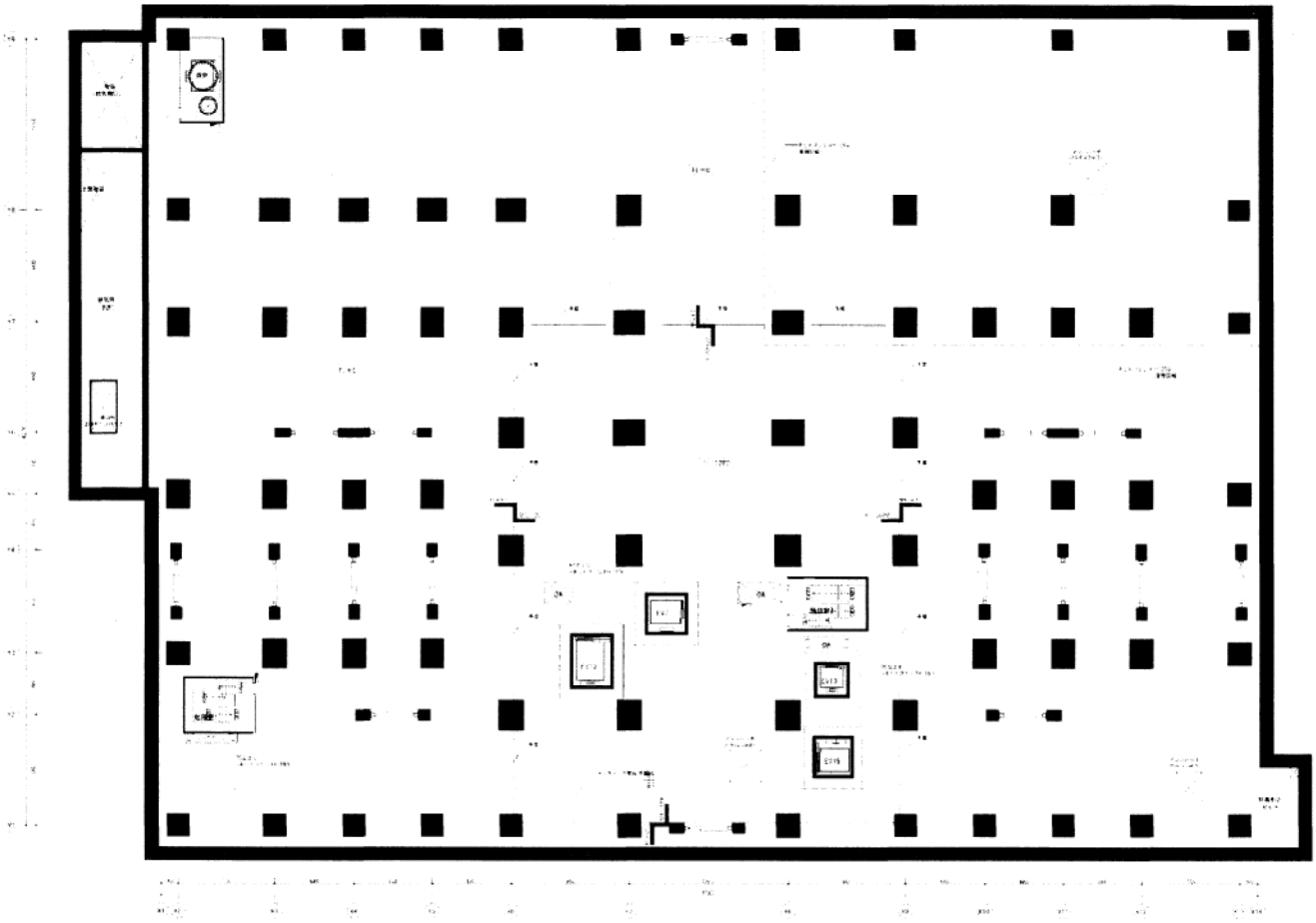
東京医科大学病院　地階　平面図　　S=1：300（A3版）　　2023.04.0*　　東京医科大学病院施設課

病院棟　地下2階　6,264.02㎡
建築基準法　6,191.45㎡



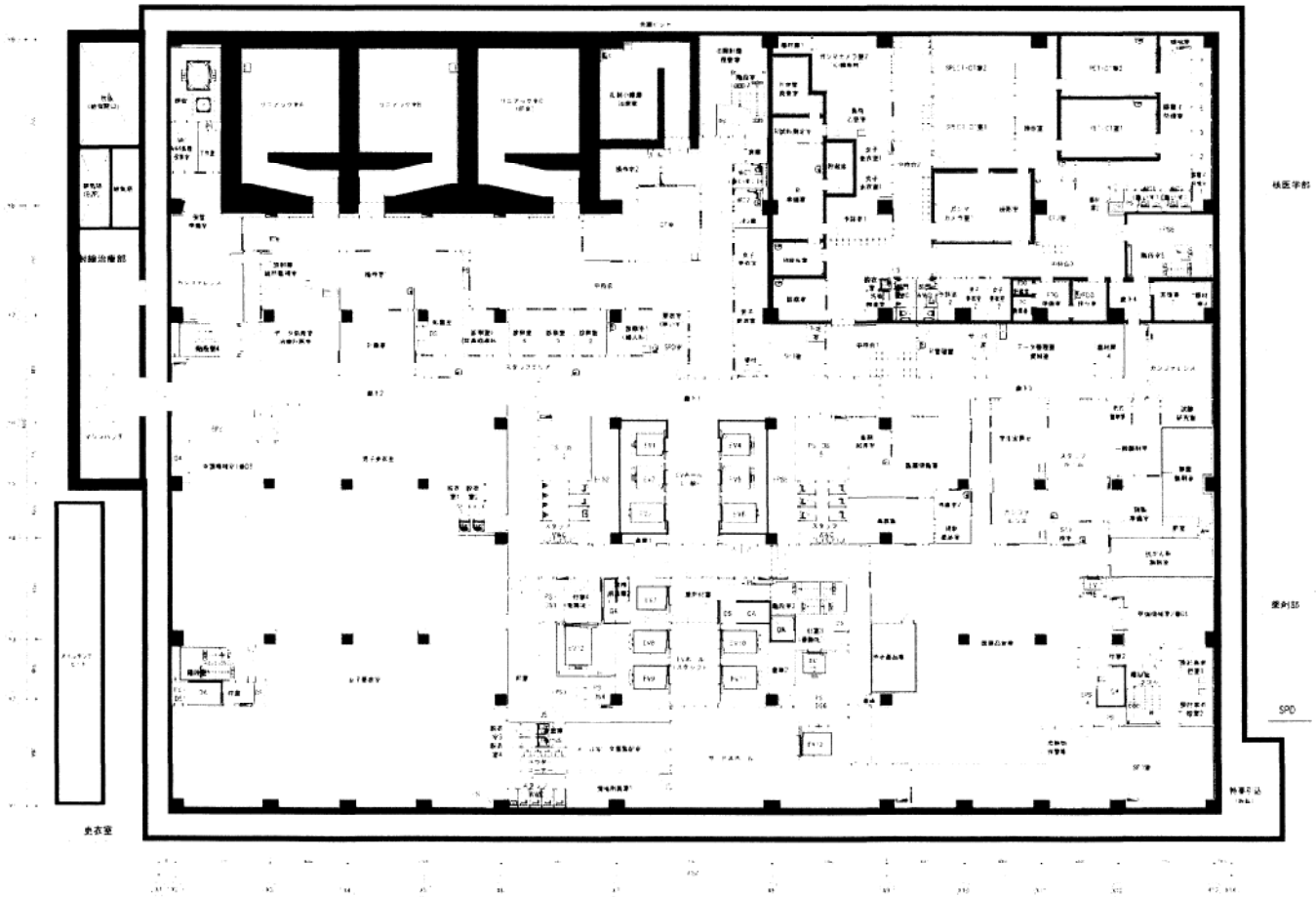
東京医科大学病院　地下2階　平面図　　S=1：300（A3版）　　2023.04.0*　　東京医科大学病院施設課

病院棟　免震階　－㎡
建築基準法　－㎡

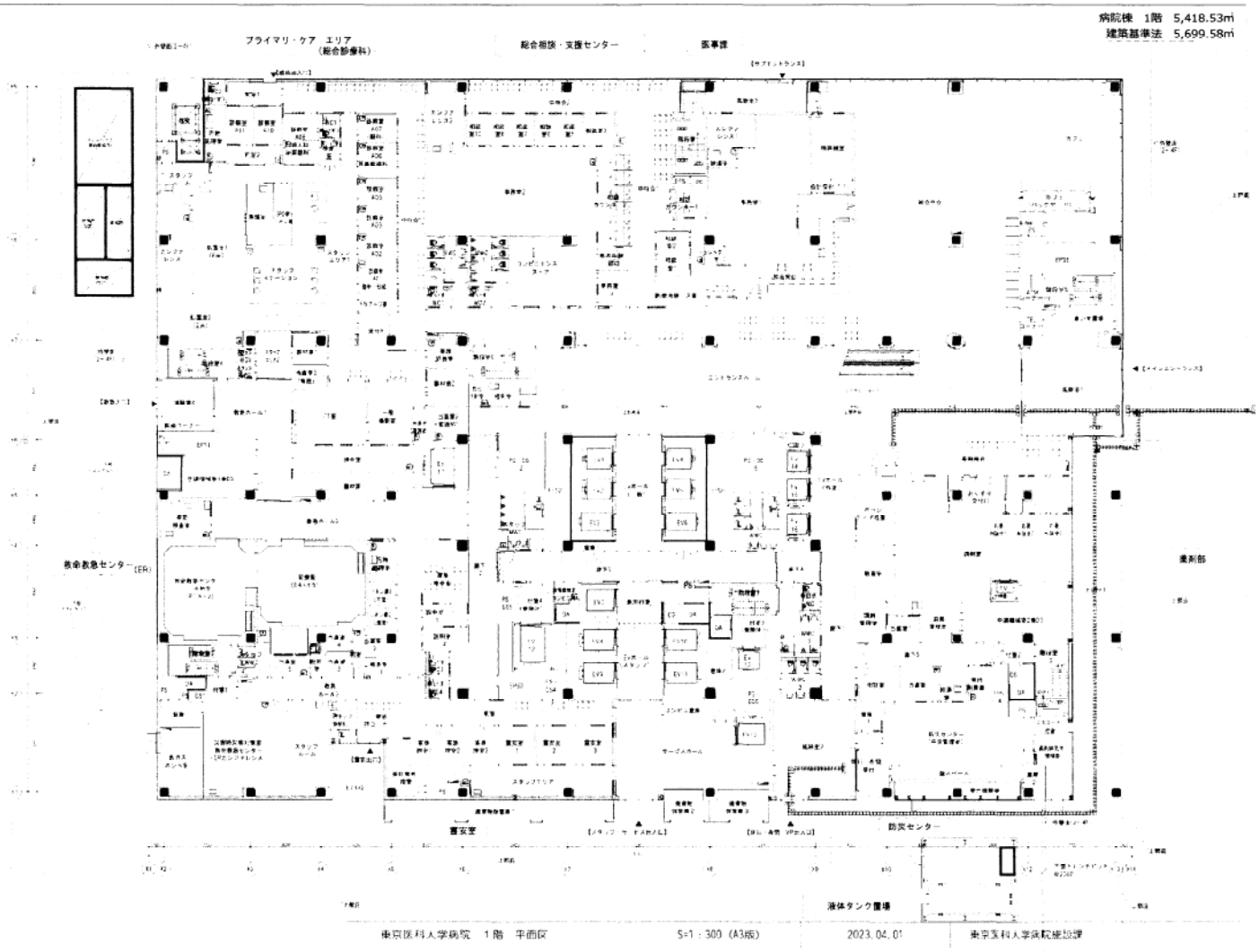


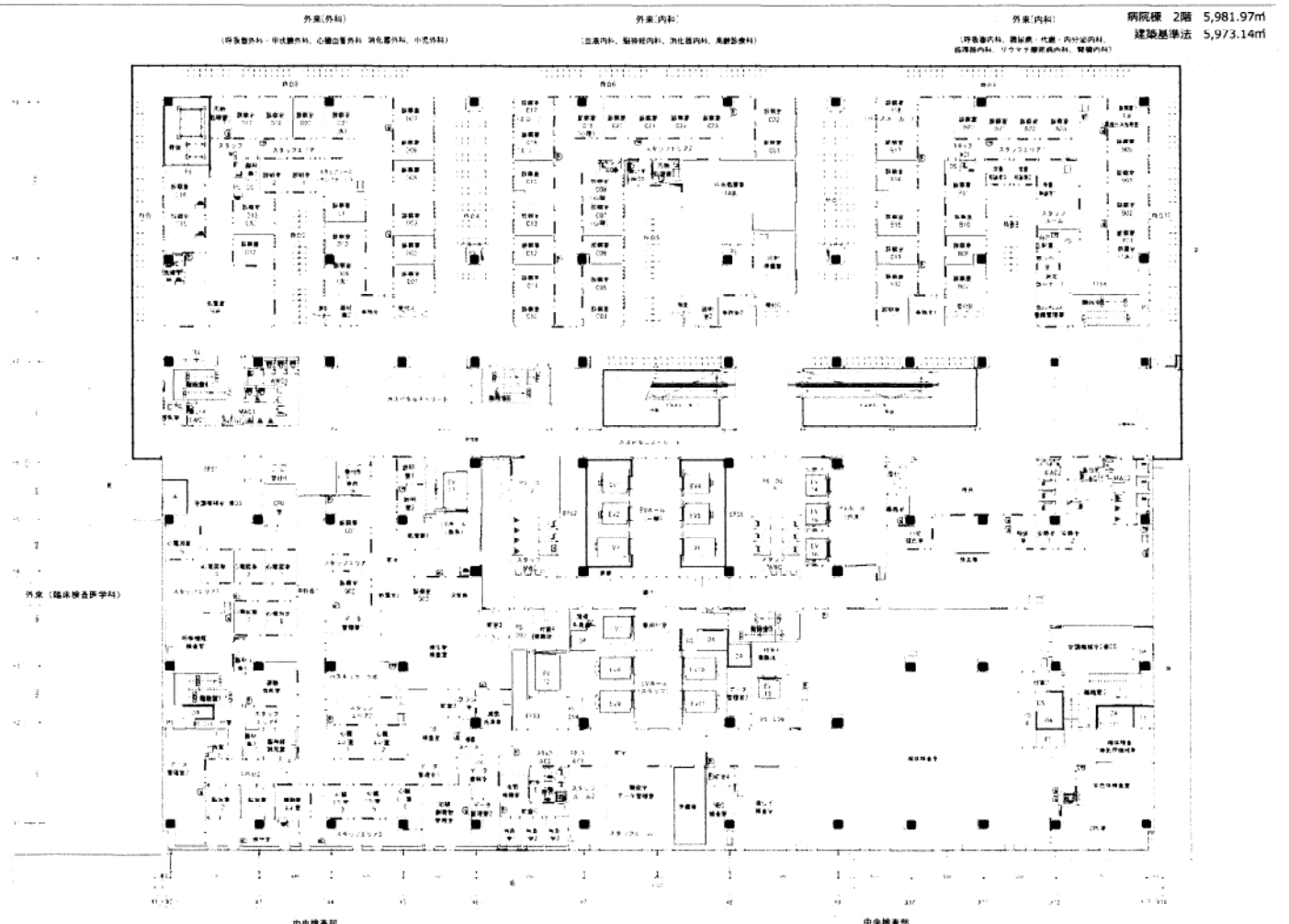
東京医科大学病院　免震層　平面図　S=1：300（A3版）　2023.04.01　東京医科大学病院建設課

病院棟　地下1階　5,599.21㎡
建築基準法　5,587.90㎡

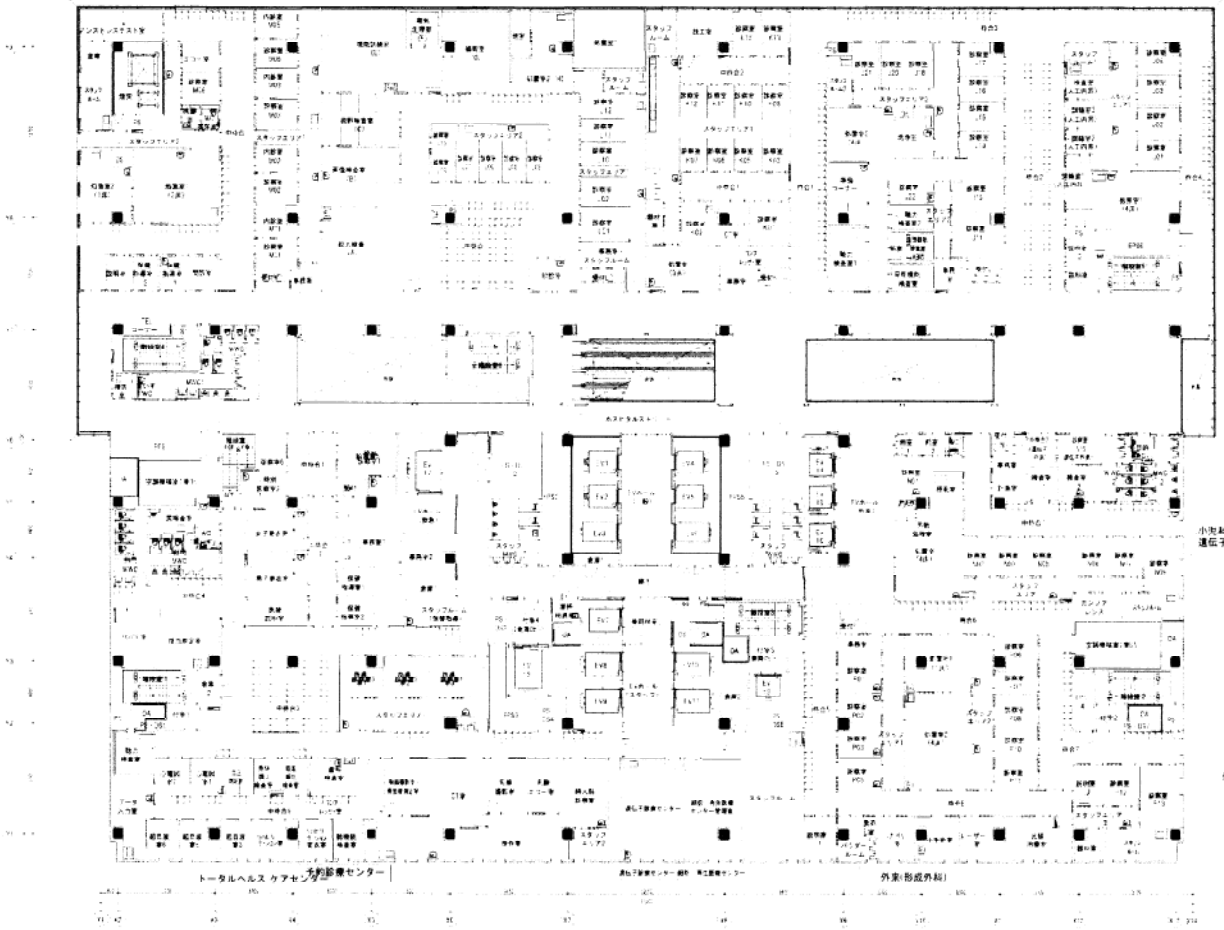


東京医科大学病院　地下1階　平面図　S=1：300（A3版）　2023.04.01　東京医科大学病院建設課


病院棟　1階　5,418.53㎡
建築基準法　5,699.58㎡
プライマリ・ケア　エリア
（総合診療科）
総合相談・支援センター
医事課
【サブエントランス】
【メインエントランス】
救急救急センター（ER）
薬剤部
警衛室
防災センター
【スタッフ・ドクターエントランス】
【救急入口】
液体タンク置場
東京医科大学病院　1階　平面図
S=1：300（A3版）
2023.04.01
東京医科大学病院施設課

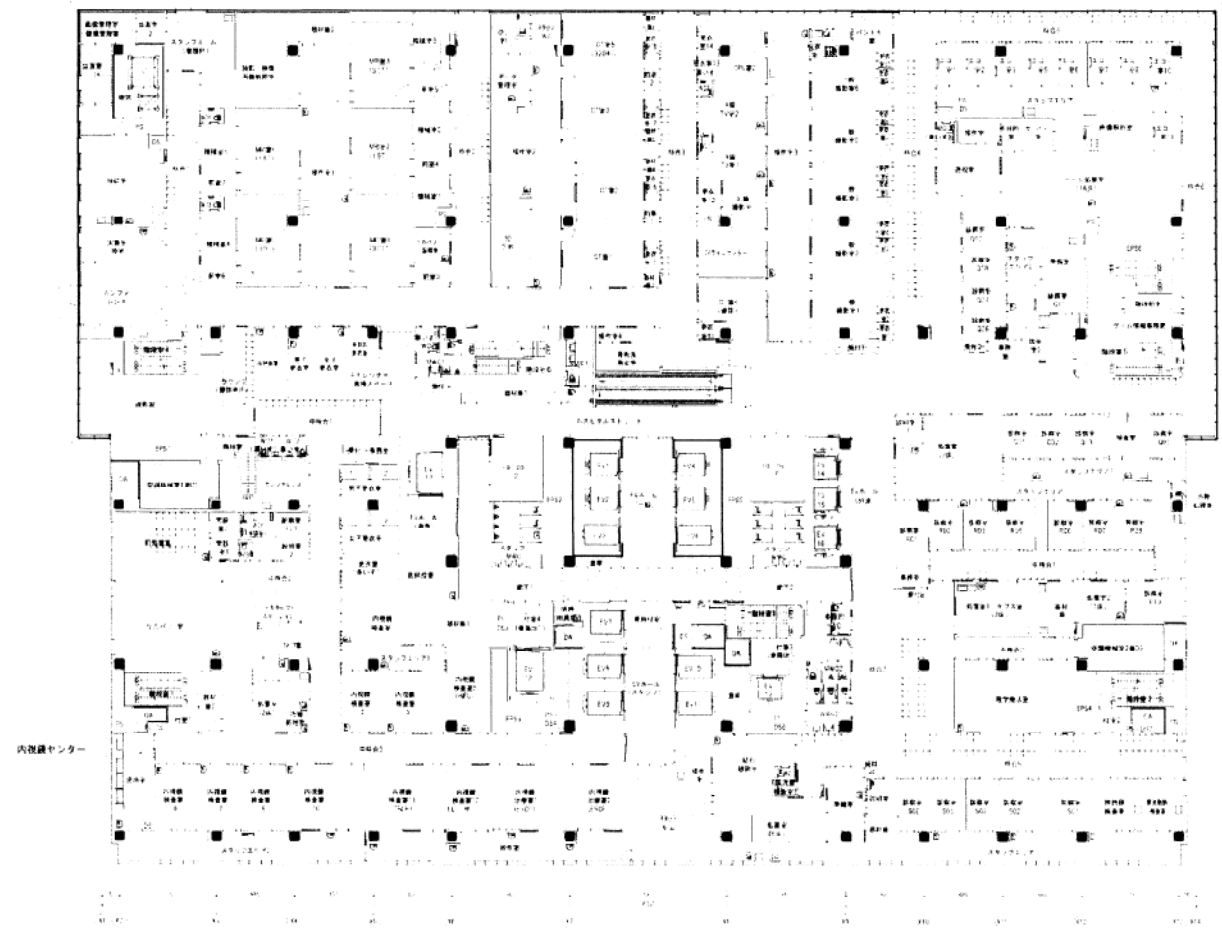

病院棟　2階　5,981.97㎡
建築基準法　5,973.14㎡
外来(外科)
（呼吸器外科・甲状腺外科、心臓血管外科 消化器外科、小児外科）
外来(内科)
（血液内科、脳神経内科、消化器内科、免疫診療科）
外来(内科)
（呼吸器内科、膠原病、代謝・内分泌内科、
循環器内科、リウマチ膠原病内科、腎臓内科）
外来（臨床検査医学科）
中央検査部
（生理機能検査、バスキュラーラボ）
中央検査部
（採血室・検体検査）
東京医科大学病院　2階　平面図
S=1：300（A3版）
2023.04.01
東京医科大学病院施設課

病院棟　3階　5,886.31㎡
建築基準法　5,877.48㎡



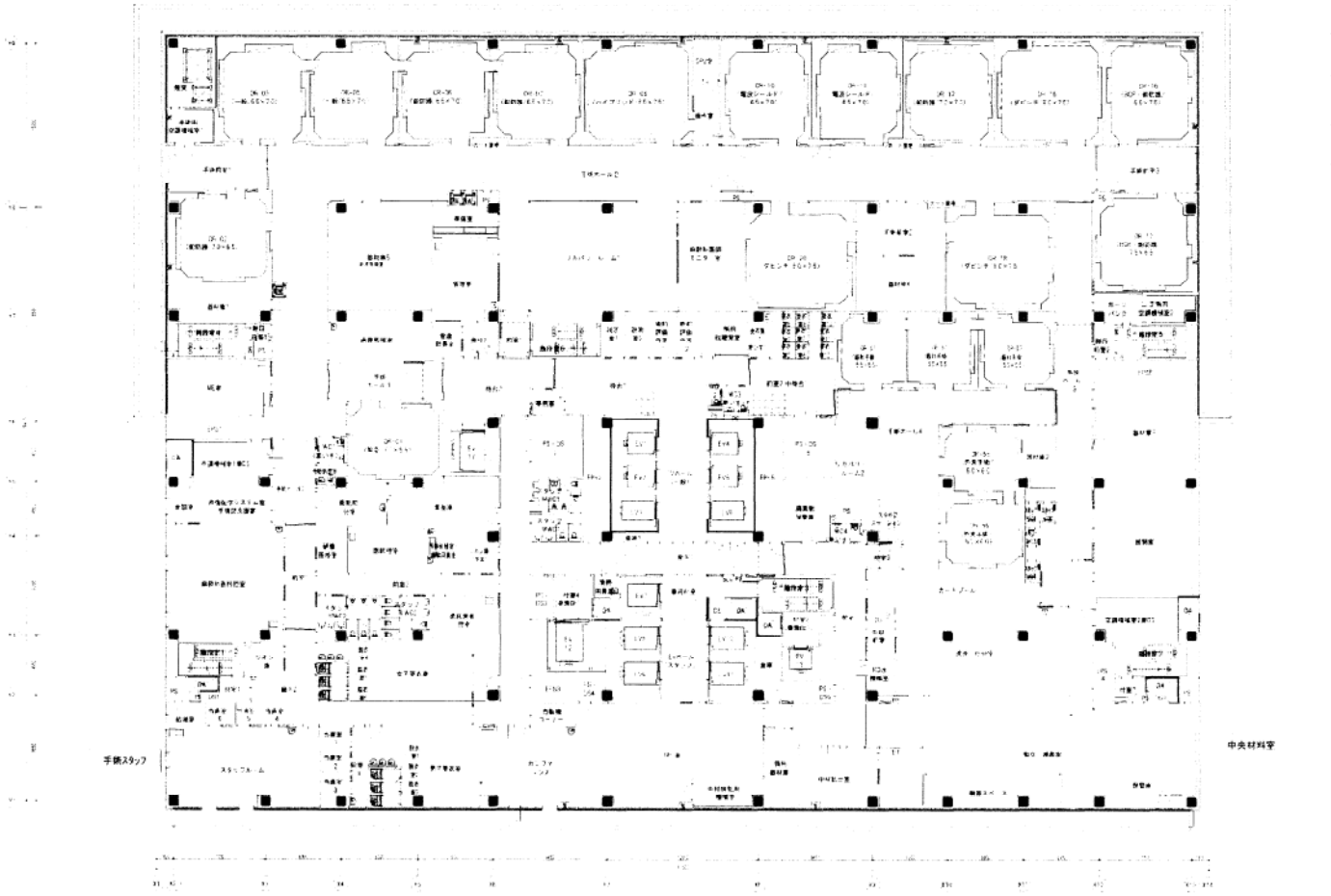
東京医科大学病院　3階　平面図　S=1：300（A3版）　2022.07.0*　東京医科大学病院施設課

病院棟　4階　6,073.32㎡
建築基準法　6,064.49㎡



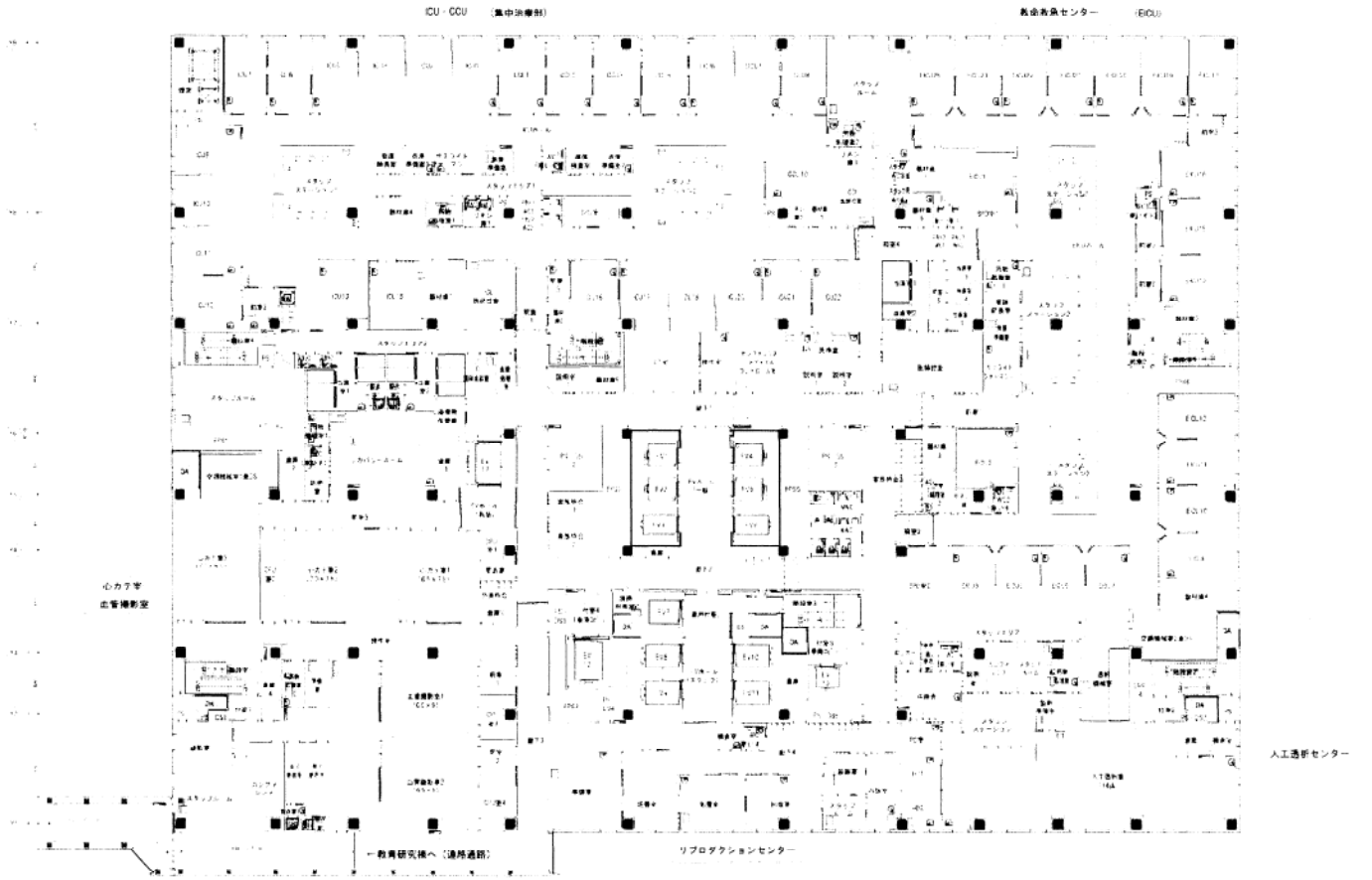
東京医科大学病院　4階　平面図　S=1：300（A3版）　2022.07.0*　東京医科大学病院施設課

病院棟　5階　5,538.40㎡
建築基準法　5,529.57㎡

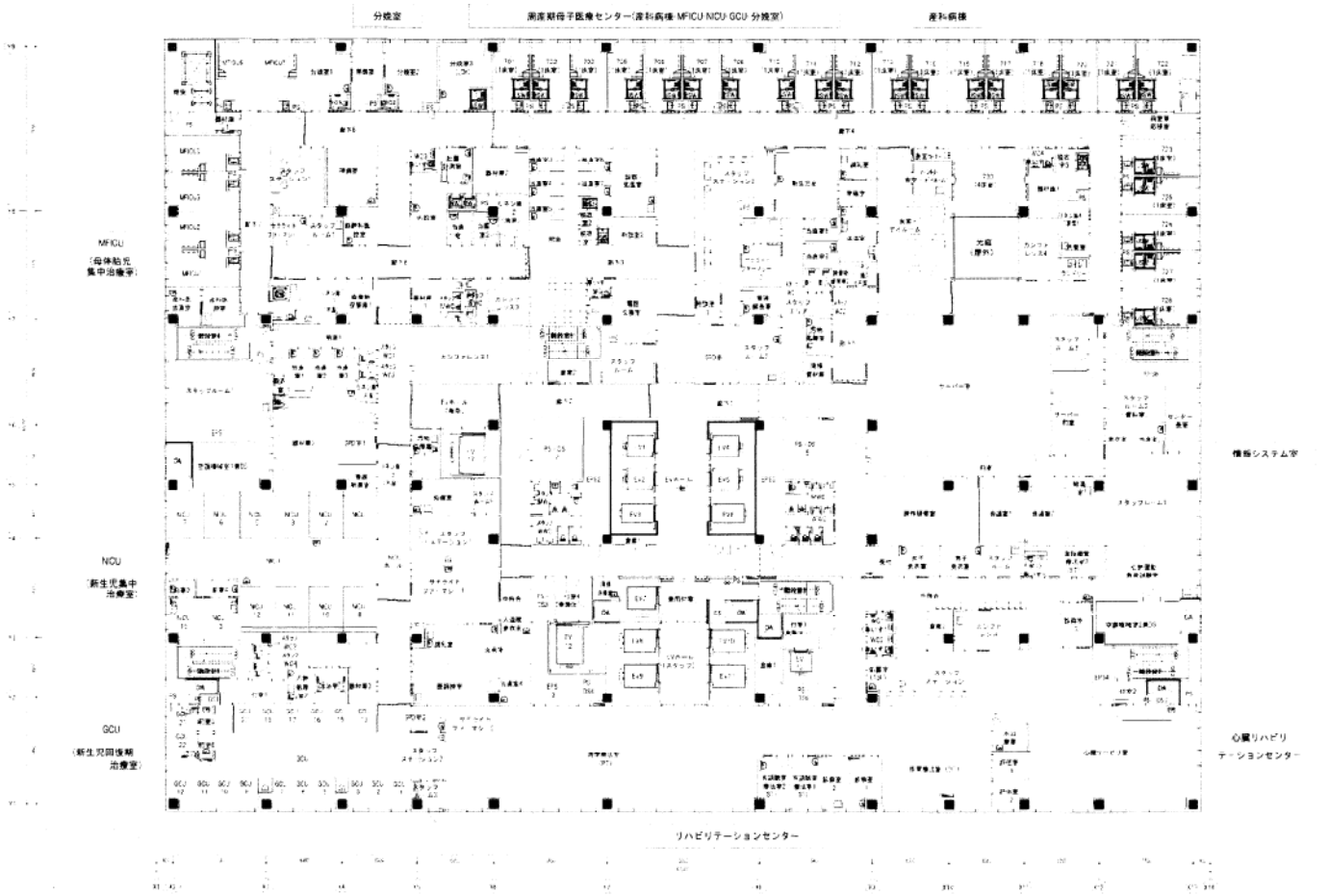


東京医科大学病院　5階　平面図　　S=1：300（A3版）　　2022.07.01　　東京医科大学病院施設課

病院棟　6階　5,648.39㎡
建築基準法　5,698.88㎡

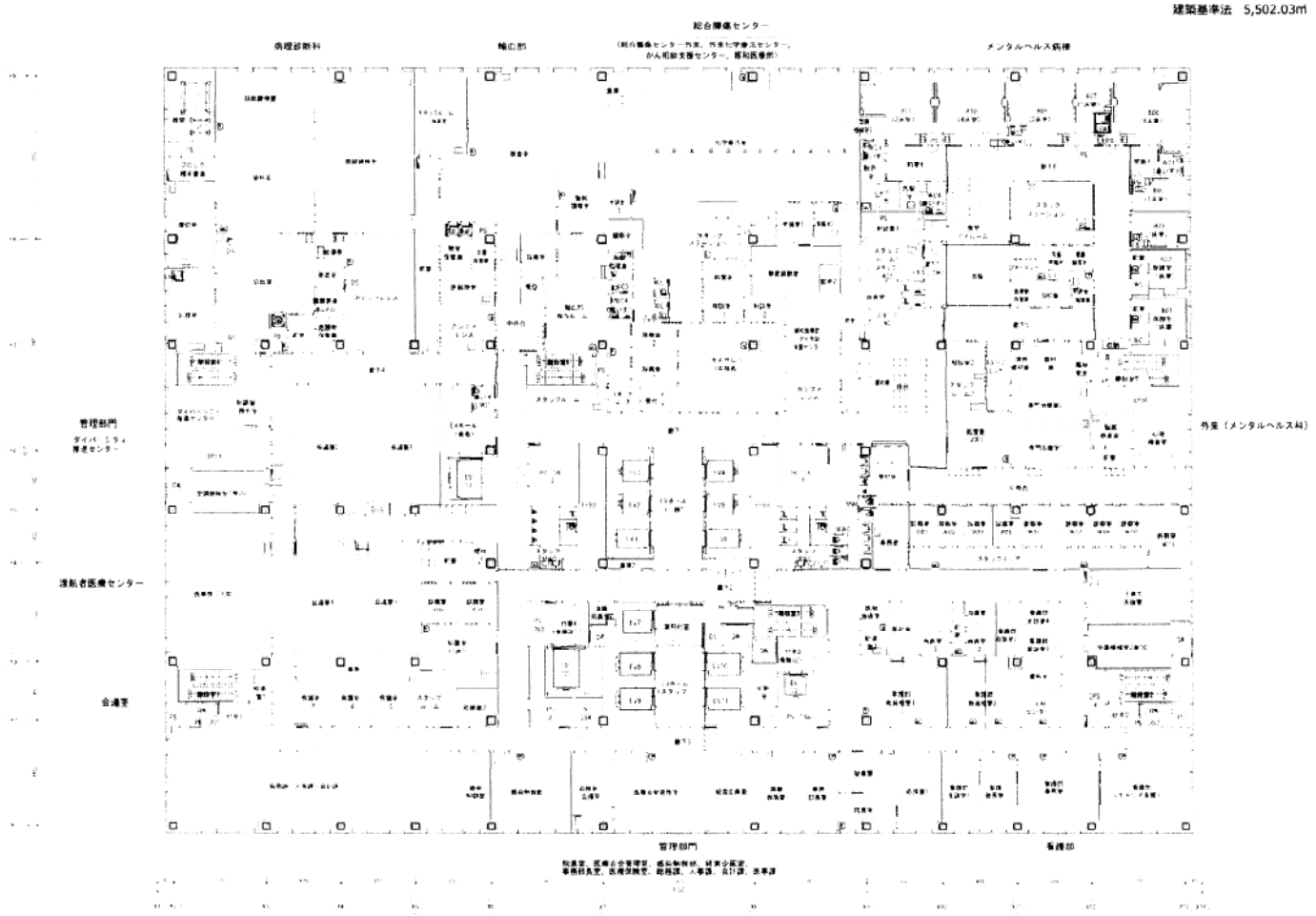


病院棟　7階　5,510.86㎡
建築基準法　5,502.03㎡

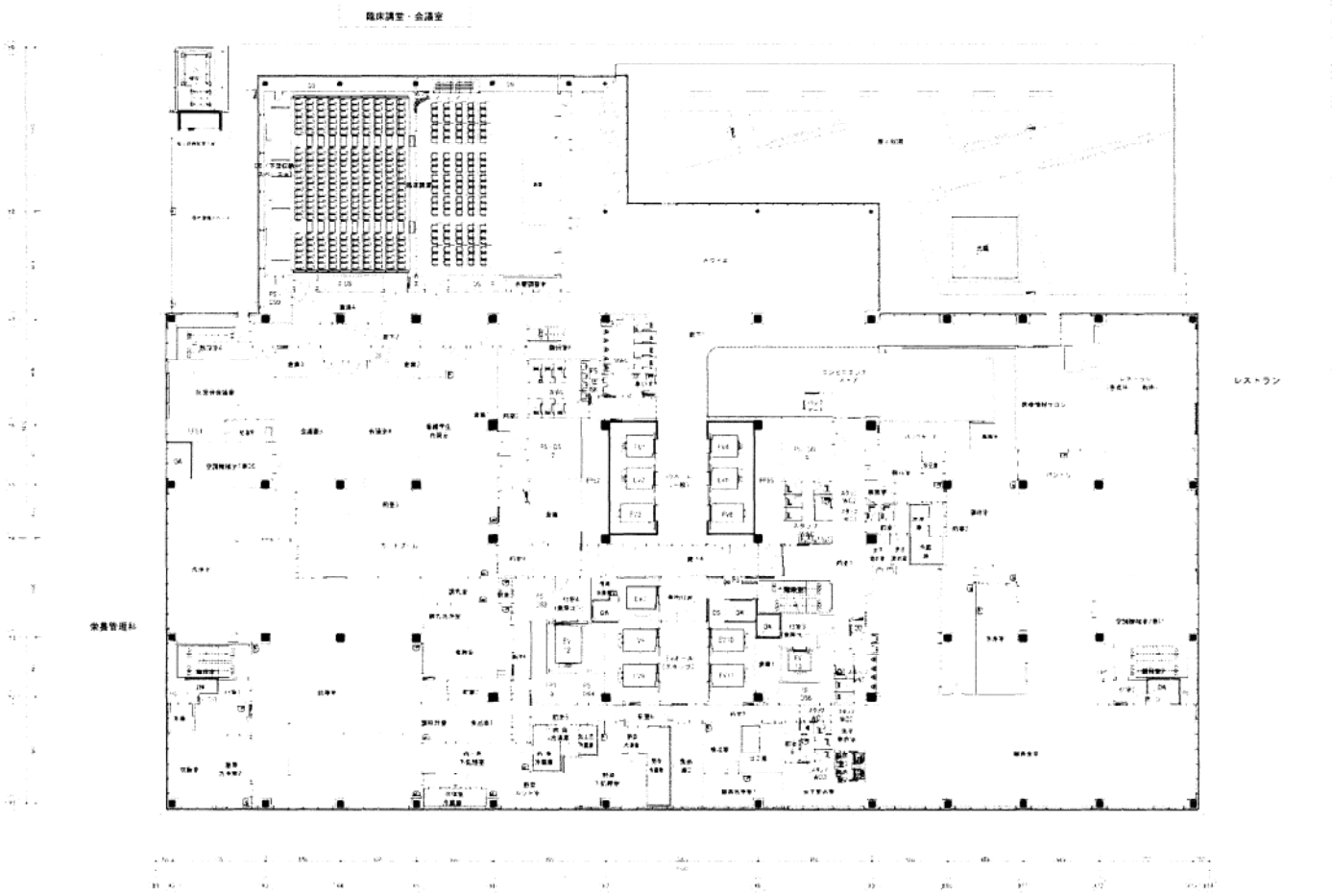


東京医科大学病院　7階　平面図　S=1：300（A3版）　2023.04.01　東京医科大学病院施設課

病院棟　8階　5,510.86㎡
建築基準法　5,502.03㎡

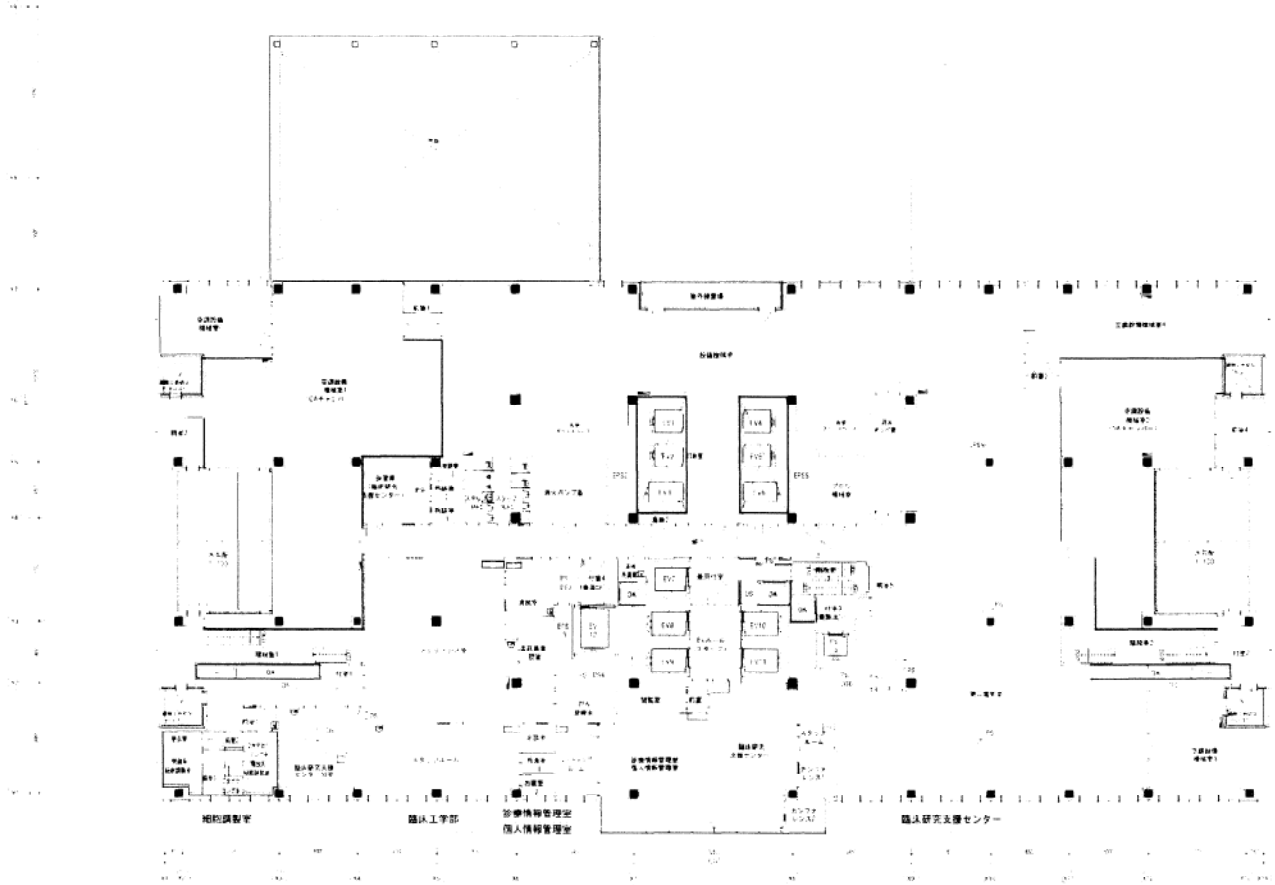


病院棟　9階　4,339.98㎡
建築基準法　4,339.98㎡



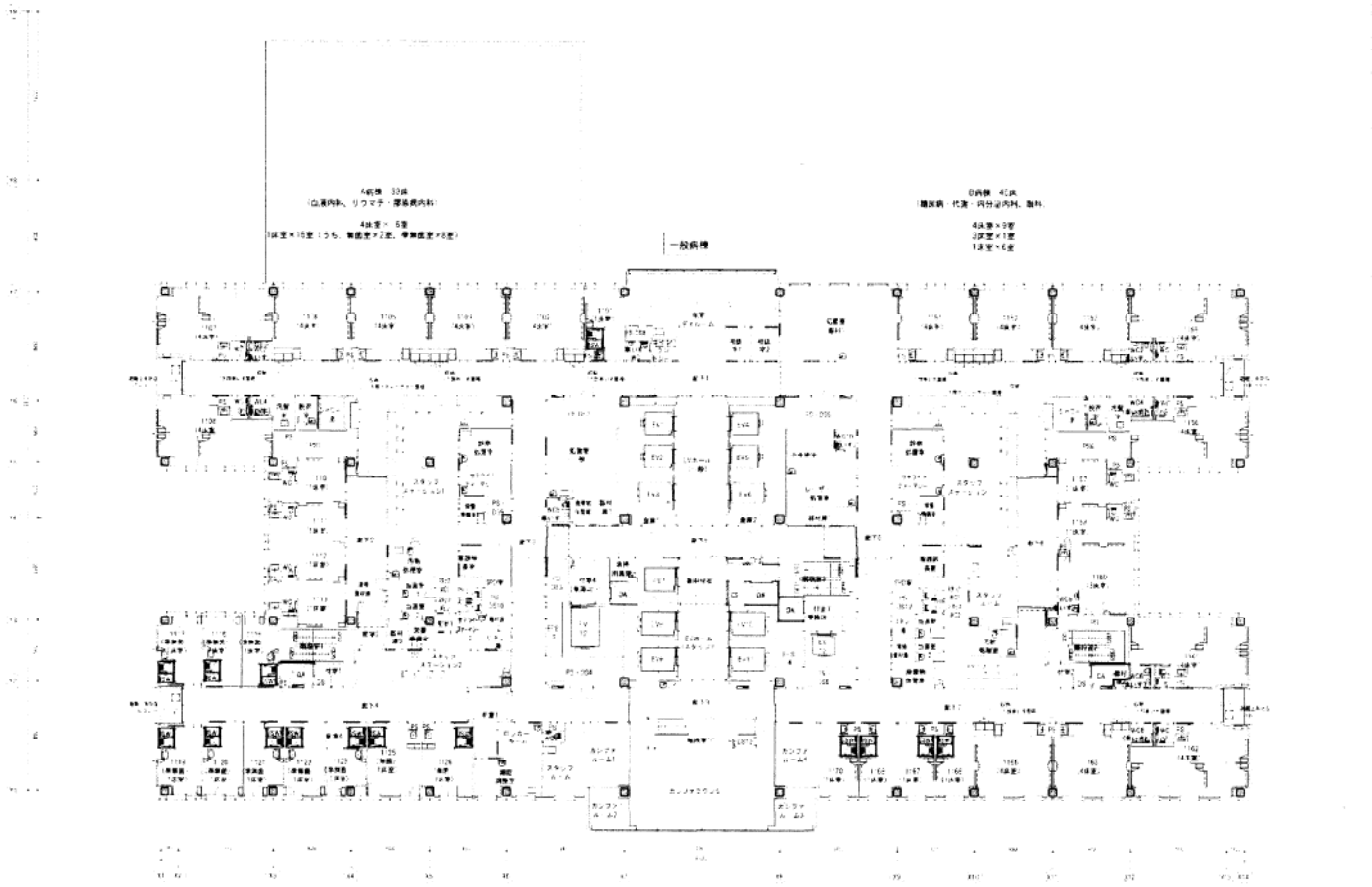
東京医科大学病院　9階　平面図　S=1：300（A3版）　2023.04.01　東京医科大学病院施設課

病院棟　10階　3,396.62㎡
建築基準法　3,508.95㎡



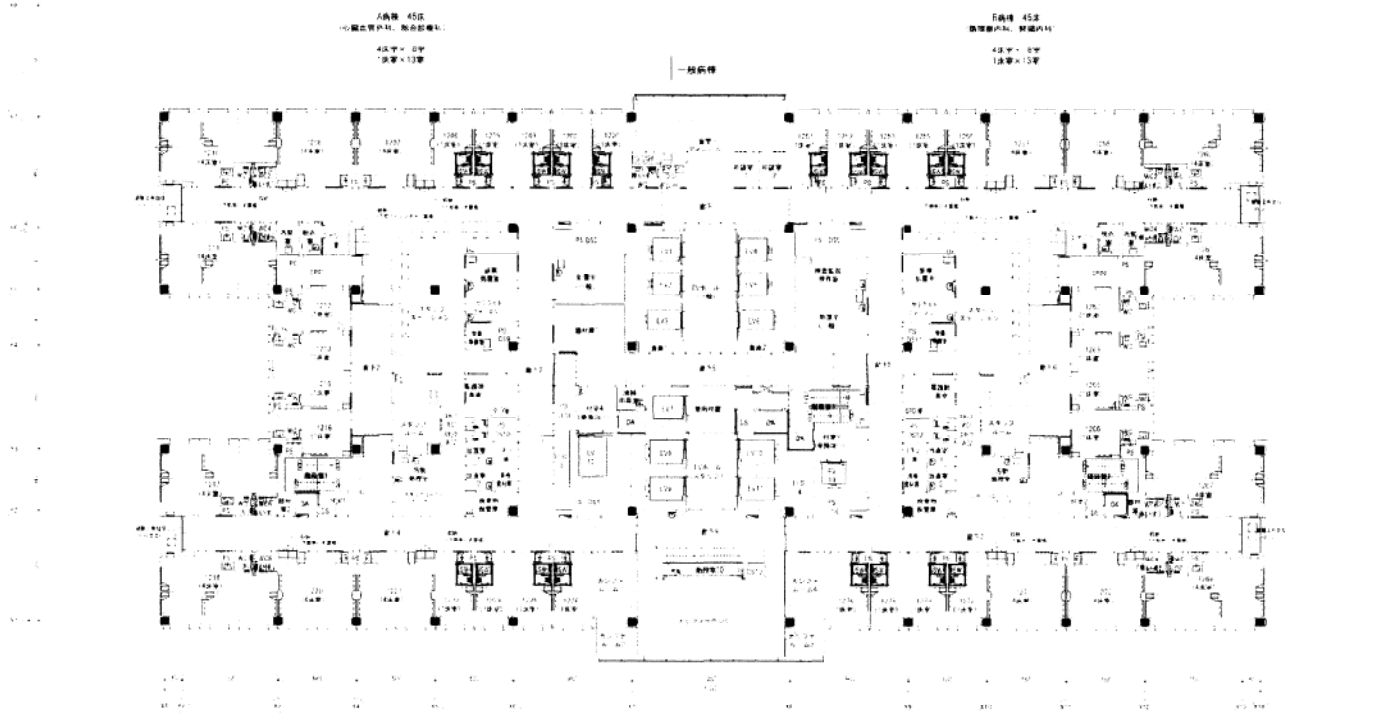
東京医科大学病院　10階　平面図　S=1：300（A3版）　2023.04.01　東京医科大学病院施設課

病院棟　11階　3,523.25㎡
建築基準法　3,523.25㎡



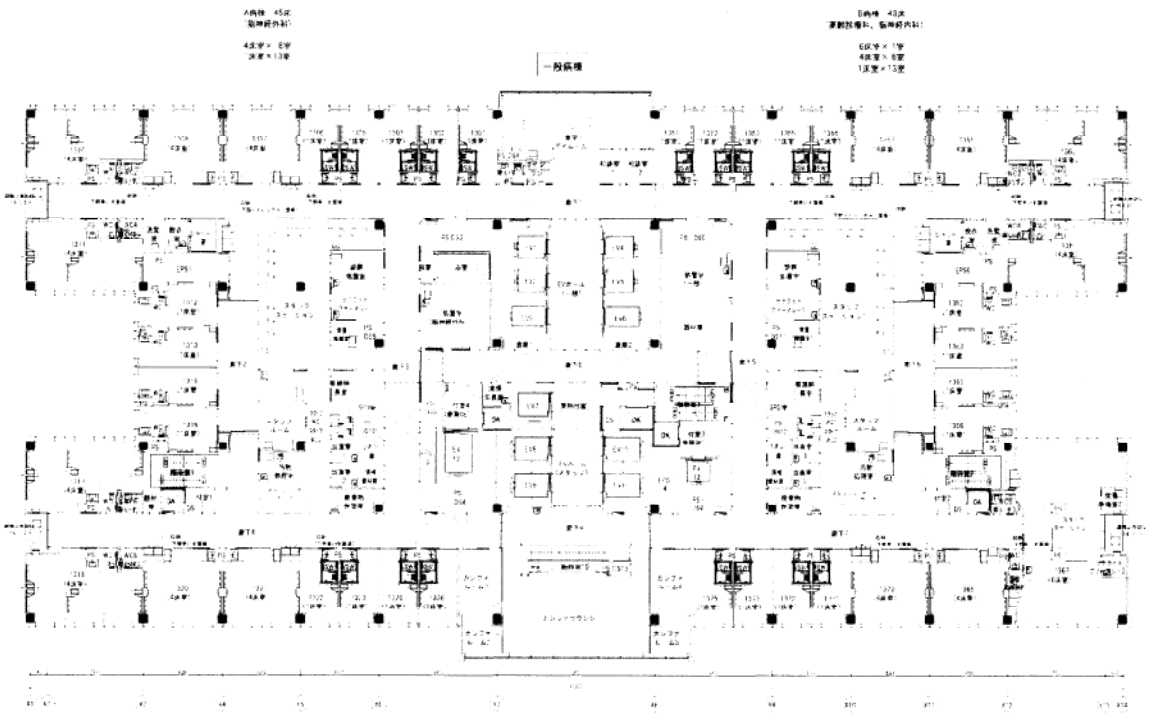
東京医科大学病院　11階　平面図　S=1：300（A3版）　2023.04.01　東京医科大学病院施設課

病院棟　12階　3,513.03㎡
建築基準法　3,526.25㎡



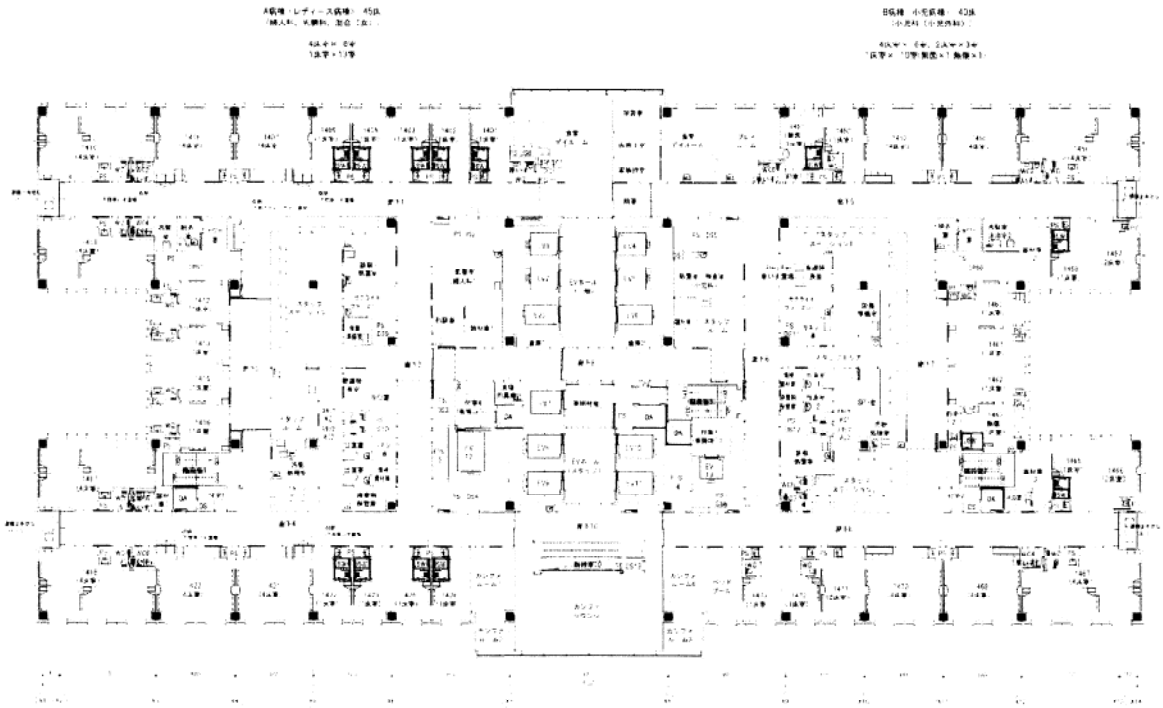
東京医科大学病院　12階　平面図　S=1：300（A3版）　2023.04.01　東京医科大学病院施設課

病院棟　13階　3,513.03㎡
建築基準法　3,526.25㎡



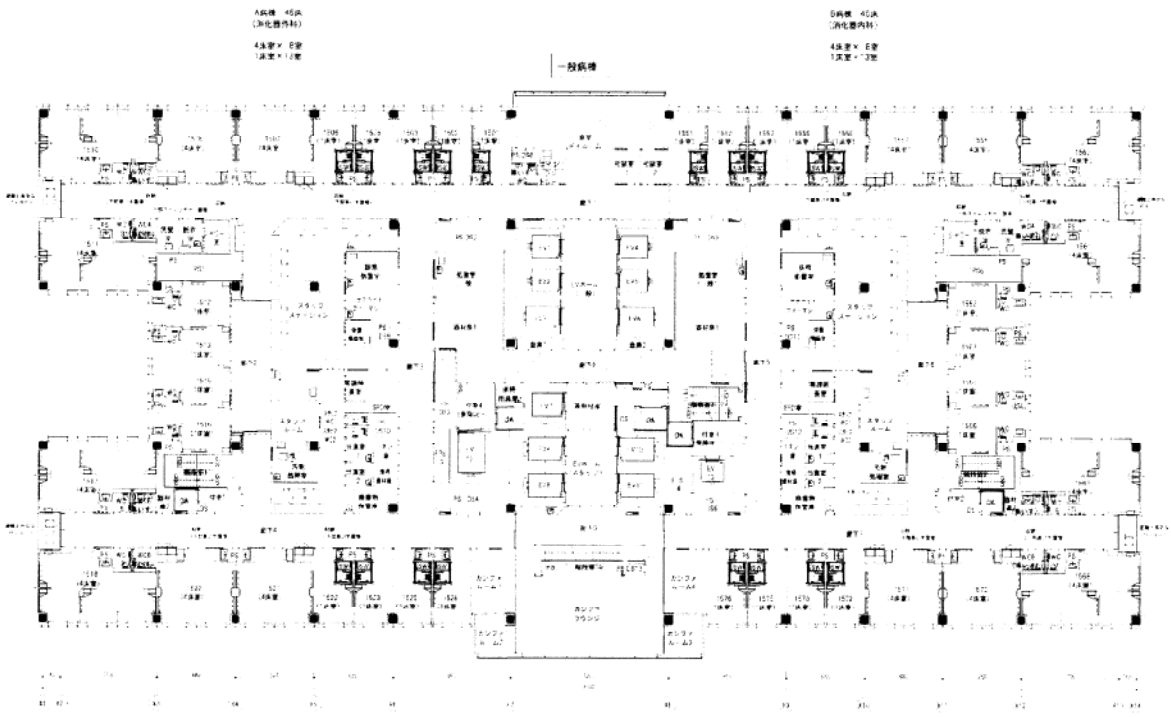
東京医科大学病院　13階　平面図　S=1：300（A3版）　2023.04.01　東京医科大学病院施設課

病院棟　14階　3,517.31㎡
建築基準法　3,526.25㎡



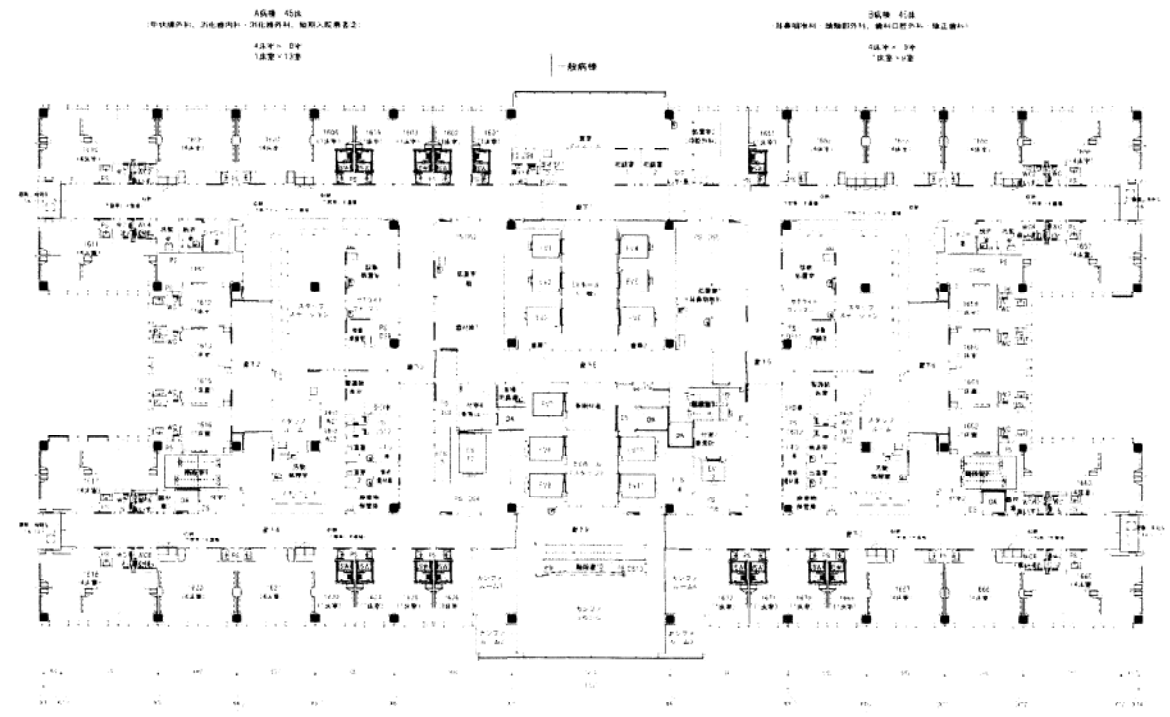
東京医科大学病院　14階　平面図　S=1：300（A3版）　2023.04.01　東京医科大学病院施設課

病院棟　15階　3,513.03㎡
建築基準法　3,526.25㎡



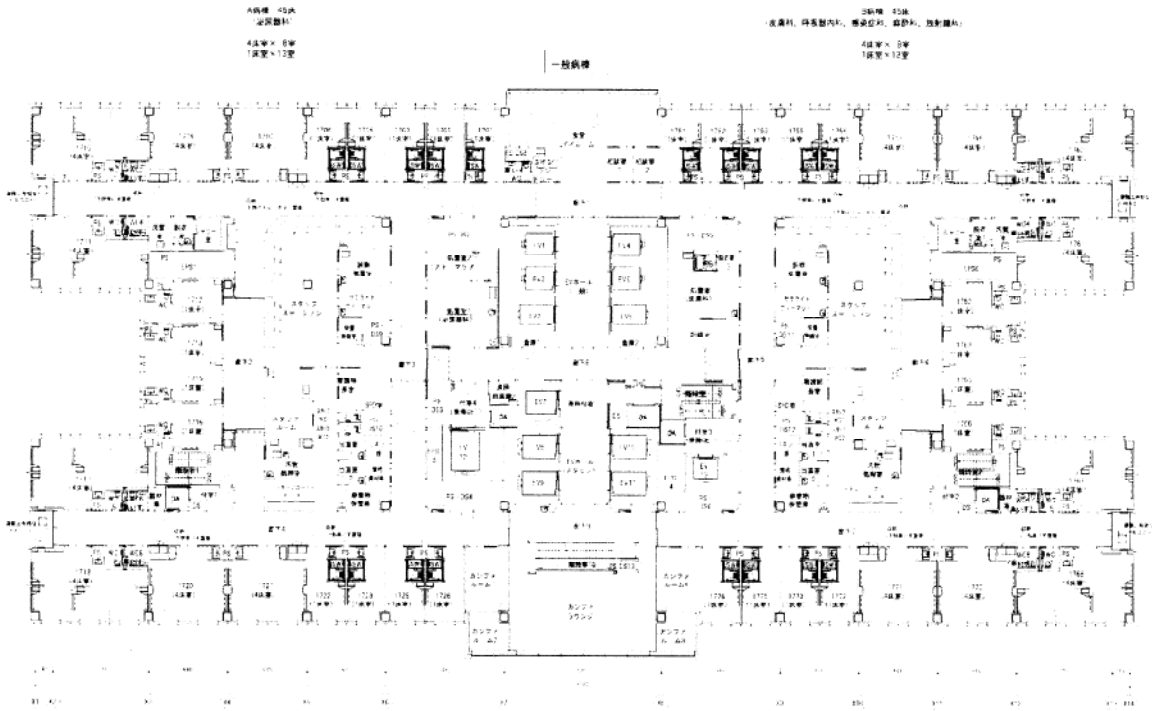
東京医科大学病院　15階　平面図　　S=1：300（A3版）　　2023.04.01　　東京医科大学病院施設課

病院棟　16階　3,513.03㎡
建築基準法　3,526.25㎡



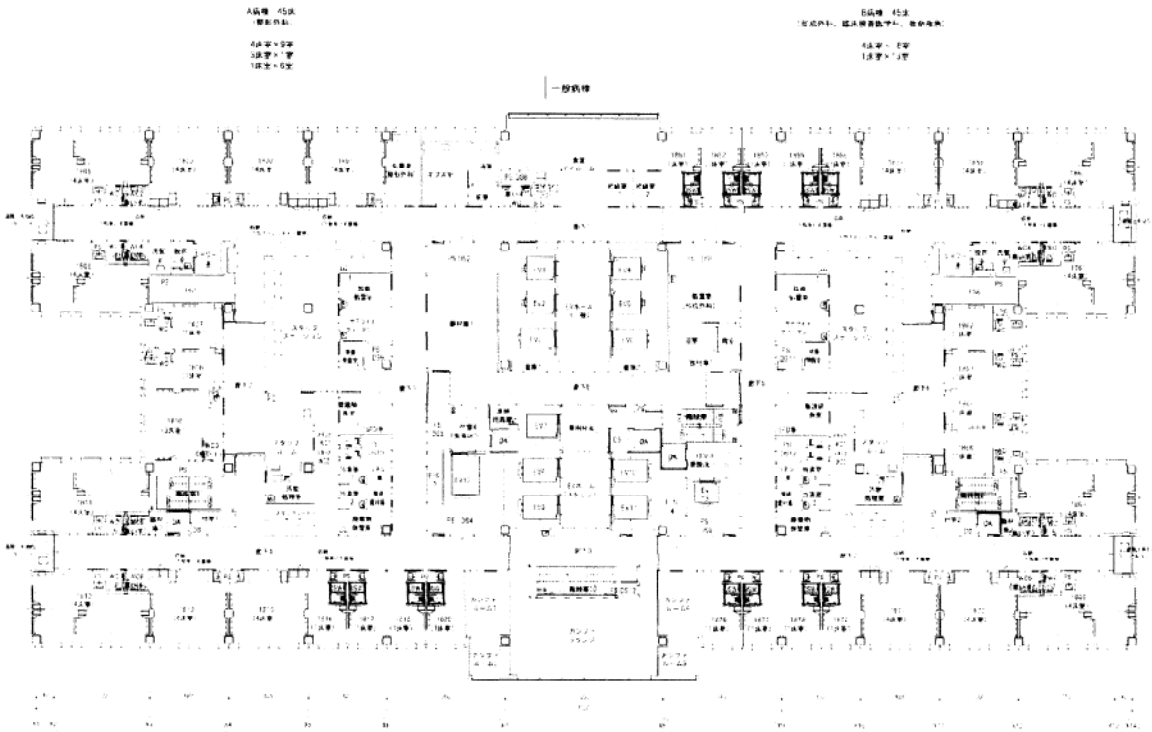
東京医科大学病院　16階　平面図　　S=1：300（A3版）　　2023.04.01　　東京医科大学病院施設課

病院棟　17階　3,517.31㎡
建築基準法　3,526.25㎡



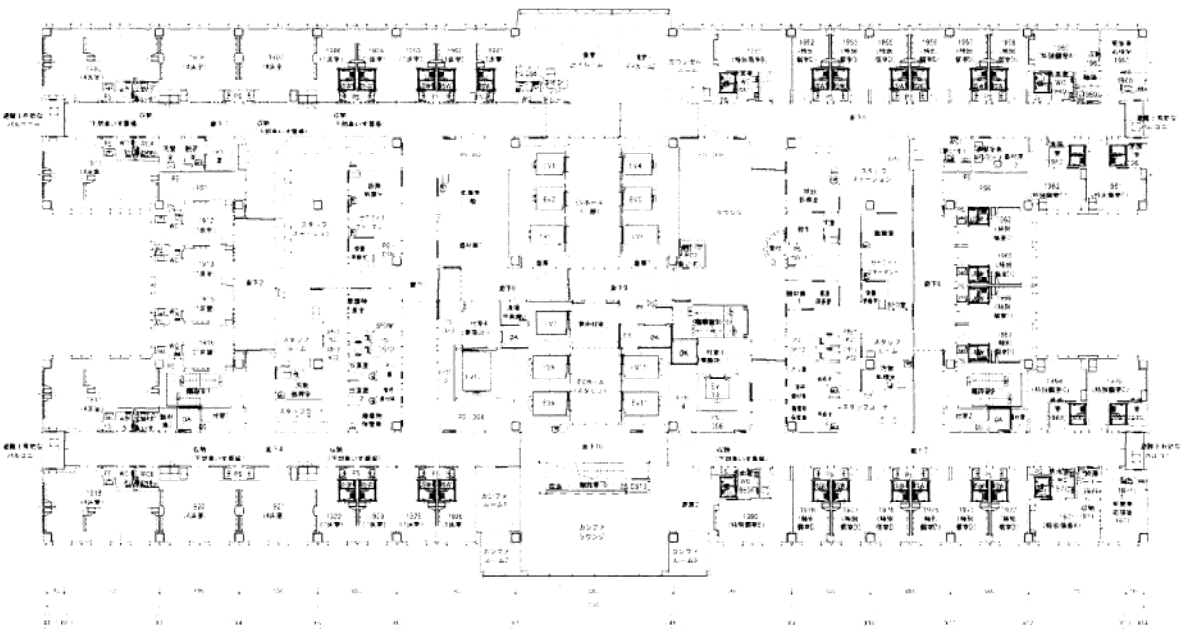
東京医科大学病院　17階　平面図　　S=1：300（A3版）　　2023. 04. 01　　東京医科大学病院施設課

病院棟　18階　3,513.03㎡
建築基準法　3,526.25㎡



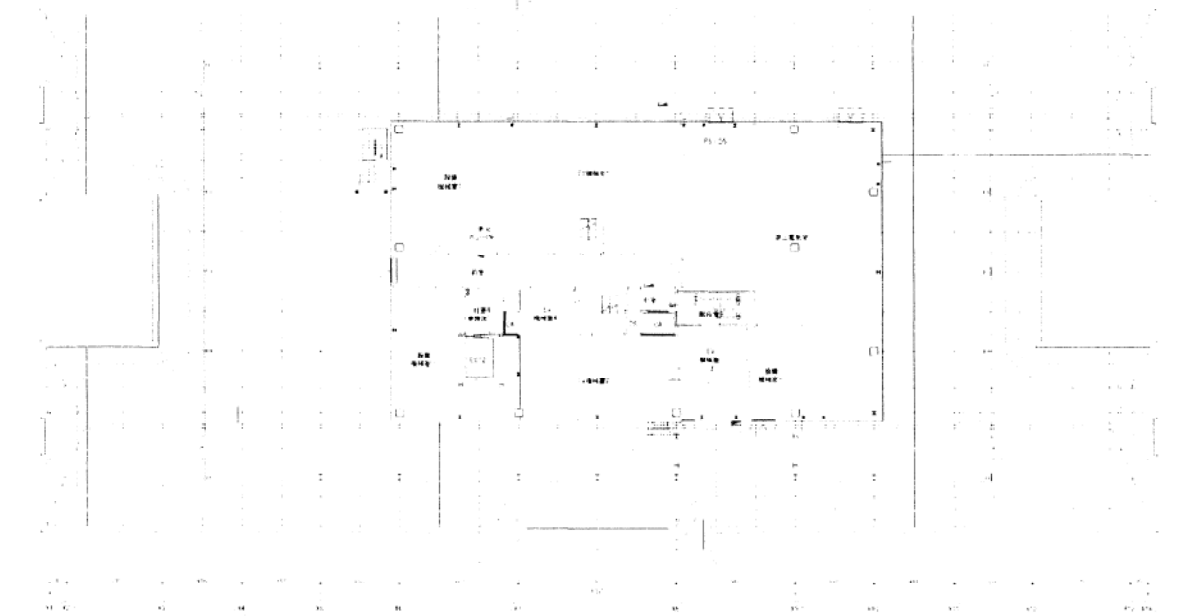
東京医科大学病院　18階　平面図　　S=1：300（A3版）　　2023. 04. 01　　東京医科大学病院施設課

病院棟　19階　3,513.03㎡
建築基準法　3,526.25㎡



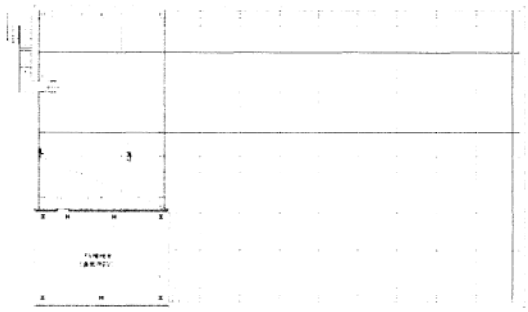
東京医科大学病院　19階　平面図　　S=1：300（A3版）　　2023. 04. 01　　東京医科大学病院施設課

病院棟　20階　938.40㎡
建築基準法　938.40㎡



東京医科大学病院　20階　平面図　　S=1：300（A3版）　　2023. 04. 01　　東京医科大学病院施設課

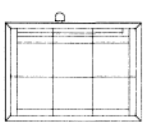
病院棟　PH階　－㎡
建築基準法　83.09㎡



東京医科大学病院　PH階　平面図　　S=1：300（A3版）　　2023.04.01　　東京医科大学病院施設課

病院棟　PHR階　－㎡
建築基準法　－㎡

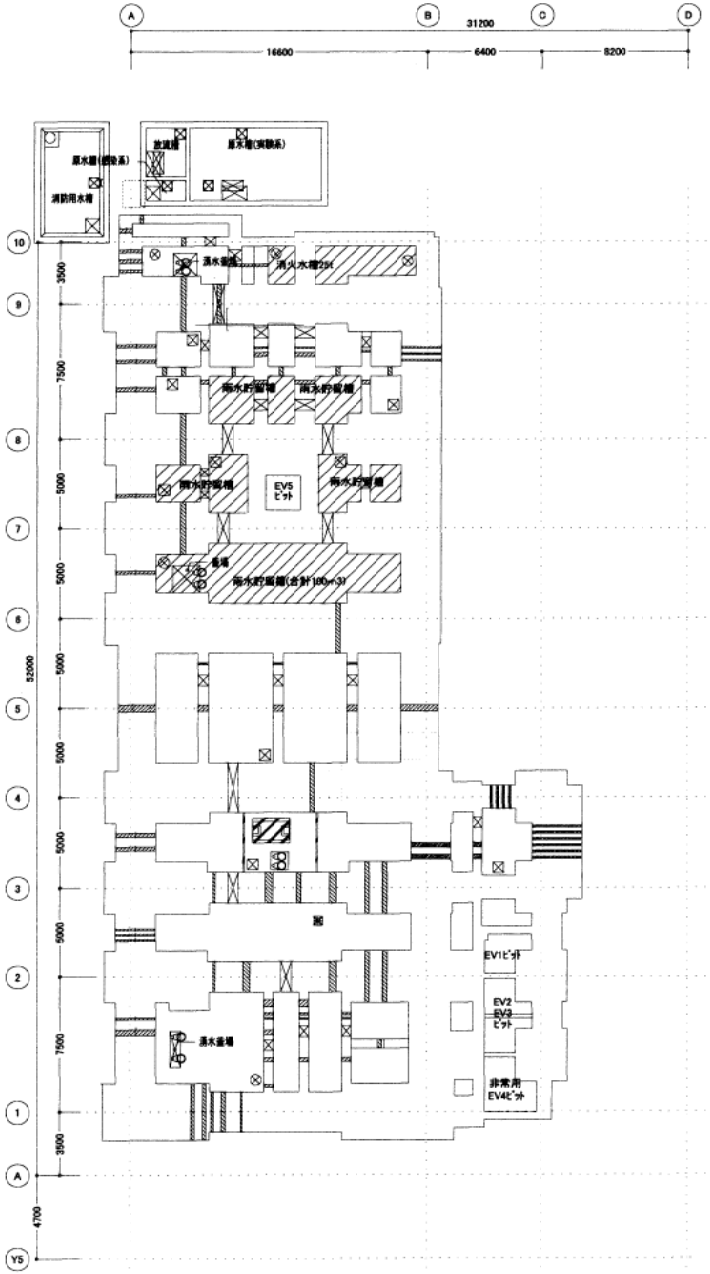






東京医科大学病院　～~~PHR階~~～　平面図　　S=1：300（A3版）　　2023.04.01　　東京医科大学病院施設課

教育研究棟(自主自学館)　ピット階　－㎡
建築基準法　－㎡



東京医科大学 西新宿キャンパス
教育研究棟(自主自学館) ピット階平面図

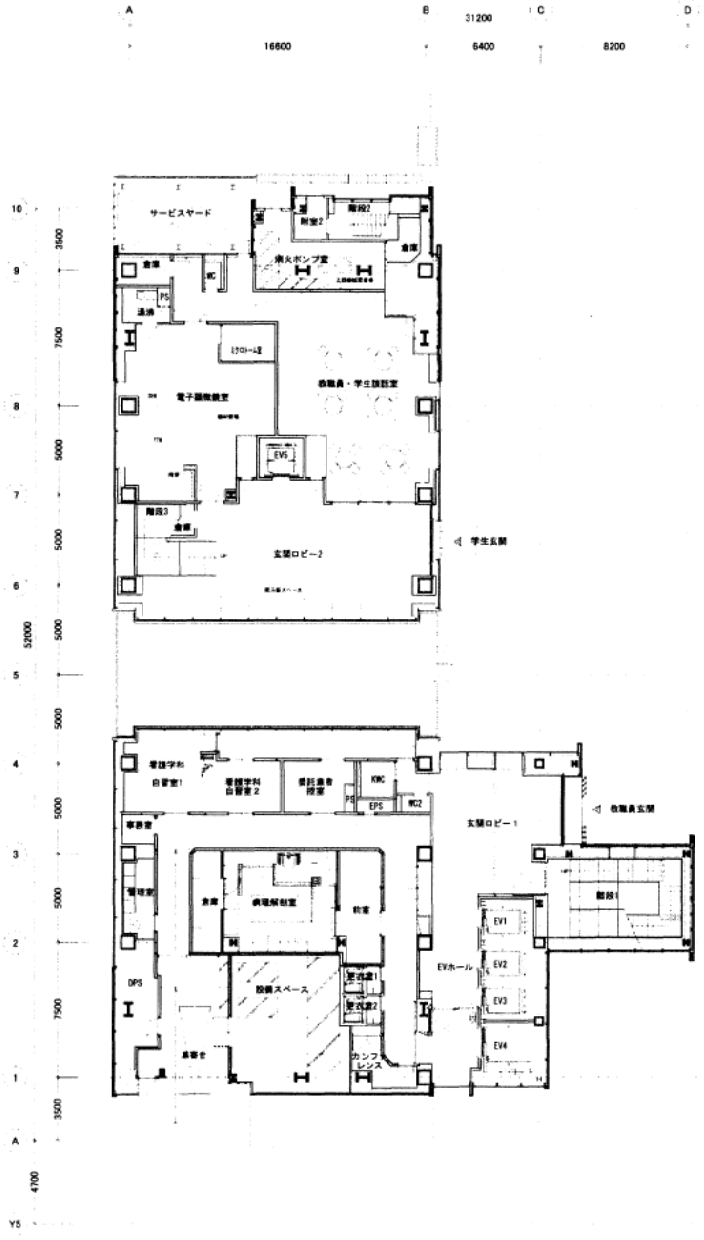
S=1:200(A3版)

2023.04.01

東京医科大学病院
施設課

No.

教育研究棟(自主自学館)　1階　924.94㎡
建築基準法　934.93㎡



東京医科大学 西新宿キャンパス
教育研究棟(自主自学館) 1階平面図

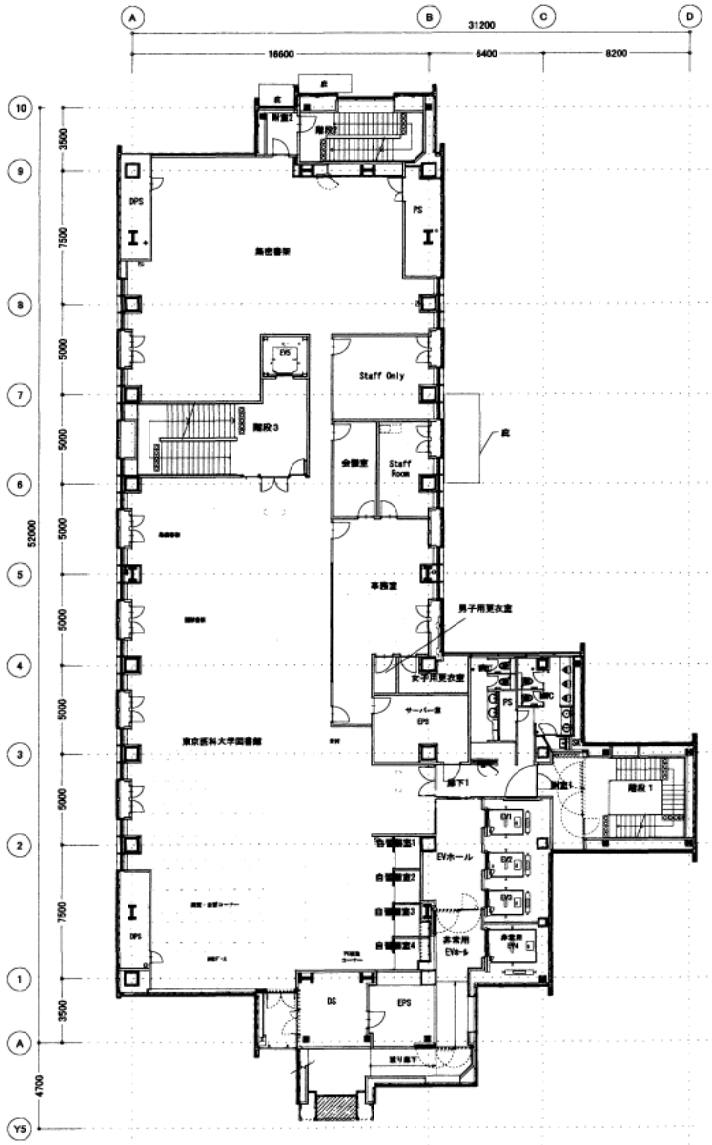
S=1:200(A3版)

2023.04.01

東京医科大学病院
施設課

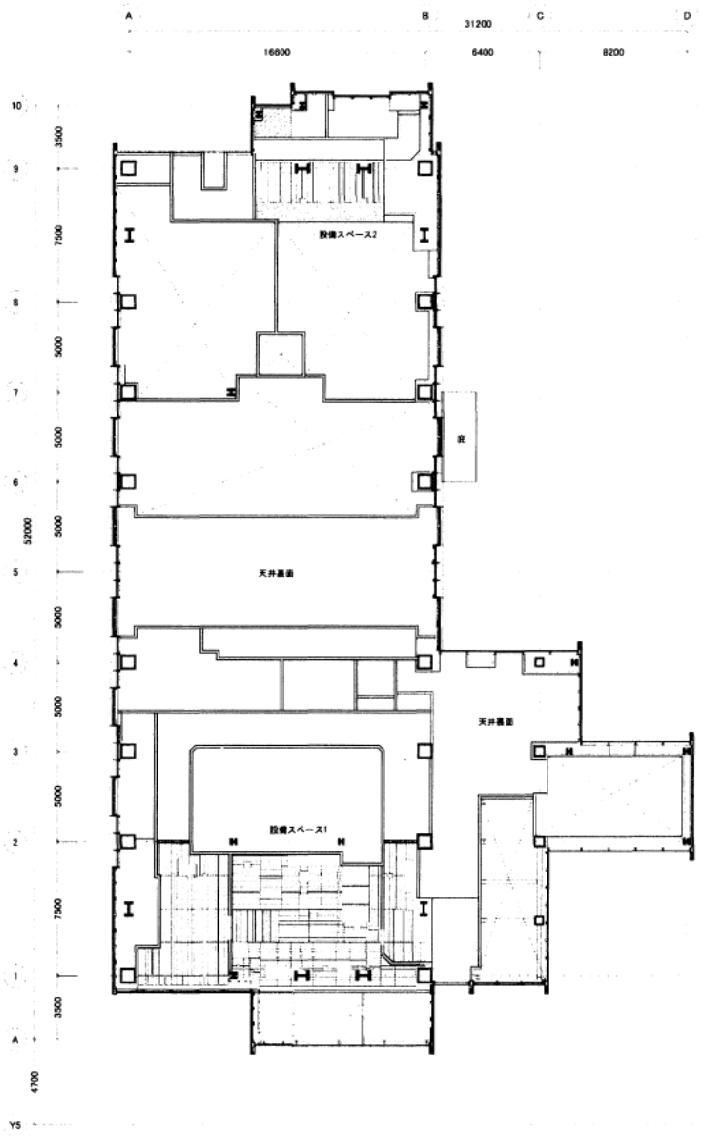
No.

教育研究棟(自主自学館)　2階　1,099.72㎡
建築基準法　1,105.52㎡



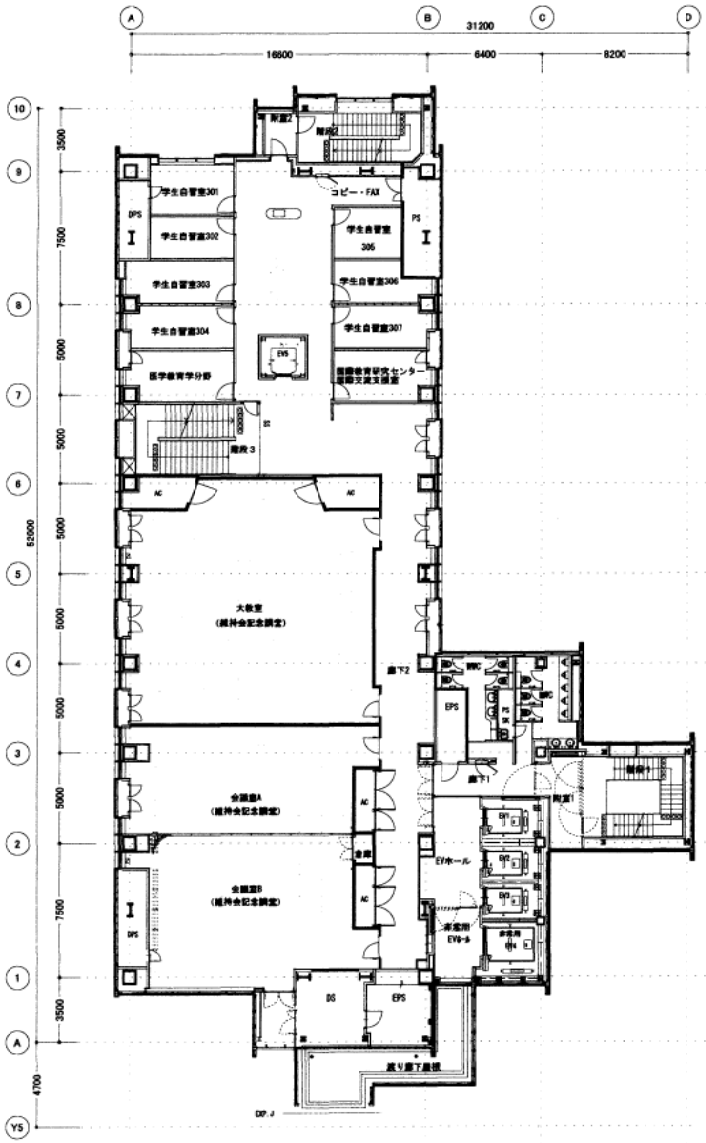
No.	
東京医科大学病院 施設課	
2023.04.01	
S=1:200(A3版)	
東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) 2階平面図	

教育研究棟(自主自学館)　M2階　－㎡
建築基準法　－㎡



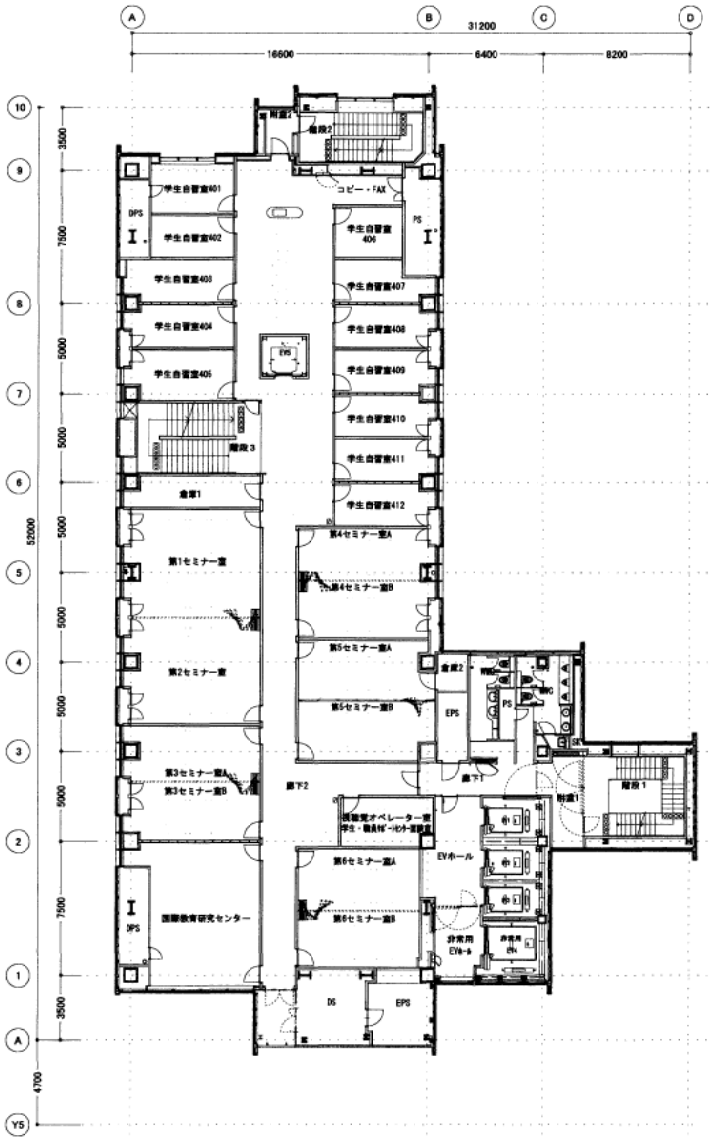
No.	
東京医科大学病院 施設課	
2023.04.01	
S=1:200(A3版)	
東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) M2階平面図	

教育研究棟(自主自学館)　3階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡



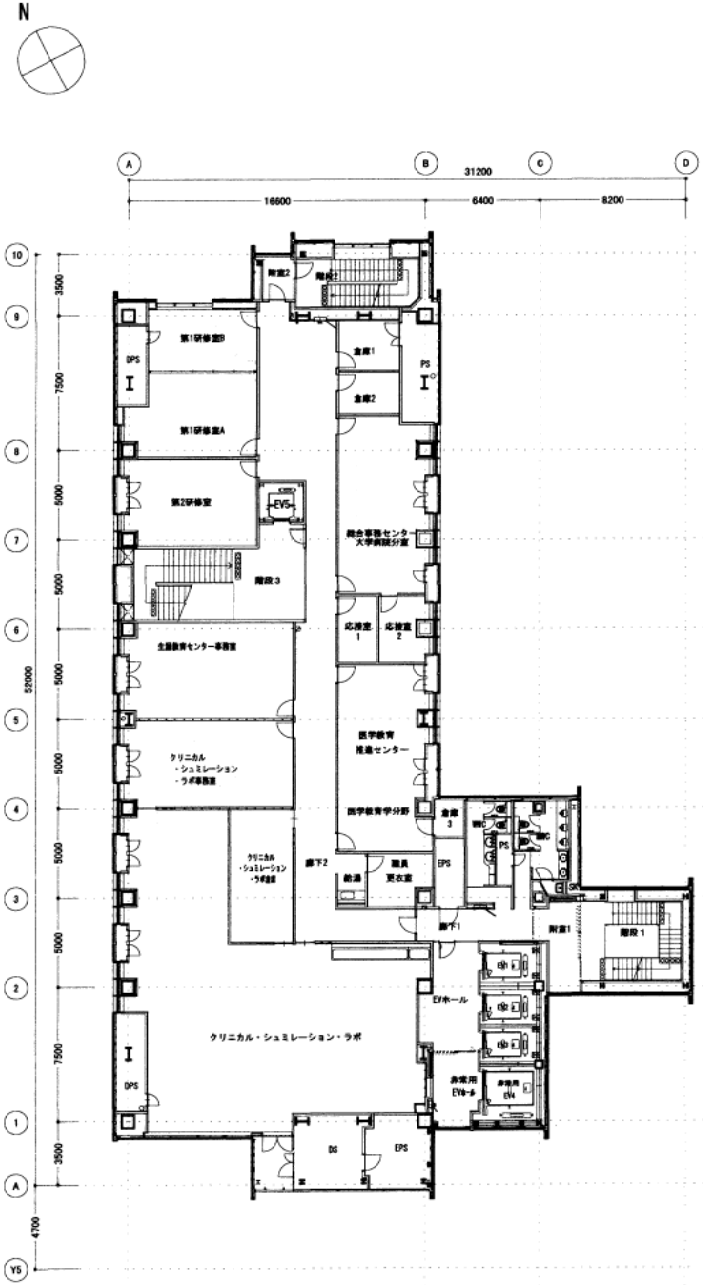
No.	
東京医科大学病院 施設課	
2023.04.01	
S=1:200(A3版)	
東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) 3階平面図	

教育研究棟(自主自学館)　4階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡



No.	
東京医科大学病院 施設課	
2023.04.01	
S=1:200(A3版)	
東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) 4階平面図	

教育研究棟(自主自学館)　5階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡



東京医科大学 西新宿キャンパス
教育研究棟(自主自学館) 5階平面図

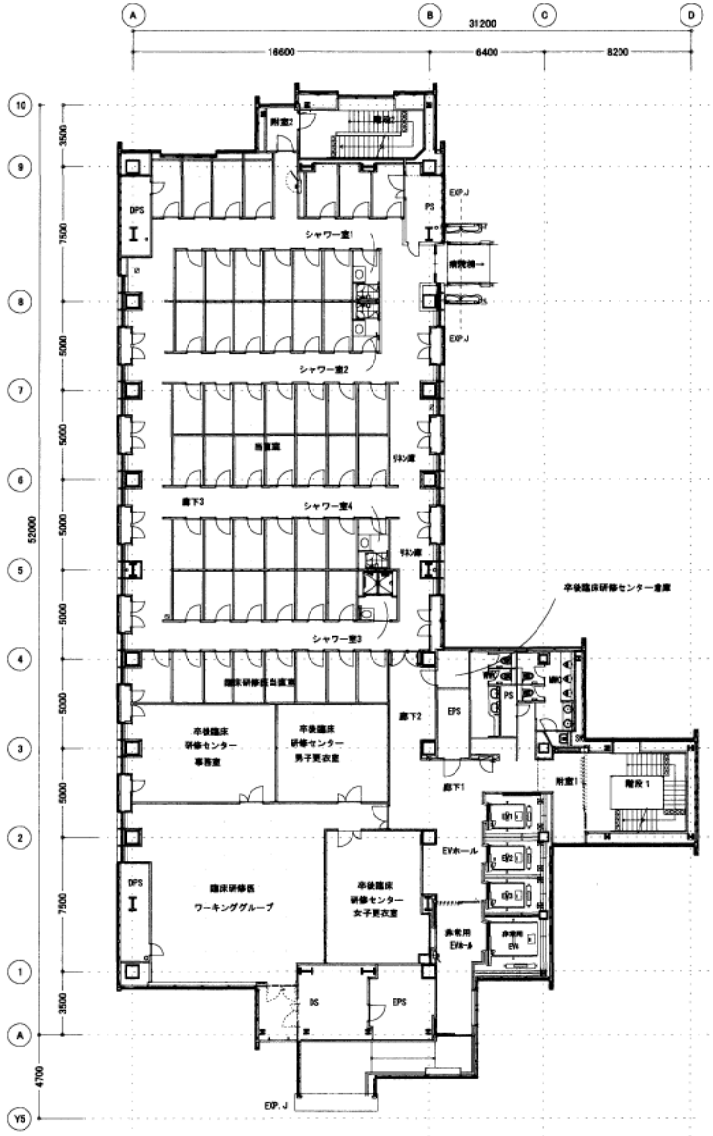
S=1:200(A3版)

2023.04.01

東京医科大学病院
施設課

No.

教育研究棟(自主自学館)　6階　1,098.60㎡
建築基準法　1,106.27㎡



東京医科大学 西新宿キャンパス
教育研究棟(自主自学館) 6階平面図

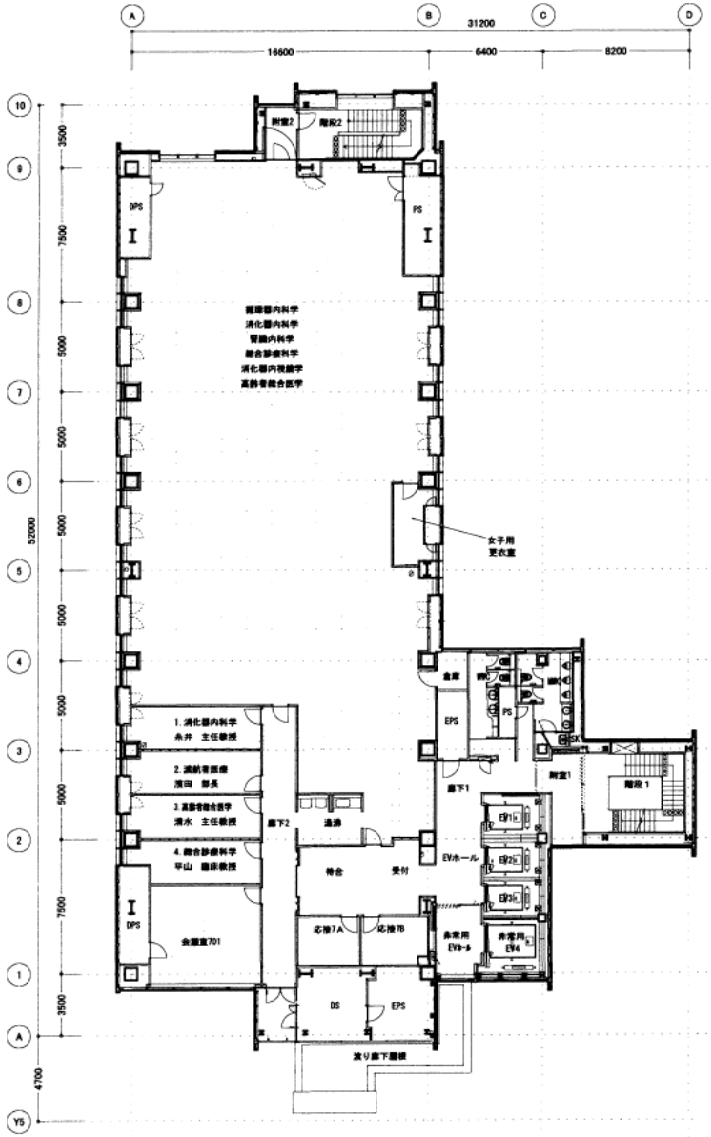
S=1:200(A3版)

2023.04.01

東京医科大学病院
施設課

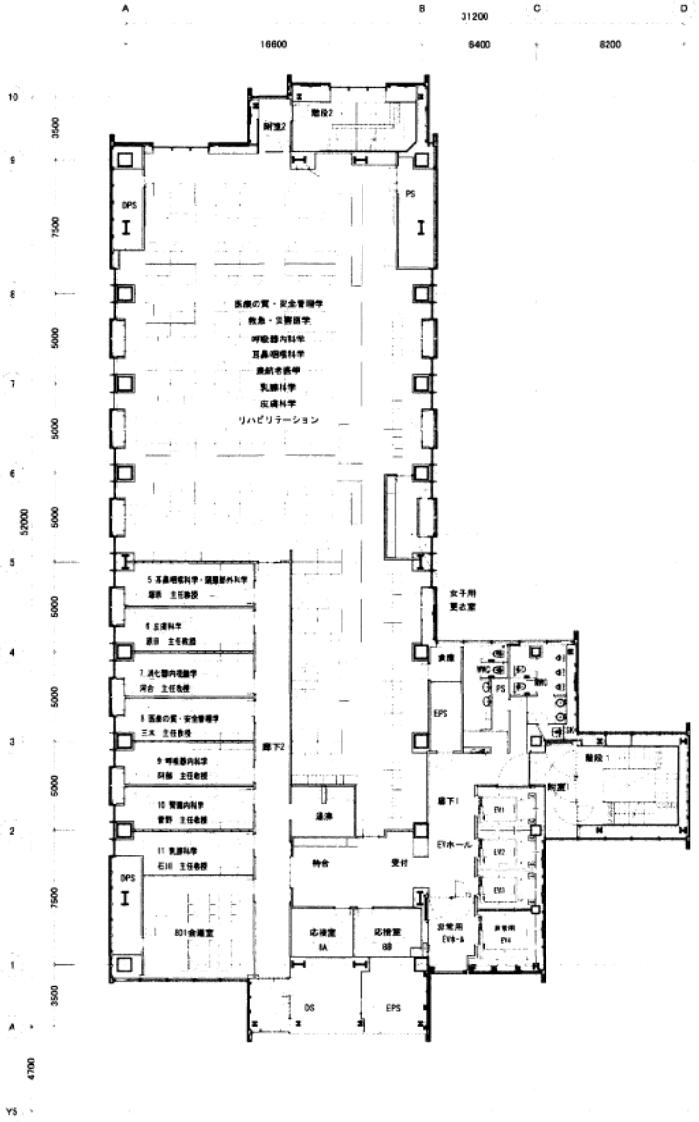
No.

教育研究棟(自主自学館)　7階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡



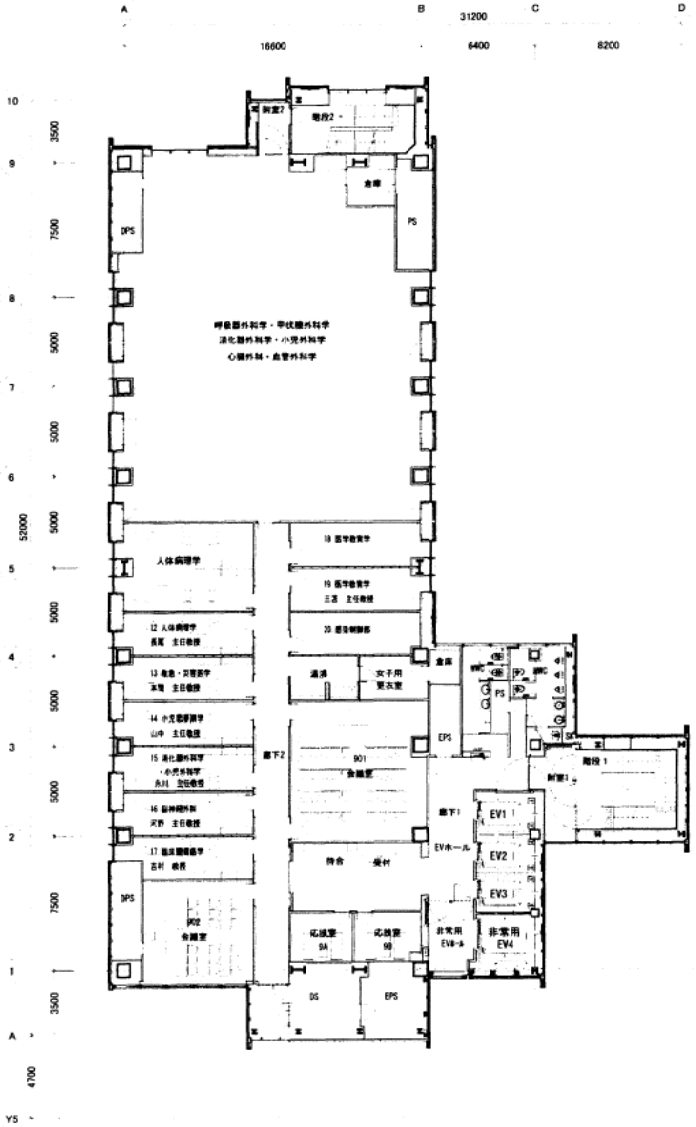
東京医科大学 西新宿キャンパス
教育研究棟(自主自学館) 7階平面図
S=1:200(A3版)
2023.04.01
東京医科大学病院 施設課
No.

教育研究棟(自主自学館)　8階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡



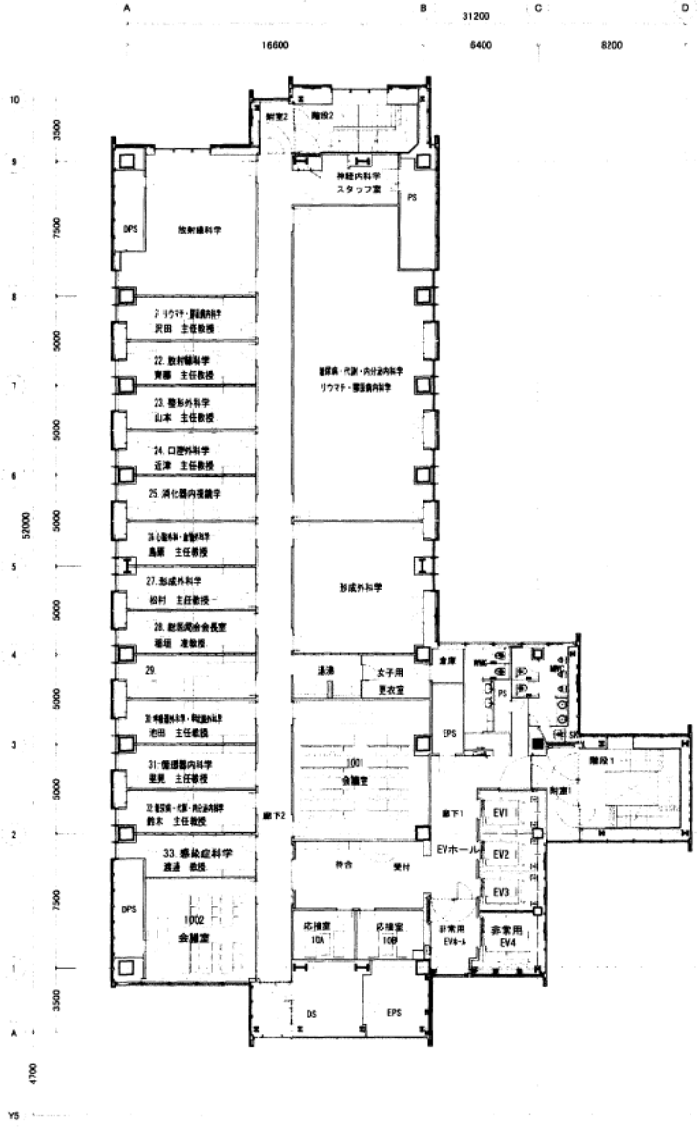
東京医科大学 西新宿キャンパス
教育研究棟(自主自学館) 8階平面図
S=1:200(A3版)
2023.04.01
東京医科大学病院 施設課
No.

教育研究棟(自主自学館)　9階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡



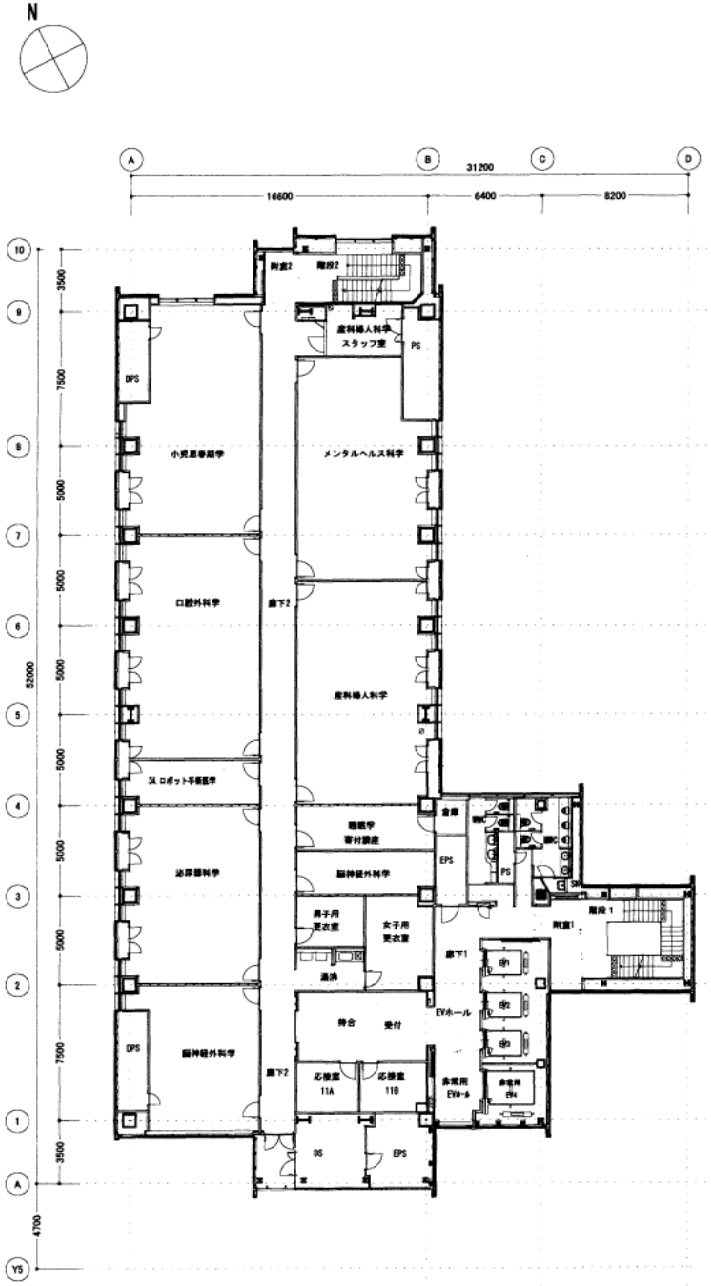
東京医科大学 西新宿キャンパス
教育研究棟(自主自学館) 9階平面図
S=1:200(A3版)　2023.04.01
東京医科大学病院 施設課
No.

教育研究棟(自主自学館)　10階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡



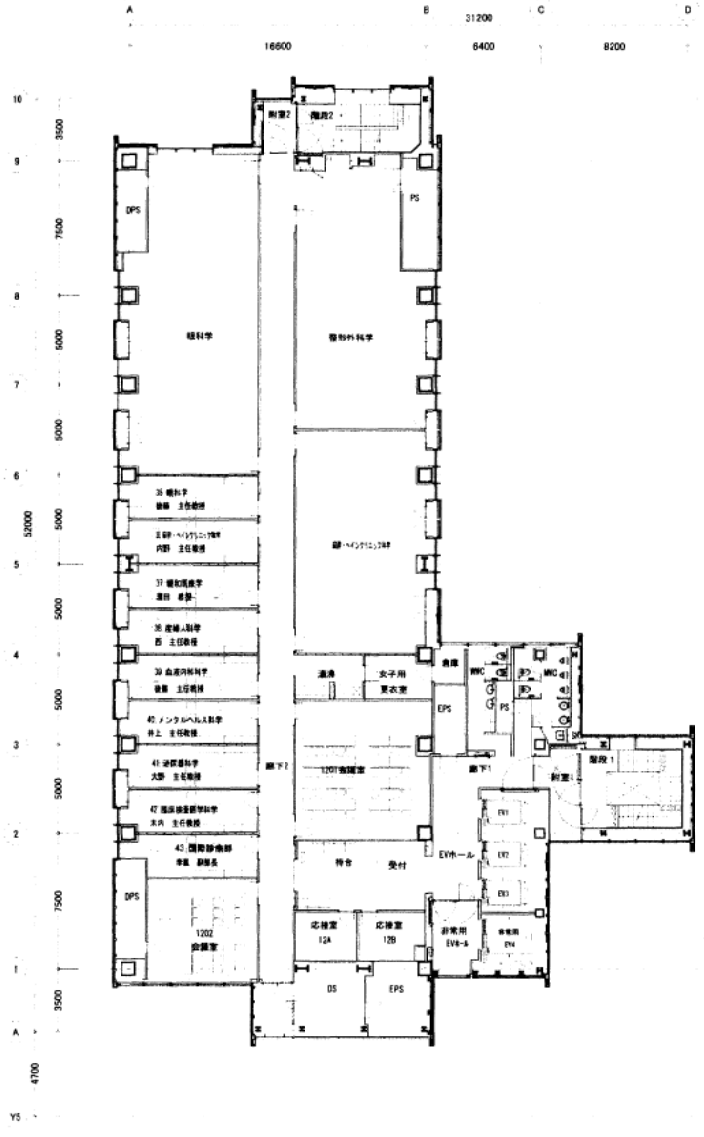
東京医科大学 西新宿キャンパス
教育研究棟(自主自学館) 10階平面図
S=1:200(A3版)　2023.04.01
東京医科大学病院 施設課
No.

教育研究棟(自主自学館)　11階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡



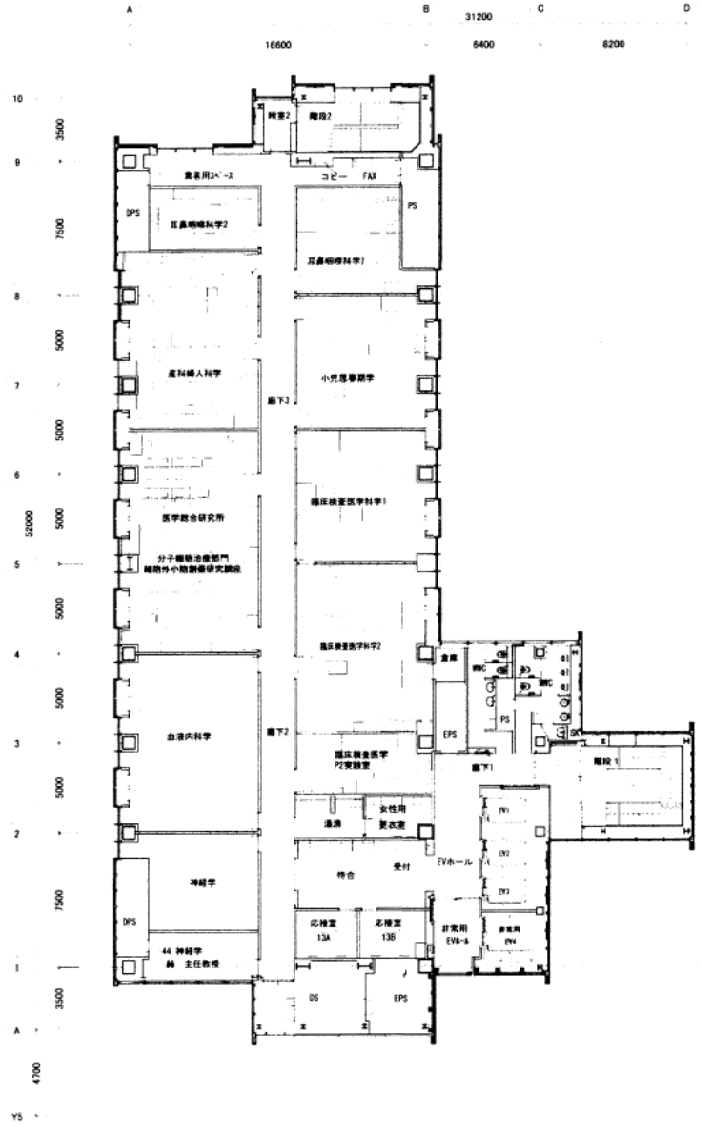
東京医科大学 西新宿キャンパス
教育研究棟(自主自学館) 11階平面図
S=1:200(A3版)
2023.04.01
東京医科大学病院 施設課
No.

教育研究棟(自主自学館)　12階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡



東京医科大学 西新宿キャンパス
教育研究棟(自主自学館) 12階平面図
S=1:200(A3版)
2023.04.01
東京医科大学病院 施設課
No.

教育研究棟(自主自学館)　13階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡



東京医科大学病院
施設課

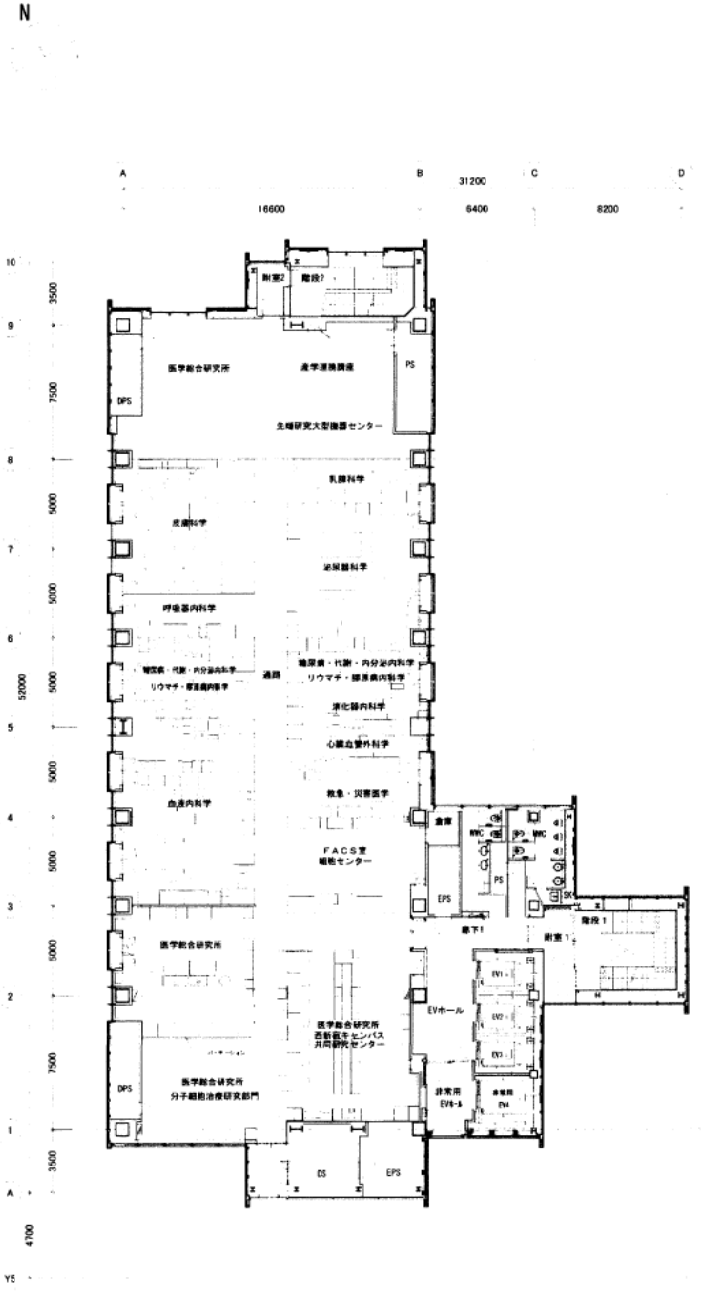
No.

2023.04.01

S=1:200(A3版)

東京医科大学 西新宿キャンパス
教育研究棟(自主自学館) 13階平面図

教育研究棟(自主自学館)　14階　1,062.99㎡
建築基準法　1,068.57㎡



東京医科大学病院
施設課

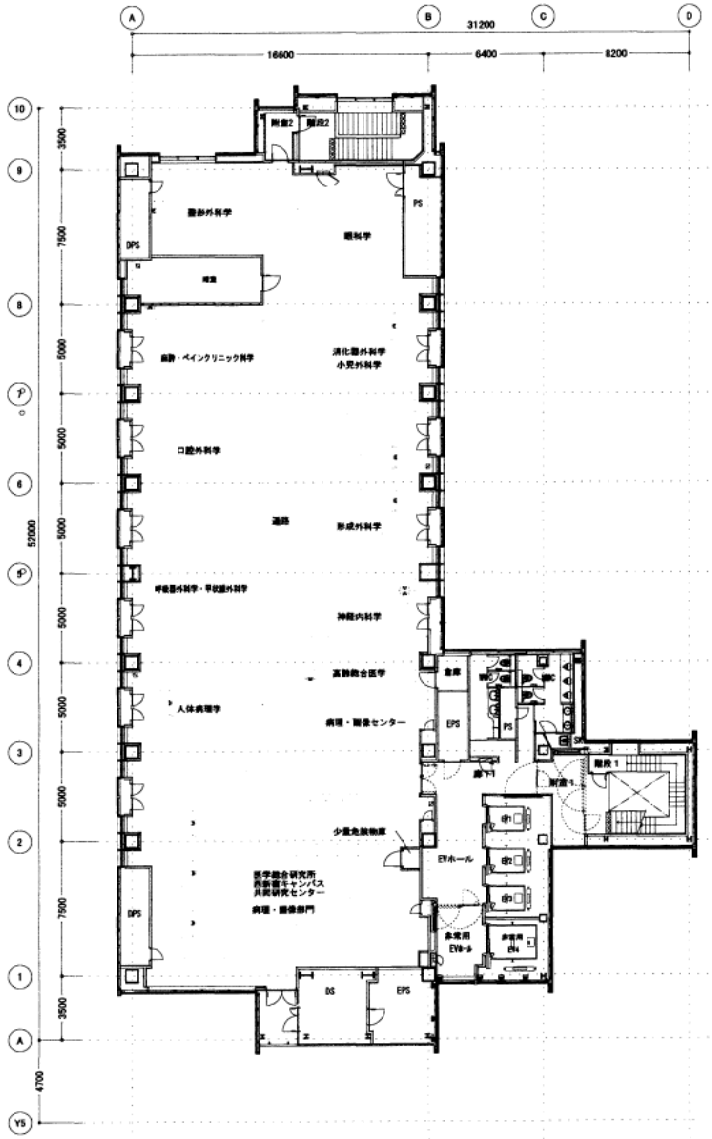
No.

2023.04.01

S=1:200(A3版)

東京医科大学 西新宿キャンパス
教育研究棟(自主自学館) 14階平面図

教育研究棟(自主自学館)　15階　1,060.20㎡
建築基準法　1,068.57㎡



東京医科大学 西新宿キャンパス
教育研究棟(自主自学館)15階平面図

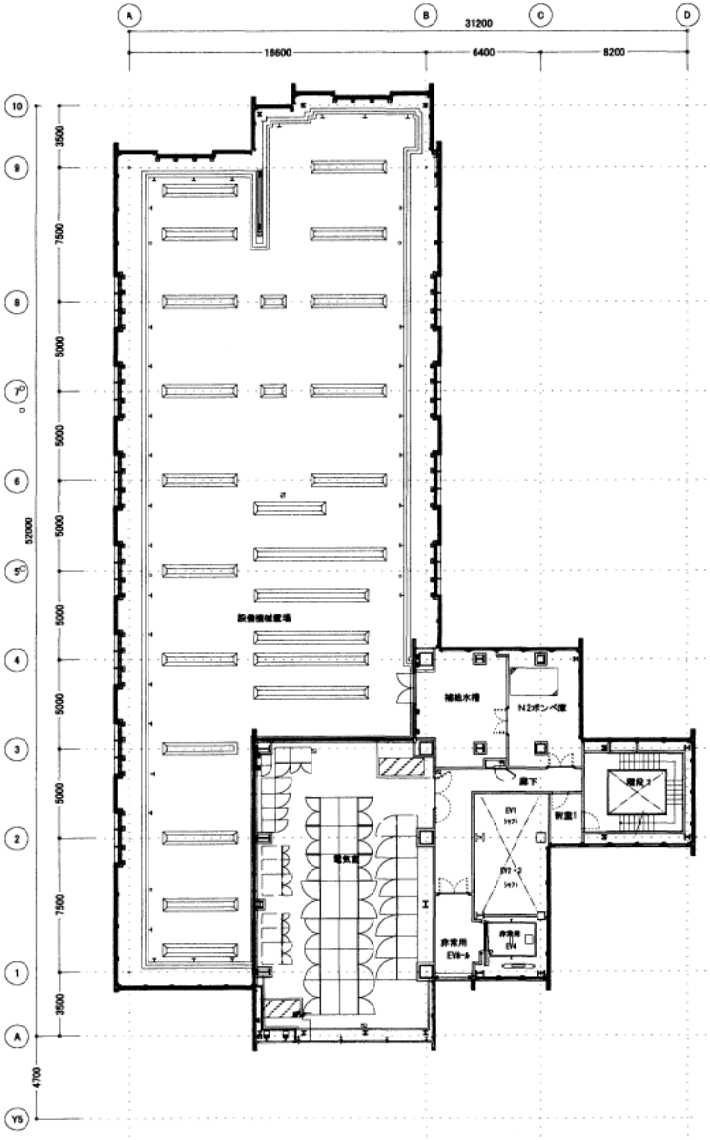
S=1:200(A3版)

2023.04.01

東京医科大学病院
施設課

No.

教育研究棟(自主自学館)　16階　315.69㎡
建築基準法　324.05㎡



東京医科大学 西新宿キャンパス
教育研究棟(自主自学館)16階平面図

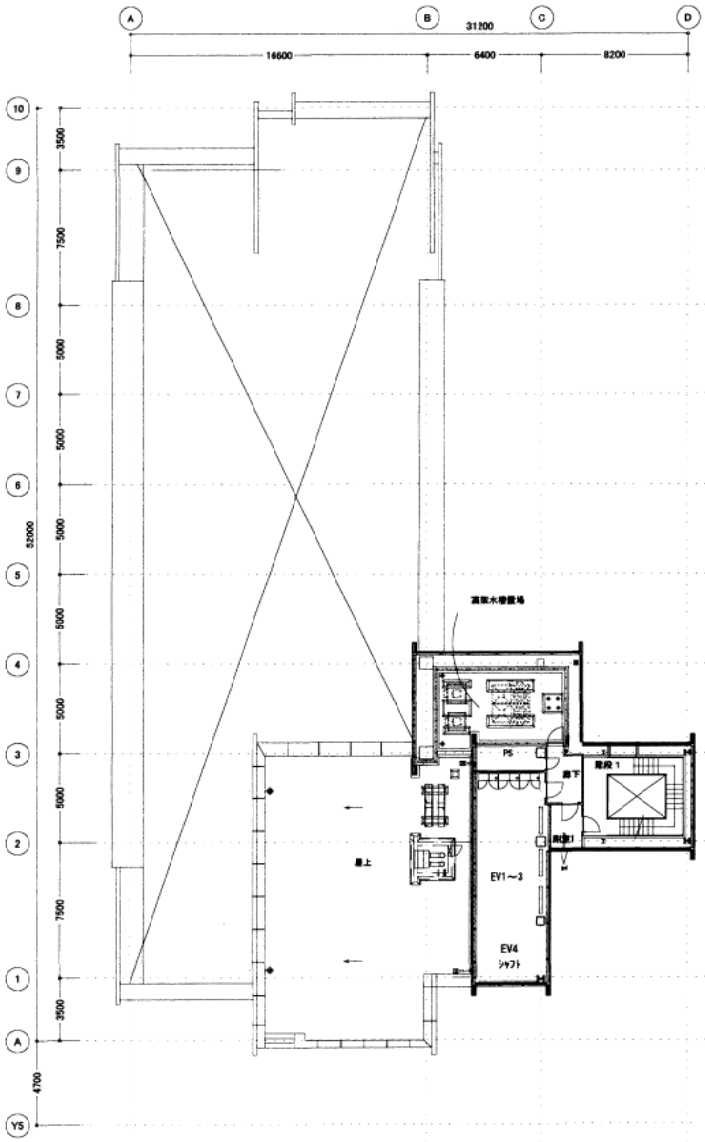
S=1:200(A3版)

2023.04.01

東京医科大学病院
施設課

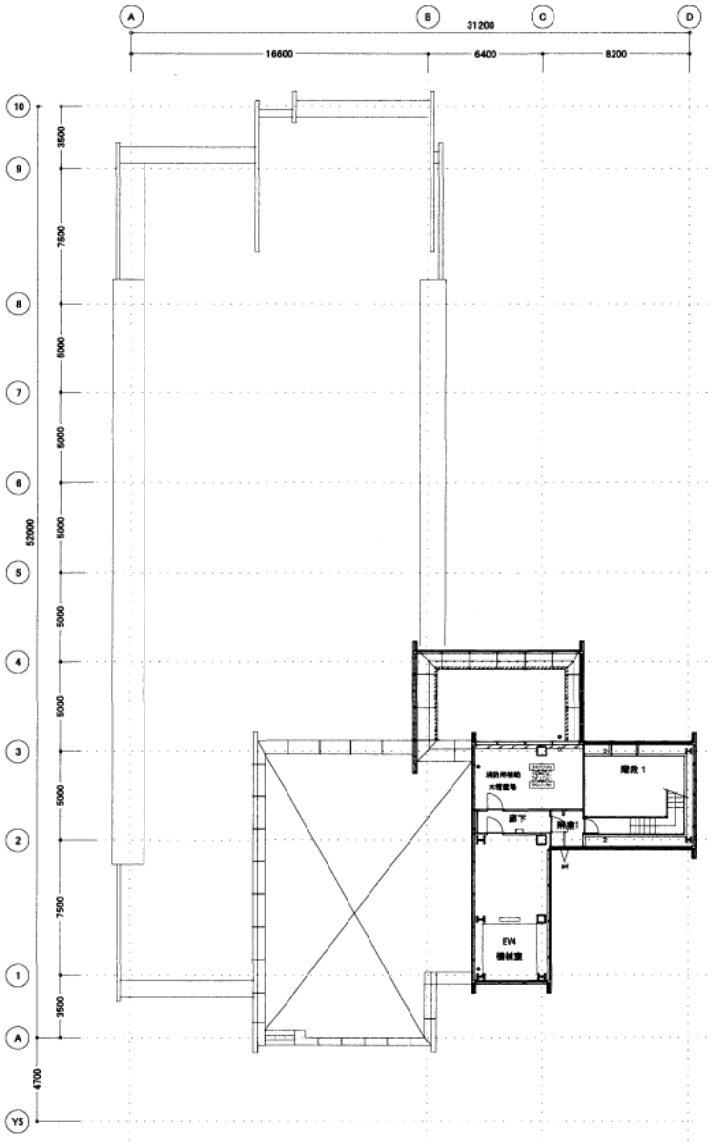
No.

教育研究棟(自主自学館)　PH1階　－㎡
建築基準法　89.58㎡



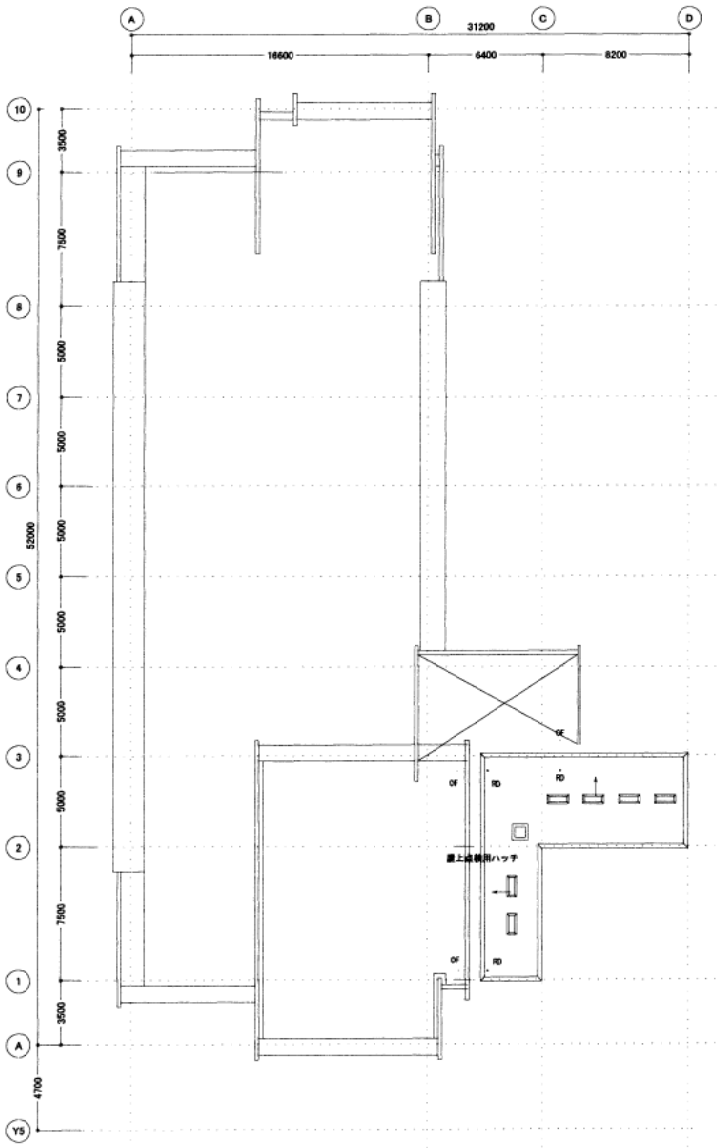
東京医科大学病院 施設課	No.
2023.04.01	
S=1:200(A3版)	
東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) PH1階平面図	

教育研究棟(自主自学館)　PH2階　－㎡
建築基準法　104.53㎡

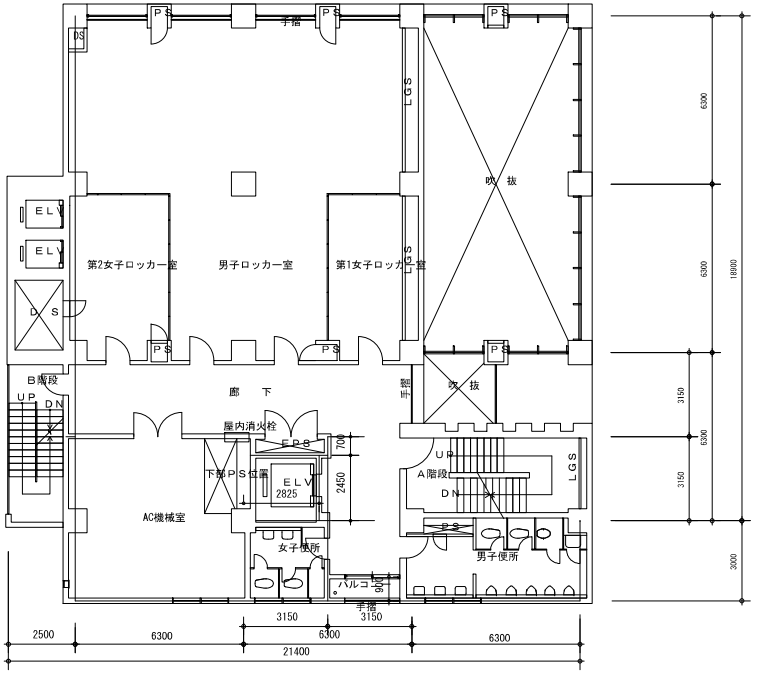


東京医科大学病院 施設課	No.
2023.04.01	
S=1:200(A3版)	
東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) PH2階平面図	

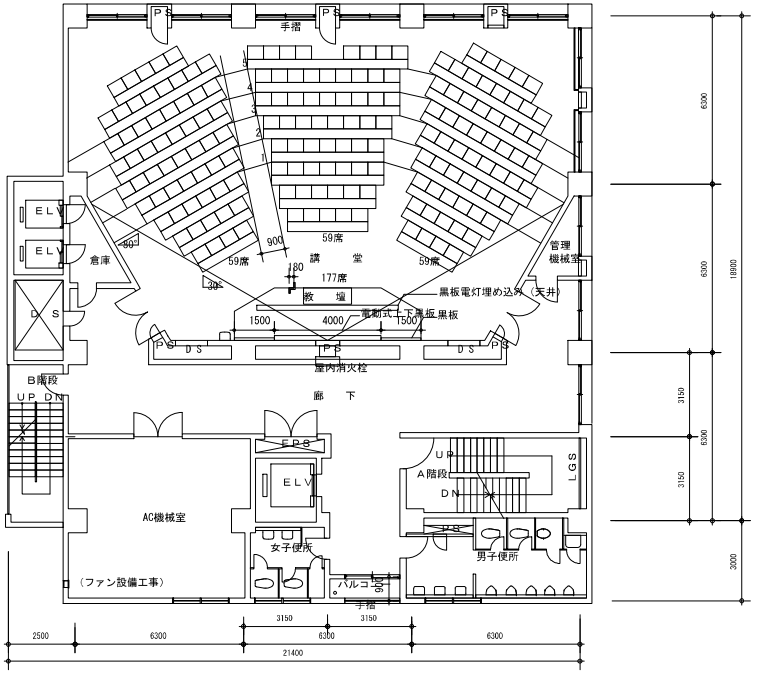
教育研究棟(自主自学館)　PHR階　－㎡
建築基準法　－㎡



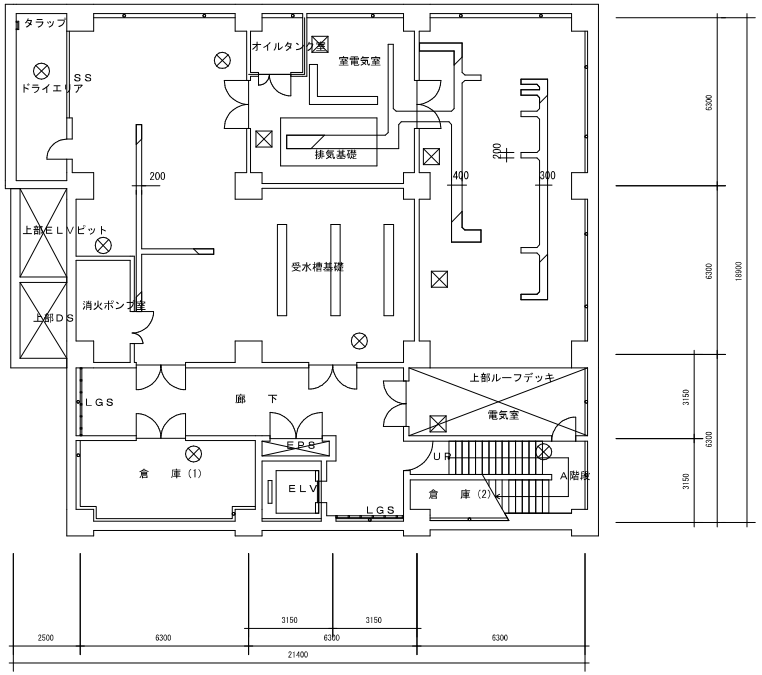
東京医科大学 西新宿キャンパス 教育研究棟(自主自学館) PHR階平面図	S=1:200(A3版)	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.



第一研究・教育棟　2階　平面図 S=1:200

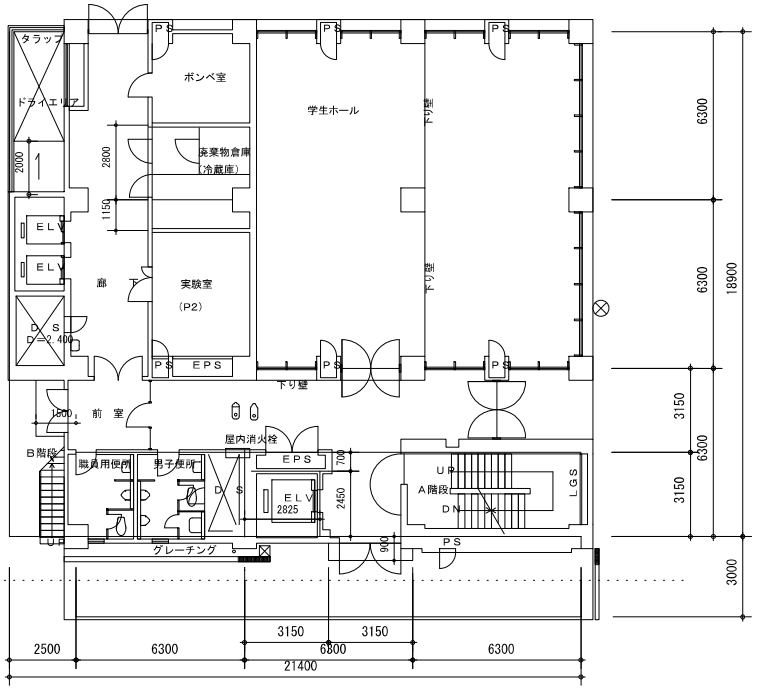


第一研究・教育棟　3階　平面図 S=1:200

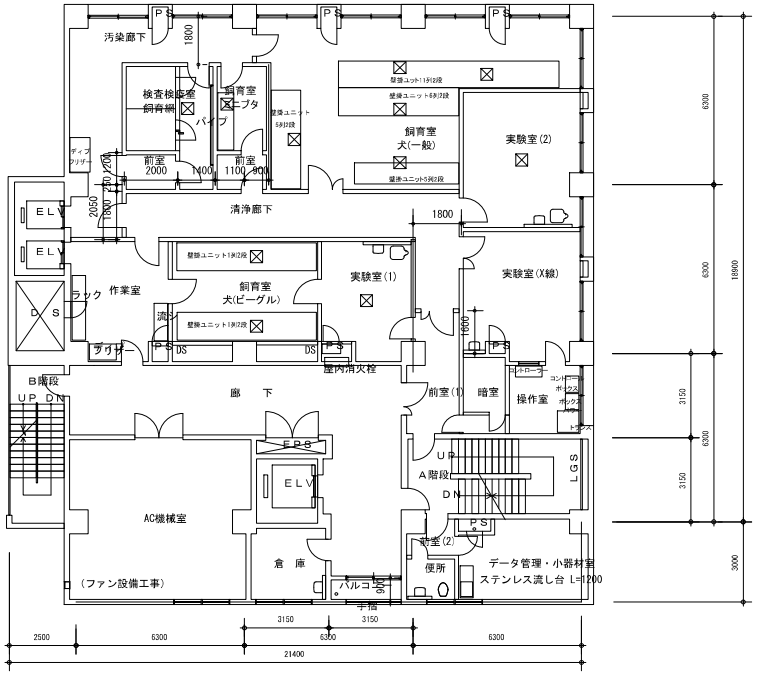


第一研究・教育棟　地下1階　平面図 S=1:200

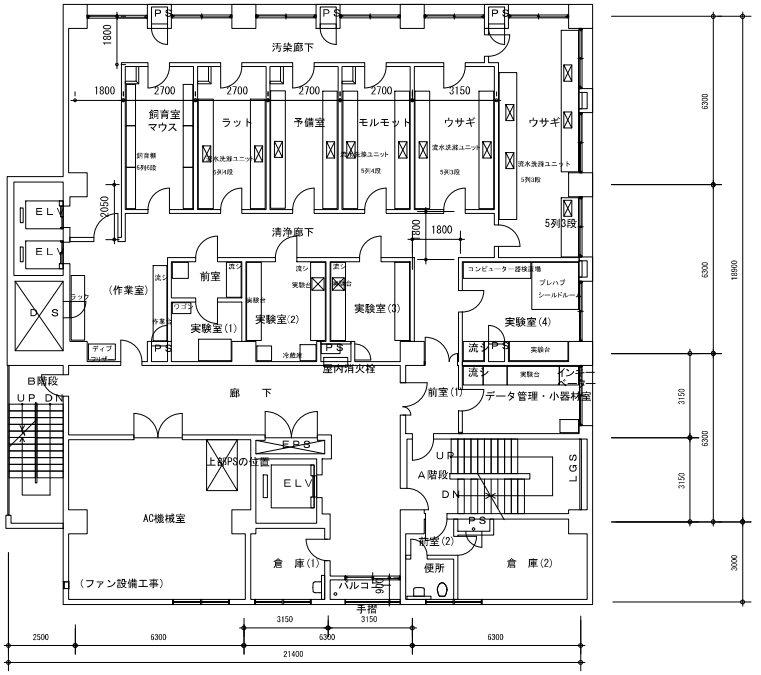
面積表	
階数	面積(㎡)
B1F	391.52
1F	373.40
2F	344.06
3F	436.99
4F	436.99
5F	436.99
6F	436.99
7F	436.99
8F	81.08
合計	3775.01
建築面積	439.46



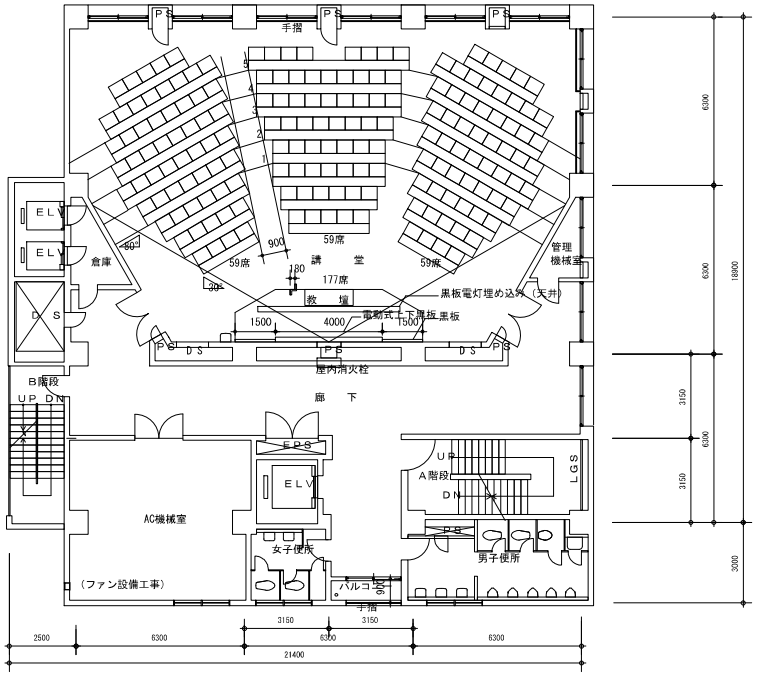
第一研究・教育棟　1階　平面図 S=1:200



第一研究・教育棟　6階　平面図 S=1:200

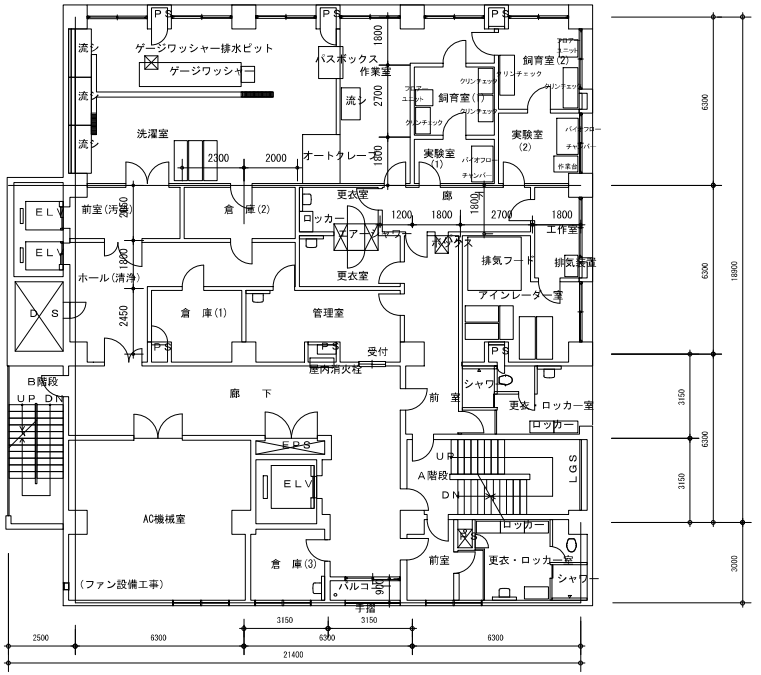


第一研究・教育棟　7階　平面図 S=1:200



第一研究・教育棟　4階　平面図 S=1:200

面積表	
階数	面積(㎡)
B1F	391.52
1F	373.40
2F	344.06
3F	436.99
4F	436.99
5F	436.99
6F	436.99
7F	436.99
8F	81.08
合計	3775.01
建築面積	439.46

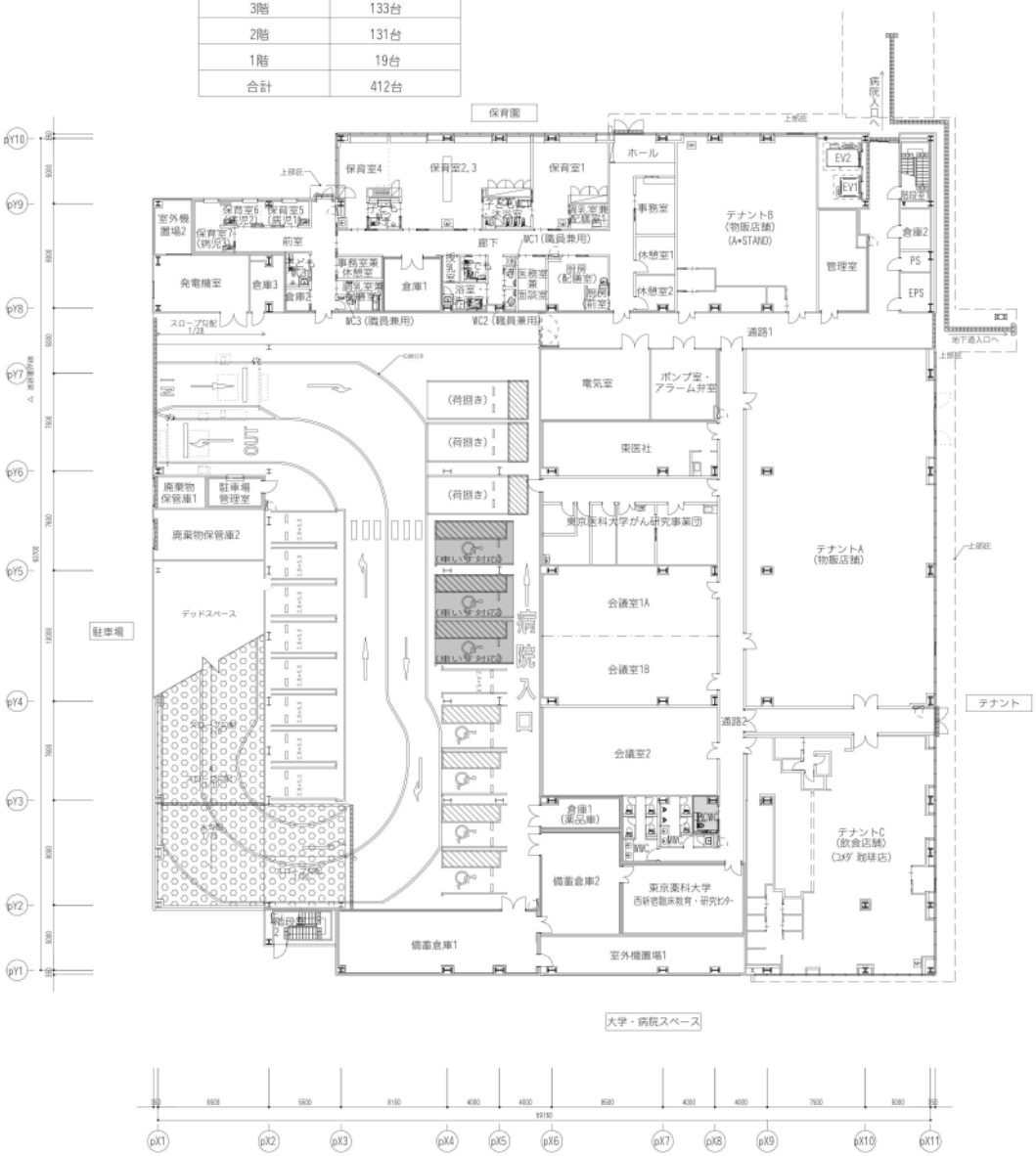


第一研究・教育棟　5階　平面図 S=1:200

駐車台数	
階	台数
R階	129台
3階	133台
2階	131台
1階	19台
合計	412台

立体駐車場棟　1階　3,441.78㎡
建築基準法　3,502.37㎡

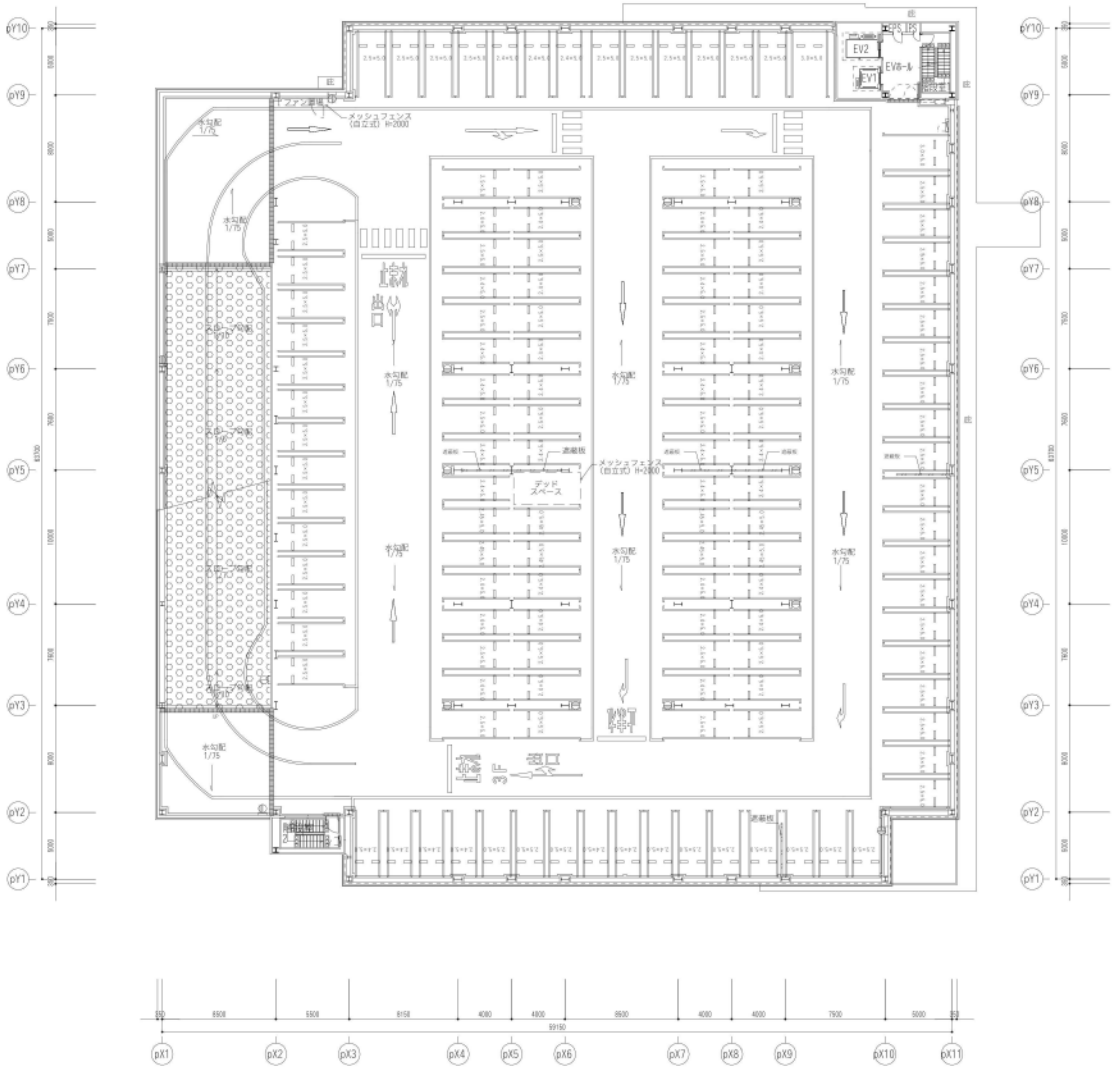


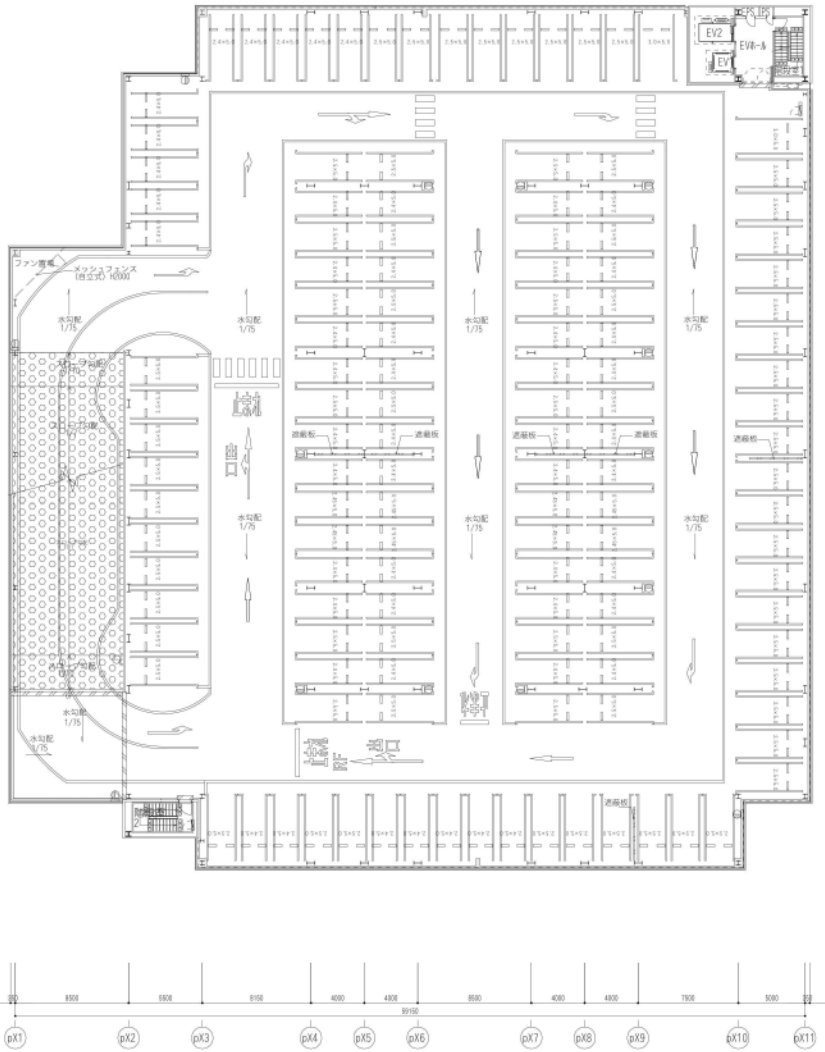


東京医科大学 西新宿キャンパス 立体駐車場棟　セット　1階平面図	S=1：400（A3版）	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.

立体駐車場棟　2階　3,595.15㎡
建築基準法　3,595.15㎡

立体駐車場棟　3階　3,595.15㎡
建築基準法　3,595.15㎡

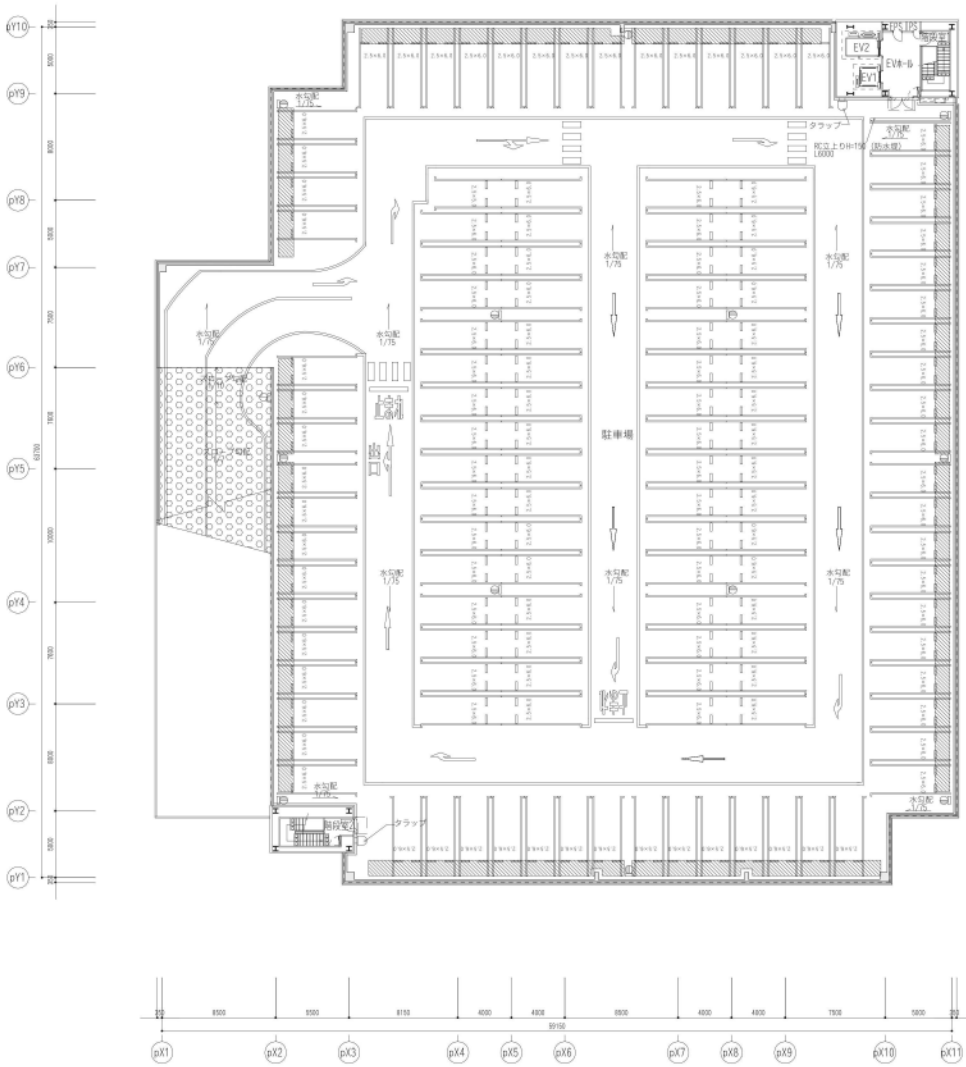


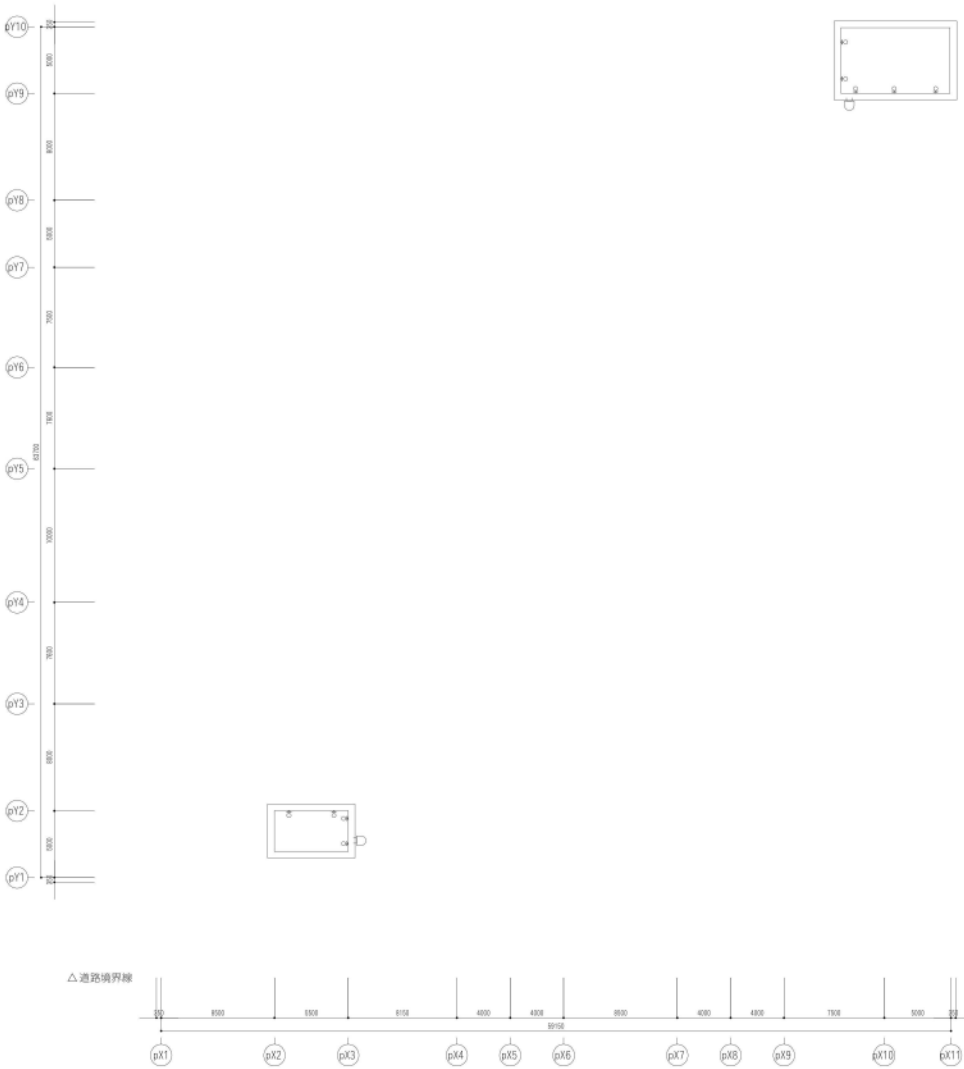


東京医科大学 西新宿キャンパス 立体駐車場棟　2・3階平面図	S=1：400（A3版）	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.

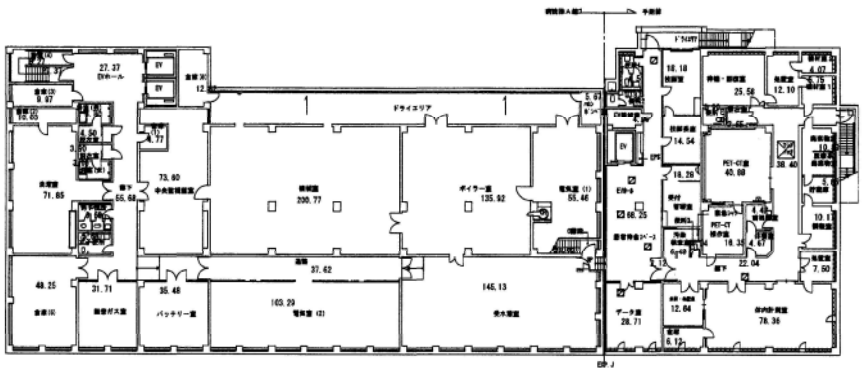
立体駐車場棟　RF階　－㎡
建築基準法　73.13㎡

立体駐車場棟　PH階　－㎡
建築基準法　－㎡





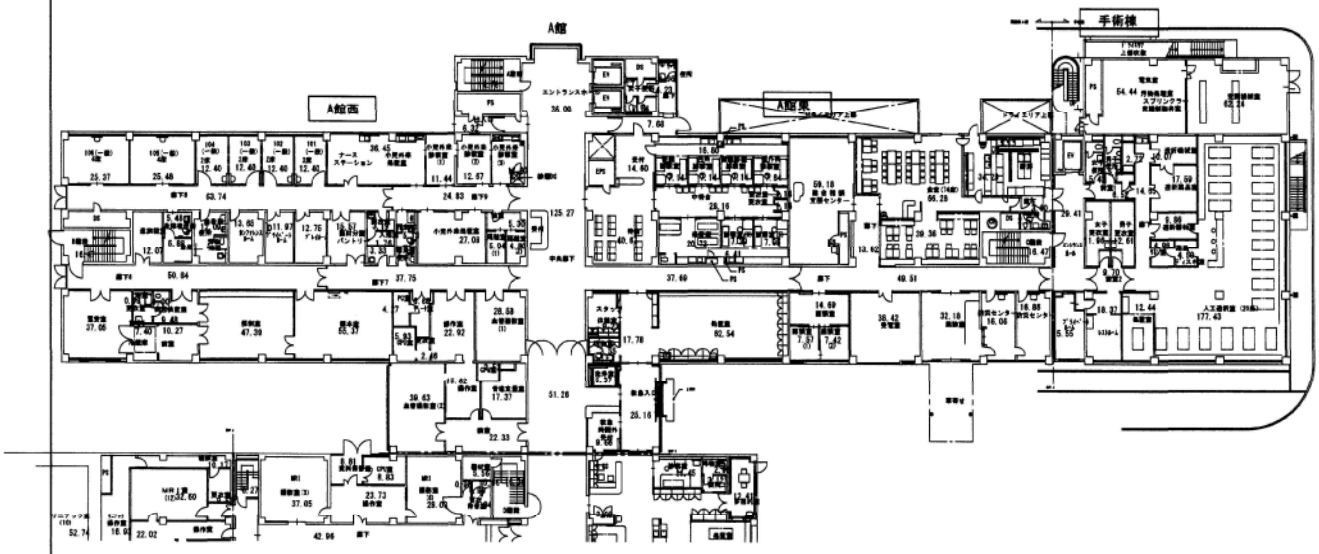
東京医科大学 西新宿キャンパス 立体駐車場棟　RF・PH階平面図	S=1：400（A3版）	2023.04.01	東京医科大学病院 施設課	No.



A館地階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター

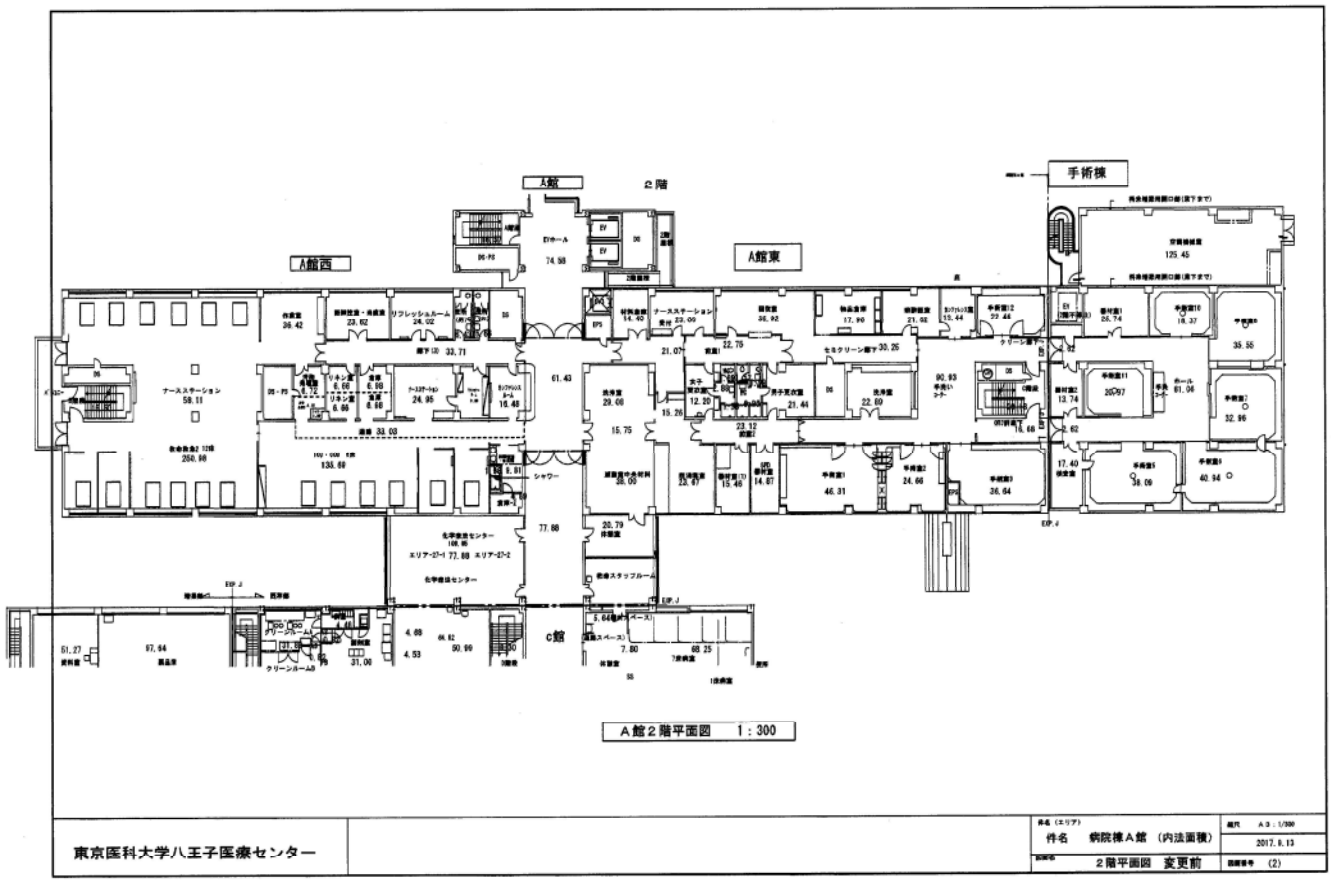
件名（エリア）
件名　病院棟A館（内法面積）
図面名
地階平面図
縮尺　A3：1/300
2015.11.30
図面番号　(2)

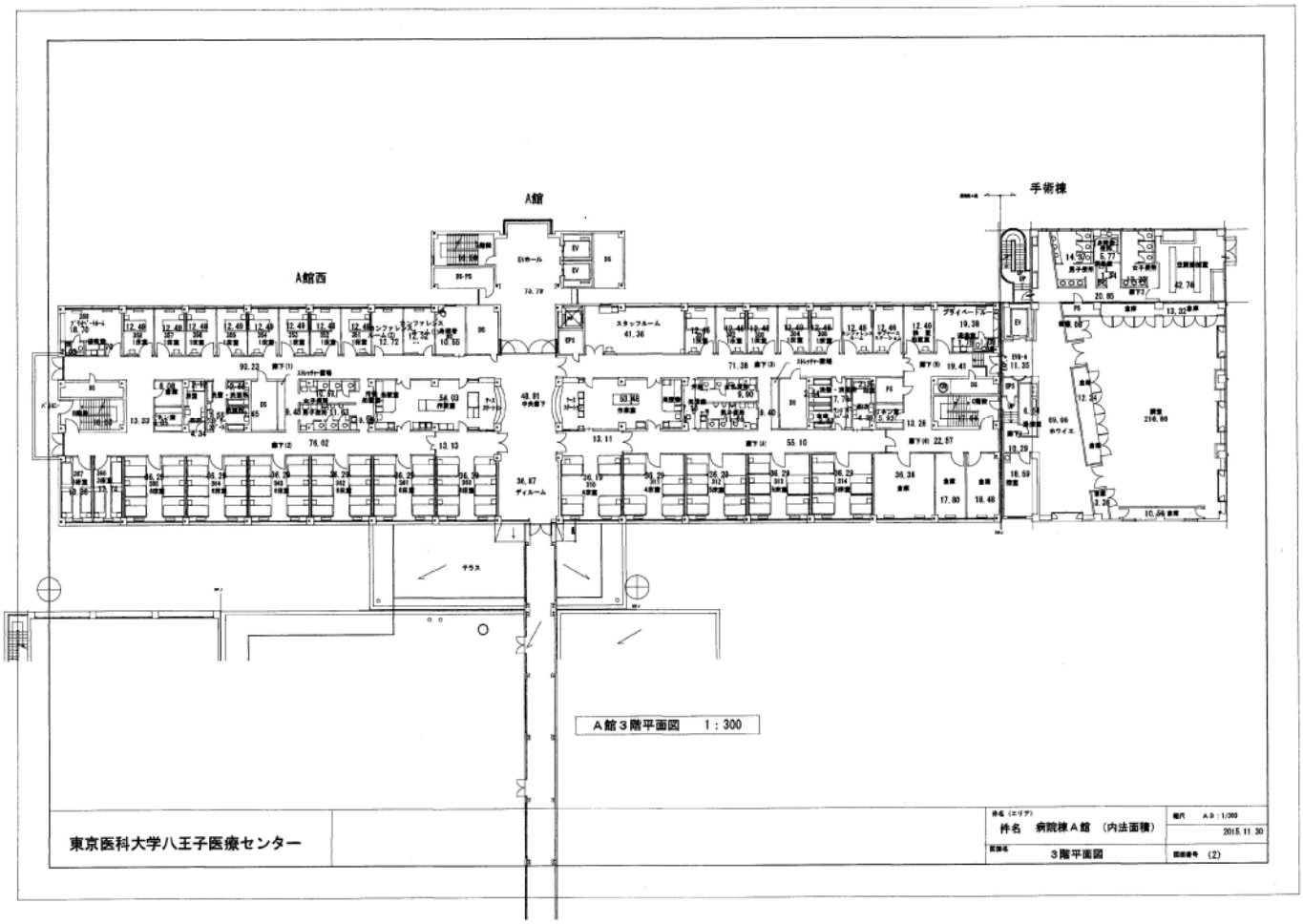


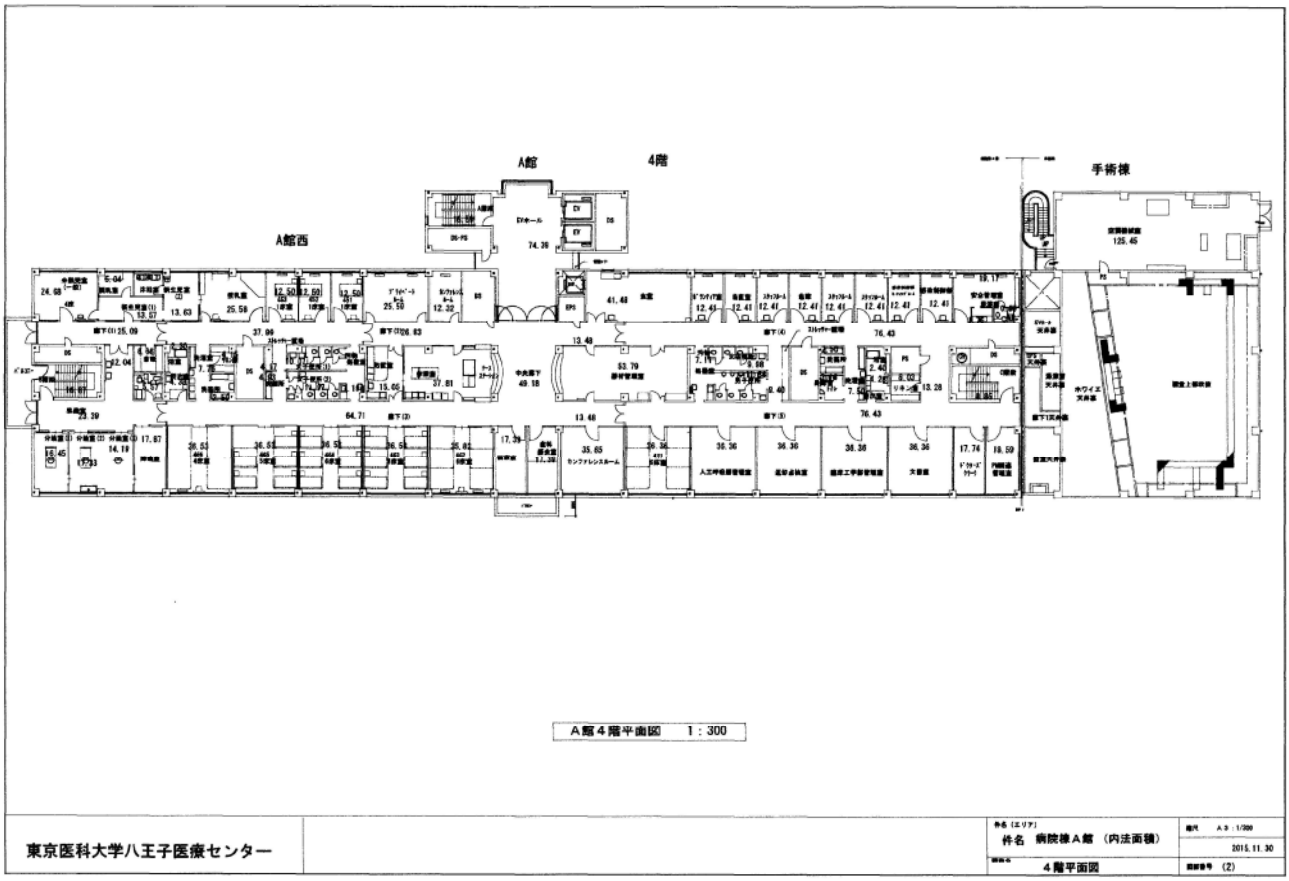
A館1階平面図　1：300

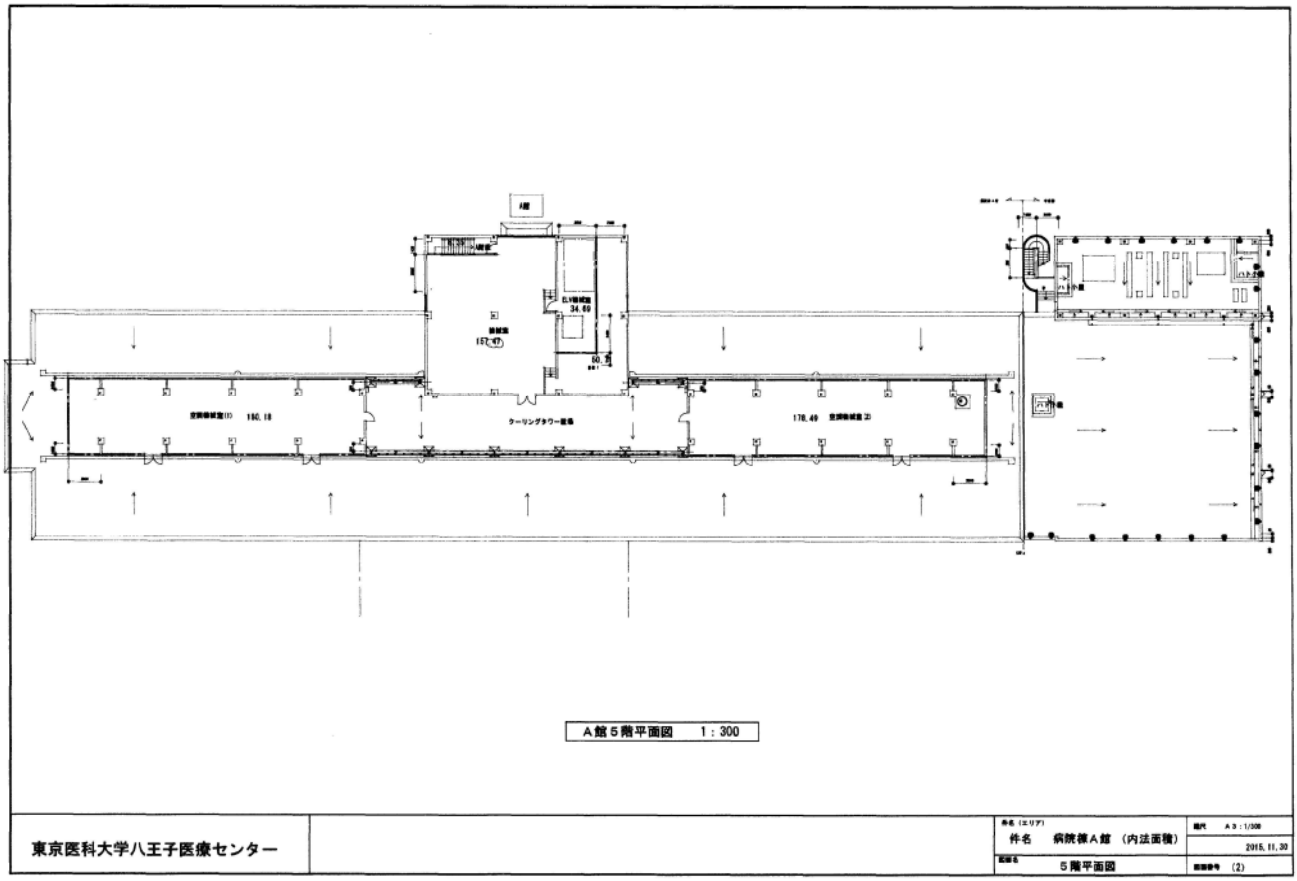
東京医科大学八王子医療センター

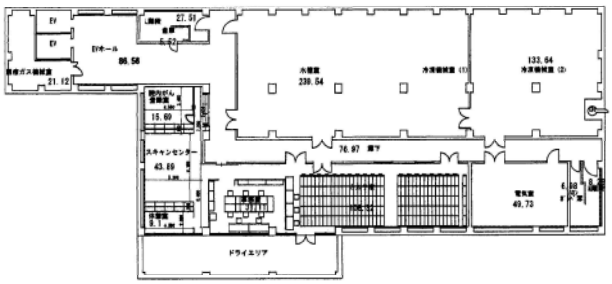
件名（エリア）
件名　病院棟A館（内法面積）
図面名
1階平面図
縮尺　A3：1/300
2015.11.30
図面番号　(2)


A館
2階
手術棟
A館西
A館東
A館２階平面図　1：300
東京医科大学八王子医療センター
件名　病院棟Ａ館　（内法面積）
2017.8.13
２階平面図　変更前
(2)


A館
手術棟
A館西
A館３階平面図　1：300
東京医科大学八王子医療センター
件名　病院棟Ａ館　（内法面積）
2015.11.30
３階平面図
(2)


A館
4階
手術棟
A館西
A館４階平面図　1：300
東京医科大学八王子医療センター
件名　病院棟Ａ館　（内法面積）
2015.11.30
４階平面図
(2)

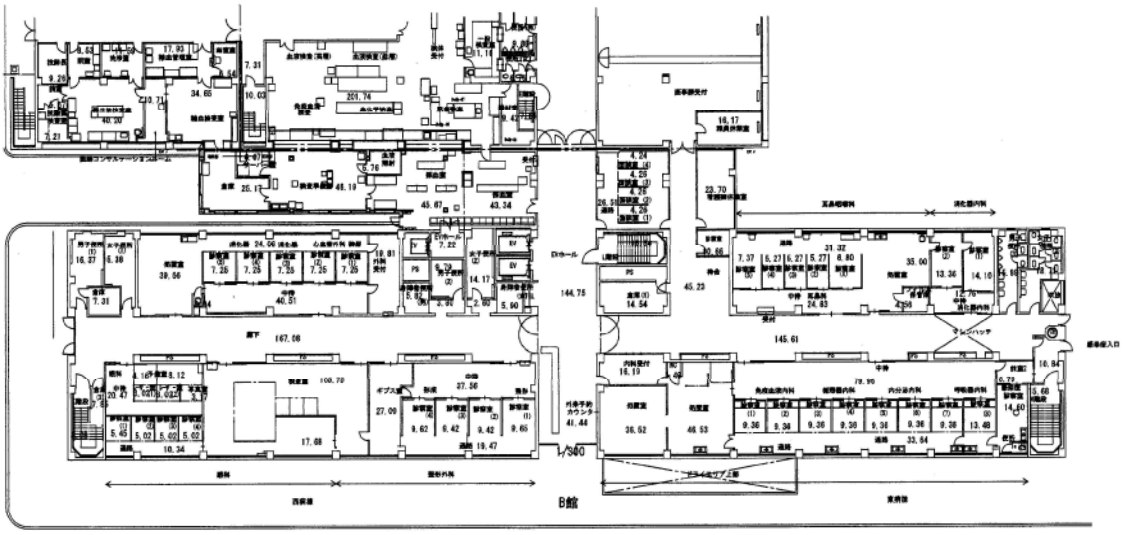

A館５階平面図　1：300
東京医科大学八王子医療センター
件名　病院棟Ａ館　（内法面積）
2015.11.30
５階平面図
(2)



B館地下階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター

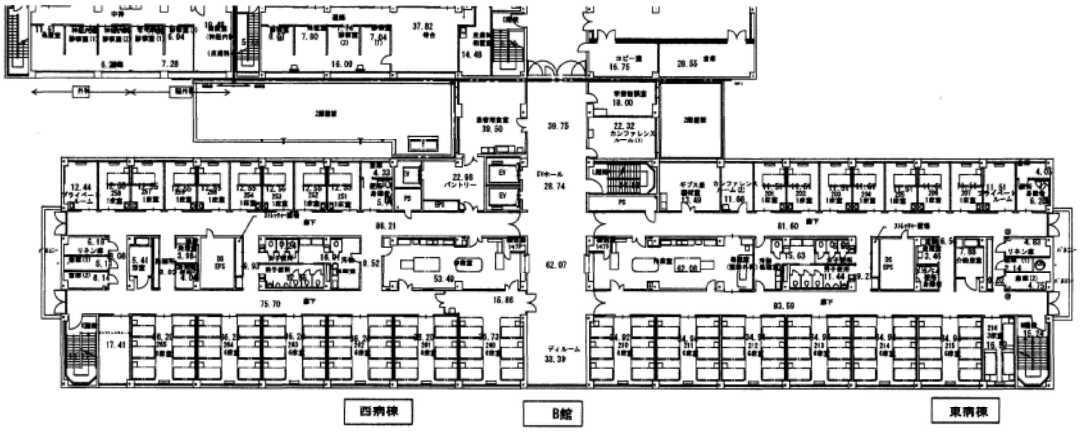
件名（エリア）	
件名	病院棟B館（内法面積）
縮尺	A3：1/300
	2015.11.30
図面名	地下階平面図
図面番号	(2)



B館1階平面図　1：300

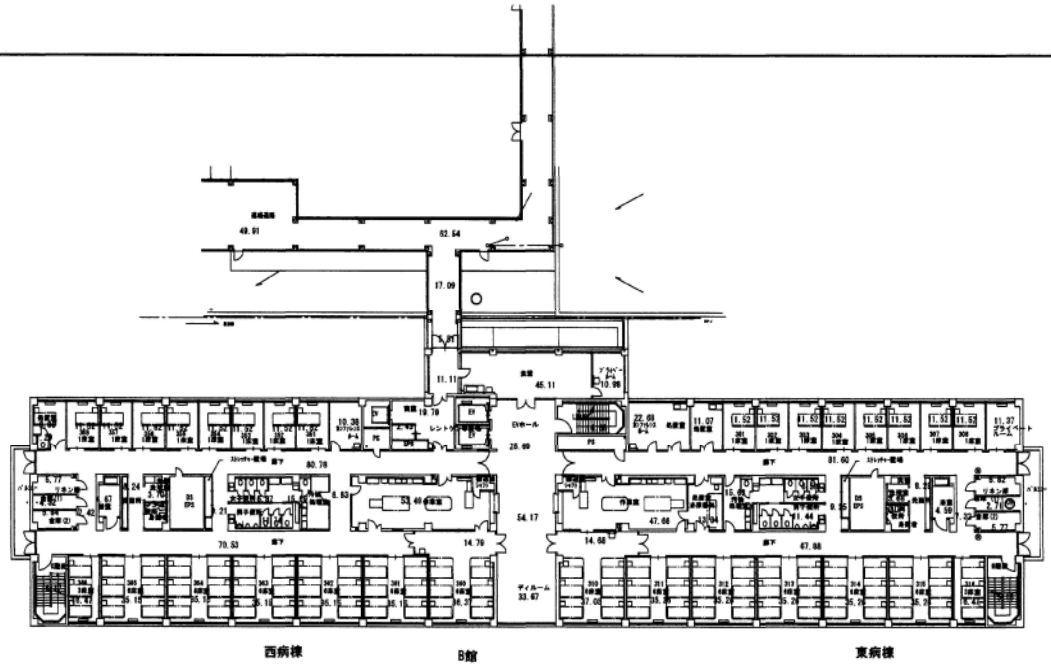
東京医科大学八王子医療センター

件名（エリア）	
件名	病院棟B館（内法面積）
縮尺	A3：1/300
	2015.11.30
図面名	1階平面図
図面番号	(2)



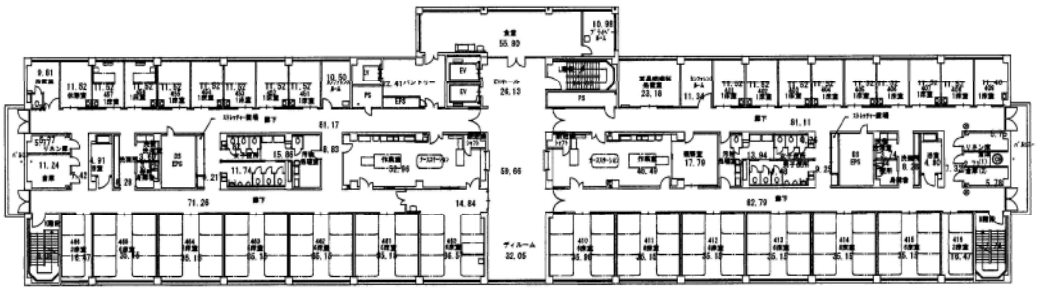
B館２階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名　病院棟Ｂ館（内法面積）	縮尺　A3：1/300
		図面名 ２階平面図	図面番号　(2)



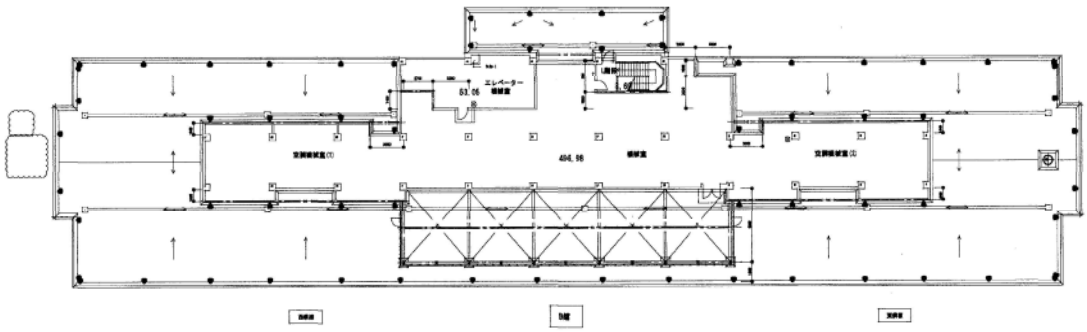
B館３階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名　病院棟Ｂ館（内法面積）	縮尺　A3：1/300 2015.11.30
		図面名 ３階平面図	図面番号　(2)



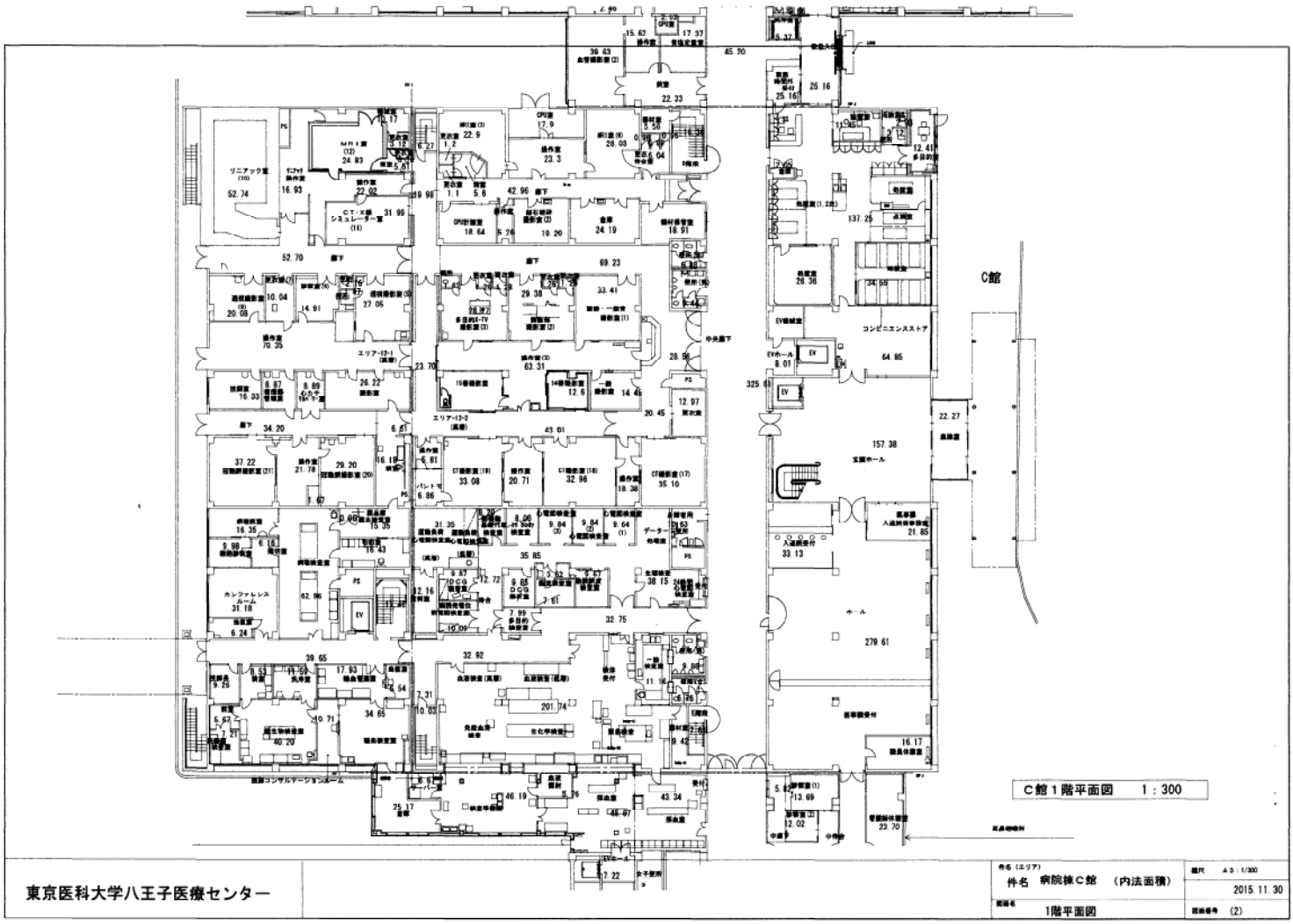
B館4階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名 病院棟B館（内法面積）	縮尺 A3：1/300
			2015.11.30
		図面名 4階平面図	図面番号 (2)

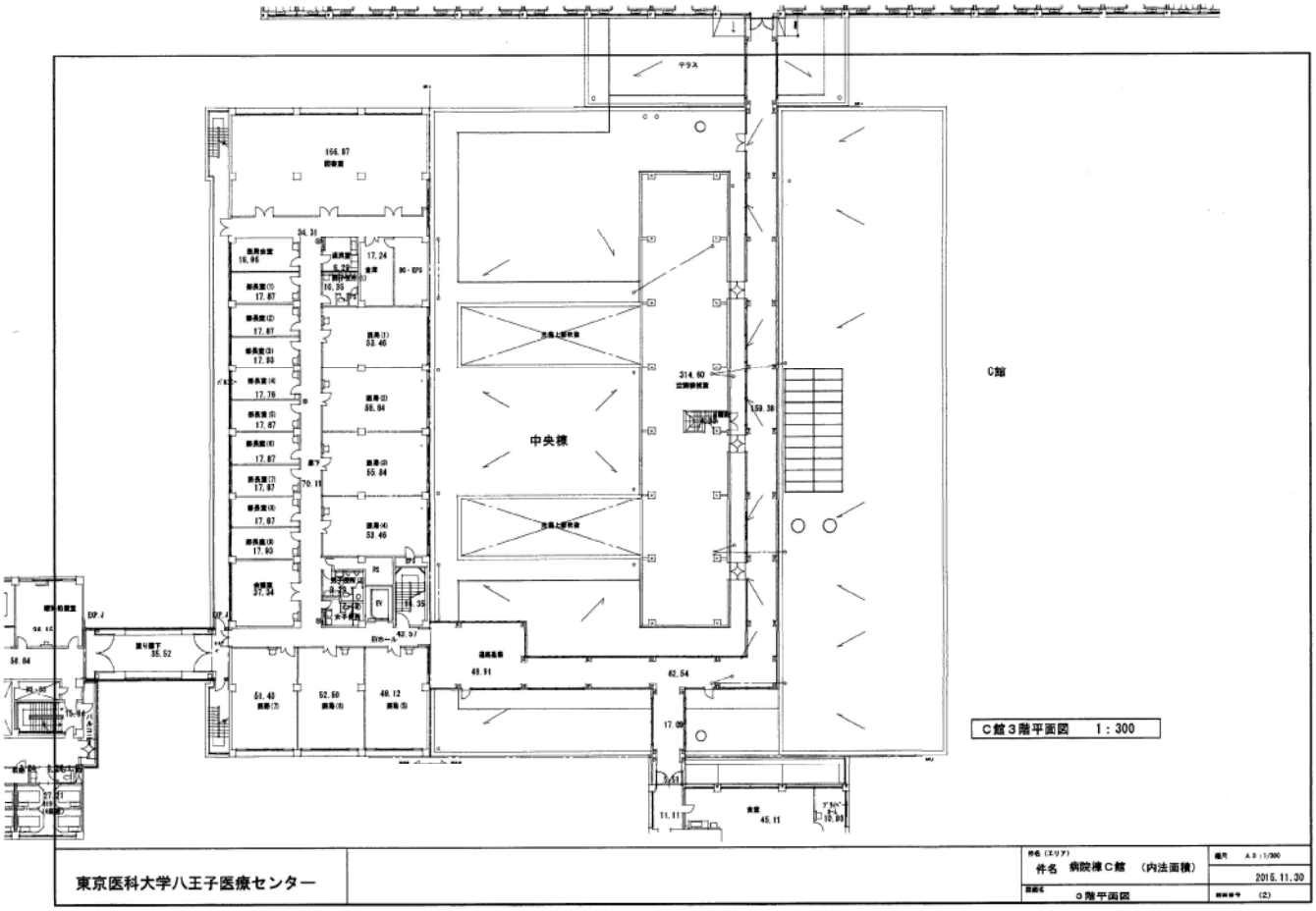


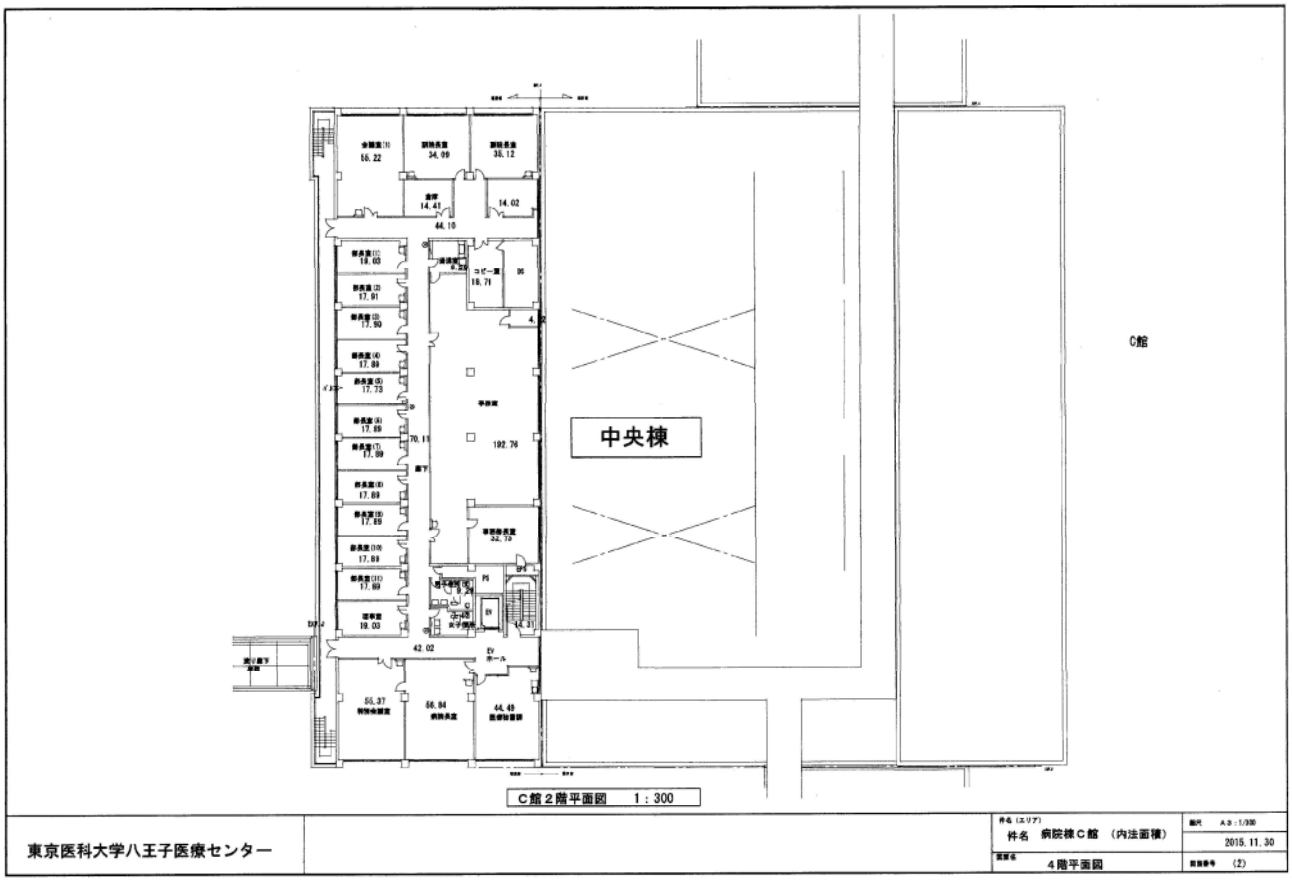
B館5階平面図　1：300

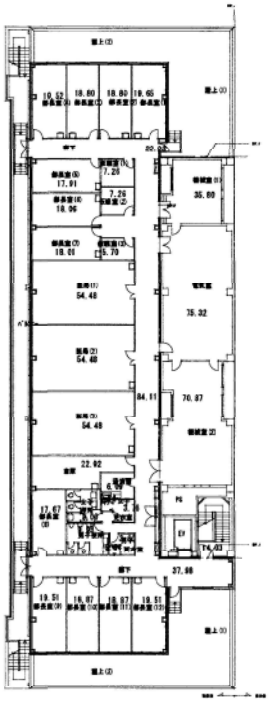
東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名 病院棟B館（内法面積）	縮尺 A3：1/300
			(2) 2015.11.30
		図面名 5階平面図	図面番号 (2)


C館
C館１階平面図　1：300
東京医科大学八王子医療センター
件名（エリア）
件名　病院棟C館　（内法面積）
縮尺　A3：1/300
2015.11.30
図面名
1階平面図
図面番号　(2)


C館
C館２階平面図　1：300
東京医科大学八王子医療センター
件名（エリア）
件名　病院棟C館　（内法面積）
縮尺　A3：1/300
2019.4.1
図面名
2階平面図
図面番号　(2)

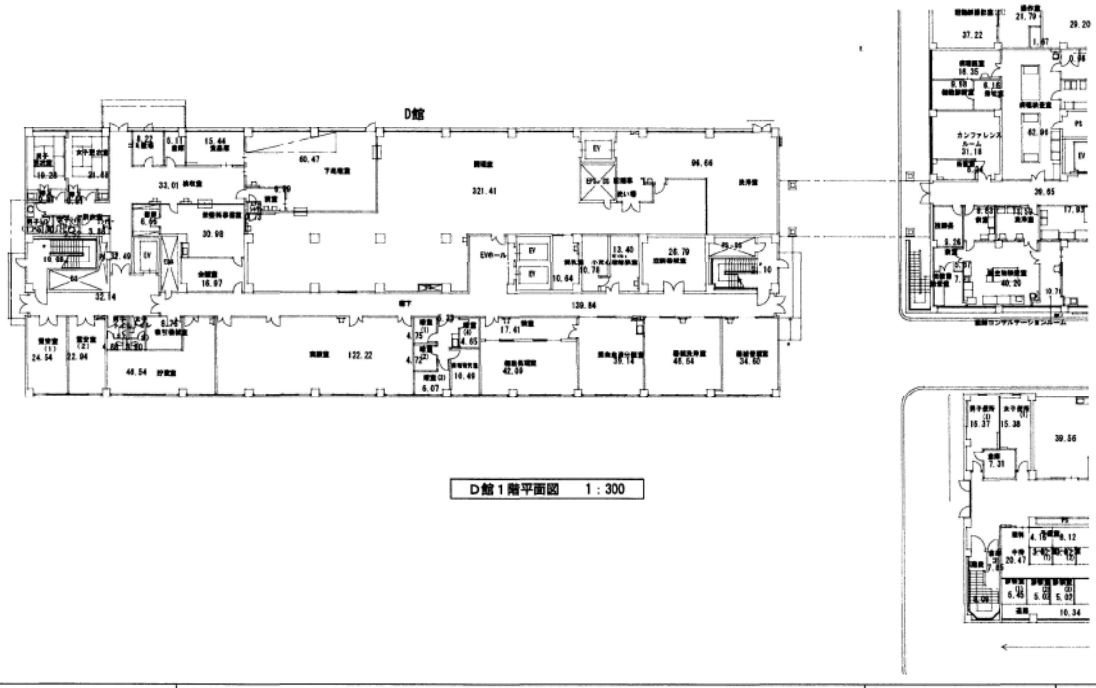

中央棟
C館
C館３階平面図　1：300
東京医科大学八王子医療センター
件名　病院棟C館　（内法面積）
2015.11.30
○階平面図


中央棟
C館
C館２階平面図　1：300
東京医科大学八王子医療センター
件名　病院棟C館　（内法面積）
2015.11.30
４階平面図



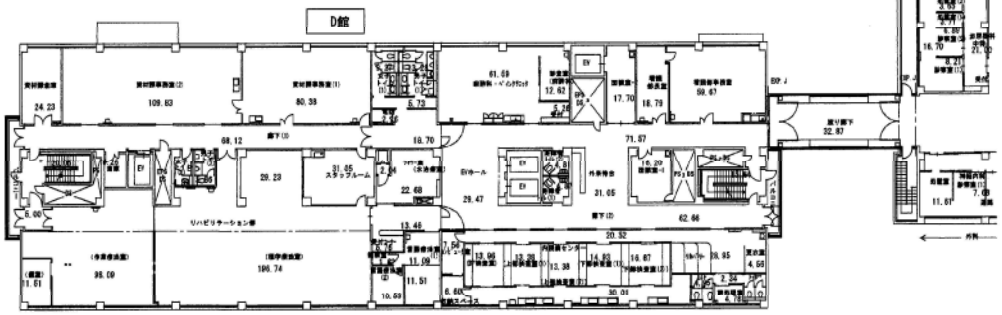
C館５階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名　病院棟Ｃ館　（内法面積）	縮尺　A3：1/300 2015.11.30
		図面名 ５階平面図	図面番号　(2)



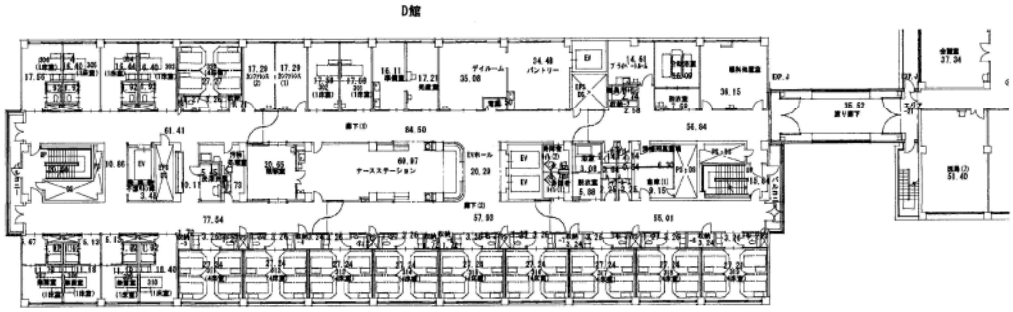
D館１階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名　病院棟Ｄ館　（内法面積）	縮尺　A3：1/300 2015.11.30
		図面名 １階平面図	図面番号　(2)



D館２階平面図　1：300

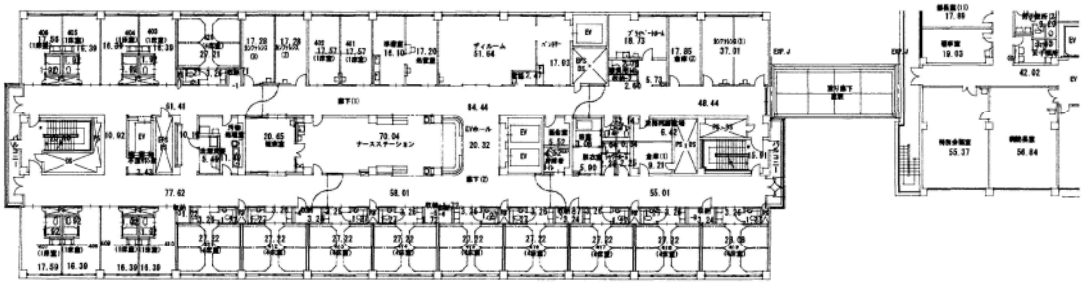
東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名　病院棟Ｄ館　（内法面積）	縮尺　A3：1/300 2015.11.30
		図面名 ２階平面図	図面番号　(2)



D館３階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名　病院棟Ｄ館　（内法面積）	縮尺　A3：1/300 2015.11.30
		図面名 ３階平面図	図面番号　(2)

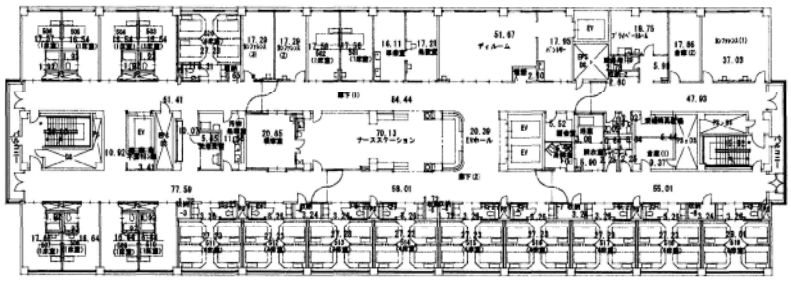
D館



D館４階平面図　1：300

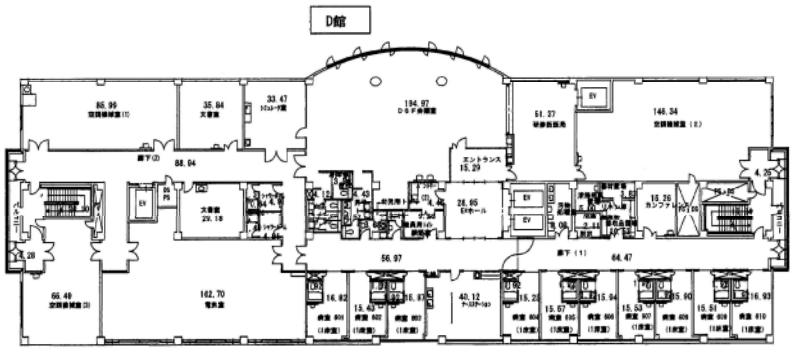
東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名　病院棟Ｄ館　（内法面積）	縮尺　A3：1/300 2015.11.30
		図面名 ４階平面図	図面番号　(2)

D館



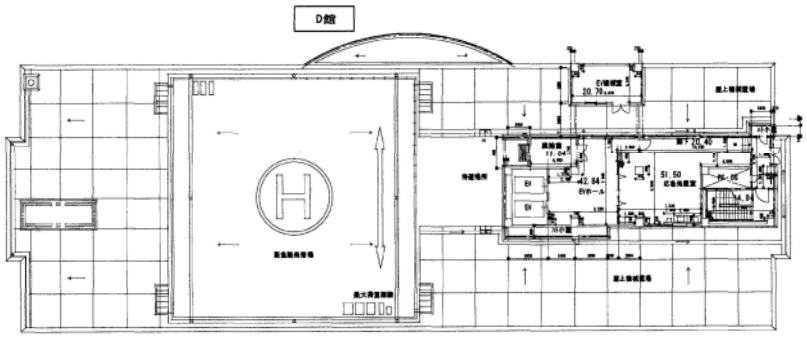
D館５階平面図　1：300

東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名　病院棟Ｄ館　（内法面積）	縮尺　A3：1/300 2015.11.30
		図面名 ５階平面図	図面番号　(2)



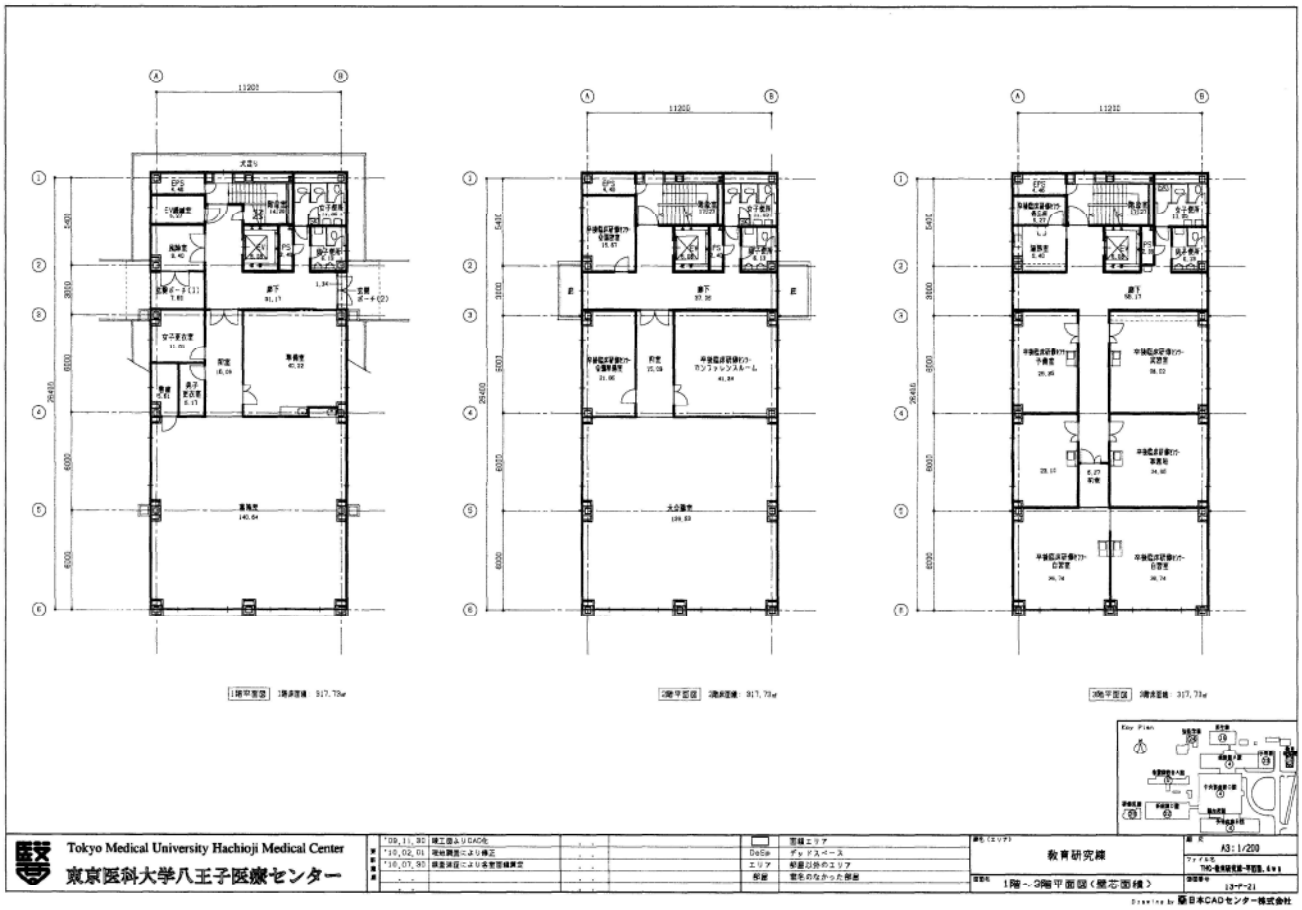
D館６階平面図　1：300

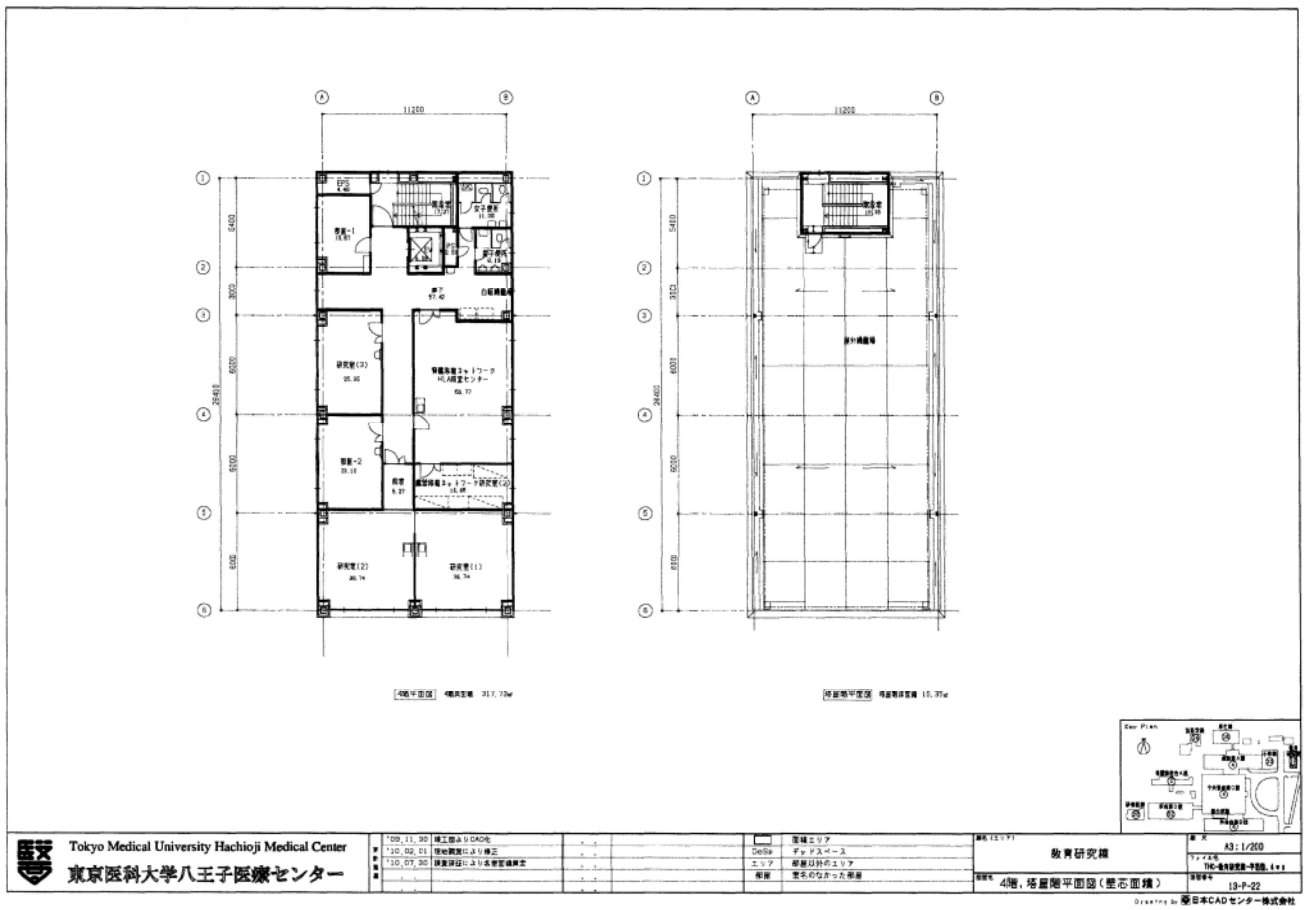
東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名　病院棟Ｄ館　（内法面積）	縮尺　A3：1/300 2015.11.30
		図面名 ５階平面図	図面番号　(2)



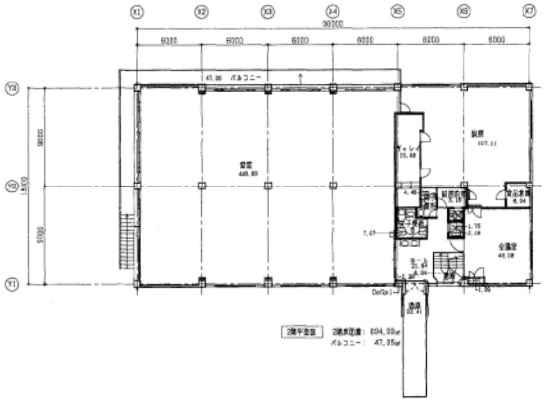
D館７階平面図　1：300

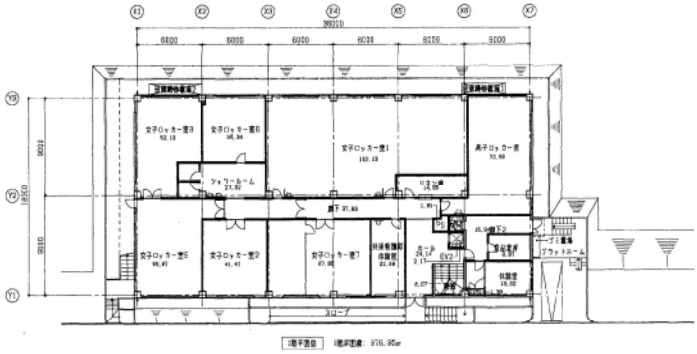
東京医科大学八王子医療センター		件名（エリア） 件名　病院棟Ｄ館　（内法面積）	縮尺　A3：1/300 2015.11.30
		図面名 ７階平面図	図面番号　(3)

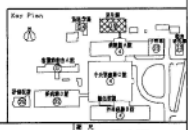

1階平面図
2階平面図
3階平面図
Key Plan
Tokyo Medical University Hachioji Medical Center
東京医科大学八王子医療センター
教育研究棟
1階～3階平面図（壁芯面積）
A3：1/200
13-P-21
Drawing by 日本CADセンター株式会社


4階平面図
塔屋階平面図
Key Plan
Tokyo Medical University Hachioji Medical Center
東京医科大学八王子医療センター
教育研究棟
4階，塔屋階平面図（壁芯面積）
A3：1/200
13-P-22
Drawing by 日本CADセンター株式会社

変更後

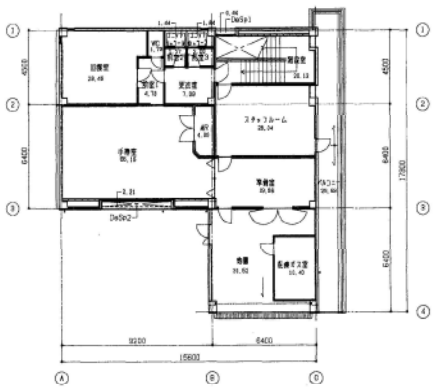


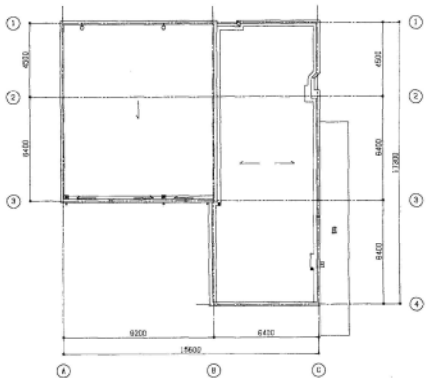


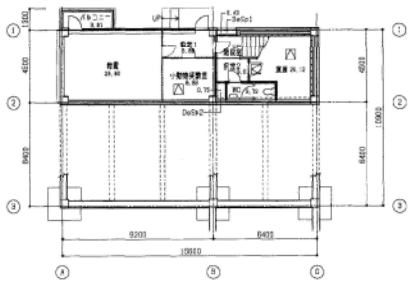


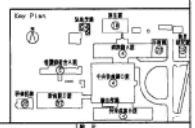
Tokyo Medical University Hachioji Medical Center 東京医科大学八王子医療センター	'09.11.30	構工図よりCAD化		実構エリア	厚生棟	A3:1/300
	'10.02.01	現地調査により修正		DeSp デッドスペース		TMD-厚生棟-平面図.dwg
	'10.07.30	設備調査により各室面積算定		エリア 部屋以外のエリア	1階，2階平面図（壁芯面積）	10-P-21
	'13.10.21	事業名称変更 看護師ラウンジ→ロッカー室?		部屋 空名のなかった部屋		

Display by 日本CADセンター株式会社



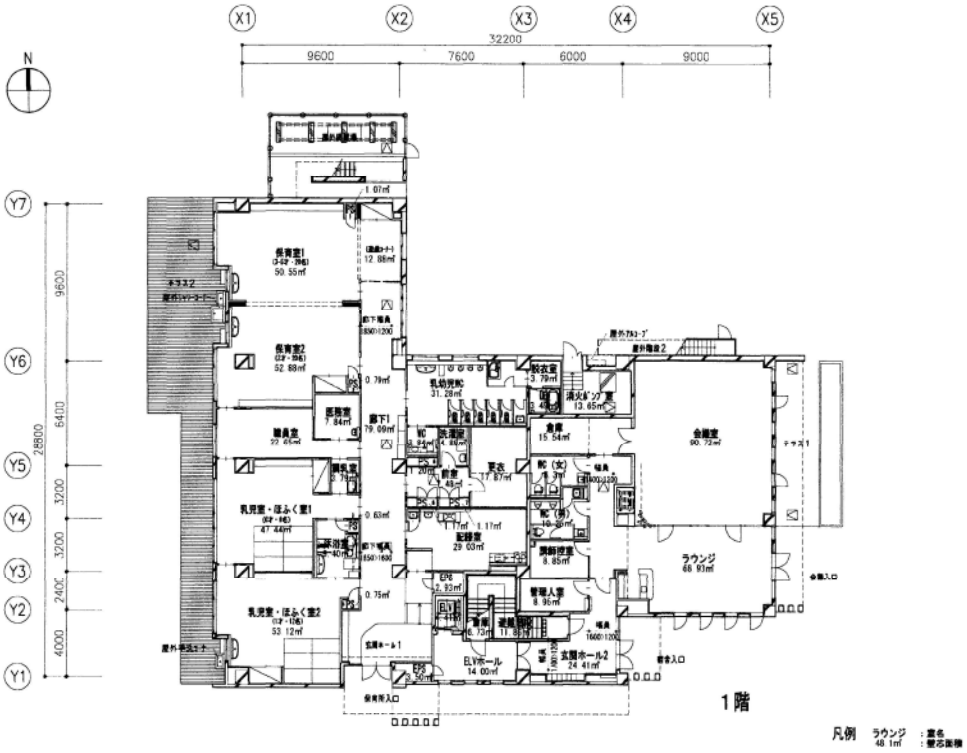


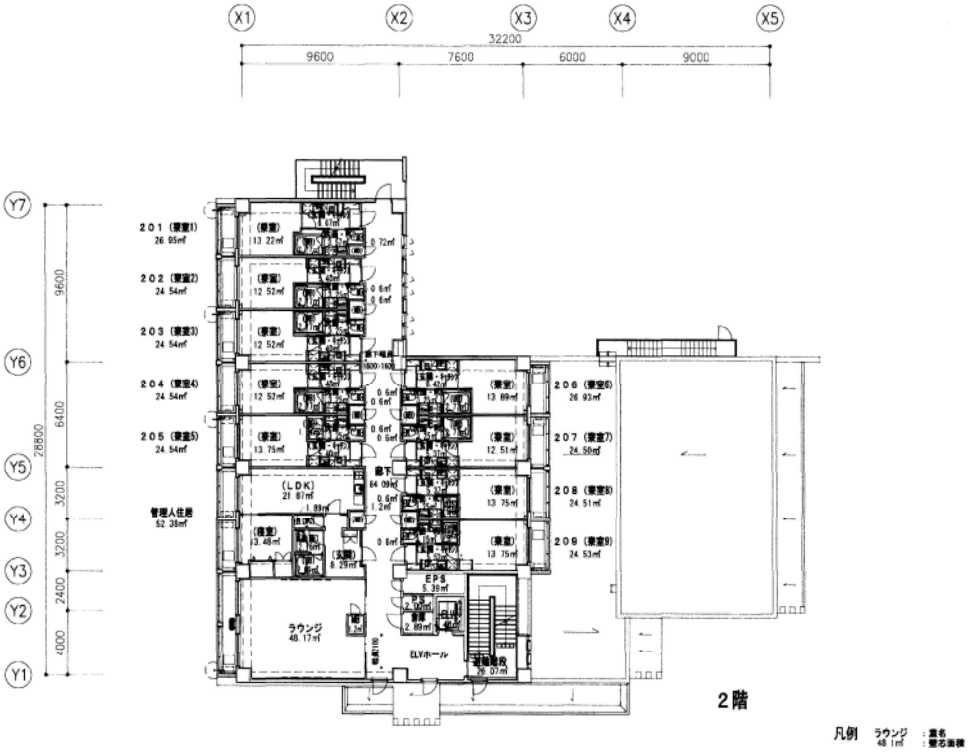


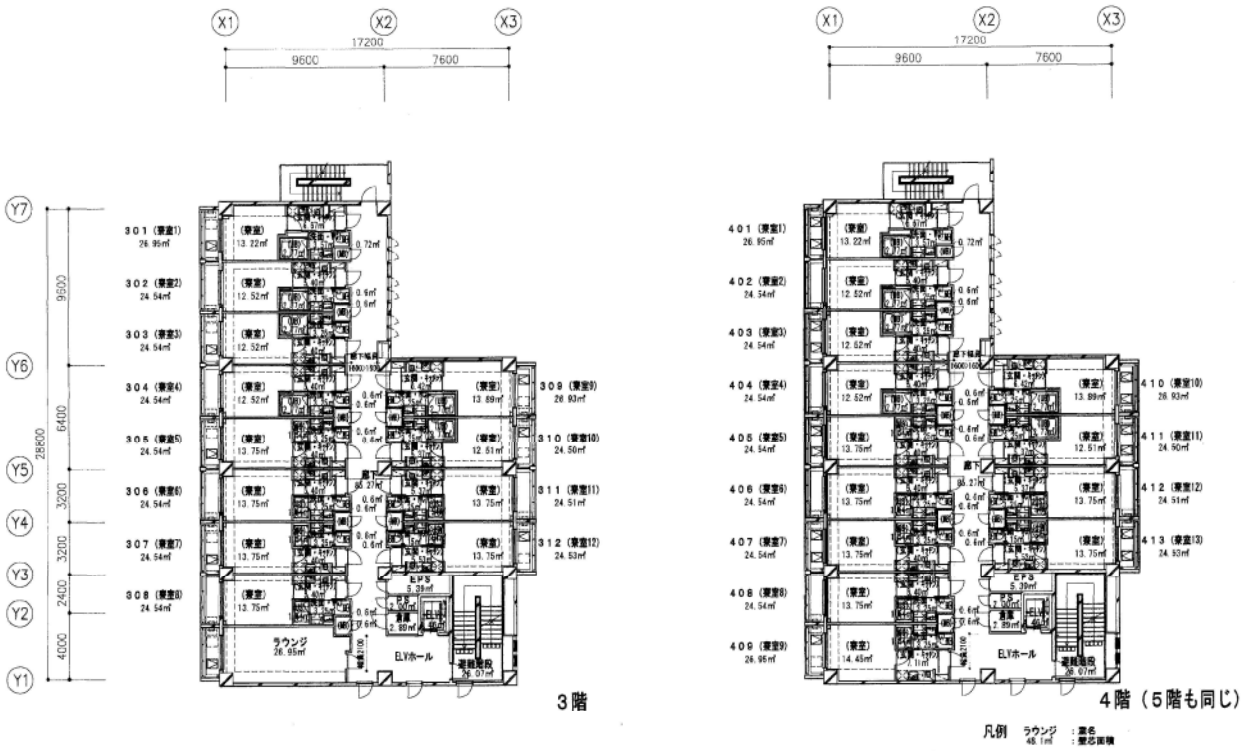


Tokyo Medical University Hachioji Medical Center 東京医科大学八王子医療センター	'09.11.30	構工図よりCAD化		実構エリア	法医学棟	A3:1/200
	'10.02.01	現地調査により修正		DeSp デッドスペース		TMD-法医学棟-平面図.dwg
	'10.07.30	設備諸元により各室面積算定		エリア 部屋以外のエリア	地下1階，1階，屋根平面図（壁芯面積）	24-P-21
				部屋 空名のなかった部屋		

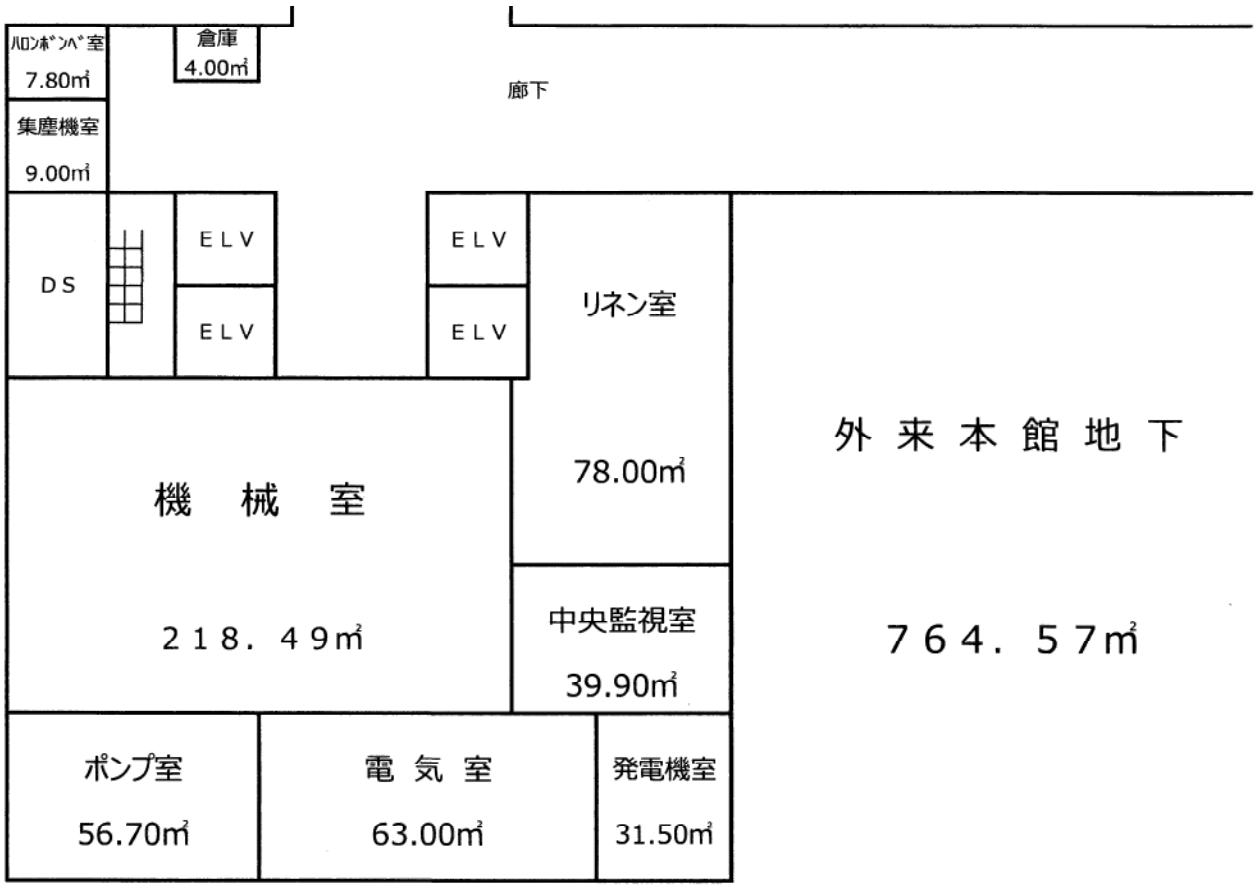
Display by 日本CADセンター株式会社


X1
X2
X3
X4
X5
32200
9600
7600
6000
9000
N
Y7
Y6
Y5
Y4
Y3
Y2
Y1
28800
9600
6400
3200
3200
2400
4000
保育室1
50.55㎡
保育室2
52.88㎡
乳児室・ほふく室1
47.44㎡
乳児室・ほふく室2
53.12㎡
乳児室
31.28㎡
倉庫
15.54㎡
会議室
90.72㎡
ラウンジ
48.93㎡
ELVホール
14.00㎡
玄関ホール2
24.41㎡
1階
凡例 ラウンジ 48.1㎡ ：室名 ：壁芯面積

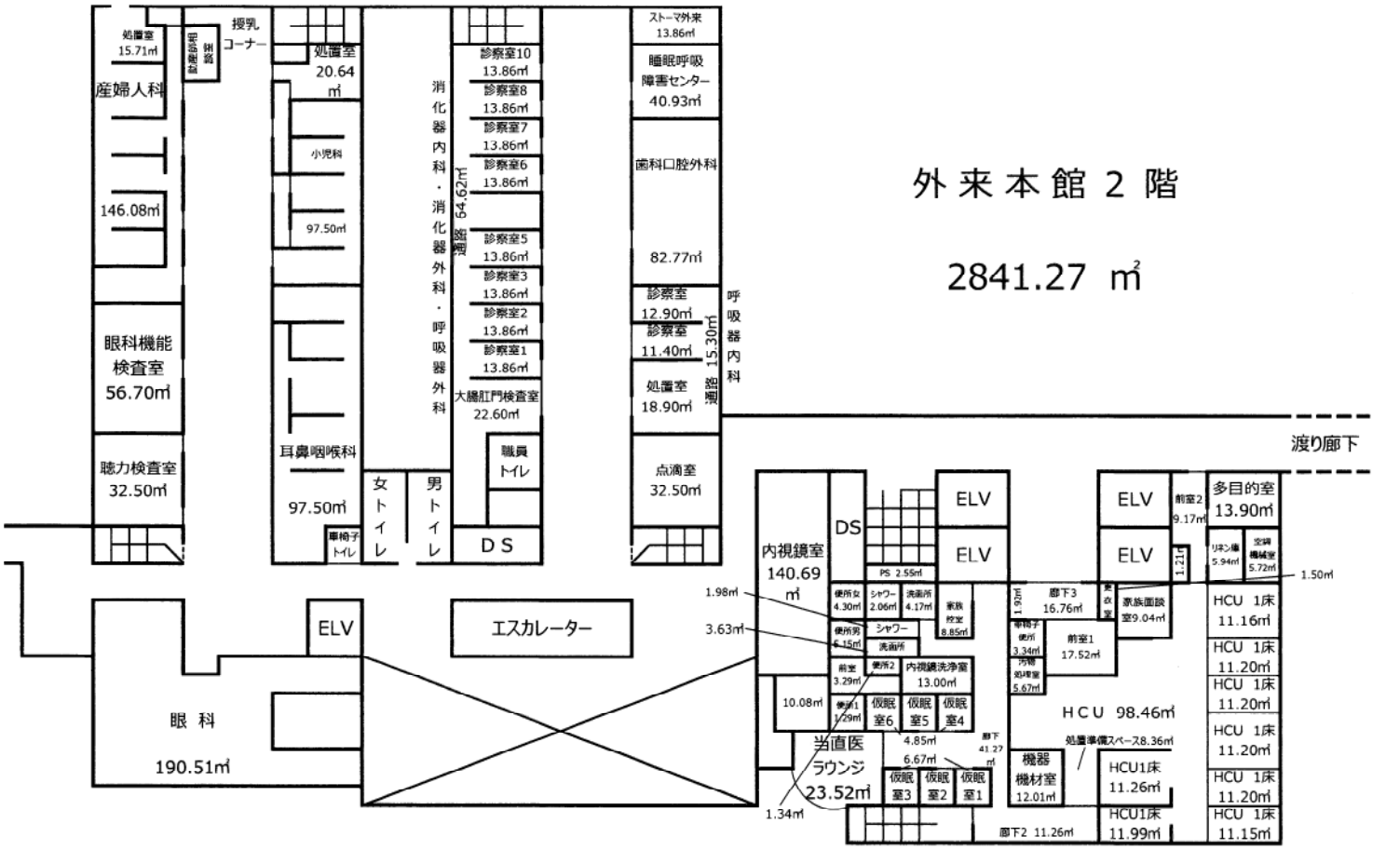

X1
X2
X3
X4
X5
32200
9600
7600
6000
9000
Y7
Y6
Y5
Y4
Y3
Y2
Y1
28800
9600
6400
3200
3200
2400
4000
201（保育室1）
26.95㎡
202（保育室2）
24.54㎡
203（保育室3）
24.54㎡
204（保育室4）
24.54㎡
205（保育室5）
24.54㎡
206（保育室6）
26.93㎡
207（保育室7）
24.50㎡
208（保育室8）
24.51㎡
209（保育室9）
24.53㎡
（LDK）
21.87㎡
管理人住居
52.38㎡
ラウンジ
48.17㎡
ELVホール
2階
凡例 ラウンジ 48.1㎡ ：室名 ：壁芯面積

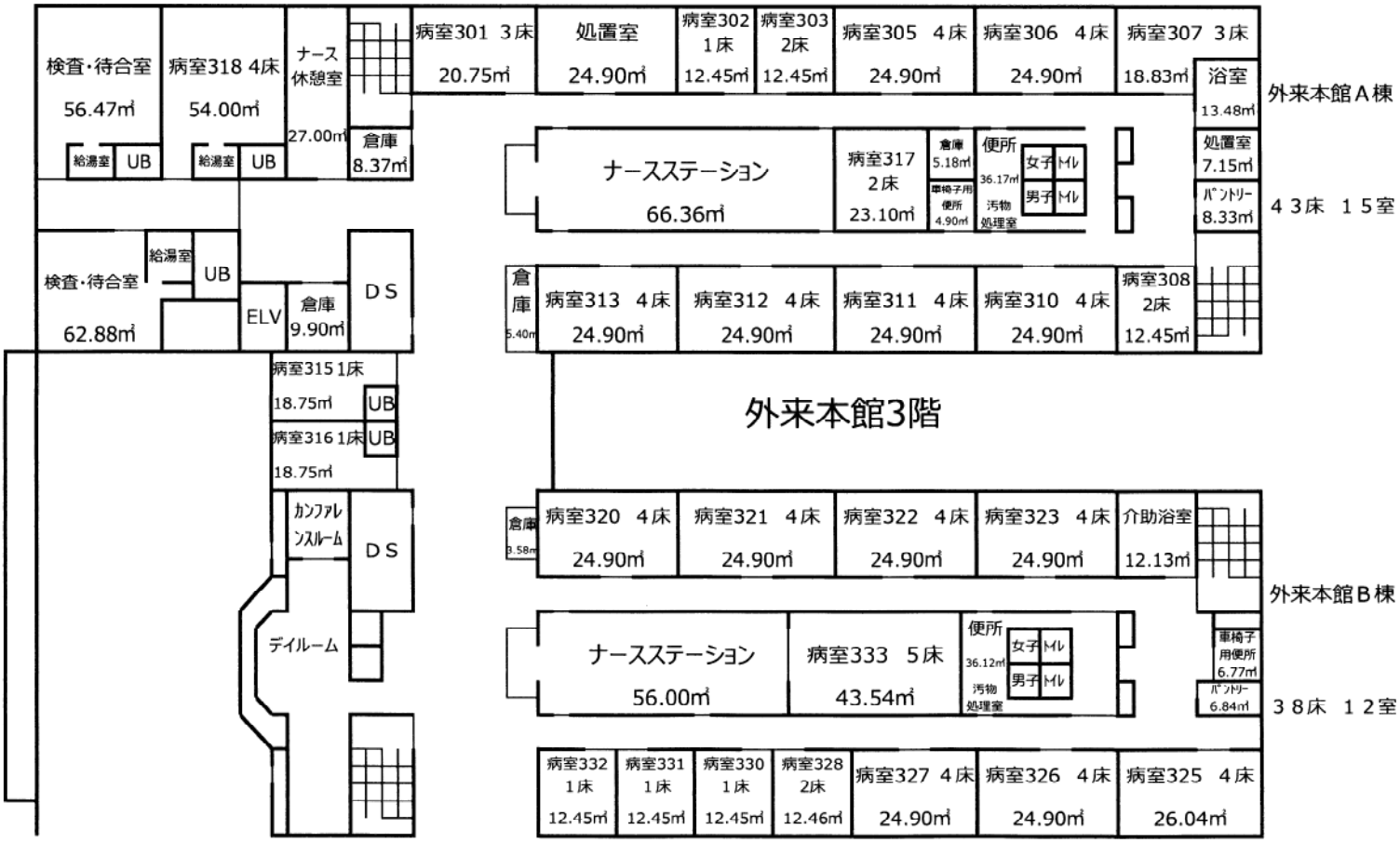


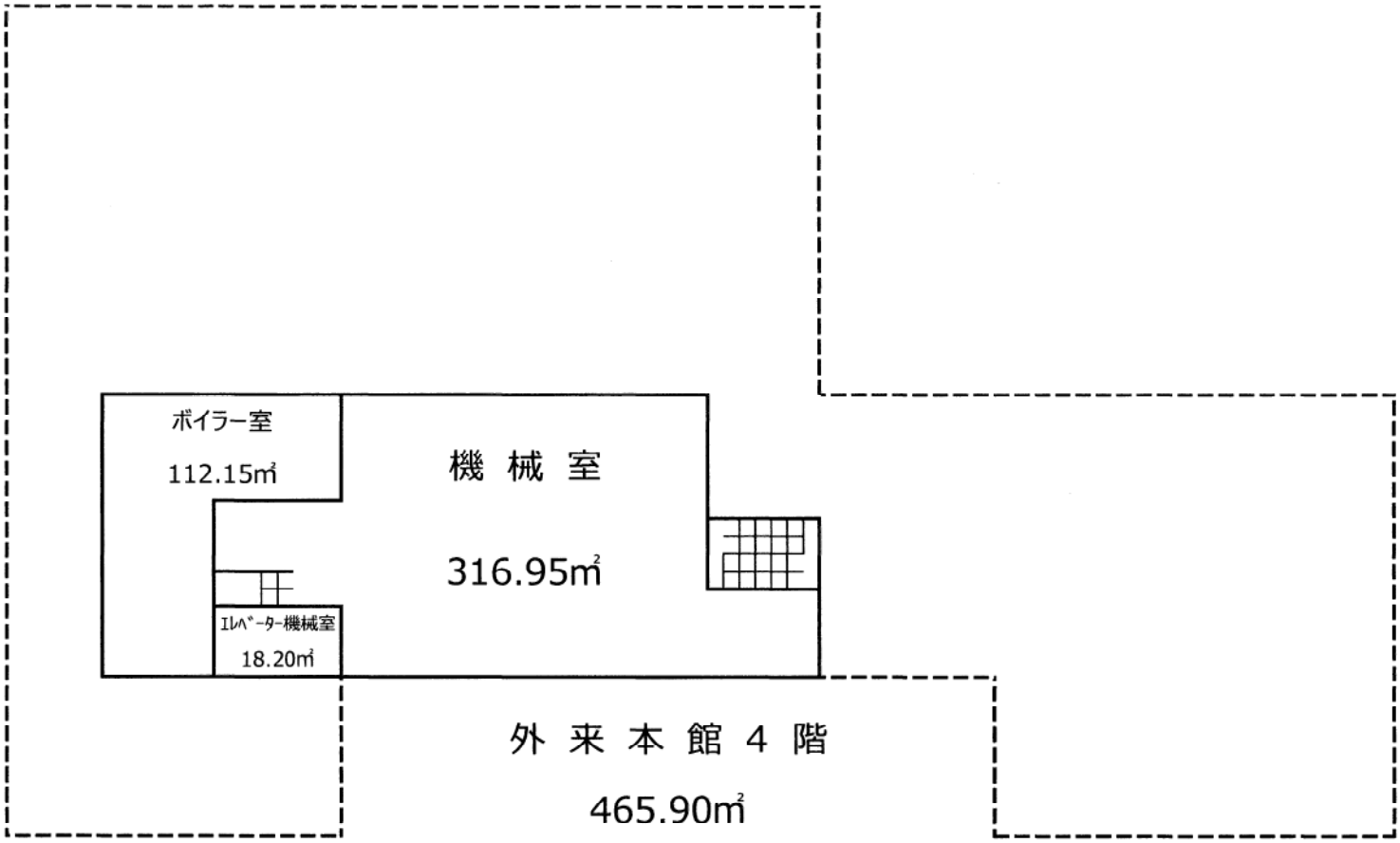
石本建築事務所 Ishimoto Architectural & Engineering Firm, Inc.

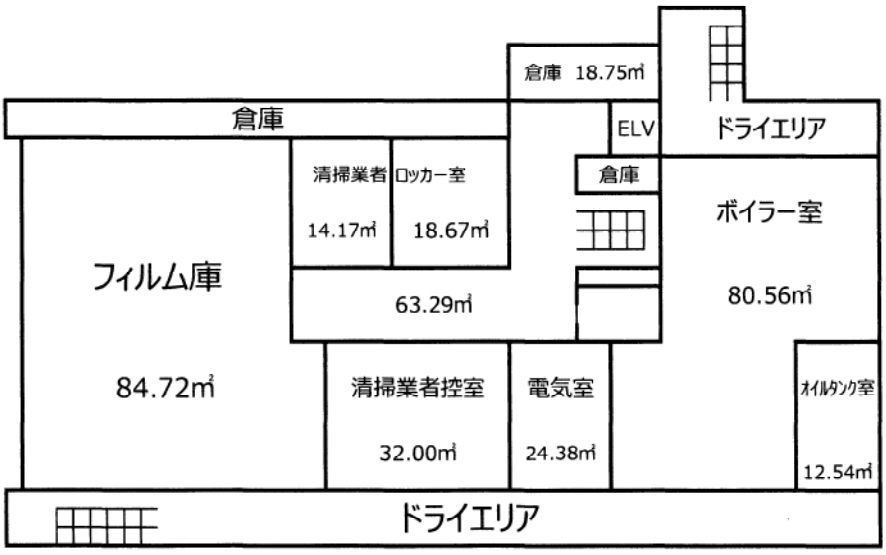

ﾊﾛﾝﾎﾟﾝﾍﾟ室
7.80㎡
倉庫
4.00㎡
廊下
集塵機室
9.00㎡
DS
ELV
ELV
ELV
ELV
リネン室
78.00㎡
外来本館地下
機械室
218.49㎡
中央監視室
39.90㎡
764.57㎡
ポンプ室
56.70㎡
電気室
63.00㎡
発電機室
31.50㎡


外来本館1階
3198.22 ㎡
泌尿器科
79.70㎡
28.23㎡
33.08㎡
88.19㎡
入院サポートセンター
総合相談・支援センター
脳神経外科脳神経内科処置室
63.74㎡
コピー室
6.28㎡
脳神経外科1
15.81㎡
脳神経外科2
16.74㎡
脳神経内科1
13.22㎡
脳神経内科2
10.70㎡
診察室9.94㎡
診察室10.50㎡
診察室12.03㎡
診察室
7.34㎡
診察室
7.34㎡
待合室
162.74㎡
中庭
女トイレ
男トイレ
診察室5
11.37㎡
診察室4
9.75㎡
診察室3
7.05㎡
診察室2
9.00㎡
診察室1
9.00㎡
前室
25.05㎡
受付
10.80㎡
代謝内分泌内科
感染症科
待合室
99.56㎡
整形外科
130.00㎡
待合室
98.18㎡
DS
予備室
7.63㎡
診察室C
11.80㎡
診察室B
18.97㎡
診察室A
21.12㎡
皮膚科
77.84㎡
形成外科
22.88㎡
レーザー治療室
32.28㎡
診察室
17.68㎡
乳腺外科
感染性廃棄物保管室兼
不潔リネン室 11.02㎡
渡り廊下
入退院窓口
12.88㎡
患者相談窓口
26.72㎡
DS
ELV
ELV
ELV
ELV
EPS
倉庫
3.0㎡
当直
13.20㎡
処置コーナー
15.60㎡
汚物処理室9.51㎡
救命救急室
180.30㎡
家族控室
16.90㎡
前室
21.36㎡
風除室
9.75㎡
ドトール
75.82㎡
ELV
エスカレーター
エントランス
総合相談・
支援センター
39.00㎡
文書受付
外来会計
入力計算
医事課 160.35㎡
初診受付
54.00㎡
夜間受付

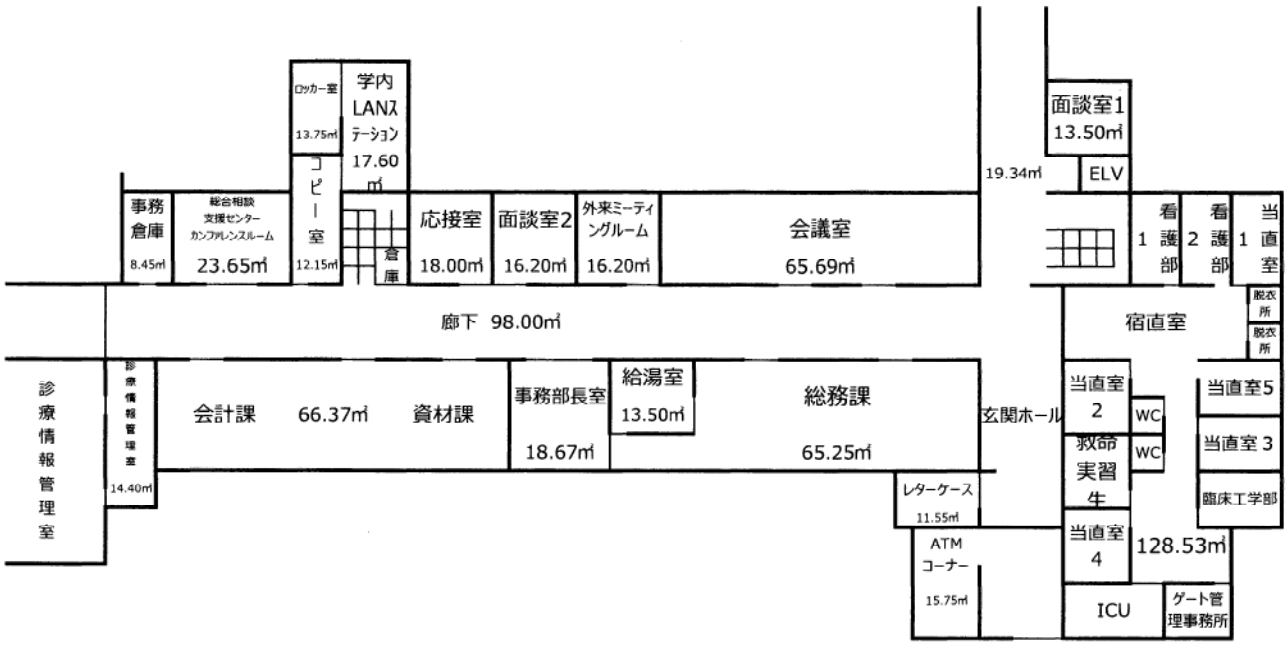

外来本館２階
2841.27 ㎡
産婦人科
146.08㎡
授乳コーナー
処置室 20.64㎡
小児科
97.50㎡
眼科機能検査室 56.70㎡
聴力検査室 32.50㎡
耳鼻咽喉科 97.50㎡
車椅子トイレ
女トイレ
男トイレ
消化器内科・消化器外科・呼吸器外科
診察室10 13.86㎡
診察室8 13.86㎡
診察室7 13.86㎡
診察室6 13.86㎡
診察室5 13.86㎡
診察室3 13.86㎡
診察室2 13.86㎡
診察室1 13.86㎡
大腸肛門検査室 22.60㎡
職員トイレ
ＤＳ
通路 64.62㎡
ストーマ外来 13.86㎡
睡眠呼吸障害センター 40.93㎡
歯科口腔外科 82.77㎡
診察室 12.90㎡
診察室 11.40㎡
処置室 18.90㎡
点滴室 32.50㎡
通路 15.30㎡
呼吸器内科
渡り廊下
内視鏡室 140.69㎡
ＤＳ
ELV
ELV
ELV
ELV
PS 2.55㎡
便所女 4.30㎡
シャワー 2.06㎡
洗面所 4.17㎡
便所男 6.15㎡
シャワー
洗面所
家族控室 8.85㎡
廊下3 16.76㎡
車椅子便所 3.34㎡
汚物処理室 5.67㎡
前室1 17.52㎡
更衣室
家族面談室9.04㎡
前室2 9.17㎡
多目的室 13.90㎡
リネン庫 5.94㎡
空調機械室 5.72㎡
前室 3.29㎡
便所2
内視鏡洗浄室 13.00㎡
便所1 1.29㎡
仮眠室6
仮眠室5
仮眠室4
10.08㎡
ＨＣＵ 98.46㎡
処置準備スペース8.36㎡
当直医ラウンジ 23.52㎡
仮眠室3
仮眠室2
仮眠室1
機器機材室 12.01㎡
HCU1床 11.26㎡
HCU1床 11.99㎡
廊下2 11.26㎡
HCU 1床 11.16㎡
HCU 1床 11.20㎡
HCU 1床 11.20㎡
HCU 1床 11.20㎡
HCU 1床 11.20㎡
HCU 1床 11.15㎡
1.98㎡
3.63㎡
1.34㎡
1.50㎡
眼科 190.51㎡
ELV
エスカレーター


外来本館3階
検査・待合室 56.47㎡
病室318 4床 54.00㎡
ナース休憩室 27.00㎡
給湯室
UB
給湯室
UB
倉庫 8.37㎡
病室301 3床 20.75㎡
処置室 24.90㎡
病室302 1床 12.45㎡
病室303 2床 12.45㎡
病室305 4床 24.90㎡
病室306 4床 24.90㎡
病室307 3床 18.83㎡
浴室 13.48㎡
処置室 7.15㎡
パントリー 8.33㎡
外来本館Ａ棟
４３床 １５室
ナースステーション 66.36㎡
病室317 2床 23.10㎡
倉庫 5.18㎡
車椅子用便所 4.90㎡
便所 36.17㎡
女子トイレ
男子トイレ
汚物処理室
検査・待合室 62.88㎡
給湯室
UB
ELV
倉庫 9.90㎡
ＤＳ
倉庫 5.40㎡
病室313 4床 24.90㎡
病室312 4床 24.90㎡
病室311 4床 24.90㎡
病室310 4床 24.90㎡
病室308 2床 12.45㎡
病室315 1床 18.75㎡
UB
病室316 1床 18.75㎡
UB
カンファレンスルーム
ＤＳ
デイルーム
倉庫 3.58㎡
病室320 4床 24.90㎡
病室321 4床 24.90㎡
病室322 4床 24.90㎡
病室323 4床 24.90㎡
介助浴室 12.13㎡
外来本館Ｂ棟
ナースステーション 56.00㎡
病室333 5床 43.54㎡
便所 36.12㎡
女子トイレ
男子トイレ
汚物処理室
車椅子用便所 6.77㎡
パントリー 6.84㎡
３８床 １２室
病室332 1床 12.45㎡
病室331 1床 12.45㎡
病室330 1床 12.45㎡
病室328 2床 12.46㎡
病室327 4床 24.90㎡
病室326 4床 24.90㎡
病室325 4床 26.04㎡

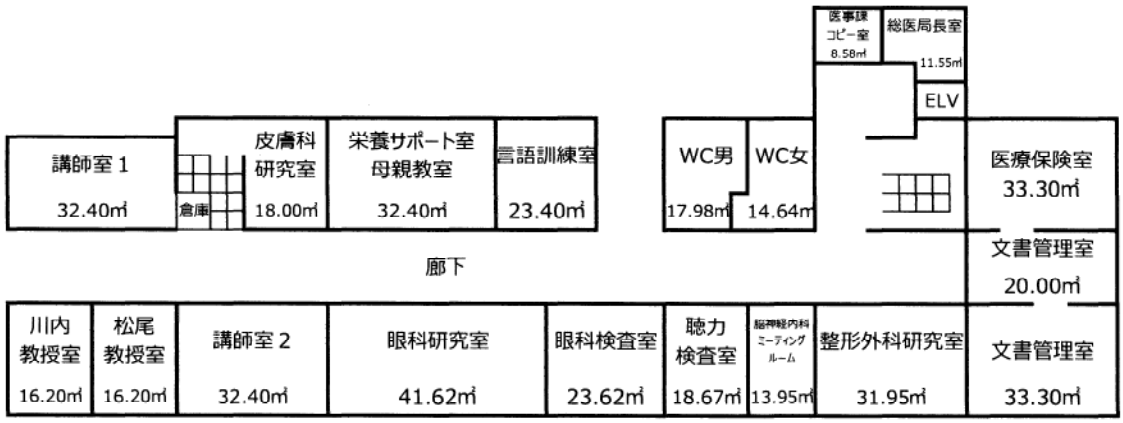




管理研究棟地下　　373.37㎡



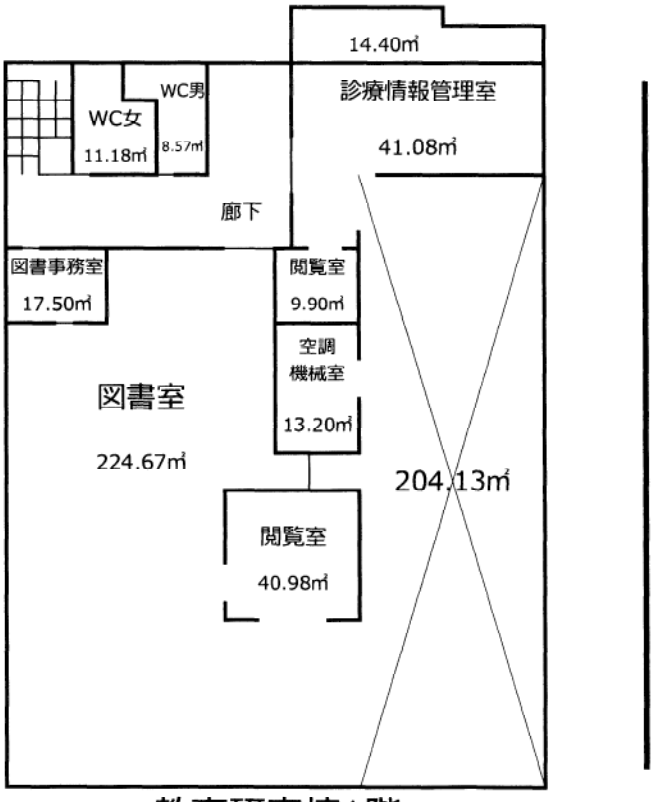
管理研究棟1階



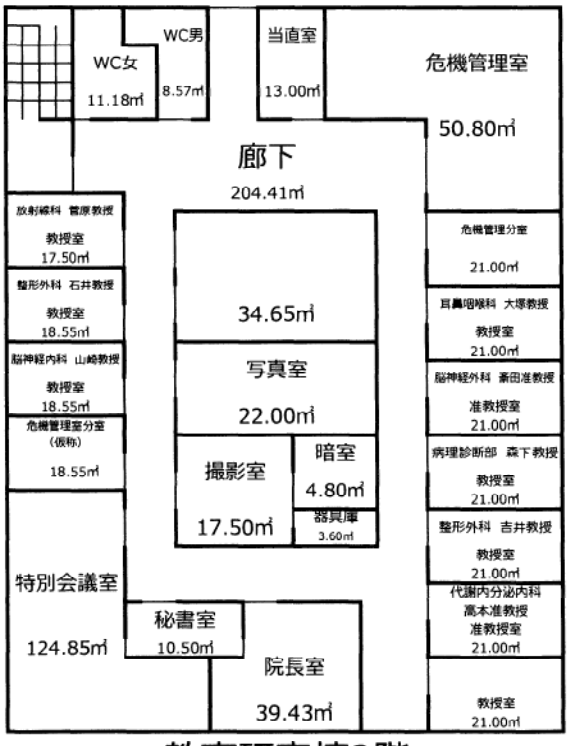
管理研究棟2階　　623.00㎡



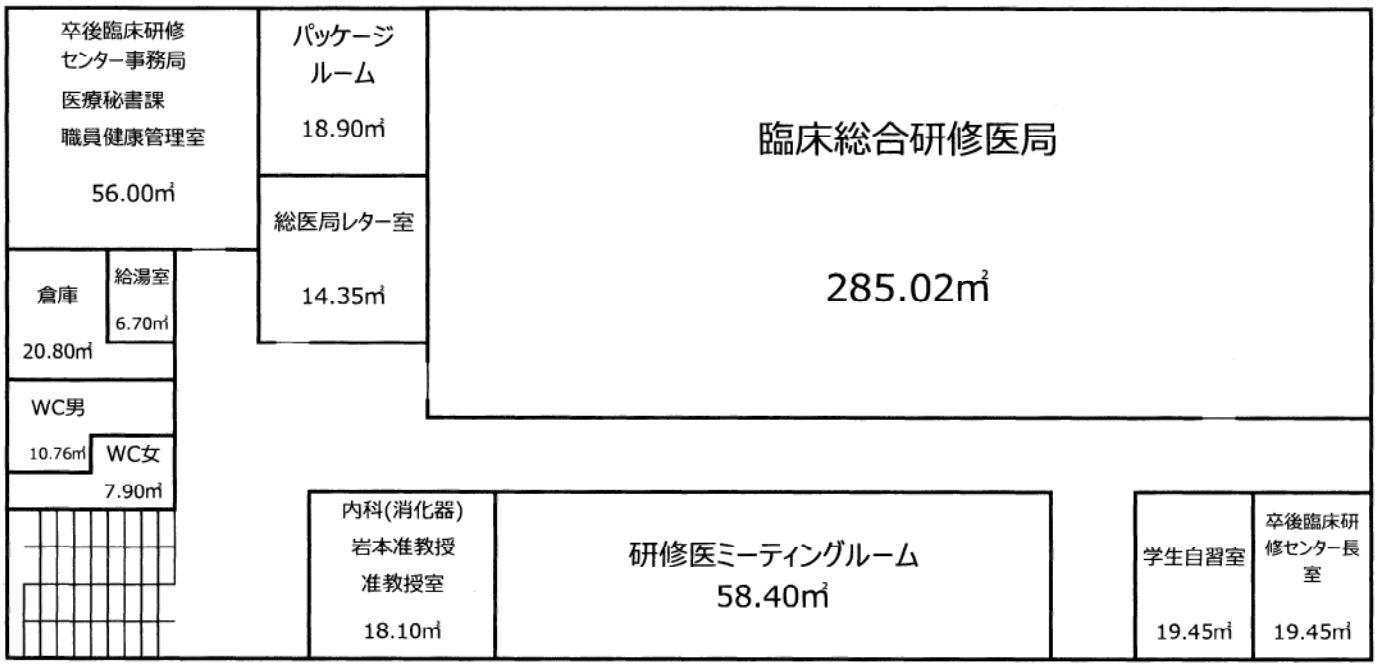
管理研究棟3階　　95.00㎡



教育研究棟1階



教育研究棟2階



教育研究棟　3階　　６５５．６２㎡



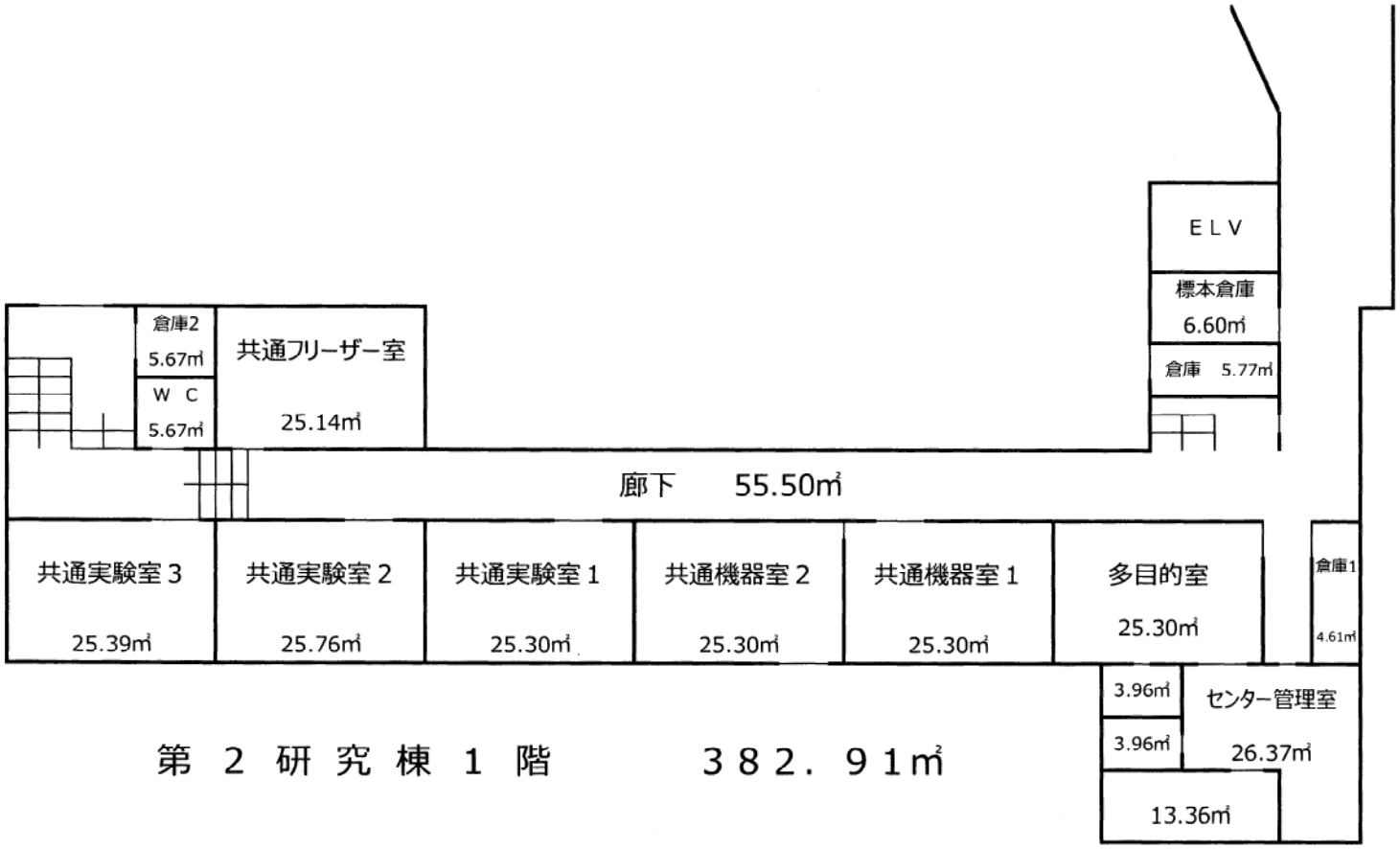
第１研究棟　１階　　４２９．４９㎡



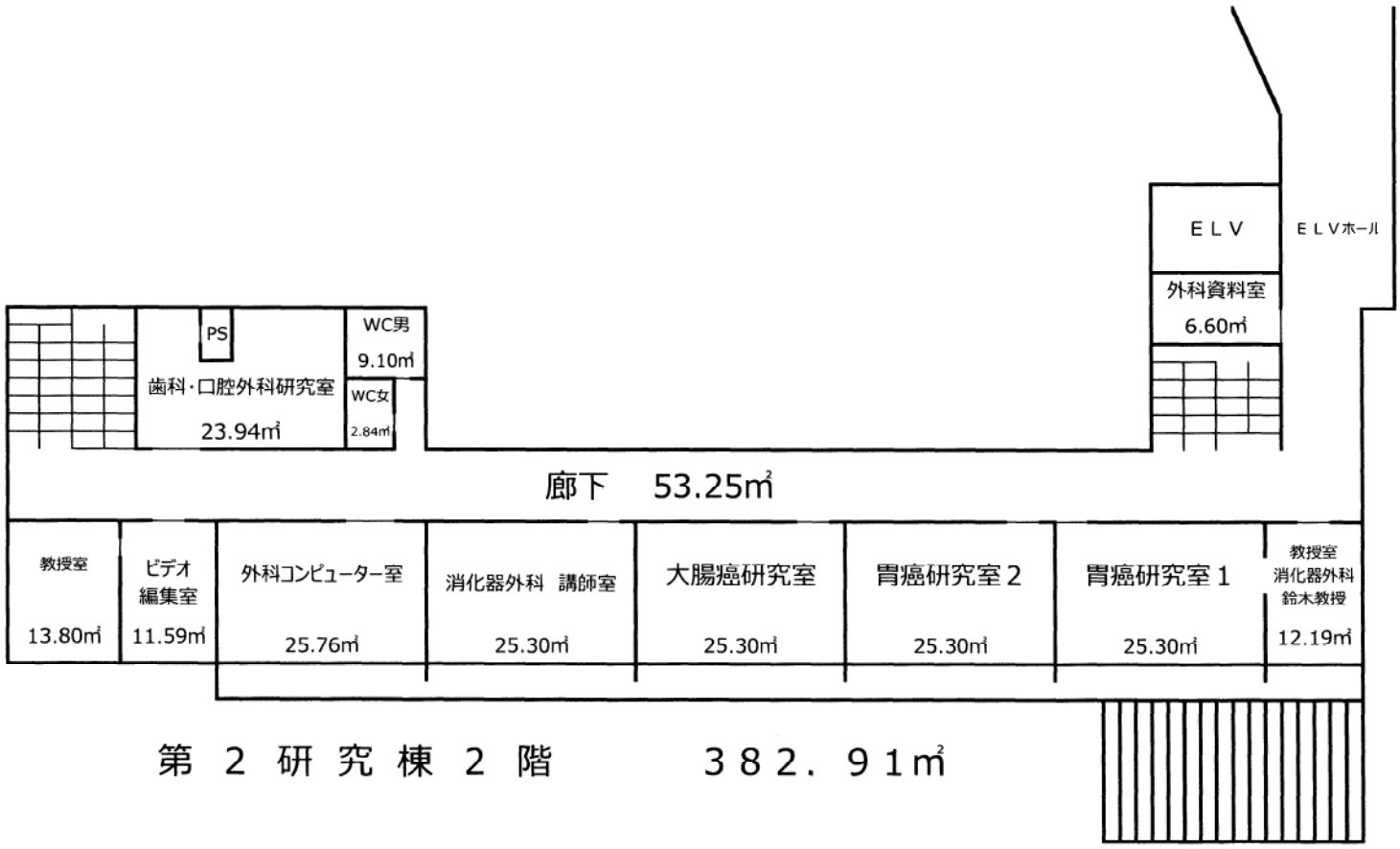
第１研究棟　２階　　４２９．４９㎡



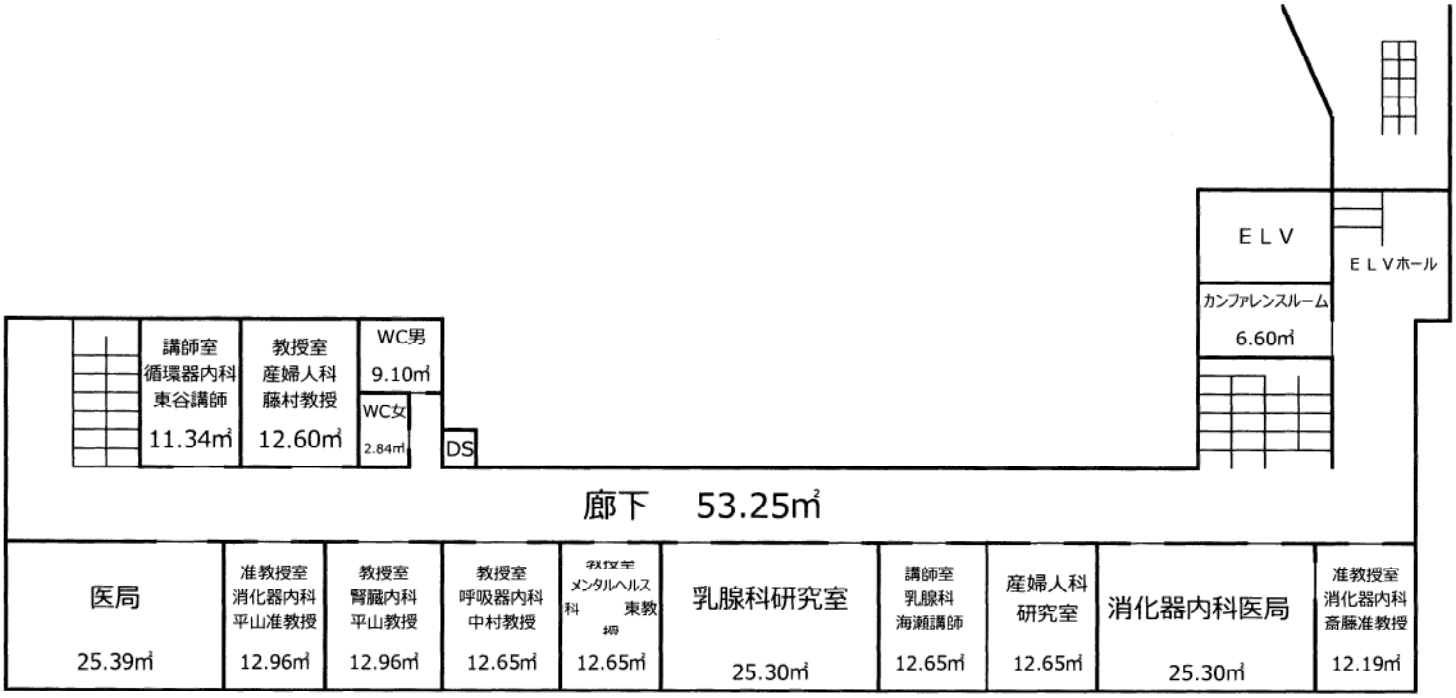
第１研究棟　３階　　３９１．５９㎡



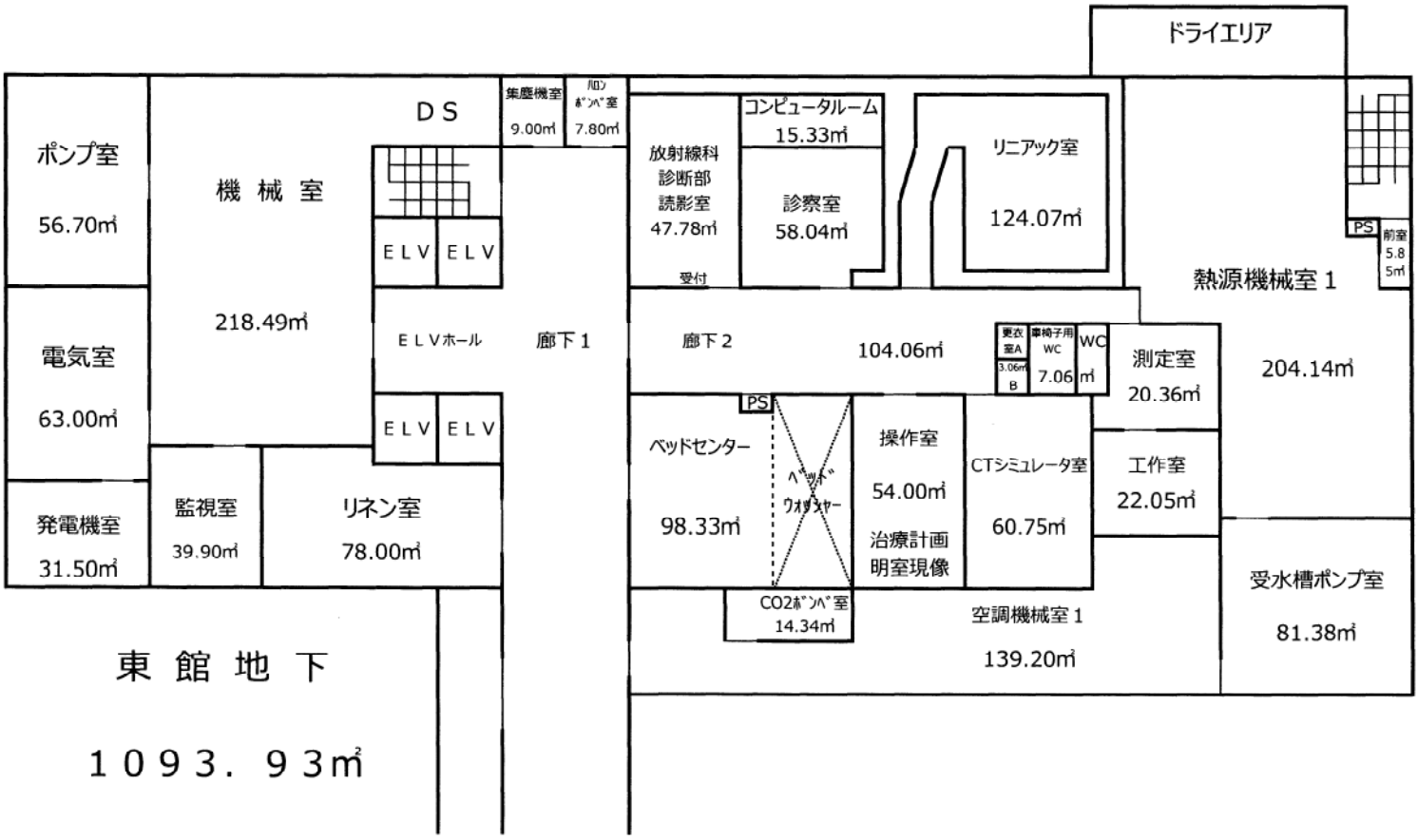
第２研究棟１階　　３８２．９１㎡

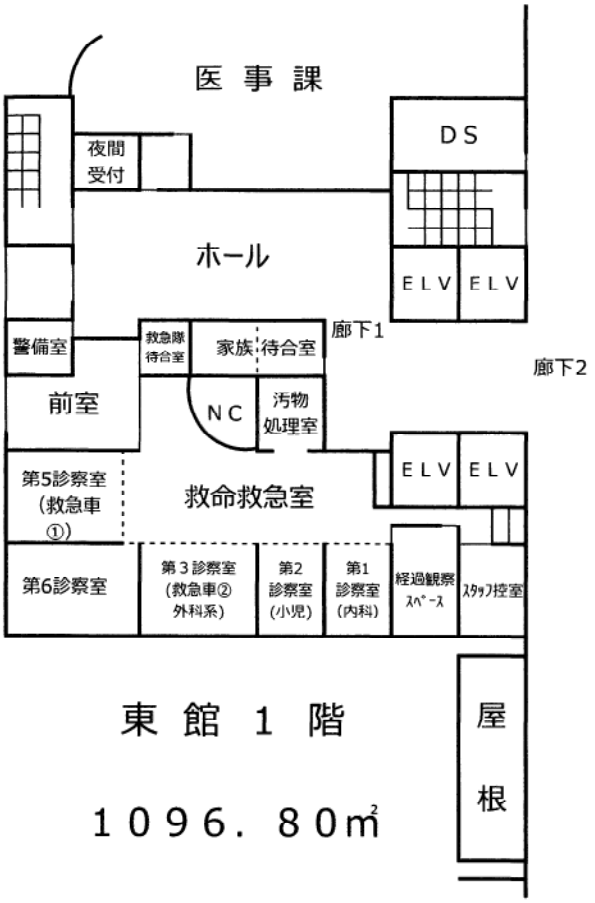


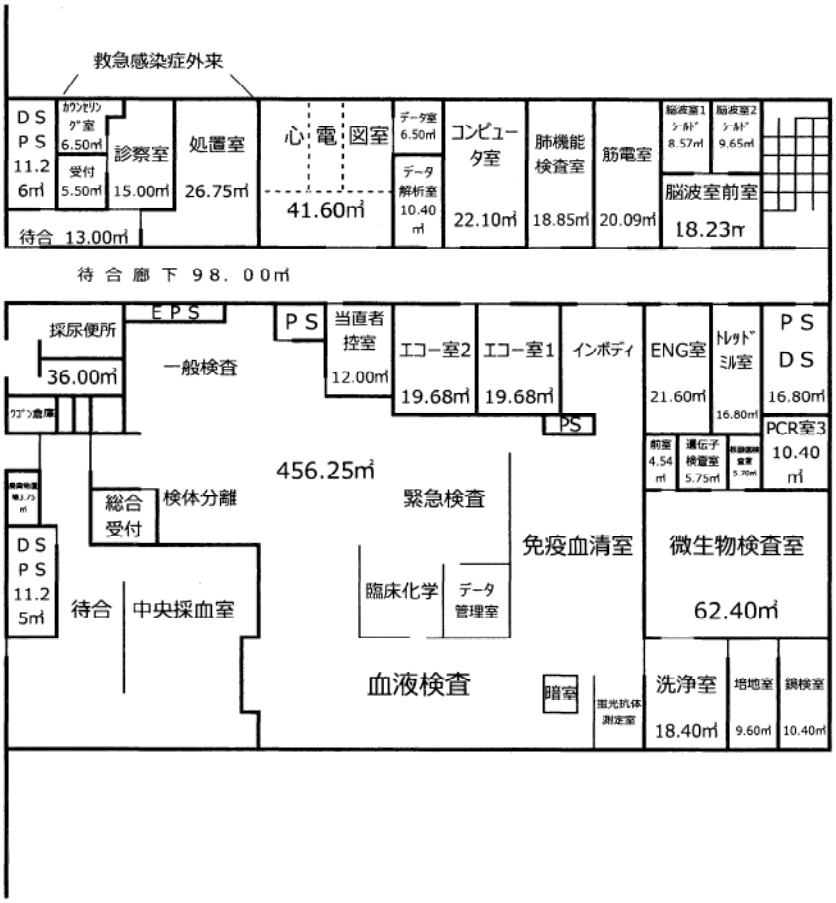
第２研究棟２階　　３８２．９１㎡

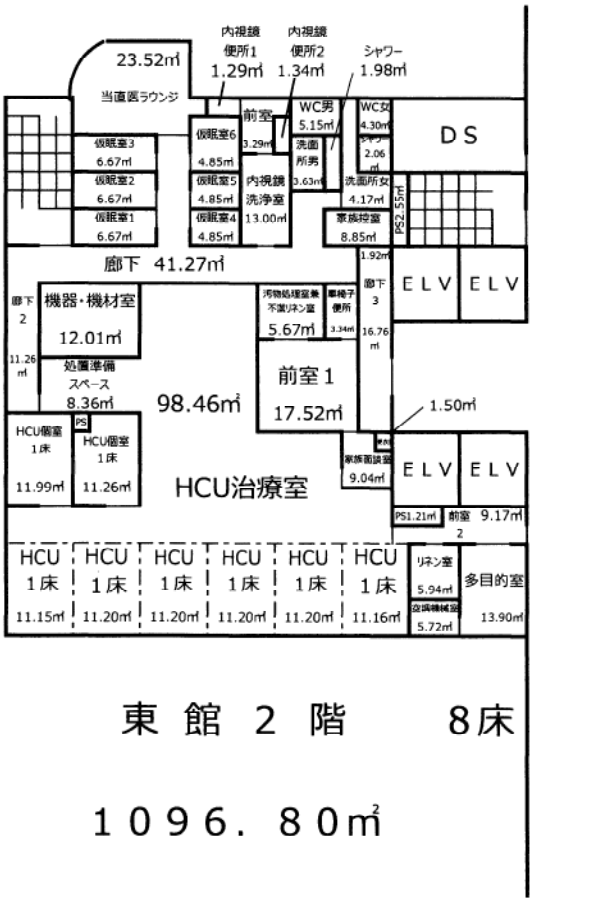


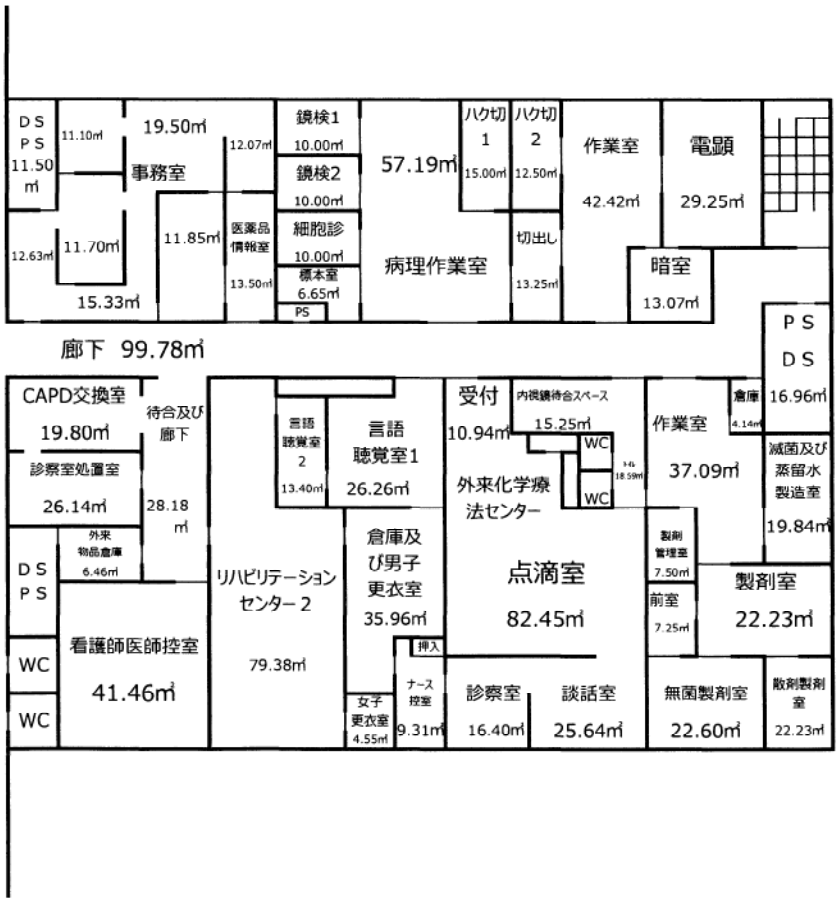
第２研究棟３階　　３６０．７１㎡

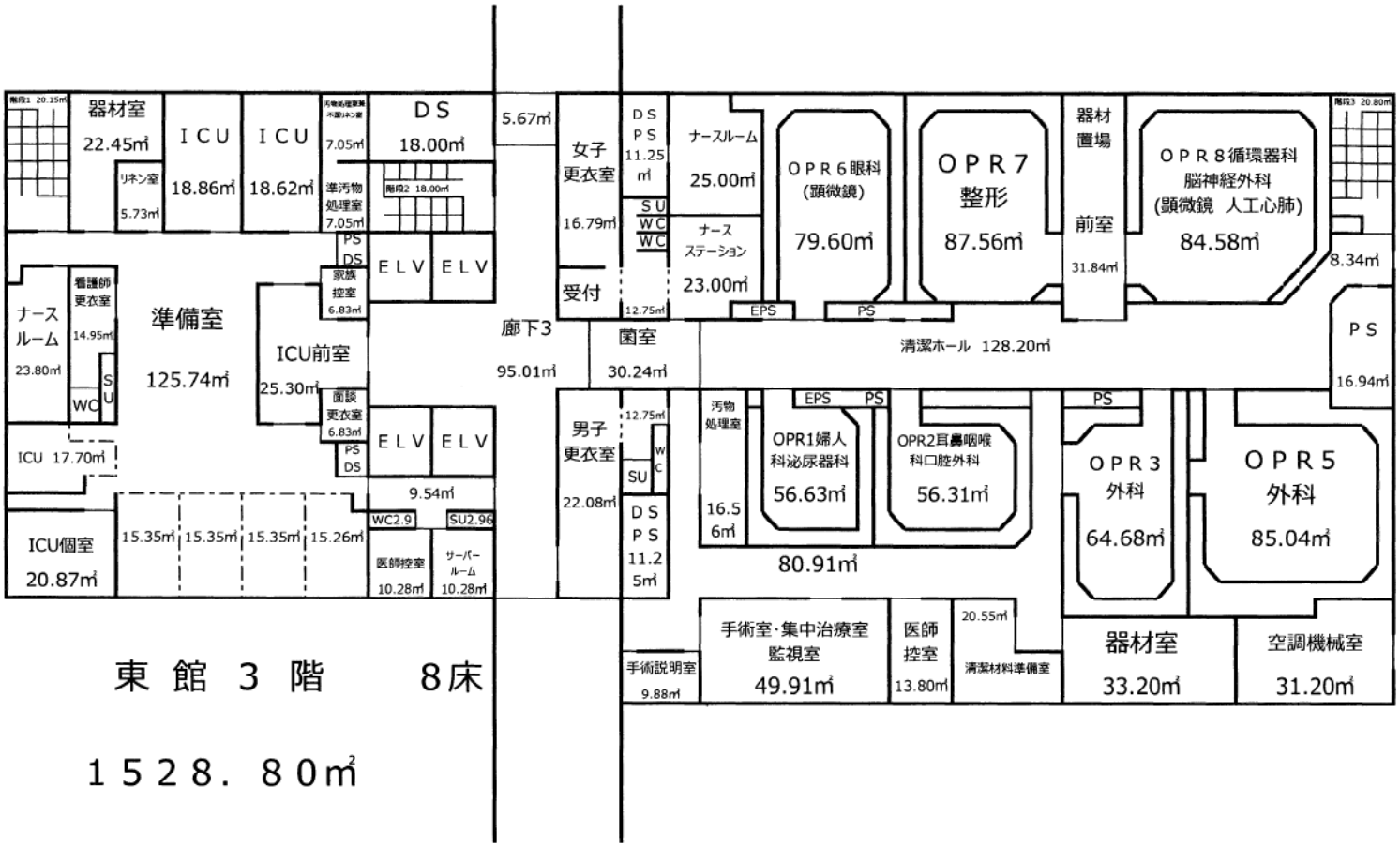


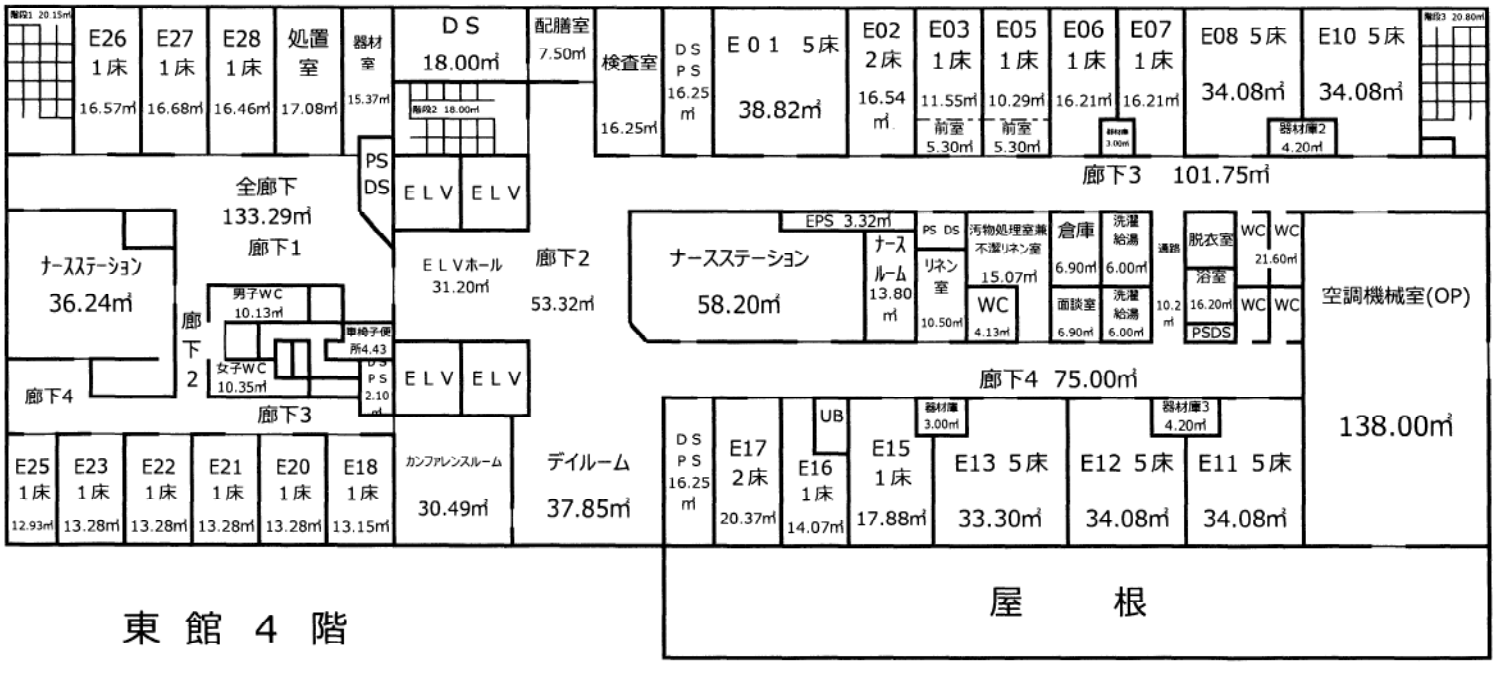

医事課
夜間受付
DS
ホール
ELV ELV
警備室
救急隊待合室
家族待合室
廊下1
廊下2
前室
NC
汚物処理室
第5診察室（救急車①）
救命救急室
ELV ELV
第6診察室
第3診察室（救急車② 外科系）
第2診察室（小児）
第1診察室（内科）
経過観察スペース
スタッフ控室
屋根
東館1階
1096.80㎡

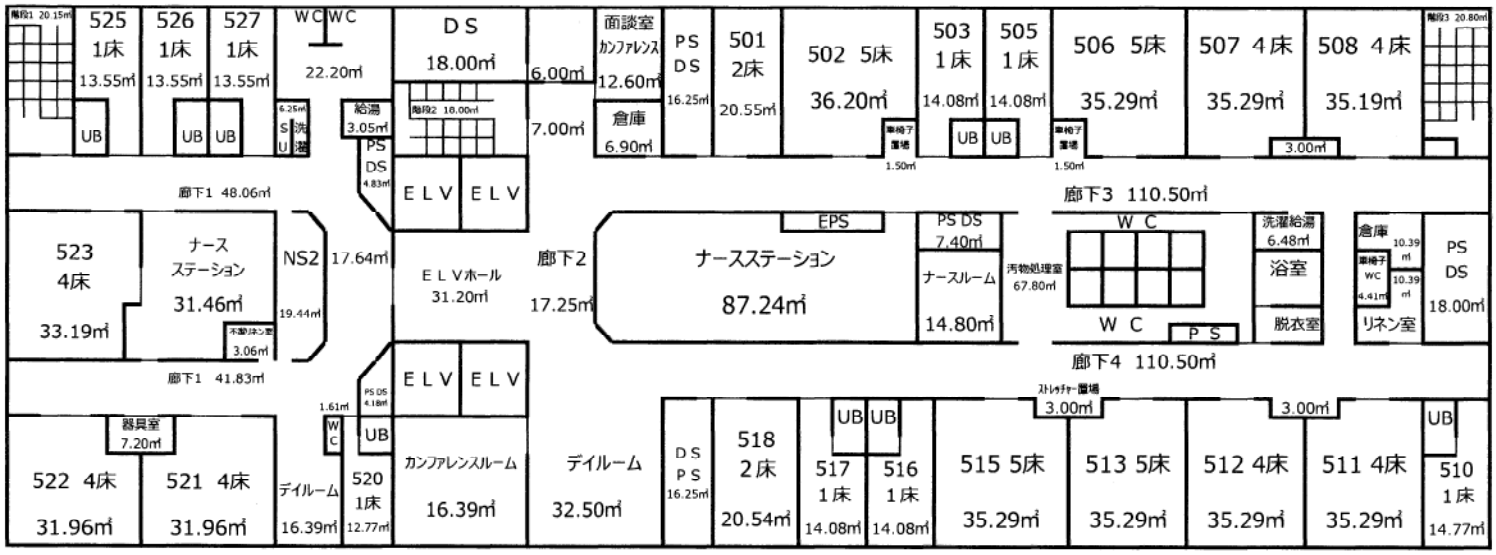

救急感染症外来
DS PS 11.26㎡
カウンセリング室 6.50㎡
受付 5.50㎡
診察室 15.00㎡
処置室 26.75㎡
心電図室 41.60㎡
データ室 6.50㎡
データ解析室 10.40㎡
コンピュータ室 22.10㎡
肺機能検査室 18.85㎡
筋電室 20.09㎡
脳波室1 8.57㎡
脳波室2 9.65㎡
脳波室前室 18.23㎡
待合 13.00㎡
待合廊下 98.00㎡
採尿便所 36.00㎡
EPS
一般検査
PS
当直者控室 12.00㎡
エコー室2 19.68㎡
エコー室1 19.68㎡
インボディ
PS
ENG室 21.60㎡
トレッドミル室 16.80㎡
PS DS 16.80㎡
PCR室3 10.40㎡
前室 4.54㎡
遺伝子検査室 5.75㎡
456.25㎡
総合受付
検体分離
緊急検査
免疫血清室
微生物検査室 62.40㎡
DS PS 11.25㎡
待合
中央採血室
臨床化学
データ管理室
血液検査
暗室
蛍光抗体測定室
洗浄室 18.40㎡
培地室 9.60㎡
鏡検室 10.40㎡


23.52㎡
当直医ラウンジ
内視鏡便所1 1.29㎡
内視鏡便所2 1.34㎡
シャワー 1.98㎡
前室
WC男 5.15㎡
WC女 4.30㎡
シャワー 2.06㎡
洗面所男 3.63㎡
洗面所女 4.17㎡
DS
仮眠室3 6.67㎡
仮眠室2 6.67㎡
仮眠室1 6.67㎡
仮眠室6 4.85㎡
仮眠室5 4.85㎡
仮眠室4 4.85㎡
内視鏡洗浄室 13.00㎡
寒感控室 8.85㎡
廊下 41.27㎡
ELV ELV
廊下2
機器・機材室 12.01㎡
処置準備スペース 8.36㎡
98.46㎡
汚物処理室兼不潔リネン室 5.67㎡
車椅子便所 3.34㎡
廊下3
前室1 17.52㎡
1.50㎡
HCU個室1床 11.99㎡
HCU個室1床 11.26㎡
HCU治療室
家族面談室 9.04㎡
ELV ELV
PS1.21㎡
前室2 9.17㎡
HCU1床 11.15㎡
HCU1床 11.20㎡
HCU1床 11.20㎡
HCU1床 11.20㎡
HCU1床 11.20㎡
HCU1床 11.16㎡
リネン室 5.94㎡
空調機械室 5.72㎡
多目的室 13.90㎡
東館2階 8床
1096.80㎡


DS PS 11.50㎡
11.10㎡
19.50㎡
事務室
12.07㎡
鏡検1 10.00㎡
鏡検2 10.00㎡
細胞診 10.00㎡
標本室 6.65㎡
PS
57.19㎡
病理作業室
ハク切1 15.00㎡
ハク切2 12.50㎡
切出し 13.25㎡
作業室 42.42㎡
電顕 29.25㎡
暗室 13.07㎡
12.63㎡
11.70㎡
15.33㎡
11.85㎡
医薬品情報室 13.50㎡
廊下 99.78㎡
CAPD交換室 19.80㎡
待合及び廊下
診察室処置室 26.14㎡
28.18㎡
DS PS
外来物品倉庫 6.46㎡
看護師医師控室 41.46㎡
WC
WC
リハビリテーションセンター2 79.38㎡
言語聴覚室2 13.40㎡
言語聴覚室1 26.26㎡
倉庫及び男子更衣室 35.96㎡
女子更衣室 4.55㎡
挿入
ナース控室 9.31㎡
受付 10.94㎡
内視鏡待合スペース 15.25㎡
WC
WC
外来化学療法センター
点滴室 82.45㎡
診察室 16.40㎡
談話室 25.64㎡
作業室 37.09㎡
倉庫 4.14㎡
PS DS 16.96㎡
滅菌及び蒸留水製造室 19.84㎡
製剤管理室 7.50㎡
前室 7.25㎡
製剤室 22.23㎡
無菌製剤室 22.60㎡
散剤製剤室 22.23㎡

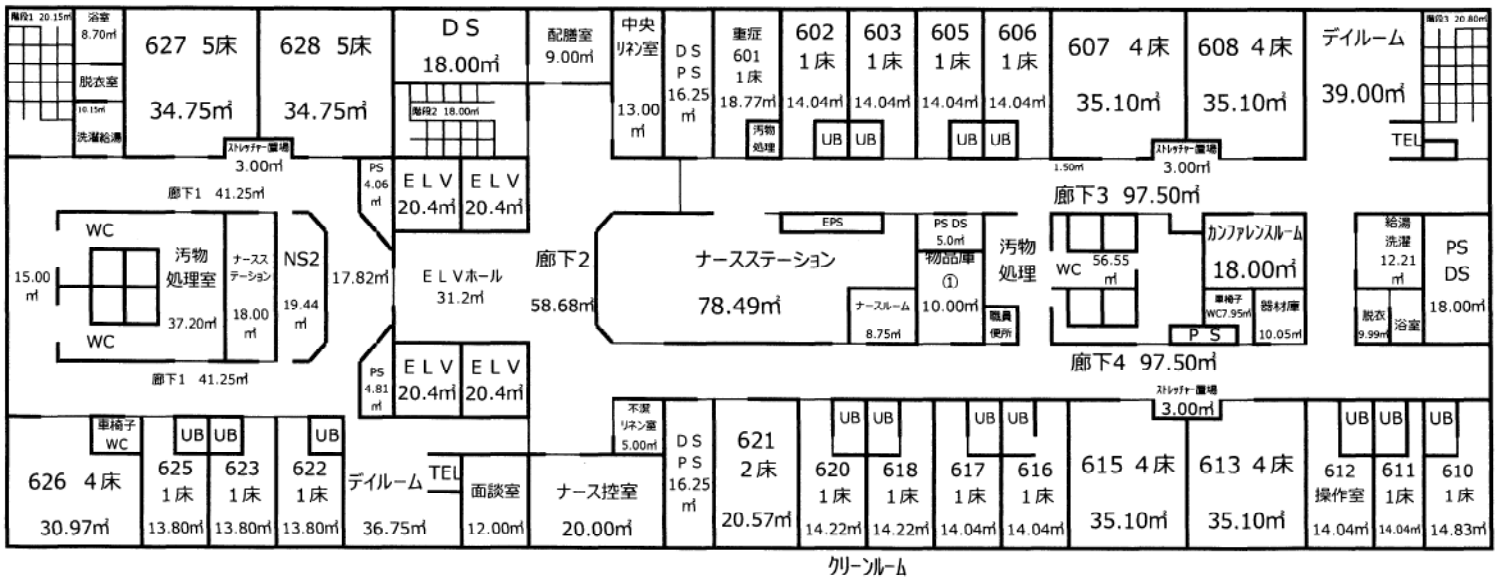

器材室 22.45㎡
ＩＣＵ 18.86㎡
ＩＣＵ 18.62㎡
汚物処理室兼不潔リネン室 7.05㎡
ＤＳ 18.00㎡
5.67㎡
女子更衣室 16.79㎡
ＤＳ ＰＳ 11.25㎡
ナースルーム 25.00㎡
ＯＰＲ６眼科 (顕微鏡) 79.60㎡
ＯＰＲ７ 整形 87.56㎡
器材置場 前室 31.84㎡
ＯＰＲ８循環器科 脳神経外科 (顕微鏡 人工心肺) 84.58㎡
8.34㎡
ＰＳ 16.94㎡
ナースステーション 23.00㎡
受付
12.75㎡
ＳＵ ＷＣ ＷＣ
ＥＰＳ
ＰＳ
清潔ホール 128.20㎡
ナースルーム 23.80㎡
看護師更衣室 14.95㎡
準備室 125.74㎡
ＳＵ ＷＣ
ICU前室 25.30㎡
家族控室 6.83㎡
面談更衣室 6.83㎡
ＰＳ ＤＳ
ＥＬＶ ＥＬＶ
廊下3 95.01㎡
菌室 30.24㎡
ICU 17.70㎡
ICU個室 20.87㎡
15.35㎡ 15.35㎡ 15.35㎡ 15.26㎡
9.54㎡
WC2.9
SU2.96
医師控室 10.28㎡
サーバールーム 10.28㎡
男子更衣室 22.08㎡
12.75㎡
ＷＣ
ＳＵ
ＤＳ ＰＳ 11.25㎡
汚物処理室 16.56㎡
ＥＰＳ ＰＳ
ＯＰＲ1婦人科泌尿器科 56.63㎡
ＯＰＲ2耳鼻咽喉科口腔外科 56.31㎡
80.91㎡
ＰＳ
ＯＰＲ３ 外科 64.68㎡
ＯＰＲ５ 外科 85.04㎡
手術説明室 9.88㎡
手術室・集中治療室 監視室 49.91㎡
医師控室 13.80㎡
20.55㎡
清潔材料準備室
器材室 33.20㎡
空調機械室 31.20㎡
東 館 ３ 階 8床
１５２８．８０㎡


E26 1床 16.57㎡
E27 1床 16.68㎡
E28 1床 16.46㎡
処置室 17.08㎡
器材室 15.37㎡
ＤＳ 18.00㎡
配膳室 7.50㎡
検査室 16.25㎡
ＤＳ ＰＳ 16.25㎡
Ｅ０１ 5床 38.82㎡
E02 2床 16.54㎡
E03 1床 11.55㎡
前室 5.30㎡
E05 1床 10.29㎡
前室 5.30㎡
E06 1床 16.21㎡
E07 1床 16.21㎡
E08 5床 34.08㎡
E10 5床 34.08㎡
器材庫2 4.20㎡
廊下3 101.75㎡
ＰＳ ＤＳ
ＥＬＶ ＥＬＶ
全廊下 133.29㎡ 廊下1
ナースステーション 36.24㎡
廊下2
ＥＬＶホール 31.20㎡
廊下2 53.32㎡
ＥＰＳ 3.32㎡
ナースステーション 58.20㎡
ナースルーム 13.80㎡
ＰＳ ＤＳ リネン室 10.50㎡
汚物処理室兼不潔リネン室 15.07㎡
ＷＣ 4.13㎡
倉庫 6.90㎡
洗濯給湯 6.00㎡
面談室 6.90㎡
洗濯給湯 6.00㎡
通路 10.2㎡
脱衣室
浴室 16.20㎡
ＰＳＤＳ
ＷＣ ＷＣ 21.60㎡
ＷＣ ＷＣ
空調機械室(OP) 138.00㎡
廊下4 75.00㎡
廊下
2
男子WC 10.13㎡
車椅子便所4.43
女子WC 10.35㎡
ＤＳ ＰＳ 2.10㎡
廊下4
廊下3
ＥＬＶ ＥＬＶ
E25 1床 12.93㎡
E23 1床 13.28㎡
E22 1床 13.28㎡
E21 1床 13.28㎡
E20 1床 13.28㎡
E18 1床 13.15㎡
カンファレンスルーム 30.49㎡
デイルーム 37.85㎡
ＤＳ ＰＳ 16.25㎡
E17 2床 20.37㎡
UB
E16 1床 14.07㎡
器材庫 3.00㎡
E15 1床 17.88㎡
E13 5床 33.30㎡
器材庫3 4.20㎡
E12 5床 34.08㎡
E11 5床 34.08㎡
屋 根
東 館 ４ 階
１６３６．８０㎡ 23室 49床



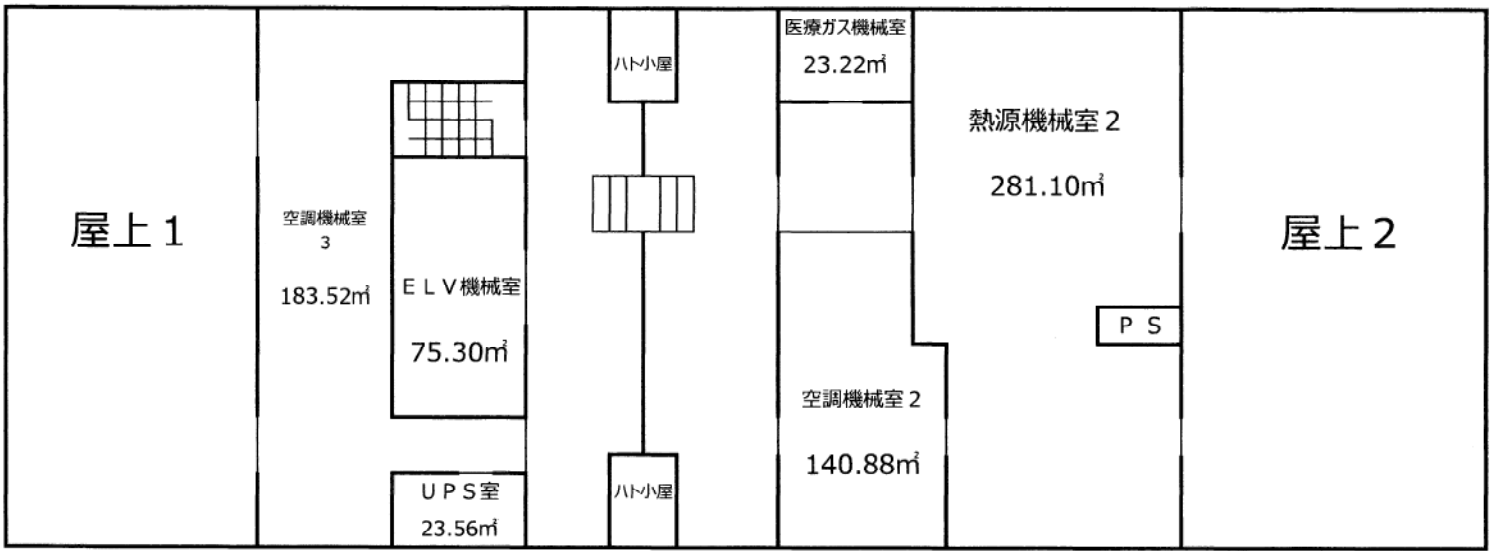
東 館 5 階　　22室 61床

1636.80㎡



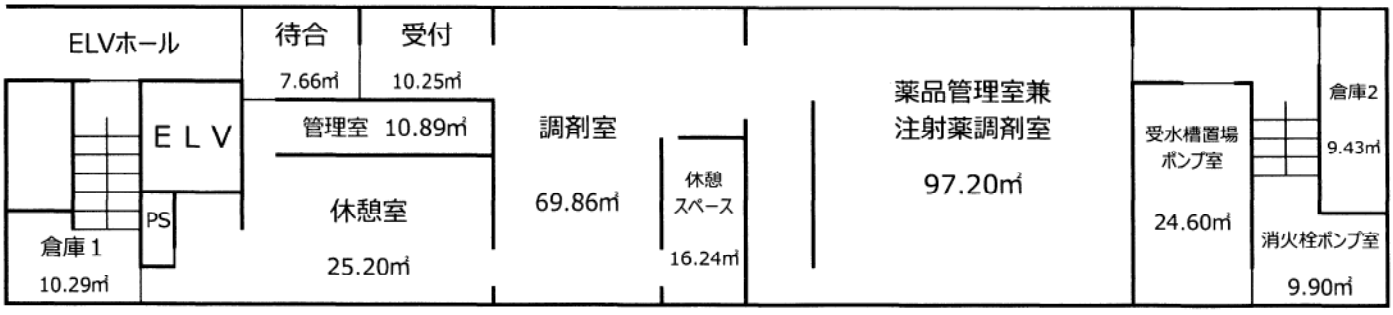
東 館 6 階　　23室 46床

1636.80㎡

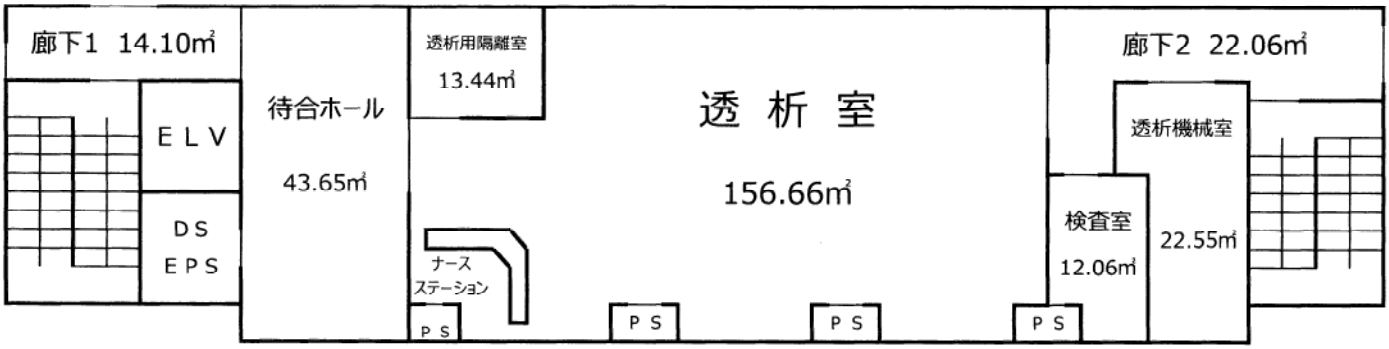


東 館 ７ 階

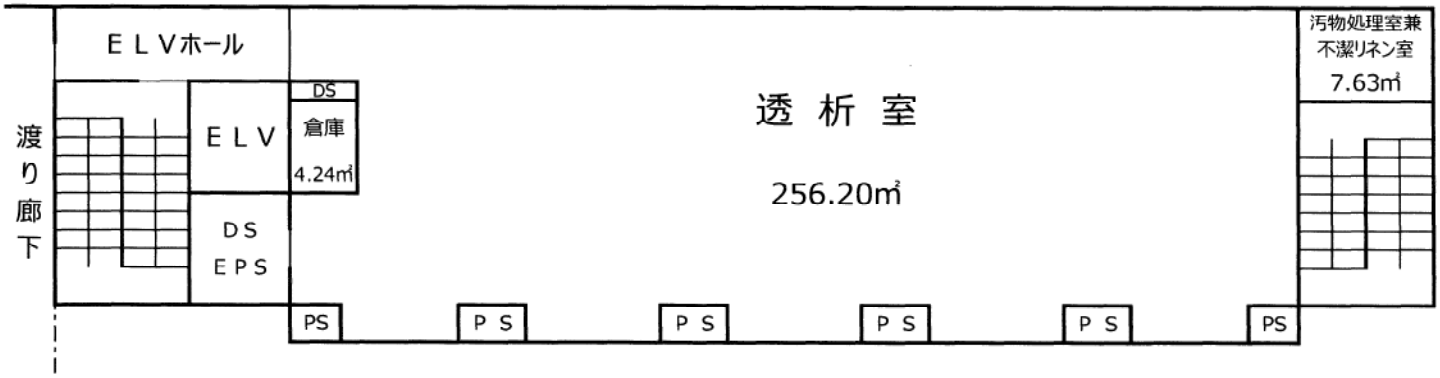
７４６．４０㎡



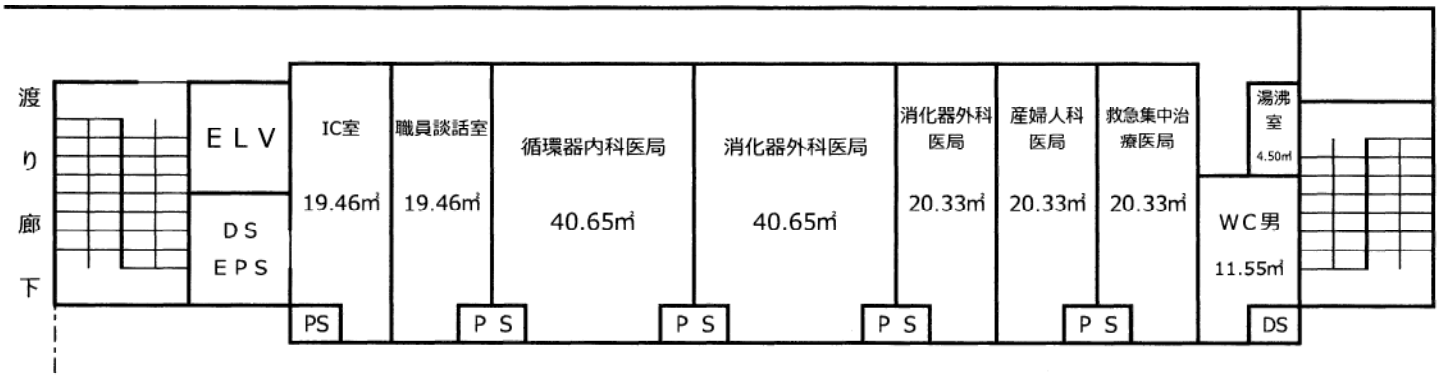
人 工 透 析 棟 地 下　　347.39㎡



人 工 透 析 棟 1 階　　347.39㎡



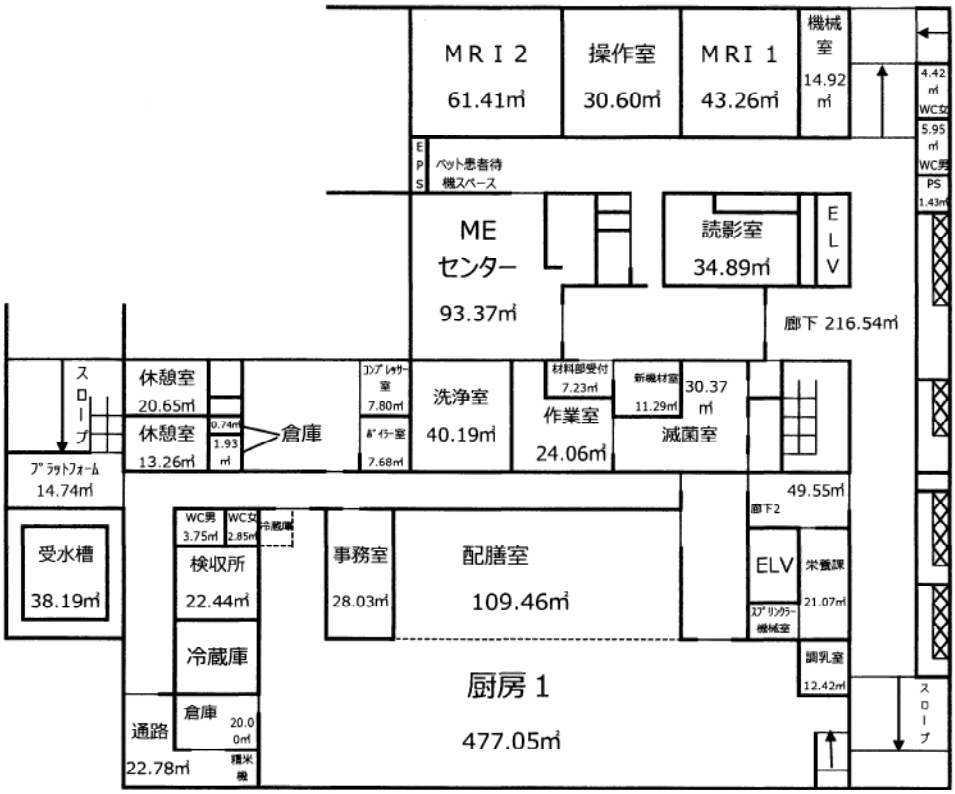
人 工 透 析 棟 2 階　　394.68㎡



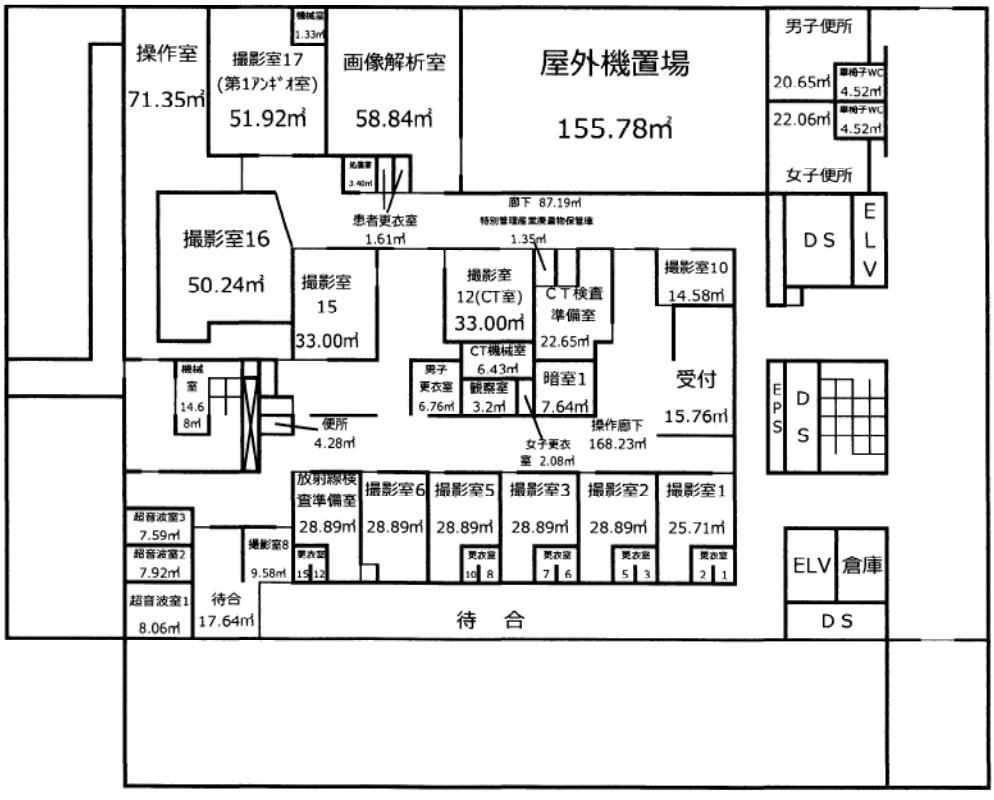
人工透析棟３階　　394.68㎡



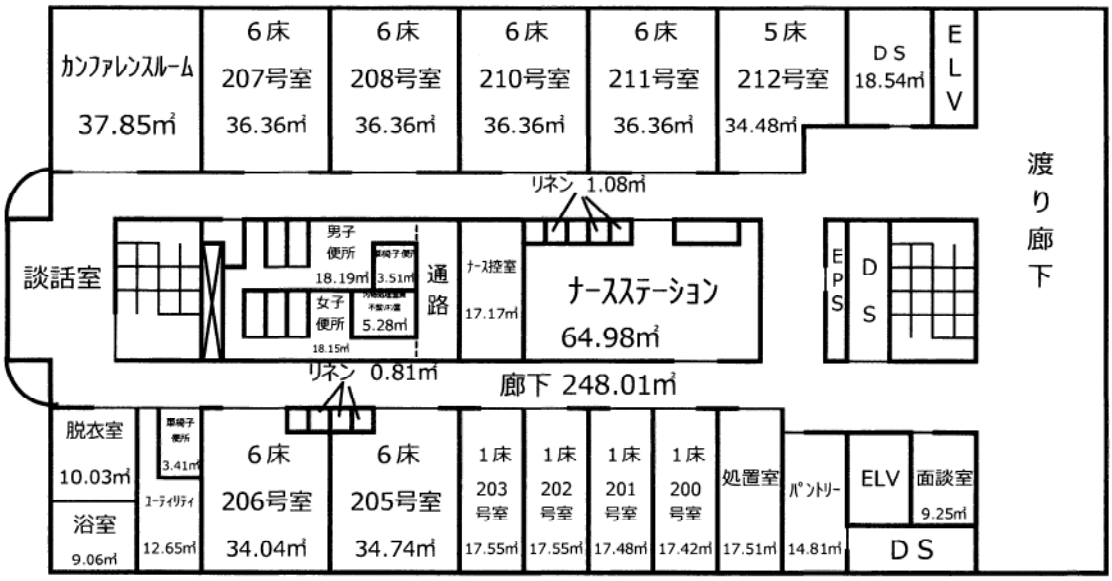
人工透析棟４階　　75.77㎡



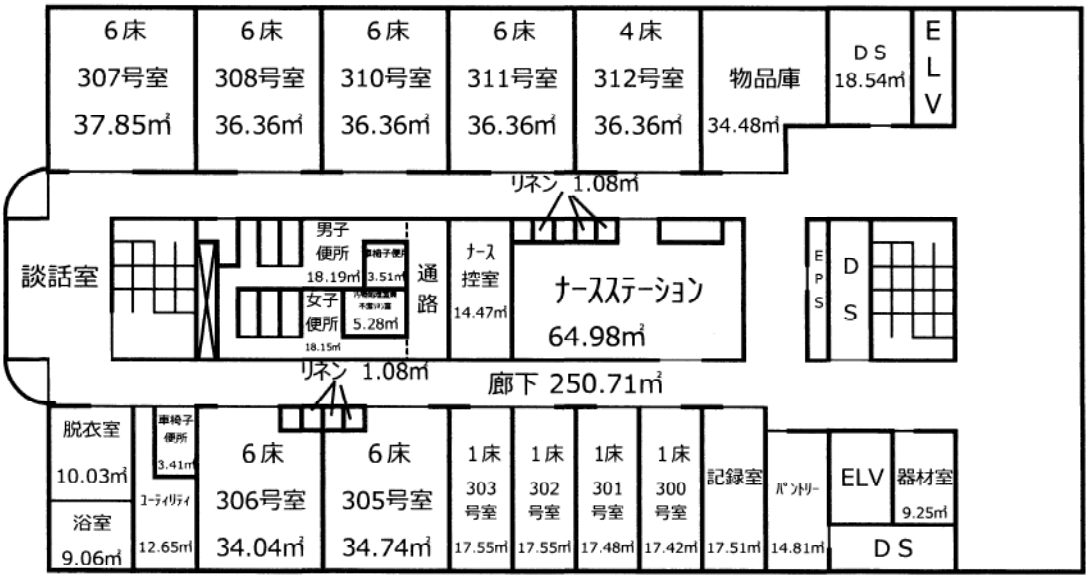
中 央 病 棟 地 下　　２２７０．１７㎡



中 央 病 棟 １ 階　　１５１７．０６㎡



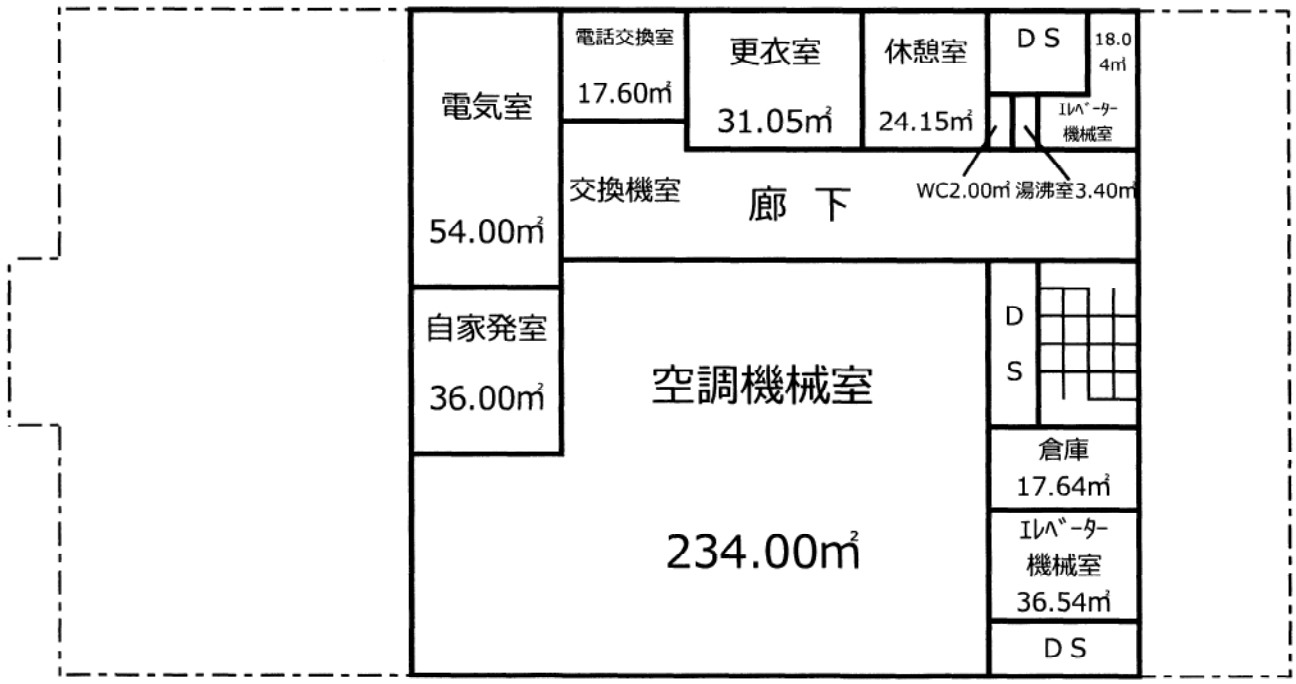
中 央 病 棟 2 階　　１１室４５床１１５１．１１㎡



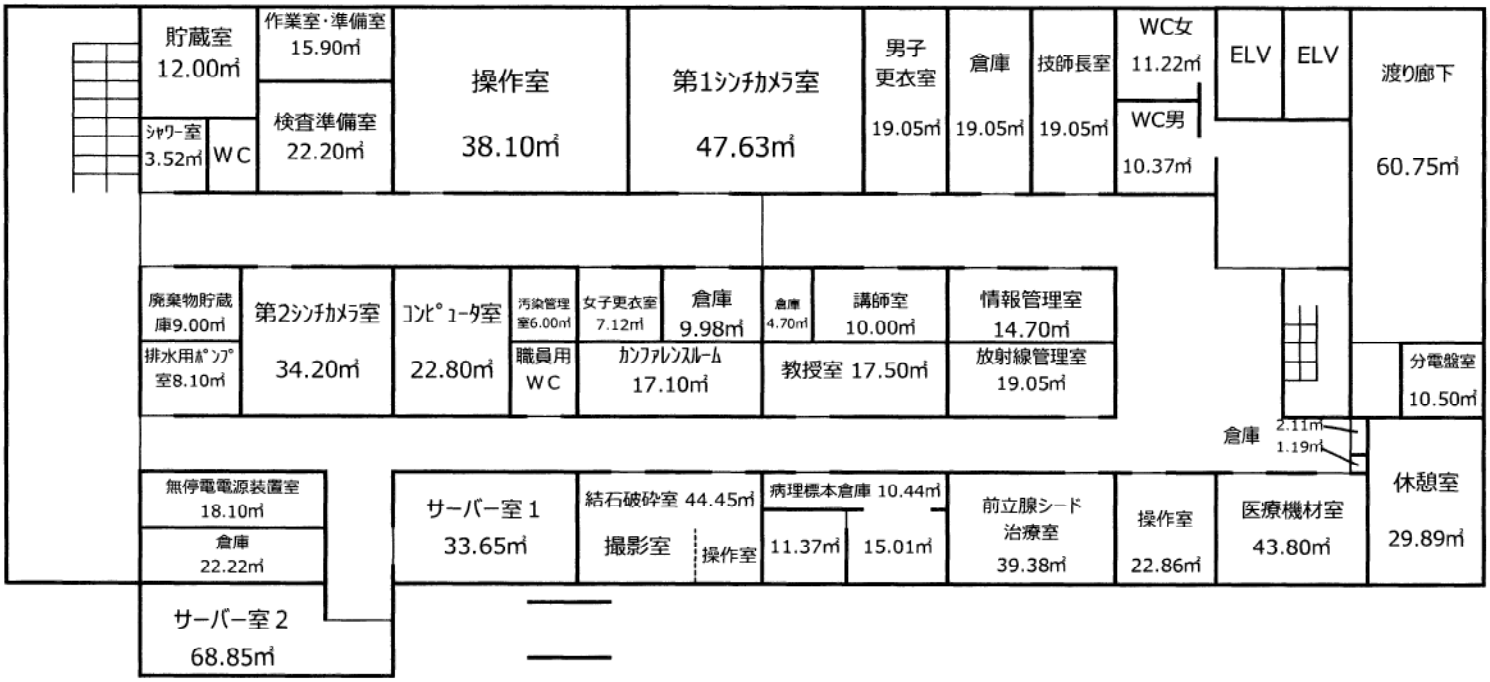
中 央 病 棟 3 階　　１１室４４床１１５１．１１㎡



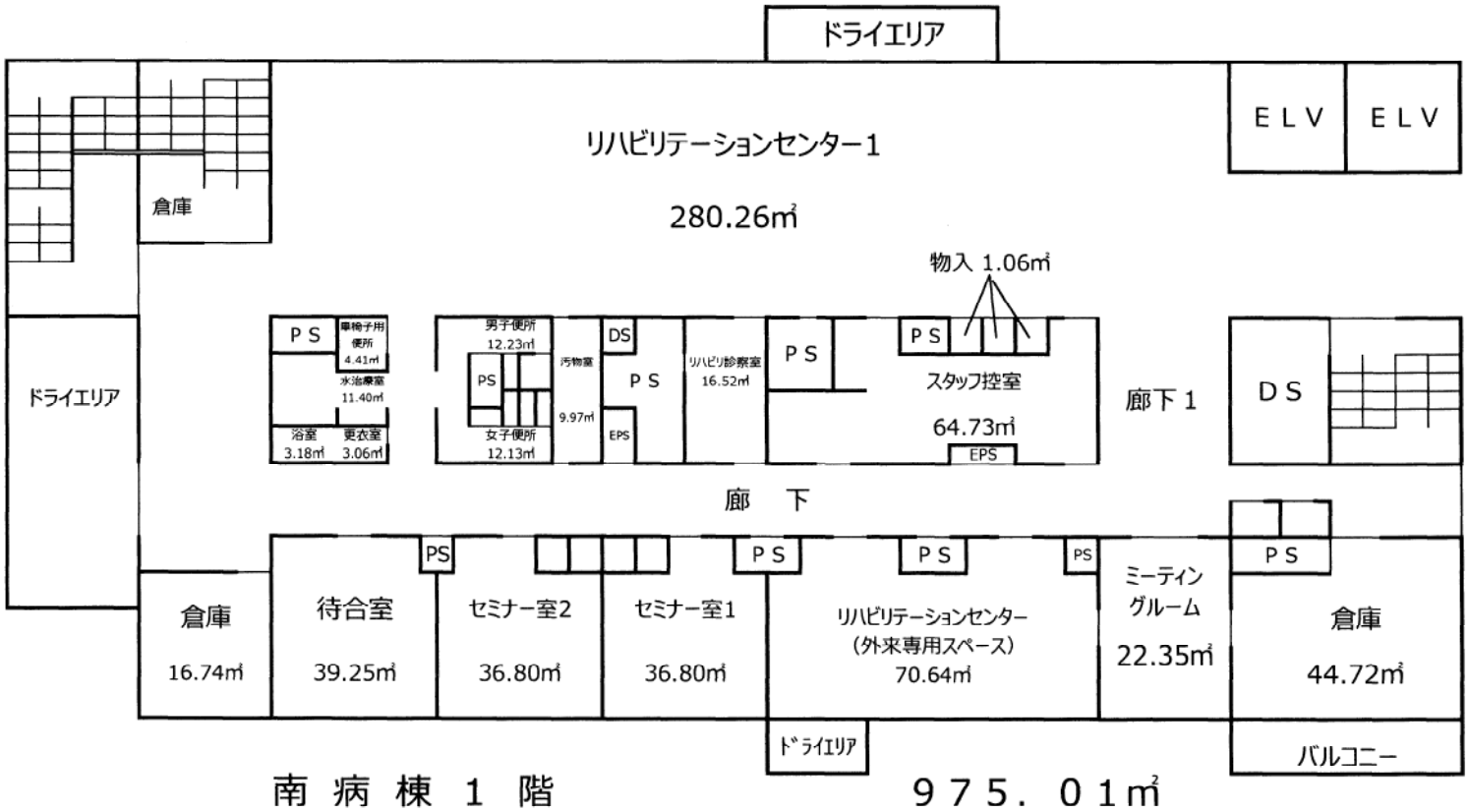
中央病棟４階　　１６室２６床１１５１．１１㎡



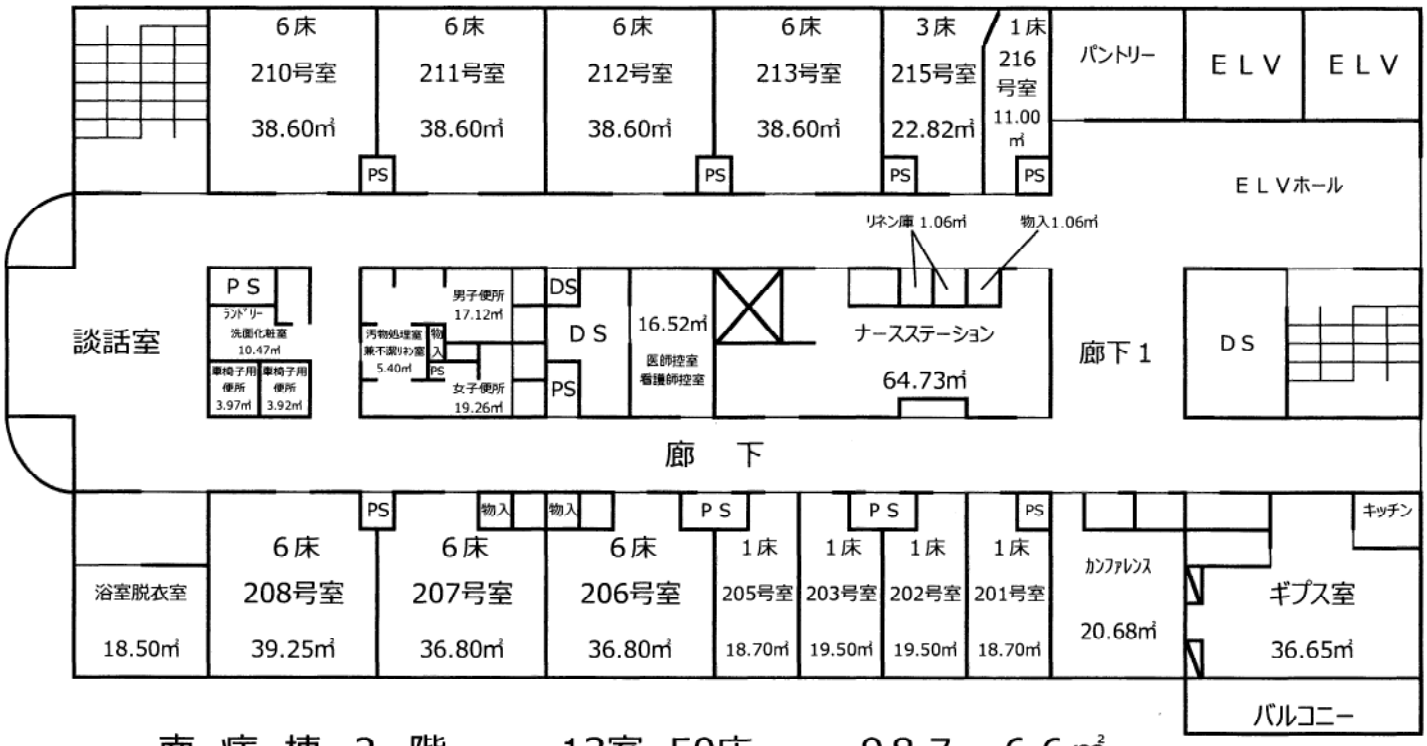
中央病棟５階　　５７７．８８㎡



南 病 棟 地 下　　１１６３．５０㎡



南 病 棟 １ 階　　９７５．０１㎡



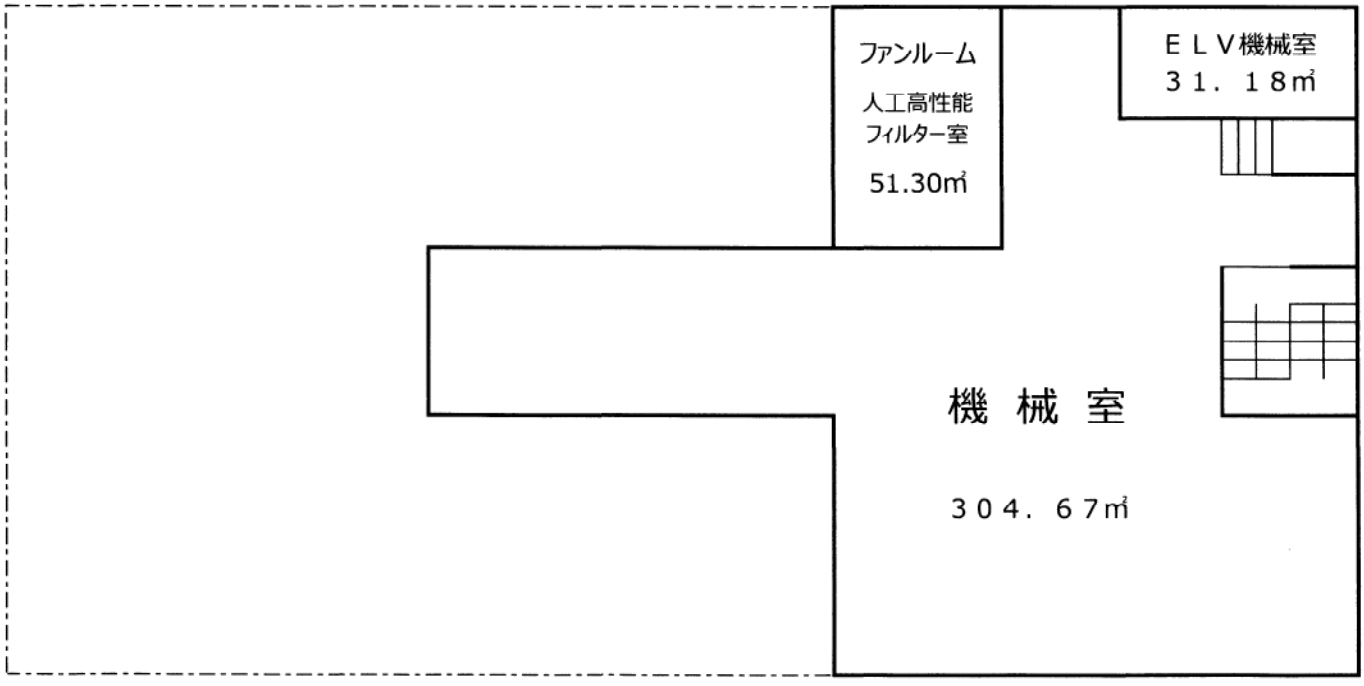
南 病 棟 2 階　　13室 50床　　９８７．６６㎡



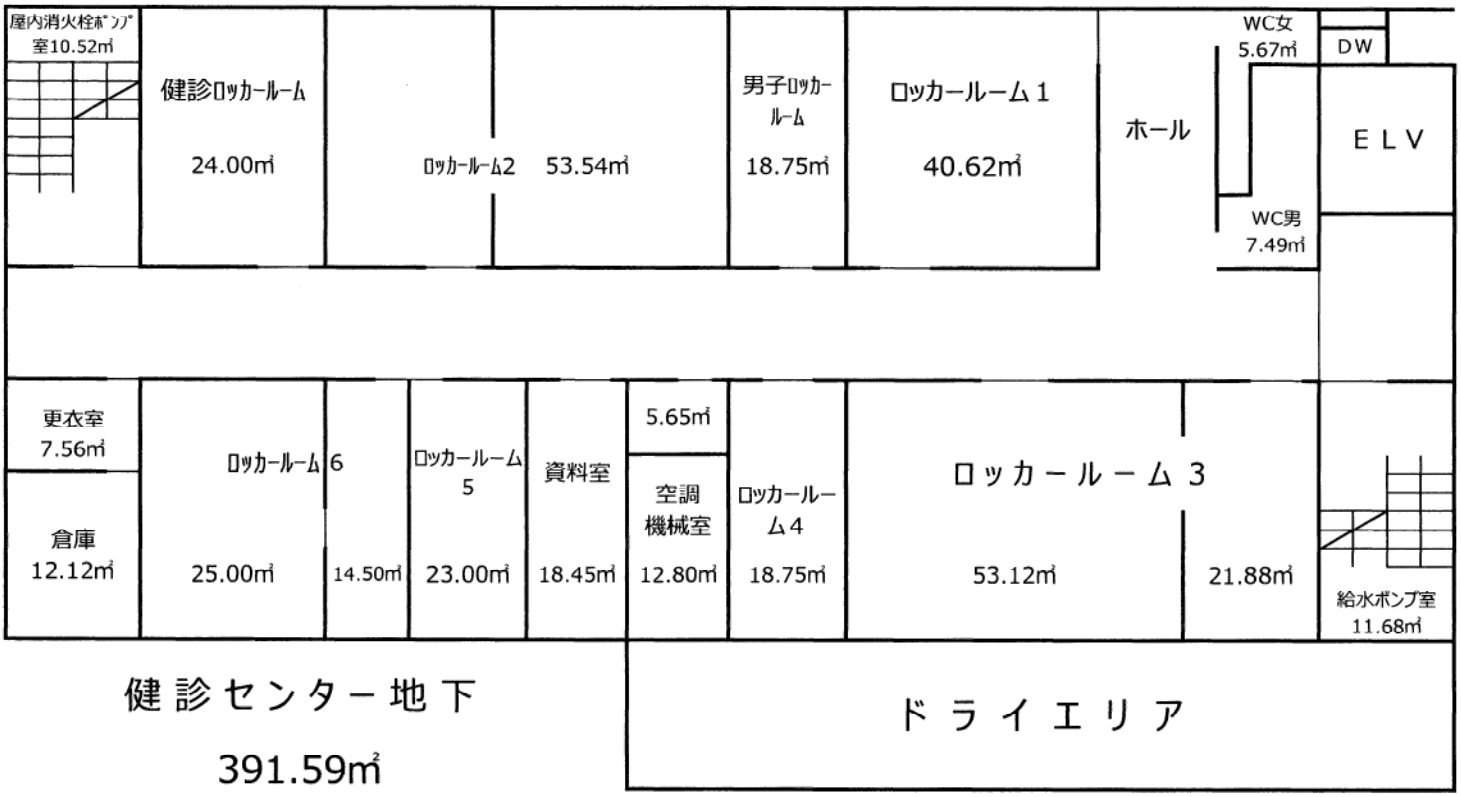
南 病 棟 3 階　　11室 44床　　987.66㎡

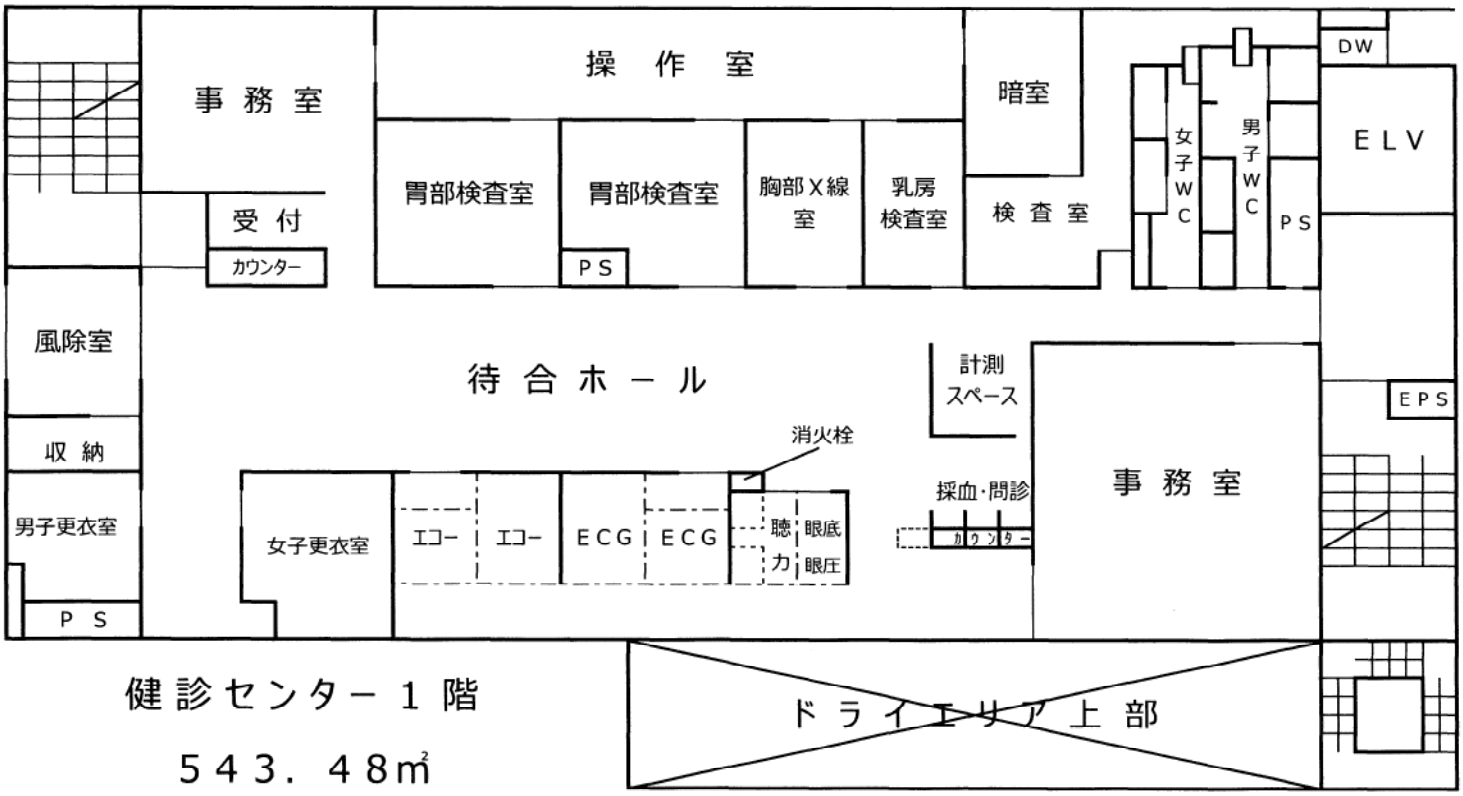


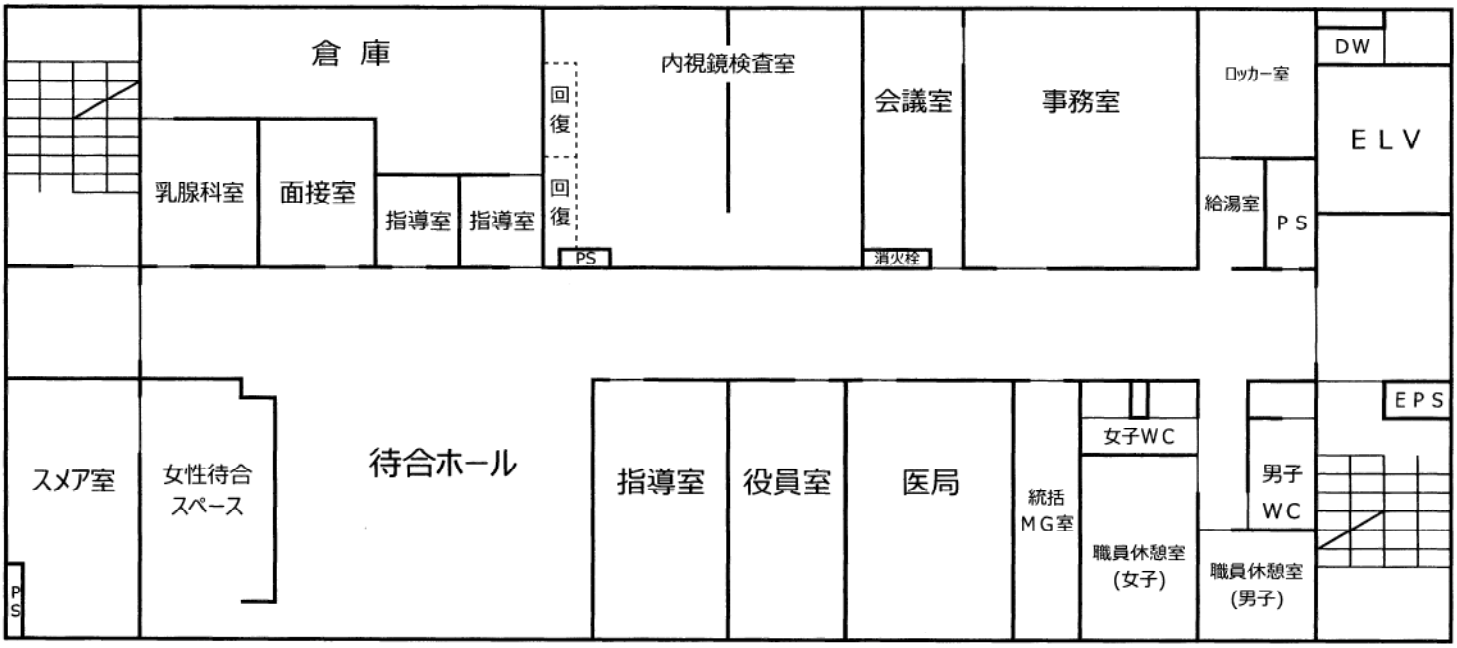
南 病 棟 4 階　　13室 39床　　９８７．６６㎡



南 病 棟 5 階　　４０７．８５㎡


屋内消火栓ﾎﾟﾝﾌﾟ室10.52㎡
健診ﾛｯｶｰﾙｰﾑ
24.00㎡
ﾛｯｶｰﾙｰﾑ2 53.54㎡
男子ﾛｯｶｰﾙｰﾑ
18.75㎡
ロッカールーム１
40.62㎡
ホール
WC女
5.67㎡
DW
ＥＬＶ
WC男
7.49㎡
更衣室
7.56㎡
倉庫
12.12㎡
ﾛｯｶｰﾙｰﾑ 6
25.00㎡
14.50㎡
ﾛｯｶｰﾙｰﾑ5
23.00㎡
資料室
18.45㎡
5.65㎡
空調機械室
12.80㎡
ﾛｯｶｰﾙｰﾑ4
18.75㎡
ロッカールーム３
53.12㎡
21.88㎡
給水ポンプ室
11.68㎡
健診センター地下
391.59㎡
ドライエリア


事務室
操作室
暗室
DW
ＥＬＶ
胃部検査室
胃部検査室
胸部Ｘ線室
乳房検査室
検査室
女子ＷＣ
男子ＷＣ
ＰＳ
受付
カウンター
ＰＳ
風除室
待合ホール
計測スペース
ＥＰＳ
収納
消火栓
採血･問診
カウンター
事務室
男子更衣室
女子更衣室
エコー
エコー
ＥＣＧ
ＥＣＧ
聴力
眼底
眼圧
ＰＳ
健診センター１階
５４３．４８㎡
ドライエリア上部

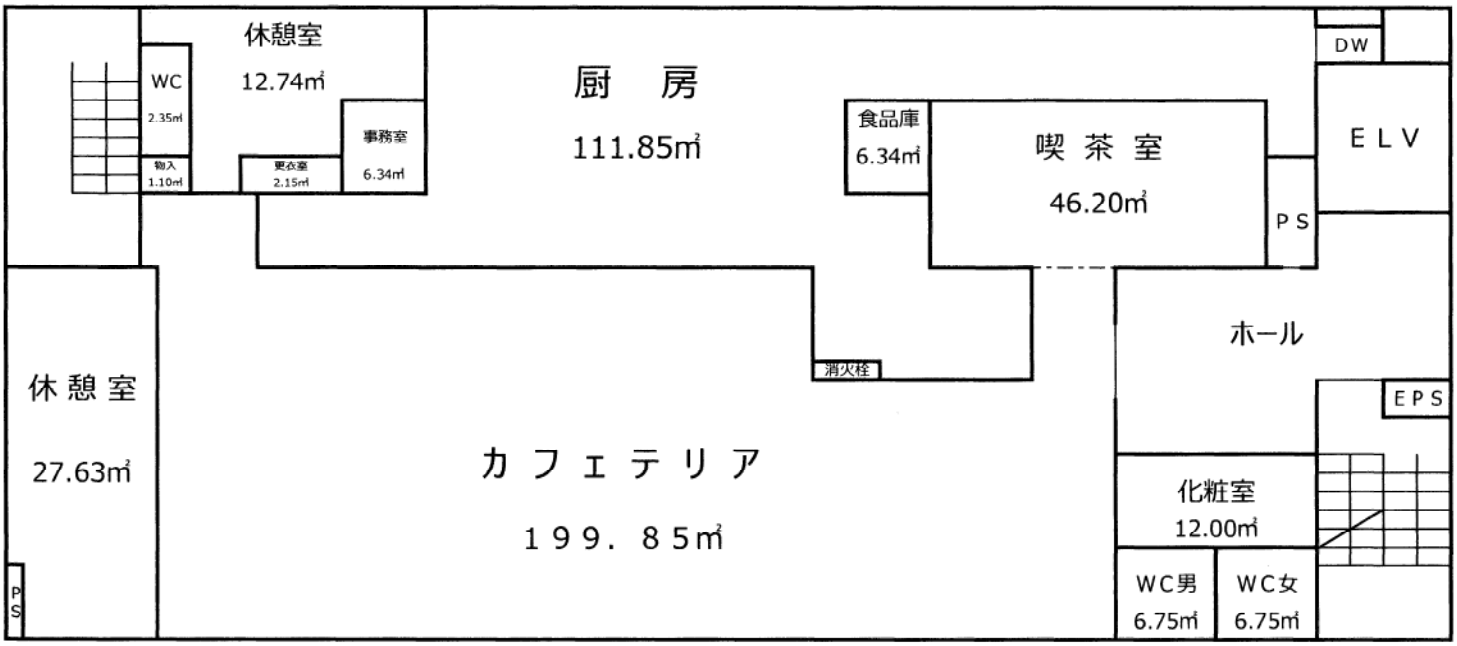


健診センター２階

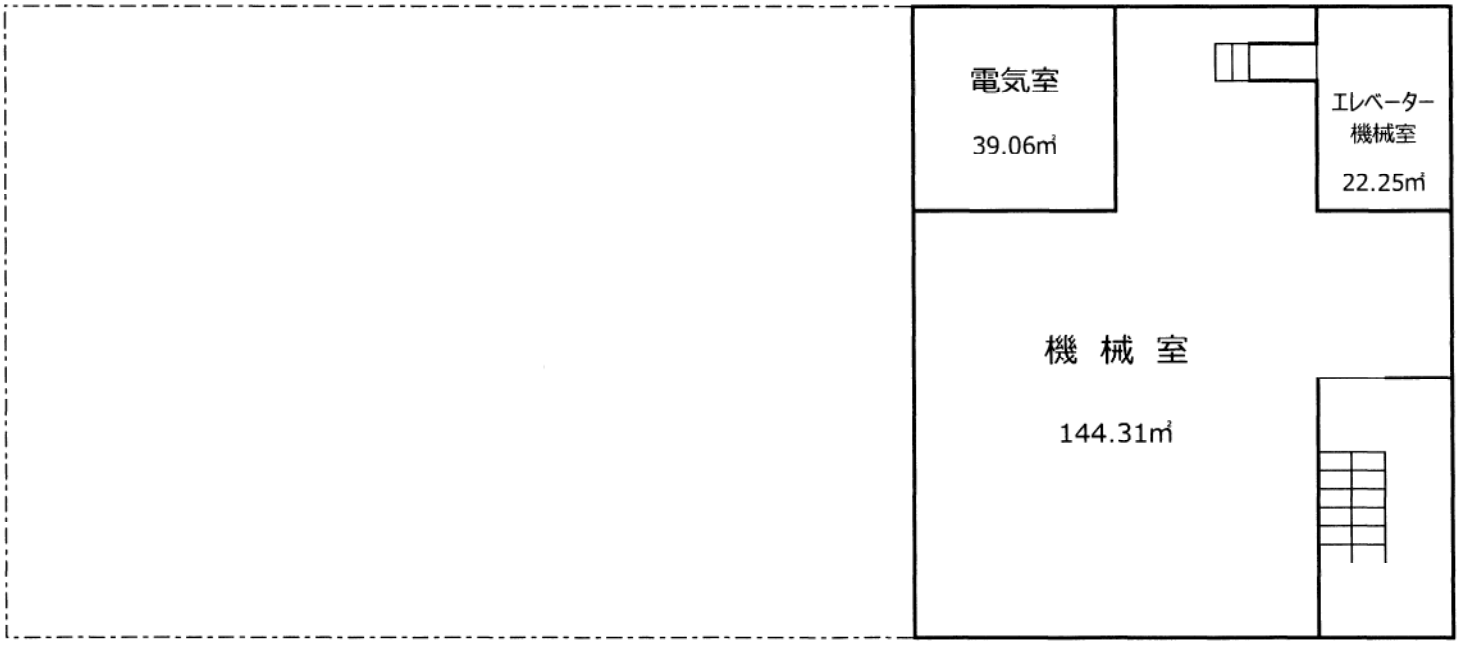
５４１．９１㎡



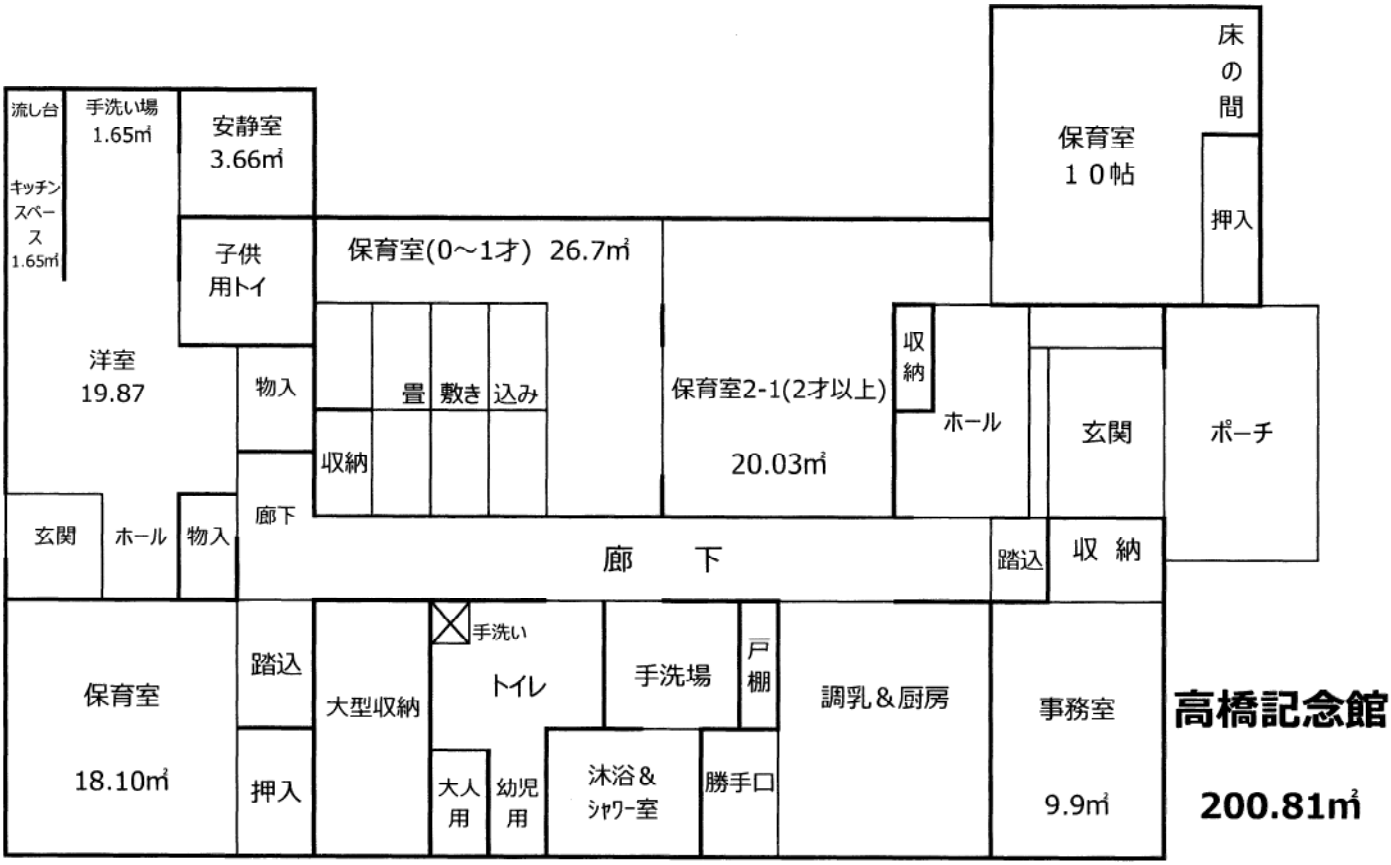
健診センター３階　　541.91㎡

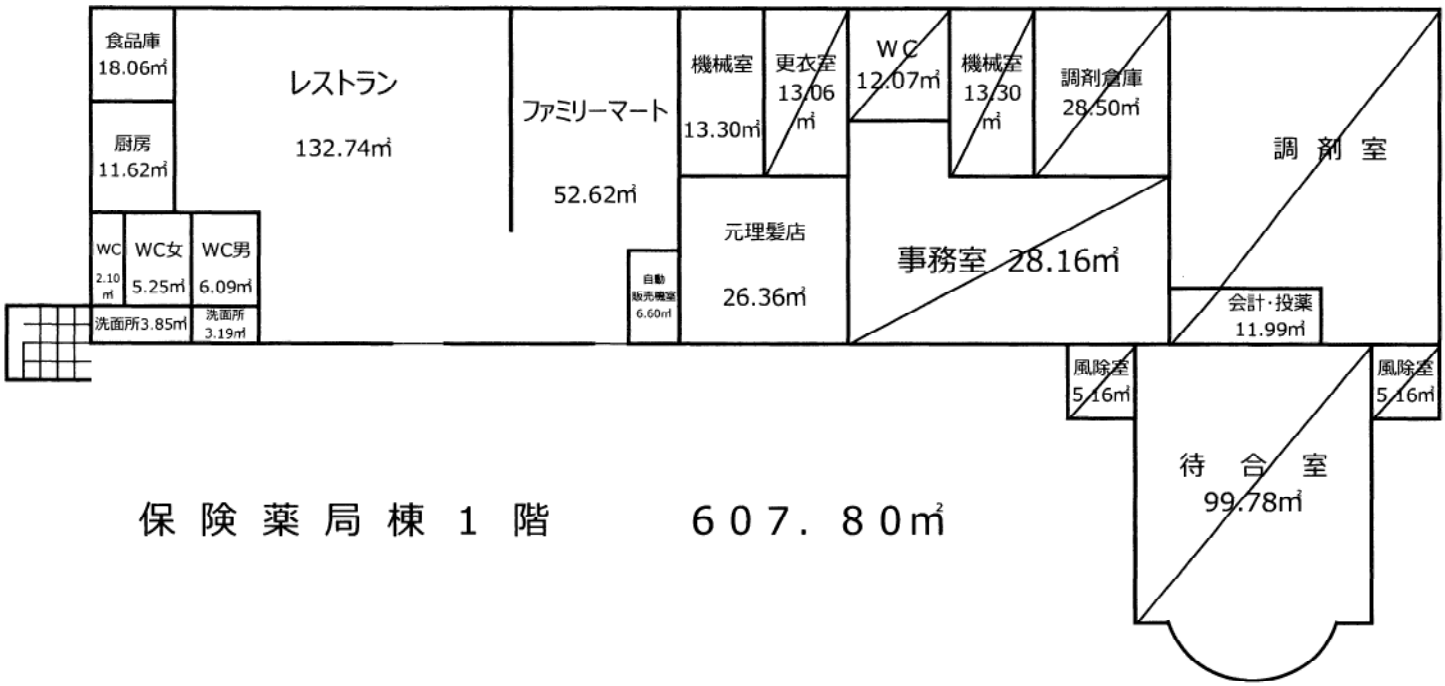


健診センター４階　　541.91㎡

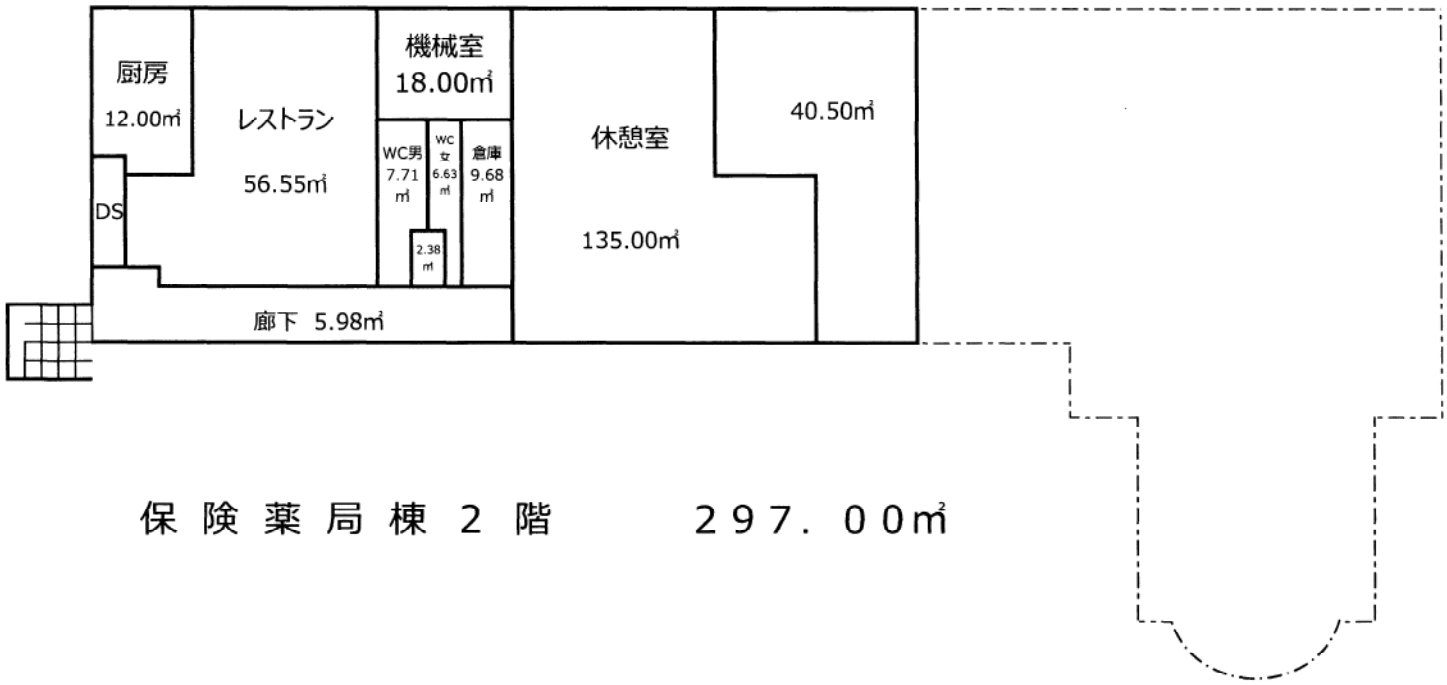


健診センター５階　　227.18㎡

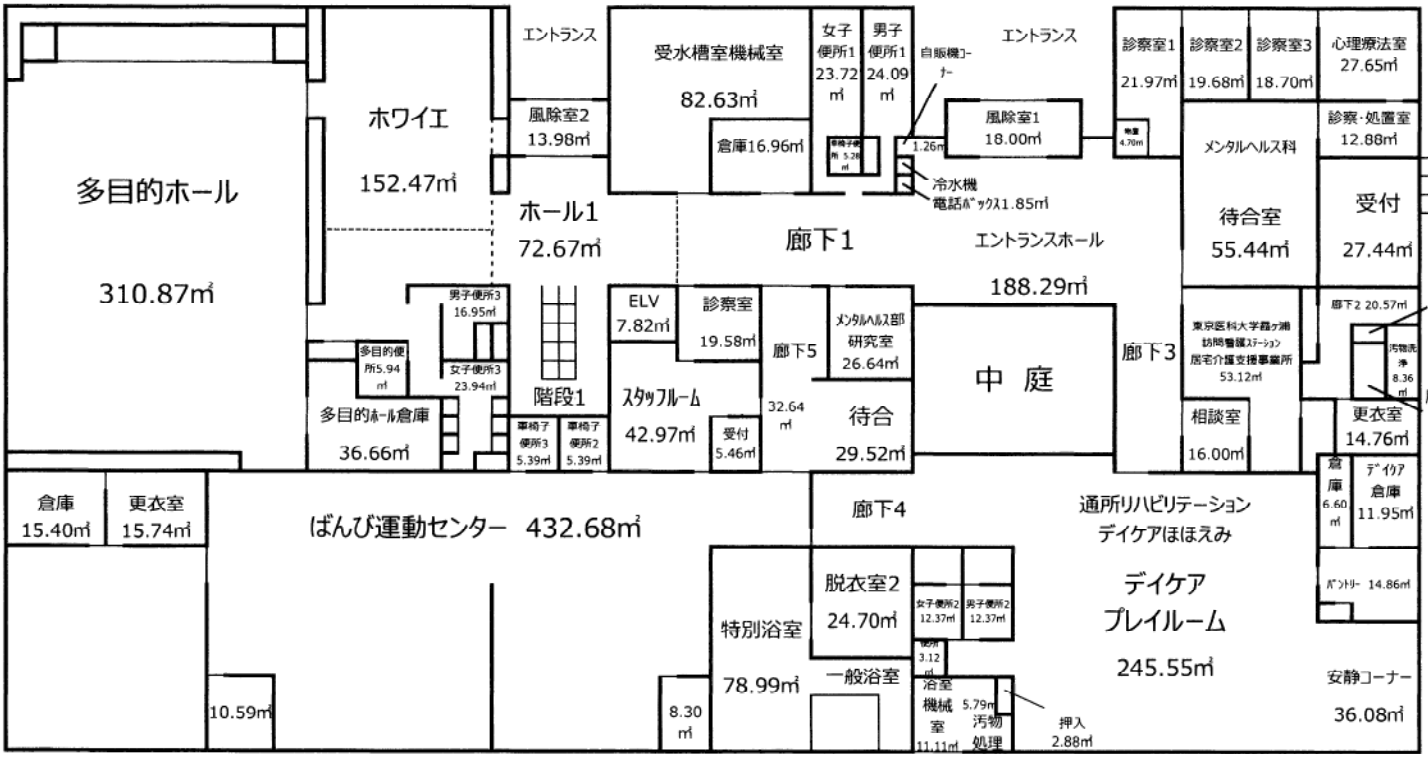

流し台
手洗い場
1.65㎡
安静室
3.66㎡
キッチン
スペース
1.65㎡
子供
用トイ
保育室(0～1才) 26.7㎡
保育室
１０帖
床
の
間
押入
洋室
19.87
物入
畳
敷き
込み
収納
保育室2-1(2才以上)
20.03㎡
収納
ホール
玄関
ポーチ
廊下
玄関
ホール
物入
廊　下
踏込
収 納
保育室
18.10㎡
踏込
押入
大型収納
手洗い
トイレ
大人
用
幼児
用
手洗場
沐浴＆
ｼｬﾜｰ室
戸
棚
勝手口
調乳＆厨房
事務室
9.9㎡
高橋記念館
200.81㎡



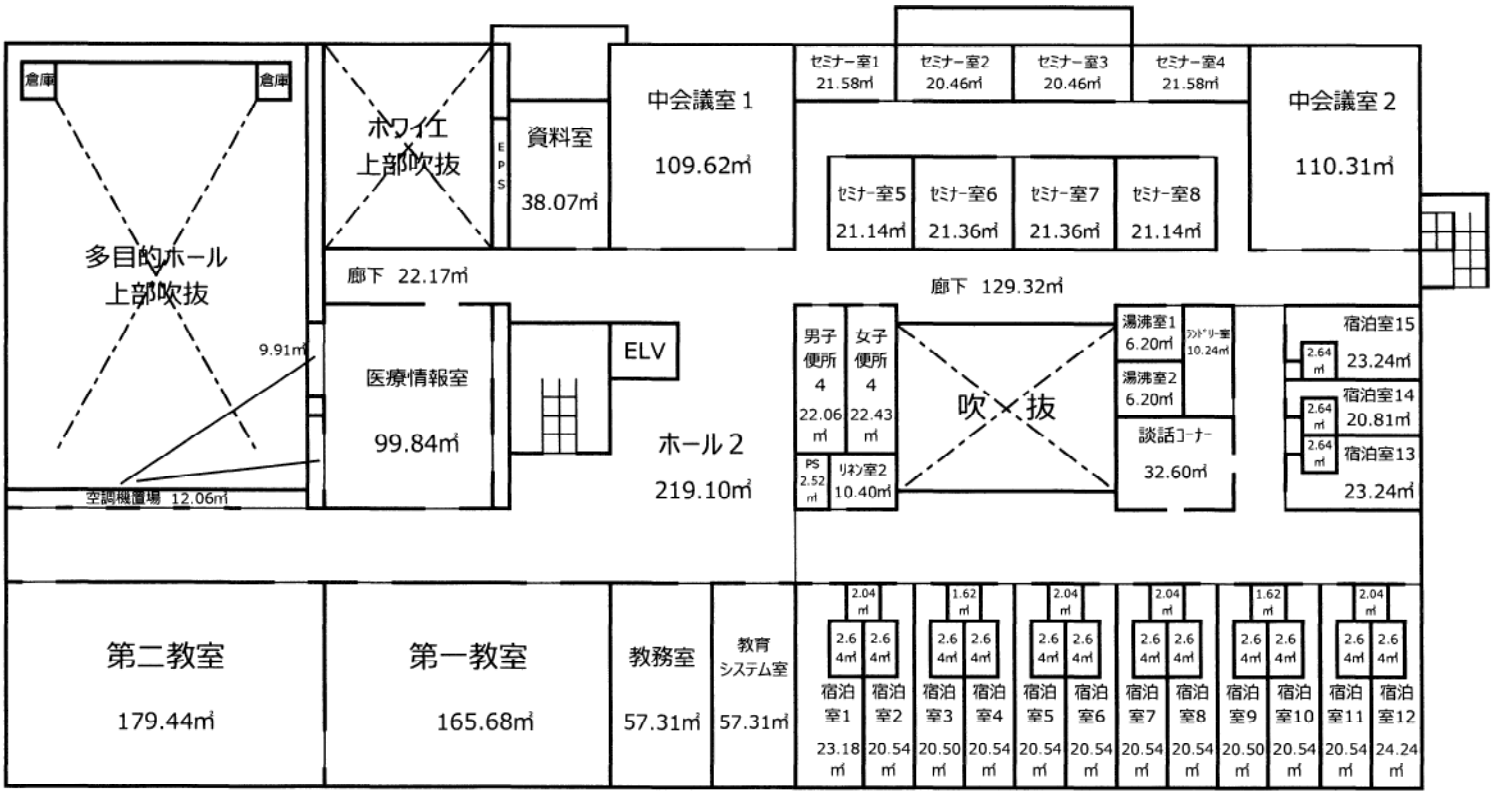
保険薬局棟１階　　６０７．８０㎡



保険薬局棟２階　　２９７．００㎡

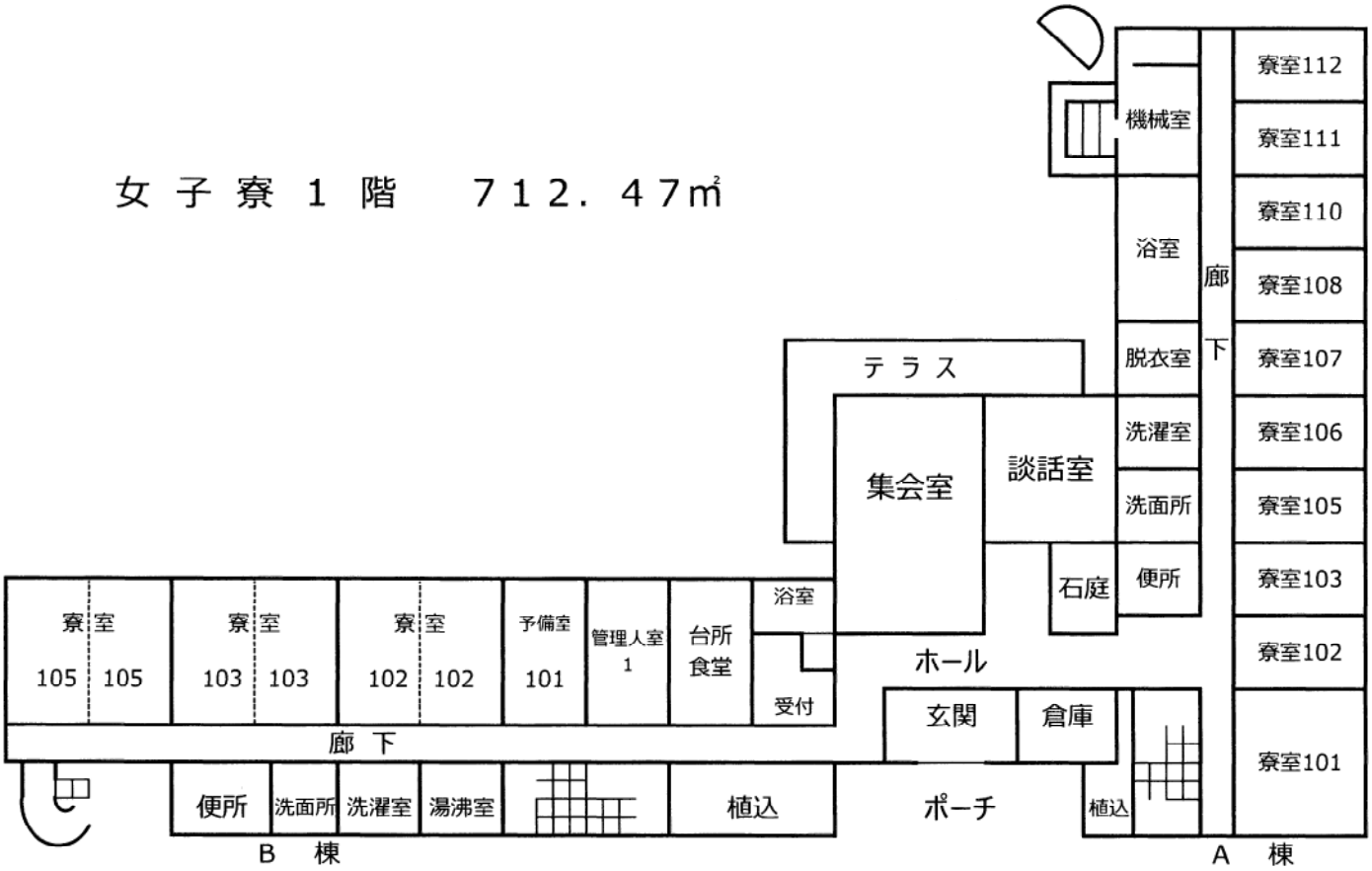


医療福祉研究センター１階

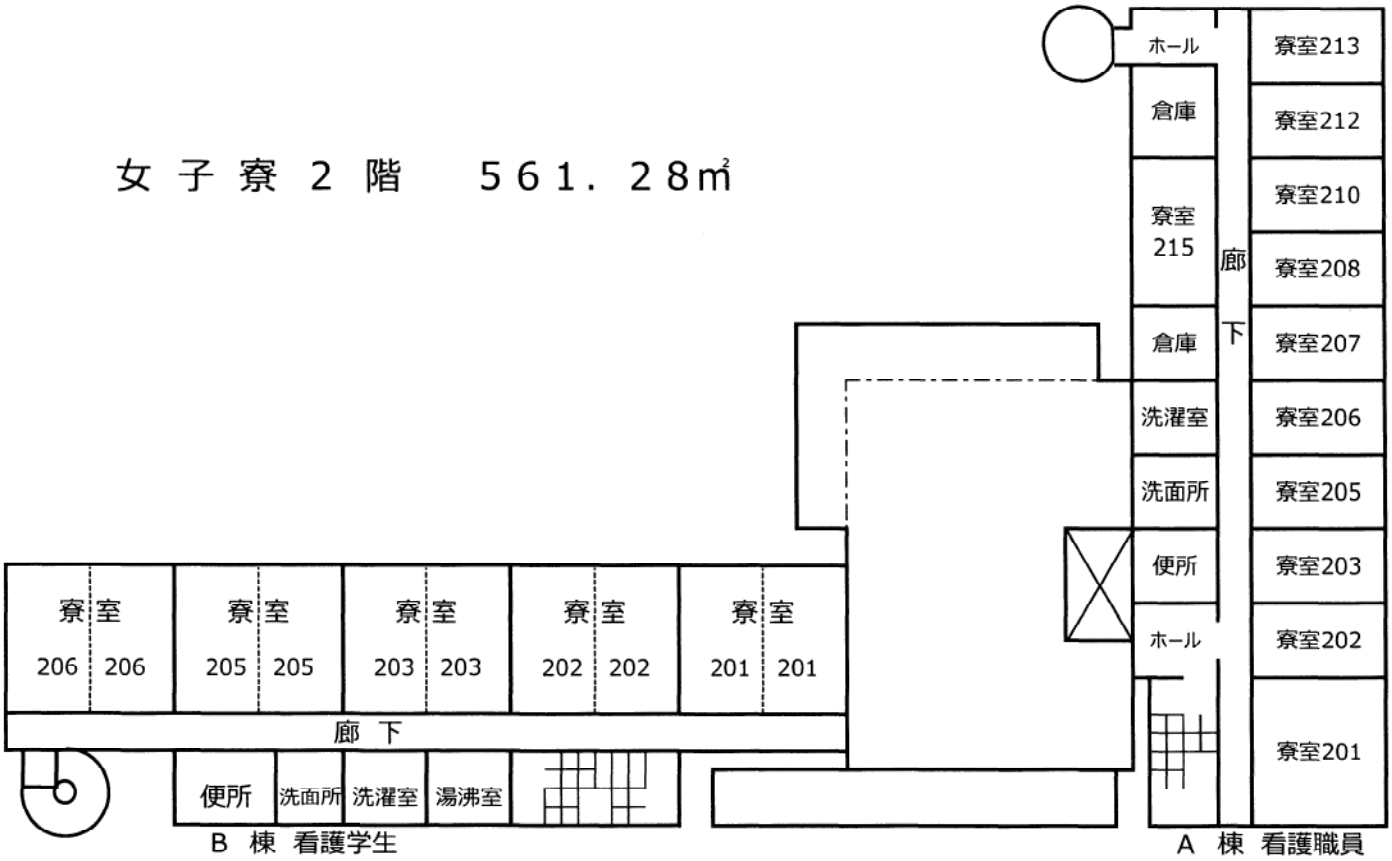


医療福祉研究センター２階

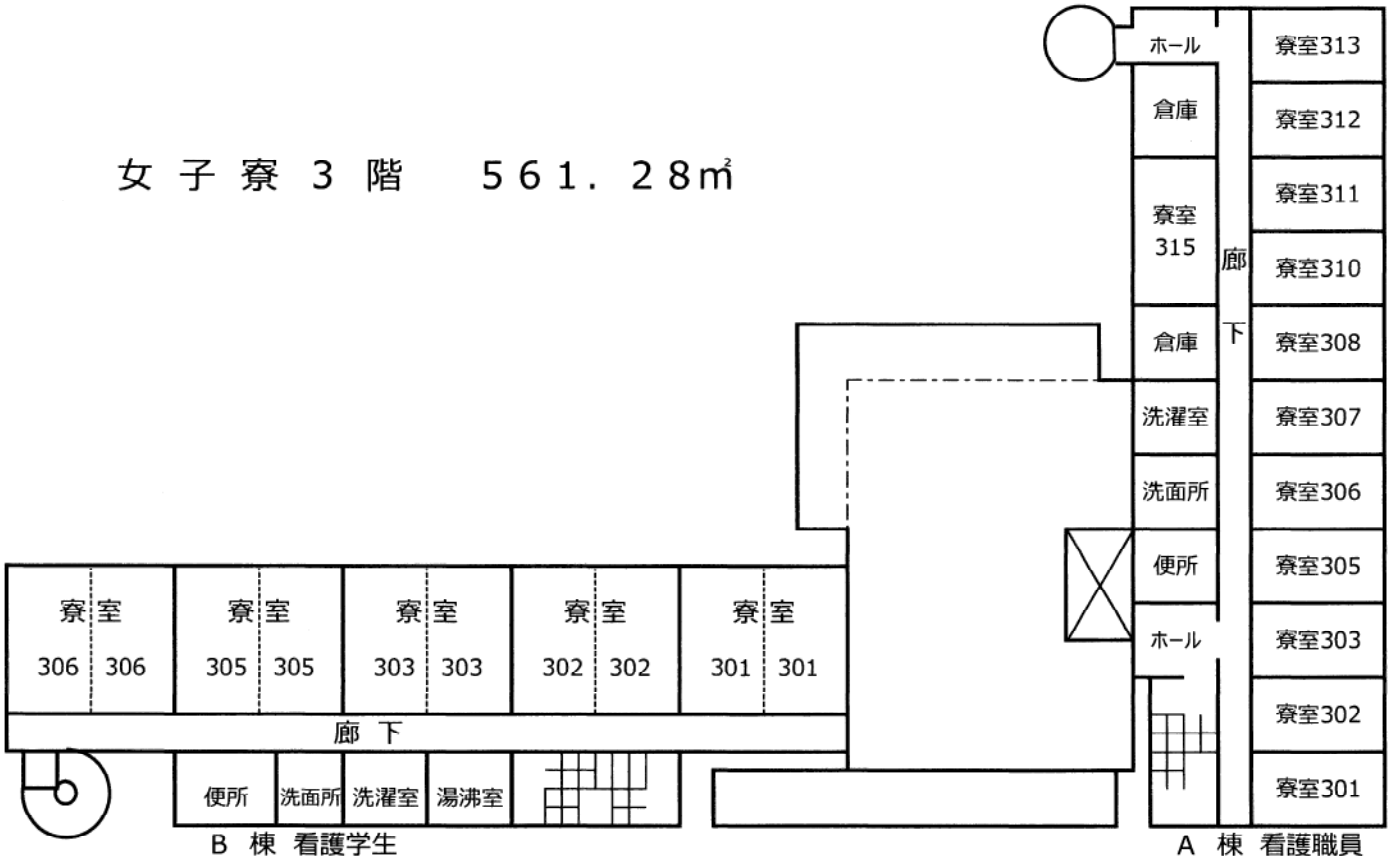
女子寮１階　７１２．４７㎡



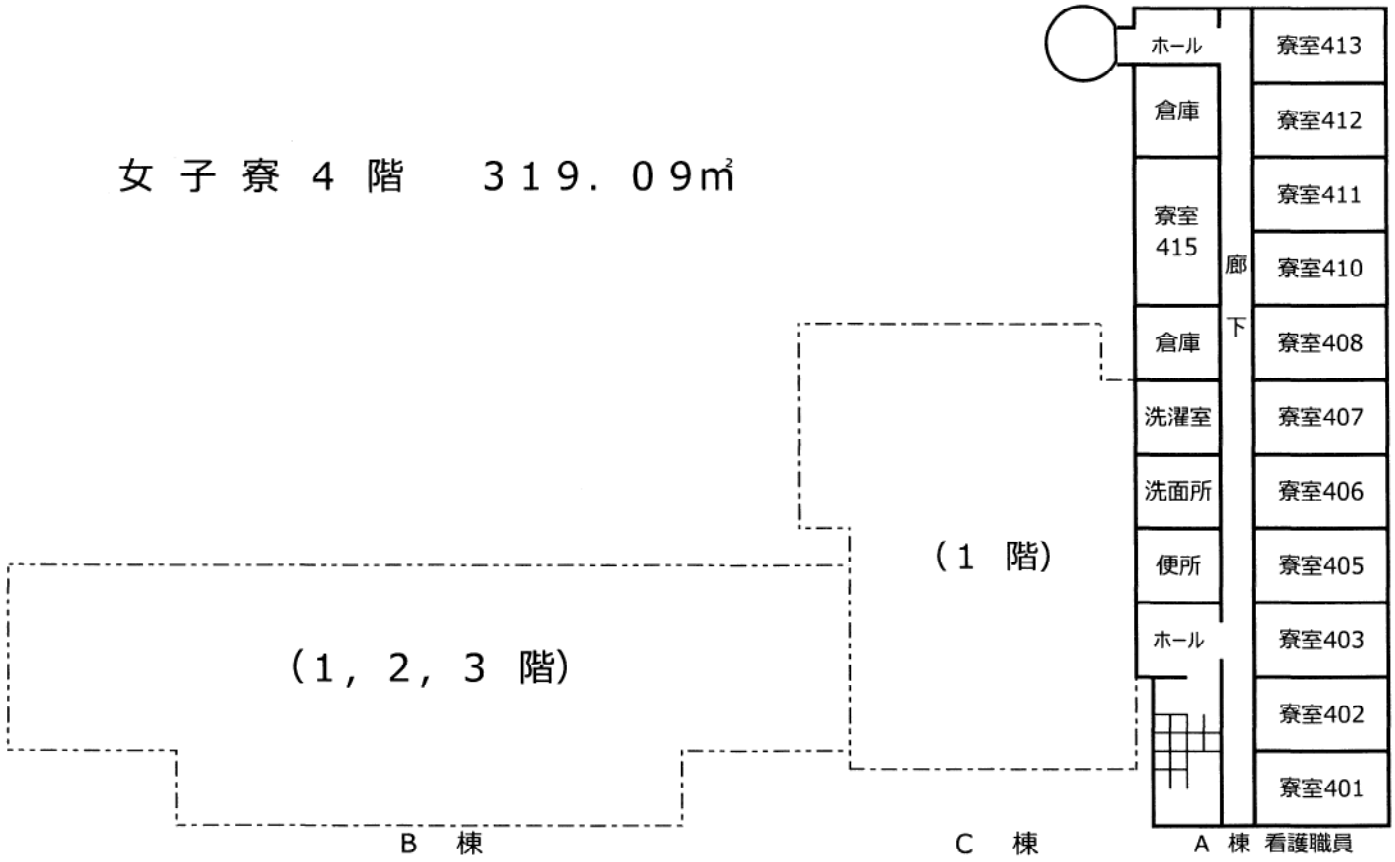
女子寮２階　５６１．２８㎡



女 子 寮 3 階　５６１．２８㎡



女 子 寮 4 階　３１９．０９㎡



東京医科大学図書館個別契約電子ジャーナル一覧

	個別契約タイトル
1	American Journal of Physiology : Consolidated
2	Journal of Applied Physiology
3	Journal of Clinical Endocrinology and Metabolism
4	Journal of Clinical Microbiology for Tokyo Medical University
5	Molecular and Cellular Biology for Tokyo Medical University
6	Physiological Reviews
7	Endocrinology
8	Proceedings of the National Academy of Sciences
9	Chemical Communications
10	Acta Oto-Laryngologica
11	Annual Review of Physiology
12	Blood
13	Journal of Cell Science
14	Journal of Clinical Investigation
15	Journal of Endovascular Therapy
16	Journal of Immunology
17	Journal of Neuroscience
18	Journal of Rheumatology
19	Leukemia and Lymphoma
20	Medical Teacher
21	Ocular Immunology & Inflammation
22	Otolaryngology - Head and Neck Surgery
23	Radiology
24	Scandinavian Journal of Gastroenterology
25	European Respiratory Journal
26	American Journal of Respiratory & Critical Care
27	American Journal of Respiratory & Cell Molecular Biology
28	Annals of American Thoracic Society
29	Pediatrics
30	Annals of internal Medicine
31	American Journal of Infection Control
32	American Journal of Kidney Diseases
33	American Journal of Obstetrics & Gynecology
34	American Journal of Ophthalmology
35	Annals of Oncology
36	Arthroscopy
37	Auris Nasus Larynx

東京医科大学図書館個別契約電子ジャーナル一覧

38	Biochemical and Biophysical Research Communications
39	Burns
40	Cancer Cell
41	Cell
42	Cell Metabolism
43	Chest
44	Developmental Cell
45	Gastroenterology
46	Gastrointestinal Endoscopy
47	Immunity
48	Journal of Allergy and Clinical Immunology
49	Journal of Arthroplasty
50	Journal of Dermatological Science
51	Journal of Investigative Dermatology
52	Journal of Oral and Maxillofacial Surgery
53	Journal of the American Academy of Dermatology
54	Journal of the American College of Cardiology
55	Journal of the American College of Surgeons
56	Journal of the Neurological Sciences
57	Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery
58	Journal of Thoracic Oncology
59	Journal of Vascular Surgery
60	Kidney International
61	Leukemia Research
62	Lung Cancer
63	Molecular Cell
64	Neuron
65	Ophthalmology
66	Surgery
67	The Annals of Thoracic Surgery
68	The Journal of Pediatrics
69	The Lancet
70	The Lancet Infectious Diseases
71	The Lancet Neurology
72	The Lancet Oncology

東京医科大学図書館契約電子資料一覧

購読パッケージ等	代表的なタイトル
AACR Journal Suite 8titles	Cancer Researchほか
ACS Consortium-Academic Core 43titles	Biochemistryほか
AMA(JAMA＋7Archives)JAMA Network 8titles	Journal of the American Medical Associationほか
The BMJ + BMJ Standard Collection 4titles	BMJほか
LWW 80titles	Neurologyほか
Oxford Journals 約300タイトル	Brainほか
Rockfeller University Press 3titles	The Journal of Cell Biologyほか
ScienceDirect 42titles	Lancetほか
Science Online Science&AAAS/Science products 4titles	Scienceほか
SpringerLinkNature Journals 約1,500タイトル （2,600タイトル利用可）	Annals of Surgical Oncologyほか
Thieme 約60タイトル	Endoscopyほか
Wiley-Blackwell Interscience Wiley Online Library Consort 約800タイトル （1,400タイトル利用可）	The Journal of Dermatologyほか
学会誌等個別契約9タイトル	Journal of Clinical Endocrinology and Metabolismほか
学会誌等個別契約4タイトル	Journal of Neurosurgeryほか
学会誌等個別契約14タイトル	Acta Oto-Laryngologicaほか
CINAHL Ultimate(看護学、保健学全文検索データベース＋Fulltext) 約2,100タイトル	American Journal of Critical Careほか
メディカルオンラインライブラリー(和雑誌) 約1,500タイトル	医学のあゆみほか
Maruzen E-Book Library（和書電子ブック）	内科学(第10版)ほか
メディカルオンラインイーブックスライブラリー（和書電子ブック）	データベース収載内の和書電子ブックの検索、閲覧ができるデータベース

契約データベース一覧

契約データベース	データベース内容説明
Cochrane Library	治療や予防のエビデンスとなる情報を探すデータベース
CAS SciFinder-n	化学分野の論文・特許、化学物質および有機化学反応情報を 網羅的に検索できるデータベース
UpToDate	臨床支援ツール
Web of Science	重要学術雑誌から書誌情報・引用情報を収録。論文間の引用関係を検索。IF参照可。 文献管理・論文作成支援ソフトEndnote Basic利用可
医中誌Web	日本国内医学文献の検索データベース
今日の診療Web	医学書院発行の参考書をベースとした診療・薬剤情報の検索と閲覧が可能
ジャパンナレッジLib	学習用データベース(辞書データベース)
朝日新聞クロスサーチ	学習用データベース(朝日新聞記事データベース)
最新看護索引Web	日本国内看護学文献の検索データベース

【参考】

①電子資料およびデータベース利用の際に不可欠なリンクナビゲーションシステム

SFX電子ジャーナルナビゲーションシステム （リンクリゾルバ）	データベース検索結果から文献単位での電子資料、図書館所蔵資料、文献複写Web申込システムへの リンクナビゲーションシステム

【資料23】

東京医科大学大学院学則（案）

第１章　総則

（目的）

第１条　東京医科大学大学院（以下「本大学院」という。）は、教育基本法及び学校教育法に基づき、先端的な研究の高度化を推進し、新しい時代に即応した人材を育成することを目的とする。

（課程）

第２条　本大学院に、次の研究科及び課程を置く。

研究科	課程
医学研究科	修士課程 博士課程
看護学研究科	修士課程

２　医学研究科修士課程は、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要な能力を養うことを目的とする。

３　医学研究科博士課程は、学術の理論及び応用を教授し、創造性、活力、人間性豊かな総合判断力かつ国際的な視点を有し、医学の発展を通して人類に貢献・寄与しうる指導力を兼ね備えた人材を養成することを目的とする。

４　看護学研究科修士課程は「高度な専門的知識・能力をもつ高度専門職業人の養成」を担うべき人材養成機能とし、「高度な看護実践能力、基礎的な教育研究能力を備えた看護職の養成」を主たる教育上の目的とする。

（研究科の組織及び目的）

第３条　本大学院の医学研究科及び看護学研究科に次の専攻を置く。

研究科	課程	専攻
医学研究科	修士課程	医科学
	博士課程	医学
	博士課程 （令和6年度入学者迄）	形態系
		機能系
		社会医学系
		内科系
		外科系
		社会人大学院・臨床研究系
		社会人大学院・研究系
看護学研究科	修士課程	看護学

（１）　医科学専攻

医科学専攻は、基礎医科学分野の知識を統合的に習得させ、医科学研究を実践することで、多様な医学・医療関連の分野で活躍できる医学研究者及び医学研究に関連する業務に携わる人材を養成する。

（２）　医学専攻

医学専攻は、共通科目による高い倫理観と論理的思考の涵養、基礎・社会医学系分野と臨床系分野が融合して構成されるコースワークおよび専門科目による体系的な高度な知識と能力の修得を通して、

新たな 学理を拓く研究を実践し、医学の発展、人類の福祉に貢献する人間性豊かな研究者ならびに研究指導者を養成する。

（3） 形態系専攻

形態系専攻は、人体構造学、組織・神経解剖学、人体病理学、分子病理学及び微生物学の５分野からなり、人体の臓器、組織の解剖学的研究、疾患に対する病理学的アプローチまで主に形態学的観点から人体の構造と病態の解明に取組み、基礎及び臨床医学の発展に寄与できる能力を有する人材を養成する。

（4） 機能系専攻

機能系専攻は、細胞生理学、病態生理学、生化学、薬理学、免疫学及び免疫制御学の６分野からなり、薬物の生体に与える作用機序の解明、中枢神経系への生理学的アプローチ、免疫反応の仕組など生体機能、生体防御に関わる研究を行い、研究指導者や大学等の教員となりうる人材を養成する。

（5） 社会医学系専攻

社会医学系専攻は、公衆衛生学、健康増進スポーツ医学、法医学、医療の質・安全管理学、医療データサイエンス学及び医学教育学の６分野からなり、疫学的研究、心身の健康維持、医療事故の現状と予防対策を構築できる人材を養成するとともに、新しい教育の開発や導入、教育活動の改革を促進できる能力を養成する。

（6） 内科系専攻

内科系専攻は、血液内科学、呼吸器内科学、循環器内科学、糖尿病・代謝・内分泌内科学、リウマチ・膠原病内科学、神経学、消化器内科学、消化器内視鏡学、内科系、精神医学、小児科・思春期科学、皮膚科学、放射線医学、臨床検査医学、高齢総合医学及び腎臓内科学の 16 分野からなり、各分野の医療を実践できる専門医認定医と高度な水準の医学研究に基づいた研究マインドと指導力を兼ね備えた研究指導者を養成する。

（7） 外科系専攻

外科系専攻は、呼吸器・甲状腺外科学、乳腺科学、心臓血管外科学、消化器・小児外科学、消化器外科学、消化器外科・移植外科学、整形外科学、眼科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、産科婦人科学、麻酔科学、脳神経外科学、口腔外科学、形成外科学及び救急・災害医学の 16 分野からなり、疾病に対して観血的手技を用いて人体の回復を図ることが中心となる。したがって、外科学的な基本知識と技能を学び、その知識、技能を基に実践につながる応用力、未解明分野を研究する臨床医及び研究指導者を養成する。

（8） 社会人大学院・臨床研究系専攻

社会人大学院・臨床研究系専攻は、血液内科学、呼吸器内科学、循環器内科学、糖尿病・代謝・内分泌内科学、リウマチ・膠原病内科学、神経学、消化器内科学、消化器内視鏡学、内科系、精神医学、小児科・思春期科学、皮膚科学、放射線医学、臨床検査医学、高齢総合医学、腎臓内科学、呼吸器・甲状腺外科学、乳腺科学、心臓血管外科学、消化器・小児外科学、消化器外科学、消化器外科・移植外科学、整形外科学、眼科学、泌尿器科学、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学、産科婦人科学、麻酔科学、脳神経外科学、口腔外科学、形成外科学及び救急・災害医学の 32 分野からなり、優秀な人材を求めるため広く社会に門戸を開き、優秀な臨床医及び研究指導者を養成する。

（９） 社会人大学院・研究系専攻

社会人大学院・研究系専攻は、人体構造学、組織・神経解剖学、人体病理学、分子病理学、微生物学、細胞生理学、病態生理学、生化学、薬理学、免疫学、免疫制御学、公衆衛生学、健康増進スポーツ医学、法医学、医療の質・安全管理学、医療データサイエンス学及び医学教育学の 17 分野からなり、優秀な人材を求めるため広く社会に門戸を開き、優秀な医学教育者及び研究指導者を養成する。

（10）看護学専攻

建学の精神「自主自学」と教育ビジョン「社会に出てからも永く活躍できる人材の育成」に基づき、基礎教育で身につけた能力を更に深化させ、高度な看護実践能力および基礎的な教育研究能力を備え、実践現場から看護の質向上に貢献する人材、将来教育研究者として看護学の発展に貢献できる人材を養成する。

（学生定員）

第４条　医学研究科及び看護研究科の入学定員及び収容定員は、次のとおりとする。

	課程	専攻名	入学定員	収容定員
医学研究科	修士課程	医科学専攻	10 名	20 名
	博士課程	医学専攻	68 名	272 名
	博士課程（令和６年度入学者迄）	形態系専攻	10 名	40 名
		機能系専攻	10 名	40 名
		社会医学系専攻	4 名	16 名
		内科系専攻	10 名	40 名
		外科系専攻	10 名	40 名
		社会人大学院・臨床研究系専攻	20 名	80 名
		社会人大学院・研究系専攻	4 名	16 名
		小計	68 名	272 名
	合計		78 名	292 名
看護学研究科	修士課程	看護学専攻	6 名	12 名

第２章　修業年限、在学年限、学年及び学期等

（修業年限）

第５条　医学研究科における標準修業年限は、修士課程にあっては２年、博士課程にあっては４年とする。

２　看護学研究科における標準修業年限は、修士課程にあっては２年とする。

（在学年限）

第６条　医学研究科における在学年限は、修士課程にあっては４年を、博士課程にあっては８年を超えることはできない。

２　看護学研究科における在学年限は、修士課程にあっては４年を超えることはできない。

（長期履修）

第６条の２　看護学研究科においては、学生が入学時に考慮すべき事情により第５条第２項に規定する標準修業年限を超えて一定期間にわたり計画的に履修し修了すること（以下、「長期履修」という。）

を申し出た場合にはその計画的な履修を認めることが出来る。
2　前項の長期履修を認められた場合には、第 6 条第 1 項の規定に係わらず 6 年を限度として在学出来る。
3　長期履修制度に関し必要な事項は、別に定める。
（学年、学期及び休業日）
第 7 条　学年、学期及び休業日は、東京医科大学学則（以下「大学学則」という。）第 16 条、第 17 条及び第 18 条の規定を準用する。
第 3 章　教育方法、授業科目及び単位並びに履修方法等
（教育方法）
第 8 条　本大学院における教育は、授業科目の授業及び学位論文の作成等に対する指導によって行うものとする。
2　看護学研究科においては、学位論文の作成に替えて課題研究に対する指導を含むものとする。
3　大学院設置基準第 14 条に定める教育方法の特例により、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。
第 8 条の 2　授業は、講義、演習、実験、実習及びこれらの併用により行なうものとする。
2　文部科学大臣の別に定めるところにより、前項の授業を、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行なう教室以外の場所で履修させる事が出来る。
（授業科目及び単位）
第 9 条　医科学専攻の授業科目及び単位等は、別表 1 のとおりとする。
2　第 3 条第 2 号　医学専攻の授業科目及び単位等は、別表 2 の 1 のとおりとする。
3　第 3 条第 3 号から第 9 号までの各専攻の授業科目及び単位等は、別表 2 の 2 のとおりとする。
4　看護学研究科修士課程の授業科目及び単位等は、別表 3 のとおりとする。
（履修方法等）
第 10 条　本大学院における研究指導の内容及び履修方法等は、別に定める。
（成績の評価）
第 11 条　成績の評価は、A・B・C・Dの 4 種とし、A・B・Cを合格、Dを不合格とする。
（他の大学院等における授業科目の履修）
第 12 条　本大学院の教育上特に有益と認めるときは、他の大学院、研究所等の長と協議のうえ、学生に当該大学院、研究所等における授業科目の授業又は研究指導を受けさせることができる。ただし、修士課程の学生については、当該研究指導を受けさせることができる期間は、1 年を超えないものとする。
2　前項の規定により修得した授業科目及び単位については、修士課程においては 4 単位を超えない範囲で、博士課程においては 8 単位を超えない範囲で、本大学院において相当する授業科目及び単位を修得したものとみなすことができる。
第 4 章　課程修了要件及び学位
（課程の修了要件）
第 13 条　修士課程の修了要件は、本大学院修士課程に 2 年以上在学して 30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学年

数に関しては、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。
看護学研究科高度実践看護師コースについては修士論文に代えて、課題研究の審査を課すものとする。

2　博士課程の修了要件は、本大学院博士課程に4年以上在学して30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学年数に関しては、優れた研究業績を上げた者については、3年以上在学すれば足りるものとする。

（課程修了の認定及び成績評価）

第14条　医学研究科における課程修了の認定は、医学研究科長が行う。

2　学位論文の審査及び最終試験の成績評価は、第49条に定める医学研究科委員会の審査に基づいて、研究科長が行う。

3　科目試験、学位論文の審査及び最終試験の成績評価の基準は、医学研究科委員会の定めるところによる。

第14条の2　看護学研究科における課程修了の認定は、看護学研究科長が行う。

4　学位論文または課題研究の審査及び最終試験の成績評価は、第49条に定める看護学研究科委員会の審査に基づいて、研究科長が行う。

3　科目試験、学位論文または課題研究の審査及び最終試験の成績評価の基準は、看護学研究科委員会の定めるところによる。

（学位授与）

第15条　学長は、医学研究科修士課程を修了した者には、修士（医科学）の学位を授与する。

2　医学研究科博士課程を修了した者には、博士（医学）の学位（甲種－課程博士）を授与する。

3　医学研究科博士課程を所定単位取得後退学後、3年以内に博士論文の審査及び最終試験に合格した者にも、博士（医学）の学位（甲種－課程博士）を授与する。

4　看護学研究科修士課程を修了した者には、修士（看護学）の学位を授与する。

第16条　医学研究科博士課程においては、第13条第2項及び第14条（修士課程に係る部分を除く。）の規定により学位を授与される者と同等以上の内容を有する論文を提出し、その審査及び試験等に合格した者に対しても、博士（医学）の学位（乙種－論文博士）を授与することができる。

第17条　学位の授与に関して必要な事項は、別に定める。

第5章　入学、再入学及び転入学

（入学資格）

第18条　医学研究科修士課程に入学することのできる者は、次のとおりとする。

（1）　大学を卒業した者

（2）　専修学校の専門課程を修了した者で、高度専門士の称号を授与されたもの

（3）　外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

（4）　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

（5）　我が国において、外国の大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

（6）　昭和28年文部省告示第5号をもって文部科学大臣の指定した者

（7）　学校教育法第68条の2第4項の規定により学士の学位を授与された者

（8） 研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達したもの

2　医学研究科博士課程に入学することのできる者は、次のとおりとする。

（1） 大学（6 年制の医学、歯学、獣医学又は薬学の課程。以下この項において同じ。）を卒業した者

（2） 修士の学位又は専門職学位を有する者

（3） 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

（4） 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

（5） 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者

（6） 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者

（7） 昭和 30 年文部省告示第 39 号をもって文部科学大臣の指定した者

（8） 平成元年文部省告示第 118 号をもって文部科学大臣の指定した者

（9） 研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達したもの

第 18 条の 2　看護学研究科修士課程研究コースに入学することのできる者は、保健師・助産師・看護師のいずれかの資格を有し（入学時までに資格取得見込みを含む）、次のいずれかに該当する者とする。

（1） 大学を卒業した者及び入学時までに卒業見込みの者

（2） 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び入学時までに学位を授与される見込みの者

（3） 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び入学時までに修了見込みの者

（4） 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の 16 年の課程(文部科学大臣指定外国大学日本校)を修了した者及び修了見込みの者

（5）文部科学大臣が外国の大学相当として指定した外国の学校の課程を修了した者及び入学時までに修了見込みの者

（6）外国の大学等において、就業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び入学時までに学位授与される見込みの者

（7）専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校専門課程一覧）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び入学時までに修了見込みの者

（8）　本研究科において個別の入学資格審査により大学を卒業した者と同等の学力があると認めた者

2　高度実践看護師コースに入学することができる者は第 1 項及び第 1 項(1)～（8）のいずれかに該当する者で、入学時点で各専門分野における看護実務経験を 3 年以上有する者

（入学の時期）

第 19 条　入学の時期は、原則として学年の始めとする。

（入学の出願）

第 20 条　本大学院の入学志願者は、所定の入学願書に所定の入学考査料及び別に定める書類を添えて、指定する期日までに本学に願い出なければならない。

（入学者の選考）

第 21 条　入学者の選考は、論文審査、面接、その他の方法による。

2　その他入学者の選考について必要な事項は、別に定める。

（入学手続）

第 22 条　前条の選考に合格した者は、指定する期日までに、入学金及び授業料を納入するとともに所定の書類を添えて入学の手続を完了しなければならない。

（入学の許可）

第 23 条　学長は、前条の手続を完了した者につき、入学を許可する。

（再入学）

第 24 条　本大学院を中途において退学した者で、再び同一専攻に入学を志願する者には、退学後 2 年以内に限り、これを許可することがある。

2　再入学した者の在籍年次、既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については、所属の研究科委員会において決定する。

（転入学）

第 25 条　他の大学院の学生が本大学院に転入学しようとするときは、当該大学院設置の大学の学長又は所属研究科長の紹介状を添えて、学長に転入学願を提出しなければならない。

2　前項の願い出があったときは、欠員ある場合に限り、選考のうえ許可することがある。

3　転入学した者の在籍年次、既に修得した授業科目及び単位数の取扱い並びに在学すべき年数については所属の研究科委員会において決定する。

第 6 章　休学、転学、退学及び除籍等

（休学）

第 26 条　疾病その他やむを得ない事由により、引き続き 3 か月以上修学できない見込みの者は、所定の手続により、学長の許可を得て休学することができる。

2　疾病等のため修学することが適当でないと認められる者については、学長は休学を命ずることができる。

（休学期間）

第 27 条　休学の期間は 1 年を超えることができない。ただし、やむを得ない事由があるときは、許可を得て更に 1 年以内に限り、期間を延長することができる。

2　休学の期間は、修士課程にあっては通算して 2 年、博士課程にあっては通算して 3 年を超えることができない。

3　休学の期間は、修業年限及び在学年限に算入しない。

（復学）

第 28 条　休学期間が満了するとき及び休学期間中であっても、その事由が消滅した場合には、保証人連署のうえ、所定の復学願を学長に提出し、各研究科委員会の議を経て学長の許可を得なければならない。

2　疾病が治癒して復学する者は、原則として休学開始時と同一の医師の診断書を提出し、学生・職員健

康サポートセンターの医師の面談を受けなければならない。
3　疾病以外の理由で休学し復学する者は、その事由が解消された証明書又は理由書を添付しなければならない。
（転学）
第 29 条　本大学院から他の大学院へ転学しようとする者は、所定の手続により、学長に願い出て許可を受けなければならない。
（退学）
第 30 条　退学しようとする者は、その事由を付して、保証人連署のうえ、所定の様式により学長に願い出て、許可を受けなければならない。
2　前項の規定にかかわらず、学長は、学生が疾病その他の事由で成業の見込みがないと認めたときは、退学を命ずることができる。
（除籍）
第 31 条　次の各号の一に該当する者は、学長が除籍する。
（1）　学生納付金の納付を怠り、督促してもなお納付しない者
（2）　第 6 条に定める在学年限を超えた者
（3）　第 27 条第 2 項に定める休学の期間を超えてもなお修学できない者
（4）　長期間にわたり行方不明の者
（5）　死亡した者
第 7 章　専攻の変更
（変更）
第 32 条　博士課程の専攻の変更は、原則として認めない。ただし、特別の事情がある場合は、学長が専攻の変更を許可することがある。
第 33 条　専攻を変更した後の在学すべき年限及び既修得単位の認定等については、当該学生の履修状況等を勘案して、学長が決定する。
2　前項により修業年限を変更された場合であっても、第 6 条第 1 項及び第 2 項に定める博士課程の在学年限を超えることができない。

第 8 章　表彰及び懲戒
（表彰）
第 34 条　学長は、学業及び操行が優秀で他の学生の模範となる学生を表彰することができる。
（懲戒）
第 35 条　学長は、学生が大学院学則その他の規程に違反し、若しくは秩序を乱し、又は学生の本分に反する行為があったときは、当該学生を懲戒することができる。
2　懲戒は、情状により戒告、停学及び退学とする。
3　前項の退学は、次の各号の一に該当する者に対して行う。
（1）　性行不良で改善の見込みがないと認められる者
（2）　学業劣等で成業の見込みがないと認められる者
（3）　正当の理由なくして出席常でない者

（4） 本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に著しく反した者

4　停学の期間は、在学年限に算入し、修業年限には算入しないものとする。ただし、停学期間が3か月未満の場合は、修業年限に算入することができる。

5　懲戒に関する手続きは、別に定める。

第9章　研究生、専攻生、聴講生、委託生及び外国人留学生

（研究生及び専攻生）

第36条　本大学院博士課程において、特定の課題について研究することを志願する者があるときは、大学院の教育研究に支障のない限り、選考のうえ、研究生及び専攻生として入学を許可することがある。

2　研究生及び専攻生を志願することのできる者は、大学（6年制の医学、歯学、獣医学又は薬学の課程）卒業した者又はこれと同等以上の学力があると認められた者とする。

3　その他、研究生及び専攻生に関して必要な事項は、別に定める。

（聴講生）

第37条　特定の授業科目の聴講を願い出る者のあるときは、教育に支障がない限り、聴講生として入学を許可することがある。

2　その他、聴講生に関して必要な事項は、別に定める。

（委託生）

第38条　官庁又は公共団体等から1学期以上を在学期間とし、学修する授業科目を指定して教育の委託の願い出のあるときは、選考のうえ、委託生として入学を許可することがある。

2　その他、委託生に関して必要な事項は、別に定める。

（外国人留学生）

第39条　外国人で、大学において教育を受ける目的で入国し、本大学院に入学を志願する者があるときは、選考のうえ、外国人留学生として入学を許可する。

2　その他、外国人留学生に関して必要な事項は、別に定める。

第10章　入学考査料及び学生納付金

（入学考査料及び学生納付金）

第40条　入学考査料及び学生納付金の額は、別表4のとおりとする。

2　学生納付金は、次の前期の所定の期日までに全納するか、又は次の2期の所定の期日までに等分して納入しなければならない。ただし、特別の事情がある場合には、期限を定めて納入の延期を認めることがある。

前期　4月30日まで

後期　10月31日まで

3　停学の懲戒を受けた者に係る学生納付金は、停学期間中であってもこれを徴収する。

4　休学を許可された者に係る学生納付金は、事情により減免することがある。

5　前項の減免に当たっては、各研究科委員会の議を経て、学長が決定する。

6　学年の中途において退学し、転学し、又は退学を命ぜられた者であっても、当該年度の学生納付金を納めなければならない。

7　学生納付金の滞納者は、納入後でなければ単位認定のための試験を受けることができない。

（免除等）
第 41 条　学業優秀である者又は経済的理由によって納付が困難な者に対しては、学生納付金の一部又は全部を免除することがある。
2　再入学者の入学金は、免除することがある。
（研究生、専攻生、聴講生及び委託生の入学考査料及び学生納付金）
第 42 条　研究生、専攻生、聴講生及び委託生の入学考査料及び学生納付金の額は、別表５のとおりとする。
（授業料等の返還）
第 43 条　納付した入学考査料及び学生納付金は、返還しない。ただし、入学許可を得た者で、指定の期日までに入学辞退を届け出た者については、入学金又はこれに相当する金額を除き授業料等を返還することがある。
（奨学生）
第 44 条　品行方正で学力優秀な学生で、他の学生の模範となると認められた学生を奨学生とすることがある。
2　奨学生に対しては、授業料の額の一部を給付するものとする。
3　その他、奨学生に関して必要な事項は、別に定める。
第 11 章　職員組織
（研究科長、専攻主任、教育職員等）
第 45 条　本大学院の研究科に、研究科長を置く。
2　医学研究科長は、医学研究科を統括する。
3　看護学研究科長は、看護学研究科を統括する。
4　研究科長は、学長がこれを兼ねることができる。
第 46 条　医学研究科及び看護学研究科の各専攻に、専攻主任を置く。
2　専攻主任は、当該専攻を統括する。
第 47 条　本大学院における授業及び研究指導は、東京医科大学大学院医学研究科教員選考基準の定めた研究指導教員、研究指導補助教員が行なう。
2　本大学院における授業は、東京医科大学大学院医学研究科教員選考基準の定めた授業担当教員が行う。
（事務職員）
第 48 条　本大学院の事務を処理するため、事務職員若干名を置く。
第 12 章　運営組織
（研究科委員会）
第 49 条　医学研究科に、医学研究科委員会を置く。
2　医学研究科委員会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり審議し、意見を述べるものとする。
（1）　大学院学則その他大学院に係る規程等の制定、改廃に関する事項
（2）　本大学院の組織の設置及び改廃に関する事項
（3）　入学、転学、退学、休学及び留学等学生の身分に関する事項

（４） 課程の修了及び学位の授与に関する事項
（５） 入学試験に関する事項
（６） 学生の試験及び評価に関する事項
（７） 教育課程の編成に関する事項
３　医学研究科委員会は、前項に規定するもののほか、教育研究に関する次に掲げる事項について審議し、学長の求めに応じ、意見を述べることができる。
（１） 学生の表彰及び懲戒に関する事項
（２） 学生の厚生補導に関する事項
（３） 本大学院に係る教育職員の選出に関する事項
（４） 学生納付金の減免に関する事項
（５） その他本大学院の教育・研究に関する学長の重要事項
４　その他医学研究科委員会の運営に関して必要な事項は、別に定める。
第 49 条の２　看護学研究科に、看護学研究科委員会を置く。
２　看護学研究科委員会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり審議し、意見を述べるものとする。
（１） 大学院学則その他大学院に係る規程等の制定、改廃に関する事項
（２） 本大学院の組織の設置及び改廃に関する事項
（３） 入学、転学、退学、休学及び留学等学生の身分に関する事項
（４） 課程の修了及び学位の授与に関する事項
（５） 入学試験に関する事項
（６） 学生の試験及び評価に関する事項
（７） 教育課程の編成に関する事項
３　看護学研究科委員会は、前項に規定するもののほか、教育研究に関する次に掲げる事項について審議し、学長の求めに応じ、意見を述べることができる。
（１） 学生の表彰及び懲戒に関する事項
（２） 学生の厚生補導に関する事項
（３） 本大学院に係る教育職員の選出に関する事項
（４） 学生納付金の減免に関する事項
（５） その他本大学院の教育・研究に関する学長の重要事項
４　その他看護学研究科委員会の運営に関して必要な事項は、別に定める。
（委員会）
第 50 条　医学研究科委員会は、必要に応じて委員会を設けることができる。
２　看護学研究科委員会は、必要に応じて委員会を設けることができる。
３　医学研究科委員会及び看護学研究科委員会に置く委員会に関する事項は、別に定める。
第 13 章　研究指導施設
第 51 条　本大学院に、学生研究室及び演習・実験実習室を置く。
２　学部及び附属施設の施設は、必要に応じ本大学院の学生の研究及び指導のために用いる。

第 14 章　補則

第 52 条　この学則に定めるもののほか、この学則の実施のために必要な規程等は、別に定める。

附　則

1　この学則は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

2　この学則の施行に伴い、昭和 32 年 4 月 1 日制定の「東京医科大学大学院学則」及び昭和 32 年 4 月 1 日制定の「東京医科大学大学院医学研究科規程」は、廃止する。

3　前項の規定にかかわらず、平成 24 年 4 月 1 日以前に入学した者の学科目及び単位は、なお従前の例による。

4　平成 25 年度の医科学専攻（修士課程）の収容定員は、第 4 条の規定にかかわらず、10 名とする。

附　則（平成 26 年 2 月 19 日）

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。（第 3 条第 3 号、第 5 号、第 6 号、第 7 号、第 9 条第 2 項、第 12 条第 2 項、別表 2 の 1 の改正及び別表 2 の 2 の新設）

附　則（平成 27 年 2 月 20 日）

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。（第 3 条第 5 号、第 7 号、別表 1 及び別表 2 の 2 の改正）

附　則（平成 27 年 3 月 18 日）

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。（第 31 条、第 32 条、第 33 条第 1 項、第 34 条、第 35 条第 1 項、第 49 条第 2 項の改正及び第 35 条第 5 項並びに第 49 条第 3 項の新設以下繰下げ）

附　則（平成 27 年 6 月 17 日）

この学則は、平成 27 年 7 月 1 日から施行する。（第 3 条第 3 号、別表 2 の 2 の改正及び第 8 条第 2 項の新設）

附　則（平成 29 年 3 月 15 日）

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。（第 3 条第 5 号から第 8 号まで及び別表 2 の 2 の改正）

附　則（平成 30 年 1 月 17 日）

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。（第 9 条第 1 項及び別表 1 の改正並びに別表 1 の 2 の新設）

附　則（令和 2 年 3 月 18 日）

この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。（第 47 条、別表 1 の改正）

附　則（令和 4 年 3 月 8 日）

この学則は、令和 4 年 4 月 1 日から施行する。（第 3 条第 4 号、5 号、7 号、8 号、第 9 条、第 15 条、第 16 号の改正及び第 15 条第 2 項、3 項の新設、別表 1 の 2 の削除、別表 2 の 1 の削除以下繰上げ、別表 2 の改正）【令和 4 年 3 月 23 日東医大発第 444 号】

附　則（令和 5 年 3 月 14 日）

この学則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。（第 28 条第 2 項の改正、第 3 項の新設及び別表 1 、別表 2 の改正）【令和 5 年 9 月 1 日東医大発第 298 号】

附　則（令和 6 年〇月〇日）

この学則は、令和 7 年 4 月 1 日から施行する。

別表１

教育課程表 医学研究科医科学専攻（修士課程）								
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験実習
専門科目	医学特論Ⅰ（総論）	1前	1			○		
	医学特論Ⅱ（生命倫理）	1前	1			○		
	医学特論Ⅲ（医学英語）	1前	1			○		
	医学特論Ⅳ（医科学一般）	1前	0.5			○		
	基礎生命科学特論	1前	0.5			○		
	分子細胞生物学特論	1前	1			○		
	分子病態学特論	1前	1			○		
	生体機能医学特論Ⅰ（分子生理学）	1前	1			○		
	生体機能医学特論Ⅱ（分子病理学）	1前	1			○		
	生体機能医学特論Ⅲ（神経解剖学）	1後	1			○		
	生体機能医学特論Ⅳ（分子薬理学）	1前	1			○		
	生体機能医学特論Ⅴ（感染症学）	1前	1			○		
	生体機能医学特論Ⅵ（分子免疫学）	1前	1			○		
	医療データサイエンス持論	1後	1			○		
	医学会総会発表	1～2	1				○	
	生体病態医学特論Ⅰ（リウマチ膠原病・神経内科学）	1後		0.5		○		
	生体病態医学特論Ⅱ（法医学）	1後		0.5		○		
	生体病態医学特論Ⅲ（循環器病学）	1後		0.5		○		
	生体病態医学特論Ⅳ（呼吸器・甲状腺学）	1後		0.5		○		
	医療安全管理学特論	2前		0.5		○		
	医学教育学特論	1後		0.5		○		
	人体構造学特論	1後		0.5		○		
	学内医学講演会（4回以上）	1～2		0.5			○	
	医科学特別研究	1～2	15				○	
合計		—	29	4	0	—		
修了要件及び履修方法								
30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。								

別表２の１（第９条第２項関係）

教育課程表 医学研究科医学専攻（博士課程）									
科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数		授業形態			備考
				必修	選択	講義	演習	実験実習	
専門科目	医学専攻	人体構造学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	専門科目は１科目 20 単位以上取得
		組織・神経解剖学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		人体病理学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		分子病理学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		微生物学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		細胞生理学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		病態生理学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		生化学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		薬理学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		免疫学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		免疫制御学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		公衆衛生学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		健康増進スポーツ医学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		法医学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		医療の質・安全管理学	１～３ １～３	６ 14		○	○	 ○	
		医療データサイエ	１～３	６		○	○		

ンス学	1～3	14				○
血液内科学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
呼吸器内科学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
循環器内科学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
糖尿病・代謝・内	1～3	6		○	○	
分泌内科学	1～3	14				○
リウマチ・膠原病	1～3	6		○	○	
内科学	1～3	14				○
神経内科学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
消化器内科学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
内科系	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
精神医学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
小児科･思春期科学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
皮膚科学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
放射線医学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
臨床検査医学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
高齢総合医学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
腎臓内科学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
呼吸器・甲状腺外	1～3	6		○	○	
科学	1～3	14				○
乳腺科学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○
心臓血管外科学	1～3	6		○	○	
	1～3	14				○

		消化器･小児外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		消化器外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		消化器外科・移植外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		整形外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		眼科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		泌尿器科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		産科婦人科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		麻酔科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		脳神経外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		口腔外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		形成外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		救急・災害医学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		小計（1科目）	―	20		―			
コースワーク	コースワーク講義・演習		1～3	3		○	○		コースワーク別研究発表及び講義、特別講義出席、医学会総会発表及び出席
	コースワーク実習		1～3	2				○	
		小計（2科目）	―	5		―			
共通科目	ステップ1		1	1		○	○		講義
	ステップ2								
	医学研究における法と倫理		1～3	1		○	○		

	医療データサイエンス	1～3	2		○	○		
	国際発信のための論文執筆とプレゼンテーション	1～3	0.5		○	○		
	グラント申請の書き方・研究資金の確保	1～3	0.5		○	○		
	小計（5科目）	—	5		—			
合計（8科目）		—	30		—			
修了要件及び履修方法								
専門科目20単位以上、コースワーク5単位以上、共通科目5単位を修得し、計30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。								

別表2の2（第9条第2項関係）

教育課程表

（医学研究科博士課程）　　令和6年度入学者迄

科目区分	授業科目の名称		配当年次	単位数		授業形態			備考
				必修	選択	講義	演習	実験実習	
専門科目	形態系専攻	人体構造学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	専門科目は1科目20単位以上取得
		組織・神経解剖学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		人体病理学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		分子病理学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		微生物学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
	機能系専攻	細胞生理学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		病態生理学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		生化学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		薬理学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		免疫学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○	
		免疫制御学	1～3	6		○	○		

		1～3	14				○
社会医学系専攻	公衆衛生学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	健康増進スポーツ医学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	法医学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	医療の質・安全管理学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	医療データサイエンス学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	医学教育学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
内科系専攻	血液内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	呼吸器内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	循環器内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	糖尿病・代謝・内分泌内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	リウマチ・膠原病内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	神経内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	消化器内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	消化器内視鏡学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	内科系	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	精神医学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	小児科･思春期科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	皮膚科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○

		放射線医学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		臨床検査医学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		高齢総合医学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		腎臓内科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
	外科系専攻	呼吸器・甲状腺外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		乳腺科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		心臓血管外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		消化器･小児外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		消化器外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		消化器外科・移植外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		整形外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		眼科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		泌尿器科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		産科婦人科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		麻酔科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		脳神経外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		口腔外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		形成外科学	1～3	6		○	○	

		1～3	14				○
	救急・災害医学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
社会人大学院・臨床研究系	血液内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	呼吸器内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	循環器内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	糖尿病・代謝・内分泌内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	リウマチ・膠原病内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	神経内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	消化器内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	消化器内視鏡学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	内科系	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	精神医学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	小児科･思春期科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	皮膚科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	放射線医学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	臨床検査医学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	高齢総合医学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	腎臓内科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○
	呼吸器・甲状腺外科学	1～3	6		○	○	
		1～3	14				○

		乳腺科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		心臓血管外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		消化器･小児外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		消化器外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		消化器外科・移植外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		整形外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		眼科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		泌尿器科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		産科婦人科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		麻酔科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		脳神経外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		口腔外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		形成外科学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		救急・災害医学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
	社会人大学院・研究系	人体構造学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		組織・神経解剖学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		人体病理学	1～3 1～3	6 14		○	○	 ○
		分子病理学	1～3	6		○	○	

			1～3	14				○	
		微生物学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		細胞生理学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		病態生理学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		生化学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		薬理学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		免疫学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		免疫制御学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		公衆衛生学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		健康増進スポーツ医学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		法医学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		医療の質・安全管理学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		医療データサイエンス学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		医学教育学	1～3	6		○	○		
			1～3	14				○	
		小計（1科目）	—	20		—			
コースワーク	コースワーク講義・演習		1～3	3		○	○		コースワーク別研究発表及び講義、特別講義出席、医学会総会発表及び出席
	コースワーク実習		1～3	2				○	
		小計（2科目）	—	5		—			
共通科目	ステップ1		1	1			○		講義
	ステップ2								

	医学研究における法と倫理	1～3	1			○		
	医療データサイエンス	1～3	2			○		
	国際発信のための論文執筆とプレゼンテーション	1～3	0.5			○		
	グラント申請の書き方・研究資金の確保	1～3	0.5			○		
	小計（5科目）	—	5		—			
合計（8科目）		—	30		—			
修了要件及び履修方法								
専門科目20単位以上、コースワーク5単位以上、共通科目5単位を修得し、計30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで、博士論文の審査及び最終試験に合格することとする。								

別表3（第9条第3項関係）

教育課程 看護学研究科看護学専攻（修士課程）										
科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
共通基礎科目		看護理論特論	1後		2		○			
		看護倫理特論	1前	＊2	2		○			
		看護研究方法論Ⅰ	1前	2			○			
		看護研究方法論Ⅱ	1後	1	＊1		○			
		医療データサイエンス特論	1後	1	＊1		○			
		コンサルテーション特論	1後		2		○			
		看護教育特論	1前	2			○			
		看護マネジメント特論	1前	2			○			
		異文化看護特論	1後	2	＊2		○			
		フィジカルアセスメント	1通	＊2	2			○		
		臨床薬理学	1後	＊2	2		○			
		病態生理学	1前	＊2	2		○			
		小計（12科目）	－				－			
基盤看護学領域科目	基礎看護学分野科目	基礎看護学特論Ⅰ	1前		2		○			
		基礎看護学特論Ⅱ	1後		2		○			
		基礎看護学演習Ⅰ	2前		2			○		
		基礎看護学演習Ⅱ	2後		2			○		
		小計（4科目）	－				－			

こども・女性看護学領域科目	こども看護学分野科目	こども看護学特論Ⅰ（発達理論）	1前		2		○			
		こども看護学特論Ⅱ（健康の維持・増進、回復）	1前		2		○			
		こども看護学特論Ⅲ（看護実践と倫理）	1前		＊2		○			
		こども看護学特論Ⅳ（制度・政策、調整・協働）	1後		＊2		○			
		こども看護学演習Ⅰ（包括的アセスメント）	1前		2			○		
		こども看護学演習Ⅱ（病態生理･診断･治療）	1前		＊2			○		
		こども看護学演習Ⅲ（多様な健康状態と生活の場）	1後		2			○		
		こども看護学実習Ⅰ（診断・治療）	1後		＊2				○	
		こども看護学実習Ⅱ（高度実践/プライマリケア）	2通		＊4				○	
		こども看護学実習Ⅲ（高度実践）	2通		＊4				○	
		小計（10科目）	－				－			
	ウィメンズヘルス看護学分野科目	ウィメンズヘルス看護学特論Ⅰ	1前		2		○			
		ウィメンズヘルス看護学特論Ⅱ	1後		2		○			
		ウィメンズヘルス看護学演習Ⅰ	1前		2			○		
		ウィメンズヘルス看護学演習Ⅱ	1後		2			○		
		小計（4科目）	－				－			
療養支援看護学領域科目	がん看護学分野科目	がん看護学特論Ⅰ(がん看護学理論)	1前		2		○			
		がん看護学特論Ⅱ(がん看護学援助論)	1前		2		○			
		がん看護学特論Ⅲ(がんの	1前	＊2	2		○			

		病態と診断治療）								
		がん看護学特論Ⅳ（がん薬物療法看護）	1後	＊2	2		○			
		がん看護学特論Ⅴ（緩和ケア）	1後	＊2	2		○			
		がん看護学演習Ⅰ（エビデンス検索と活用）	1後		2			○		
		がん看護学演習Ⅱ（フィールドワーク）	1後		2			○		
		がん看護学演習Ⅲ（がん看護実践演習）	2前	＊2				○		
		がん看護学実習Ⅰ（診断治療実習）	1後	＊2					○	
		がん看護学実習Ⅱ（役割開発実習）	1後	＊2					○	
		がん看護学実習Ⅲ（高度実践実習：がん薬物療法看護）	2通	＊3					○	
		がん看護学実習Ⅳ（高度実践実習：緩和ケア）	2通	＊3					○	
		小計（12科目）	－				－			
	精神看護学分野科目	精神看護学特論Ⅰ（歴史と法制度）	1前		2		○			
		精神看護学特論Ⅱ（心身のアセスメント）	1前		2		○			
		精神看護学特論Ⅲ（精神科の治療技法）	1前	＊2	2		○			
		精神看護学特論Ⅳ（看護理論と援助技法）	1後	＊3	3		○			
		精神看護学特論Ⅴ（リエゾン精神看護）	1後	＊4			○			
		精神看護学演習Ⅰ（フィールドワーク）	1後		2			○		
		精神看護学演習Ⅱ（援助技法に関する演習）	2前		2			○		
		精神看護学実習Ⅰ（高度実践/直接ケア）	2通	＊6					○	
		精神看護学実習Ⅱ（高度実	2通	＊2					○	

		践/CNS の役割）								
		精神看護学実習Ⅲ（高度実践/リエゾン精神看護）	2 通	＊2					○	
		小計（10 科目）	－				－			
広域看護学領域科目	公衆衛生看護学分野科目	公衆衛生看護学特論Ⅰ	1 前		2		○			
		公衆衛生看護学特論Ⅱ	1 前		2		○			
		公衆衛生看護学演習Ⅰ	1 後		2			○		
		公衆衛生看護学演習Ⅱ	1 後		2			○		
		小計（4 科目）	－				－			
	国際看護学分野科目	国際看護学特論Ⅰ	1 前		2		○			
		国際看護学特論Ⅱ	1 後		2		○			
		国際看護学演習Ⅰ	2 前		2			○		
		国際看護学演習Ⅱ	2 通		2			○		
		小計（4 科目）	－				－			
研究科目		特別研究Ⅰ	1 後		2			○		
		特別研究Ⅱ	2 通		6			○		
		課題研究	1~2 通		＊4			○		
		小計（3 科目）	－				－			
合計（64 科目）			－				－			
卒業・修了要件及び履修方法										
研究コースでは、所定の 30 単位を取得し、修士論文審査及び最終試験に合格することとする。 高度実践看護師コースでは、所定の 44 単位を取得し、課題研究の審査及び最終試験に合格することとする。										

＊高度実践看護師コースに適用

別表 4　入学考査料及び学生納付金（第 40 条関係）

課程	専攻名	学年	入学考査料	学生納付金		計
				入学金	授業料	
修士課程	医科学専攻	―	10,000 円	―	―	―
		1 年次	―	100,000 円	400,000 円	500,000 円
		2 年次	―	―	400,000 円	400,000 円
	看護学専攻	―	35,000 円	―	―	―
		1 年次	―	300,000 円	1,000,000 円	1,300,000 円
		2 年次	―		1,000,000 円	1,000,000 円
博士課程	医学専攻	―	10,000 円	―	―	―
		1 年次	―	100,000 円	400,000 円	500,000 円
		2 年次	―	―	400,000 円	400,000 円

		3 年次	―	―	400,000 円	400,000 円
		4 年次	―	―	400,000 円	400,000 円
博士課程	形態系専攻、機能系専攻、社会医学系専攻、内科系専攻、外科系専攻、社会人大学院・臨床研究系専攻、社会人大学院・研究系専攻（令和 6 年度入学者迄）	―	10,000 円	―	―	―
		1 年次	―	100,000 円	400,000 円	500,000 円
		2 年次	―	―	400,000 円	400,000 円
		3 年次	―	―	400,000 円	400,000 円
		4 年次	―	―	400,000 円	400,000 円

※看護学研究科修士課程看護学専攻において高度実践看護師コースは別途、実習費 100,000 円（年額）を徴収する。

別表 5　大学院の研究生、専攻生、聴講生及び委託生に係る入学考査料及び学生納付金（第 42 条関係）

区分	入学考査料	学生納付金	
		入学金	授業料
研究生 専攻生	20,000 円	150,000 円	年額 300,000 円
聴講生	10,000 円	100,000 円	月額 20,000 円
委託生	10,000 円	100,000 円	月額 20,000 円

備考 1：本学を卒業した者の研究生及び専攻生の入学金は、100,000 円とする。

備考 2：上記の学生納付金のほか、実習費として別途徴収することがある。

○東京医科大学大学院医学研究科委員会規程

平成24年３月21日制定

東京医科大学大学院医学研究科委員会規程

（目的）

第１条　この規程は、東京医科大学大学院学則第49条第３項の規定に基づき、医学研究科委員会（以下「研究科委員会」という。）に関して必要な事項を定めることを目的とする。

（構成）

第２条　研究科委員会は、次の各号に掲げる者をもって構成する。

（１）　学長

（２）　研究科長

（３）　専攻主任

（４）　本研究科の授業又は研究指導を担当する主任教授

（５）　その他研究科長が指名する者

（審議事項）

第３条　研究科委員会は、研究科に関する次の事項を審議する。

（１）　大学院学則その他大学院に係る規則の制定、改廃に関する事項

（２）　大学院の組織の設置及び改廃に関する事項

（３）　入学、転学、退学、休学及び留学等学生の身分に関する事項

（４）　課程の修了及び学位の授与に関する事項

（５）　入学試験に関する事項

（６）　学生の試験及び評価に関する事項

（７）　教育課程の編成に関する事項

（８）　学生の表彰及び賞罰に関する事項

（９）　学生の厚生補導に関する事項

(10)　大学院に係る教育職員の任免に関する事項

(11)　その他、大学院の教育・研究に関する学長の諮問事項

（招集）

第４条　研究科委員会は、研究科長が招集し、議長となる。

２　研究科長に事故があるときは、研究科長があらかじめ指名する者が議長の職務を代行する。

３　研究科委員会は、構成員の過半数の出席がなければ、会議を開き議決することができない。

（議決）

第５条　議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

（事務の処理）

第６条　研究科委員会の事務は、教育部医学科学務課において処理する。

（規程の改廃）

第７条　この規程の改廃は、研究科委員会の議を経て、学長が行う。

附　則

この規程は、平成25年４月１日から施行する。

〇東京医科大学大学院医学研究科運営委員会規程

平成29年３月15日制定

東京医科大学大学院医学研究科運営委員会規程

（趣旨）

第１条　この規程は、東京医科大学大学院学則第50条に基づき、東京医科大学大学院医学研究科運営委員会（以下「運営委員会」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

（協議事項）

第２条　運営委員会は、次に掲げる事項について協議し立案する。

（１）　教育課程に関すること。

（２）　試験制度に関すること。

（３）　研究指導に関すること。

（４）　学位審査に関すること。

（５）　賞罰に関すること。

（６）　その他大学院の教育に関すること。

（構成）

第３条　運営委員会は、次に掲げる委員で構成する。

（１）　学長

（２）　副学長（医学科長、研究科長）

（３）　副学長補（基礎社会医学主任、臨床医学主任）

（４）　各専攻主任

（任期）

第４条　委員の任期はそれぞれの役職の任期とし、再任を妨げない。

２　委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長）

第５条　運営委員会に委員長を置き、学長をもって充てる。

２　委員長は、運営委員会を招集し、その議長となる。

（具申）

第６条　運営委員会は、協議し立案した事項について大学院医学研究科委員会（以下「研究科委員会」という。）に具申する。

（事務）

第７条　運営委員会に関する事務は、教育部医学科学務課が行う。

（改廃）

第８条　この規程の改廃は、研究科委員会の議を経て学長が行う。

附　則

この規程は、平成29年３月15日から施行し、平成29年１月１日から適用する。

〇東京医科大学大学院医学研究科カリキュラム委員会規程

平成29年３月15日制定

東京医科大学大学院医学研究科カリキュラム委員会規程

（趣旨）

第１条　この規程は、東京医科大学大学院学則第50条に基づき、東京医科大学大学院医学研究科カリキュラム委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

（協議事項）

第２条　委員会は、次に掲げる事項について協議し立案する。

（１）　カリキュラム編成の方法及びその改善並びに支援に関すること。

（２）　カリキュラム運営に係る担当教室、授業担当教員及び関係委員会との調整に関すること。

（３）　前２号に定めるもののほか、カリキュラムに関すること。

（構成）

第３条　委員会は、次に掲げる委員で構成する。

（１）　副学長（研究科長）

（２）　コースワーク世話人（主任教授の中から）若干名

（３）　学長又は副学長（研究科長）の指名する者

（４）　医学科学務課長

（任期）

第４条　委員の任期はそれぞれの役職の任期とし、再任を妨げない。

２　前条第３号の任期は学長の在任期間とし、再任を妨げない。

３　委員に欠員が生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長等）

第５条　委員会に委員長及び副委員長を置き、委員長は副学長（研究科長）とし、副委員長は委員長が指名するものをもって充てる。

２　委員長は、委員会を招集し、議長となる。

３　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代行する。

（具申）

第６条　委員会は、協議し立案した事項について大学院医学研究科委員会（以下「研究科委員会」という。）に具申する。

（委員以外の出席）

第７条　委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

（部会）

第８条　委員会は、必要に応じて部会を置くことができる。

（事務）

第９条　委員会に関する事務は、教育部医学科学務課が行う。

（改廃）

第10条　この規程の改廃は、研究科委員会の議を経て学長が行う。

附　則

この規程は、平成29年３月15日から施行し、平成29年１月１日から適用する。

〇東京医科大学大学院医学研究科奨学生選考委員会規程

平成19年10月17日制定

改正

平成25年５月15日

平成26年７月16日

東京医科大学大学院医学研究科奨学生選考委員会規程

（趣旨）

第１条　この規程は、東京医科大学大学院医学研究科奨学金給付規程第５条第２項の規定に基づき、東京医科大学大学院医学研究科奨学生選考委員会（以下「委員会」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

（選考基準）

第２条　選考は、所定の単位数を修得し、かつ、成績が一定の評価される水準以上である者とする。

（構成）

第３条　委員会は、医学研究科長及び各専攻主任で構成する。

（任期）

第４条　委員の任期は、それぞれの役職の任期とし、再任を妨げない。

（委員長）

第５条　委員会に委員長を置き、医学研究科長をもって充てる。

２　委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

（会議）

第６条　委員会の会議は、委員の過半数の出席をもって成立する。

２　委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

（事務）

第７条　委員会に関する事務は、教育部医学科学務課において行う。

（雑則）

第８条　この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って決定する。

（改廃）

第９条　この規程の改廃は、東京医科大学大学院医学研究科委員会の議を経て、学長が行う。

附　則

この規程は、平成19年10月17日から施行する。

附　則（平成25年５月15日）

この規程は、平成25年５月15日から施行し、平成25年４月１日から適用する。

附　則（平成26年７月16日）

１　この規程は、平成27年４月１日から施行する。（全部の改正）

２　この規程の施行に伴い、現に委員として委嘱されている者については、この規程により委嘱した者とみなす。

東京医科大学内部質保証規程

令和２年５月26日制定

（目的）

第１条　東京医科大学（以下、「大学」という。）は、教育理念、教育研究上の目的を実現するため内部質保証の方針に基づいて、教育研究における質の保証とその向上に資する活動を継続して推進するとともに、その取り組みを公表する。

２　この規程は、前号に定める目的を推進するために必要な事項を定めるものである。

（恒常的質保証への努力）

第２条　大学を構成するすべての組織と教職員は、内部質保証の方針及び手続きに基づき、それぞれの業務と役割について、自律的・継続的に自己点検・評価及び改善を行い、質の保証とその向上に努めなければならない。

（自己点検・評価活動の実施）

第３条　大学を構成するすべての組織と教職員は、内部質保証の方針及び手続きに基づき、次の各号に掲げる事項について、毎年度、自己点検・評価を行うものとする。

（１）　教育研究及び業務の質向上に関する目標の設定

（２）　前号に定める目標の達成に向けた取り組み

（３）　前２号に定める事項に関する現状分析

（４）　前号に定める現状分析の結果を踏まえた改善方策の策定及びその実施

（５）　前各号に定める事項に関する報告及び公表

（内部質保証の推進体制）

第４条　大学は、第１条第１項に定める目的を達成するため、学長の下に東京医科大学内部質保証推進委員会（以下、「推進委員会」という。）を置く。

２　全学的観点から自己点検・評価を推進するため、推進委員会に自己点検・評価委員会を置く。

３　大学の学科・研究科、その他の領域の活動と業務に関する自己点検・評価を実施するため、別表１に記載の９領域と自己点検・評価委員会とを繋ぐ組織として、領域のプロジェクトチーム（以下「領域ＰＴ」という。）を置く。

４　内部質保証の客観性を担保するため、学長の下に第三者評価機関として、内部質保証外部評価委員会（以下、「外部評価委員会」という。）を置く。

（推進委員会の責務及び役割）

第５条　推進委員会は、大学における内部質保証の推進について責任を負い、自己点検・評価委員会及び領域ＰＴを統括して、大学全体の内部質保証システムを有効に機能させるための役割を担うものとする。

２　推進委員会は、大学における内部質保証の推進に関する責任と役割を果たすため、次の各号に掲げる事項について審議し、決定する。

（１）　内部質保証に関する施策、自己点検・評価の実施に関する基本方針、点検・評価項目及び点検・評価活動の実施に関する事項

（２）　教学マネジメントに係る目標及び計画の策定に関する事項

（３）　自己点検・評価の検証と評価結果を踏まえた次年度の行動計画及び改善方策等に関する事項

（４）　外部評価委員会による第三者評価の実施に関する事項

（５）　認証評価の受審に関する事項

（６）　前５号に定める事項に係る情報の公開に関する事項

（７）　前各号に定めるもののほか、推進委員会が必要と認めた事項

３　推進委員会は、自己点検・評価委員会の自己点検・評価結果を全学的観点から検証し、領域ＰＴへ改善を指示するとともに、助言や支援を行うものとする。

４　推進委員会は、文部科学省、厚生労働省等の行政機関、認証評価機関等からの指摘事項について、迅速かつ適切に対応するとともに、必要な措置を講じる。

５　推進委員会は、外部評価委員会からの指摘事項について、適切に対処する。

６　推進委員会は、前４項に定める事項に係る決定及び対応措置について、学長へ報告し、又は提言する。

（推進委員会の構成）

第６条　推進委員会は、次の各号に掲げる委員（以下、「推進委員」という。）をもって構成する。
（１）　副学長（（機関長）：医学科長、看護学科長、研究科長）
（２）　常務理事（総務担当）
（３）　事務局長
（４）　教育部の長
（５）　その他、学長が必要と認めた者　若干名
２　推進委員の任期は、学長の任期と同様とする。ただし、再任を妨げない。
（委員長及び副委員長）
第７条　推進委員会に、委員長及び副委員長若干名を置く。
２　委員長は、副学長の中から学長が指名する。
３　委員長は、推進委員会を代表して、その業務を統括し、執行する。
４　副委員長は、推進委員会に諮り、委員長がこれを指名する。
５　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長が指名した副委員長がその職務を代行する。
（推進委員会の会議）
第８条　推進委員会の会議（以下、「推進会議」という。）は、必要に応じて、委員長がこれを招集し、議長を務める。
２　前項に定めるほか、次の各号に該当する場合には、委員長は、推進会議を招集しなければならない。
（１）　副委員長から推進会議開催の求めがあったとき。
（２）　第６条各号に定める推進委員の２分の１以上の者から推進会議開催の求めがあったとき。
３　推進委員会が必要と認めるときは、推進委員以外の者を推進会議へ出席させることができる。
４　推進会議は、その構成員の３分の２以上の者の出席をもって成立し、その議事は、出席した構成員の過半数をもって決する。
（自己点検・評価委員会の職務）
第９条　自己点検・評価委員会は、推進委員会が定めた基本事項に基づき、領域ＰＴが作成した自己点検・評価報告書をもとに、点検・検証を行い、点検・評価結果をまとめ推進委員会へ報告する。
２　第三者評価及び認証評価の指摘事項に対する見解を作成し、推進委員会へ報告する。
３　自己点検・評価委員会の運営等に関し必要な事項については、別にこれを定める。
（自己点検・評価委員会の構成）
第10条　自己点検・評価委員会は、推進委員を除く次の各号に掲げる委員（以下、「点検評価委員」という。）をもって構成する。
（１）　副学長補
（２）　教授会代表者会議構成員（副学長補を除く）から互選された者　４名
（３）　教育ＩＲセンター長
（４）　事務局長が指名する事務職員　２名以内
（５）　その他、学長が必要と認めた者　若干名
（６）　その他、自己点検・評価委員会が必要と認めた者　若干名
２　点検評価委員の任期は、学長の任期と同様とする。ただし、再任を妨げない。
３　自己点検・評価委員会の委員長は、副学長補から学長が指名する。
４　点検評価委員は、推進委員会の委員長が、推進委員会の議を経て、これを委嘱する。
５　自己点検・評価委員長は、自己点検・評価委員会を代表して、その業務を統括し、掌理する。
６　自己点検・評価委員長は、自己点検・評価委員会の会議（以下、「自己点検会議」という。）を招集し、その議長を務める。
７　自己点検会議は、その構成員の３分の２以上の者の出席をもって成立し、その議事は、出席した構成員の過半数をもって決する。
（領域ＰＴ）
第11条　領域ＰＴは、推進委員会が定めた基本事項に基づき、当該領域の自己点検・評価を実施する。また、自己点検・評価結果に対して、推進委員会から助言、改善の指示があった場合は、適切に対応する。

２　領域ＰＴの各部門長は、推進委員会の委員長がこれを指名する。
３　領域ＰＴは、自己点検・評価の経過及び結果について、毎年、自己点検・評価委員会へ報告書を提出する。
４　領域ＰＴの委員は、当該領域に関係する教職員とし、その構成、運営等について必要な事項は、各領域において、これを定めるものとする。

（外部評価委員会）

第12条　外部評価委員会は、内部質保証システムの有効性並びに点検・評価の客観性及び妥当性の検証を行い、学長に検証結果報告書を提出する。
２　外部評価委員会は、前項に定める職務を遂行するため、次の各号に掲げる者のうちから、大学等の運営に関し広くかつ高い見識を有する者により組織する。
（１）　大学等の教育機関の教職員又は学識経験者
（２）　学外の有識者
（３）　本学を卒業した者又は本学大学院を修了した者であって、現在、本学に所属しない者
（４）　前各号に定める者のほか、教育研究等に関し広くかつ高い見識を有する者
３　外部評価委員会の委員は、学長がこれを委嘱する。
４　外部評価委員会の委員の任期は、学長の任期と同様とする。ただし、再任を妨げない。
５　外部評価委員会に、委員長及び副委員長を置く。
６　委員長及び副委員長は、学長がこれを指名する。
７　外部評価委員会は、外部評価委員会の委員長がこれを招集し、その議長を務める。
８　外部評価委員会が必要と認めるときは、推進委員会及び自己点検・評価委員会、領域ＰＴの委員に外部評価委員会への出席を求め、その意見を聴くことができる。
９　外部評価委員会の運営等に関し必要な事項については､外部評価委員会の委員長の意見を聞いて、推進委員会の委員長がこれを定める。

（改善措置）

第13条　推進委員会の委員長は、自己点検・評価報告書による指摘について、改善が必要であると認められる事項に関して速やかに、有効かつ具体的な措置を講じなければならない。
２　学長は、推進委員会の自己点検・評価報告書の検証結果について、改善が必要であると認められる場合には、推進委員会へ改善の指示をしなければならない。
３　学長は、外部評価委員会の提言からの指摘について、改善が必要であると認められる事項に関して、推進委員会に改善の指示をしなければならない。
４　学長は、内部質保証の状況を理事会に報告する。
５　理事会は、学長からの報告を受け、第２項及び第３項に定める改善措置が不十分であると判断したときには、適切な措置を講じるよう学長に対し勧告するものとする。

（報告と情報公開）

第14条　学長は、法令に定められた教育情報及び財務関係書類とともに、内部質保証の自己点検・評価の結果及び外部評価委員会の評価結果を理事会へ報告したうえで、学外へ公表し、社会への説明責任を果たすものとする。

（主管部署）

第15条　推進委員会の事務を含む内部質保証に係る事務は、別段の定めがある場合を除き、大学総務部総務課がこれを掌る。

（細則等の制定）

第16条　この規程を施行するにあたって必要な細則等は、推進委員会の議を経て、学長がこれを定める。

（規程の改廃）

第17条　この規程の改廃は、推進委員会の委員長からの提案を受けて学長がこれを行う。

附　則

１　この規程は、令和２年５月26日から施行する。
２　この規程の施行に伴い平成13年12月19日制定の「東京医科大学自己点検・評価委員会規程」及び平成21年４月１日制定の「東京医科大学自己点検・評価第三者小委員会規程」は廃止する。

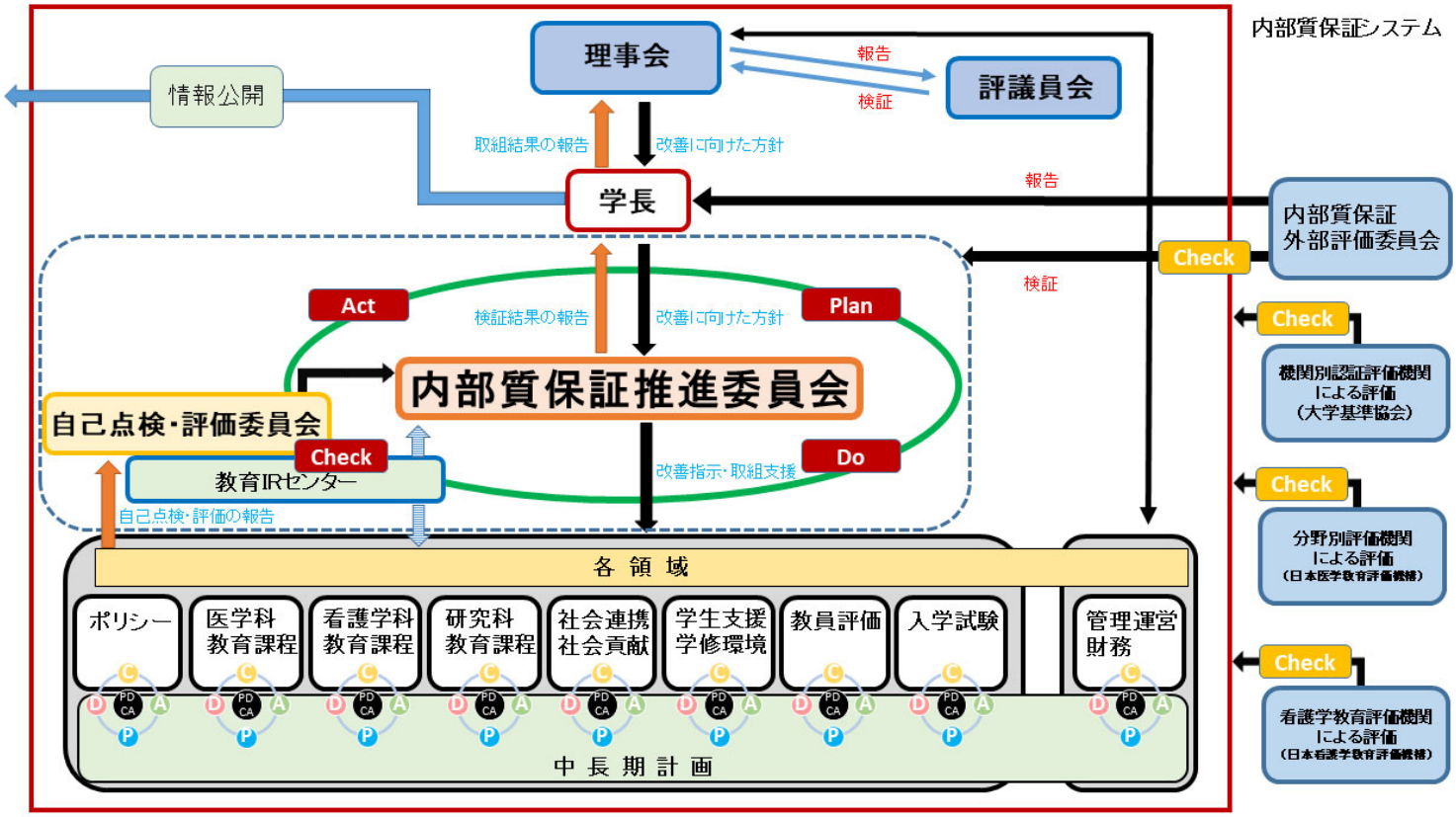
附　則（令和３年11月15日東医大発第308号）

この規程は、令和３年10月18日より施行する。（第10条第１項第１号及び第２号の改正）

附　則（令和５年４月１日）

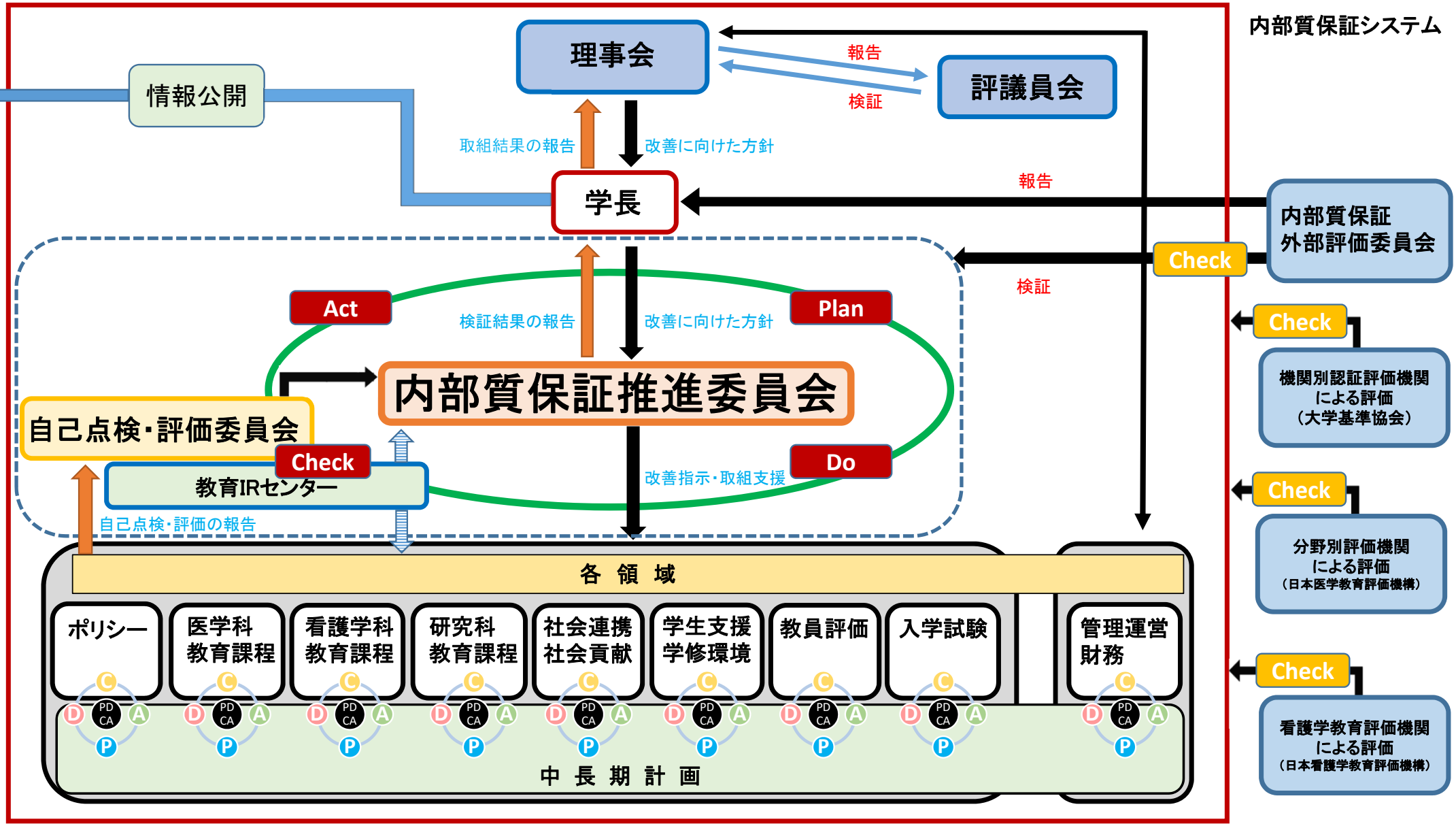
この規定は、令和５年４月１日より施行する。（第９条第１項の改正）

別表１



【資料29】

内部質保証システム



〇東京医科大学医学教育推進センター規程

平成19年12月11日制定

改正

平成21年10月21日
平成27年９月24日東医大発第546号
平成28年11月21日東医大発第537号
平成29年１月10日東医大発第５号

東京医科大学医学教育推進センター規程

（設置）

第１条　東京医科大学医学部に医学教育統括部門として医学教育推進センター（以下『推進センター』という。）を置く。

（目的）

第２条　推進センターは、医学教育の改革に伴う教育体制の改善を効率的に図り、医学教育活動の円滑な推進に寄与することを目的とする。

（管轄）

第３条　推進センターは学長がこれを管轄する。

（業務）

第４条　推進センターは、学長から諮問のあった事項及び次に掲げる業務を担当する。

（１）　医学教育の改善計画の立案に関すること
（２）　卒前教育における教育環境の整備を図り医学教育に関する各委員会を統括する。
（３）　医学部の教育に関する調査に関すること
（４）　医学教育に関する情報の収集及び解析に関すること
（５）　教員の評価システムの構築に関すること
（６）　教員のファカルティー・ディベロップメントの企画に関すること
（７）　その他医学教育の改善に関すること

（構成と任期）

第５条　推進センターは、次の室員によって組織し、学長が委嘱する。

（１）　センター長　１名
（２）　副センター長　２名以内
（３）　学長が必要と認めた教職員　若干名
（４）　教育担当教員（分野等責任者からセンター長に推薦）

２　センター長は、教授の中から学長が指名した者とし、推進センターの管理・運営を行う。

３　副センター長は、センター長が指名した者とし、センター長を補佐しセンター長に事故あるときは、その職務を代行する。

４　センター長及び副センター長は学長の指定する会議に出席し、意見を述べることができる。

５　第１項第４号に定める室員の任期は２年とし再任を妨げない。

（顧問）

第６条　推進センターに、顧問を置くことができる。

２　顧問は、学長が委嘱する。

３　顧問は、推進センターの管理・運営について意見を述べることができる。

４　顧問の任期は、１年とし再任を妨げない。

（作業部会）

第７条　センター長は必要に応じて作業部会及び部会長を置くことができる。

２　作業部会の部会長及び委員はセンター長の指名によるものとする。

（運営）

第８条　推進センターは、企画・立案した事項を教育委員会の議を経て教授会に具申する。

附　則

１　この規程は、平成20年４月１日から施行する。

２　この規程の施行に伴い、平成13年10月31日制定の「医学教育企画室規程」は、廃止する。

附　則（平成21年10月21日）

この規程は、平成21年11月１日から施行する。

附　則（平成27年９月24日東医大発第546号）

この規程は、平成27年９月24日から施行し、平成26年４月１日から適用する。（第５条第１項第４号及び第３項の改正）

附　則（平成28年11月21日東医大発第537号）

この規程は、平成28年12月１日から施行する。（第５条第２項の改正及び第６条の新設、以下繰下げ）

附　則（平成29年１月10日東医大発第５号）

この規程は、平成28年12月27日から施行する。（第５条第３項の改正）

学生の確保の見通し等を記載した書類

学校法人東京医科大学

目　次

１．新設組織の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（１）新設組織の概要（名称，入学定員（編入学定員），収容定員，所在地）・・・・・ 2
（２）新設組織の特色 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
２．人材需要の動向等社会の要請・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（１）人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）・・・・・・・・・・ 2
（２）社会的・地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠 2
３．学生確保の見通し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（１）学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果 ・・・・・・・・・・・・・・・ 3
　ア　定員充足の見込み・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
　イ　定員充足の根拠となる客観的データの概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
　ウ　学生納付金の設定の考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
（２）学生確保に向けた具体的な取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

１．新設組織の概要

（１）新設組織の概要（名称，入学定員（編入学定員），収容定員，所在地）

名　　称：東京医科大学大学院医学研究科 医学専攻（博士課程）
入学定員：68 名　収容定員：272 名
所 在 地：〒160-8402　東京都新宿区新宿６－１－１

（２）新設組織の特色

現行では、学問体系を基とした５専攻（①形態系、②機能系、③社会医学系、④内科系、⑤外科系）、入学増への施策と社会の要請により追加開設した２専攻（⑥社会人大学院・臨床研究系、⑦社会人大学院・研究系）の合計７専攻が存在し、同じ分野であっても、一般大学院生と社会人大学院生が、別の専攻に属するというミスマッチを起こしていた。

新たに、「医学専攻」を設置して、一つの専攻として機能することにより、基礎・社会医学系教室と臨床系教室の融合および各教室間の横の繋がりの強化を目指した大学院へと改変させることを可能とし、「専門研究領域別コースワークによる全学的指導」を軸とした大学院へと進化し、専門分野の高度の知識・能力の習得に加え、周辺分野をコースワークで体系的に履修することにより、新たな学知を創造し、医学の発展、人類の福祉に貢献する人間性豊かな研究者ならびに研究指導者を全学的な協力体制の下で養成する。

２．人材需要の動向等社会の要請

（１）人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

医学研究科は、学術の理論及び応用を教授し、創造性、活力、人間性豊かな総合判断力かつ国際的な視点を有し、医学の発展を通して人類に貢献・寄与しうる指導力を兼ね備えた人材を養成することを目的としている。それに伴い、医学専攻では共通科目による高い倫理観と論理的思考の涵養、基礎・社会医学系分野と臨床系分野が融合して構成されるコースワークおよび専門科目による体系的な高度な知識と能力の修得を通して、新たな学理を拓く研究を実践し、医学の発展、人類の福祉に貢献する人間性豊かな研究者ならびに研究指導者の養成が教育研究上の目的である。

（２）社会的・地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

日本は、現在、世界に例のない超高齢多死社会を目前に控え、保健医療福祉を取り巻く状況の大きな変化に直面している。医学・医療は日々進歩し、一方で人々の健康問題は長期化・複雑さを増している。人的資源に限りがある中、医療や介護の需要は増大する一途を辿っている。このような社会においては、質の高い医療提供と医学・医療研究の推進、およびそれらを実践するコアとなる人材の養成は喫緊の課題である。そのコアとなる人材の養成に医系大学院博士課程の果たす役割は大きい。幅広い視野、深く掘り下げる研究心、高い倫理観をもって医学・医療を取り巻く社会のニーズとシーズを見出し、適切に応え、健康を支えて

いくために、医学の専門的な知識や技術に基づく高度な実践能力を備えた専門職業人が求められている。現在、全国には医学部大学院が 82 校あるが、大学院生は主要な国公立系大学の大学院への進学に偏る傾向にあり、特に人口、特殊機能病院の多くが集中する東京都の私立大学医学部の中には入学者が毎年 180 名を超える大学もある。

本学大学院が位置する新宿区も人口、特殊機能病院等が集中しており、本学大学院生の構成比において、「臨床系医師の社会人大学院生」が 89.6%と最も高い割合を占めており、今後も同傾向が継続すると思われ、専門性に優れた人材を養成し、広く社会に貢献することが本学大学院研究科の使命であると考えている。

３．学生確保の見通し

（１）学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア　定員充足の見込み

医学研究科の過去 5 年間の入学者は定員 68 名に対し平均 43 名程度と定員充足率は 0.63 であり、通年通りであれば、定員充足に至らない。

定員充足にむけては、第 1 に、背景として、今年度 4 月より施行された「医師の働き方改革」は大きな歓迎すべき外部環境変化となる。A 水準の場合、年間 960 時間が時間外労働時間の上限となる為、【資料２】令和元年　医師の勤務実態調査〈概要〉、16 ページの「病院常勤勤務医の過労働時間の区分割合」にある様に、従前、年間 960 時間以上の時間外労働を強いられていた病院常勤医師は全体の 37.8%に上り、上位 10%となる年間 1,920 時間から 2,880 時間超の時間外勤務を強いられていた医師らが余剰時間を手にすることとなる。調査回答は 20,000 人と平成 30 年の 200,000 人に大きく少ないが、これにより自己研鑽としての専門医の取得、博士号の取得に向くことは施策の根幹たる仕組みである為、大学院通学、それも昼夜制の社会人に配慮した大学院への進学に動くとすれば、病院常勤医の入学増は、確定数として提示できないが、働き方改革が今年度施行されことで確実に来期以降、逓増を見込める。

第 2 に、上記環境が整うなか、科研費の若手研究への公募資格が年齢ではなくして「博士取得後 8 年間」という設定が、若手・中堅の病院勤務医の博士取得の大きな動機付けとなる。

【資料１】厚生労働省「医師の働き方改革」

【資料２】令和元年　医師の勤務実態調査〈概要〉

順天堂大学医学部公衆衛生学　谷川　武　先生

第 3 は学部生取込として内部獲得要素となるが、本学医学科において、令和 4 年度、自由な学び系科目　リサーチ・コース（自由科目）を各年次に開設したことが挙げられる。令和 4 年度 32 名、令和 5 年度 44 名、令和 6 年度 49 名と履修学生が確実に増加しており、研究

室への在席時間や日数が大幅に向上し、医学部生の学会発表なども増え、格段に学生のリサーチマインドの引き上げに成功した。今年度末にはその履修者が初めて卒業を迎える。これに併せ、令和 5 年度大学院入試からは、本学附属病院卒後臨床研修センターでの研修を条件に、本学医学科から大学院医学研究科へのシームレスな研究指導を目的とした博士課程「特別枠」（入学定員内、優秀者学納金免除）を設け、とりわけ、基礎・社会医学系分野の初期研修医を数名規模で恒常的に確保できる仕組みを構築した。

第 4 に、最も重要な点として、本学がこれまで、学生確保に向けた具体的な広報活動を行ってこなかったことが挙げられる。

ホームページに募集要項を掲載し、自主的に応募してきたのが、冒頭に挙げた過去 5 年間の入学者平均 43 名ということになる。

そのうえで、現在、医学研究科在学生 212 名の 32.0%、令和 5 年度入学者 42 名の 47%が、本学及び本学附属病院以外からの入学者であり、新宿という立地と学納金が他大学よりも安価に設定していることも寄与して、外部からの入学者が多いことが判明している。

よって、学内外に対し、具体的な広報活動を加えれば、確実な入学者確保につながる重要なファクターとなる。

上記を踏まえ、今回、「医学専攻」設置に際して、定員数 68 名の維持を持って、運営委員会に「届出」承認を頂いたが、上記、根拠を踏まえても、数年の単位で、定員が充足しない場合は、収容定員減も視野に入れざるを得ないと考える。

イ　定員充足の根拠となる客観的データの概要

上記、見込みにて示した本学入学者実績として定員の 50～60%を内部確保とした場合、34 名～41 名を獲得する必要がある。

今回、医学専攻設置にあたり、本学大学院医学研究科への進学希望及び学位取得に関する意識調査を兼ねた「大学院医学研究科ニーズ調査」を実施した。

対象は、

① 本学医学部医学科生 754 名（第 1 学年 123 名、第 2 学年 122 名、第 3 学年 121 名、第 4 学年 119 名、第 5 学年 119 名、第 6 学年 120 名）

② 本学及び附属病院に勤務する医師 889 名（臨床研修医 133 名、専攻医 216 名、臨床研究医 159 名、助教 342 名、医員・助手等 39 名）

となる。

よって、本学大学病院に勤務していない卒業生、開業医については対象に含んでいない。

結果として、本アンケートについては、回答期間が令和 6 年 7 月 29 日～8 月 3 日までの 6 日間と短期間での実施設定であった為、

回答、

医学科生 187 名／745 名（24.5%）
教職員　194 名／889 名（21.8%）
と本項の回答に向けた充分な回答の確保が出来なかった。

さらに、在学生向けの意識調査では、「本学大学院へ進学を希望しますか」との設問に、「進学希望する」との回答は 12%程度と回答が得られ、次問で「進学を希望する時期はいつですか」との設問については、①2025 年 4 月入学 6%、②2026 年 4 月入学 4%、③2027 年 4 月入学 7%、④2028 年 4 月入学 1%、⑤2029 年 4 月入学 3%、⑥2030 年 4 月以降 6%、⑦検討中・分からない 67%との回答であった。

本学及び附属病院に勤務する医師向け意識調査では、「博士号の学位取得を考えていますか」との設問に対し、取得したい・いつかは取得したいとの回答が 61%を占め、次問「どのような方法で博士号の取得を考えていますか」との設問には、大学院進学（博士課程）との回答が 23%となった。次々問にて「大学院への進学を希望する時期はいつですか」との設問については、①2025 年 4 月入学 8%、②2026 年 4 月入学 4%、③2027 年 4 月入学 4%、④2028 年 4 月入学 4%、⑤2029 年 4 月入学 0%、⑥2030 年 4 月以降入学 0%、⑦検討中・分からない 18%の回答があった。

無作為アンケートではなく全在学生、本学及び附属病院に勤務する医師に対してのアンケートである為、大学院に関心のある者が多く回答したことも想定され、上記、アンケート回答内容をそれぞれ全体人数に換算することは、適切ではない為、次年度以降、初めに示した内部確保、34 名～41 名を獲得というのは現状、特段、ア．に第１～４に示した要素を加味しない限り、かなり厳しく客観的データを提示するに至らなかった。

【資料３】「大学院医学研究科ニーズ調査（在学生向け）」アンケート
【資料４】「大学院医学研究科ニーズ調査（教職員向け）」アンケート
【資料５】「大学院医学研究科ニーズ調査（在学生向け」アンケート結果
【資料６】「大学院医学研究科ニーズ調査（教職員向け）」アンケート結果

外部からの入学見込みは、これまで通り 40～50%とすると、27 名～34 名が必要となる。
昨年度実績 20 名に対して 35%～70%の増加も満たす必要があり、ア．定員充足の見込みで第１、２を挙げた。その環境下における自然増と、
ア．第４として挙げた、これまで学内外への広報活動を積極的に行って来なかった為、下記（２）に挙げる具体的な広報活動を行う。

上記については、具体的な数値を示せておらず、今回、「医学専攻」設置に際して、定員

数 68 名の維持を持って、運営委員会への事前相談により、「届出」承認を頂いたが、学内において、入学定員減、収容定員減も並行して検討したことも事実である。上記、根拠を踏まえても、数年の単位で、定員が充足しない場合は、入学定員減・収容定員減も視野に入れざるを得ないと考えている。

【資料 7】運営委員会　回答書「設置に係る事前相談の結果について」

ウ　学生納付金等の金額設定理由

医学研究科学生納付金は、入学金 10 万円、学納金年間 40 万円を固持している。
大学院単独での収支は念頭に置かず、教員は医学部の教員が務める為、THE 世界大学ランキング 2024　国内全私立大学第 3 位に選ばれたように「卓越した卓越した臨床研究力」他のフラッグシップとして大学院医学研究科を位置づけている。

（2）学生確保に向けた具体的な取組状況とその効果

内部獲得の方策として、本学及び本学附属病院に勤務する医師、医療専門職に向けて、各施設のポータルサイトへの告知、学内一斉メールでの周知、一番効果的なものとして学報に「医学専攻」設置についての特集を組むなど、細やかに展開したい。
ホームページ上に、従来には用意のなかったウェブでの動画紹介、説明会動画を用意し、

- 医学専攻とした意義
- 専門医取得を目指しながら、あるいは専門医取得後に大学院へと進学しやすい環境であること
- 従来に増して、基礎医学系分野と臨床医学系分野が融合したかたちでの手厚い研究指導が受けられる様になること
- 共通科目についてはオンデマンドやオンライン授業で受講でき、社会人が通いやすい環境を整えつつあること
- 科学研究費助成事業「若手研究」の申請において博士の学位が必須になっていること
- 博士号取得のメリット及び必要性について、今後より丁寧に説明・周知していくこと

等、最大限に新しい切り口で訴えかけることを行う。

このような取り組みを本学では積極的に行ってきておらず、これまで大学院についての知識を持たない各施設全教職員に情報が行き渡ることとなり、その効果は絶大である。

同窓会新聞を定期刊行しており、こちらにも、特集、または、案内を挟みこむことで、全国、内外の医療機関に所属したＯＢ・ＯＧは年代により、学会、医師会、各団体の要員を務めており、本人に限らない大きな動機を与える効果を産める。

学生の確保の見通し等を記載した書類　資料

目　次

【資料 1】医師の働き方改革概要……2
【資料 2】令和元年 医師の勤務実態調査……3
【資料 3】アンケートフォーム（在学生用）……17
【資料 4】アンケートフォーム（教職員用）……19
【資料 5】アンケート集計結果（在学生向け）……21
【資料 6】アンケート集計結果（教育職員向け）……25
【資料 7】運営委員会回答書……31

医師の働き方改革 【資料1】

■ これまでの我が国の医療は**医師の長時間労働**により支えられており、今後、医療ニーズの変化や医療の高度化、少子化に伴う医療の担い手の減少が進む中で、医師個人に対する負担がさらに増加することが予想される。

■ こうした中、医師が健康に働き続けることのできる環境を整備することは、医師本人にとってはもとより、患者・国民に対して提供される**医療の質・安全**を確保すると同時に、**持続可能な医療提供体制**を維持していく上で重要である。

■ **地域医療提供体制の改革**や、各職種の専門性を活かして患者により質の高い医療を提供する**タスクシフト/シェアの推進**と併せて、医療機関における**医師の働き方改革**に取り組む必要がある。

現状

【医師の長時間労働】	病院常勤勤務医の約４割が年960時間超、約１割が年1,860時間超の時間外・休日労働
	特に救急、産婦人科、外科や若手の医師は長時間の傾向が強い
【労務管理が不十分】	36協定が未締結や、客観的な時間管理が行われていない医療機関も存在
【業務が医師に集中】	患者への病状説明や血圧測定、記録作成なども医師が担当

目指す姿

労務管理の徹底、労働時間の短縮により医師の健康を確保する

＋

全ての医療専門職それぞれが、自らの能力を活かし、より能動的に対応できるようにする

質・安全が確保された医療を持続可能な形で患者に提供

対策

長時間労働を生む構造的な問題への取組

- **医療施設の最適配置の推進**（地域医療構想・外来機能の明確化）
- **地域間・診療科間の医師偏在の是正**
- **国民の理解と協力に基づく適切な受診の推進**

医療機関内での医師の働き方改革の推進

- **適切な労務管理の推進**
- **タスクシフト/シェアの推進**（業務範囲の拡大・明確化）
  → **一部、法改正で対応**

＜行政による支援＞
- 医療勤務環境改善支援センターを通じた支援
- 経営層の意識改革（講習会等）
- 医師への周知啓発 等

時間外労働の上限規制と健康確保措置の適用（2024.4～） 法改正で対応

地域医療等の確保

医療機関が医師の労働時間短縮計画の案を**作成**
↓
評価センターが**評価**
↓
都道府県知事が**指定**
↓
医療機関が計画に基づく取組を**実施**

医療機関に適用する水準	年の上限時間	面接指導	休息時間の確保
A （一般労働者と同程度）	960時間	義務	努力義務
連携B （医師を派遣する病院）	1,860時間 ※2035年度末を目標に終了		義務
B （救急医療等）			
C-1 （臨床・専門研修）	1,860時間		
C-2 （高度技能の修得研修）			

医師の健康確保

面接指導
健康状態を医師がチェック

休息時間の確保
連続勤務時間制限と勤務間インターバル規制（または代償休息）

＜報道発表資料＞

【資料2】

令和元年　医師の勤務実態調査
＜概要＞

順天堂大学医学部公衆衛生学

谷川　武

調査概要

１．目的

2024年４月の医師に対する時間外労働上限規制適用前においても、医師の時間外労働の状況やその分布等の実態把握は不可欠であることから、平成28年に実施した厚生労働科学特別研究事業である「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究（研究代表者：井元清哉）」と同等規模の勤務実態調査を行う。

２．研究班

研究課題名：「医師の専門性を考慮した勤務実態を踏まえた需給等に関する研究」

研究代表者：小池　創一　（自治医科大学　地域医療学センター　教授）

研究分担者：松田　晋哉　（産業医科大学　公衆衛生学教室　教授）

松本　正俊　（広島大学　医学部　教授）

今中　雄一　（京都大学大学院　医学系研究科　教授）

康永　秀生　（東京大学大学院　医学系研究科　教授）

堀口　裕正　（国立病院機構　総合研究センター診療情報分析部　副部長）

◎谷川　武　（順天堂大学大学院　医学系研究科　教授）【調査担当】

３．調査期間

令和元年９月２日（月）～８日（日）

４．調査対象

【施設調査票】　配布施設19,112施設（前回調査（H28）12,035施設）

【医師調査票】　紙媒体配布部数141,880部（前回調査（H28）149,112部）

webでも回答できるようページを作成し、周知。

５．調査内容

性別・年齢・診療科・主たる勤務先種別毎の医師の1週間の労働時間（診療、診療外の別を含む）、タスク・シフト/シェアの取り組み状況等の調査を行った。

５．回収数

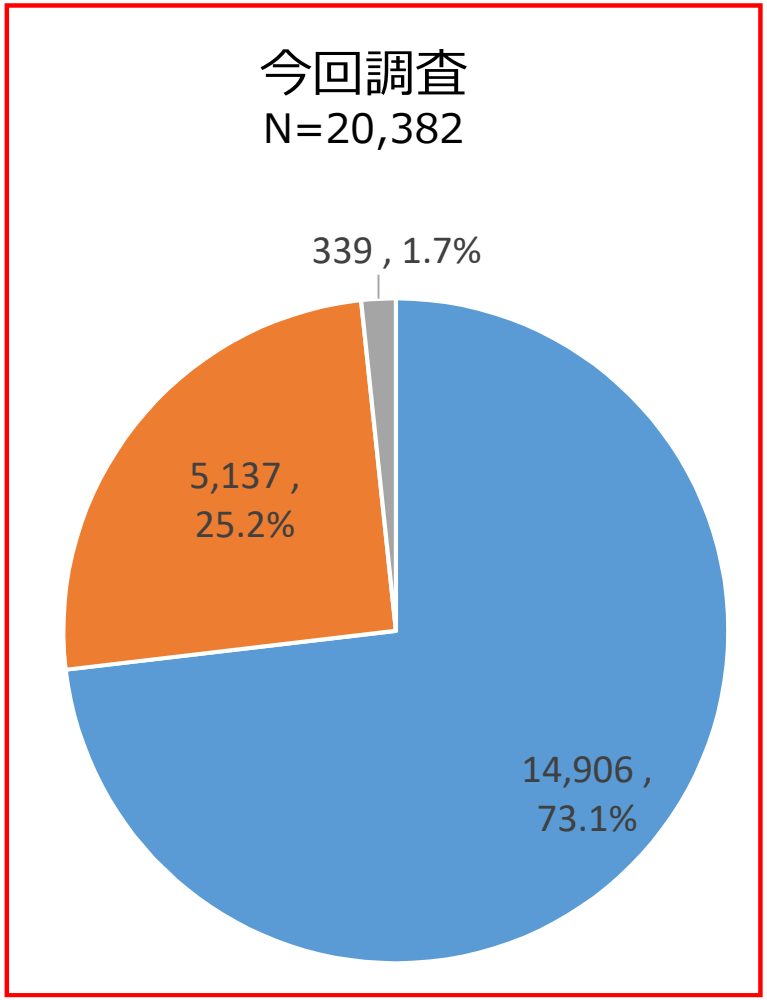
【施設票】　3,967施設（回収率20.8%）

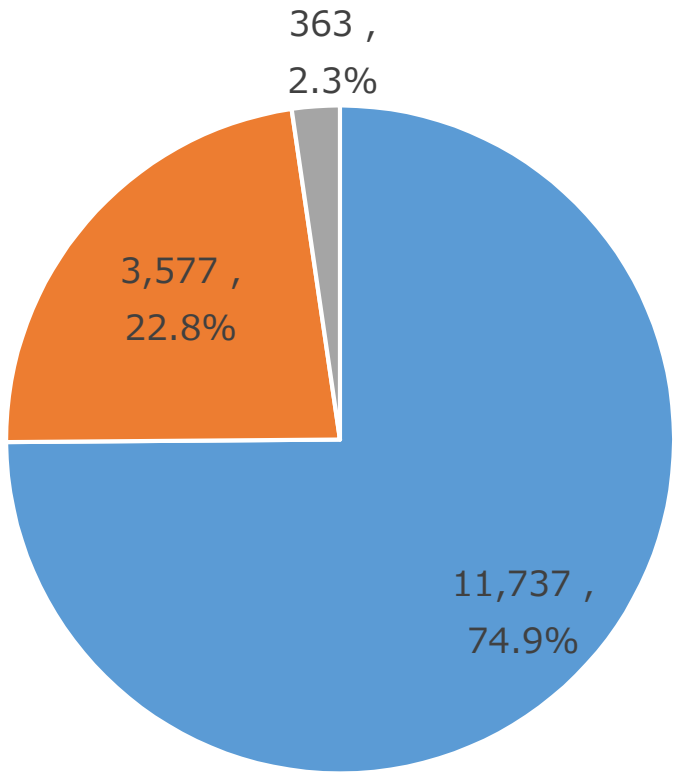
【医師票】　20,382人（WEB回答者含む）

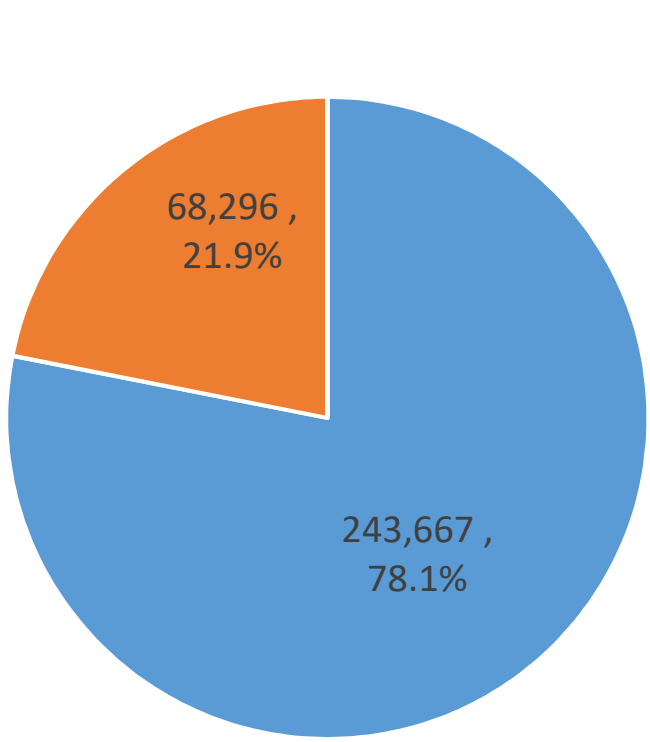
回答者背景　性別の割合＜全体＞

○　今回調査は、WEB回答を含む医師調査票回答者数。
○　前回調査は、平成28年厚生労働科学特別研究事業「医師の勤務実態及び働き方の意向等に関する調査研究(研究代表者:井元清哉)」(以下、「H28前回調査」という。)の回答者数。
○　三師統計は、「平成30年医師・歯科医師・薬剤師統計」(以下、「H30三師統計」という。)の医療施設従事者数データ。

□　今回調査は、H28前回調査及びH30三師統計と性別の割合はほぼ同一。





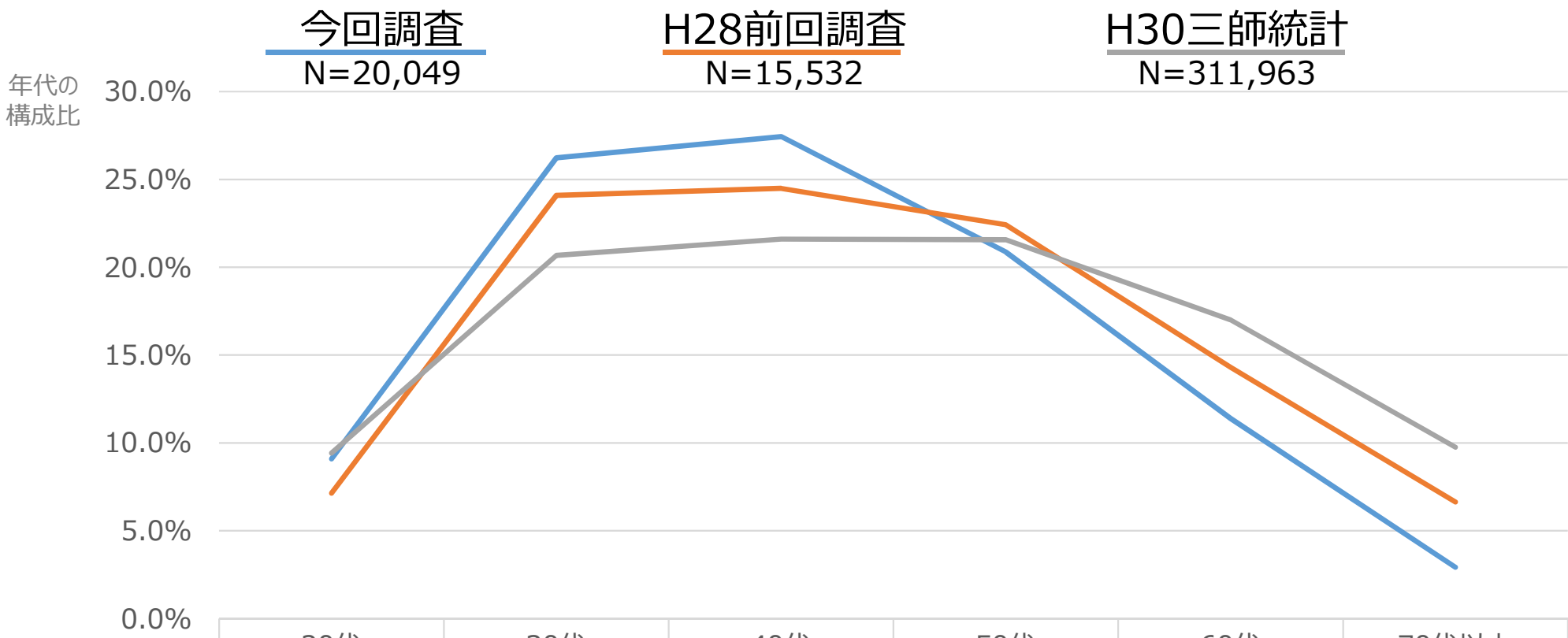


■ 男性　■ 女性　■ 無回答

回答者背景　年齢分布＜全体＞

○　病院･診療所を含めた、回答者の年齢分布割合での比較。
○　今回調査並びにH28前回調査では、年齢の無回答者を除く。

□　今回調査は、30代･40代の回収率が高く、60代以降では低い。

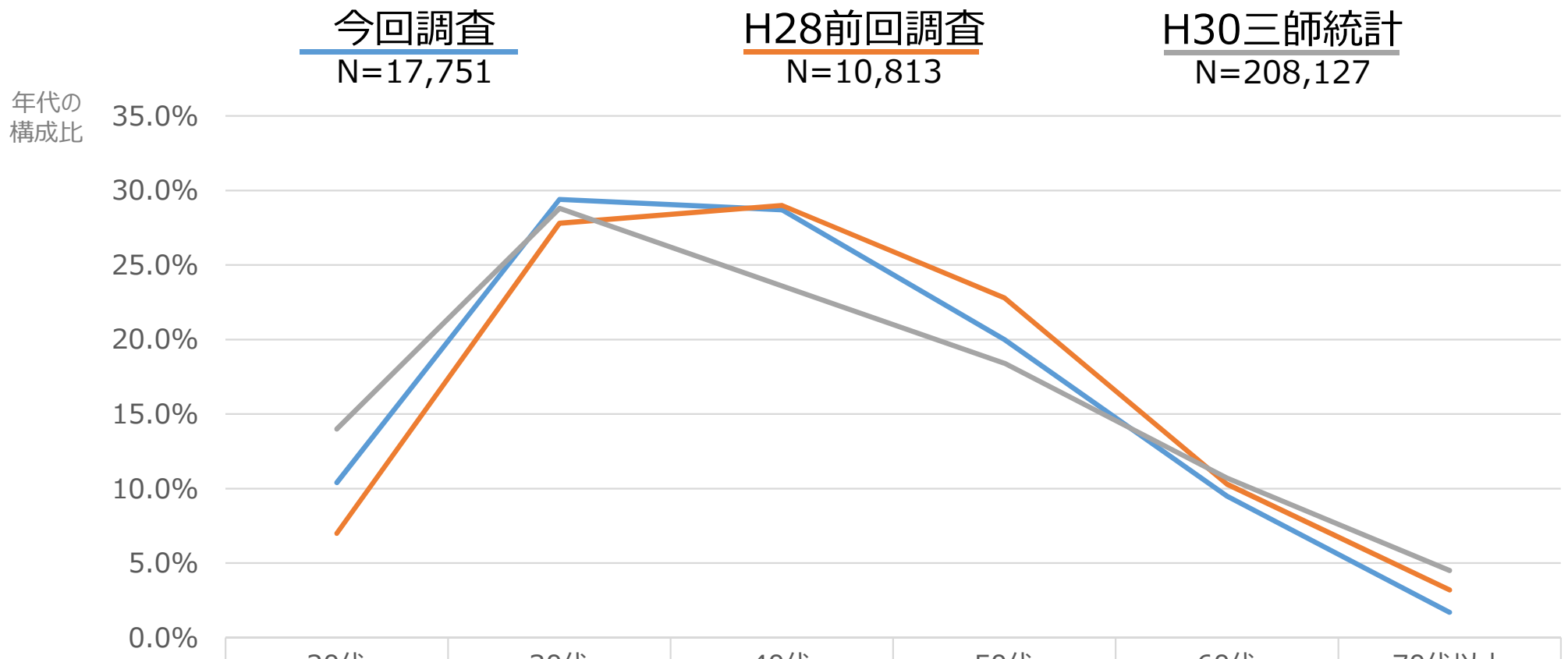


	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
今回調査	9.1%	26.2%	27.4%	20.9%	11.4%	2.9%
H28前回調査	7.1%	24.1%	24.5%	22.4%	14.3%	6.6%
H30三師統計	9.4%	20.7%	21.6%	21.6%	17.0%	9.7%

回答者背景　年齢分布＜病院・常勤勤務医＞

○　病院勤務者の年齢分布割合での比較。
○　今回調査は、病院（大学病院・大学病院以外）・常勤勤務と回答した全回答数。（年齢無回答者を除く）
○　H28前回調査は、常勤・勤務医と回答したもの。
○　H30三師統計は、病院従事者数データ。

□　H30三師統計と比較すると、40代の回答が多い。

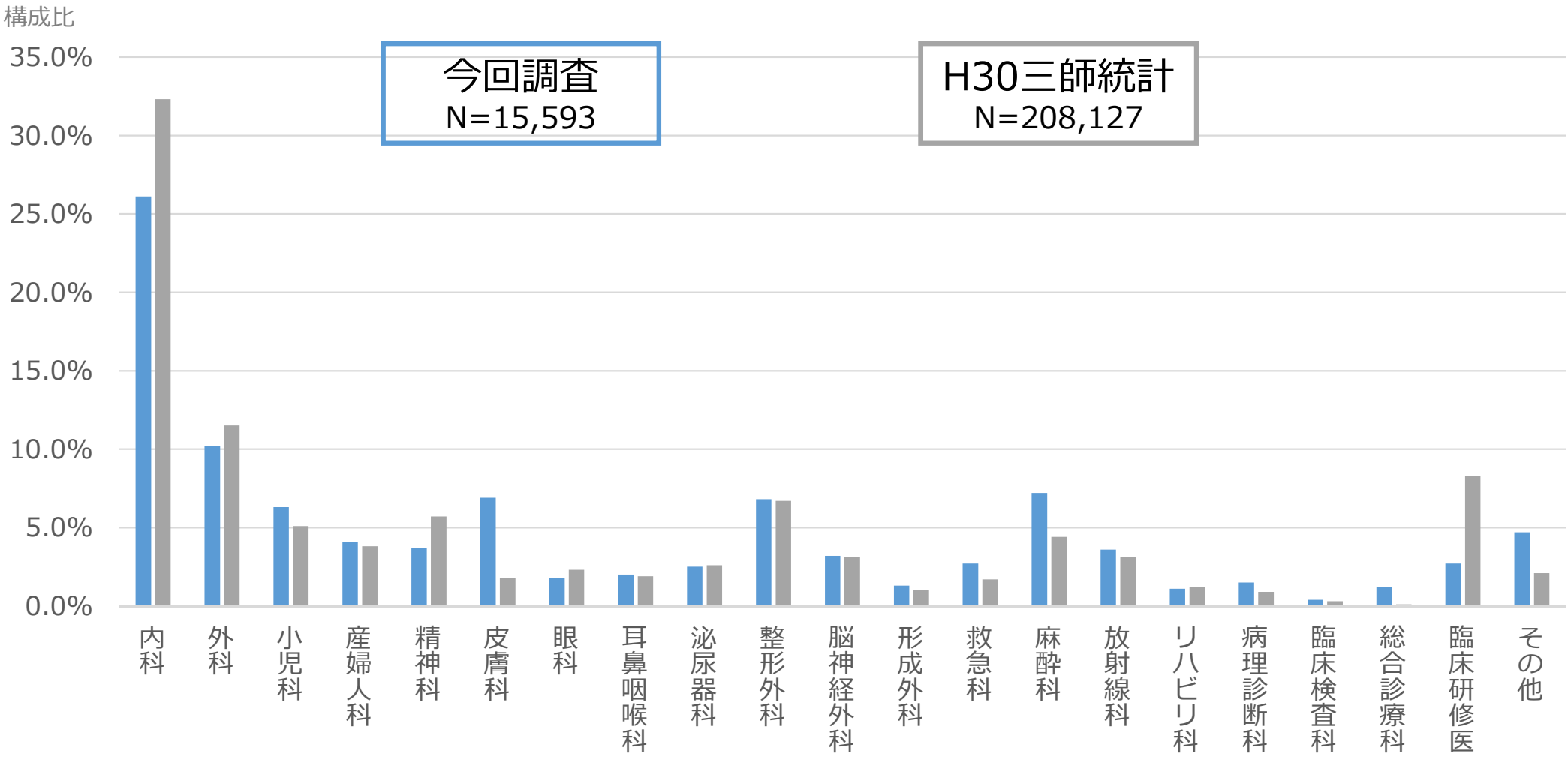


	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
今回調査	10.4%	29.4%	28.7%	20.0%	9.5%	1.7%
H28前回調査	7.0%	27.8%	29.0%	22.8%	10.3%	3.2%
H30三師統計	14.0%	28.8%	23.6%	18.4%	10.7%	4.5%

回答者背景　主たる診療科分布＜病院・常勤勤務者＞

○　病院勤務者の診療科別での比較。
○　今回調査は、病院（大学病院・大学病院以外）・常勤勤務と回答した全回答者数。（診療科無回答者を除く）
○　H28前回調査の設問は、19診療科ではないため、比較不可。
○　H30三師統計は、病院従事者数データ。

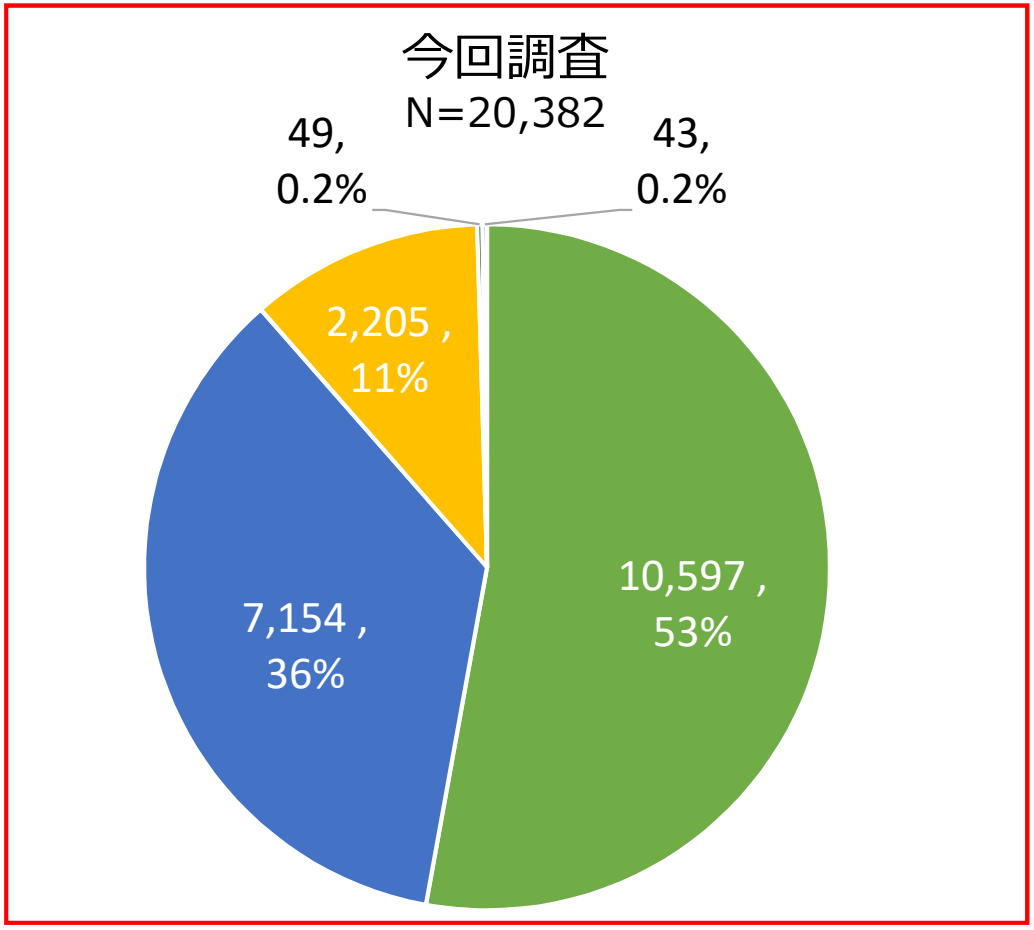
□　H30三師統計の結果と比較すると、いくつかの診療科で大きくばらつきがある。

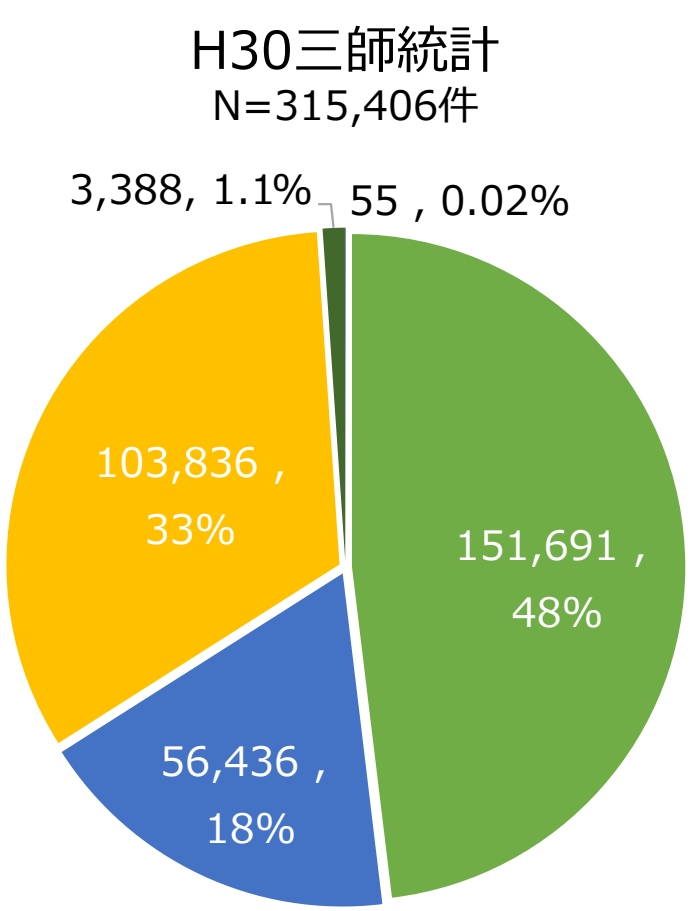


回答者背景　主たる勤務先分布＜全体＞

○　医療施設に勤務する者を対象に、主たる勤務先分布を比較。
○　今回調査は、WEB回答を含む医師調査票回答者数。（無回答を除く）
○　H28前回調査は、常勤勤務医、非常勤勤務医、病院・診療所の開設者、未回答で分類されているため、比較不可。
○　H30三師統計は、医療施設･介護老人保健施設･介護医療院の従事者数データ。(左記以外の施設の従事者は含まない)

□　医師調査票は、病院を中心に配布していることから、H30三師統計と比較すると、回答者は病院勤務者が多い。
□　病院の内訳をみると、 H30三師統計が、大学病院以外：大学病院＝約73%：約27%に対し、今回調査は、約60%：約40%と大学病院の回答者が多い。





■ 病院（大学病院以外）　■ 病院（大学病院）　■ 診療所　■ 介護老人保健施設　■ 介護医療院等

分析対象とする病院・常勤勤務医のデータについて

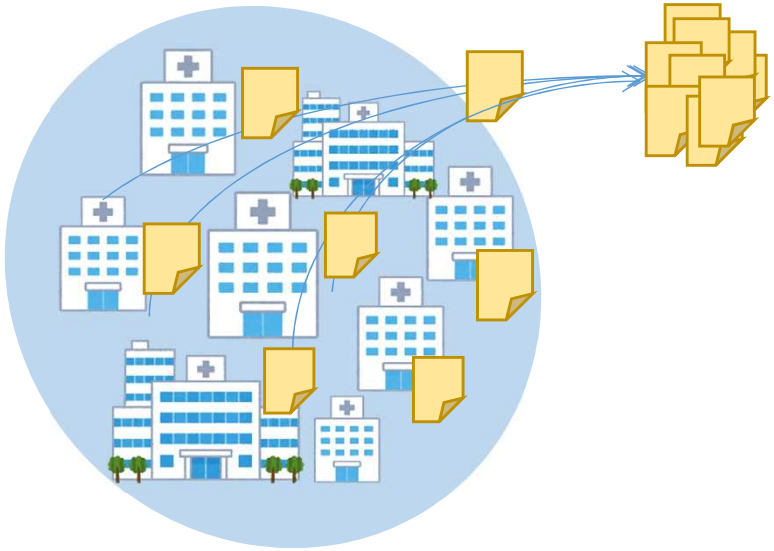
○　本調査は病院勤務医の長時間労働の実態を把握することが主たる目的の調査であり、H28前回調査との比較を試みる必要もあることから、週４日以上働いている病院勤務医のデータについて分析を行う。なお、 H28前回調査と同様、兼業先の労働時間も含めて調査を行っている。

※１　労働時間等調査項目において、7日間完遂せず、記載途中で終了したものが多い

※２　週32時間以上働く常勤医師（＊） は、1日8時間労働で最低4日は出勤していると考えられることから、労働時間等調査項目に３日以上無記載の調査票を、記入を完遂していないとみなし、４日以上記載された調査票を分析対象とする

※3　性・年齢・主たる診療科・主たる勤務先が無回答の調査票もあり、これらは分析が困難である

＊常勤医師の定義：医療法第25条第1項の規定に基づく立ち入り検査において常勤医師は週32時間以上働いている医師と定義



病院常勤医師
医師調査票回収数
15,675

労働時間等の記載が
3日分以下の調査票

6,611（42.2%）

労働時間等の記載が
4日以上の調査票

9,064（57.8%）

性・年齢・主たる診療科・主たる勤務先の回答のある調査票

性・年齢・主たる診療科・主たる勤務先が無回答の調査票

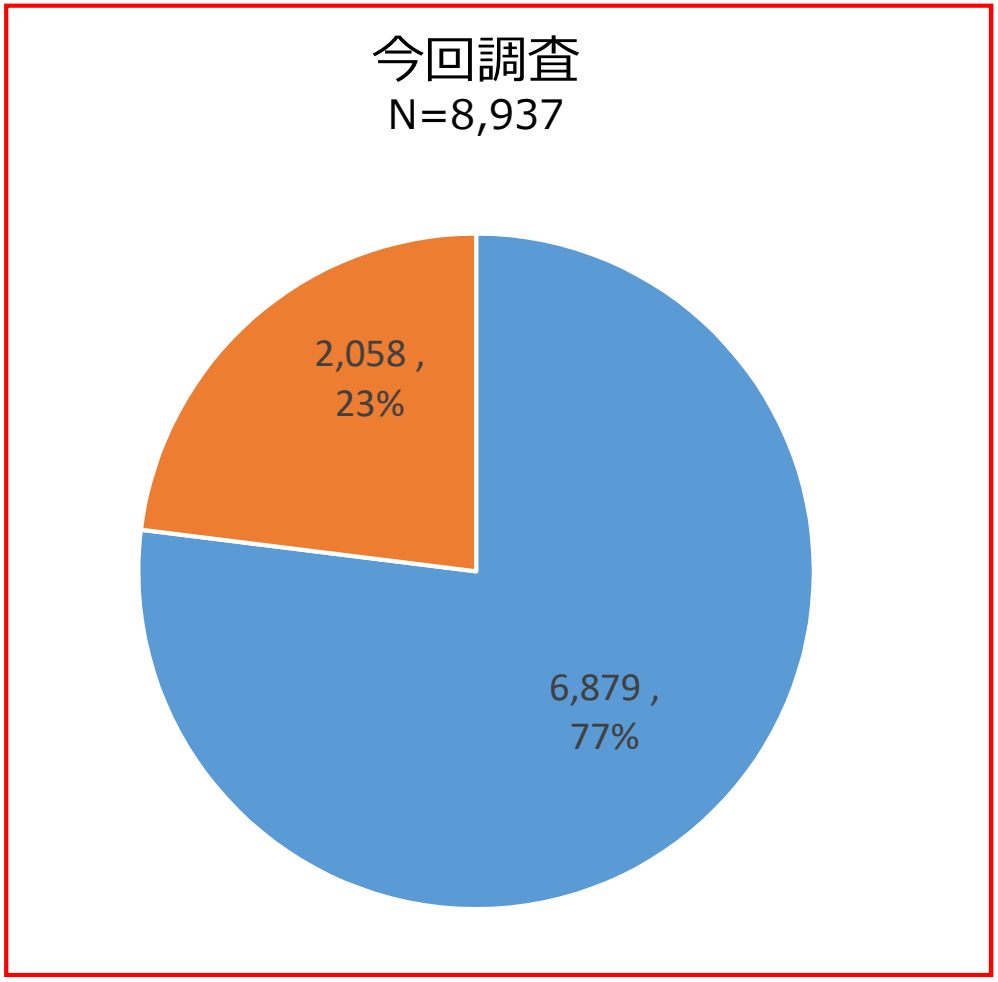
8,937（57.0%）
分析対象

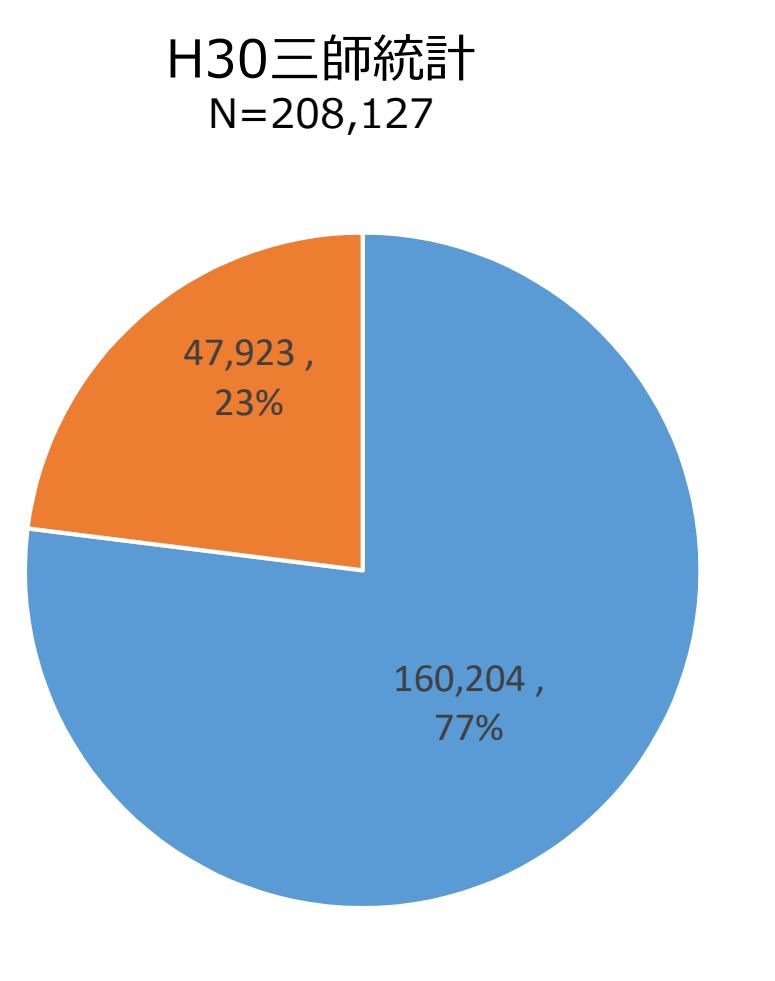
6,738（43.0%）

分析対象背景　性別の割合＜病院・常勤勤務医＞

○　今回調査は、労働時間等調査項目について分析対象とした8937人についてのデータ（病院・常勤医師）。
○　H30三師統計は、病院従事者数データ。

□　H30三師統計と性別の割合はほぼ同一。



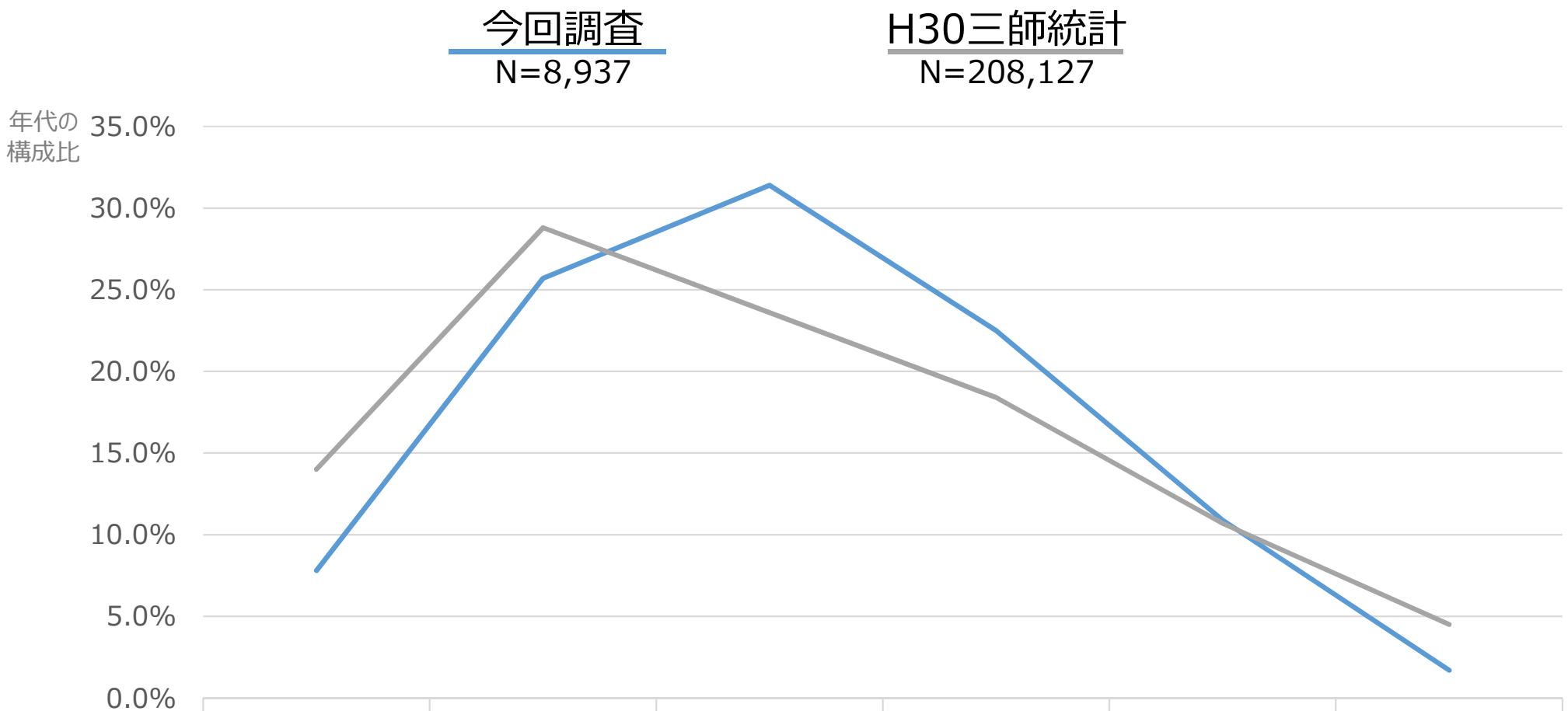


■男性 ■女性

分析対象背景　年齢分布＜病院・常勤勤務医＞

○　今回調査は、労働時間等調査項目について分析対象とした8937人についてのデータ（病院・常勤医師）。
○　H30三師統計は、病院従事者数データ。

□　今回調査は、H30三師統計と比較し、20代・30代が少なく、40代の回答者が多い。

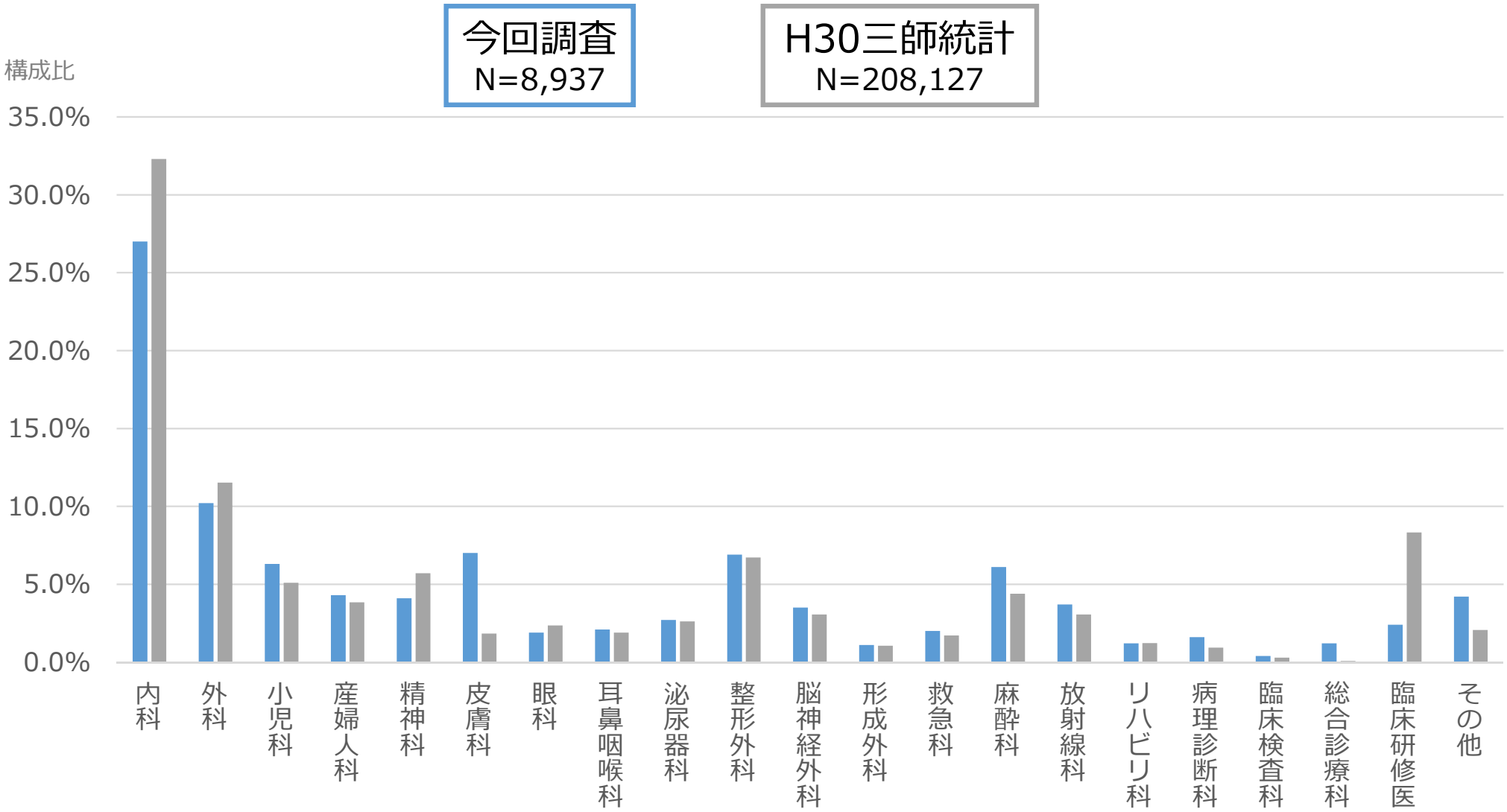


	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
今回調査	7.8%	25.7%	31.4%	22.5%	10.9%	1.7%
H30三師統計	14.0%	28.8%	23.6%	18.4%	10.7%	4.5%

分析対象背景　主たる診療科分布＜病院・常勤勤務医＞

○　今回調査は、労働時間等調査項目について分析対象とした8937人についてのデータ（病院・常勤医師）。
○　H30三師統計は、病院従事者数データ。

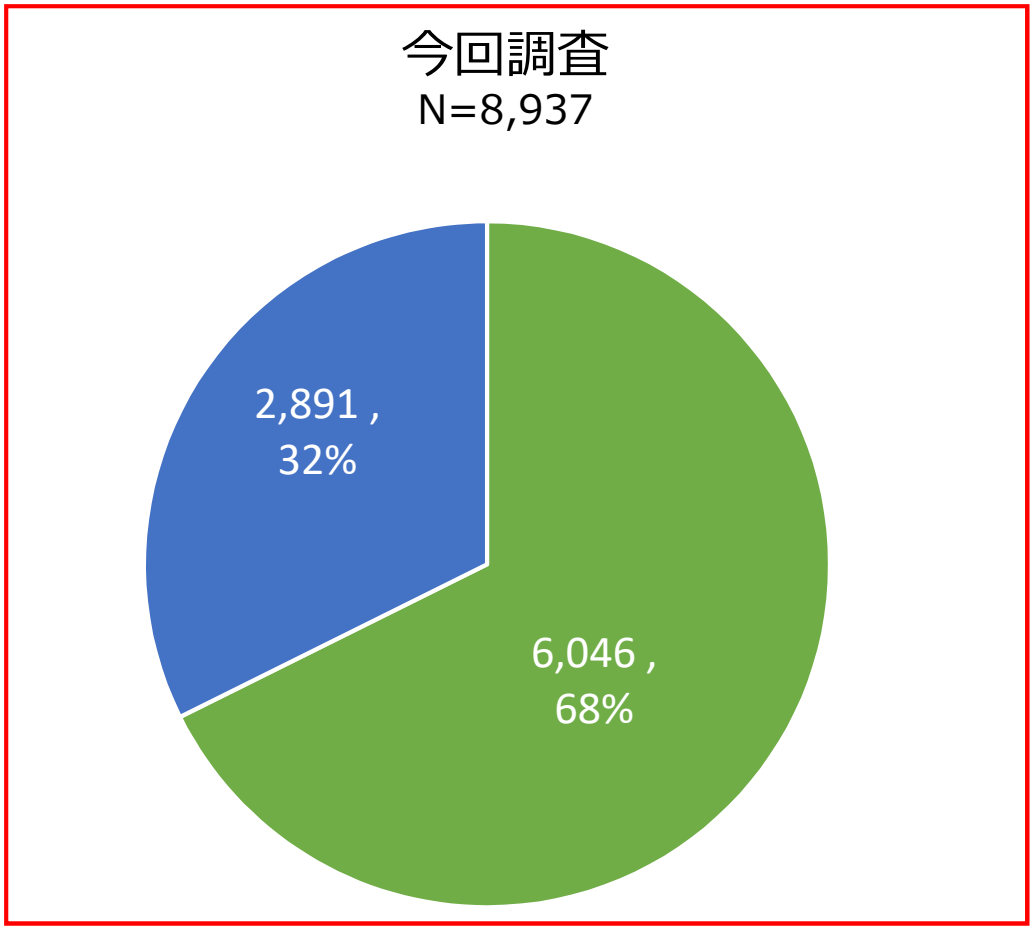
□　H30三師統計の結果と比較すると、いくつかの診療科で大きなばらつきがある。

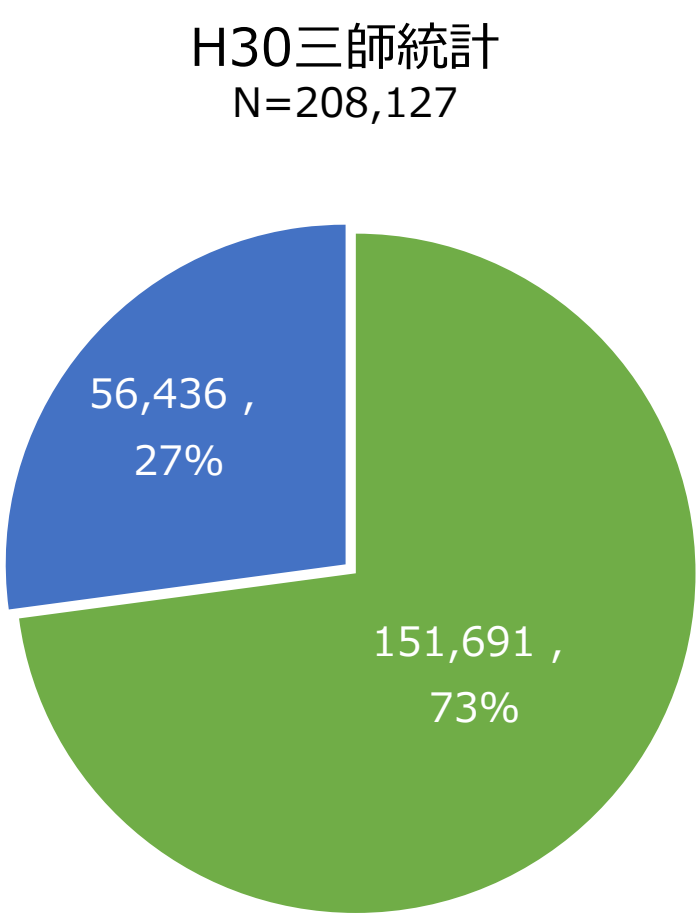


分析対象背景　主たる勤務先分布＜病院・常勤勤務医＞

○　今回調査は、労働時間等調査項目について分析対象とした8937人についてのデータ（病院・常勤医師）。
○　H30三師統計は、病院従事者数データ。

□　今回調査は、H30三師統計と比較し、大学病院の割合が多い。





病院･常勤勤務医　分析対象調査票のデータの調整

○　分析対象とする病院勤務医のデータについて、H30三師統計と比較すると、年齢・診療科・勤務医療機関による回答者数のばらつきがある。

上記を踏まえ、

□　診療科の医師数（診療科内の性、年齢）調整

□　勤務医療機関別の医師数（診療科別の大学病院、大学病院以外）調整

が、必要。

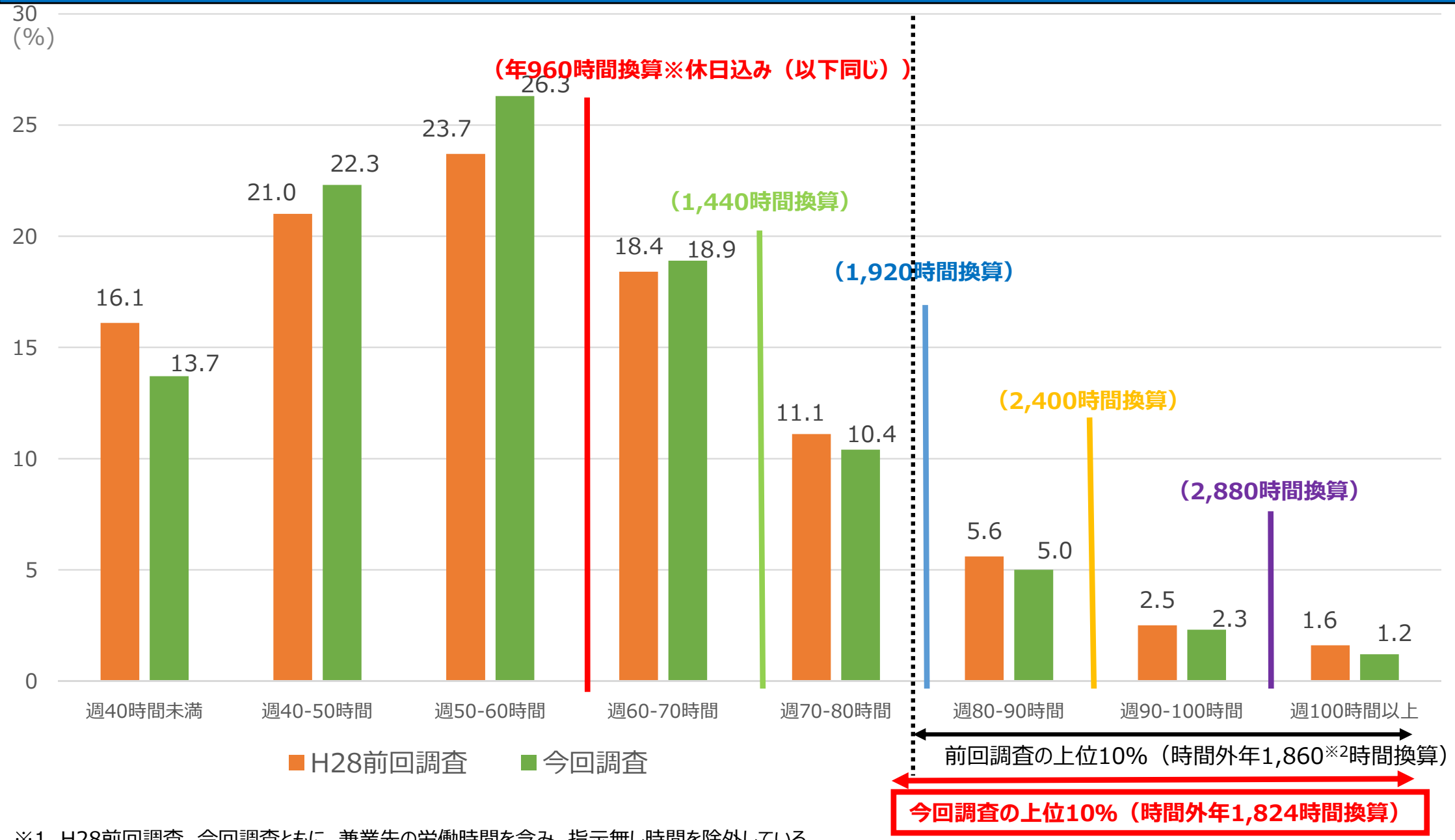
今回調査では、医療機関における宿日直許可取得の有無も設問に含めており、より精緻に労働時間を捉えるため、

□　宿日直許可を得ている医療機関に勤務する医師の宿直・日直勤務中の待機時間を労働時間から除外

する。

今回調査の分析対象調査票（回答者）の診療科別、性・年齢・勤務医療機関の構成が、「H30三師統計」の構成と同様になるように調整を行った。

病院常勤勤務医の週労働時間の区分別割合



※1　H28前回調査、今回調査ともに、兼業先の労働時間を含み、指示無し時間を除外している
※2　前回調査ではグラフにおける分布の上位10%は年1,904時間であったが、雇用管理の便宜上、12月で割り切れるきりのよい近似値として1,860時間としている
※3　今回調査では宿日直許可を取得していることがわかっている医療機関に勤務する医師の宿日直中の待機時間を労働時間から除外した上で、診療科別の性、年齢調整、診療科ごとの勤務医療機関調整を行っていることに留意が必要
※4　週労働時間の区分別割合は、小数点第2位で四捨五入している

【資料3】

東京医科大学大学院医学研究科医学専攻（博士課程）ニーズ調査（在学生向け）

問 1. あなたの学年は
①1 年②2 年③3 年④4 年⑤5 年⑥6 年

問 2. あなたの性別は
①男②女③回答しない

問 3. 卒業後の進路をどのように考えていますか。
①東京医科大学病院に就職②茨城医療センターに就職③八王子医療センターに就職④東京医科大学に就職⑤大学院進学⑥その他

問 4. 大学院に進学する場合、志望したい大学院はどれに該当しますか。あてはまるもの全てにチェックして下さい。
①国立②公立③私立

問 5. 東京医科大学大学院を知ってますか？
①知っている②知らない

問 6. 本学大学院へ進学を希望しますか
①第一希望として受験する②第二希望として受験する③第三希望として受験する④受験しない⑤検討中・分からない

問 7. 進学を希望する時期はいつですか
①2025 年 4 月入学②2026 年 4 月入学③2027 年 4 月入学④2028 年 4 月入学⑤2029 年 4 月入学⑥2030 年 4 月以降入学⑦検討中・分からない

問 8. 希望する分野についてお答えください。あてはまるもの全てにチェックしてください。
①人体構造学分野　②組織・神経解剖学分野　③人体病理学分野　④分子病理学分野　⑤微生物学分野　⑥細胞生理学分野　⑦病態生理学分野　⑧生化学分野　⑨薬理学分野　⑩免疫学分野　⑪免疫制御学分野　⑫公衆衛生学分野　⑬健康増進スポーツ医学分野　⑭法医学分野　⑮医療の質・安全管理学分野　⑯医療データサイエンス分野　⑰医学教育学分野　⑱血液内科学分野　⑲呼吸器内科学分野　⑳循環器内科学分野　㉑糖尿病・代謝・内分泌内科学分野　㉒リウマチ・膠原病内科学分野　㉓神経学分野　㉔消化器内科学分野　㉕消化器内視鏡学分野　㉖内科系（呼吸器内科学/代謝内科学/消化器内科学/腎臓内科学/臨床感染症学）分野　㉗精神医学分野　㉘小児科・思春期科学分野　㉙皮膚科学分野　㉚放射線医学分野　㉛臨床検査医学分野　㉜高齢総合医

学分野　㉝腎臓内科学分野　㉞呼吸器・甲状腺外科学分野　㉟乳腺科学分野　㊱心臓血管外科学分野　㊲消化器・小児外科学分野　㊳消化器外科学分野　㊴消化器外科・移植外科学分野　㊵整形外科学分野　㊶眼科学分野　㊷泌尿器科学分野　㊸耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野　㊹産科・婦人科学分野　㊺麻酔科学分野　㊻脳神経外科学分野　㊼口腔外科学分野　㊽形成外科学分野　㊾救急・災害医学分野

【資料4】

東京医科大学大学院医学研究科医学専攻（博士課程）ニーズ調査（教職員向け）

問 1. あなたのご所属は
①東京医科大学②東京医科大学病院③茨城医療センター④八王子医療センター⑤その他

問 2. あなたの職制は
①臨床研修医 1 年目②臨床研修医 2 年目③専攻医④臨床研究医⑤医員⑥助教⑦その他

問 3. あなたの性別は
①男性②女性③回答しない

問 4. あなたの年齢は
①20～29 歳②30 歳～39 歳③40～49 歳④50～59 歳⑤60 歳以上

問 5. あなたは博士号の学位をもっていますか
①取得済み②取得していない③取得を目指して大学院に在籍中

問 6. 博士号の学位取得を考えていますか（本学大学院への進学に限りません）
①取得したい②いつかは取得したい③取得しない④わからない

問 7. どのような方法で博士号の取得を考えていますか
①大学院に進学（博士課程）②論文を提出する（論文博士）③検討中・分からない

問 8. 大学院への進学を希望する時期はいつですか
①2025 年 4 月入学②2026 年 4 月入学③2027 年 4 月入学④2028 年 4 月入学
⑤2029 年 4 月入学⑥2030 年 4 月以降入学⑦検討中・分からない

問 9. 志望したい大学院はどれに該当しますか。あてはまるもの全てにチェックしてください。
①国立②公立③私立

問 10. その理由を下記より選択してください。
①必要がないから②専門医を取得するから③取得のために費用がかかるから④取得のために時間がかかるから⑤その他

問 11. 大学院進学にあたり重視することをお答えください。（複数回答可）

①カリキュラム内容②指導体制③早期修了制度④臨床研修医 1 年目対象「特別枠」制度
⑤社会人入試制度⑥土日の開講⑦夜間の開講⑧勤務時間の考慮⑨休職制度⑩その他

問 12. 本学大学院医学研究科への進学を希望しますか
①第一希望として受験する②第二希望として受験する③第三希望として受験する④本学は受験しない⑤検討中・分からない

問 13. 希望理由を教えてください
①カリキュラム内容が充実している②指導体制が整っている③学位取得プロセスが明確である④通学しやすい⑤学費が相応である⑥卒業生だから⑦指導を受けたい教員がいる⑧研究設備・施設が整っている⑨その他

問 14. 希望しない理由を教えてください
①カリキュラム内容が不十分である②指導体制が整っていない③学位取得プロセスが不明瞭である④通学しにくい⑤学費が高い⑥奨学金制度が不十分である⑦指導を受けたい教員が他大学にいる⑧研究設備・施設が整っていない⑨その他

問 15. 現在、本学の学費は 1 年次 50 万円、2 年次以降 40 万円となっています。進学を検討する際に、学費についてどのように思いますか。
①高すぎる②適切である③安すぎる

問 16. 本学医学研究科医学専攻で学んでみたい分野を選択して下さい（複数選択可）
①人体構造学分野 ②組織・神経解剖学分野 ③人体病理学分野 ④分子病理学分野 ⑤微生物学分野 ⑥細胞生理学分野 ⑦病態生理学分野 ⑧生化学分野 ⑨薬理学分野 ⑩免疫学分野 ⑪免疫制御学分野 ⑫公衆衛生学分野 ⑬健康増進スポーツ医学分野 ⑭法医学分野 ⑮医療の質・安全管理学分野 ⑯医療データサイエンス分野 ⑰医学教育学分野 ⑱血液内科学分野 ⑲呼吸器内科学分野 ⑳循環器内科学分野 ㉑糖尿病・代謝・内分泌内科学分野 ㉒リウマチ・膠原病内科学分野 ㉓神経学分野 ㉔消化器内科学分野 ㉕消化器内視鏡学分野 ㉖内科系（呼吸器内科学/代謝内科学/消化器内科学/腎臓内科学/臨床感染症学）分野 ㉗精神医学分野 ㉘小児科・思春期科学分野 ㉙皮膚科学分野 ㉚放射線医学分野 ㉛臨床検査医学分野 ㉜高齢総合医学分野 ㉝腎臓内科学分野 ㉞呼吸器・甲状腺外科学分野 ㉟乳腺科学分野 ㊱心臓血管外科学分野 ㊲消化器・小児外科学分野 ㊳消化器外科学分野 ㊴消化器外科・移植外科学分野 ㊵整形外科学分野 ㊶眼科学分野 ㊷泌尿器科学分野 ㊸耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野 ㊹産科・婦人科学分野 ㊺麻酔科学分野 ㊻脳神経外科学分野 ㊼口腔外科学分野 ㊽形成外科学分野 ㊾救急・災害医学分野

【資料5】

東京医科大学大学院医学研究科医学専攻（博士課程）ニーズ調査（在学生向け）

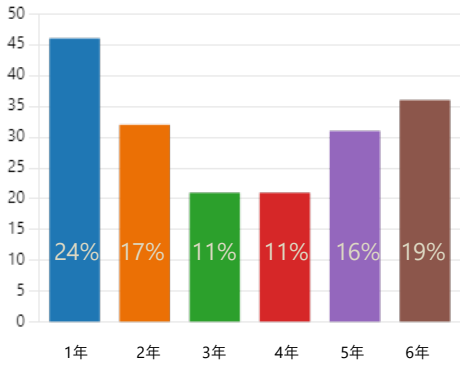
■実施期間：令和6年7月29日~8月3日

■対象者：東京医科大学医学部医学科生（第1学年~第6学年）計754名

回答数：187名（回答率24.8%）

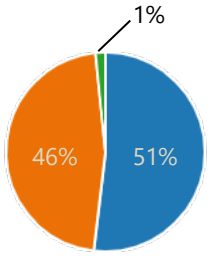
1. あなたの学年は

1年	46
2年	32
3年	21
4年	21
5年	31
6年	36



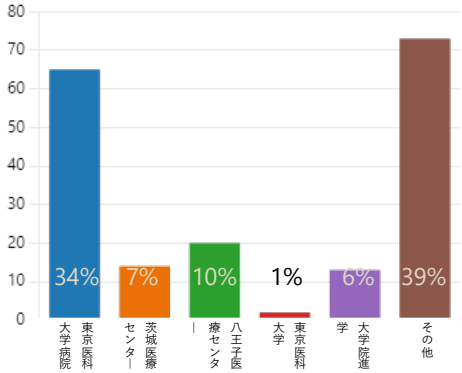
2. あなたの性別は

男性	97
女性	87
回答しない	3



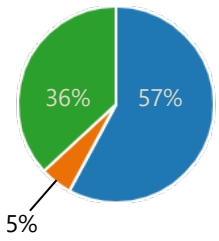
3. 卒業後の進路をどのように考えていますか。

1.東京医科大学病院に就職	65
2.茨城医療センターに就職	14
3.八王子医療センターに就職	20
4.東京医科大学に就職	2
5.大学院進学	13
その他	73



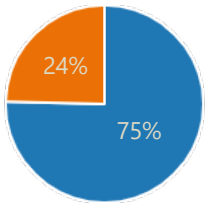
4. 大学院に進学する場合、志望したい大学院はどれに該当しますか。あてはまるもの全てにチェックしてください。

国立	11
公立	1
私立	7



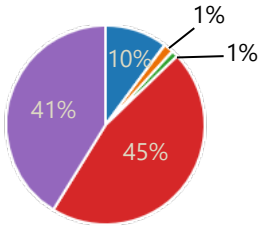
5. 東京医科大学大学院を知っていますか？

知っている	141
知らない	46



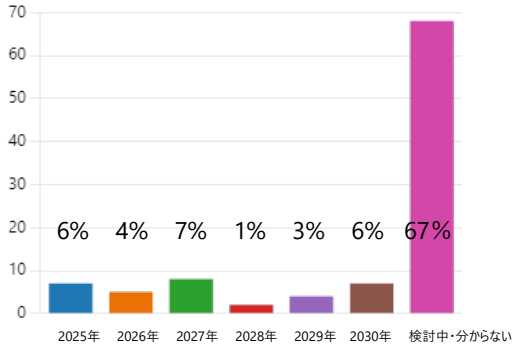
6. 本学大学院へ進学を希望しますか

第一希望として受験する	19
第二希望として受験する	3
第三希望として受験する	2
受験しない	86
検討中・分からない	77



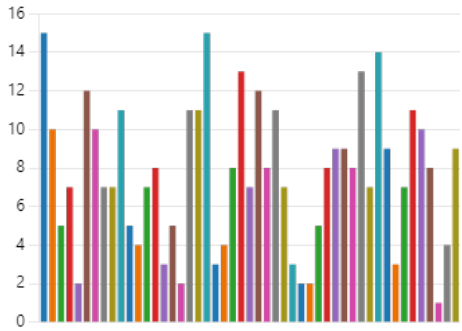
7. 進学を希望する時期はいつですか

2025年4月入学	7
2026年4月入学	5
2027年4月入学	8
2028年4月入学	2
2029年4月入学	4
2030年4月以降入学	7
検討中・分からない	68



8. 希望する分野についてお答えください。あてはまるもの全てにチェックしてください。

人体構造学分野	15件	4%
組織・神経解剖学分野	10件	2%
人体病理学分野	5件	1%
分子病理学分野	7件	1%
微生物学分野	2件	0%
細胞生理学分野	12件	3%
病態生理学分野	10件	2%
生化学分野	7件	1%
薬理学分野	7件	1%
免疫学分野	11件	2%
免疫制御学分野	5件	1%
公衆衛生学分野	4件	1%
健康増進スポーツ医学分野	7件	1%
法医学分野	8件	2%
医療の質・安全管理学分野	3件	0%
医療データサイエンス分野	5件	1%
医学教育学分野	2件	0%
血液内科学分野	11件	2%
呼吸器内科学分野	11件	2%
循環器内科学分野	15件	4%
糖尿病・代謝・内分泌内科学分野	3件	0%
リウマチ・膠原病内科学分野	4件	1%
神経学分野	8件	2%
消化器内科学分野	13件	3%
消化器内視鏡学分野	7件	1%
内科系（呼吸器内科学/代謝内...	12件	3%
精神医学分野	8件	2%
小児科・思春期科学分野	11件	2%
皮膚科学分野	7件	1%
放射線医学分野	3件	0%
臨床検査医学分野	2件	0%
高齢総合医学分野	2件	0%
腎臓内科学分野	5件	1%
呼吸器・甲状腺外科学分野	8件	2%
乳腺科学分野	9件	2%
心臓血管外科学分野	9件	2%
消化器・小児外科学分野	8件	2%
消化器外科学分野	13件	3%
消化器外科・移植外科学分野	7件	1%
整形外科学分野	14件	3%
眼科学分野	9件	2%
泌尿器科学分野	3件	0%
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野	7件	1%
産科婦人科学分野	11件	2%
麻酔科学分野	10件	2%
脳神経外科学分野	8件	2%
口腔外科学分野	1件	0%
形成外科学分野	4件	1%



救急・災害医学分野　9件　2%

9. アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。
大学院について何かご意見・ご希望がございましたら自由に記入してください。

7
応答

最新の回答

・大学院進学にあたっての説明会など開催して欲しいです。
・大学生のように学生として毎日学校に通うような大学院生と、社会人大学院として働きながらやる大学院生の違いを明確にしていただけると、大学生としてはわかりやすいしありがたいです。
・低学年から、研究をする医師に対して実際に関わらずヒエラルキーが高いなどという刷り込みがないとそもそも大学院または基礎研究に行きたい人は増えないと思います。
また、大学院自体の学費に関わらず、東京医大の大学受験時の偏差値が高ければ、東大、医科歯科、慶應のような立ち位置であればおのずと大学院進学率も上がると思います。東京医大は私立なので大幅に学部の学費を下げ、大学受験の偏差値を慶應くらいにすると、大学受験の偏差値が高い大学というだけで実際にどうかは関係なく、「研究に強い大学」だから大学院に進学しようと自大学および他大学から集まると思います。
・研究は国立でないとと聞いたので、それを払拭するようななにかが東医にあるなら進学します。受験で成功して慶應に受かってたら研究したかったと周りで言ってる人がいます。
・学報に毎年、大学院の入学者名簿が載っていることで大学院の存在は把握しておりました。
他大学のように、初期研修と同時に大学院にも通える制度があれば、希望者が増えるのではないかと思います。研究をする気があったとしても、初期研修を受けないという選択肢を取るほどではない人もいると思うため。私自身は研究が苦手分野のため、希望しませんが…
・どれぐらい費用がかかりますか

【資料6】

東京医科大学大学院医学研究科医学専攻（博士課程）ニーズ調査（教職員向け）

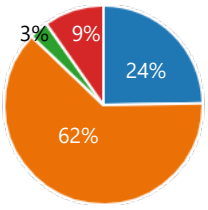
■実施期間：令和6年7月29日~8月3日

■対象者：東京医科大学及び附属病院に勤務する医師889名（臨床研修医133名、専攻医216名、臨床研究医159名、助教342名、医員・助手等39名）計889名

回答数：194名（回答率21.8%）

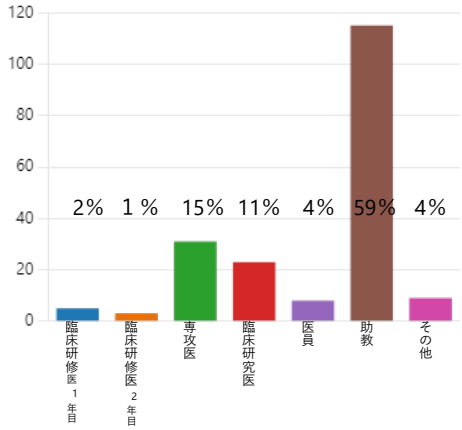
1. あなたのご所属は

東京医科大学	48
東京医科大学病院	121
茨城医療センター	6
八王子医療センター	19
その他	0



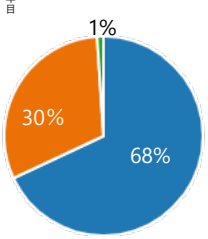
2. あなたの職制は

臨床研修医1年目	5
臨床研修医2年目	3
専攻医	31
臨床研究医	23
医員	8
助教	115
その他	9



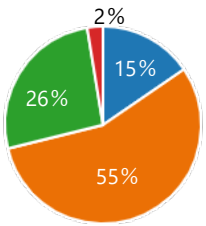
3. あなたの性別は

男性	132
女性	60
回答しない	2



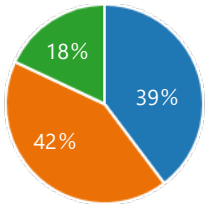
4. あなたの年齢は

20～29歳	30
30～39歳	108
40～49歳	51
50～59歳	5
60歳以上	0



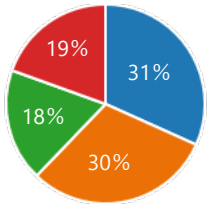
5. あなたは博士号の学位をもっていますか

取得済み	77
取得していない	82
取得を目指して大学院に在籍中	35



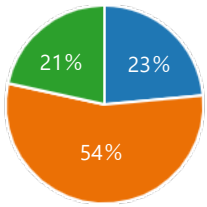
6. 博士号の学位取得を考えていますか（本学大学院への進学に限りません）

取得したい	26
いつかは取得したい	25
取得しない	15
わからない	16



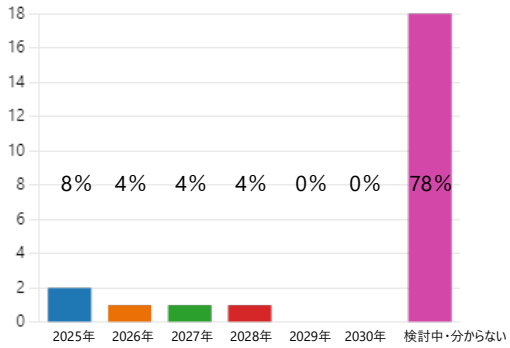
7. どのような方法で博士号の取得を考えていますか

大学院に進学（博士課程）	12
論文を提出する（論文博士）	28
検討中・分からない	11



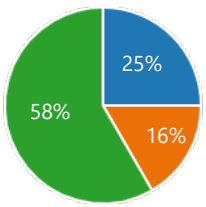
8. 大学院への進学を希望する時期はいつですか

2025年4月入学	2
2026年4月入学	1
2027年4月入学	1
2028年4月入学	1
2029年4月入学	0
2030年4月以降入学	0
検討中・分からない	18



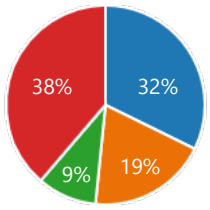
9. 志望したい大学院はどれに該当しますか。あてはまるもの全てにチェックしてください。

国立	9
公立	6
私立	21



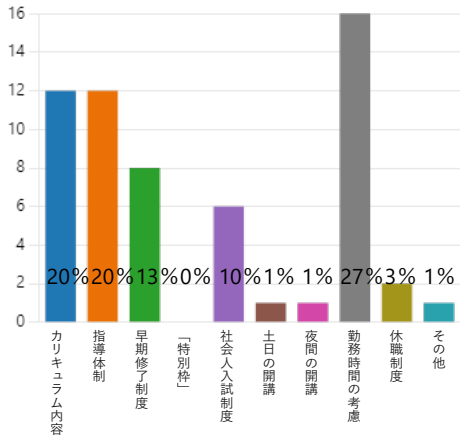
10. その理由を下記より選択してください。

必要がないから	10
専門医を取得するから	6
取得のために費用がかかるから	3
取得のために時間がかかるから	12
その他	0



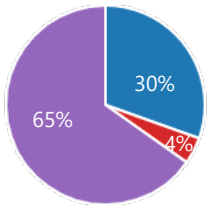
11. 大学院進学にあたり重視することをお答えください。（複数回答可）

カリキュラム内容	12
指導体制	12
早期修了制度	8
臨床研修医1年目対象「特別枠」...	0
社会人入試制度	6
土日の開講	1
夜間の開講	1
勤務時間の考慮	16
休職制度	2
その他	1



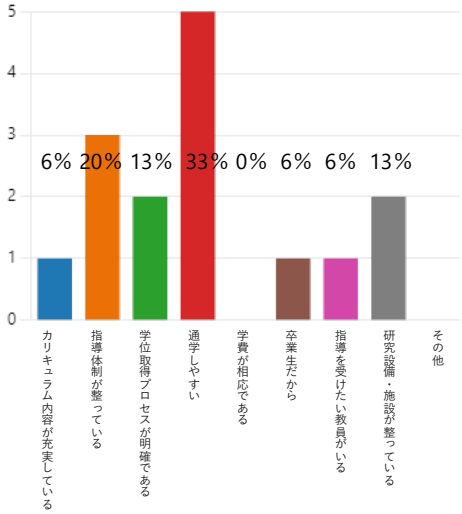
12. 本学大学院医学研究科への進学を希望しますか

第一希望として受験する	7
第二希望として受験する	0
第三希望として受験する	0
本学は受験しない	1
検討中・分からない	15



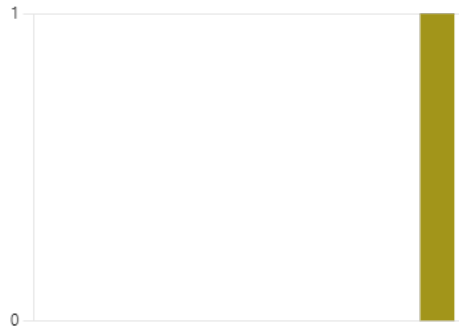
13. 希望理由を教えてください

カリキュラム内容が充実している	1
指導体制が整っている	3
学位取得プロセスが明確である	2
通学しやすい	5
学費が相応である	0
卒業生だから	1
指導を受けたい教員がいる	1
研究設備・施設が整っている	2
その他	0



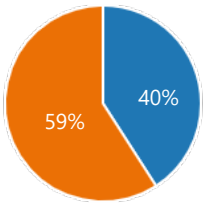
14. 希望しない理由を教えてください

カリキュラム内容が不十分である	0
指導体制が整っていない	0
学位取得プロセスが不明瞭である	0
通学しにくい	0
学費が高い	0
奨学金制度が不十分である	0
指導を受けたい教員が他大学にいる	0
研究設備・施設が整っていない	0
その他	1



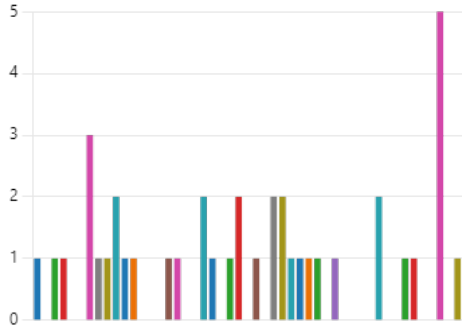
15. 現在、本学の学費は1年次50万円、2年次以降40万円となっています。進学を検討する際に、学費についてどのように思いますか。

高すぎる	9
適切である	13
安すぎる	0



16. 本学医学研究科医学専攻で学んでみたい分野を選択して下さい（複数選択可）

人体構造学分野	1件	2%
組織・神経解剖学分野	0件	0%
人体病理学分野	1件	2%
分子病理学分野	1件	2%
微生物学分野	0件	0%
細胞生理学分野	0件	0%
病態生理学分野	3件	7%
生化学分野	1件	2%
薬理学分野	1件	2%
免疫学分野	2件	5%
免疫制御学分野	1件	2%
公衆衛生学分野	1件	2%
健康増進スポーツ医学分野	0件	0%
法医学分野	0件	0%
医療の質・安全管理学分野	0件	0%
医療データサイエンス分野	1件	2%
医学教育学分野	1件	2%
血液内科学分野	0件	0%
呼吸器内科学分野	0件	0%
循環器内科学分野	2件	5%
糖尿病・代謝・内分泌内科学分野	1件	2%
リウマチ・講演病内科学分野	0件	0%
神経学分野	1件	2%
消化器内科学分野	2件	5%
消化器内視鏡学分野	0件	0%
内科系（呼吸器内科学/代謝内...	1件	2%
精神医学分野	0件	0%
小児科・思春期科学分野	2件	5%
皮膚科学分野	2件	5%
放射線医学分野	1件	2%
臨床検査医学分野	1件	2%
高齢総合医学分野	1件	2%
腎臓内科学分野	1件	2%
呼吸器・甲状腺外科学分野	0件	0%
乳腺科学分野	1件	2%
心臓血管外科学分野	0件	0%
消化器・小児外科学分野	0件	0%
消化器外科学分野	0件	0%
消化器外科・移植外科学分野	0件	0%
整形外科学分野	2件	5%
眼科学分野	0件	0%
泌尿器科学分野	0件	0%
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野	1件	2%
産科婦人科学分野	1件	2%
麻酔科学分野	0件	0%
脳神経外科学分野	0件	0%
口腔外科学分野	5件	12%
形成外科学分野	0件	0%



救急・災害医学分野　　1件　2%

【資料7】

設置に係る事前相談の結果について

【設置計画の概要】

○　研究科の専攻の設置

○　東京医科大学大学院
　　医学研究科
　　医学専攻

○　開設年度　：　令和７年度

【事前相談の結果】

「届出」による設置が可能

【附帯事項】

（遵守事項）

特になし。

（助言事項）

特になし。

別記様式第３号（その１）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教　　員　　名　　簿

学　長　又　は　校　長　の　氏　名　等						
調書番号	役職名	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給（千円）	現　職 （就任年月）
－	学長	ミヤザワ ケイスケ 宮澤　啓介 ＜令和6年9月＞		医学博士		東京医科大学学長 （令和6.9～令和9.8）

別記様式第３号（その２の２）

（用紙　日本産業規格Ａ４横型）

教　員　の　氏　名　等

（医学研究科医学専攻）

調書番号	教員区分	職位	フリガナ 氏名 ＜就任(予定)年月＞	年齢	保有学位等	月額基本給(千円)	担当授業科目の名称	配当年次	担当単位数	年間開講数	現　職 (就任年月)	申請に係る研究科等の職務に従事する週当たり平均日数
1	専	教授	イトウ マサヒロ 伊藤 正裕 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		ステップ1※ コースワーク 人体構造学	1前 1～4通 1～3通	0.14 0.03 4	1 1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平13.4)	1.5日
2	専	教授	ヨシトミ ネイネイ 吉富 寧々 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 人体構造学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 教授 (令5.4)	1日
3	専	教授	タカハシ トキハル 高橋 宗春 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 組織・神経解剖学	1～4通 1～3通	0.03 3.34	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (令3.7)	1日
4	専	教授	ナガオ トシタカ 長尾 俊孝 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 人体病理学	1～4通 1～3通	0.03 3.34	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平13.8)	1日
5	専	教授	マツバヤシ ジュン 松林 純 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 人体病理学	1～4通 1～3通	0.03 3.33	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平13.4)	1日
6	専	教授	モリシタ ユキオ 森下 由紀雄 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク （研究指導）	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平24.9)	0.25日
7	専	教授	ナカツガワ ムネヒデ 中津川 宗秀 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク （研究指導）	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平31.4)	0.25日
8	専	教授	クロダ マサヒコ 黒田 雅彦 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		ステップ1※ コースワーク 分子病理学	1前 1～4通 1～3通	0.14 0.03 5	1 1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平10.2)	1.5日

9	専	教授	ナカムラ シゲキ 中村 茂樹 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 微生物学	1～4通 1～3通	0.03 4.00	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (令1.7)	1日
10	専	教授	オオクス キヨフミ 大楠 清文 ＜令和7年4月＞		保健学 (博士)		コースワーク 微生物学	1～4通 1～3通	0.03 4.00	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平26.4)	1日
11	専	教授 (研究科長)	ヨコヤマ ウタコ 横山 詩子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 細胞生理学	1～4通 1～3通	0.03 3.34	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平31.4)	1日
12	専	教授	ハヤシ ユキコ 林　由起子 ＜令和7年4月＞		博士 (医学)		コースワーク 病態生理学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平25.8)	1.25日
13	専	教授	伊藤（杉田）美智子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 生化学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (令和6.1)	1.25日
14	専	教授	ヒラモト マサキ 平本 正樹 ＜令和7年4月＞		工学 (博士)		コースワーク 生化学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平25.9)	1.25日
15	専	教授	カネクラ コウスケ 金蔵 孝介 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 薬理学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平27.6)	1日
16	専	教授	ヨコスカ タダシ 横須賀 忠 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 免疫学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平27.4)	1日
17	専	教授	ヨシモト タカユキ 善本 隆之 ＜令和7年4月＞		理学 (博士)		コースワーク 免疫制御学	1～4通 1～3通	0.03 20	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平12.1)	5日
18	専	教授	イノウエ シゲル 井上 茂 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 公衆衛生学	1～4通 1～3通	0.03 3.34	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平14.4)	1日
19	専	教授	ハマオカ タカフミ 濱岡 隆文 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 健康増進スポーツ医学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平27.7)	1.25日

20	専	教授	内ヶ崎 西作（ウチガサキ セイサク） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 法医学	1～4通 1～3通	0.03 20	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (令4.10)	5日
21	専	教授	三島 史朗（ミシマ シロウ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 医療の質・安全管理学	1～4通 1～3通	0.03 6.67	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平13.4)	1.75日
22	専	教授	田栗 正隆（タグリ マサタカ） ＜令和7年4月＞		保健学 (博士)		ステップ2　医療データサイエンス ※ コースワーク 医療データサイエンス	1～3後 1～4通 1～3通	1.43 0.03 6.67	1 1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (令4.4)	2日
23	専	教授	後藤 守孝（ゴトウ モリタカ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 血液内科学	1～4通 1～3通	0.03 2.50	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平19.9)	0.75日
24	専	教授	阿部 信二 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 呼吸器内科学	1～4通 1～3通	0.03 6.67	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平30.1)	1.75日
25	専	教授	里見 和浩（サトミ カズヒロ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 循環器内科学	1～4通 1～3通	0.03 2.87	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平25.8)	0.75日
26	専	教授	田中 信大（タナカ ノブヒロ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 循環器内科学	1～4通 1～3通	0.03 2.87	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平10.12)	0.75日
27	専	教授	鈴木 亮（スズキ リョウ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 糖尿病・代謝・内分泌内科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平30.6)	1日
28	専	教授	沢田 哲治（サワダ テツジ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク リウマチ・膠原病内科学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平20.4)	1.25日
29	専	教授	庄田 宏文（ショウダ ヒロフミ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク リウマチ・膠原病内科学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 教授 (R6.4)	1.25日
30	専	教授	赫 寛雄（テラシ ヒロオ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 神経学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平17.10)	1.25日

31	専	教授	イトイ タカオ 糸井 隆夫 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 消化器内科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平13.2)	1日
32	専	教授	イワモト ジュンイチ 岩本 淳一 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 内科系消化器内科	1～4通 1～3通	0.03 10	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平16.7)	2.5日
33	専	教授	イケガミ タダシ 池上 正 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 内科系消化器内科	1～4通 1～3通	0.03 10	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平18.7)	2.5日
34	専	教授	キタムラ カツヤ 北村 勝哉 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 消化器内科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平31.4)	1日
35	専	教授	ソフニ アツシ 祖父尼 淳 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク （研究指導）	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平16.4)	0.25日
36	専	教授	ワタナベ ヒデヒロ 渡邉 秀裕 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 内科系臨床感染症学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平26.1)	1.25日
37	専	教授	ヒライ ユウジ 平井 由児 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク （研究指導）	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平30.1)	0.25日
38	専	教授	ホンダ アキラ 本多 彰 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 内科系腎臓内科学	1～4通 1～3通	0.03 20	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平19.10)	5日
39	専	教授	イチキ マサヒコ 市来 真彦 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 精神医学	1～4通 1～3通	0.03 2	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平17.11)	0.5日
40	専	教授	ヒガシ シンジ 東 晋二 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 精神医学	1～4通 1～3通	0.03 2	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平31.4)	0.5日
41	専	教授	フジムラ ヨウタ 藤村 洋太 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 精神医学	1～4通 1～3通	0.03 2	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平29.10)	0.5日

42	専	教授	ヤマナカ ガク 山中 岳 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 小児科・思春期科学	1～4通 1～3通	0.03 1.54	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平14.6)	0.5日
43	専	教授	ハラダ カズトシ 原田 和俊 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 皮膚科学	1～4通 1～3通	0.03 2.79	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平26.1)	1日
44	専	教授	カワチ ヤスヒロ 川内 康弘 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 皮膚科学	1～4通 1～3通	0.03 2.79	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平26.4)	1日
45	専	教授	ウメバヤシ ヨシヒロ 梅林 芳弘 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 皮膚科学	1～4通 1～3通	0.03 2.79	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平27.4)	1日
46	専	教授	カトウ ユキヒコ 加藤 雪彦 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 皮膚科学	1～4通 1～3通	0.03 2.79	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平17.10)	1日
47	専	教授	イトウ トモノブ 伊藤 友章 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 皮膚科学	1～4通 1～3通	0.03 2.79	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平23.2)	1日
48	専	教授	サイトウ カズヒロ 齋藤 和博 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 放射線医学	1～4通 1～3通	0.03 2	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平7.12)	0.5日
49	専	教授	ヨシムラ マナ 吉村 真奈 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 放射線医学	1～4通 1～3通	0.03 2	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平4.7)	0.5日
50	専	教授	アベ コウイチロウ 阿部 光一郎 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 放射線医学	1～4通 1～3通	0.03 2	1 1	東京医科大学医学部 教授 (令2.1)	0.5日
51	専	教授	ナカイ モトキ 中井 資貴 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 放射線医学	1～4通 1～3通	0.03 2	1 1	東京医科大学医学部 教授 (令3.8)	0.5日
52	専	教授	スガハラ シンジ 菅原 信二 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 放射線医学	1～4通 1～3通	0.03 2	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平22.1)	0.5日

53	専	教授	キナイ エイ 木内 英 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 臨床検査医学	1～4通 1～3通	0.03 2.22	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平31.4)	0.75日
54	専	教授	アマノ カゲヒロ 天野 景裕 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 臨床検査医学	1～4通 1～3通	0.03 2.22	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平9.4)	0.75日
55	専	教授	タナカ アサシ 田中 朝志 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク （研究指導）	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平7.9)	0.25日
56	専	教授	シミズ ソウイチロウ 清水 聰一郎 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 高齢総合医学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平22.2)	1.25日
57	専	教授	コバヤシ ダイキ 小林 大輝 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク （研究指導）	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 教授 (令4.1)	0.25日
58	専	教授	カンノ ヨシヒコ 菅野 義彦 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 腎臓内科学	1～4通 1～3通	0.03 3.34	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平25.4)	1日
59	専	教授	ヒラヤマ コウイチ 平山 浩一 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 内科系腎臓内科学 腎臓内科学	1～4通 1～3通 1～3通	0.03 10 3.34	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平26.4)	3日
60	専	教授	オダ タカシ 尾田 高志 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 腎臓内科学	1～4通 1～3通	0.03 3.34	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平26.4)	1日
61	専	教授	モリヤマ タカヒト 森山 能仁 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 腎臓内科学	1～4通 1～3通	0.03 3.34	1 1	東京医科大学医学部 教授 (令4.8)	1日
62	専	教授	イケダ ノリヒコ 池田 徳彦 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 呼吸器・甲状腺外科学	1～4通 1～3通	0.03 2.22	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平20.4)	0.75日
63	専	教授	オオヒラ タツオ 大平 達夫 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 呼吸器・甲状腺外科学	1～4通 1～3通	0.03 2.22	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平11.6)	0.75日

64	専	教授	筒井 英光（ツツイ ヒデミツ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 呼吸器・甲状腺外科学	1～4通 1～3通	0.03 2.22	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平12.3)	0.75日
65	専	教授	梶原 直央（カジワラ ナオヒロ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク （研究指導）	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平12.3)	0.25日
66	専	教授	石川 孝（イシカワ タカシ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 乳腺科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平26.4)	1日
67	専	教授	山田 公人（ヤマダ キミト） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 乳腺科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平14.1)	1日
68	専	教授	島原 佑介（シマハラ ユウスケ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 心臓血管外科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (令2.7)	1日
69	専	教授	福田 尚司（フクダ ショウジ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 心臓血管外科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平30.4)	1日
70	専	教授	赤坂 純逸（アカサカ ジュンエツ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 心臓血管外科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平23.4)	1日
71	専	教授	永川 裕一（ナガカワ ユウイチ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 消化器・小児外科学	1～4通 1～3通	0.03 2.5	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平18.1)	0.75日
72	専	教授	鈴木 修司（スズキ シュウジ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 消化器外科学	1～4通 1～3通	0.03 6.67	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平26.4)	1.75日
73	専	教授	下田 貢（シモダ ミツギ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 消化器外科学	1～4通 1～3通	0.03 6.66	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平28.4)	1.75日
74	専	教授	河地 茂行（カワチ シゲユキ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 消化器外科・移植外科学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平24.4)	1.25日

75	専	教授	ヒダカ エイジ 日高 英二 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 消化器外科・移植外科学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 教授 (令1.6)	1.25日
76	専	教授	シシド タカアキ 宍戸 孝明 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 整形外科学	1～4通 1～3通	0.03 2	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平4.12)	0.5日
77	専	教授	ワカバヤシ ヨシヒロ 若林 美宏 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 眼科学	1～4通 1～3通	0.03 2.86	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平4.4)	0.75日
78	専	教授	マホ マサヒロ 真穂 雅博 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 眼科学	1～4通 1～3通	0.03 2.86	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平13.4)	0.75日
79	専	教授	シムラ マサヒコ 志村 雅彦 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 眼科学	1～4通 1～3通	0.03 2.86	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平24.7)	0.75日
80	専	教授	オオノ ヨシオ 大野 芳正 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 泌尿器科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平6.4)	1日
81	専	教授	ツカハラ キヨアキ 塚原 清彰 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平15.4)	1日
82	専	教授	オガワ ヤスオ 小川 恭生 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク （研究指導）	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平13.7)	0.25日
83	専	教授	オカモト イサク 岡本 伊作 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1～4通 1～3通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平25.11)	0.25日
84	専	教授	ニシ ヒロタカ 西 洋孝 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 産科・婦人科学	1～4通 1～3通	0.03 3.34	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平13.5)	0.75日
85	専	教授	ウチノ ヒロユキ 内野 博之 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 麻酔科学	1～4通 1～3通	0.03 6.67	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平13.4)	1.75日

86	専	教授	合谷木 徹（ゴウヤギ トオル） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 麻酔科学	1～4通 1～3通	0.03 6.66	1 1	東京医科大学医学部 教授 (令4.7)	1.75日
87	専	教授	河野 道宏（コウノ ミチヒロ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 脳神経外科学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平25.4)	1.25日
88	専	教授	神保 洋之（ジンボ ヒロユキ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク （研究指導）	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平20.7)	0.25日
89	専	教授	近津 大地（チカヅ ダイチ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 口腔外科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平22.4)	1日
90	専	教授	松尾 朗（マツオ アキラ） ＜令和7年4月＞		歯学 (博士)		コースワーク 口腔外科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平13.1)	1日
91	専	教授	松村 一（マツムラ ハジメ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 形成外科学	1～4通 1～3通	0.03 6.67	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (平5.7)	1.75日
92	専	教授	本間 宙（ホンマ ヒロシ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 救急・災害医学	1～4通 1～3通	0.03 6.67	1 1	東京医科大学医学部 主任教授 (令4.1)	1.75日
93	専	教授	稲津 正人（イナヅ マサト） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		ステップ2　グラント申請の書き方・研究資金の確保	1～3後	0.5	1	東京医科大学医学部 教授 (平9.7)	0.25日
94	専	教授	小島 多香子（コジマ タカコ） ＜令和7年4月＞		国際文化 (修士)		ステップ2　国際発信のための論文執筆とプレゼンテーション※	1～3前	0.2	1	東京医科大学医学部 教授 (平25.4)	0.25日
95	専	教授	伊藤 良和（イトウ ヨシカズ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		ステップ1※ ステップ2　医学研究における法と倫理※	1前 1～3前後	0.14 0.12	1 1	東京医科大学医学部 教授 (平8.2)	0.25日
96	専	教授	倉田 誠（クラタ マコト） ＜令和7年4月＞		学術 (博士)		ステップ2　医学研究における法と倫理※	1～3前後	0.36	1	東京医科大学医学部 教授 (平26.4)	0.25日

97	専	教授	及川（オイカワ） 哲郎（テツロウ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク （研究指導）	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 教授 （平31.4）	0.25日
98	専	教授	蒲原（カモハラ） 英伸（ヒデノブ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク （研究指導）	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 教授 （平31.4）	0.25日
99	専	准教授	内田　敬子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 細胞生理学	1～4通 1～3通	0.03 3.33	1 1	東京医科大学医学部 准教授 （令6.4）	0.5日
100	専	准教授	李（リ） 忠連（チユウレン） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 人体構造学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 准教授 （令2.11）	1日
101	専	准教授	大山（オオヤマ） 恭司（キヨウジ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 組織・神経解剖学	1～4通 1～3通	0.03 3.33	1 1	東京医科大学医学部 准教授 （平26.4）	0.5日
102	専	准教授	高橋（タカハシ） 礼典（レイスケ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 人体病理学	1～4通 1～3通	0.03 3.33	1 1	東京医科大学医学部 准教授 （平19.4）	0.5日
103	専	准教授	宮崎（ミヤザキ） 治子（ハルコ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 微生物学	1～4通 1～3通	0.03 4.00	1 1	東京医科大学医学部 准教授 （平26.1）	1日
104	専	准教授	柴田（シバタ） 岳彦（タケヒコ） ＜令和7年4月＞		理学 (博士)		コースワーク 微生物学	1～4通 1～3通	0.03 4.00	1 1	東京医科大学医学部 准教授 （令2.4）	1日
105	専	准教授	川原（カワハラ） 玄理（ゲンリ） ＜令和7年4月＞		理学 (博士)		コースワーク 病態生理学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 准教授 （平26.6）	1.25日
106	専	准教授	高野（タカノ） 直治（ナオハル） ＜令和7年4月＞		理学 (博士)		コースワーク 生化学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 准教授 （平28.4）	1.25日
107	専	准教授	竹内（タケウチ） 新（アラタ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 免疫学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 准教授 （令3.4）	1日

108	専	准教授	フクシマ ノリトシ 福島 教照 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 公衆衛生学	1～4通 1～3通	0.03 3.33	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平26.4)	0.5日
109	専	准教授	イトウ トモコ 伊藤 朋子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 公衆衛生学	1～4通 1～3通	0.03 3.33	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平15.4)	0.5日
110	専	准教授	キクチ ヒロユキ 菊池 宏幸 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 公衆衛生学	1～4通 1～3通	0.03 3.33	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平28.4)	0.5日
111	専	准教授	ウラマツ マサシ 浦松 雅史 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 医療の質・安全管理学	1～4通 1～3通	0.03 6.66	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平23.4)	0.5日
112	専	准教授	ヤマザキ ユカ 山崎 由花 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク	1～4通	0.03	1	東京医科大学医学部 准教授 (平28.4)	1.25日
113	専	准教授	ハラダ ヨシミ 原田 芳巳 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク	1～4通	0.03	1	東京医科大学医学部 准教授 (平11.6)	1.25日
114	専	准教授	フルヤ ナホコ 古屋 奈穂子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 血液内科学	1～4通 1～3通	0.03 2.5	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平26.5)	0.75日
115	専	准教授	アカハネ ダイゴ 赤羽 大悟 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 血液内科学	1～4通 1～3通	0.03 2.5	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平20.4)	0.75日
116	専	准教授	コウノ ユウタ 河野 雄太 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 呼吸器内科学	1～4通 1～3通	0.03 6.66	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (令1.10)	0.5日
117	専	准教授	タケイ ヤスヨシ 武井 康悦 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 循環器内科学	1～4通 1～3通	0.03 2.87	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平20.10)	0.5日
118	専	准教授	シイナ カズキ 椎名 一紀 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 循環器内科学	1～4通 1～3通	0.03 2.87	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平17.4)	0.5日

119	専	准教授	コスゲ ヒサノリ 小菅 寿徳 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 循環器内科学	1～4通 1～3通	0.03 2.87	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平30.10)	0.5日
120	専	准教授	ヒダ サトシ 肥田 敏 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 循環器内科学	1～4通 1～3通	0.03 2.87	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平14.7)	0.5日
121	専	准教授	ヤマダ サトシ 山田 聡 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク (研究指導)	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平30.10)	0.25日
122	専	准教授	ヤマシタ ジュン 山下 淳 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 循環器内科学	1～4通 1～3通	0.03 2.87	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平22.4)	0.5日
123	専	准教授	サカイ ヒロユキ 酒井 裕幸 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 糖尿病・代謝・内分泌内科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平13.2)	1日
124	専	准教授	シクマ ジュンペイ 志熊 淳平 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 糖尿病・代謝・内分泌内科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平21.7)	1日
125	専	准教授	スワナイ ヒロツグ 諏訪内 浩紹 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 糖尿病・代謝・内分泌内科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平29.4)	1日
126	専	准教授	タハラ コウイチロウ 太原 恒一郎 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク リウマチ・膠原病内科学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 臨床准教授 (平15.6)	1.25日
127	専	准教授	カトウ ハルヒサ 加藤 陽久 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 神経学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平18.4)	1.25日
128	専	准教授	ヒデヤマ タクト 日出山 拓人 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 神経学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平30.4)	1.25日
129	専	准教授	ツチヤ タカヨシ 土屋 貴愛 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 消化器内科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平20.8)	1日

130	専	准教授	フクザワ マサカツ 福澤 誠克 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 消化器内科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平19.8)	1日
131	専	准教授	トノヅカ リョウスケ 殿塚 亮祐 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク (研究指導)	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平27.4)	0.25日
132	専	准教授	スギモト カツトシ 杉本 勝俊 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 消化器内科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平21.4)	1日
133	専	准教授	ムカイ シュンタロウ 向井 俊太郎 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク (研究指導)	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平28.4)	0.25日
134	専	准教授	ヤマモト ケンジロウ 山本 健治郎 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク (研究指導)	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平29.4)	0.25日
135	専	准教授	ニイクラ リョウタ 新倉 量太 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク	1～4通	0.03	1	東京医科大学医学部 准教授 (令3.4)	0.5日
136	専	准教授	ナカムラ イタル 中村 造 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 内科系臨床感染症学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平21.4)	1.25日
137	専	准教授	タカモト イセキ 高本 偉碩 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 内科系代謝内科学	1～4通 1～3通	0.03 20	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (令4.4)	0.5日
138	専	准教授	マスヤ ジロウ 桝屋 二郎 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 精神医学	1～4通 1～3通	0.03 2	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平28.4)	0.5日
139	専	准教授	ヤマザキ タカシ 山崎 崇志 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 小児科・思春期科学	1～4通 1～3通	0.03 1.53	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平31.4)	0.5日
140	専	准教授	カシワギ ヤスヨ 柏木 保代 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 小児科・思春期科学	1～4通 1～3通	0.03 1.53	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平8.4)	0.5日

141	専	准教授	ニシマタ シゲオ 西亦 繁雄 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 小児科・思春期科学	1～4通 1～3通	0.03 1.53	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平17.4)	0.5日
142	専	准教授	サカイ ノリヤス 堺 則康 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク (研究指導)	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (令2.4)	0.25日
143	専	准教授	カタダ ヨシアキ 片田 芳明 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク (研究指導)	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (令3.4)	0.25日
144	専	准教授	オオクボ ミツル 大久保 充 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 放射線医学	1～4通 1～3通	0.03 2	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平21.4)	0.5日
145	専	准教授	ヨツモト ミホコ 四本 美保子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 臨床検査医学	1～4通 1～3通	0.03 2.22	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平20.4)	0.75日
146	専	准教授	イナバ ヒロシ 稲葉 浩 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 臨床検査医学	1～4通 1～3通	0.03 2.22	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (昭60.4)	0.75日
147	専	准教授	フクイ サヤト 福井 早矢人 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク (研究指導)	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (令4.7)	0.25日
148	専	准教授	ヤマダ ムネハル 山田 宗治 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク (研究指導)	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平25.1)	0.25日
149	専	准教授	カキハナ マサトシ 垣花 昌俊 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 呼吸器・甲状腺外科学	1～4通 1～3通	0.03 2.22	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平15.7)	0.75日
150	専	准教授	ハギワラ マサル 萩原 優 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 呼吸器・甲状腺外科学	1～4通 1～3通	0.03 2.22	1 1	東京医科大学医学部 臨床准教授 (平21.7)	0.75日
151	専	准教授	モトハシ シンヤ 本橋 慎也 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク (研究指導)	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 臨床准教授 (平24.10)	0.25日

152	専	准教授	ハヤシ ユタカ 林 豊 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 消化器・小児外科学	1～4通 1～3通	0.03 2.5	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平23.4)	0.75日
153	専	准教授	イシザキ テツオ 石崎 哲央 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 消化器・小児外科学	1～4通 1～3通	0.03 2.5	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平19.1)	0.75日
154	専	准教授	シマザキ ジロウ 島崎 二郎 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 消化器外科学	1～4通 1～3通	0.03 2.5	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平13.4)	0.75日
155	専	准教授	チバ ナオカズ 千葉 斉一 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 消化器外科・移植外科学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平24.4)	1.25日
156	専	准教授	マサオカ トシノリ 正岡 利紀 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 整形外科学	1～4通 1～3通	0.03 2	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平5.7)	0.5日
157	専	准教授	エンドウ ケンジ 遠藤 健司 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 整形外科学	1～4通 1～3通	0.03 2	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平6.7)	0.5日
158	専	准教授	コヤマ タカシ 小山 尊士 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 整形外科学	1～4通 1～3通	0.03 2	1 1	東京医科大学医学部 臨床准教授 (平8.4)	0.5日
159	専	准教授	タテイワ トシユキ 立岩 俊之 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 整形外科学	1～4通 1～3通	0.03 2	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平17.10)	0.5日
160	専	准教授	ウスイ ヨシヒコ 臼井 嘉彦 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 眼科学	1～4通 1～3通	0.03 2.86	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平27.7)	0.5日
161	専	准教授	ノマ ヒデタカ 野間 英孝 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク （研究指導）	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平25.1)	0.25日
162	専	准教授	ウマヅメ カズヒコ 馬詰 和比古 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 眼科学	1～4通 1～3通	0.03 2.86	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平25.4)	0.5日

163	専	准教授	クロダ イサオ 黒田 功 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク （研究指導）	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平24.6)	0.25日
164	専	准教授	シシド トシヒデ 宍戸 俊英 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 整形外科学	1～4通 1～3通	0.03 2	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平26.3)	0.5日
165	専	准教授	イナガキ タロウ 稲垣 太郎 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平19.2)	1日
166	専	准教授	シミズ アキラ 清水 顕 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク （研究指導）	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 臨床准教授 (平14.11)	0.25日
167	専	准教授	ニシヤマ ノブヒロ 西山 信宏 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 臨床准教授 (平18.8)	1日
168	専	准教授	オノ マサノリ 小野 政徳 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 産科・婦人科学	1～4通 1～3通	0.03 3.33	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (令3.6)	0.5日
169	専	准教授	フタガミ マサユキ 二神 真行 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク （研究指導）	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (令4.4)	0.25日
170	専	准教授	ヤマモト アキコ 山本 阿紀子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 産科・婦人科学	1～4通 1～3通	0.03 3.33	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (令2.9)	0.5日
171	専	准教授	フカミ シンジロウ 深見 真二郎 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 脳神経外科学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平14.4)	1.25日
172	専	准教授	ハシモト タカオ 橋本 孝朗 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 脳神経外科学	1～4通 1～3通	0.03 5	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平8.8)	1.25日
173	専	准教授	サイダ アキヒコ 齋田 晃彦 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク （研究指導）	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 臨床准教授 (平4.1)	0.25日

174	専	准教授	ハセガワ オン 長谷川 温 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 口腔外科学	1～4通 1～3通	0.03 4	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平23.4)	1日
175	専	准教授	コミヤ タカコ 小宮 貴子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 形成外科学	1～4通 1～3通	0.03 6.66	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平27.10)	0.5日
176	専	准教授	カタヒラ ジロウ 片平 次郎 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク （研究指導）	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (令4.2)	0.25日
177	専	准教授	ツルキリ ジュンヤ 弦切 純也 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク 救急・災害医学	1～4通 1～3通	0.03 6.66	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平19.4)	0.5日
178	専	准教授	イノウエ ヒロキ 井上 弘樹 ＜令和7年4月＞		歴史学 (博士)		ステップ1※	1前	0.14	1	東京医科大学医学部 准教授 (令3.4)	0.25日
179	専	准教授	イナガキ ナツコ 稲垣 夏子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		ステップ2　医学研究における法と倫理※	1～3前後	0.12	1	東京医科大学医学部 准教授 (平29.4)	0.25日
180	専	准教授	ナガタ ナオヨシ 永田 尚義 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク （研究指導）	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (令1.7)	0.25日
181	専	准教授	フクシマ シンジ 福島 慎二 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		コースワーク （研究指導）	1～4通 1～4通	0.03 0	1 1	東京医科大学医学部 准教授 (平22.4)	0.25日
182	専	講師	ヤクラ トミコ 矢倉 富子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		人体構造学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 講師 (令3.4)	1日
183	専	講師	マスヤマ ユウコ 増山 裕子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		組織・神経解剖学	1～3通	3.33	1	東京医科大学医学部 講師 (平27.4)	1日
184	専	講師	シノハラ ヒロシ 篠原 広志 ＜令和7年4月＞		農学 (博士)		組織・神経解剖学	1～3通	3.33	1	東京医科大学医学部 講師 (平23.2)	1日

185	専	講師	キタザワ ヒロマサ 北澤 宏理 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		組織・神経解剖学	1～3通	3.33	1	東京医科大学医学部 講師 (平21.11)	1日
186	専	講師	カシワギ タイチ 柏木 太一 ＜令和7年4月＞		農学 (博士)		組織・神経解剖学	1～3通	3.33	1	東京医科大学医学部 講師 (平23.10)	1日
187	専	講師	タニガワ マキ 谷川 真希 ＜令和7年4月＞		歯学 (博士)		人体病理学	1～3通	3.33	1	東京医科大学医学部 講師 (平23.9)	1日
188	専	講師	ウメヅ トモヒロ 梅津 知宏 ＜令和7年4月＞		工学 (博士)		分子病理学	1～3通	5	1	東京医科大学医学部 講師 (平23.4)	1.25日
189	専	講師	オオノ シンイチロウ 大野 慎一郎 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		分子病理学	1～3通	5	1	東京医科大学医学部 講師 (平22.11)	1.25日
190	専	講師	シロタ ハナ 城田 華 ＜令和7年4月＞		理学 (博士)		細胞生理学	1～3通	3.33	1	東京医科大学医学部 講師 (平19.4)	1日
191	専	講師	ナカムラ タカシ 中村 隆 ＜令和7年4月＞		獣医学 (博士)		細胞生理学	1～3通	3.33	1	東京医科大学医学部 講師 (令3.8)	1日
192	専	講師	ワダ エイジ 和田 英治 ＜令和7年4月＞		学術 (博士)		病態生理学	1～3通	5	1	東京医科大学医学部 講師 (平27.4)	1.25日
193	専	講師	ハシモト ユウイチ 橋本 祐一 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		薬理学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 講師 (平21.4)	1日
194	専	講師	ナワ ミキロウ 名和 幹朗 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		薬理学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 講師 (平23.4)	1日
195	専	講師	スズキ ヒロアキ 鈴木 宏昌 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		薬理学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 講師 (平24.8)	1日

196	専	講師	クサカリ シンヤ 草苅 伸也 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		薬理学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 講師 (平26.4)	1日
197	専	講師	マチヤマ ヒロアキ 町山 裕亮 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		免疫学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 講師 (平28.10)	1日
198	専	講師	ワカマツ エイ 若松 英 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		免疫学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 講師 (平29.4)	1日
199	専	講師	ニシジマ ヒトシ 西嶋 仁 ＜令和7年4月＞		理学 (博士)		免疫学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 講師 (令2.5)	1日
200	専	講師	ミゾグチ イズル 溝口 出 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		免疫制御学	1～3通	10	1	東京医科大学医学部 講師 (平23.5)	0.25日
201	専	講師	ゴンダ ユウコ 権田 優子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		公衆衛生学	1～3通	3.33	1	東京医科大学医学部 講師 (平7.4)	1日
202	専	講師	マチダ マサキ 町田 征己 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		公衆衛生学 内科系臨床感染症学	1～3通 1～3通	3.33 1.13	1 1	東京医科大学医学部 講師 (平30.6)	0.5日
203	専	講師	クロサワ ユウコ 黒澤 裕子 ＜令和7年4月＞		栄養学 (博士)		健康増進スポーツ医学	1～3通	5	1	東京医科大学医学部 講師 (平27.10)	1.25日
204	専	講師	キメ リョウタロウ 木目 良太郎 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		健康増進スポーツ医学	1～3通	5	1	東京医科大学医学部 講師 (平15.3)	1.25日
205	専	講師	タカハシ メグミ 高橋 恵 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		医療の質・安全管理学	1～3通	6.66	1	東京医科大学医学部 講師 (平30.4)	1.5日
206	専	講師	ウチダ コウタロウ 内田 康太郎 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		救急・災害医学	1～3通	6.66	1	東京医科大学医学部 講師 (平20.4)	5日

207	専	講師	オカベ セイイチ 岡部 聖一 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		血液内科学	1～3通	2.5	1	東京医科大学医学部 講師 (平15.2)	0.5日
208	専	講師	ヨシザワ セイイチロウ 吉澤 成一郎 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		血液内科学	1～3通	2.5	1	東京医科大学医学部 講師 (平22.8)	0.5日
209	専	講師	タナカ ユウコ 田中 裕子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		血液内科学	1～3通	2.5	1	東京医科大学医学部 講師 (平23.10)	0.5日
210	専	講師	キクチ リヨウタ 菊池 亮太 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		呼吸器内科学	1～3通	6.66	1	東京医科大学医学部 講師 (平27.4)	0.5日
211	専	講師	ムラタ ナオタカ 村田 直隆 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (平26.9)	0.25日
212	専	講師	ヤザキ ヨシナオ 矢崎 義直 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		循環器内科学	1～3通	2.87	1	東京医科大学医学部 講師 (平23.8)	1日
213	専	講師	コマツ ヤスシ 小松 靖 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (平23.9)	0.25日
214	専	講師	コバヤシ マサタケ 小林 正武 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (令2.12)	0.25日
215	専	講師	マツシタ タカヤ 松下 隆哉 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (平21.1)	0.25日
216	専	講師	コバヤシ タカアキ 小林 高明 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 臨床講師 (平17.12)	0.25日
217	専	講師	ササキ ジュンコ 佐々木 順子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		糖尿病・代謝・内分泌内科学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 講師 (令2.1)	1日

218	専	講師	林 映（ハヤシ ハエル） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		リウマチ・膠原病内科学	1～3通	5	1	東京医科大学医学部 臨床講師 (平18.10)	1.25日
219	専	講師	内藤 咲貴子（ナイトウ サキコ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (令2.4)	0.25日
220	専	講師	田中 麗奈（タナカ レイナ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (平27.2)	0.25日
221	専	講師	竹内 啓人（タケウチ ヒロヒト） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (平29.4)	0.25日
222	専	講師	平良 淳一（タイラ ジュンイチ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 臨床講師 (平20.1)	0.25日
223	専	講師	中村 洋典（ナカムラ ヒロノリ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 臨床講師 (平19.6)	0.25日
224	専	講師	松波 幸寿（マツナミ ユキトシ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (平29.10)	0.25日
225	専	講師	吉益 悠（ヨシマス ユウ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 臨床講師 (平31.3)	0.25日
226	専	講師	小林 勇仁（コバヤシ タケヒト） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		内科系臨床感染症学	1～3通	5	1	東京医科大学医学部 講師 (平26.10)	1.25日
227	専	講師	本屋敷 美奈（ホンヤシキ ミナ） ＜令和7年4月＞		社会健康医学 (博士)		精神医学	1～3通	2	1	東京医科大学医学部 講師 (令2.4)	0.5日
228	専	講師	森下 千尋（モリシタ チヒロ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		精神医学	1～3通	2	1	東京医科大学医学部 講師 (令3.4)	0.5日

229	専	講師	ヒガシヤマ モトキ 東山 幹 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		精神医学	1～3通	2	1	東京医科大学医学部 講師 (令2.5)	0.5日
230	専	講師	オノ ミキ 小野 美樹 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		精神医学	1～3通	2	1	東京医科大学医学部 講師 (令3.4)	0.5日
231	専	講師	ゴ ソウケン 呉 宗憲 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		小児科・思春期科学	1～3通	1.53	1	東京医科大学医学部 講師 (平25.4)	0.5日
232	専	講師	モリチ シンイチロウ 森地 振一郎 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		小児科・思春期科学	1～3通	1.53	1	東京医科大学医学部 講師 (平26.6)	0.5日
233	専	講師	イシダ ユウ 石田 悠 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		小児科・思春期科学	1～3通	1.53	1	東京医科大学医学部 講師 (平23.5)	0.5日
234	専	講師	ナガオ リュウヘイ 長尾 竜兵 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		小児科・思春期科学	1～3通	1.53	1	東京医科大学医学部 臨床講師 (平20.3)	0.5日
235	専	講師	イリサワ リョウキチ 入澤 亮吉 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (平3.7)	0.25日
236	専	講師	アベ ナミコ 阿部 名美子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		皮膚科学	1～3通	2.79	1	東京医科大学医学部 講師 (平20.7)	0.25日
237	専	講師	マエ ケンイチロウ 前 賢一郎 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (平25.4)	0.25日
238	専	講師	ヌマタ タカフミ 沼田 貴史 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		皮膚科学	1～3通	2.79	1	東京医科大学医学部 講師 (令3.4)	0.25日
239	専	講師	サグチ トオル 佐口 徹 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		放射線医学	1～3通	2	1	東京医科大学医学部 講師 (平7.6)	0.5日

240	専	講師	ミカミ リュウジ 三上 隆二 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		放射線医学	1～3通	2	1	東京医科大学医学部 講師 (平18.3)	0.5日
241	専	講師	ノザカ ケイコ 野坂 圭子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		臨床検査医学	1～3通	2.22	1	東京医科大学医学部 講師 (平19.2)	0.5日
242	専	講師	ムラマツ タカシ 村松 崇 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		臨床検査医学	1～3通	2.22	1	東京医科大学医学部 臨床講師 (平21.11)	0.5日
243	専	講師	サトウ トモヒコ 佐藤 友彦 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		高齢総合医学	1～3通	5	1	東京医科大学医学部 講師 (平23.7)	1.25日
244	専	講師	タケノシタ ナオト 竹野下 尚仁 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		高齢総合医学	1～3通	5	1	東京医科大学医学部 講師 (令3.7)	1.25日
245	専	講師	アベ シンエ 阿部 晋衛 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		高齢総合医学	1～3通	5	1	東京医科大学医学部 講師 (平14.9)	1.25日
246	専	講師	ミヤオカ ヨシタカ 宮岡 良卓 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		腎臓内科学	1～3通	3.34	1	東京医科大学医学部 講師 (平25.8)	1日
247	専	講師	ヒラヤマ ミホ 平山 美穂 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		腎臓内科学	1～3通	3.34	1	東京医科大学医学部 講師 (平24.4)	1日
248	専	講師	マルヤマ ヒロシ 丸山 浩史 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		内科系腎臓内科学	1～3通	10	1	東京医科大学医学部 講師 (平25.4)	0.25日
249	専	講師	コジマ タダス 小島 糾 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (平22.5)	0.25日
250	専	講師	ウチダ タカヒロ 内田 貴大 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (令1.11)	0.25日

251	専	講師	シマダ ヨシヒサ 嶋田 善久 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		呼吸器・甲状腺外科学	1～3通	2.22	1	東京医科大学医学部 講師 (平23.8)	0.5日
252	専	講師	ヤノ ユキコ 矢野 由希子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		呼吸器・甲状腺外科学	1～3通	2.22	1	東京医科大学医学部 講師 (平27.6)	0.5日
253	専	講師	クドウ ユウジン 工藤 勇人 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		呼吸器・甲状腺外科学	1～3通	2.22	1	東京医科大学医学部 講師 (平24.4)	0.5日
254	専	講師	イマイ ケンタロウ 今井 健太郎 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 臨床講師 (平23.7)	0.25日
255	専	講師	カイセ ヒロシ 海瀬 博史 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		乳腺科学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 講師 (平9.8)	1日
256	専	講師	フジヨシ トシキ 藤吉 俊毅 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		心臓血管外科学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 講師 (平26.4)	1日
257	専	講師	カミヤ ケンタロウ 神谷 健太郎 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (平27.4)	0.25日
258	専	講師	イワハシ トオル 岩橋 徹 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		心臓血管外科学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 講師 (平21.6)	1日
259	専	講師	ハガ マコト 芳賀 真 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (平30.2)	0.25日
260	専	講師	ホシノ アキヒロ 星野 明弘 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		消化器・小児外科学	1～3通	2.5	1	東京医科大学医学部 講師 (令4.12)	0.5日
261	専	講師	マザキ ジュンイチ 真崎 純一 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		消化器・小児外科学	1～3通	2.5	1	東京医科大学医学部 講師 (平30.4)	0.5日

262	専	講師	イワサキ ケンイチ 岩崎 謙一 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		消化器・小児外科学	1～3通	2.5	1	東京医科大学医学部 講師 (平25.4)	0.5日
263	専	講師	クワバラ ヒロシ 桑原 寛 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		消化器・小児外科学	1～3通	2.5	1	東京医科大学医学部 講師 (平25.4)	0.5日
264	専	講師	タブチ サトシ 田渕 悟 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		消化器外科・移植外科学	1～3通	5	1	東京医科大学医学部 講師 (平29.4)	1.25日
265	専	講師	ニシムラ ヒロスケ 西村 浩輔 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		整形外科学	1～3通	2	1	東京医科大学医学部 講師 (平20.4)	0.5日
266	専	講師	イシダ ツネヒト 石田 常仁 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		整形外科学	1～3通	2	1	東京医科大学医学部 講師 (平19.4)	0.5日
267	専	講師	オサダ タクヤ 長田 卓也 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (平14.2)	0.25日
268	専	講師	ウエノ リュウイチ 上野 竜一 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 臨床講師 (平15.9)	0.25日
269	専	講師	ヤマモト カオリ 山本 香織 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		眼科学	1～3通	2.86	1	東京医科大学医学部 講師 (平28.4)	1日
270	専	講師	カワカミ セツコ 川上 摂子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		眼科学	1～3通	2.86	1	東京医科大学医学部 臨床講師 (平20.4)	1日
271	専	講師	ナカガワ ハヤテ 中川 迅 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (平26.1)	0.25日
272	専	講師	ヤスダ カナコ 安田 佳奈子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (平24.7)	0.25日

273	専	講師	坪田（ツボタ） 欣也（キンヤ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		眼科学	1～3通	2.86	1	東京医科大学医学部 講師 (平29.12)	1日
274	専	講師	平澤（ヒラサワ） 陽介（ヨウスケ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		泌尿器科学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 講師 (平26.4)	1日
275	専	講師	橋本（ハシモト） 剛（タケシ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		泌尿器科学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 講師 (平28.10)	1日
276	専	講師	佐竹（サタケ） 直哉（ナオヤ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		泌尿器科学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 講師 (平19.4)	1日
277	専	講師	本橋（モトハシ） 玲（レイ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		（研究指導）	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (平21.9)	0.25日
278	専	講師	渡嘉敷（トカシキ） 邦彦（クニヒコ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		（研究指導）	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (平27.4)	0.25日
279	専	講師	白井（シライ） 杏湖（キヨウコ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1～3通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (平27.7)	0.25日
280	専	講師	岡田（オカダ） 拓朗（タクロウ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		（研究指導）	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (平26.4)	0.25日
281	専	講師	上田（ウエダ） 百合（ユリ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		（研究指導）	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (平27.8)	0.25日
282	専	講師	小野（オノ） 理貴（マサタカ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		産科・婦人科学	1～3通	3.33	1	東京医科大学医学部 講師 (平26.3)	1日
283	専	講師	小島（コジマ） 淳哉（ジュンヤ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		産科・婦人科学	1～3通	3.33	1	東京医科大学医学部 講師 (平29.2)	1日

284	専	講師	ササキ トオル 佐々木 徹 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		産科・婦人科学	1～3通	3.33	1	東京医科大学医学部 講師 (平20.4)	1日
285	専	講師	カキヌマ タカヤス 柿沼 孝泰 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		麻酔科学	1～3通	6.66	1	東京医科大学医学部 臨床講師 (平15.4)	1.5日
286	専	講師	ナカジマ ノブユキ 中島 伸幸 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		脳神経外科学	1～3通	5	1	東京医科大学医学部 講師 (平11.6)	1.25日
287	専	講師	コウノ ミチヒデ 河野 通秀 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		口腔外科学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 講師 (平26.1)	1日
288	専	講師	ハマダ ハヤト 濱田 勇人 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		口腔外科学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 講師 (平26.4)	1日
289	専	講師	シマダ カズキ 島田 和樹 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		形成外科学	1～3通	6.66	1	東京医科大学医学部 講師 (平29.4)	1.5日
290	専	講師	ワタナベ ユウスケ 渡邊 裕介 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		内科系臨床感染症学	1～3通	5	1	東京医科大学医学部 講師 (令1.9)	1.25日
291	専	講師	サノ ヒデフミ 佐野 秀史 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 講師 (平25.4)	0.25日
292	専	助教	カワタ シンイチ 河田 晋一 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		人体構造学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 助教 (平20.5)	1日
293	専	助教	エノモト アイ 榎本 愛 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		人体病理学	1～3通	3.33	1	東京医科大学医学部 助教 (令4.4)	0.25日
294	専	助教	ヒライ ヒデアキ 平井 秀明 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		人体病理学	1～3通	3.33	1	東京医科大学医学部 助教 (平28.4)	0.25日

295	専	助教	スケダ アオイ 助田 葵 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		人体病理学	1～3通	3.33	1	東京医科大学医学部 助教 (平31.4)	0.25日
296	専	助教	ヤマダ ユウコ 山田 侑子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		分子病理学	1～3通	5	1	東京医科大学医学部 研究助教 (平26.4)	1.25日
297	専	助教	イヌカイ タツヤ 犬飼 達也 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		微生物学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 助教 (令2.4)	1日
298	専	助教	タニフジ ショウタ 谷藤 章太 ＜令和7年4月＞		薬学 (博士)		細胞生理学	1～3通	3.33	1	東京医科大学医学部 助教 (平20.4)	1日
299	専	助教	カトウ メグミ 華藤 恵美 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		病態生理学	1～3通	5	1	東京医科大学医学部 助教 (平27.11)	1.25日
300	専	助教	ハマオカ サユリ 濱岡 沙由理 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		健康増進スポーツ医学	1～3通	5	1	東京医科大学医学部 助教(特任) (平29.4)	1.25日
301	専	助教	ハラダ カズハル 原田 和治 ＜令和7年4月＞		統計科学 (博士)		ステップ2　医療データサイエンス ※	1～3後	6.66	1	東京医科大学医学部 助教 (令4.4)	1.5日
302	専	助教	オリハラ シュンイチロウ 折原 隼一郎 ＜令和7年4月＞		データサイエンス (博士)		ステップ2　医療データサイエンス ※	1～3後	6.66	1	東京医科大学医学部 助教 (令4.7)	1.5日
303	専	助教	アサノ ミチヨ 浅野 倫代 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		血液内科学	1～3通	2.5	1	東京医科大学医学部 助教 (平30.6)	0.5日
304	専	助教	カタギリ セイイチロウ 片桐 誠一朗 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		血液内科学	1～3通	2.5	1	東京医科大学医学部 助教 (平25.10)	0.5日
305	専	助教	ヤマダ アキコ 山田 晃子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		血液内科学	1～3通	2.5	1	東京医科大学医学部 病院助教 (令4.3)	0.5日

306	専	助教	谷古宇（ヤコウ） 史芳（フミヨシ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		（研究指導）	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (令2.5)	0.25日
307	専	助教	安部（アベ） 浩則（ヒロノリ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		（研究指導）	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (令3.4)	0.25日
308	専	助教	内藤（ナイトウ） 万希子（マキコ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		神経学	1～3通	5	1	東京医科大学医学部 助教 (令2.3)	1.25日
309	専	助教	班目（マダラメ） 明（アキラ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		（研究指導）	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (令2.11)	0.25日
310	専	助教	藤田（フジタ） 裕晃（ヒロアキ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		（研究指導）	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (平30.4)	0.25日
311	専	助教	出口（デグチ） 彩香（アヤカ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		精神医学	1～3通	2	1	東京医科大学医学部 助教 (令3.8)	0.5日
312	専	助教	宮崎（ミヤザキ） 峻弘（タケヒロ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		（研究指導）	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 臨床助教 (令4.4)	0.25日
313	専	助教	赤松（アカマツ） 信子（ノブコ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		小児科・思春期科学	1～3通	1.53	1	東京医科大学医学部 助教 (平27.4)	0.5日
314	専	助教	高橋（タカハシ） 英城（ヒデクニ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		小児科・思春期科学	1～3通	1.53	1	東京医科大学医学部 助教 (平28.3)	0.5日
315	専	助教	堤（ツツミ） 範音（ノリト） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		小児科・思春期科学	1～3通	1.53	1	東京医科大学医学部 助教 (平29.12)	0.5日
316	専	助教	奈良（ナラ） 昇乃助（ショウノスケ） ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		小児科・思春期科学	1～3通	1.53	1	東京医科大学医学部 助教 (平25.6)	0.5日

317	専	助教	アガタ カズシ 縣 一志 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (平30.3)	0.25日
318	専	助教	イトナガ トモヒロ 糸永 知広 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		放射線医学	1～3通	2	1	東京医科大学医学部 助教 (平30.7)	0.5日
319	専	助教	シロタ ナツヒコ 代田 夏彦 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		放射線医学	1～3通	2	1	東京医科大学医学部 助教 (平29.4)	0.5日
320	専	助教	オオタカ ジュン 大高 純 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (平25.4)	0.25日
321	専	助教	ヤマダ タカフミ 山田 隆文 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (平28.10)	0.25日
322	専	助教	イチキ アキト 一木 昭人 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		臨床検査医学	1～3通	2.22	1	東京医科大学医学部 助教 (平28.1)	0.5日
323	専	助教	チカサワ ユウシ 近澤 悠志 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		臨床検査医学	1～3通	2.22	1	東京医科大学医学部 助教 (平25.10)	0.5日
324	専	助教	ハタナカ シロウ 畑中 志郎 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (平29.4)	0.25日
325	専	助教	アメミヤ リョウスケ 雨宮 亮介 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		呼吸器・甲状腺外科学	1～3通	2.22	1	東京医科大学医学部 助教 (平29.6)	0.5日
326	専	助教	オオモリ トモカズ 大森 智一 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (平30.4)	0.25日
327	専	助教	タカハシ サトシ 高橋 聡 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (令4.7)	0.25日

328	専	助教	フルモト ヒデユキ 古本 秀行 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (平28.5)	0.25日
329	専	助教	タナカ タケヒコ 田中 健彦 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (平29.6)	0.25日
330	専	助教	カワテ タカヒコ 河手 敬彦 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		乳腺科学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 助教 (平25.6)	1日
331	専	助教	サトウ サエコ 佐藤 冴子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		乳腺科学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 助教 (令6.4)	1日
332	専	助教	ニツタ ジュン 仁田 淳 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (令4.1)	0.25日
333	専	助教	オサカベ ヒロアキ 刑部 弘哲 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		消化器・小児外科学	1～3通	2.5	1	東京医科大学医学部 助教 (平25.4)	0.5日
334	専	助教	ワタナベ ミツル 渡邊 充 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (平25.4)	0.25日
335	専	助教	セキ タケシ 関 健 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		整形外科学	1～3通	2	1	東京医科大学医学部 助教 (平29.4)	0.5日
336	専	助教	シミズ ヒロユキ 清水 広之 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (令2.3)	0.25日
337	専	助教	ネヅ ナオヤ 禰津 直也 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (平29.4)	0.25日
338	専	助教	カシマ タケシ 鹿島 剛 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		泌尿器科学	1～3通	4	1	東京医科大学医学部 助教 (平25.4)	1日

339	専	助教	サカモト ヒロキ 坂本 広喜 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (平30.4)	0.25日
340	専	助教	オカダ ヒロフミ 岡田 博史 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (平30.11)	0.25日
341	専	助教	タムラ トモコ 田村 知子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 病院助教 (令2.4)	0.25日
342	専	助教	アオキ コウヘイ 青木 昂平 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (令3.4)	0.25日
343	専	助教	ナカノ ヒロキ 中野 宏己 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (平30.12)	0.25日
344	専	助教	サイキ イワオ 齊木 巖 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		(研究指導)	1～4通	0	1	東京医科大学医学部 助教 (平27.8)	0.25日
345	専	助教	ポピエル ヘレナ アキコ Popiel H.Akiko ＜令和7年4月＞		薬学 (博士)		ステップ1※ ステップ2　国際発信のための論文執筆とプレゼンテーション	1前 1～3前	0.14 0.3	1 1	東京医科大学医学部 助教 (平25.9)	0.5日
346	その他	教授	オオクボ ユカリ 大久保 ゆかり ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		皮膚科学	1～3通	0.5	1	東京医科大学医学部 特任教授 (令6.4)	
347	その他	教授	ニシダ ジュン 西田 淳 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		整形外科学	1～3通	2	1	東京医科大学医学部 特任教授 (令6.4)	
348	その他	准教授	ヨコヤマ ミチコ 横山 倫子 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		細胞生理学	1～3通	3.34	1	東京医科大学医学部 客員准教授 (令6.4)	
349	その他	准教授	アベ アキヒサ 阿部 晃久 ＜令和7年4月＞		医学 (博士)		生化学	1～3通	5	1	東京医科大学医学部 客員准教授 (令6.4)	

別記様式第３号（その３の１）

（用紙　日本産業規格Ａ４縦型）

基幹教員の年齢構成・学位保有状況										
職　　位	学　　位	29 歳 以 下	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 歳 以 上	合　　計	備　　考
教　　授	博　　士	人	人	2人	24人	34人	37人	人	97人	
	修　　士	人	人	人	1人	人	人	人	1人	
	学　　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准 教 授	博　　士	人	人	8人	51人	11人	13人	人	83人	
	修　　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講　　師	博　　士	人	1人	51人	44人	9人	5人	人	110人	
	修　　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助　　教	博　　士	人	5人	44人	5人	人	人	人	54人	
	修　　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合　　計	博　　士	人	6人	105人	125人	54人	55人	人	345人	
	修　　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学　　士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	

（注）

1　この書類は，申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。

2　この書類は，基幹教員についてのみ作成すること。

3　この書類は，申請又は届出に係る学部等の開設後，当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度における状況を記載すること。

4　「基幹教員の年齢構成・学位保有状況」欄の「基幹教員」は，大学院の研究科又は研究科の専攻の場合，「専任教員」と読み替えること。

5　専門職大学院若しくは専門職大学の前期課程を修了した者又は専門職大学又は専門職短期大学を卒業した者に対し授与された学位については，「その他」の欄にその数を記載し，「備考」の欄に，具体的な学位名称を付記すること。